令和５年度

隠岐の島町総合振興計画事業実施計画

令和５年１２月策定

【目次】

令和５年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画の策定について

・隠岐の島町総合振興計画事業実施計画の策定方針・・・P1～

・隠岐の島町総合振興計画事業実施計画施策体系・・・・P3～

・令和６年度重点施策一覧・・・・・・・・・・・・・・・P4～

令和５年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画

・ひとが輝くまち・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P5～

・安心して暮らせるまち・・・・・・・・・・・・・・・・P105～

・住みやすさを実感できるまち・・・・・・・・・・・・・P187～

・活力を生み出すまち・・・・・・・・・・・・・・・・・P273～

・自然と共に生きるまち・・・・・・・・・・・・・・・・P377～

・共に創るまち・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P403～

令和５年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画の策定について

令和５年１２月
地域振興課

１．隠岐の島町総合振興計画事業実施計画の策定方針

１．趣旨

隠岐の島町総合振興計画事業実施計画（以下「事業実施計画」という。）は、まちの将来像を「つながらぁや　つながぁや　一万年の隠岐の島」と定めた第２次隠岐の島町総合振興計画（以下「総合振興計画」という。）の実現に向け、具体的な事業とその年次計画を定めたものです。

２．期間

事業実施計画の期間は、令和６年度から令和９年度までの４年間とします。

なお、事業実施計画は、社会情勢の変化等に迅速に対応する必要があるため、毎年度見直しを行います。

３．策定方針

事業実施計画は、次の方針に基づき策定します。

（１）　事業実施計画は、総合振興計画の「基本目標」と「基本計画」に基づく「基本施策」ごとに分類します。

※基本施策は、３頁のとおりです。

（２）　事業実施計画は、令和５年度事業の実施状況を勘案しながら、令和６年度以降に実施予定の事業について策定します。なお、義務的経費[1]及び管理的経費[2]を除外して策定します。

【策定除外事業】

・義務的経費及び管理的経費のみで構成された事業

・選挙関係、統計関係、及び災害復旧関係の事業など裁量の余地がない事業

（３）　経費を伴わない事業であっても事業内容が総合振興計画に掲げた基本施策の推進に資する事業についても策定します。

[1] 人件費、扶助費などその支出が法律や国の制度などで義務付けられた経費

[2] 施設の維持管理費など行政サービスや行政水準を維持していくために経常的に必要となる経費

（４）事業評価

事業実施計画の策定過程において事業評価を行い、事業の方向性を総合的に評価します。担当課による内部評価を実施し、令和５年度以降の事業実施計画の内容について、事業実施の可否、実施年度、事業量等を精査します。

また、隠岐の島町総合振興計画審議会による外部評価を一部の事業を対象に実施します。外部評価結果に基づき、事業実施計画の見直しの検討を行います。

（５）重点施策（重点プロジェクト）の設定

目指すべきまちの将来像の実現、また人口減少対策に向けて優先的に取り組むものを「重点施策（重点プロジェクト）」として位置づけます。

※令和６年度の重点施策は、４頁のとおりです。

（６）その他

事業実施計画は策定時点における計画であるため、財政状況及び社会情勢等により、事業内容、実施時期、事業費等の計画内容について変更、延期又は中止を余儀なくされる場合があります。

２．隠岐の島町総合振興計画事業実施計画　施策体系

区　　分（基本目標/基本施策）		重点プロジェクト
ひとが輝くまち		・経済の好循環づくりプロジェクト ・働く場づくりプロジェクト ・新しい人の流れづくりプロジェクト ・個々の希望に寄り添う少子化対策とまちを支える人づくりプロジェクト
①	子育てしやすい環境を整えます	
②	将来を担う子どもたちが育つ魅力ある教育環境づくりを進めます	
③	互いに認め合い、誰もが生きがいをもって活躍できるまちをつくります	
④	かけがえのない文化芸術を未来へつなぎます	
安心して暮らせるまち		
①	安心を支える医療体制を確保します	
②	元気で長生きできるまちづくりを推進します	
③	互いを支え合う福祉環境の充実を図ります	
④	日常生活の安全を確保します	
住みやすさを実感できるまち		
①	快適な住環境を整えます	
②	地域コミュニティのつながりと活力を育みます	
③	島内をスムーズに移動できる交通環境を整えます	
④	移住・定住しやすい環境を整えます	
活力を生み出すまち		
①	既存産業の活性化と承継を進めます	
②	島の特性を活かした新たな産業を育成します	
③	ひとの往来を促す離島交通の充実を図ります	
④	ひとを惹きつける観光地づくりを進めます	
⑤	島内流通の活性化を進めます	
自然と共に生きるまち		
①	資源が循環する島をつくります	
②	島の美しい自然環境を保全します	
共に創るまち		
①	協働によるまちづくりを推進します	
②	時代にあった行政サービスを提供します	
③	財政の健全化に向けた取り組みを進めます	

３．令和６年度重点施策一覧

令和６年度重点施策は、以下の事業を設定します。

基本目標	基本施策	事業名	事業実施計画/年度別計画【重点施策】	担当課	頁
安心して暮らせるまち	1.安心を支える医療体制を確保します	中村診療所・出張所庁舎整備事業	中村診療所・出張所庁舎整備事業	中出張所	119～
	2.元気で長生きできるまちづくりを推進します	高齢者福祉対策事業	福祉・介護職員処遇改善補助金	保健福祉課	127～
	4.日常生活の安全を確保します	竹島対策事業	竹島認定ガイド講習事業	危機管理室	157～
		交通安全対策事業	隠岐自動車練習場整備事業	危機管理室	159～
住みやすさを実感できるまち	2.地域コミュニティのつながりと活力を育みます	五箇地域振興事業 都万地域振興事業 布施地域振興事業 中地域振興事業	地域振興事業補助金	五箇支所 都万支所 布施支所 中出張所	267～ 269～ 271～ 239～
	3.島内をスムーズに移動できる交通環境を整えます	生活バス路線対策事業	地域公共交通計画推進事業	地域振興課	241～
		道路構造物維持管理推進事業	西郷 145 号線愛の橋架替事業	建設課	249～
活力を生み出すまち	1.既存産業の活性化と承継を進めます	水産業振興事業	FRP 漁船廃棄処分輸送費支援事業	水産振興室	281～
	4.ひとを惹きつける観光地づくりを進めます	観光施設管理運営事業	中村キャンプ場管理棟更新工事	商工観光課	355～
		都市再生整備事業	都市再生整備事業	都市計画課	361～
自然と共に生きるまち	1.資源が循環する島をつくります	再生可能エネルギー事業	再生可能エネルギー事業	環境課	389～

Ⅰ.ひとが輝くまち

基本施策	課名	事業名	頁	備考
1.子育てしやすい環境を整えます	町民課	子ども等医療費助成事業	7～	
	保健福祉課	児童福祉事業	9～	
	保健福祉課	放課後児童クラブ運営事業	11～	
	保健福祉課	私立保育所運営事業	13～	
	保健福祉課	公立保育所運営事業	15～	
	保健福祉課	母子保健事業	17～	
	社会教育課	社会教育事業	19～	（重複）
	商工観光課	商工業振興事業	21～	（重複）
2.将来を担う子どもたちが育つ魅力ある教育環境づくりを進めます	総務課	はたちの集い事業	23～	
	地域振興課	離島留学学生寮管理運営事業	25～	
	総務学校教育課	教育指導事業	27～	
	総務学校教育課	学力向上対策事業	29～	
	総務学校教育課	学校図書充実事業	31～	
	総務学校教育課	英語指導事業	33～	
	総務学校教育課	特別支援教育事業	35～	
	総務学校教育課	教育支援センター運営事業	37～	
	総務学校教育課	魅力ある学校づくり事業	39～	
	総務学校教育課	教育情報化推進事業	41～	
	総務学校教育課	教育情報機器整備事業	43～	
	総務学校教育課	高校魅力化事業	45～	
	総務学校教育課	県立高校施設整備事業	47～	
	総務学校教育課	小学校一般管理運営事業	49～	
	総務学校教育課	小学校教育振興事業	51～	
	総務学校教育課	小学校大規模改修事業	53～	
	総務学校教育課	小学校空調設備整備事業	55～	
	総務学校教育課	中学校一般管理運営事業	57～	
	総務学校教育課	中学校教育振興事業	59～	
	総務学校教育課	中学校大規模改修事業	61～	
	総務学校教育課	中学校空調設備整備事業	63～	
	総務学校教育課	学校給食センター管理運営事業	65～	重複
	総務学校教育課	学校給食調理事業	67～	重複

基本施策	課名	事業名	頁	備考
	社会教育課	社会教育事業	69～	（重複）
3.互いに認め合い、誰もが生きがいをもって活躍できるまちをつくります	地域振興課	男女共同参画事業	71～	
	地域振興課	人権・同和対策事業	73～	
	社会教育課	社会教育事業	75～	重複
	社会教育課	隠岐島文化会館管理運営事業	77～	
	社会教育課	保健体育活動推進事業	79～	
	社会教育課	総合運動公園管理運営事業	81～	
	社会教育課	図書館管理運営事業	83～	
	社会教育課	温水プール管理運営事業	85～	
	社会教育課	社会体育施設管理運営事業	87～	
	公民館	公民館管理運営事業	89～	
	公民館	生涯学習センター管理運営事業	91～	
	公民館	五箇地区体育施設管理運営事業	93～	
	公民館	都万地区体育施設管理運営事業	95～	
	公民館	布施地区体育施設管理運営事業	97～	
4.かけがえのない文化芸術を未来へつなぎます	社会教育課	文化財保存継承事業	99～	
	社会教育課	佐々木家住宅管理運営事業	101～	
	五箇支所	五箇創生館管理運営事業	103～	

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	子ども等医療費助成事業	担当	町民課 国保年金係	整理番号	町-1

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	1.子育てしやすい環境を整えます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	3	項	2	目	1

指標		令和6年度目標値
①	合計特殊出生率（KPI）	2.28
②	年間出生数（KPI）	110人
③	子ども一人あたりの医療費	110千円以下
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

子どもの医療費を助成することにより、子どもの疾病の早期発見、早期治療を促進するとともに、子育てに伴う保護者の経済的負担を軽減し、子どもの健全な育成及び安心して子どもを産み育てることができる環境をつくる。

【事業概要】

義務教育終了までの子どもに対し、医療費、調剤費等について助成を行う。

【助成内容】（令和2年10月～）

医療費　　無料

調剤費等　無料

2.令和　4　年度事業実績（Do）

【助成内容】

医療費負担　　無料

調剤費等負担　無料

【対象者数】3月末

就学前　624人

小学生　656人

中学生　326人

【医療費助成額】

就学前　6,053件　14,708千円

小学生　4,638件　11,288千円

中学生　1,992件　6,191千円

【乳幼児医療費審査手数料】

12,635件　　757千円

【子ども1人あたりの医療費】

98.4千円（総医療費158,101千円÷年度末対象者数1,606人）

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

町在住の義務教育終了までの子ども全員に受給資格証を発行し、県内のすべての医療機関（一部県外も含む）で受給資格証を提示することにより、無料で診療等を受けることができ、保護者の経済的負担を軽減することができている。

【②.事業の課題】

県内市町村の助成内容をみると、18歳までの子どもを対象に医療費を無料にしている市町村が10町村あり、今後の助成内容について拡充していく必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

子育てしやすい環境づくりのため、本事業を継続していく必要がある。今後、子どもを持つ子育て世帯の医療費負担の更なる軽減を図るため、対象年齢を18歳(年齢到達後最初の3月31日まで)まで拡充する準備を進める。

対象年齢を18歳まで引き上げることにより、島外からの町内高等学校への入学希望者のPRとなる。

【④.外部評価】　方向性：　拡大　　**令和５年度評価済**

物価高騰の波により人々に様々な影響が及ぶ中、子供の医療費無償化は、本町の子育て世帯にとって大きな支援となっています。しかしながら、子供の成長過程には保険適用外の治療を受ける必要に迫られる場面が多くあります。令和６年４月より予定されている医療費無償化の対象年齢の拡充はもとより、保険適用外となる場合の医療費助成もご検討下さい。ただし、軽症の場合など医療費を抑えるための啓発も必要ではないでしょうか。

本事業の充実により、本町が安心して子育てしやすい町として町内外に認知されることを期待しています。

4.改善・見直し（Action）

令和6年4月より18歳(年齢到達後最初の3月31日まで)の医療費無償化を行う。拡充にあたり、子育て世代の転出抑制と転入促進のため、ＨＰや広報等でＰＲも行う。

【参考】令和5年度島外生徒数

隠岐水産高等学校　　89名

隠岐高等学校　　14名

実績額		32,943 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	10,487 千円
	起債	17,400 千円
	特定	180 千円
	一般財源	4,876 千円

実績値				
	①	2.42(推定)	④	
	②	74人	⑤	
	③	98千円	⑥	

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	子ども等医療費助成事業	担当	町民課 国保年金係	整理番号	町-1

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	医療費助成（就学前） 24,000 千円 医療費助成（小学生） 12,000 千円 医療費助成（中学生） 7,000 千円 千円 国保連審査支払手数料 959 千円 受給資格者証作成費（隔年） 26 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	医療費助成（就学前） 24,000 千円 医療費助成（小学生） 12,000 千円 医療費助成（中学生） 7,000 千円 医療費助成（18歳到達後最初の3月31日まで） 7,500 千円 国保連審査支払手数料 1,100 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	医療費助成（就学前） 24,000 千円 医療費助成（小学生） 12,000 千円 医療費助成（中学生） 7,000 千円 医療費助成（18歳到達後最初の3月31日まで） 7,500 千円 国保連審査支払手数料 1,100 千円 受給資格者証作成費（隔年） 26 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	医療費助成（就学前） 24,000 千円 医療費助成（小学生） 12,000 千円 医療費助成（中学生） 7,000 千円 医療費助成（18歳到達後最初の3月31日まで） 7,500 千円 国保連審査支払手数料 1,100 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	医療費助成（就学前） 24,000 千円 医療費助成（小学生） 12,000 千円 医療費助成（中学生） 7,000 千円 医療費助成（18歳到達後最初の3月31日まで） 7,500 千円 国保連審査支払手数料 1,100 千円 受給資格者証作成費（隔年） 26 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	43,985 千円	51,600 千円	51,626 千円	51,600 千円	51,626 千円
財源内訳	国補助　千円 県補助　14,747 千円 起　債　29,000 千円 特　定　150 千円 一般財源　88 千円	国補助　千円 県補助　14,747 千円 起　債　36,700 千円 特　定　150 千円 一般財源　3 千円	国補助　千円 県補助　14,747 千円 起　債　36,700 千円 特　定　150 千円 一般財源　29 千円	国補助　千円 県補助　14,747 千円 起　債　36,700 千円 特　定　150 千円 一般財源　3 千円	国補助　千円 県補助　14,747 千円 起　債　36,700 千円 特　定　150 千円 一般財源　29 千円
目標値	①　2.28　④ ②　110人　⑤ ③　110千円　⑥	①　2.28　④ ②　110人　⑤ ③　110千円　⑥	①　2.28　④ ②　110人　⑤ ③　110千円　⑥	①　2.28　④ ②　110人　⑤ ③　110千円　⑥	①　2.28　④ ②　110人　⑤ ③　110千円　⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	児童福祉事業	担当	保健福祉課 児童福祉係	整理番号	保-8

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	1.子育てしやすい環境を整えます
重点施策	
関連計画	隠岐の島町子ども・子育て支援事業計画

予算区分	一般会計	款	3	項	2	目	1

指標		令和6年度目標値
①	合計特殊出生率（KPI）	2.28
②	年間出生数（KPI）	110人
③	保育所待機児童数（KPI）	0人
④	子育て支援センター設置数（KPI）	2施設
⑤	放課後児童クラブ受け入れ可能数（KPI）	88人/年
⑥		

【事業目的】

国の定める子ども・子育て支援の基本指針に即し、5年を1期として保育・子育て支援の「量の見込み」「確保の内容」「実施時期」について定め、計画的に子育て支援の施策を推進することを目的とする。

【事業概要】

R5年度:基礎調査
・現状把握及び課題の整理（国指針、状況等情報分析）
・ニーズ調査等

R6年度:子ども子育て支援事業計画案の策定支援
・計画素案作成支援、提案

2.令和　4　年度事業実績（Do）

実績額		千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	2.42	④	2施設
	②	74人	⑤	88人/年
	③	0人	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

【②.事業の課題】

国の定める子ども・子育て支援の基本指針に即し策定することとされているが決定が遅れているようである。国が「異次元の少子化対策」を唱えるように、子育て支援政策の一つの転換期となる中での計画策定となることが予想され、国の動向に注視をしながら慎重に進める必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

法により策定が義務付けられている計画であることはもとより、R7年度以降5年間の本町における子ども子育て事業の指針となる計画であり、ニーズの調査・分析をはじめ、現状の分析、全国的なトレンドの把握、国指針・施策の分析を行うにあたり、計画策定支援の実績のある事業者の支援を得ることで円滑な計画策定ができることから必要である。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	児童福祉事業	担当	保健福祉課 児童福祉係	整理番号	保-8

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	子ども子育て支援事業計画策定支援	子ども子育て支援事業計画策定支援			
	1,834 千円	3,407 千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	1,834 千円	3,407 千円	千円	千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	1,834 千円	3,407 千円	千円	千円	千円
目標値 ①	2.42	2.42	2.42	2.42	2.42
目標値 ②	85人	85人	85人	85人	85人
目標値 ③	0人	0人	0人	0人	0人
目標値 ④	2施設	2施設	2施設	2施設	2施設
目標値 ⑤	120人/年	120人/年	120人/年	120人/年	120人/年
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	放課後児童クラブ運営事業	担当	保健福祉課 児童福祉係	整理番号	保-9

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	1.子育てしやすい環境を整えます
重点施策	
関連計画	隠岐の島町子ども・子育て支援事業計画

予算区分	一般会計	款	3	項	2	目	1

指標		令和6年度目標値
①	放課後児童クラブ受け入れ可能数（KPI）	88人/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

放課後児童クラブ（共働き等のため、放課後、家庭に保護者のいない子ども達の健全育成と安全の確保を目的とする事業）の受け入れ児童拡大のため、町直営の児童クラブを新たに設置し、子ども達の健全な育成を図る。

【事業概要】

・利用人数：放課後児童クラブ　40人
　　子育て支援センター　親子10組
・放課後児童クラブ支援員の雇用：3人　※補助員は別途雇用
・放課後児童クラブ新規設置（子育て支援センター併設）

2.令和　4　年度事業実績（Do）

【施設概要】
木造平屋建て
延べ床面積　227㎡
定員：放課後児童クラブ40人
　　子育て支援ｾﾝﾀｰ　親子10組
【事業内容】
子育て交流ｾﾝﾀｰ建設費　97,460千円
　（内R5繰越額　38,984千円）
外構工事費　17,291千円
工事監理委託料　2,535千円
　（内R5繰越額　2,535千円）

令和４年度で竣工予定であったが、周辺法面工事を追加で行う必要が生じたことから、工期を２か月延長し、令和５年５月31日竣工となった。

実績額		117,286 千円
財源内訳	国補助	42,364 千円
	県補助	3,994 千円
	起債	70,000 千円
	特定	千円
	一般財源	928 千円

実績値				
	①	88人/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和４年度で竣工予定であったが、周辺法面工事を追加で行う必要が生じたことから、工期を２か月延長し、令和５年５月31日竣工となった。課題としていた放課後児童ｸﾗﾌﾞの運営について、私立保育所運営事業者と定員数等についての協議を行い、既存ｸﾗﾌﾞの定員を超過した児童の受け皿とすることとした。また運営スタッフは会計年度任用職員により確保することができた。

【②.事業の課題】

施設の建設は完了したが、施設南側の法面の管理について、当初除草作業による対応を想定していたが、傾斜が急であり作業が困難であること、また多量ではないが崩土が隣接する民有地に落ちることから、何らかの対策が必要である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

令和５年７月３日から本施設で「子育て支援ｾﾝﾀｰ事業」「放課後児童ｸﾗﾌﾞ事業」を開始する。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　令和４年度評価済

共働きの子育て世代が、安心して働き続けるために、本事業の重要性は高いと考えます。
施設の建設には多額の予算が計上されていることから、適切な規模で、効率的な事業実施を心がけて下さい。私立保育所の放課後児童クラブと並走して運営するとのことですが、スタッフの人材確保は、他の児童福祉施設との摩擦が生じることのないよう調整の上、創意工夫して取組んで下さい。
また、町内すべての児童が安心して放課後を過ごせる環境づくりに関しては、教育委員会との横の連携を図りつつ、保護者の声に耳を傾け、子育て環境の維持に努めることも必要ではないでしょうか。

4.改善・見直し（Action）

南側法面について、防草(木も含む）と崩土防止を目的とした保護工を行う。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	放課後児童クラブ運営事業	担当	保健福祉課 児童福祉係	整理番号	保-9

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	事業実施 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	事業実施 千円 南側法面保護工事（@20千円×450㎡） 9,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	事業実施 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	事業実施 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	事業実施 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	千円	9,000 千円	千円	千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	千円	9,000 千円	千円	千円	千円
目標値 ①	120人/年	120人/年	120人/年	120人/年	120人/年
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	私立保育所運営事業	担当	保健福祉課 児童福祉係	整理番号	保-10

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	1.子育てしやすい環境を整えます
重点施策	
関連計画	隠岐の島町子ども・子育て支援事業計画
予算区分	一般会計　款 3　項 2　目 3

指標		令和6年度目標値
①	合計特殊出生率（KPI）	2.28
②	年間出生数（KPI）	110人
③	保育所待機児童数（KPI）	0人
④	子育て支援センター設置数（KPI）	2施設
⑤	放課後児童クラブ受け入れ可能数（KPI）	88人/年
⑥		

【事業目的】

子育て世帯の多様化するニーズに応じた各種保育サービスを実施し、安心して子育てできる環境を提供する。

【事業概要】

多様なニーズに対応した各種保育サービスを実施するとともに経済的負担の軽減のため保育料については、国の幼児教育無償化制度の更なる拡充を行い、また児童の副食費についても町独自の軽減を実施し子育てしやすい環境を整える。

・放課後児童健全育成事業
・地域子育て支援センター運営費
・特別保育事業（副食費・一時預かり・障がい児・病後児）
・保育体制強化事業（保育補助員の人件費補助）

2.令和　4　年度事業実績（Do）

放課後児童クラブ業務委託料
3施設　12,840千円

地域子育て支援センター業務委託料
共生学園第二保育所
8,398千円

特別保育事業
一時預かり 3施設　376千円
副食費　3施設　8,375千円
障がい児保育2施設 2,448千円
病後児保育　1施設 5,777千円
保育体制強化事業　966千円

◎実績数
児童クラブ：平均登録児童数60人
地域子育て支援センター：年間利用延人数 568人
一時預かり：私立延利用者 83人
障がい児保育：私立対象児童4人
病後児保育：延利用人数　53人

実績額		
		39,180 千円
財源内訳	国補助	7,654 千円
	県補助	9,404 千円
	起債	千円
	特定	4,917 千円
	一般財源	17,205 千円

実績値				
	①	2.42	④	2施設
	②	74人	⑤	88人/年
	③	0人	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

延長保育、一時預かり等多様なニーズに対応した各種保育サービスの提供をはじめ、放課後児童クラブ、地域子育て支援センターの運営により子育て世帯の支援を行った。また保育ニーズの多様化による保育士業務の負担を軽減し、離職を防ぐことを目的とした保育体制強化事業を導入し、保育補助員(保育資格を必要としない保育士業務を補助する者)の人件費の助成を行った。

【②.事業の課題】

子育て支援に対するニーズが多様化する中で、サービスの提供を維持する人材の確保が課題となっている。また各種保育サービスについて、チラシの配布や町ＨＰへの掲載により周知に努めているが、利用者の認知度が低いと思われるサービスもあることから、効果的な広報を行う必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

子育て世帯支援のため、ニーズに応じた各種保育サービスを継続して実施する。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　令和３年度評価済

保育料の低廉化、無償化及び副食費の無償化など子育て世帯への経済的支援は充実しています。様々な家庭事情があるため、これからもニーズの状況把握に努め、子育てしやすい環境が整うように引き続き取組んで下さい。

町立の放課後児童クラブの設置については、多額の予算が計上されることから設置目的、人材の確保、利用者のニーズ、今後の島の人口などあらゆる観点をしっかりと踏まえて進めて下さい。

4.改善・見直し（Action）

・保育士等の子育て支援に係わる人材の確保として、都市部での就職フェア、移住定住相談でのPR活動（民間＋行政合同ブース）を検討する。
・保育士確保が困難な状況から、町全体の保育施設の適正配置について検討を進める。
・子育て支援事業の継続・維持に必要な保育事業所への支援を検討する。
・効果的な広報の方法を検討する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	私立保育所運営事業	担当	保健福祉課 児童福祉係	整理番号	保-10

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	放課後児童クラブ業務委託料 13,983 千円 特別保育事業 17,735 千円 地域子育て支援センター運営費 8,398 千円	放課後児童クラブ業務委託料 13,983 千円 特別保育事業 17,735 千円 地域子育て支援センター運営費 8,398 千円	放課後児童クラブ業務委託料 13,983 千円 特別保育事業 17,735 千円 地域子育て支援センター運営費 8,398 千円	放課後児童クラブ業務委託料 13,983 千円 特別保育事業 17,735 千円 地域子育て支援センター運営費 8,398 千円	放課後児童クラブ業務委託料 13,983 千円 特別保育事業 17,735 千円 地域子育て支援センター運営費 8,398 千円
事業費	40,116 千円	40,116 千円	40,116 千円	40,116 千円	40,116 千円
財源内訳 国補助	7,652 千円	7,652 千円	7,652 千円	7,652 千円	7,652 千円
財源内訳 県補助	10,225 千円	10,225 千円	10,225 千円	10,225 千円	10,225 千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	8,592 千円	8,592 千円	8,592 千円	8,592 千円	8,592 千円
財源内訳 一般財源	13,647 千円	13,647 千円	13,647 千円	13,647 千円	13,647 千円
目標値 ①	2.42	2.42	2.42	2.42	2.42
目標値 ②	110人	110人	110人	110人	110人
目標値 ③	0人	0人	0人	0人	0人
目標値 ④	2施設	2施設	2施設	2施設	2施設
目標値 ⑤	120人/年	120人/年	120人/年	120人/年	120人/年
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	公立保育所運営事業	担当	保健福祉課 児童福祉係	整理番号	保-11

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	1.子育てしやすい環境を整えます
重点施策	
関連計画	隠岐の島町子ども・子育て支援事業計画
予算区分	一般会計　款 3　項 2　目 3

指標		令和6年度目標値
①	合計特殊出生率（KPI）	2.28
②	年間出生数（KPI）	110人
③	保育所待機児童数（KPI）	0人
④	子育て支援センター設置数（KPI）	2施設
⑤	放課後児童クラブ受け入れ可能数（KPI）	88人/年
⑥		

【事業目的】

子育て世帯の多様化するニーズに応じた各種保育サービスを実施し、安心して子育てできる環境を提供する。
また、施設を適正に管理整備することにより、児童の安全・快適な保育環境を保つことを目的とする。

【事業概要】

多様なニーズに対応した各種保育サービスを実施する。
・放課後児童健全育成事業
・休日保育（下西保育所）
・特別保育事業（副食費無償化・一時預かり・障がい児）
・施設の適切な管理を行い、児童の安全・快適な保育環境を確保する。

公立保育所(園)、認定こども園の施設設備の修繕・改修

2.令和　4　年度事業実績（Do）

【原田認定こども園】
プール排水修繕　352千円
幼児用トイレ改修　550千円
【中村保育園】
遊戯室エアコン取付　1,551千円
【下西保育所】
遊戯室エアコン取付　3,080千円
【ごか保育園】
遊戯室エアコン取付　1,727千円
【都万保育所】
遊戯室エアコン取付　3,289千円
園庭立木整備　198千円

実績額		10,747 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	10,747 千円

実績値				
	①	2.42	④	2施設
	②	74人	⑤	88人/年
	③	0人	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

延長保育、一時預かり等多様なニーズに対応した各種保育サービスを提供し、子育て世帯を支援している。放課後児童クラブでは共働き家庭の児童を放課後、長期休暇期間預かることで仕事と家庭の両立を支援した。
各施設の適正な管理に努め、安全・快適な保育環境を保つことができた。

【②.事業の課題】

施設面では、各施設で老朽化が進み、修繕の必要な箇所が増加している。また運営面では、子育て世代支援と人口減少対策の一環として第2子以降の保育料無償化の効果として、児童数減少の歯止めに一定の効果がある一方で、年度中途での0、1、2歳児の入所が多くなっており、会計年度任用保育士の確保に苦慮している。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

子育て世帯支援のため、ニーズに応じた各種保育サービスを今後も継続して実施する。
児童の安全・快適な保育環境を保つため、各施設の適正な管理、修繕等を計画的に実施する。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　**令和５年度評価済**

子供を安心して預けることができる環境づくりは、快適で安全な施設と、十分な人員配置が必要不可欠です。
保育士の確保については、業務内容の点検や見直しを行い、人材確保に努めて下さい。施設面においては、各施設へのヒアリングを徹底し、修繕・改修等は計画的に行ってください。また、場合によっては保育所の立地を見直し、各地域の保護者や子供たちにとって親しみやすく、保育士にとっては働きやすい施設を新設することも視野に検討して下さい。保育所の本来の目的である「安心して子供を預けられる環境」、そして「それをどのように維持していくのか」を、保護者の声を聴き、町として考えて頂きたいです。

4.改善・見直し（Action）

保育施設の老朽化の進行及び保育士確保が困難な状況から、町全体の保育施設の適正配置について、国の「子育て支援政策」の動向に注視しながら引き続き検討を進める。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	公立保育所運営事業	担当	保健福祉課 児童福祉係	整理番号	保-11

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	原田認定こども園調理室ｴｱｺﾝ取替 440 千円 下西保育所保育室ｴｱｺﾝ取替 627 千円 ごか保育園保育室ｴｱｺﾝ取替 460 千円 ごか保育園園庭砂場屋根改修 1,160 千円 下西保育所トイレ洋式化 459 千円 中村保育園トイレ洋式化 450 千円 都万保育所トイレ洋式化 569 千円	千円 下西保育所保育室ｴｱｺﾝ取替（2台） 1,300 千円 下西保育所遊戯室照明修繕(LED化) 800 千円 ごか保育園遊戯室照明修繕(LED化) 300 千円 都万保育所遊戯室照明修繕(LED化) 700 千円 都万保育所保育室等照明修繕(LED化) 500 千円 都万保育所園庭砂場屋根改修 1,500 千円	千円	千円	千円
事業費	4,165 千円	5,100 千円	千円	千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	4,165 千円	5,100 千円	千円	千円	千円
目標値 ①	2.42	2.42	2.42	2.42	2.42
目標値 ②	85人	85人	85人	85人	85人
目標値 ③	0人	0人	0人	0人	0人
目標値 ④	2施設	2施設	2施設	2施設	2施設
目標値 ⑤	120人/年	120人/年	120人/年	120人/年	120人/年
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	母子保健事業	担当	保健福祉課 子育て世代包括支援係	整理番号	保-14

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	1.子育てしやすい環境を整えます
重点施策	
関連計画	隠岐の島町総合保健福祉計画
予算区分	一般会計　款 4　項 1　目 1

指標		令和6年度目標値
①	合計特殊出生率(KPI)	2.28
②	年間出生数(KPI)	110人
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

妊娠期から切れ目ない支援体制を構築し、妊婦・産婦・乳幼児の疾病の早期発見・育児不安の軽減を図るとともに、不妊・島外出産への環境づくりを推進することにより、子育てしやすい環境を整える。

【事業概要】

安全・安心な妊娠出産並びに妊娠期から切れ目なく発達・発育を支援するため、妊婦健康診査（14回の公費負担）、産婦健康診査（2回の公費負担）4か月・7か月・10か月乳幼児健診・1歳半・3歳半健診・年中児健診を実施する。未熟児養育医療給付事業や島外で出産の必要がある妊婦への交通費・宿泊費の助成及び不妊治療助成を実施する。
養育等に不安のある家庭に対しては、隠岐病院助産師や保育所等の関係機関との情報共有・連携を図り支援していく。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

（新）出産・子育て応援給付金事業
9,250千円
　出産応援ギフト　115人
　子育て応援ギフト　70人
　伴走型相談支援面談者　116人

妊婦産婦健康診査費
　延べ受診者数　1,129件
　8,456千円
未熟児養育医療給付費
　給付対象者　4名
　955千円
島外出産助成事業
　助成対象者　8名
　691千円
不妊治療費助成事業
　一般4件　特定4件
　651千円
乳幼児健康診査費
　4、7、10か月健診年12回
　1歳半・3歳半健診　隔月各6回
　1,236千円
　屈折検査機器購入費　1,239千円
子育て・食育事業
　離乳食教室　5回
　保育所ふれあい食体験　9回
　小中高校食育教室　7回
　36千円

実績額		
実績額		22,514 千円
財源内訳	国補助	7,657 千円
	県補助	1,944 千円
	起債	千円
	特定	190 千円
	一般財源	12,723 千円

実績値				
	①	2.42	④	
	②	74人	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

国が新規事業として出産・子育て応援交付金を創設。全ての市町村で実施することとになり、年度途中から事業を開始することで早期に相談支援、経済的支援につなげた。不妊治療については新たに生殖補助医療費助成事業の開始にむけての準備を行った。3歳６か月児健診にて、弱視の早期発見を目的とした屈折検査機器を導入した検査を年度途中より開始した。

【②.事業の課題】

産前産後訪問サポート事業、産後ケア事業が開始となったが実績はないため、育児不安や困り事を抱える保護者へにむけて事業の周知、委託先のシルバー人材センターとの調整や担い手の育成を継続して行う必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

若い世代が安心して子どもを産み育てることができる環境への支援のため、現在実施している事業を引き続き実施していく。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　令和３年度評価済

保育料の低廉化、無償化及び副食費の無償化など子育て世帯への経済的支援は充実しています。様々な家庭事情があるため、これからもニーズの状況把握に努め、子育てしやすい環境が整うように引き続き取組んで下さい。
町立の放課後児童クラブの設置については、多額の予算が計上されることから設置目的、人材の確保、利用者のニーズ、今後の島の人口などあらゆる観点をしっかりと踏まえて進めて下さい。

4.改善・見直し（Action）

現在実施している事業を継続しつつ、出産・子育て応援給付金事業を活用した伴走型相談支援を充実させながら、産前・産後の訪問サポート体制・産後ケアの体制を整備し、関係機関と連携を強化し、切れ目のない支援を行う。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	母子保健事業	担当	保健福祉課 子育て世代包括支援係	整理番号	保-14

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	出産・子育て応援給付金事業 伴走型相談支援　85名×3回 8,611 千円 妊婦健康診査費　85名 9,378 千円 未熟児養育医療給付費　5件 1,001 千円 島外出産助成事業　5名 455 千円 不妊治療費助成事業 一般3件 生殖補助医療3件 720 千円 乳幼児健康診査費　乳幼児健診24回 2,016 千円 子育て・食育事業 16 千円 産後ケア事業（健診）　85名 951 千円 産前産後サポート事業 120 千円 千円 千円	出産・子育て応援給付金事業 伴走型相談支援　85名×3回 8,611 千円 妊婦健康診査費　85名 9,378 千円 未熟児養育医療給付費　5件 1,001 千円 島外出産助成事業　5名 455 千円 不妊治療費助成事業 一般3件 生殖補助医療3件 720 千円 乳幼児健康診査費　乳幼児健診24回 2,016 千円 子育て・食育事業 16 千円 産後ケア事業（健診）　85名 951 千円 産前産後サポート事業 120 千円 千円 千円	出産・子育て応援給付金事業 伴走型相談支援　85名×3回 8,611 千円 妊婦健康診査費　85名 9,378 千円 未熟児養育医療給付費　5件 1,001 千円 島外出産助成事業　5名 455 千円 不妊治療費助成事業 一般3件 生殖補助医療3件 720 千円 乳幼児健康診査費　乳幼児健診24回 2,016 千円 子育て・食育事業 16 千円 産後ケア事業（健診）　85名 951 千円 産前産後サポート事業 120 千円 千円 千円	出産・子育て応援給付金事業 伴走型相談支援　85名×3回 8,611 千円 妊婦健康診査費　85名 9,378 千円 未熟児養育医療給付費　5件 1,001 千円 島外出産助成事業　5名 455 千円 不妊治療費助成事業 一般3件 生殖補助医療3件 720 千円 乳幼児健康診査費　乳幼児健診24回 2,016 千円 子育て・食育事業 16 千円 産後ケア事業（健診）　85名 951 千円 産前産後サポート事業 120 千円 千円 千円	出産・子育て応援給付金事業 伴走型相談支援　85名×3回 8,611 千円 妊婦健康診査費　85名 9,378 千円 未熟児養育医療給付費　5件 1,001 千円 島外出産助成事業　5名 455 千円 不妊治療費助成事業 一般3件 生殖補助医療3件 720 千円 乳幼児健康診査費　乳幼児健診24回 2,016 千円 子育て・食育事業 16 千円 産後ケア事業（健診）　85名 951 千円 産前産後サポート事業 120 千円 千円 千円
事業費	23,268 千円	23,268 千円	23,268 千円	23,268 千円	23,268 千円
財源内訳	国補助　6,679 千円 県補助　1,964 千円 起　債　千円 特　定　80 千円 一般財源　14,545 千円	国補助　6,679 千円 県補助　1,964 千円 起　債　千円 特　定　80 千円 一般財源　14,545 千円	国補助　6,679 千円 県補助　1,964 千円 起　債　千円 特　定　80 千円 一般財源　14,545 千円	国補助　6,679 千円 県補助　1,964 千円 起　債　千円 特　定　80 千円 一般財源　14,545 千円	国補助　6,679 千円 県補助　1,964 千円 起　債　千円 特　定　80 千円 一般財源　14,545 千円
目標値	①　2.42　④ ②　85人　⑤ ③　⑥	①　2.42　④ ②　85人　⑤ ③　⑥	①　2.42　④ ②　85人　⑤ ③　⑥	①　2.42　④ ②　85人　⑤ ③　⑥	①　2.42　④ ②　85人　⑤ ③　⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	社会教育事業	担当	社会教育課 社会教育係	整理番号	社-1 （重複）

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	1.子育てしやすい環境を整えます
重点施策	
関連計画	隠岐の島町社会教育基本計画

予算区分	一般会計	款	10	項	4	目	1

指標		令和6年度目標値
①	人権・同和教育研修会等の開催数と参加者数（KPI）	年2回400人
②	ふるさと教育の授業時数（KPI）	各学級35時間以上/年
③	放課後子ども教室開催回数(KPI)	420回/年
④	学校での地域人材活用数（KPI）	1,680人/年
⑤	家庭教育研修会（親学プログラム等）の実施回数（KPI）	15回/年
⑥		

【事業目的】

地域住民同士が学び合い、共に活動し合う相互学習活動により、教養の向上、健康の増進等を図るとともに、人と人との絆を深め、様々な地域の課題に向き合う力を育む。社会教育事業は、こうした学習活動が活発に行われるよう、その環境づくりを支援する。

【事業概要】

人権尊重を基盤とし、「教育の魅力」が「地域の魅力」につながるよう、学校、家庭、地域及び行政が連携協力し、地域全体で子どもたちの豊かで健やかな心身を育む体制づくりを支援する。また、本町の豊かな自然環境や歴史文化を有効に活用し、ふるさとに愛着と誇りをもつ子どもたちの育成を図る。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

◆社会教育事業　465千円
○全国大会出場事業補助金
団体数：4団体　申請数：8回
補助額：465千円
◆青少年育成事業　4,940千円
○がんばれ島のキッズ島外遠征費補助事業
利用者延べ人数
小学生：1,056人
中学生：490人　指導者：241人
◆結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業　3,027千円
○家庭教育支援事業
実施回数：9回
親学人材活用数：39人
○地域学校協働活動支援事業
コーディネーター活用数：212人
学校サポーター活動数：513人
講師・ボランティア：928人
放課後サポーター：890人
○放課後子ども教室（7地区）
開催総日数：248日
参加児童延人数：4,814人
◆ふるさと教育推進事業　919千円
各学級35時間以上/年
◆成人教育事業　100千円
○人権教育研修会
実施回数：3回　参加者数：101人

実績額		9,451 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	2,936 千円
	起債	4,900 千円
	特定	千円
	一般財源	1,615 千円

実績値				
	①	年3回101人	④	2,265人/年
	②	各学級35時間以上/年	⑤	9回/年
	③	248回/年	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

社会教育の基盤となる人権教育では人権課題として「発達障がい」に焦点をあて、地域・家庭・学校現場など様々な場面で発達障がいへの理解を深まるよう、研修会を開催した。結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業や青少年育成事業（がんばれ島のキッズ島外遠征費補助金）等の推進により、児童生徒の教育活動の推進を図った。

【②.事業の課題】

地域全体で子どもたちの豊かで健やかな心身を育む事業を推進するため、子どもの体験活動における指導者や「結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業」における放課後サポーター等地域人材の確保と育成を行うなど推進体制の充実が必要となっている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

町民の方々が学習活動や体験活動、スポーツ・文化芸術活動などに親しみながら、生き生きと心豊かに暮らせる地域づくりが活発に行われるよう、その環境づくりを支援する大きな役割を担うことから今後も更なる事業の推進が必要である。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　**令和３年度評価済**

社会教育事業の重要性は益々高まっており、地域での学習活動や活発なスポーツ活動に一定の成果を得られていると感じます。
特に島のキッズ島外遠征費助成事業によって、児童生徒の活発な活動が推進されたことは評価できます。また、本土との格差をなくすことで子育て世帯の経済的負担が軽減されています。今後計画しているという指導者研修等を実施することで、児童生徒の活動が一層活性化することを期待します。

4.改善・見直し（Action）

がんばれ島のキッズ島外遠征費補助金では、令和4年度から指導者の渡航費を補助対象とし、児童生徒の一層の活動機会の充実を図った。また、地域における人と人とのつながりづくりの推進や青少年活動の指導者を育成する講習会などにより、人材確保と育成に努める。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	社会教育事業	担当	社会教育課 社会教育係	整理番号	社-1 （重複）

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	青少年育成事業 ・がんばれ島のキッズ島外遠征費補助（児童・生徒約1,240名/指導者約370名） 4,500 千円 結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業 4,311 千円 ふるさと教育推進事業 935 千円 社会教育事業 ・全国大会出場事業補助金 650 千円 成人教育事業 ・PTA連合会、人権同和教育推進会議補助金 200 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	青少年育成事業 ・がんばれ島のキッズ島外遠征費補助（児童・生徒約1,240名/指導者約370名） 4,500 千円 結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業 4,311 千円 ふるさと教育推進事業 935 千円 社会教育事業 ・全国大会出場事業補助金 650 千円 成人教育事業 ・PTA連合会、人権同和教育推進会議補助金 295 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	青少年育成事業 ・がんばれ島のキッズ島外遠征費補助（児童・生徒約1,240名/指導者約370名） 4,500 千円 結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業 4,311 千円 ふるさと教育推進事業 935 千円 社会教育事業 ・全国大会出場事業補助金 650 千円 成人教育事業 ・PTA連合会、人権同和教育推進会議補助金 295 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	青少年育成事業 ・がんばれ島のキッズ島外遠征費補助（児童・生徒約1,240名/指導者約370名） 4,500 千円 結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業 4,311 千円 ふるさと教育推進事業 935 千円 社会教育事業 ・全国大会出場事業補助金 650 千円 成人教育事業 ・PTA連合会、人権同和教育推進会議補助金 295 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	青少年育成事業 ・がんばれ島のキッズ島外遠征費補助（児童・生徒約1,240名/指導者約370名） 4,500 千円 結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業 4,311 千円 ふるさと教育推進事業 935 千円 社会教育事業 ・全国大会出場事業補助金 650 千円 成人教育事業 ・PTA連合会、人権同和教育推進会議補助金 295 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	10,596 千円	10,691 千円	10,691 千円	10,691 千円	10,691 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	3,804 千円	3,804 千円	3,804 千円	3,804 千円	3,804 千円
財源内訳 起債	5,100 千円	5,100 千円	5,100 千円	5,100 千円	5,100 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	1,692 千円	1,787 千円	1,787 千円	1,787 千円	1,787 千円
目標値 ①	年2回390人	年2回400人	年2回400人	年2回400人	年2回400人
目標値 ②	各学級35時間以上/年	各学級35時間以上/年	各学級35時間以上/年	各学級35時間以上/年	各学級35時間以上/年
目標値 ③	420回/年	420回/年	420回/年	420回/年	420回/年
目標値 ④	1,500人/年	1,680人/年	1,680人/年	1,680人/年	1,680人/年
目標値 ⑤	14回/年	15回/年	15回/年	15回/年	15回/年
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	商工業振興事業	担当	商工観光課 商工労働係	整理番号	商観-4（重複）

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	1.子育てしやすい環境を整えます
重点施策	
関連計画	隠岐の島町中小企業・小規模企業振興計画
予算区分	一般会計　款 7　項 1　目 2

指標		令和6年度目標値
①	島内開業事業者数(KPI)	60件
②	島内における廃業件数(KPI)	7件
③	雇用対策協議会会員数(KPI)	70事業所
④	出産後職場復帰奨励金活用事業所件数(KPI)	25件/年
⑤	島内小売業の販売額(KPI)	13,304百万円/年
⑥		

【事業目的】

本町の商工業は人口減少や経済、社会情勢等の変化に伴い、商店の閉店に伴うにぎわいの喪失や利便性の低下、後継者や人材不足等の様々な課題を抱えている。この課題を解決するため、隠岐の島町商工会と連携を図り、課題解決に向けた各種補助金の創設など、町内の中小企業、小規模事業者への支援を行う。

【事業概要】

本町の商工業の活性化及び地域商業機能の維持に向けた取り組みを支援する。具体的な内容は下記のとおり。
①商工会への支援：隠岐の島町商工会補助金、消費喚起支援事業補助金（運営費や地域振興推進員の配置等に係る事業費の補助）
②商工事業者への支援：雇用機会拡充事業補助金、地域商業等支援事業費補助金、店舗等改善事業費補助金、移動販売継続支援事業補助金等による支援。
③島根県中小企業制度融資：「小規模企業特別資金」及び「小規模企業育成資金」の原資を預託し制度融資の活用を図る。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

○隠岐の島町商工会補助金
　運営費補助金　7,924千円
　地域振興推進員人件費　2,515千円
○雇用機会拡充事業補助金
　1件　6,163千円
○特定経営基盤維持事業補助金
　3件　3,558千円
○地域商業等支援事業費補助金
　4件　2,561千円
○店舗等改善事業費補助金
　2件　450千円
○移動販売継続支援事業費補助金
　2件　1,200千円
○地域経済循環創造事業補助金
　1件　20,985千円
○島根県中小企業制度融資
　（預託金）　10,000千円

実績額		55,356 千円
財源内訳	国補助	15,738 千円
	県補助	9,380 千円
	起債	千円
	特定	15,247 千円
	一般財源	14,991 千円

実績値				
	①	50件	④	11件/年
	②	15件	⑤	10,719百万円/年
	③	55事業所	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

隠岐の島町商工会に地域振興推進員を配置し事業者との情報共有や調査等を随時行った他、商工会による経営安定に向けた支援により、商工事業者の事業継続や創業、事業拡大を支援し、地域商工業の活性化につながる施策を講じた。また、前年度に引き続きコロナ禍における事業継続、雇用維持にかかる本町独自の事業者支援を行ったほか、物価高騰対策として地域内の消費喚起と家計支援策として、全町民を対象とした地域応援商品の発行も実施し町内経済の回復を図った。

【②.事業の課題】

後継者不在による事業承継の問題や人材不足の状況は深刻化しており、喫緊の課題となっている。また、エネルギー価格・原材料費の高騰による商工業者、地域経済への影響も懸念される。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

地域経済を維持し、地域商工業の活性化と振興を図るためにも、体制の基盤となる商工会への支援を継続する。また、高齢化、後継者不在による事業承継の問題や人材不足について必要な施策の検討を行い、対応する国・県の支援制度も有効に活用する。エネルギー価格・原材料費の高騰の影響について、随時現状把握に努め地域商工業の経営の安定化・町内経済の活性化に資する支援策に取り組む必要がある。

【④.外部評価】　方向性：　拡大　　令和３年度評価済

事業承継の問題、人材不足、更に新型コロナウィルス感染症の影響により事業継続が危ぶまれる中で、島内事業者にとって重要な施策です。地域商工業の維持、そして活性化が図られるように、事業者の状況等を把握の上、関係機関と連携して現状に即した支援に取組んで頂きたいです。特に、新型コロナウィルス感染症の影響を受けた事業者への支援に取組みつつ、アフターコロナを見据えた中長期的な事業者の支援策を講じることが重要ではないでしょうか。

4.改善・見直し（Action）

・商工会への支援
　地域振興推進員の配置についてはコロナ禍の状況も正常化しつつあることから、令和4年度をもって終了した。
　運営費の支援については継続して実施する。
・商工事業者への支援
　エネルギー価格・原材料費の高騰の影響を随時把握し、地域商工業の活性化のみではなく事業継続を図る施策も検討する。
　既存事業者のアフターコロナを見据えた店舗等の魅力化向上、新事業展開等へのニーズが高まっていることを踏まえ新たに店舗等魅力化向上支援事業費補助金を制定する。
・商業機能の維持
　小売店の地元購買率の向上、地域内の経済循環を促すための具体的施策の検討も進める。
・事業承継の対応
　隠岐の島町商工会、隠岐の島町事業承継推進協議会と連携し、第三者承継等も含めた事業承継支援等を検討する。
・中長期的な戦略として、令和5年度において隠岐の島町中小企業・小規模企業振興計画の第2次計画の策定に商工会と連携して取り組む。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	商工業振興事業	担当	商工観光課 商工労働係	整理番号	商観-4（重複）

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	隠岐の島町商工会補助金 運営費補助金 8,588 千円 雇用機会拡充事業補助金 事業拡大　1件　12,000千円 創業　1件　4,500千円 16,500 千円 地域商業等支援事業費補助金 小売店等開業支援事業　1,500千円 買い物不便対策事業　1,000千円 2,500 千円 (新)店舗等魅力化向上支援事業費 補助金　4件 2,000 千円 移動販売継続支援事業費補助金 車検・整備費　300千円 燃料費　600千円 運営支援費　3,600千円 4,500 千円 島根県中小企業制度融資（預託金） 10,000 千円 (新)創業者向け融資保証料補助金 5件 400 千円 千円	隠岐の島町商工会補助金 運営費補助金 8,588 千円 雇用機会拡充事業補助金 事業拡大　1件　12,000千円 創業　1件　4,500千円 ※助成額は事業者決定後に算出 千円 地域商業等支援事業費補助金 小売店等開業支援事業　2,000千円 買い物不便対策事業　1,000千円 3,000 千円 店舗等魅力化向上支援事業費補助金 6件 3,000 千円 移動販売継続支援事業費補助金 車検・整備費　300千円 燃料費　600千円 運営支援費　3,600千円 ※内容変更の可能性あり 4,500 千円 島根県中小企業制度融資（預託金） 10,000 千円 創業者向け融資保証料補助金　5件 400 千円 千円	隠岐の島町商工会補助金 運営費補助金 8,588 千円 雇用機会拡充事業補助金 事業拡大　1件　12,000千円 創業　1件　4,500千円 ※助成額は事業者決定後に算出 千円 地域商業等支援事業費補助金 小売店等開業支援事業　2,000千円 買い物不便対策事業　1,000千円 3,000 千円 店舗等魅力化向上支援事業費補助金 6件 3,000 千円 移動販売継続支援事業費補助金 車検・整備費　300千円 燃料費　600千円 運営支援費　3,600千円 ※内容変更の可能性あり 4,500 千円 島根県中小企業制度融資（預託金） 10,000 千円 創業者向け融資保証料補助金　5件 400 千円 千円	隠岐の島町商工会補助金 運営費補助金 8,588 千円 雇用機会拡充事業補助金 事業拡大　1件　12,000千円 創業　1件　4,500千円 ※助成額は事業者決定後に算出 千円 地域商業等支援事業費補助金 小売店等開業支援事業　2,000千円 買い物不便対策事業　1,000千円 3,000 千円 店舗等魅力化向上支援事業費補助金 6件 3,000 千円 移動販売継続支援事業費補助金 車検・整備費　300千円 燃料費　600千円 運営支援費　3,600千円 ※内容変更の可能性あり 4,500 千円 島根県中小企業制度融資（預託金） 10,000 千円 創業者向け融資保証料補助金　5件 400 千円 千円	隠岐の島町商工会補助金 運営費補助金 8,588 千円 雇用機会拡充事業補助金 事業拡大　1件　12,000千円 創業　1件　4,500千円 ※助成額は事業者決定後に算出 千円 地域商業等支援事業費補助金 小売店等開業支援事業　2,000千円 買い物不便対策事業　1,000千円 3,000 千円 店舗等魅力化向上支援事業費補助金 6件 3,000 千円 移動販売継続支援事業費補助金 車検・整備費　300千円 燃料費　600千円 運営支援費　3,600千円 ※内容変更の可能性あり 4,500 千円 島根県中小企業制度融資（預託金） 10,000 千円 創業者向け融資保証料補助金　5件 400 千円 千円
事業費	44,488 千円	29,488 千円	29,488 千円	29,488 千円	29,488 千円
財源内訳	国補助　千円 県補助　15,000 千円 起債　千円 特定　12,750 千円 一般財源　16,738 千円	国補助　千円 県補助　1,500 千円 起債　千円 特定　10,000 千円 一般財源　17,988 千円	国補助　千円 県補助　1,500 千円 起債　千円 特定　10,000 千円 一般財源　17,988 千円	国補助　千円 県補助　1,500 千円 起債　千円 特定　10,000 千円 一般財源　17,988 千円	国補助　千円 県補助　1,500 千円 起債　千円 特定　10,000 千円 一般財源　17,988 千円
目標値	①　48件　④　25件/年 ②　9件　⑤　13,304百万円/年 ③　66事業所　⑥	①　60件　④　25件/年 ②　7件　⑤　13,304百万円/年 ③　70事業所　⑥	①　60件　④　25件/年 ②　7件　⑤　13,304百万円/年 ③　70事業所　⑥	①　60件　④　25件/年 ②　7件　⑤　13,304百万円/年 ③　70事業所　⑥	①　60件　④　25件/年 ②　7件　⑤　13,304百万円/年 ③　70事業所　⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	はたちの集い事業	担当	総務課 行政係	整理番号	総-2

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	2.将来を担う子どもたちが育つ魅力ある教育環境づくりを進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	2	項	1	目	1

指標		令和6年度目標値
①	成人式への出席率	80%
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

本町の将来を担う二十歳を迎えた若者を祝福するとともに、大人としての責任を自覚し、社会を担う者としての意識の高揚を図る。

【事業概要】

毎年8月15日に以下のとおり式典を開催する。
（対象者）開催年の4月1日現在で20歳に達している方の内、町内在住、町内の中学校卒業の方など
（式典）町長による式辞、出席者の代表による謝辞、中学校卒業当時の3年生の担任教諭からの祝辞、地元団体によるアトラクションを実施
（その他）後日、式典後に撮影した記念写真を出席者に送付

2.令和　4　年度事業実績（Do）

成人式事業
R2～4年度対象者分　426千円

R2年度参加者数
34名（対象者：126名）
出席率：26.9%
※対象者による実行委員会方式
※式典無し

R3年度参加者数
29名（対象者：134名）
出席率：21.6%

R4年度参加者数
68名（対象者：128名）
出席率：53.1%

実績額		426 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	426 千円

実績値				
	①		④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

本町では出席率の増を図るため、出席しやすいお盆（8月15日）に開催し、近年出席率は70%前後で推移している。令和4年度は、新型コロナウイルス感染対策のために延期した令和2年度及び令和3年度分を含めて、3ヶ年度分を2日間に分けて行うとともに、コロナの影響により出席しにくい対象者のためにオンライン出席の機会を提供した。

【②.事業の課題】

参加者の増加を図るため、対象者の需要に合った、より充実し、魅力的な内容とする必要がある。参加者の意見募集、企画への参画方法等を検討する必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

まちを挙げて二十歳を迎えた若者を祝福し、大人としての責任を自覚し、社会人としての意識の高揚を図るためのきっかけの場として今後も継続的に行っていく。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

民法改正により、令和4年4月から成年年齢が18歳に引き下げられたが、本事業の対象者については令和3年度の協議により従来どおり、開催年度に満21歳に達する者と決定された。また、本年度より名称を「はたちの集い」と改めた。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	はたちの集い事業	担当	総務課 行政係	整理番号	総-2

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	はたちの集い事業	はたちの集い事業	はたちの集い事業	はたちの集い事業	はたちの集い事業
	239 千円	239 千円	239 千円	239 千円	239 千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	239 千円	239 千円	239 千円	239 千円	239 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	239 千円	239 千円	239 千円	239 千円	239 千円
目標値 ①	80%	80%	80%	80%	80%
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	離島留学学生寮管理運営事業	担当	地域振興課 定住推進係	整理番号	地-17

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	2.将来を担う子どもたちが育つ魅力ある教育環境づくりを進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	10	項	1	目	2

指標		令和6年度目標値
①	島内高等学校の入学希望者数（KPI）	153/170人
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

町外からの入学希望者が増加傾向の隠岐水産高校の受入れ態勢を整備し、関係人口の創出により地域活性化を図るとともに、「未来の海のスペシャリスト」が育つ魅力ある教育環境づくりを支援する。

【事業概要】

宿日直雇用費　3名
寮生食事提供委託料　16名分
寮生家具リース料（机、収納棚）　16名分

2.令和　4　年度事業実績（Do）

令和5年度から事業開始により令和4年度実績なし

実績額		千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	136人/170人	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和7年度の新離島留学生学生寮の運用開始までの間、令和5年度より町観光宿泊施設（ホテルMIYABI別館）において、離島留学生の共同下宿として管理運営を開始した。16名の島外出身学生を受入れ、1部屋2名（全8部屋）での共同生活を送っている。

【②.事業の課題】

新しい離島留学生学生寮の運用開始までの間、16名の学生は約2年間、町観光宿泊施設での共同生活を送る。学びと交流と生活の場としての機能が求められるが、本来は観光宿泊施設であるため、個人のプライベート空間が確保されていない等共同生活の中で随時課題をあぶり出し、対応を検討している状況である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

離島留学生を受け入れることは、関係人口の創出による地域活性化に繋がり、また、将来の移住・定住の選択地として期待される。隠岐水産高校と町教育委員会と連携し、受入れ態勢の充実と令和7年度以降の受入れ人数の拡大を図りたい。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

共同生活を送る中で、あぶり出された課題に対して検討し改善すべきものは対応する。学生寮の個人のプライベート空間の確保については、令和5年度上半期中に対応したい。また、隠岐水産高校との連携が必要なため、随時関係者との会合を実施する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	離島留学学生寮管理運営事業	担当	地域振興課 定住推進係	整理番号	地-17

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	離島留学学生寮宿日直雇用費 5,258 千円 寮生食事提供委託料（16名分） 11,781 千円 ホテルMIYABI別館借上料 12,342 千円 寮生家具リース料 4,464 千円 ベッド周りカーテン設置工事 1,200 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	離島留学学生寮宿日直雇用費 5,258 千円 寮生食事提供委託料（16名） 11,781 千円 ホテルMIYABI別館借上料 12,342 千円 寮生家具リース料 4,464 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 寮生食事提供委託料（30名） 22,506 千円 光熱水費等維持管理費 2,500 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 寮生食事提供委託料（30名） 22,506 千円 光熱水費等維持管理費 2,500 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 寮生食事提供委託料（30名） 22,506 千円 光熱水費維持管理費 2,500 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	35,045 千円	33,845 千円	25,006 千円	25,006 千円	25,006 千円
財源内訳 国補助	866 千円	866 千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	4,000 千円	4,000 千円	4,000 千円	4,000 千円	4,000 千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	8,472 千円	8,472 千円	15,885 千円	15,885 千円	15,885 千円
財源内訳 一般財源	21,707 千円	20,507 千円	5,121 千円	5,121 千円	5,121 千円
目標値 ①	153/170人	153/170人	153/170人	153/170人	153/170人
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	教育指導事業	担当	総務学校教育課 学校教育係	整理番号	総学-1

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	2.将来を担う子どもたちが育つ魅力ある教育環境づくりを進めます
重点施策	
関連計画	第2期しまね教育ビジョン21

予算区分	一般会計	款	10	項	1	目	2

指標		令和6年度目標値
	①	
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

【事業目的】

児童生徒一人一人の悩みの早期発見や問題行動等の未然防止に向けて生徒指導の充実を図る。また、児童生徒が自らの学習状況や生活の見通しを立て、学んだことを振り返りながら、新たな学習や生活への意欲につなげることを目的とする。

【事業概要】

○スクールソーシャルワーカー活用事業
悩みを抱える児童生徒等のニーズに対応するため、関係機関等との効果的なネットワークの構築や早期の問題解決に向けた支援をする。
○GIGAスクール運営業務委託事業
GIGAスクール構想の円滑な運用支援を学校や教育委員会と連携しながら行い、ICT機器等の活用面における諸課題を解決し、円滑な教育活動を図る。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

スクールソーシャルワーカー活用事業
391千円
GIGAスクール運営業務委託料
1,092千円
学校通信ネットワーク保守委託料
450千円

実績額		
		1,933 千円
財源内訳	国補助	739 千円
	県補助	391 千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	803 千円

実績値				
	①		④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

児童生徒が抱える日常生活の悩み等問題の解決を図れるよう支援するスクールソーシャルワーカーや児童生徒の心のケアを行うスクールカウンセラーを各学校へ派遣を行った。また、関係機関との連絡調整等総合的な支援を行い、生徒指導上の諸課題の早期発見を図った。導入されたICT機器等を効率的に利用した、わかりやすい授業が行えるよう教員向けICT利活用研修を実施した。

【②.事業の課題】

スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを担う人材を町内で確保できていない。このため、緊急時の対応に苦慮している。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

学校等の要望や保護者からの相談等でスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの需要が高まっている。児童生徒が抱える様々な課題や日常生活の悩みに対し教育相談体制や生徒指導の充実を図るために本事業は不可欠である。

【④.外部評価】　方向性：　拡大　**令和５年度評価済**

教育現場は益々複雑で多くの問題を抱えています。本事業は、児童生徒の学校生活や学習状況の改善を目的としながら、教職員の負担軽減に繋がる事業であると認識しています。
スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを学校へ派遣したことによる効果の検証はされているのでしょうか。また、そうした専門職の人材確保を島内でできていないのであれば、オンラインによる相談体制の充実も検討して頂きたいです。また、GIGAスクール運営業務については、ICT支援員が各学校と密着した実用的な事業展開を期待します。

4.改善・見直し（Action）

スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを確保に努めるとともに、関係機関と連携を強化していく。
引き続き、教員のICT活用指導力を向上するための研修等の機会を作る。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	教育指導事業	担当	総務学校教育課 学校教育係	整理番号	総学-1

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	スクールソーシャルワーカー活用事業 683 千円 GIGAスクール運営業務委託事業 1,437 千円 学校通信ネットワーク保守委託料 450 千円 ICT支援員配置(地域おこし協力隊1名) 3,665 千円	スクールソーシャルワーカー活用事業 683 千円 GIGAスクール運営業務委託事業 1,437 千円 学校通信ネットワーク保守委託料 450 千円 ICT支援員配置(地域おこし協力隊2名) 7,330 千円	スクールソーシャルワーカー活用事業 683 千円 GIGAスクール運営業務委託事業 1,437 千円 学校通信ネットワーク保守委託料 450 千円 ICT支援員配置(地域おこし協力隊2名) 7,330 千円	スクールソーシャルワーカー活用事業 683 千円 GIGAスクール運営業務委託事業 1,437 千円 学校通信ネットワーク保守委託料 450 千円 ICT支援員配置(地域おこし協力隊1名) 3,665 千円	スクールソーシャルワーカー活用事業 683 千円 GIGAスクール運営業務委託事業 1,437 千円 学校通信ネットワーク保守委託料 450 千円
事業費	6,235 千円	9,900 千円	9,900 千円	6,235 千円	2,570 千円
財源内訳 国補助	629 千円	629 千円	629 千円	629 千円	629 千円
県補助	千円	千円	千円	千円	千円
起　債	千円	千円	千円	千円	千円
特　定	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	5,606 千円	9,271 千円	9,271 千円	5,606 千円	1,941 千円
目標値 ①					
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	学力向上対策事業	担当	総務学校教育課 学校教育係	整理番号	総学-2

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	2.将来を担う子どもたちが育つ魅力ある教育環境づくりを進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	10	項	1	目	2

指標		令和6年度目標値
①	学力調査の県・全国平均に対する達成率	100%
②	学習に対して主体的に取り組んでいる児童生徒の割合	70%
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

変化の激しい社会を生き抜くための力、いわゆる『生きる力』を学力の視点から育成することを目的とする。

【事業概要】

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善をすすめ、学びの質を上げる支援を行う。
○学力調査の実施と結果の分析
○教職員セミナーの実施
○指導主事の配置
○専門部会の開催による学校間の連携
○授業づくり研究会

2.令和　4　年度事業実績（Do）

○学力調査の実施と結果の分析
543千円
○教職員セミナーの実施
155千円
○指導主事の配置
1,993千円
○学力向上対策事業活動費
104千円

実績額		2,795 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	2,795 千円

実績値				
	①	80%	④	
	②	80%	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

学習指導要領では、将来の『生きる力』につながる学びとして『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善の必要性がうたわれている。本町では専門的な講師を迎え、教員の指導力の向上を目指したセミナーを実施している。このことにより、『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善が各学校で進められている。

【②.事業の課題】

『主体的・対話的で深い学び』に向けた授業改善が進んでいる学校がある中、そうでない授業も見られる。先進的に授業改善を進めている学校の取り組みを、どのように効果的に町内の他の学校に発信していくのかが課題である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

学力調査などで測ることができる”知識・技能”、”思考力・判断力・表現力”だけでなく、点数に表しにくい力（学びに向かおうとする力など）を重要視する。この、学びに対する主体性や肯定的な感情が、将来の学びにつながり、本来の教育の目的でもある”生きる力の獲得”につながると考えている。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

子ども主体の授業作りが各学校で推進されるよう、授業における子どもの見取りについて、公開授業などを通して先生方と協議してていく。継続して学力向上対策プランの改善、見直しを行っていく。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	学力向上対策事業	担当	総務学校教育課 学校教育係	整理番号	総学-2

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	学力調査の実施と結果の分析 426 千円 教職員セミナーの実施 314 千円 指導主事の配置 1,968 千円 学力向上対策事業活動費 148 千円 授業づくり研究会 7,491 千円	学力調査の実施と結果の分析 426 千円 教職員セミナーの実施 314 千円 指導主事の配置 1,968 千円 学力向上対策事業活動費 148 千円	学力調査の実施と結果の分析 426 千円 教職員セミナーの実施 314 千円 指導主事の配置 1,968 千円 学力向上対策事業活動費 148 千円	学力調査の実施と結果の分析 426 千円 教職員セミナーの実施 314 千円 指導主事の配置 1,968 千円 学力向上対策事業活動費 148 千円	学力調査の実施と結果の分析 426 千円 教職員セミナーの実施 314 千円 指導主事の配置 1,968 千円 学力向上対策事業活動費 148 千円
事業費	10,347 千円	2,856 千円	2,856 千円	2,856 千円	2,856 千円
財源内訳 国補助	3,745 千円	千円	千円	千円	千円
県補助	千円	千円	千円	千円	千円
起　債	千円	千円	千円	千円	千円
特　定	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	6,602 千円	2,856 千円	2,856 千円	2,856 千円	2,856 千円
目標値 ①	95%	100%	100%	100%	100%
②	65%	70%	70%	70%	70%
③					
④					
⑤					
⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	学校図書充実事業	担当	総務学校教育課 学校教育係	整理番号	総学-3

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	2.将来を担う子どもたちが育つ魅力ある教育環境づくりを進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	10	項	1	目	2

指標		令和6年度目標値
①	年間貸出冊数/人(平均)	55冊
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

学校図書館の「読書センター」、「学習センター」及び「情報センター」としての機能を充実させ、児童生徒の豊かな心を育むための読書活動の推進と、学ぶ力に繋がる情報活用能力の育成を図る。

【事業概要】

各校に学校司書を配置し、「人のいる図書館」を実現する。
授業で使う本、楽しく読書できる本、心身の発達に資する本等、様々な観点から図書を選書し、図書館を整備する。
〇学校司書配置　11名
〇図書購入
〇総合百科事典更新

2.令和　4　年度事業実績（Do）

学校司書配置（11校）
23,017千円
図書購入費
2,562千円
総合百科事典更新費
1,056千円
活動費
67千円

実績額	26,702 千円
財源内訳 国補助	千円
財源内訳 県補助	10,630 千円
財源内訳 起債	千円
財源内訳 特定	1,056 千円
財源内訳 一般財源	15,016 千円

実績値				
①	53.7冊	④		
②		⑤		
③		⑥		

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

図書館に人がいることで子どもたちの居場所として大きな役割を果たした。教科書の単元に沿ったテーマの関連本をそろえることで、より深い学習につなげることができた。多様なニーズを踏まえた選書や、総合百科事典の更新とともに、社会状況の変化や学問の進展により利用価値が低下した図書を廃棄し、図書館資料を適切に整備することができた。

【②.事業の課題】

図書館を活用した授業時数も増加傾向にあり、これまで以上に授業者・司書教諭・学校司書の連携の円滑化や、適正な役割分担が求められる。また、子どもの読書活動を更に推進するため、隠岐の島町図書館との連携を強化する必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

情報化社会において、これからの未来を生きていく児童生徒の情報活用能力の育成が大きな教育的課題であり、学校司書による図書館資料を用いた情報活用能力の育成支援が不可欠である。そのためには、専門性を有した学校司書を全校に配置する必要がある。また、子どもの主体性を引き出し、情報の取捨選択の力を向上させるために、多様なメディアの資料を揃えることが重要となってくる。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

・今後は、学校内外における連携・サポート体制を強化するとともに研修会等の機会を充実させ、さらに学校司書の専門性を向上させていく必要がある。
・図書資料のみではなく、新聞をはじめとした多様なメディアの資料を配備する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	学校図書充実事業	担当	総務学校教育課 学校教育係	整理番号	総学-3

5.年度別計画

	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	学校司書配置（11校） 25,510 千円 図書購入費 2,470 千円 活動費 123 千円 総合百科事典更新 264 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	学校司書配置（11校） 25,510 千円 図書購入費 2,600 千円 新聞配備費 87 千円 活動費 203 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	学校司書配置（11校） 25,510 千円 図書購入費 2,600 千円 新聞配備費 205 千円 活動費 203 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	学校司書配置（11校） 25,510 千円 図書購入費 2,600 千円 新聞配備費 205 千円 活動費 203 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	学校司書配置（11校） 25,510 千円 図書購入費 2,600 千円 新聞配備費 205 千円 活動費 203 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	28,367 千円	28,400 千円	28,518 千円	28,518 千円	28,518 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	11,065 千円	11,065 千円	11,065 千円	11,065 千円	11,065 千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	17,302 千円	17,335 千円	17,453 千円	17,453 千円	17,453 千円
目標値 ①	55冊	55冊	60冊	60冊	60冊
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	英語指導事業	担当	総務学校教育課 学校教育係	整理番号	総学-4

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	2.将来を担う子どもたちが育つ魅力ある教育環境づくりを進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	10	項	1	目	2

指標		令和6年度目標値
	①	
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

【事業目的】

ALT（外国語指導助手）を各小・中学校へ派遣し、児童生徒の英語教育充実と国際理解の推進を図る。また、地域における国際交流活動への協力を行うことで住民の国際理解を深める。

【事業概要】

〇ALTが小・中学校11校を巡回し、外国語の授業を補助する。
〇長期休業中は、英語キャンプや保育所訪問等の学校外での国際交流活動に参加するほか、研修参加により資質向上を図る。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

ALT配置　（３名）
9,310千円
ALT派遣・事務費
5,374千円

実績額		
	実績額	14,684 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	14,684 千円

実績値				
	①		④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和2年度以来、2年ぶりにALT3名体制となった。ALTが授業に参加することで児童生徒が生きた英語を学び、自然な英会話活動を体験することで、英語によるコミュニケーション能力の向上を図ることができた。特に小学校においては、ALTが授業の補助に入ることで、英語免許を持たない教員の負担や不安感を軽減することができた。

【②.事業の課題】

ALTの準備時間の確保や、教員とのコミュニケーションの支援を行い、ALTの負担増大を防ぎ、能力発揮を支援する必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

小中学校で外国語や外国文化に実際に触れ多様な文化を尊重する力を養うために、ALTの存在は非常に重要である。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

ALTの負担軽減を図るとともに、学校への訪問時数の拡充や、学校内外での国際交流活動の充実のため、ALTを1名増員し、4名体制にすることを検討する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	英語指導事業	担当	総務学校教育課 学校教育係	整理番号	総学-4

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	ＡＬＴ配置（３名） 11,525 千円 ＡＬＴ派遣・事務費 4,684 千円	ＡＬＴ配置（３名） 11,525 千円 ＡＬＴ派遣・事務費 4,684 千円	ＡＬＴ配置（４名） 15,366 千円 ＡＬＴ派遣・事務費 6,545 千円	ＡＬＴ配置（４名） 15,366 千円 ＡＬＴ派遣・事務費 6,545 千円	ＡＬＴ配置（４名） 15,366 千円 ＡＬＴ派遣・事務費 6,545 千円
事業費	16,209 千円	16,209 千円	21,911 千円	21,911 千円	21,911 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	16,209 千円	16,209 千円	21,911 千円	21,911 千円	21,911 千円
目標値 ①～⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	特別支援教育事業	担当	総務学校教育課 学校教育係	整理番号	総学-5

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	2.将来を担う子どもたちが育つ魅力ある教育環境づくりを進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	10	項	1	目	2

指標		令和6年度目標値
①	特別な支援のための支援員の充足率	100%
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

児童生徒の特性を理解し、一人一人の教育的ニーズに合わせた支援を行うことで、生活や学習上の困難を改善または克服することを目的とする。

【事業概要】

教育・保健・福祉の関係部局・関係機関と連携した相談体制を整備し、障がいのある子どもとその保護者に対し、乳幼児期から中学校卒業まで一貫した支援を行う。
○特別な支援のための支援員配置（小・中学校15名）
○特別支援教育コーディネーター配置（1名）
○隠岐の島町相談支援チーム活動事業
○隠岐教育支援委員会活動事業
○その他特別支援教育事業

2.令和　4　年度事業実績（Do）

○特別な支援のための支援員
配置
小・中学校　計21名配置
24,533千円
○特別支援コーディネーター
配置
教育委員会内　1名配置
2,610千円
○隠岐の島町相談支援チーム
活動事業（発達検査の実施等）
相談件数　63件
84千円
○隠岐教育支援委員会活動事業
（就学相談等）
相談件数　29件
127千円
○その他特別支援教育事業
297千円

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

支援を必要とする児童生徒を支援することで、当該児童生徒が学級の中で不安なく生活し、学習へも意欲的に取り組む姿勢が見られた。また、特別支援教育コーディネーターが、保健師や隠岐養護学校と連携しながら保育所訪問等の活動を行うことで、早期の気付き、保護者や保育士への適切な支援や、指導助言を行うことができた。

【②.事業の課題】

相談支援チームへの相談件数は年々増えており、保護者や教職員の特別支援教育への理解関心の深まりが見られるが、相談支援活動に対応するスタッフの人数は限られており、対応に苦慮している。特別支援教育の体制について検討する必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

年々相談支援チームへ寄せられる相談件数は増加傾向にあり、支援を必要とする児童生徒は増えてきている。支援を必要とする幼児児童生徒に早期に気付き、的確な実態把握や適切な支援につなげることは必要不可欠である。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

支援員の確保が難しい状況にあるため、常に人員確保の情報収集に努め、迅速に対応できる体制をつくる。
また、相談件数の増加に伴い、特別支援教育に係る業務量が増大していることから、相談案件に迅速に対応していくために、人員配置の検討や、特別支援教育に係る新たな組織づくりも検討していく。

実績額		27,651 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	57 千円
	一般財源	27,594 千円

実績値				
	①	100%	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	特別支援教育事業	担当	総務学校教育課 学校教育係	整理番号	総学-5

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	支援員配置（15名） 21,379 千円 コーディネーター配置（1名） 2,802 千円 千円 相談支援チーム活動事業 38 千円 教育支援委員会活動事業 159 千円 その他特別支援教育事業 549 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	支援員配置（15名） 21,379 千円 コーディネーター配置（1名） 2,802 千円 千円 相談支援チーム活動事業 38 千円 教育支援委員会活動事業 159 千円 その他特別支援教育事業 549 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	支援員配置（15名） 21,379 千円 コーディネーター配置（1名） 2,802 千円 指導主事の配置 1,987 千円 相談支援チーム活動事業 38 千円 教育支援委員会活動事業 159 千円 その他特別支援教育事業 549 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	支援員配置（15名） 21,379 千円 コーディネーター配置（1名） 2,802 千円 指導主事の配置 1,987 千円 相談支援チーム活動事業 38 千円 教育支援委員会活動事業 159 千円 その他特別支援教育事業 549 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	支援員配置（15名） 21,379 千円 コーディネーター配置（1名） 2,802 千円 指導主事の配置 1,987 千円 相談支援チーム活動事業 38 千円 教育支援委員会活動事業 159 千円 その他特別支援教育事業 549 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	24,927 千円	24,927 千円	26,914 千円	26,914 千円	26,914 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	55 千円	55 千円	55 千円	55 千円	55 千円
財源内訳 一般財源	24,872 千円	24,872 千円	26,859 千円	26,859 千円	26,859 千円
目標値 ①	100%	100%	100%	100%	100%
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	教育支援センター運営事業	担当	総務学校教育課 学校教育係	整理番号	総学-6

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	2.将来を担う子どもたちが育つ魅力ある教育環境づくりを進めます
重点施策	
関連計画	第2期しまね教育ビジョン21 国　教育支援センター整備指針（試案）

予算区分	一般会計	款	10	項	1	目	2

指標		令和6年度目標値
	①	
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

【事業目的】

長期間にわたり学校を欠席している児童生徒や、心に悩みを抱えている児童生徒に対して、個々の実態に合わせた支援を行うことで、学校復帰への支援を行い、不登校課題の解消を目指す。

【事業概要】

不登校児童生徒の自立を促進し、集団への適応支援並びに学習支援等を行う。また、不登校児童生徒及び保護者との教育及び生活習慣の改善等の相談・支援をするとともに、学校、保護者及び関係機関との連携を図る。

【教育支援センター】

開設期間　毎週月曜日～金曜日　9時～16時
（但し、祝日及び学校管理規則に規定する休業日を除く）

内容　体験活動、教育相談、学習支援

2.令和　4　年度事業実績（Do）

通所者　延べ148人／年

教育支援センター運営事業

・支援員配置　3,537千円
・活動費　29千円
・施設運営費　74千円

実績額		3,640 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	3,640 千円

実績値				
	①		④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

保護者からの悩み相談をきっかけに、学校やスクールソーシャルワーカーと連携し、不登校児童生徒の通室となり、不登校児童生徒支援への一助となった。学校と定期的に情報交換を行い、関係者との情報共有が図れることで、当該児童生徒の実態に合った支援を行うことができた。

【②.事業の課題】

教育支援センターを利用するにあたり、送迎が難しい家庭の対応について検討する必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

不登校児童生徒の学校登校や社会的自立を目指すためには、心のエネルギーを蓄える等、不登校児童生徒の居場所として教育支援センターは不可欠である。
悩みを抱えた児童生徒等に対して、個々の実態に合わせた支援が行えるよう、学校等関係者と連携し、支援していく。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

不登校課題を解消するため、学校及び保護者へ教育支援センターの活動内容について継続的に周知していく。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	教育支援センター運営事業	担当	総務学校教育課 学校教育係	整理番号	総学-6

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	支援員配置（３名） 3,781 千円 体験活動費 30 千円 施設運営費 200 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	支援員配置（３名） 3,781 千円 体験活動費 30 千円 施設運営費 200 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	支援員配置（３名） 3,781 千円 体験活動費 30 千円 施設運営費 200 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	支援員配置（３名） 3,781 千円 体験活動費 30 千円 施設運営費 200 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	支援員配置（３名） 3,781 千円 体験活動費 30 千円 施設運営費 200 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	4,011 千円	4,011 千円	4,011 千円	4,011 千円	4,011 千円
財源内訳	国補助　千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　千円 一般財源　4,011 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　千円 一般財源　4,011 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　千円 一般財源　4,011 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　千円 一般財源　4,011 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　千円 一般財源　4,011 千円
目標値	①　④ ②　⑤ ③　⑥	①　④ ②　⑤ ③　⑥	①　④ ②　⑤ ③　⑥	①　④ ②　⑤ ③　⑥	①　④ ②　⑤ ③　⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	高校魅力化事業	担当	総務学校教育課 総務係	整理番号	総学-7

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	2.将来を担う子どもたちが育つ魅力ある教育環境づくりを進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	10	項	1	目	2

指標		令和6年度目標値
①	島内高等学校の入学希望者数（KPI）	153/170人
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

県立高校の魅力化による県外生徒確保、地元進学率の向上を図り、入学希望者数の増加を目指す。
また、隠岐養護学校においては、教育活動の情報発信や町内の企業や福祉事業所とつなぐなど、地域と学校をつなぐ役割を担ってもらってもらうため魅力化コーディネーターを配置する。

【事業概要】

○魅力化コーディネーター設置
　隠岐高校1名　隠岐水産高校1名　隠岐養護学校1名
○県立高等学校魅力化事業補助金
　オープンスクール参加宿泊費補助　　学習支援補助
　高校寮費助成事業　　部活動遠征費補助　　研修旅行助成事業
○多世代対話型交流事業
　事務局員配置

2.令和　4　年度事業実績（Do）

高校魅力化コーディネーター配置（3名）　人件費：7,434千円
　活動費：310千円
・県外からの生徒誘致企画・実施
・関係機関との連絡調整
・新規事業の立案・実施
県立高等学校魅力化事業補助金
　オープンスクール参加費補助
　　隠岐高校：生徒24名
　　：保護者：20名
　　隠岐水産高校：生徒67名
　　：保護者65名
　　1,456千円
　学習支援補助(benesseclassi等)
　　隠岐高校：500千円
　高校寮費等助成事業
　　隠岐高校：12名
　　隠岐水産高校：70名
　　7,608千円
　部活動遠征費補助
　　隠岐高校：153名　412千円
　研修旅行助成事業
　　3,465千円
　高校生の地域留学（365留学）
　　隠岐高校：3名
　　2,452千円
多世代対話型交流事業事務局員配置（1名）　人件費：2,250千円
　活動費：57千円
事務費：99千円

実績額		25,932 千円
財源内訳	国補助	4,933 千円
	県補助	2,452 千円
	起債	13,600 千円
	特定	千円
	一般財源	4,947 千円

実績値				
	①	136/170人	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

各県立学校にコーディネーターを配置することにより、魅力化を推進し、県立高等学校魅力化事業補助金を交付することで町外生徒の確保に努めた。結果、入学希望者数は当初のほぼ目標どおりであり、隠岐高校20名、隠岐水産高校91名の町外生徒の受け入れに寄与している。

【②.事業の課題】

町内小中学校の児童生徒が減少している中、隠岐高校、隠岐水産高校の生徒数も大きな増加は見込めない状況にある。教育委員会以外の部署においても高校への支援や補助金があるが、十分な連携が取れていない。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

島内及び島外中学校からの入学者数を確保するためにも、保育所・小中学校・高校・地域が連携し取り組む必要があり、各種補助金や地域や関係機関との連携に重要な役割を果たすコーディネーターの配置を継続する必要がある。各県立学校にコーディネーターを配置しながら、連携・活動することで、これまで各学校でしかできなかった事業を、連携して実施することで町内の県立学校の魅力化を推進する。

【④.外部評価】　方向性：　手法・内容の見直し　　令和３年度評価済

島内高校への入学希望者数が目標人数を上回っていることは評価できます。しかし、本事業は将来的な定住人口に繋がる可能性があることからも、どの高校でも今以上の取り組みを行なっていく必要があると感じます。島内・島外生徒は勿論のこと、保護者、地域にとっても魅力と感じる「高校の魅力」について、事業内容だけでなく、実施方法やPR方法も含め、今一度見直して頂きたいです。特に、普通高校の隠岐高校では、島内・島外生徒が入学したいと思うような、大胆な企画、カリキュラムの変更などを行なうことも必要と感じます。

4.改善・見直し（Action）

現在実施している事業について、より効果的に事業実施ができるよう各県立学校と連携を密にする。また、町の各担当課と関係する事業について調整する。
3名体制となったコーディネーターを各学校の担当として配置するが、引き続きコーディネーターが学校の垣根を超えて活動することで、これまで各学校でしかできなかった事業を、連携して実施することで町内の県立学校の魅力化を推進する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	高校魅力化事業	担当	総務学校教育課 総務係	整理番号	総学-7

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	魅力化コーディネーター配置（3名） ・県外からの生徒誘致企画・実施 ・関係機関との連絡調整 ・新規事業の立案・実施 8,349 千円 交流学習事業事務員（1名） 2,515 千円 県立学校補助金 20,909 千円	魅力化コーディネーター配置（3名） ・県外からの生徒誘致企画・実施 ・関係機関との連絡調整 ・新規事業の立案・実施 8,349 千円 交流学習事業事務員（1名） 2,515 千円 県立学校補助金 20,909 千円	魅力化コーディネーター配置（3名） ・県外からの生徒誘致企画・実施 ・関係機関との連絡調整 ・新規事業の立案・実施 8,349 千円 交流学習事業事務員（1名） 2,515 千円 県立学校補助金 20,909 千円	魅力化コーディネーター配置（3名） ・県外からの生徒誘致企画・実施 ・関係機関との連絡調整 ・新規事業の立案・実施 8,349 千円 交流学習事業事務員（1名） 2,515 千円 県立学校補助金 20,909 千円	魅力化コーディネーター配置（3名） ・県外からの生徒誘致企画・実施 ・関係機関との連絡調整 ・新規事業の立案・実施 8,349 千円 交流学習事業事務員（1名） 2,515 千円 県立学校補助金 20,909 千円
事業費	31,773 千円	31,773 千円	31,773 千円	31,773 千円	31,773 千円
財源内訳 国補助	5,105 千円	5,105 千円	5,105 千円	5,105 千円	5,105 千円
財源内訳 県補助	4,000 千円	4,000 千円	4,000 千円	4,000 千円	4,000 千円
財源内訳 起債	16,800 千円	16,800 千円	16,800 千円	16,800 千円	16,800 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	5,868 千円	5,868 千円	5,868 千円	5,868 千円	5,868 千円
目標値 ①	147/170人	153/170人	160/170人	168/170人	170/170人
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	教育情報化推進事業	担当	総務学校教育課 学校教育係	整理番号	総学-8

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	2.将来を担う子どもたちが育つ魅力ある教育環境づくりを進めます
重点施策	
関連計画	隠岐の島町学校教育情報化推進計画

予算区分	一般会計	款	10	項	1	目	2

指標		令和6年度目標値
①	教育用パソコン、タブレット１台当たりの児童・生徒数（KPI）	1人/台(児童)・1人/台(生徒)
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

○ICT機器を有効活用し、個別最適な学びを実現し、児童生徒がより主体的に考え学習に参加できる教育を推進するために、必要となるICT機器及びネットワーク環境を整備する。

【事業概要】

○全校に高速・大容量の無線LANを整備する。
○タブレット端末等の機器を整備し、端末の管理体制も整える。
令和６年度より教育情報機器整備事業の内容を本事業に移管(統合)する。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

実施無し

実績額		千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	1人/台(児童)・1人/台(生徒)	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和2年度に、体育館を除き、校内無線LAN整備が完了している。
令和４年度で全児童生徒及び教職員へのタブレット端末整備が完了した。

【②.事業の課題】

技術の変革に合わせ、ネットワークの構築方法を定期的に見直す必要がある。
令和８年度以降タブレット端末の更新を行っていく必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

教科の学習内容や学習対象に対して関心を持ち、進んでそれらを調べようとしたりするといった興味や関心を高めるためにICTが活用できる。指導の改善、学力向上のためには、日常的にICTを活用して指導できる環境を整えることが重要であり、タブレット端末等機器整備（端末管理含む）及びネットワーク環境を整備することが必要である。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

ICT技術は向上し続けており、情報セキュリティ確保に係るの考え方も変化し続けている。今日の常識が5年後も通用するとは限らないため、時代の変化に合わせて適切にネットワークを運用する必要がある。
授業における体育館での無線LANの必要性が高まっているため、拡張整備を実施する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	教育情報化推進事業	担当	総務学校教育課 学校教育係	整理番号	総学-8

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	体育館無線LAN工事（中学校） 4,188 千円	体育館無線LAN工事（小学校） 7,854 千円	モバイル端末一括管理システム更新 6,625 千円	タブレット端末更新（小学校） 36,000 千円	タブレット端末更新（中学校） 18,000 千円
	千円	タブレットペン購入 855 千円	千円	千円	ネットワーク機器更新 8,000 千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	4,188 千円	8,709 千円	6,625 千円	36,000 千円	26,000 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	4,100 千円	7,800 千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	88 千円	909 千円	6,625 千円	36,000 千円	26,000 千円
目標値 ①（1人/台(児童)・1人/台(生徒)）					
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	教育情報機器整備事業	担当	総務学校教育課 学校教育係	整理番号	総学-9

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	2.将来を担う子どもたちが育つ魅力ある教育環境づくりを進めます
重点施策	
関連計画	隠岐の島町学校教育情報化推進計画

予算区分	一般会計	款	10	項	1	目	2

指標		令和6年度目標値
①	教育用パソコン、タブレット１台当たりの児童・生徒数（KPI）	1人/台(児童)・1人/台(生徒)
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

○ICT機器を有効活用し、個別最適な学びを実現し、児童生徒がより主体的に考え学習に参加できる教育を推進するために、必要となるICT機器を整備する。

【事業概要】

○タブレット端末や大型提示装置など整備をする。
大型提示装置整備計画（65型TV：41台）（50型TV：10台）
令和5年度
西郷小学校(13台) 中条小学校(6台) 有木小学校(4台) 磯小学校(9台)
北小学校(4台) 五箇小学校(2台) 都万小学校(2台) 西郷中学校(4台)
西郷南中学校(3台) 五箇中学校(2台) 都万中学校(2台)

※令和6年度以降は教育情報化推進事業と統合する

2.令和　4　年度事業実績（Do）

タブレット端末整備
43,117千円
タブレットペン整備
3,521千円

実績額		46,638 千円
財源内訳	国補助	652 千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	45,986 千円

実績値				
	①	1人/台(児童)・1人/台(生徒)	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和４年度で全児童生徒及び教職員へのタブレット端末整備が完了した。

【②.事業の課題】

1人1台端末が整備されたが大型提示装置が必要な教室が多数あるため、ICT教育を効果的に行うため早急に整備する必要がある。
また、令和８年度以降タブレット端末の更新を行っていく必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

教科の学習内容や学習対象に対して関心を持ち、進んでそれらを調べようとしたりするといった興味や関心を高めるためにICTが活用できる。指導の改善、学力向上のためには、日常的にICTを活用して指導できる環境を整えることが重要である。「主体的・対話的で深い学び」を実現するためには、タブレット端末と大型提示装置を組み合わせて有効に活用することが重要である。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

大型提示装置等の周辺機器の整備を推進する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	教育情報機器整備事業	担当	総務学校教育課 学校教育係	整理番号	総学-9

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	大型提示装置整備				
	13,924 千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	13,924 千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 国補助	6,962 千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	6,962 千円	千円	千円	千円	千円
目標値 ①	1人/台(児童)・1人/台(生徒)	1人/台(児童)・1人/台(生徒)	1人/台(児童)・1人/台(生徒)	1人/台(児童)・1人/台(生徒)	1人/台(児童)・1人/台(生徒)
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	魅力ある学校づくり事業	担当	総務学校教育課 学校教育係	整理番号	総学-10

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	2.将来を担う子どもたちが育つ魅力ある教育環境づくりを進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	10	項	1	目	2

指標		令和6年度目標値
①	ふるさと教育の授業時数（KPI）	各学級35時間以上/年
②	学校での地域人材活用数（KPI）	1,680人/年
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

教育の質の向上、各種支援による保護者負担の軽減を図り、魅力ある教育環境を推進する。

【事業概要】

○複式教育推進事業
○中学校部活動等各種大会参加費補助事業（10/10）
○修学旅行費補助事業（対象経費の1/2、上限額あり）

2.令和　4　年度事業実績（Do）

複式教育推進事業
　非常勤講師配置
　小学校　計4名配置
　12,644千円

中学校部活動等各種大会参加費補助事業
　15,227千円

修学旅行費補助事業
　小学校　3,185千円
　中学校　6,151千円

実績額		37,207 千円
財源内訳	国補助	1,467 千円
	県補助	千円
	起債	15,200 千円
	特定	千円
	一般財源	20,540 千円

実績値				
	①	各学級35時間以上/年	④	
	②	2,265人/年	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

複式教育推進事業では、小学校4校について4名の非常勤講師を配置した。学校に非常勤講師を配置することで、複式学級担任教員の負担軽減が図れ、子どもたちに魅力ある教育環境を提供することができた。地域と連携した活動を推進し、複式教育の充実を図ることができた。また、部活動の各種大会参加に係る旅費や修学旅行費の補助により、保護者の負担軽減が図られた。

【②.事業の課題】

複式教育推進事業においては、全国的な教職員不足による安定的な人材確保が課題である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

児童生徒数が年々減少している中、小中学校では、少人数でも魅力的な教育環境のもとで学習できるよう魅力ある学校づくりを目指す。このためには保育所・小学校・中学校・高校・地域が連携し取り組む必要がある。また、将来の隠岐の島町を担う子どもたちの育成のため、保護者の負担軽減を図る事業の継続は強く望まれている。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　令和４年度評価済

児童数の減少に伴い複式学級が増えている中で、非常勤講師の人員を確保し、配置できたことは評価します。教員が余裕をもって教育に専念し、子どもたちが主体的に学び、地域に根差した質の高い教育を実現できるよう努めて下さい。魅力ある教育環境を提供できる人材を確保するため、有資格者との繋がりを保ち、先を見据えた対策をお願いします。また、市町村立学校に勤務する教員の働き方改革を実施することが、安定した人材確保に繋がるのではないでしょうか。部活動等各種大会参加費や修学旅行費の補助は、離島という環境において保護者の経済的負担軽減となっており、拡大も視野に継続して取組んで下さい。

4.改善・見直し（Action）

転出・転入等による在籍児童生徒数によって複式学級となる学級が毎年度変わるため、教員の配置に迅速に対応していけるよう、隠岐教育事務所と連携を図り、人材の確保に努める。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	魅力ある学校づくり事業	担当	総務学校教育課 学校教育係	整理番号	総学-10

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	複式教育推進非常勤講師配置（2名） 8,123 千円 中学校各種大会参加費補助金 10,000 千円 修学旅行費補助金 7,846 千円	複式教育推進非常勤講師配置（4名） 16,000 千円 中学校各種大会参加費補助金 10,000 千円 修学旅行費補助金 8,000 千円	複式教育推進非常勤講師配置（4名） 16,000 千円 中学校各種大会参加費補助金 10,000 千円 修学旅行費補助金 8,600 千円	複式教育推進非常勤講師配置（4名） 16,000 千円 中学校各種大会参加費補助金 10,000 千円 修学旅行費補助金 8,400 千円	複式教育推進非常勤講師配置（4名） 16,000 千円 中学校各種大会参加費補助金 10,000 千円 修学旅行費補助金 8,400 千円
事業費	25,969 千円	34,000 千円	34,600 千円	34,400 千円	34,400 千円
財源内訳 国補助	835 千円	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	15,134 千円	23,000 千円	23,600 千円	23,400 千円	23,400 千円
目標値 ①	各学級35時間以上/年	各学級35時間以上/年	各学級35時間以上/年	各学級35時間以上/年	各学級35時間以上/年
目標値 ②	1,500人/年	1,680人/年	1,680人/年	1,680人/年	1,680人/年
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	県立高校施設整備事業	担当	総務学校教育課 総務係	整理番号	総学-11

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	2.将来を担う子どもたちが育つ魅力ある教育環境づくりを進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	10	項	1	目	2

指標		令和6年度目標値
①	島内高等学校の入学希望者数（KPI）	153/170人
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

町外からの入学希望者が増加傾向の隠岐水産高校について、既存の県有寄宿舎に加え、離島留学学生寮を整備することにより町外からの受入を拡大させ、同高校の存続による「未来の海のスペシャリスト」が育つ魅力ある教育環境づくりを支援する。
また、定住人口の確保と関係人口の創出、地域活性化等を図る。

【事業概要】

離島留学学生寮整備事業
　建設地：隠岐水産高等学校敷地内
　構造：木造瓦葺き2階建て
　床面積：730.47㎡
　収容人数：30人
離島留学生共同下宿整備事業
　使用施設：隠岐の島町観光宿泊施設（シーサイドホテルMIYABI）
　収容人数：16人

2.令和　4　年度事業実績（Do）

離島留学学生寮整備事業
　地質調査委託業務　5,494千円

　基本・実施設計委託業務
　14,300千円
　（内、7,007千円は次年度に繰越）

　技術支援委託業務　7,150千円
　（全額を次年度に繰越）

　事務費　69千円

離島留学生共同下宿整備事業
　施設改修工事　9,864千円
　（食堂・舎監室・自転車庫等）

　ベッド・洗濯機・乾燥機等購入
　1,436千円

　机・椅子・収納庫等リース
　360千円

　その他消耗品等　44千円

実績額		
	実績額	38,717 千円
財源内訳	国補助	2,780 千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	35,937 千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	136/170人	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和6年10月の竣工を予定していたが、工程の精査により令和7年2月竣工予定とした。昨年度は設計業務に着手し、基本方針を定め、基本設計を策定するとともに建設予定地の地質調査を完了した。
また、学生寮供用開始までの間は本町観光宿泊施設を活用した離島留学生共同下宿施設を運営することとし、そのための施設改修、備品購入等を行い、令和5年4月から供用を開始している。

【②.事業の課題】

隠岐水産高校において、令和5年4月現在で町外の中学校出身の生徒は91人であり、既存の県有寄宿舎で受け入れている生徒以外の16人は本町観光宿泊施設を活用した離島留学生共同下宿施設で受け入れている状況にあり、早急な事業展開が求められている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

離島留学学生寮の来年度竣工を目指し、令和7年度から運用開始することとする。来年度までは町外からの入学生を離島留学生共同下宿施設において引き続き受入を行う。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　**令和５年度評価済**

島根県立隠岐水産高校は海洋国日本において担うべき役割は大きく、本町にこの学校がある意味は大きいと思います。島内外出身の生徒同士が、隠岐の島の魅力をそれぞれの目線で感じ、互いに刺激を与えあうことが、本町の将来の活性化に繋がるものと考えます。島外からの生徒が安心して生活できる学生寮を、早期に整備できるよう尽力して下さい。また、生徒の快適な住環境の確保のみならず、時代に合った多様性や利便性も考慮された施設となることを期待します。同じく、島根県立隠岐高等学校についても、島外からの留学生を増やせるよう、受け入れ態勢の充実を図って頂きたいです。また、両校の離島留学生を定住に繋げるための新たな取組が必要と考えます。

4.改善・見直し（Action）

令和7年4月の運営開始を目標に引き続き、円滑な事業推進に努める。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	県立高校施設整備事業	担当	総務学校教育課 総務係	整理番号	総学-11

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	離島留学学生寮整備事業 設計・建築工事・工事監理・技術支援	離島留学学生寮整備事業 設計・建築工事・工事監理・技術支援			
	91,100 千円	419,181 千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	91,100 千円	419,181 千円	千円	千円	千円
財源内訳 国補助	45,549 千円	209,589 千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	45,551 千円	209,592 千円	千円	千円	千円
目標値 ①	153/170人	153/170人			
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	小学校一般管理運営事業	担当	総務学校教育課 総務係	整理番号	総学-12

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	2.将来を担う子どもたちが育つ魅力ある教育環境づくりを進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	10	項	2	目	1

指標		令和6年度目標値
①	ふるさと教育の授業時数（KPI）	各学級35時間以上/年
②	学校での地域人材活用数（KPI）	1680人/年
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

町立小学校7校の健全な運営に必要な施設・機器等の維持管理やスクールバスの整備を行い、児童の安全安心で快適な教育環境を確保する。

【事業概要】

①公用車更新
②スクールバス更新
③災害防除
④下水道接続
⑤机椅子整備
⑥グラウンド整備
⑦学校施設の修繕

2.令和　4　年度事業実績（Do）

都万小学校ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ空洞調査業務
1,034千円

中条小学校修繕工事
1,276千円

磯小学校内昇降機修理工事
786千円

北小学校ブランコ設置工事
880千円

磯小学校放送室機器更新工事
748千円

都万小学校爆裂修繕工事
1,100千円

実績額		5,824 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	5,824 千円

実績値				
	①	各学級35時間以上/年	④	
	②	2,265人/年	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

軽量で丈夫な机・椅子への更新により、快適な学習環境整備に寄与している。空調整備は全ての教室で整備が終わり、今後は職員室・図書室等で耐用年数を経過した空調設備の更新を計画していく。施設を適正に維持管理することで、快適そして安全な教育環境の確保につながっている。

【②.事業の課題】

スクールバスは導入から15年を基準に更新しているが、走行距離や駐車環境が車体の状態に影響することを勘案したうえで更新を検討する必要がある。五箇小学校のグラウンドは経年により表土の流出が激しく、所々に底部の砕石が露出しているため、転倒時に怪我をする可能性が高まっている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

グラウンドは、凹凸部があれば真砂土の補充等で対応しているが、抜本的な対策が必要なため、計画を策定し順次機能回復を行う。また、冬季の暖房機を灯油ストーブからエアコンへとシフトしていくことも検討していく。その他、安全・安心な学校施設を維持していくため、今後も計画的に事業を実施する。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

スクールバスの整備について検討を行い、更新計画を修正する。学校施設暖房機の整備については、空調整備を進めたことで見直すこととする。令和4年度に修正した更新計画を基に事業を実施し、結果により適宜見直しを行う。
グラウンド整備工事中の体育活動や騒音の対策等について、設計段階における学校側との詳細な打ち合わせが必要となる。また、整備後の維持管理方法についても検討し、長寿命化を図っていく。

※グラウンド整備事業は令和5年度予算より本事業（小学校一般管理運営事業）に移管
※防災機能強化・照明LED化事業は令和5年度から小学校施設整備事業に移管

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	小学校一般管理運営事業	担当	総務学校教育課 総務係	整理番号	総学-12

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	小学校空調設備更新事業 3,000 千円 スクールバス更新 磯小学校　スクールバス2台 13,162 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 スクールバス更新 北小学校　スクールバス2台 15,626 千円 五箇小学校消防設備更新工事 2,750 千円 中条小学校校舎外部改修工事 1,555 千円 都万小学校ブランコ更新工事 1,012 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	小学校空調設備更新事業 3,000 千円 スクールバス更新 西郷小学校　スクールバス１台 都万小学校　スクールバス１台 15,000 千円 五箇小学校（設計） グラウンド　A＝4,676㎡ クレイ舗装、排水設備改修 3,000 千円 有木小学校下水道改修工事 10,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	小学校空調設備更新事業 3,000 千円 スクールバス更新 五箇小学校　スクールバス１台 都万小学校　スクールバス１台 15,000 千円 五箇小学校（工事） グラウンド　A＝4,676㎡ クレイ舗装、排水設備改修 25,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	小学校空調設備更新事業 3,000 千円 スクールバス更新 西郷小学校　スクールバス１台 都万小学校　スクールバス１台 15,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	16,162 千円	20,943 千円	31,000 千円	43,000 千円	18,000 千円
財源内訳 国補助	5,581 千円	5,707 千円	6,250 千円	6,250 千円	6,250 千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	10,500 千円	15,000 千円	24,700 千円	36,700 千円	11,700 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	81 千円	236 千円	50 千円	50 千円	50 千円
目標値 ①	各学級35時間以上/年	各学級35時間以上/年	各学級35時間以上/年	各学級35時間以上/年	各学級35時間以上/年
目標値 ②	1,500人/年	1,680人/年	1,680人/年	1,680人/年	1,680人/年
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	教育振興事業（小学校）	担当	総務学校教育課 学校教育係	整理番号	総学-13

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	2.将来を担う子どもたちが育つ魅力ある教育環境づくりを進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	10	項	2	目	2

指標		令和6年度目標値
①	教育用パソコン・タブレット１台当たりの児童・生徒数（KPI）	1人/台(児童)・1人/台(生徒)
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

○いじめ等生徒指導上の諸課題の早期発見や早期対応及び未然防止を図るとともに、学校生活への満足度を高める教育を推進する。
○ICT機器を有効活用した、個別最適な学びを実現し、児童生徒がより主体的に考え学習に参加できる教育を推進する。

【事業概要】

○アンケートを実施し、個人の状態、学級集団の状態、学級集団と個人との関係を把握し、いじめ被害を受けている可能性の高い児童生徒を見出すことや学級集団の状態を推測した上で、学校全体が共通指標をもって組織的に把握・分析し、対策的実践、実践の評価を行う。
○校務用パソコンを計画的に更新する。
○授業・学習支援ツールを整備する。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

いじめ対応支援事業
277千円
授業・学習支援ツール使用料
594千円

実績額	871 千円
財源内訳 国補助	千円
財源内訳 県補助	138 千円
財源内訳 起債	千円
財源内訳 特定	千円
財源内訳 一般財源	733 千円

実績値				
①	1人/台(児童)・1人/台(生徒)		④	
②			⑤	
③			⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

アンケート実施し客観的な指標を用いることで、教員の児童生徒に対する理解が正しいか確認することができた。授業・学習支援ツールを利用し、ICT教育の利活用に繋がった。

【②.事業の課題】

ICT機器やソフトウェアを有効活用するため、学校や民間事業者、外部有識者等と連携し、組織的に取組を推進する必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

いじめ等生徒指導上の諸課題の早期発見や早期対応及び未然防止を図るための方法としてアンケートは有効な手法の一つである。また、教科の学習内容や学習対象に対して関心を持ち、進んでそれらを調べようとしたりするといった興味や関心を高めるためにICTが活用できる。指導の改善、学力向上のためには、日常的にICTを活用して指導できる環境を整えることが重要である。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

○個別最適な学びを実現するため、授業・学習支援ツールの利用及び効果的な利活用を進める。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	教育振興事業（小学校）	担当	総務学校教育課 学校教育係	整理番号	総学-13

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	いじめ対応支援事業 301 千円 授業・学習支援ツール使用料 3,003 千円 校務用PC更新 4,295 千円 入学準備支援事業 2,045 千円	いじめ対応支援事業 301 千円 授業・学習支援ツール使用料 3,003 千円 校務用PC更新 4,854 千円 入学準備支援事業 1,933 千円	いじめ対応支援事業 301 千円 授業・学習支援ツール使用料 3,003 千円 校務用PC更新 4,854 千円 入学準備支援事業 1,933 千円	いじめ対応支援事業 301 千円 授業・学習支援ツール使用料 3,003 千円 校務用PC更新 4,854 千円 入学準備支援事業 1,933 千円	いじめ対応支援事業 301 千円 授業・学習支援ツール使用料 3,003 千円 校務用PC更新 4,854 千円 入学準備支援事業 1,933 千円
事業費	9,644 千円	10,091 千円	10,091 千円	10,091 千円	10,091 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	150 千円	150 千円	150 千円	150 千円	150 千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	9,494 千円	9,941 千円	9,941 千円	9,941 千円	9,941 千円
目標値 ①	1人/台(児童)・1人/台(生徒)	1人/台(児童)・1人/台(生徒)	1人/台(児童)・1人/台(生徒)	1人/台(児童)・1人/台(生徒)	1人/台(児童)・1人/台(生徒)
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	小学校大規模改修事業	担当	総務学校教育課 総務係	整理番号	総学-14

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	2.将来を担う子どもたちが育つ魅力ある教育環境づくりを進めます
重点施策	
関連計画	
予算区分	一般会計　款 10　項 2　目 3

指標		令和6年度目標値
①	ふるさと教育の授業時数（KPI）	各学級35時間以上/年
②	学校での地域人材活用数（KPI）	1,680人/年
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

学校施設個別施設計画（長寿命化計画）に基づき大規模改修を実施することで、児童の安全安心で快適な教育環境を確保する。

【事業概要】

町立小学校大規模改修（老朽）
　西郷小学校（校舎、体育館）

2.令和　4　年度事業実績（Do）

実績なし

実績額		千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	各学級35時間以上/年	④	
	②	2,265人/年	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

有木小学校の改修が令和2年度に事業完了している。

【②.事業の課題】

町立小学校は築30年以上の校舎・屋内運動場がほとんどであり、老朽化による雨漏りや塗装タイルの剥がれ落下等を起こしており、児童の安全な学習環境を確保する必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

児童の安全確保及び教育環境改善のため、学校施設個別施設計画に基づいた整備を行う。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

老朽化の著しい西郷小学校の大規模改修を検討していく。
校舎改修に伴う騒音の対策、及び児童の学習環境確保については設計段階より綿密な計画が必要となる。特に工法の選定、施工体制、仮設校舎の有無については学校側とも十分に協議し、工事を実施する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	小学校大規模改修事業	担当	総務学校教育課 総務係	整理番号	総学-14

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)			西郷小学校（設計） 校舎　A＝4,839㎡ 屋体　A＝1,280㎡	西郷小学校（1期工事） 校舎　A＝4,839㎡ 屋体　A＝1,280㎡	西郷小学校（2期工事） 校舎　A＝4,839㎡ 屋体　A＝1,280㎡
	千円	千円	55,255 千円	789,360 千円	789,360 千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	千円	千円	55,255 千円	789,360 千円	789,360 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	100,000 千円	100,000 千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	55,200 千円	689,300 千円	689,300 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	千円	千円	55 千円	60 千円	60 千円
目標値 ①	各学級35時間以上/年	各学級35時間以上/年	各学級35時間以上/年	各学級35時間以上/年	各学級35時間以上/年
目標値 ②	1,500人/年	1,680人/年	1,680人/年	1,680人/年	1,680人/年
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	小学校施設整備事業	担当	総務学校教育課 総務係	整理番号	総学-15

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	2.将来を担う子どもたちが育つ魅力ある教育環境づくりを進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	10	項	2	目	3

指標		令和6年度目標値
①	ふるさと教育の授業時数（KPI）	各学級35時間以上/年
②	学校での地域人材活用数（KPI）	1,680人/年
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

・児童の安全確保と学習環境の改善を目指す。
・小学校の教室・体育館照明のLED化。

【事業概要】

防災機能強化事業
　体育館照明LED化工事（設計含む）　磯・五箇小学校
照明LED化事業
　校舎照明LED化工事（設計含む）　五箇・都万・磯小学校

2.令和　4　年度事業実績（Do）

小学校トイレ洋式化工事設計業務
　磯小学校：495千円
　中条小学校：495千円

小学校トイレ洋式化工事
　磯小学校：4,675千円
　中条小学校：7,700千円

小学校空調整備工事
　北小学校：4,235千円
　西郷小学校：49,720千円

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

空調設備整備は普通教室・特別教室ともに終了している。体育館照明のLED化については、ほとんどの学校で整備は終了しているが、磯小学校・五箇小学校の整備を目指す。

【②.事業の課題】

現在、学校施設既存照明の蛍光灯、水銀灯の生産中止となっているものもあるため、対応が困難な状況となっている。計画的かつ早急にLED化を進める必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

安全・安心な学校施設を維持していくため、今後も計画的に事業を実施する。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

西郷小学校については、令和8年度より大規模改修工事を計画している。当該事業に併せ、照明LED化工事等施設整備事業については合理的に計画する。
その他の学校については、計画的に校舎照明のLED化工事を進めていく。

※学校環境改善交付金事業に係る事業は令和5年度予算より本事業（小学校施設整備事業）に移管

実績額		67,320 千円
財源内訳	国補助	12,918 千円
	県補助	千円
	起債	54,300 千円
	特定	千円
	一般財源	102 千円

実績値				
	①	各学級35時間以上/年	④	
	②	2,265人/年	⑤	
	③		⑥	

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	小学校施設整備事業	担当	総務学校教育課 総務係	整理番号	総学-15

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	防災機能強化事業 磯・五箇小学校体育館照明LED化工事	照明LED化事業 五箇小学校校舎照明LED化工事	照明LED化事業 都万小学校校舎照明LED化工事	照明LED化事業 磯小学校校舎照明LED化工事	
	32,500 千円	千円	千円	千円	千円
	千円	20,297 千円	21,000 千円	21,000 千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	32,500 千円	20,297 千円	21,000 千円	21,000 千円	千円
財源内訳 国補助	9,696 千円	6,765 千円	7,000 千円	7,000 千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	22,800 千円	13,500 千円	14,000 千円	14,000 千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	4 千円	32 千円	千円	千円	千円
目標値 ①	各学級35時間以上/年	各学級35時間以上/年	各学級35時間以上/年	各学級35時間以上/年	
目標値 ②	1,500人/年	1,680人/年	1,680人/年	1,680人/年	
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	中学校一般管理運営事業	担当	総務学校教育課 総務係	整理番号	総学-16

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	2.将来を担う子どもたちが育つ魅力ある教育環境づくりを進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	10	項	3	目	1

指標		令和6年度目標値
①	ふるさと教育の授業時数（KPI）	各学級35時間以上/年
②	学校での地域人材活用数（KPI）	1,680人/年
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

○町立中学校4校の健全な運営に必要な施設・機器等の維持管理やスクールバスを整備し、生徒の安全安心で快適な教育環境を確保する。
○各種検診事業等の学校保健事業を推進し、生徒の健康の保持増進を図り、心身の健全な成長や発達を支援する。

【事業概要】

①公用車更新
②スクールバス更新
③災害防除
④下水道接続
⑤机椅子整備
⑥グラウンド整備
⑦学校施設の修繕
⑧スクールトレーナー事業(運動器検診及び理学療法士の学校訪問による運動器疾患・障害に対する予防教育及び保健指導)

2.令和　4　年度事業実績（Do）

西郷中学校法面災害防除工事
38,375千円

西郷南中学校被服室ｴｱｺﾝ取付工事
1,297千円

西郷南中学校多目的室床面修繕工事
1,705千円

都万中学校設備時計修繕工事
869千円

西郷南中学校体育館雨漏り修繕工事
803千円

机椅子整備
　生徒用椅子購入事業
（中学校4校）　　6,020千円

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

軽量で丈夫な学習机・椅子への更新により、快適な学習環境に寄与している。空調整備は今年度の事業で全ての中学校の整備が完了する。今後は職員室・図書室等で耐用年数を経過した空調設備の更新を計画していく。冬季の暖房機を灯油ストーブからエアコンへとシフトしていくことも検討していく。施設を適正に維持管理することで、快適そして安全な教育環境の確保につながっている。

【②.事業の課題】

スクールバスは導入より15年を基準にして更新しているが、走行距離や駐車環境が車体の状態に影響することを勘案したうえで更新を検討する必要がある。また、生徒数の増減によるバスの乗車定員を考慮して、更新する必要がある。机・椅子の整備は令和5年度で普通教室分は完了する。令和6年度以降で音楽室・美術室などの特別教室の整備を計画する。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

冬季の暖房機を灯油ストーブからエアコンへとシフトしていくことも検討していく。その他、安全・安心な学校施設を維持していくため、今後も計画的に事業を実施する。
モデル事業や島根大学医学部の協力のもと実施していたスクールトレーナー事業について、令和６年度に認定制度化され実施にあたり経費がかかるが、事業化し継続して生徒の更なる健康保持を図る。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

スクールバス及び学校施設暖房機の整備について検討を行い、更新計画を修正する。令和4年度に修正した更新計画を基に事業を実施し、結果により適宜見直しを行う。
グラウンド整備工事中の体育活動や騒音の対策等について、設計段階における学校側との詳細な打ち合わせが必要となる。また、整備後の維持管理方法についても検討し、長寿命化を図っていく。
スクールトレーナーについては、適宜その効果等を検証し、事業の見直し・改善や継続について検討を行う。

※グラウンド整備事業は令和5年度予算より本事業（中学校一般管理運営事業）に移管
※照明LED化事業は令和5年度から中学校施設整備事業に移管

実績額		49,069 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	38,300 千円
	特定	6,020 千円
	一般財源	4,749 千円

実績値				
	①	各学級35時間以上/年	④	
	②	2,265人/年	⑤	
	③		⑥	

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	中学校一般管理運営事業	担当	総務学校教育課 総務係	整理番号	総学-16

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	机椅子整備（中学校　120組） 7,040 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 スクールバス更新 都万中学校　スクールバス1台 11,711 千円 中学校空調設備更新事業 3,140 千円 西郷中学校倉庫・手摺改修工事 1,000 千円 新）スクールトレーナー事業 648 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	机椅子整備（特別教室　110組） 6,000 千円 スクールバス更新 西郷中学校　スクールバス1台 西郷南中学校 スクールバス1台 15,000 千円 中学校空調設備更新事業 3,000 千円 都万中学校（設計） グラウンド　A＝6,800㎡ クレイ舗装、排水設備改修 2,772 千円 スクールトレーナー事業 648 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 スクールバス更新 西郷南中学校　スクールバス1台 五箇中学校　スクールバス1台 11,000 千円 中学校空調設備更新事業 3,000 千円 都万中学校（工事） グラウンド　A＝6,800㎡ クレイ舗装、排水設備改修 35,000 千円 スクールトレーナー事業 648 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 中学校空調設備更新事業 3,000 千円 千円 スクールトレーナー事業 648 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	7,040 千円	16,499 千円	27,420 千円	49,648 千円	3,648 千円
財源内訳	国補助　千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　7,040 千円 一般財源　千円	国補助　3,750 千円 県補助　千円 起　債　11,900 千円 特　定　千円 一般財源　849 千円	国補助　17,916 千円 県補助　千円 起　債　2,700 千円 特　定　6,000 千円 一般財源　804 千円	国補助　5,500 千円 県補助　千円 起　債　43,500 千円 特　定　千円 一般財源　648 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　3,000 千円 特　定　千円 一般財源　648 千円
目標値	①　②　1,500人/年　③　④　⑤　⑥	①　②　1,680人/年　③　④　⑤　⑥	①　②　1,680人/年　③　④　⑤　⑥	①　②　1,680人/年　③　④　⑤　⑥	①　②　1,680人/年　③　④　⑤　⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	教育振興事業（中学校）	担当	総務学校教育課 学校教育係	整理番号	総学-17

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	2.将来を担う子どもたちが育つ魅力ある教育環境づくりを進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	10	項	1	目	2

指標		令和6年度目標値
①	教育用パソコン、タブレット1台当たりの児童・生徒数（KPI）	1人/台(児童)・1人/台(生徒)
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

○いじめ等生徒指導上の諸課題の早期発見や早期対応及び未然防止を図るとともに、学校生活への満足度を高める教育を推進する。
○部活動において、地域連携を図り、効果的な活動の場を確保する。
○ICT機器を有効活用し、個別最適な学びを実現し、児童生徒がより主体的に考え学習に参加できる教育を推進する。

【事業概要】

○アンケートを実施し、個人の状態、学級集団の状態、学級集団と個人との関係を把握し、いじめ被害を受けている可能性の高い児童生徒を見出すことや学級集団の状態を推測した上で、学校全体が共通指標をもって組織的に把握・分析し、対策的実践、実践の評価を行う。
○部活動において、専門的な指導者がいない場合等に地域指導者等の人材を活用し、部活動の活動水準の維持・向上を図る。
○校務用パソコンを計画的に更新する。
○授業・学習支援ツールを整備する。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

いじめ対応支援事業
209千円
部活動地域指導者活用支援事業
120千円
授業・学習支援ツール使用料
1,202千円

実績額		1,531 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	173 千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	1,358 千円

実績値				
	①	1人/台(児童)・1人/台(生徒)	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

いじめ防止対策として、アンケート実施し客観的な指標を用いることで、教員の児童生徒に対する理解が正しいか確認することができた。部活動については、地域指導者を活用することで専門的な指導を実施し、顧問の教職員の負担軽減を図ることができた。ICT教育については、授業・学習支援ツールを利用し、ICT教育の利活用に繋がった。

【②.事業の課題】

部活動については、地域指導者の登用は継続してきているが、部活動指導員の配置には至っておらず、人材確保や規則整備等の取組を促進する必要がある。
ICT教育については、ICT機器やソフトウェアを有効活用するため、学校や民間事業者、外部有識者等と連携し、組織的に推進する必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

いじめ防止対策には、いじめ等生徒指導上の諸課題の早期発見や早期対応及び未然防止を図るための方法としてアンケートは有効な手法の一つである。部活動については、教職員の負担軽減の観点からも、部活動指導における地域との連携の重要性が大きい。ICT教育については、学習効果を高め、意欲的な学びを引き出すために、ソフトウェアの有効活用を図る。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

○個別最適な学びを実現するため、授業・学習支援ツールの利用及び効果的な利活用を進める。
○隠岐の島町における部活動の在り方について、国の方針・ガイドラインや県の動向を踏まえ、持続可能な地域との連携・協働体制づくりを検討する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	教育振興事業（中学校）	担当	総務学校教育課 学校教育係	整理番号	総学-17

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	いじめ対応支援事業 211 千円 部活動地域指導者活用支援事業 120 千円 授業・学習支援ツール使用料 1,826 千円	いじめ対応支援事業 211 千円 部活動地域指導者・部活動指導員活用支援事業 450 千円 授業・学習支援ツール使用料 1,826 千円	いじめ対応支援事業 211 千円 部活動地域指導者・部活動指導員活用支援事業 600 千円 授業・学習支援ツール使用料 1,826 千円	いじめ対応支援事業 211 千円 部活動地域指導者・部活動指導員活用支援事業 600 千円 授業・学習支援ツール使用料 1,826 千円	いじめ対応支援事業 211 千円 部活動地域指導者・部活動指導員活用支援事業 600 千円 授業・学習支援ツール使用料 1,826 千円
事業費	2,157 千円	2,487 千円	2,637 千円	2,637 千円	2,637 千円
財源内訳 国補助	千円	110 千円	160 千円	160 千円	160 千円
財源内訳 県補助	184 千円	294 千円	344 千円	344 千円	344 千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	1,973 千円	2,083 千円	2,133 千円	2,133 千円	2,133 千円
目標値 ①	1人/台(児童)・1人/台(生徒)	1人/台(児童)・1人/台(生徒)	1人/台(児童)・1人/台(生徒)	1人/台(児童)・1人/台(生徒)	1人/台(児童)・1人/台(生徒)
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	中学校大規模改修事業	担当	総務学校教育課 総務係	整理番号	総学-18

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	2.将来を担う子どもたちが育つ魅力ある教育環境づくりを進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	10	項	3	目	3

指標		令和6年度目標値
①	ふるさと教育の授業時数（KPI）	各学級35時間以上/年
②	学校での地域人材活用数（KPI）	1,680人/年
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

学校施設個別施設計画（長寿命化計画）に基づき大規模改修を実施することで、児童の安全安心で快適な教育環境を確保する。

【事業概要】

町立中学校大規模改造（老朽：予防改修）
　西郷南中学校（校舎・体育館・グラウンド）

2.令和　4　年度事業実績（Do）

実績なし

実績額		千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	各学級35時間以上/年	④	
	②	2,265人/年	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

新規事業

【②.事業の課題】

町立中学校は築30年以上の校舎・体育館が多く、老朽化による雨漏りや塗装タイルの剥がれ落下等を起こしており、生徒の安全な教育環境を確保する必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

生徒の安全確保及び教育環境改善のため、学校施設個別施設計画に基づいた整備を行う。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

令和5年度より西郷南中学校の大規模改修を行う。校舎改修に伴う騒音の対策、及び生徒の学習環境確保については設計段階より綿密な計画が必要となる。特に工法の選定、施工体制、仮設校舎の有無については学校側とも十分協議し、工事を行う。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	中学校大規模改修事業	担当	総務学校教育課 総務係	整理番号	総学-18

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	西郷南中学校（設計） 校舎　　A＝2,472㎡ 体育館　A＝861㎡	西郷南中学校（1期工事） 校舎　　A＝2,472㎡ 体育館　A＝861㎡	西郷南中学校（2期工事） 校舎　　A＝2,472㎡ 体育館　A＝861㎡ グラウンド　A=12,250㎡		
	4,598 千円	97,518 千円	244,980 千円	千円	千円
	千円	西郷南中学校グラウンド改造（設計） 2,351 千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	4,598 千円	99,869 千円	244,980 千円	千円	千円
財源内訳 国補助	1,532 千円	32,506 千円	66,660 千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	3,000 千円	67,200 千円	133,300 千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	66 千円	163 千円	45,020 千円	千円	千円
目標値 ①	各学級35時間以上/年	各学級35時間以上/年	各学級35時間以上/年		
目標値 ②	1,500人/年	1,680人/年	1,680人/年		
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	中学校施設整備事業	担当	総務学校教育課 総務係	整理番号	総学-19

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	2.将来を担う子どもたちが育つ魅力ある教育環境づくりを進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	10	項	3	目	3

指標		令和6年度目標値
①	ふるさと教育の授業時数（KPI）	各学級35時間以上/年
②	学校での地域人材活用数（KPI）	1,680人/年
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

・生徒の安全確保と学習環境の改善を目指す。
・中学校の特別教室への空調設備の整備。
・中学校の教室照明のLED化。

【事業概要】

空調設備整備事業
　キュービクル更新工事　　五箇、西郷中学校
　キュービクル改修工事　　都万、西郷南中学校
　空調設備整備工事　　五箇、都万、西郷、西郷南中学校
防災機能強化事業
　体育館照明LED化工事（設計含む）　五箇、都万中学校
照明LED化事業
　校舎照明LED化工事（設計含む）　西郷、五箇、都万中学校

2.令和　4　年度事業実績（Do）

中学校トイレ洋式化工事設計業務
　都万中学校：495千円
　西郷中学校：495千円

中学校トイレ洋式化工事
　都万中学校：11,220千円
　西郷中学校：5,610千円

中学校空調整備工事
　都万中学校：44,403千円
　五箇中学校：72,380千円

実績額		134,603 千円
財源内訳	国補助	29,017 千円
	県補助	千円
	起債	105,500 千円
	特定	千円
	一般財源	86 千円

実績値				
	①	各学級35時間以上/年	④	
	②	2,265人/年	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

普通教室の空調設備整備は終了している。特別教室の空調整備を目指す。体育館照明のLED化については、ほとんどの学校で整備は終了しているが、五箇中学校・都万中学校の整備を目指す。また、校舎照明のLED化を計画的に推進する。

【②.事業の課題】

学校教室内は30℃以上になることが多く、学習環境としては十分ではない状況である。温暖化傾向であることからも熱中症対策、学習環境改善のための冷房設備設置が求められている。現在、学校施設既存照明の蛍光灯、水銀灯の生産中止となっているものもあるため、対応が困難な状況となっている。計画的かつ早急にLED化を進める必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

中学校特別教室について計画的に空調設備を整備・更新していく。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

空調設備の整備と同時に、キュービクルの効率的な更新を行なう。西郷中学校・西郷南中学校のキュービクル更新・改修を含む空調整備で計画の最終年とする。
照明LED化について、西郷南中学校は令和5年度より大規模改修工事を計画しており、当該事業に併せ、照明LED化工事等施設整備事業について、合理的に計画する。
その他の学校については、計画的に体育館、校舎照明のLED化工事を進めていく。

※学校環境改善交付金事業に係る事業は令和5年度予算より本事業（中学校施設整備事業）に移管

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	中学校施設整備事業	担当	総務学校教育課 総務係	整理番号	総学-19

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	受電設備含む空調設備整備事業 西郷、西郷南中学校 137,169 千円 防災機能強化事業 五箇中学校体育館照明LED化工事 20,570 千円 校舎照明LED化事業 西郷中学校（設計、工事） 26,400 千円	千円 防災機能強化事業 都万中学校体育館照明LED化工事 24,696 千円 校舎照明LED化 五箇中学校（設計、工事） 26,697 千円	千円 千円 校舎照明LED化 都万中学校（設計、工事） 22,000 千円	千円 千円 千円	千円 千円 千円
事業費	184,139 千円	51,393 千円	22,000 千円	千円	千円
財源内訳 国補助	61,379 千円	17,129 千円	7,333 千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	122,700 千円	34,100 千円	13,200 千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	60 千円	164 千円	1,467 千円	千円	千円
目標値 ①	各学級35時間以上/年	各学級35時間以上/年	各学級35時間以上/年		
目標値 ②	1,500人/年	1,680人/年	1,680人/年		
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	学校給食センター管理運営事業	担当	総務学校教育課 給食センター	整理番号	総学-20 重複

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	2.将来を担う子どもたちが育つ魅力ある教育環境づくりを進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	10	項	5	目	3

指標		令和6年度目標値
①	ふるさと給食の実施数（KPI）	2回/年
②	学校給食における地産地消率（KPI）	20%（米以外）
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

安定した学校給食提供をおこなうため、衛生面を最大限に考慮した施設管理運営を目指す。
また子供たちに安全安心な給食を提供するため、施設環境整備及び食の安全確保に努める。

【事業概要】

厨房機器、配送車の計画的な更新をおこなう。その他のものについては現況を確認し、適宜更新していく。

1. 厨房機器等更新‥冷凍冷蔵庫、食器食缶消毒保管庫、炊飯システム蒸気回転釜、食器類等
2. 配送車更新･･･西郷小、有木小、南中行き１台
中条小、北小行き１台

2.令和　4　年度事業実績（Do）

厨房機器更新
食器洗浄機1台（更新）
4,928千円
ﾌｰﾄﾞｽﾗｲｻｰ1台（更新）
1,980千円
汁用椀（更新）
1,359千円

実績額		8,267 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	6,900 千円
	特定	千円
	一般財源	1,367 千円

実績値				
	①	1回/月	④	
	②	20%	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

機器を適宜更新することで、故障のリスクが減るとともに作業の効率が良くなっている。
また、異物混入のリスクも同時に減り、より安全安心な給食提供ができている。

【②.事業の課題】

現施設になってから既に20年あまりが経過し、施設・機器等の修繕が多くなってきている。
更新を適宜行なっているが、平成11年当初からの機器が多く残っているため、故障のリスクが高くなってきている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

機器等の状況を確認しながら、適切な更新を行なっていく。現場の関係者と充分に検討を重ねながら機器等を選定していく。
機器更新までは機器のメンテナンスに重点を置き、点検作業を十分に行う。
備品台帳を再度精査し、現状把握に努める。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

予防保全の実施に取り組み、突発故障の発生を低減させていく。
引き続き備品台帳、帳簿類等の整備を行っていく。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	学校給食センター管理運営事業	担当	総務学校教育課 給食センター	整理番号	総学-20 重複

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	千円 厨房機器等更新 食器消毒保管庫　2,101千円 蓄冷材凍結庫　1,157千円 3,258 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	設備等修繕 搬入口床補修工事 2,024 千円 厨房機器等更新 ﾌﾟﾚﾊﾌﾞ冷蔵庫用冷蔵ﾕﾆｯﾄ 909千円 冷凍庫　1,682千円 食器消毒保管庫　1,815千円 ご飯用皿　1,073千円 5,479 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	設備等修繕 トイレ洋式化工事 2,365 千円 厨房機器等更新 食器消毒保管庫　1,815千円 おかず･果物用皿　1,759千円 配送車　10,314千円 13,888 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 厨房機器等更新 電解水生成装置　1,406千円 食器消毒保管庫　1,815千円 縦型冷凍庫　1,711千円 蒸気回転釜　3,476千円 配膳トレイ　1,287千円 9,695 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 厨房機器等更新 食器消毒保管庫　1,815千円 自動反転ほぐし器　8,421千円 配送車　6,000千円 16,236 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	3,258 千円	7,503 千円	16,253 千円	9,695 千円	16,236 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	3,200 千円	6,300 千円	14,400 千円	8,300 千円	16,200 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	58 千円	1,203 千円	1,853 千円	1,395 千円	36 千円
目標値 ①	1回/月	2回/月	2回/月	2回/月	2回/月
目標値 ②	22%	22%	22%	22%	22%
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	学校給食調理事業	担当	総務学校教育課 給食センター	整理番号	総学-21 重複

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	2.将来を担う子どもたちが育つ魅力ある教育環境づくりを進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	10	項	5	目	3

指標		令和6年度目標値
①	ふるさと給食の実施数（KPI）	2回/年
②	学校給食における地産地消率（KPI）	20%（米以外）
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

成長期にある児童・生徒に栄養バランスのとれた給食を提供する。
子供たちの健康増進と体力の向上を図りながら健全な心身を育むために美味しく魅力ある給食を提供する。

【事業概要】

地元食材の活用を推進するとともに給食の質を落とすことなく、継続して提供していく。
子育て支援強化の一環として給食費の公費負担を継続し、保護者負担軽減を図っていく。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

食材費購入実績

主食	7,093千円
副食	56,951千円
牛乳	11,928千円
計	75,972千円

給食提供数

小学校	143,858食
中学校	68,949食
養護学校他	7,564食
計	220,371食

牛乳提供数

小学校	142,956個
中学校	68,949個
養護学校他	7,564個
計	

1日当たり給食提供数

小学校7校	741食
中学校4校	355食
養護学校1校	21食
その他	17食
計	1,134食

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和2年度から町の公費を投入することで食材費が高騰する中にあっても、給食献立を充実させることができ、質を落とすことなく例年通りの給食が提供できている。また、同時に給食費の保護者負担を軽減し、子育て支援策の一端を担っている。

【②.事業の課題】

食材費全般の価格高騰を見据えた際、給食の質を維持するためにメニューを工夫する必要がある。これまで以上に価格高騰が続く場合は、負担割合を検討する必要がある。また、給食で地場産物を取り入れるために、安定した食材量を確保していくことが課題となる。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

子育て支援に資するため、給食費の公費負担を継続していく。
野菜、魚介類等、様々な地元産食材を積極的に活用するため、関係機関との連携を密にし、安定した食材確保に努めていく。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

引き続き新たな生産者（食材提供者）獲得のため、関係機関と連携し情報を得ていく。
また同時に安定した食材量を確保するよう必要食材量を提示するとともに、年間を通した供給体制の確立に向けて協力していく。

実績額		75,972 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	46,145 千円
	一般財源	29,827 千円

実績値				
	①	1回/月	④	
	②	20%	⑤	
	③		⑥	

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	学校給食調理事業	担当	総務学校教育課 給食センター	整理番号	総学-21 重複

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	賄材料費 81,362 千円 年間234千食提供 地産地消率（地元産野菜）22% 年間21,000kg中 4,620kg使用	賄材料費 81,862 千円 年間234千食提供 地産地消率（地元産野菜）22% 年間21,000kg中 4,620kg使用	賄材料費 82,362 千円 年間234千食提供 地産地消率（地元産野菜）22% 年間21,000kg中 4,620kg使用	賄材料費 82,862 千円 年間234千食提供 地産地消率（地元産野菜）22% 年間21,000kg中 4,620kg使用	賄材料費 83,362 千円 年間234千食提供 地産地消率（地元産野菜）22% 年間21,000kg中 4,620kg使用
事業費	81,362 千円	81,862 千円	82,362 千円	82,862 千円	83,362 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	63,879 千円	63,879 千円	63,879 千円	63,879 千円	63,879 千円
財源内訳 一般財源	17,483 千円	17,983 千円	18,483 千円	18,983 千円	19,483 千円
目標値 ①	1回/月	2回/月	2回/月	2回/月	2回/月
目標値 ②	22%	22%	22%	22%	22%
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	社会教育事業	担当	社会教育課 社会教育係	整理番号	社-1 （重複）

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	2.将来を担う子どもたちが育つ魅力ある教育環境づくりを進めます
重点施策	
関連計画	隠岐の島町社会教育基本計画

予算区分	一般会計	款	10	項	4	目	1

指標		令和6年度目標値
①	人権・同和教育研修会等の開催数と参加者数（KPI）	年2回400人
②	ふるさと教育の授業時数（KPI）	各学級35時間以上/年
③	放課後子ども教室開催回数(KPI)	420回/年
④	学校での地域人材活用数（KPI）	1,680人/年
⑤	家庭教育研修会（親学プログラム等）の実施回数（KPI）	15回/年
⑥		

【事業目的】

地域住民同士が学び合い、共に活動し合う相互学習活動により、教養の向上、健康の増進等を図るとともに、人と人との絆を深め、様々な地域の課題に向き合う力を育む。社会教育事業は、こうした学習活動が活発に行われるよう、その環境づくりを支援する。

【事業概要】

人権尊重を基盤とし、「教育の魅力」が「地域の魅力」につながるよう、学校、家庭、地域及び行政が連携協力し、地域全体で子どもたちの豊かで健やかな心身を育む体制づくりを支援する。また、本町の豊かな自然環境や歴史文化を有効に活用し、ふるさとに愛着と誇りをもつ子どもたちの育成を図る。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

◆社会教育事業　465千円
○全国大会出場事業補助金
団体数：4団体　申請数：8回
補助額：465千円
◆青少年育成事業　4,940千円
○がんばれ島のキッズ島外遠征費補助事業
利用者延べ人数
小学生：1,056人
中学生：490人　指導者：241人
◆結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業　3,027千円
○家庭教育支援事業
実施回数：9回
親学人材活用数：39人
○地域学校協働活動支援事業
コーディネーター活用数：212人
学校サポーター活動数：513人
講師・ボランティア：928人
放課後サポーター：890人
○放課後子ども教室（7地区）
開催総日数：248日
参加児童延人数：4,814人
◆ふるさと教育推進事業　919千円
各学級35時間以上/年
◆成人教育事業　100千円
○人権教育研修会
実施回数：3回　参加者数：101人

実績額		9,451 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	2,936 千円
	起債	4,900 千円
	特定	千円
	一般財源	1,615 千円

実績値				
	①	年3回101人	④	2,265人/年
	②	各学級35時間以上/年	⑤	9回/年
	③	248回/年	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

社会教育の基盤となる人権教育では人権課題として「発達障がい」に焦点をあて、地域・家庭・学校現場など様々な場面で発達障がいへの理解を深まるよう、研修会を開催した。結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業や青少年育成事業（がんばれ島のキッズ島外遠征費補助金）等の推進により、児童生徒の教育活動の推進を図った。

【②.事業の課題】

地域全体で子どもたちの豊かで健やかな心身を育む事業を推進するため、子どもの体験活動における指導者や「結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業」における放課後サポーター等地域人材の確保と育成を行うなど推進体制の充実が必要となっている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

町民の方々が学習活動や体験活動、スポーツ・文化芸術活動などに親しみながら、生き生きと心豊かに暮らせる地域づくりが活発に行われるよう、その環境づくりを支援する大きな役割を担うことから今後も更なる事業の推進が必要である。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　**令和３年度評価済**

社会教育事業の重要性は益々高まっており、地域での学習活動や活発なスポーツ活動に一定の成果を得られていると感じます。
特に島のキッズ島外遠征費助成事業によって、児童生徒の活発な活動が推進されたことは評価できます。また、本土との格差をなくすことで子育て世帯の経済的負担が軽減されています。今後計画しているという指導者研修等を実施することで、児童生徒の活動が一層活性化することを期待します。

4.改善・見直し（Action）

がんばれ島のキッズ島外遠征費補助金では、令和4年度から指導者の渡航費を補助対象とし、児童生徒の一層の活動機会の充実を図った。また、地域における人と人とのつながりづくりの推進や青少年活動の指導者を育成する講習会などにより、人材確保と育成に努める。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	社会教育事業	担当	社会教育課 社会教育係	整理番号	社-1 （重複）

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	青少年育成事業 ・がんばれ島のキッズ島外遠征費補助（児童・生徒約1,240名/指導者約370名） 4,500 千円 結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業 4,311 千円 ふるさと教育推進事業 935 千円 社会教育事業 ・全国大会出場事業補助金 650 千円 成人教育事業 ・PTA連合会、人権同和教育推進会議補助金 200 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	青少年育成事業 ・がんばれ島のキッズ島外遠征費補助（児童・生徒約1,240名/指導者約370名） 4,500 千円 結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業 4,311 千円 ふるさと教育推進事業 935 千円 社会教育事業 ・全国大会出場事業補助金 650 千円 成人教育事業 ・PTA連合会、人権同和教育推進会議補助金 295 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	青少年育成事業 ・がんばれ島のキッズ島外遠征費補助（児童・生徒約1,240名/指導者約370名） 4,500 千円 結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業 4,311 千円 ふるさと教育推進事業 935 千円 社会教育事業 ・全国大会出場事業補助金 650 千円 成人教育事業 ・PTA連合会、人権同和教育推進会議補助金 295 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	青少年育成事業 ・がんばれ島のキッズ島外遠征費補助（児童・生徒約1,240名/指導者約370名） 4,500 千円 結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業 4,311 千円 ふるさと教育推進事業 935 千円 社会教育事業 ・全国大会出場事業補助金 650 千円 成人教育事業 ・PTA連合会、人権同和教育推進会議補助金 295 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	青少年育成事業 ・がんばれ島のキッズ島外遠征費補助（児童・生徒約1,240名/指導者約370名） 4,500 千円 結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業 4,311 千円 ふるさと教育推進事業 935 千円 社会教育事業 ・全国大会出場事業補助金 650 千円 成人教育事業 ・PTA連合会、人権同和教育推進会議補助金 295 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	10,596 千円	10,691 千円	10,691 千円	10,691 千円	10,691 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	3,804 千円	3,804 千円	3,804 千円	3,804 千円	3,804 千円
財源内訳 起債	5,100 千円	5,100 千円	5,100 千円	5,100 千円	5,100 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	1,692 千円	1,787 千円	1,787 千円	1,787 千円	1,787 千円
目標値 ①	年2回390人	年2回400人	年2回400人	年2回400人	年2回400人
目標値 ②	各学級35時間以上/年	各学級35時間以上/年	各学級35時間以上/年	各学級35時間以上/年	各学級35時間以上/年
目標値 ③	420回/年	420回/年	420回/年	420回/年	420回/年
目標値 ④	1,500人/年	1,680人/年	1,680人/年	1,680人/年	1,680人/年
目標値 ⑤	14回/年	15回/年	15回/年	15回/年	15回/年
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	男女共同参画事業	担当	地域振興課 政策企画係	整理番号	地-2

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	3.互いに認め合い、誰もが生きがいをもって活躍できるまちをつくります
重点施策	
関連計画	第4次隠岐の島町男女共同参画計画

予算区分	一般会計	款	2	項	1	目	4

指標		令和6年度目標値
①	審議会等への女性委員の登用率（KPI）	30%
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

男女が互いに人権を尊重し、社会の対等な構成員として、自らの意思によってあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、共に責任を担う男女共同参画社会の実現を目指す。
男女が社会の対等な構成員として、互いの人権を尊重し、あらゆる分野における活動へ参画する機会を創出する。

【事業概要】

各種審議会等へ女性の参画を推進するとともに、町民の男女共同参画意識の形成に向けた啓発等の取組を行う。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

広報紙やﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ等による啓発
・第4次男女共同参画計画
　周知：1件
・男女共同参画週間周知：1件
・DVに関する人権教室の紹介：1件

実績額		千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	千円

実績値				
①	22.30%	④		
②		⑤		
③		⑥		

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

町のﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞやお知らせ便等にて、第4次隠岐の島町男女共同参画計画や国の男女共同参画週間の周知を図ることで、男女共同参画社会の形成に向けた意識の醸成を図った。町の各種審議会等における女性委員の参画率については、上昇傾向ではあるが目標値（KPI）への到達には至っていない。

【②.事業の課題】

町の各種審議会等における女性委員の参画率は年々上昇しているものの、全体的に依然として成り手不足の状況が続いている。また、県等が実施している女性活躍や子育て応援に資する職場環境整備や人材育成事業の本町企業等の活用事例が少ない状況にある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

少子・高齢化、高度情報化の進展、家族形態の多様化、地域社会の変化等により、価値観や生活様式が目まぐるしく変わる中、男女が互いの人権を尊重しつつ責任を分かち合い、あらゆる分野で活躍できる男女共同参画社会の実現が必要である。引き続き、各種制度、事業の啓発を行うと共に、第4次男女共同参画計画に基づき、役場関係各課連携による啓発・教育・相談体制の充実の一体的推進を図る。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　**令和４年度評価済**

　昨今の情勢を鑑み、男女共同参画の推進は必要な取組みであると認識しています。しかし、ホームページや広報誌等での啓発の効果はどの程度あるのでしょうか。啓発方法や内容を見直し、より効果的な方策が必要であると考えます。行政はもとより、民間企業や地域の活動等においても、性別に関係なく人々が能力を発揮できる機会を設けることができる仕組づくりが必要ではないでしょうか。
　また、DV等の相談窓口は、相談しやすい環境づくりを心掛け、相談したい人が、すぐに相談できるよう、十分な周知を行って下さい。

4.改善・見直し（Action）

・町のホームページや広報誌等へ各種啓発記事を積極的に掲載し、男女共同参画に関する記事が町民の目に留まる機会を増やす。また、国や県の補助事業をポスター掲示等で周知する。
・第4次男女共同参画計画の進行管理の徹底を図る。
・庁内各課に対し、各課が管轄する各種審議会等への女性参画率の向上を呼びかける。
・公民館及び社会教育課に各種セミナー等の情報提供を行い、社会教育を通しての男女共同参画意識の向上を図る。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	男女共同参画事業	担当	地域振興課 政策企画係	整理番号	地-2

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	HP等による啓発　年3回	HP等による啓発　年4回	HP等による啓発　年4回	HP等による啓発　年4回	HP等による啓発　年4回
	千円	千円	千円	千円	千円
	各種研修及び啓発事業　年1回	各種研修及び啓発事業　年2回	各種研修及び啓発事業　年2回	各種研修及び啓発事業　年2回	各種研修及び啓発事業　年3回
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	第5次男女共同参画計画策定 300 千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	千円	千円	千円	300 千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
県補助	千円	千円	千円	千円	千円
起　債	千円	千円	千円	千円	千円
特　定	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	千円	千円	千円	300 千円	千円
目標値 ①	30%	30%	30%	30%	30%
②					
③					
④		④	④	④	④
⑤		⑤	⑤	⑤	⑤
⑥		⑥	⑥	⑥	⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	人権・同和対策事業	担当	地域振興課 政策企画係	整理番号	地-3

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	3.互いに認め合い、誰もが生きがいをもって活躍できるまちをつくります
重点施策	
関連計画	隠岐の島町人権施策推進基本方針

予算区分	一般会計	款	2	項	1	目	4

指標		令和6年度目標値
①	人権・同和教育研修会等の開催数と参加者数（KPI）	年2回400人
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

すべての町民が人権についての理解を深め、一人一人の人権が尊重される地域社会を目指す。

【事業概要】

町民の人権意識の向上を目指し、啓発活動を実施する。
・人権の花運動
・人権教育研修会
・広報誌等による人権啓発

2.令和　4　年度事業実績（Do）

人権の花運動
小学校7校
106千円

人権教育研修会
（教育委員会共催）
啓発グッズの作成・配布
53千円

実績額		159 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	146 千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	13 千円

実績値				
	①	年3回101人	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

「人権の花運動」を隠岐の島町内の全小学校で実施し、子供たちに人権尊重思想を浸透させることに寄与した。また、テーマ「ADHD 脳で人生楽しんでます！」と題して、ADHD当事者である講師あーさ氏による自身の体験談を中心とした講演会を実施した。さらに、人権啓発グッズ（ボールペン）を作成し、人権研修会会場での配布・「子どもの人権110番」等の広報誌掲載など、啓発活動に取り組んだ。

【②.事業の課題】

人権問題に対する難しい、固いなどのイメージから、研修会等への参加が増えない傾向にある。
また、人権課題が年々多様化しており、すべての課題について理解を深めるのが難しい状況である。
町民が求めるテーマ、開催形態に合わせた研修会の実施が必要となっている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

多種多様な人権問題に関連する人権侵害を未然に防止し、町民の人権を守る必要がある。そのために、今後も町民の人権意識の向上を目指し、「人権の花運動」や「研修会・講演会」、「啓発活動」などの活動を積極的かつ継続的に行う。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

・引き続き、隠岐の島町教育委員会等の関係機関と連携した人権教育研修会や啓発活動を実施する。
・町民にとって、身近で親しみやすく参加しやすい人権研修会を関係機関と企画の上、実施する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	人権・同和対策事業	担当	地域振興課 政策企画係	整理番号	地-3

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	人権の花運動 119 千円 人権教育研修会 40 千円 広報誌等による啓発 広報誌年2回 お知らせ便3回 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	人権の花運動 119 千円 人権教育研修会 40 千円 広報誌等による啓発 広報誌年2回 お知らせ便3回 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	人権の花運動 119 千円 人権教育研修会 40 千円 広報誌等による啓発 広報誌年2回 お知らせ便3回 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	人権の花運動 119 千円 人権教育研修会 40 千円 広報誌等による啓発 広報誌年2回 お知らせ便3回 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	人権の花運動 119 千円 人権教育研修会 40 千円 広報誌等による啓発 広報誌年2回 お知らせ便3回 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	159 千円	159 千円	159 千円	159 千円	159 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	146 千円	146 千円	146 千円	146 千円	146 千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	13 千円	13 千円	13 千円	13 千円	13 千円
目標値 ①	年2回390人	年2回400人	年2回400人	年2回400人	年2回400人
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	社会教育事業	担当	社会教育課 社会教育係	整理番号	社-1 重複

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	3.互いに認め合い、誰もが生きがいをもって活躍できるまちをつくります
重点施策	
関連計画	隠岐の島町社会教育基本計画

予算区分	一般会計	款	10	項	4	目	1

指標		令和6年度目標値
①	人権・同和教育研修会等の開催数と参加者数（KPI）	年2回400人
②	ふるさと教育の授業時数（KPI）	各学級35時間以上/年
③	放課後子ども教室開催回数(KPI)	420回/年
④	学校での地域人材活用数（KPI）	1,680人/年
⑤	家庭教育研修会（親学プログラム等）の実施回数（KPI）	15回/年
⑥		

【事業目的】

地域住民同士が学び合い、共に活動し合う相互学習活動により、教養の向上、健康の増進等を図るとともに、人と人との絆を深め、様々な地域の課題に向き合う力を育む。社会教育事業は、こうした学習活動が活発に行われるよう、その環境づくりを支援する。

【事業概要】

人権尊重を基盤とし、「教育の魅力」が「地域の魅力」につながるよう、学校、家庭、地域及び行政が連携協力し、地域全体で子どもたちの豊かで健やかな心身を育む体制づくりを支援する。また、本町の豊かな自然環境や歴史文化を有効に活用し、ふるさとに愛着と誇りをもつ子どもたちの育成を図る。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

◆社会教育事業　465千円
○全国大会出場事業補助金
団体数：4団体　申請数：8回
補助額：465千円
◆青少年育成事業　4,940千円
○がんばれ島のキッズ島外遠征費補助事業
利用者延べ人数
小学生：1,056人
中学生：490人　指導者：241人
◆結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業　3,027千円
○家庭教育支援事業
実施回数：9回
親学人材活用数：39人
○地域学校協働活動支援事業
コーディネーター活用数：212人
学校サポーター活動数：513人
講師・ボランティア：928人
放課後サポーター：890人
○放課後子ども教室（7地区）
開催総日数：248日
参加児童延人数：4,814人
◆ふるさと教育推進事業　919千円
各学級35時間以上/年
◆成人教育事業　100千円
○人権教育研修会
実施回数：3回　参加者数：101人

実績額		9,451 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	2,936 千円
	起債	4,900 千円
	特定	千円
	一般財源	1,615 千円

実績値				
	①	年3回101人	④	2,265人/年
	②	各学級35時間以上/年	⑤	9回/年
	③	248回/年	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

社会教育の基盤となる人権教育では人権課題として「発達障がい」に焦点をあて、地域・家庭・学校現場など様々な場面で発達障がいへの理解を深まるよう、研修会を開催した。結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業や青少年育成事業（がんばれ島のキッズ島外遠征費補助金）等の推進により、児童生徒の教育活動の推進を図った。

【②.事業の課題】

地域全体で子どもたちの豊かで健やかな心身を育む事業を推進するため、子どもの体験活動における指導者や「結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業」における放課後サポーター等地域人材の確保と育成を行うなど推進体制の充実が必要となっている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

町民の方々が学習活動や体験活動、スポーツ・文化芸術活動などに親しみながら、生き生きと心豊かに暮らせる地域づくりが活発に行われるよう、その環境づくりを支援する大きな役割を担うことから今後も更なる事業の推進が必要である。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　**令和３年度評価済**

社会教育事業の重要性は益々高まっており、地域での学習活動や活発なスポーツ活動に一定の成果を得られていると感じます。
特に島のキッズ島外遠征費助成事業によって、児童生徒の活発な活動が推進されたことは評価できます。また、本土との格差をなくすことで子育て世帯の経済的負担が軽減されています。今後計画しているという指導者研修等を実施することで、児童生徒の活動が一層活性化することを期待します。

4.改善・見直し（Action）

がんばれ島のキッズ島外遠征費補助金では、令和4年度から指導者の渡航費を補助対象とし、児童生徒の一層の活動機会の充実を図った。また、地域における人と人とのつながりづくりの推進や青少年活動の指導者を育成する講習会などにより、人材確保と育成に努める。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	社会教育事業	担当	社会教育課 社会教育係	整理番号	社-1 重複

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	青少年育成事業 ・がんばれ島のキッズ島外遠征費補助（児童・生徒約1,240名/指導者約370名） 4,500 千円 結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業 4,311 千円 ふるさと教育推進事業 935 千円 社会教育事業 ・全国大会出場事業補助金 650 千円 成人教育事業 ・PTA連合会、人権同和教育推進会議補助金 200 千円 千円 千円 千円 千円 千円	青少年育成事業 ・がんばれ島のキッズ島外遠征費補助（児童・生徒約1,240名/指導者約370名） 4,500 千円 結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業 4,311 千円 ふるさと教育推進事業 935 千円 社会教育事業 ・全国大会出場事業補助金 650 千円 成人教育事業 ・PTA連合会、人権同和教育推進会議補助金 295 千円 千円 千円 千円 千円 千円	青少年育成事業 ・がんばれ島のキッズ島外遠征費補助（児童・生徒約1,240名/指導者約370名） 4,500 千円 結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業 4,311 千円 ふるさと教育推進事業 935 千円 社会教育事業 ・全国大会出場事業補助金 650 千円 成人教育事業 ・PTA連合会、人権同和教育推進会議補助金 295 千円 千円 千円 千円 千円 千円	青少年育成事業 ・がんばれ島のキッズ島外遠征費補助（児童・生徒約1,240名/指導者約370名） 4,500 千円 結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業 4,311 千円 ふるさと教育推進事業 935 千円 社会教育事業 ・全国大会出場事業補助金 650 千円 成人教育事業 ・PTA連合会、人権同和教育推進会議補助金 295 千円 千円 千円 千円 千円 千円	青少年育成事業 ・がんばれ島のキッズ島外遠征費補助（児童・生徒約1,240名/指導者約370名） 4,500 千円 結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業 4,311 千円 ふるさと教育推進事業 935 千円 社会教育事業 ・全国大会出場事業補助金 650 千円 成人教育事業 ・PTA連合会、人権同和教育推進会議補助金 295 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	10,596 千円	10,691 千円	10,691 千円	10,691 千円	10,691 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	3,804 千円	3,804 千円	3,804 千円	3,804 千円	3,804 千円
財源内訳 起債	5,100 千円	5,100 千円	5,100 千円	5,100 千円	5,100 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	1,692 千円	1,787 千円	1,787 千円	1,787 千円	1,787 千円
目標値 ①	年2回390人	年2回400人	年2回400人	年2回400人	年2回400人
目標値 ②	各学級35時間以上/年	各学級35時間以上/年	各学級35時間以上/年	各学級35時間以上/年	各学級35時間以上/年
目標値 ③	420回/年	420回/年	420回/年	420回/年	420回/年
目標値 ④	1,500人/年	1,680人/年	1,680人/年	1,680人/年	1,680人/年
目標値 ⑤	14回/年	15回/年	15回/年	15回/年	15回/年
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	隠岐島文化会館管理運営事業	担当	社会教育課 社会教育係	整理番号	社-2

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	3.互いに認め合い、誰もが生きがいをもって活躍できるまちをつくります
重点施策	
関連計画	隠岐の島町社会教育基本計画

予算区分	一般会計	款	10	項	4	目	3

指標		令和6年度目標値
①	社会教育施設利用者数（KPI）	190,000人/年
②	隠岐島文化会館利用者数	36,000人/年
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

隠岐島文化会館を適正に管理運営し、多様で質の高い町民の芸術文化活動の環境をつくる。

【事業概要】

本町の芸術・文化活動の中核となる施設として、多くの町民から利活用されるように、施設の適正な維持管理を行う。
【隠岐島文化会館：昭和59年設置】

2.令和　4　年度事業実績（Do）

◆隠岐島文化会館LED照明改修工事
3,630千円
◆施設利用者数
23,644人

実績額		3,630 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	3,600 千円
	特定	千円
	一般財源	30 千円

実績値				
	①	134,100/年	④	
	②	23,644/年	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

文化会館大ホール照明設備（舞台照明）の改修工事が完了した。照明が改善されたことにより、照明のバリエーション、機械操作の効率化が図られた。また、LED化により、従来のものより節電が図られる。

【②.事業の課題】

昭和59年に建設され、築約40年を迎える施設であるため経年劣化及び機材の更新等の課題が出てくる。長寿命化計画に基づき、計画的な対応が必要である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

町民の芸術・文化活動の拠点施設として適正な管理を行い、快適な社会教育環境を整備し、社会教育の推進を図る。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

社会教育施設長寿命化計画により、中長期的な修繕計画のもと計画的に修繕を行う。緊急を要するものは随時修繕する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	隠岐島文化会館管理運営事業	担当	社会教育課 社会教育係	整理番号	社-2

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	気中開閉器更新工事	吸水式冷温水機化学薬品洗浄工事	大規模改修工事調査設計業務委託	大規模改修工事	大規模改修工事
	1,375 千円	2,500 千円	39,000 千円	200,000 千円	150,000 千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	1,375 千円	2,500 千円	39,000 千円	200,000 千円	150,000 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	39,000 千円	200,000 千円	150,000 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	1,375 千円	2,500 千円	千円	千円	千円
目標値 ①	185,600人/年	190,000人/年	190,000人/年	190,000人/年	190,000人/年
目標値 ②	36,000人/年	36,000人/年	36,000人/年	36,000人/年	36,000人/年
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	保健体育活動推進事業	担当	社会教育課 社会教育係	整理番号	社-3

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	3.互いに認め合い、誰もが生きがいをもって活躍できるまちをつくります
重点施策	
関連計画	隠岐の島町社会教育基本計画

予算区分	一般会計	款	10	項	5	目	1

指標		令和6年度目標値
①	スポーツ大会参加者数（KPI）	3,500人/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

社会体育活動の推進、活性化を図るため、スポーツに親しみ健康づくりに取り組む機会を創出し、町民の健康増進を図る。

【事業概要】

社会体育活動に必要な補助金交付等の支援を行う。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

◆隠岐の島町体育協会活動費補助金
（10競技、4地区）
事業費　635千円
人件費　2,200千円

◆つなGO隠岐の島実施業務委託料
445千円

◆八角部屋隠岐合宿補助金
（延期）
0千円

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

隠岐の島町体育協会では予定されていた15大会のうち5大会が新型コロナウイルスの影響で中止となったが、10大会については、感染症対策を取りつつ実施でき699人の参加となった（対前年116人増）。
八角部屋隠岐合宿は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、延期となった。

【②.事業の課題】

コロナ禍での制限が終わり、制限の無い各種スポーツ大会を開催するため、競技団体と連携し参加競技者の増加をしていく取り組みが必要である。また、2030年開催予定の第84回国民スポーツ大会に向けた、競技力向上として競技団体への支援及び相撲競技の開催地として、スムーズな大会運営を図るため公認審判員等の育成が必要となる。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

だれもが、いつでも、どこでも、いつまでも、スポーツに親しめる健康的な日常をつくるために、体育協会、つなGO隠岐の島、スポーツ推進委員等、垣根を超えた連携を図る。また、2030年開催予定の第84回国民スポーツ大会に向け競技力の向上と相撲競技開催地としての整備を行う。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

全競技、全事業が制限なく開催されることに対し、スムーズな運営と参加者の増加に向け、地域・各関係機関との連携を強化する。

実績額		3,280 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	3,280 千円

実績値				
	①	699人/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	保健体育活動推進事業	担当	社会教育課 社会教育係	整理番号	社-3

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容	隠岐の島町体育協会活動費補助金 4,826 千円 つなGO隠岐の島実施業務委託料 640 千円 八角部屋隠岐合宿補助金 3,300 千円	隠岐の島町体育協会活動費補助金 4,826 千円 つなGO隠岐の島実施業務委託料 1,000 千円 国民スポーツ大会相撲競技開催支援事業補助金 1,000 千円	隠岐の島町体育協会活動費補助金 4,826 千円 つなGO隠岐の島実施業務委託料 1,000 千円 国民スポーツ大会相撲競技開催支援事業補助金 1,000 千円	隠岐の島町体育協会活動費補助金 4,826 千円 つなGO隠岐の島実施業務委託料 1,000 千円 国民スポーツ大会相撲競技開催支援事業補助金 1,000 千円	隠岐の島町体育協会活動費補助金 4,826 千円 つなGO隠岐の島実施業務委託料 1,000 千円 国民スポーツ大会相撲競技開催支援事業補助金 1,000 千円
(Plan)	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	8,766 千円	6,826 千円	6,826 千円	6,826 千円	6,826 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	8,766 千円	6,826 千円	6,826 千円	6,826 千円	6,826 千円
目標値 ①	3,000人	3,500人	3,500人	3,500人	3,500人
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	総合運動公園管理運営事業	担当	社会教育課 社会教育係	整理番号	社-4

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	3.互いに認め合い、誰もが生きがいをもって活躍できるまちをつくります
重点施策	
関連計画	隠岐の島町生涯スポーツ推進計画

予算区分	一般会計	款	10	項	5	目	2

指標		令和6年度目標値
①	社会教育施設利用者数（KPI）	190,000人/年
②	総合運動公園・体育館利用者数	41,000人/年
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

総合運動公園（レインボーアリーナ、総合グラウンド）を適正に管理運営し、町民が安心・安全に社会体育活動ができる環境をつくり町民の健康増進を図る。

【事業概要】

本町の社会体育活動の中核となる施設として、多くの町民から利活用されるように、施設の適正な維持管理を行う。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

◆トレーニング室空調設備更新工事
2,805千円
◆総合体育館利用者数
19,446人
◆総合運動公園利用者数
5,682人

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

総合体育館LED化工事の影響により、9月～3月の利用者数が減少している。
総合運動公園は、増加傾向にある。

【②.事業の課題】

築20年の施設であり、館内設備機器は耐用年数を10年以上経過しているものも多く、計画的な修繕及び改修が必要となる。また、レインボーアリーナは指定避難所（大規模）となっており、関係機関と連携しながら修繕をしていく。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

社会体育施設として適正な管理を行い、快適な社会体育環境を整備することにより、社会体育の推進を図り、町民の健康増進を図る。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

大規模な修繕・改修は長寿命化計画に基づき、都市公園再編事業にて行う。
照明施設のLED化にともなう料金改定について、周知徹底を図り、利用者数増加を目指す。

実績額		2,805 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	2,805 千円

実績値				
	①	134,100/年	④	
	②	25,128/年	⑤	
	③		⑥	

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	総合運動公園管理運営事業	担当	社会教育課 社会教育係	整理番号	社-4

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
県補助	千円	千円	千円	千円	千円
起債	千円	千円	千円	千円	千円
特定	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	千円	千円	千円	千円	千円
目標値 ①	185,600人/年	190,000人/年	190,000人/年	190,000人/年	190,000人/年
②	41,000人/年	41,000人/年	41,000人/年	41,000人/年	41,000人/年
③					
④					
⑤					
⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	図書館管理運営事業	担当	社会教育課 文化振興係	整理番号	社-5

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	3.互いに認め合い、誰もが生きがいをもって活躍できるまちをつくります
重点施策	
関連計画	隠岐の島町図書館振興計画（平成30年12月）
予算区分	一般会計　款 10　項 4　目 3

指標		令和6年度目標値
①	社会教育施設利用者数（KPI）	190,000人/年
②	蔵書新鮮度（開架数6万冊に対し新鮮度4.0%）	4.00%
③	隠岐の島町図書館入館者数	54,000人/年
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

住民の知る権利や学習の権利を保障する学びの場として図書館機能の充実を目指す。生涯学習の拠点施設として、蔵書・資料の充実に努めるとともに、学校や地区公民館など関係機関と連携を図りながら、住民の読書環境の整備を進めていく。

【事業概要】

「隠岐の島町図書館振興計画」に基づき、図書館利用者にとって良い読書環境を提供するため、施設の整備や管理を行うとともに、一定の蔵書新鮮度を保つため、毎年必要な資料を購入する。視聴覚資料として利用の少ないVHSは、令和1～5年度でDVD・ブルーレイに更新（買い替え）し、所蔵の少ない朗読CDを、令和3～5年度で整備する。
また、図書館の魅力を発信するためのイベントや様々な情報の提供を行い、利用者の増加を図る。
【隠岐の島町図書館：平成11年開館】

2.令和　4　年度事業実績（Do）

◇入館者数
　46,365人（前年比＋660人）
◇貸出点数
　56,241点（前年比－8,571点）

◆資料購入費：6,969千円
（内訳）
　図書購入費：4,801千円
　雑誌購入費：290千円
　新聞購入費：681千円
　視聴覚資料購入費：1,198千円

　○図書購入数：2,541冊
　　（※雑誌・新聞除く）
　○視聴覚資料購入数
　　DVD：93枚
　　CD　：21枚

◆施設維持管理費
　空調(ﾌｧﾝｺｲﾙﾕﾆｯﾄ)更新工事費
　　34,650千円
　屋外冷温水配管修繕工事費
　　1,316千円
　開閉窓修繕工事費　2,156千円

実績額		45,091 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	35,900 千円
	特定	2,000 千円
	一般財源	7,191 千円

実績値				
	①	134,100人/年	④	
	②	3.80%	⑤	
	③	46,365人/年	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

「隠岐の島町図書館振興計画」の数値目標に基づき、計画的に蔵書等の整備を行っている。コロナ禍にあって入館者数は回復傾向にあるが、貸出冊数は減少している。施設面においては、空調設備の大規模改修を令和4年度に実施した。運営について、令和4年度から町直営（教育委員会の組織）とし、町各部局と連携を密にして事業に取り組んでいる。

【②.事業の課題】

　入館者数は回復傾向にあるが、資料の貸出点数が前年比87%と減少傾向にある。特に絵本など児童図書の利用が減っており、蔵書構成の見直しや啓発活動など利用増に向けた対策を講じる必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

図書館建設当時の蔵書計画に基づき、蔵書数は8万冊を基準としており、令和4年度末の蔵書数約9万冊のうち開架書庫蔵書数は6万6千冊である。引き続き除籍・購入により時代に即した蔵書整備を進め、併せてCD、DVD等視聴覚資料の充実を図る。また、安全で快適な施設を維持するため、定期的な点検による修繕や計画的な機器の更新を検討する。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

【資料貸出件数等について】

　図書館では、毎年約3,000冊の図書を受入れているが、町民の方々にとって魅力的な書架を構成するため、また子どもたちへ誤った情報を与えないよう、古い情報の図書や利用の少なくなった図書は除籍している。除籍数は、受入数と同程度。

　入館者数は、コロナが落ち着き少しずつ増加しているが、貸出数は減少傾向にある。コロナ禍でデジタルコンテンツが急速に普及したこと等の要因が考えられるが、よるとしょ（夜間開館）やコンサート、各種展示などを開催し、様々な方に来館していただけるよう努めている。また、来館した方が本を手に取り幅広く本へ興味を持って頂けるよう、特集コーナーを設置し定期的にテーマ替えを行ったり、子ども向けおはなし会も開催している。

　貸出件数の増も含め図書館サービスの更なる充実のため、令和5年度に図書館振興計画の検証を行い、課題を把握し、今後の運営や事業の見直しに結び付けたい。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	図書館管理運営事業	担当	社会教育課 文化振興係	整理番号	社-5

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	図書購入費 4,770 千円 雑誌・新聞購入費 1,000 千円 視聴覚資料購入費 1,200 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	図書購入費 4,770 千円 雑誌・新聞購入費 1,000 千円 視聴覚資料購入費 1,200 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	図書購入費 4,770 千円 雑誌・新聞購入費 1,000 千円 視聴覚資料購入費 1,200 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	図書購入費 4,770 千円 雑誌・新聞購入費 1,000 千円 視聴覚資料購入費 1,200 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	図書購入費 4,770 千円 雑誌・新聞購入費 1,000 千円 視聴覚資料購入費 1,200 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	6,970 千円	6,970 千円	6,970 千円	6,970 千円	6,970 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	2,000 千円	2,000 千円	2,000 千円	2,000 千円	2,000 千円
財源内訳 一般財源	4,970 千円	4,970 千円	4,970 千円	4,970 千円	4,970 千円
目標値 ①	181,200人/年	185,600人/年	190,000人/年	190,000人/年	190,000人/年
目標値 ②	4.00%	4.00%	4.00%	4.00%	4.00%
目標値 ③	54,000人/年	54,000人/年	54,000人/年	54,000人/年	54,000人/年
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	温水プール管理運営事業	担当	社会教育課 社会教育係	整理番号	社-8

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	3.互いに認め合い、誰もが生きがいをもって活躍できるまちをつくります
重点施策	
関連計画	隠岐の島町生涯スポーツ推進計画

予算区分	一般会計	款	10	項	5	目	2

指標		令和6年度目標値
①	社会教育施設利用者数（KPI）	190,000人/年
②	温水プール利用者数	44,000人/年
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

水泳等を通して町民の健康を増進し、体育及びレクリエーションの普及並びにその振興を図り、町民の心身の健全な発達と町民相互の交流を深める。

【事業概要】

隠岐の島町屋内温水プールの管理運営を行う。
【屋内温水プール：平成7年設置】

2.令和　4　年度事業実績（Do）

◆プールチラー更新工事
26,959千円
◆プールチラー更新工事設計業務委託料
408千円
◆気中開閉器・高圧ケーブル更新工事
1,815千円
◆監視カメラ更新工事
495千円
◆2階ロビー空調等更新工事
347千円

◆施設利用者数
37,931人

実績額		30,024 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	27,200 千円
	特定	千円
	一般財源	2,824 千円

実績値				
	①	134,100/年	④	
	②	37,931/年	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

修繕により、安全で快適な環境を整備し、利用者の安定的な健康増進活動につなげることができた。昨年と比べ利用者数は減っているものの、回復傾向にある。
（令和4年度:37,931人　令和3年度38,658人　令和2年度34,278人）

【②.事業の課題】

施設の老朽化にともない施設の修繕が必要となっている。プールの機器故障は即利用停止につながるため、現状把握と中長期的な計画に基づき破損する前に修繕していくことが必要である。また、劣化している2階ｴｱﾛﾋﾞｸｽﾙｰﾑの照明更新、温水配管の更新を実施する必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

社会体育施設として適正な管理を行い、快適な社会体育環境を整備することにより、社会体育の推進を図り、町民の健康増進を図る。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　**令和４年度外部評価済**

社会体育の拠点施設としての役割を果たすとともに、コミュニティ施設としての機能を併せ持つ、貴重な施設であると認識しています。島で唯一の施設であることから経営の継続性が求められます。更なる利用者の拡大を図るとともに、計画的な設備修繕及び維持管理を徹底して下さい。
新型コロナウイルス感染症の影響で、利用者が減っていますが、衛生面に十分配慮し、町民が安心して快適に利用できるよう運営に取り組んで下さい。

4.改善・見直し（Action）

大規模な修繕・改修は、社会教育施設長寿命化計画により、計画的に実施する。緊急を要するものは随時修繕する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	温水プール管理運営事業	担当	社会教育課 社会教育係	整理番号	社-8

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	プールフロア購入事業 3,649 千円 ホール高天井照明LED化工事 1,727 千円 屋外キュービクル更新工事 968 千円 温水一次配管設計業務 714 千円	温水一次配管更新工事 25,278 千円 2階エアロビクスルーム照明LED化工事 2,160 千円	千円	千円	千円
事業費	7,058 千円	27,438 千円	千円	千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	3,300 千円	27,300 千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	3,758 千円	138 千円	千円	千円	千円
目標値 ①	185,600人/年	190,000人/年	190,000人/年	190,000人/年	190,000人/年
目標値 ②	44,000人/年	44,000人/年	44,000人/年	44,000人/年	44,000人/年
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	社会体育施設管理運営事業	担当	社会教育課 社会教育係	整理番号	社-9

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	3.互いに認め合い、誰もが生きがいをもって活躍できるまちをつくります
重点施策	
関連計画	隠岐の島町生涯スポーツ推進計画

予算区分	一般会計	款	10	項	5	目	2

指標		令和6年度目標値
①	社会教育施設利用者数（KPI）	190,000人/年
②	社会体育施設利用者数	23,000人/年
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

社会体育施設を適正に管理運営し、町民が安心・安全に社会体育活動ができる環境をつくり町民の健康増進を図る。

【事業概要】

町内の社会体育施設の管理運営を行う。
・西郷武道館
・今津町民体育館
・岬町民体育館
・都万テニスコート
・健康管理増進施設漁(漁体育館)

2.令和　4　年度事業実績（Do）

◆令和４年度施設利用者数
・西郷武道館　6,714人
・今津体育館　2,905人
・岬町体育館　3,084人
・都万テニスコート　5,709人
・漁体育館　635人

実績額		千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	134,100/年	④	
	②	19,047/年	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

今津・岬町民体育館をはじめ、町内の社会体育施設において利用者のニーズを捉え、必要備品の整備を計画的に実施できている。

【②.事業の課題】

都万テニスコートについて、計画的な修繕が必要である。特にナイター用水銀灯の、LED化が必要である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

社会体育施設として適正な管理を行い、快適な社会体育環境を整備することにより、社会体育の推進を図り、町民の健康増進を図る。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

施設の修繕及び管理方法について調査し、修繕計画を策定し、実施する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	社会体育施設管理運営事業	担当	社会教育課 社会教育係	整理番号	社-9

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)		テニスコートナイター用照明LED化工事	テニスコートナイター用照明LED化工事	テニスコートナイター用照明LED化工事	
	千円	3,212 千円	3,212 千円	3,212 千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	千円	3,212 千円	3,212 千円	3,212 千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
県補助	千円	千円	千円	千円	千円
起債	千円	3,200 千円	3,200 千円	3,200 千円	千円
特定	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	千円	12 千円	12 千円	12 千円	千円
目標値 ①	185,600人/年	190,000人/年	190,000人/年	190,000人/年	190,000人/年
②	23,000人/年	23,000人/年	23,000人/年	23,000人/年	23,000人/年
③					
④					
⑤					
⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	公民館管理運営事業	担当	公民館 中央公民館	整理番号	公-1

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	3.互いに認め合い、誰もが生きがいをもって活躍できるまちをつくります
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	10	項	4	目	2

指標		令和6年度目標値
①	社会教育施設利用者数（KPI）	190,000人/年（累計）
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

住民同士が「つどう」「まなぶ」「むすぶ」ことを促し、人づくり・地域づくりを促進する。

【事業概要】

よりよい地域社会を育むため、地域の実情や課題解決に向け、各種講座を行う。又、分館連絡協議会を開催し、各分館との関係を構築し、協働で様々な活動を行う。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

公民館運営審議会
委員報酬
1回目　28千円（9人）
2回目　22千円（7人）
費用弁償
1回目　7千円（7人）
2回目　5千円（5人）
公民館講座運営費
講師謝金　10千円
消耗品費　37千円
備品購入費　498千円

実績額		607 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	607 千円

実績値				
	①	142,137人/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

コロナ禍の影響もあり、公民館講座３講座しか行わなかった。又、分館連絡協議会も、行うことが出来なかった。

【②.事業の課題】

やり方を工夫すればできたはずだが、それも行っていない状態であった。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

地域に住む方々がいつでも気軽に学ぶことができるよう取り組む（ニーズの把握）又、分館補助金が無くなったことで、分館離れが危惧されます。公民館は、より身近な存在として、関係を密にして、協働で課題解決等に取り組む。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

公民館講座開催に向け、アンケートの実施やニーズの把握調査を行う。各地区分館連絡協議会の開催を年度当初（５月末までに）義務化する。必要に応じて会を開催する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	公民館管理運営事業	担当	公民館 中央公民館	整理番号	公-1

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	公民館運営審議会運営費 委員報酬@3,100×10名×2回 費用弁償　@10,000×2回 82 千円 公民館講座開催費 講師謝金　@5,000×18講座 島外講師謝金　@30,000×1回、費用弁償@30,000×1回 消耗品費108千円　バス借上料58千円 316 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	公民館運営審議会運営費 委員報酬@3,100×10名×2回 費用弁償　@10,000×2回 82 千円 公民館講座開催費 講師謝金　@5,000×18講座 島外講師謝金　@30,000×1回、費用弁償@30,000×1回 消耗品費108千円　バス借上料58千円 316 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	公民館運営審議会運営費 委員報酬@3,100×10名×2回 費用弁償　@10,000×2回 82 千円 公民館講座開催費 講師謝金　@5,000×18講座 島外講師謝金　@30,000×1回、費用弁償@30,000×1回 消耗品費108千円　バス借上料58千円 316 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	公民館運営審議会運営費 委員報酬@3,100×10名×2回 費用弁償　@10,000×2回 82 千円 公民館講座開催費 講師謝金　@5,000×18講座 島外講師謝金　@30,000×1回、費用弁償@30,000×1回 消耗品費108千円　バス借上料58千円 316 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	公民館運営審議会運営費 委員報酬@3,100×10名×2回 費用弁償　@10,000×2回 82 千円 公民館講座開催費 講師謝金　@5,000×18講座 島外講師謝金　@30,000×1回、費用弁償@30,000×1回 消耗品費108千円　バス借上料58千円 316 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	398 千円	398 千円	398 千円	398 千円	398 千円
財源内訳	国補助：千円 県補助：千円 起　債：千円 特　定：千円 一般財源：398 千円	国補助：千円 県補助：千円 起　債：千円 特　定：千円 一般財源：398 千円	国補助：千円 県補助：千円 起　債：千円 特　定：千円 一般財源：398 千円	国補助：千円 県補助：千円 起　債：千円 特　定：千円 一般財源：398 千円	国補助：千円 県補助：千円 起　債：千円 特　定：千円 一般財源：398 千円
目標値	①　④ ②　⑤ ③　⑥	①　④ ②　⑤ ③　⑥	①　④ ②　⑤ ③　⑥	①　④ ②　⑤ ③　⑥	①　④ ②　⑤ ③　⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	五箇生涯学習センター管理運営費	担当	公民館 五箇公民館	整理番号	公-2

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	3.互いに認め合い、誰もが生きがいをもって活躍できるまちをつくります
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	10	項	4	目	2

指標		令和6年度目標値
①	社会教育施設利用者数（KPI）	190,000人/年（累計）
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉及び住民福祉の増進に寄与することを目的とする。

【事業概要】

築後25年経過している施設の改修整備を行いながら維持管理する。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

【五箇生涯学習センター】
年間利用者数　2,358人/年

【利用団体等】
五箇公民館習字教室
放課後子ども教室
冬期体力づくり教室
幸齢者ふるさと学園
五箇中学校
五箇小学校
JAしまね　隠岐地区本部
隠岐の島町グラウンドゴルフ協会
五箇グラウンドゴルフ協会
教育委員会

【大ホール利用】
R4年度　五箇中学校

実績額		千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	142,137人/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

五箇地区のみならず町全体の生涯学習（社会教育）とコミュニティの拠点施設として使用されている。

【②.事業の課題】

館内の和式トイレの洋式化とウォシュレット化を行い、すべての人が使用しやすい施設に整備する。
現況の照明灯は製造中止となっているものもあり、球切れにより施設利用に支障をきたしている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

開設後25年が経過し、老朽化が顕著に表れており、設備を定期的に更新することが利用者に快適と安心を与え、利用者の増加に繋げるとともに更新することで管理費の低減を図る。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

トイレ洋式化の改修工事を行ない、高齢社会に適応した快適な施設環境を確保する。

照明灯改修工事を行ない、快適な施設環境を確保する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	五箇生涯学習センター管理運営費	担当	公民館 五箇公民館	整理番号	公-2

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	千円	千円	五箇生涯学習ｾﾝﾀｰﾄｲﾚ改修工事 【男性用トイレ３器（内洋式1器）、女性用７器（洋式4器）、車イス用１器（洋式1器）】男子洋式2器及び女子様式３器計5器改修工事 2,970 千円	五箇生涯学習ｾﾝﾀｰ照明灯改修工事 ﾎｰﾙ（ｽﾃｰｼﾞ以外）事務所・会議室、廊下、調理実習室、集会室、図書室、ホール等（概ね照明機器約450個） 14,395 千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	千円	千円	2,970 千円	14,395 千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
県補助	千円	千円	千円	千円	千円
起　債	千円	千円	千円	千円	千円
特　定	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	千円	千円	2,970 千円	14,395 千円	千円
目標値 ①	185,600人/年	190,000人/年	190,000人/年	190,000人/年	190,000人/年
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	五箇地区体育施設管理運営事業	担当	公民館 五箇公民館	整理番号	公-3

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	3.互いに認め合い、誰もが生きがいをもって活躍できるまちをつくります
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	10	項	4	目	2

指標		令和6年度目標値
①	社会教育施設利用者数（KPI）	190,000人/年（累計）
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

五箇地区の町民運動場に必要な施設や備品を整備することで町内体育スポーツの振興を図り、町民の心身の健全な発達と、町民相互の交流を促進する。

【事業概要】

五箇地区体育施設の適正な管理を行なう。
・五箇相撲場の照明設備をLED化工事
・五箇町民運動場施設備品の購入

2.令和　4　年度事業実績（Do）

【五箇町民体育館】
年間利用者数　2,094人/年
※団体利用は横ばい傾向である。

（利用団体等）
・五箇中野球クラブ
・五箇少年野球クラブ
・女子ﾐﾆﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙｸﾗﾌﾞ
・五箇少年相撲クラブ
・放課後子ども教室
・五箇卓親睦会

【五箇町民運動場】
年間利用者数　3,217人/年

【五箇町民プール】
ごか保育園
五箇小・中学校のみ使用

【五箇町民相撲場】
五箇地区相撲大会

実績額		千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	142,137人/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

五箇町民体育館、五箇町民運動場及び五箇相撲場は五箇地区のみならず町全体の社会体育施設として使用されている。

【②.事業の課題】

相撲場の現況の照明灯は製造中止となっているものもあり、球切れにより施設利用に支障をきたしている。また運動場のベンチが老朽化し、使用に支障をきたしているため、アルミ製の簡易な組み立て式のベンチを新規で購入したい。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

相撲場の利用者に快適に使用してもらうため、長期間で安定した使用が見込まれるLED灯に更新し、合わせて管理費の低減を図る。
町民運動場を利用する団体、特に野球、高齢者のグラウンドゴルフの愛好者等の選手席や休憩席としての利用を考慮し、購入したい。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

相撲場のLED照明灯改修工事を行ない、快適な施設環境を確保したい。
運動場の選手・休憩用ベンチを購入し、利用環境の改善を図る。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	五箇地区体育施設管理運営事業	担当	公民館 五箇公民館	整理番号	公-3

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	千円	五箇相撲場照明灯改修工事 673 千円	五箇町民運動場ベンチ改修工事 （４人掛け×６台×２セット） 1,110 千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	千円	673 千円	1,110 千円	千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	千円	673 千円	1,110 千円	千円	千円
目標値 ①	185,600人/年	190,000人/年	190,000人/年	190,000人/年	190,000人/年
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	都万地区体育施設管理運営事業	担当	公民館 都万公民館	整理番号	公-4

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	3.互いに認め合い、誰もが生きがいをもって活躍できるまちをつくります
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	10	項	4	目	2

指標		令和6年度目標値
①	社会教育施設利用者数（KPI）	190,000人/年（累計）
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

都万地区の町民運動場に必要な施設や備品を整備することで町内の体育ｽﾎﾟｰﾂの振興を図り、町民の心身の健全な発達及び町民相互の交流を促進する。

【事業概要】

都万地区体育施設の適正な管理を行う。
①都万相撲場のLED化工事
②ﾊﾞｯｸﾈｯﾄﾌｪﾝｽ取替工事

2.令和　4　年度事業実績（Do）

【都万町民運動場】
年間利用者数　1,323人/年

（利用団体等）
・少年野球ﾁｰﾑ
・都万保育所
・都万中学校
・団体利用者
・都万笑福館
・都万公民館

【都万町民相撲場】
昨年度実績なし

（参考）コロナ禍による中止
都万地区相撲大会

実績額		千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	142,137人/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

都万町民運動場及び都万相撲場は都万地区のみならず町全体の社会体育施設として利用されている。

【②.事業の課題】

各施設とも設置後36年が経過し老朽化が顕著であり随所に修繕改良が必要である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

①定期的に開催される大きな大会での運営にも支障が出てきており、各施設の適切な管理を行う。
②利用が少ないことからフェンスの撤去を実施し安全確保を図る。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

①相撲場の照明設備のLED化を行ない、利用者の利便向上を計る。
②塩害で傷んだﾊﾞｯｸﾈｯﾄであるが、利用状況が少ない状況にある。張替えを検討していたが、利用状況及び施設現況から撤去することとし、安全確保を図る。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	都万地区体育施設管理運営事業	担当	公民館 都万公民館	整理番号	公-4

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	都万相撲場照明灯改修工事 451 千円 都万町民運動場ﾊﾞｯｸﾈｯﾄﾌｪﾝｽ撤去工事 1,000 千円	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	千円	1,451 千円	千円	千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
県補助	千円	千円	千円	千円	千円
起　債	千円	千円	千円	千円	千円
特　定	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	千円	1,451 千円	千円	千円	千円
目標値 ①	185,600人/年	190,000人/年	190,000人/年	190,000人/年	190,000人/年
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	布施地区体育施設管理運営事業	担当	公民館 布施公民館	整理番号	公-5

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	3.互いに認め合い、誰もが生きがいをもって活躍できるまちをつくります
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	10	項	4	目	2

指標		令和6年度目標値
①	社会教育施設利用者数（KPI）	190,000人/年（累計）
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

布施地区の町民運動場に必要な施設や備品を整備することで町内の体育スポーツの振興を図り、町民の心身の健全な発達と、町民相互の交流を促進する。

【事業概要】

布施町民体育館の適正な管理を行なう。
・布施町民体育館照明設備LED化工事

2.令和　4　年度事業実績（Do）

【布施町民体育館】
年間利用者数　261人/年
※コロナ禍で毎年実施していた合宿が中止となり利用者数は減少となった。ただ、個人の少人数での利用回数は増えている。

【利用団体等】
・布施スポンジテニス
・テニスクラブ
・放課後子ども教室
・個人、少人数での利用11人（32回）

実績額		千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	142,137人/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

布施町民運動場は地区のみならず町全体の社会体育施設として使用されている。

【②.事業の課題】

現況の照明灯は製造中止となっているものもあり、球切れにより施設利用に支障をきたしている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

利用者に快適に使用してもらうため、長期間で安定した使用が見込まれるLED灯に更新し、合わせて管理費の低減を図る。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

町民体育館の照明設備のLED化を行ない、利用者の利便向上を計る。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	布施地区体育施設管理運営事業	担当	公民館 布施公民館	整理番号	公-5

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	布施町民体育館照明灯改修工事 4,730 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	千円	千円	千円	4,730 千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	千円	千円	千円	4,730 千円	千円
目標値 ①	185,600人/年	190,000人/年	190,000人/年	190,000人/年	190,000人/年
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	文化財保存継承事業	担当	社会教育課 文化振興係	整理番号	社-6

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	4.かけがえのない文化芸術を未来へつなぎます
重点施策	
関連計画	第2次隠岐の島町観光振興計画

予算区分	一般会計	款	10	項	4	目	4

指標		令和6年度目標値
①	指定文化財数の維持と向上（KPI）	75件
②	地域の歴史や文化に関する講座等の提供数（KPI）	7件/年
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

文化財の保存及び活用のために必要な措置を講ずることにより、町民の郷土に対する認識を深め、文化の向上に資することを目的とする。

【事業概要】

文化財保存のために必要な補助・支援を行う。特に指定文化財建造物については、修繕等に多額の経費が必要となるため、所有者と協議の上、計画的に保存修理事業を実施する。
また、地域の歴史や文化財について学ぶ講座等を提供し、文化財保護意識の啓発や地域の魅力向上を図る。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

◆指定文化財保存事業補助
○指定無形民俗文化財補助
申請数：12団体/18団体
補助総額：2,532千円

◆牛突き習俗保存対策事業
○導入費：購入費の2/3(上限なし)
導入数：13頭
補助総額：5,108千円
○処分費：1頭につき70千円
処分数：15頭
補助総額：1,050千円
○大会出場牛：1頭につき10千円
出場数：58頭
補助総額：580千円

◆隠岐国分寺境内保存活用計画策定
○策定委員会開催費：167千円
○計画策定業務委託費：1,730千円
○消耗品費：5千円
事業実績額：1,902千円

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

各種補助金を交付することにより、町内の指定文化財の保存・継承に繋がっている。国府尾城跡の活用整備事業を通して、文化財の魅力を伝え地域の歴史について学ぶ機会を提供できている。町内の木像の調査を行うなど、指定されていない文化財の状況把握が進んでいる。

【②.事業の課題】

無形民俗文化財への補助においては対象団体から申請がない場合があるため、活用してもらえるよう周知を行う必要がある。有形文化財（建造物）については、計画的な修繕により適切に保存し有効に活用していく必要がある。今後も指定されていない文化財の把握に努め、貴重な文化財が散逸しないよう対策を行う必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

文化財はまちの教育、文化、観光、地域振興に重要な役割をもつ貴重な財産である。町内の文化財が未永く保存継承されるよう事業を行っていく。すでに知られている指定文化財等については、保護を基本にその魅力を伝えるための事業を行い、広く知られていない文化財についてはその把握と保護のための措置について検討する。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

補助事業を継続して行い、文化財の保存継承のための経費について支援を行う。補助事業に関する周知を充分に行う。

町民の文化財への理解を深めるため、地域の歴史や文化に関する講座等を積極的に提供していく。

文化財の収蔵に関して、今津総合学習センターは文化財の保存に適した収蔵施設ではなく、また近年収蔵物の量も増え手狭になってきていることから、収蔵庫の在り方・規模について、将来を見据えて検討していく。

実績額		11,172 千円
財源内訳	国補助	950 千円
	県補助	千円
	起債	5,800 千円
	特定	千円
	一般財源	4,422 千円

実績値				
	①	74件	④	
	②	3件/年	⑤	
	③		⑥	

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	文化財保存継承事業	担当	社会教育課 文化振興係	整理番号	社-6

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	町内指定無形民俗文化財補助金 3,000 千円 突き牛導入費補助金（12頭） 4,704 千円 突き牛処分費補助金（10頭） 700 千円 牛突き大会出場牛支援費（50頭） 500 千円 隠岐国分寺境内保存活用計画策定費 3,803 千円 都万目の民家保存修理事業費 53,756 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	町内指定無形民俗文化財補助金 3,500 千円 突き牛導入費補助金（12頭） 4,704 千円 突き牛処分費補助金（10頭） 700 千円 牛突き大会出場牛支援費（50頭） 500 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	町内指定無形民俗文化財補助金 3,500 千円 突き牛導入費補助金（12頭） 4,704 千円 突き牛処分費補助金（10頭） 700 千円 牛突き大会出場牛支援費（50頭） 500 千円 千円 千円 千円 国府尾城跡総合調査費 7,500 千円 千円 千円 千円 千円 千円	町内指定無形民俗文化財補助金 3,500 千円 突き牛導入費補助金（12頭） 4,704 千円 突き牛処分費補助金（10頭） 700 千円 牛突き大会出場牛支援費（50頭） 500 千円 千円 千円 億岐家住宅保存修理事業費補助金 925 千円 国府尾城跡総合調査費 3,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円	町内指定無形民俗文化財補助金 3,500 千円 突き牛導入費補助金（12頭） 4,704 千円 突き牛処分費補助金（10頭） 700 千円 牛突き大会出場牛支援費（50頭） 500 千円 千円 千円 千円 国府尾城跡総合調査費 3,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	66,463 千円	9,404 千円	16,904 千円	13,329 千円	12,404 千円
財源内訳 国補助	1,260 千円	千円	3,750 千円	1,500 千円	1,500 千円
財源内訳 県補助	26,878 千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	32,600 千円	5,400 千円	5,400 千円	5,400 千円	5,400 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	5,725 千円	4,004 千円	7,754 千円	6,429 千円	5,504 千円
目標値 ①	75件	75件	75件	75件	75件
目標値 ②	7件/年	7件/年	7件/年	7件/年	7件/年
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	佐々木家住宅管理運営事業	担当	社会教育課 文化振興係	整理番号	社-7

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	4.かけがえのない文化芸術を未来へつなぎます
重点施策	
関連計画	第2次隠岐の島町観光振興計画

予算区分	一般会計	款	10	項	4	目	4

指標		令和6年度目標値
①	指定文化財数の維持と向上（KPI）	75件
②	文化関連展示施設の入込客数（佐々木家住宅、隠岐郷土館、五箇創生館の合計人数）（KPI）	12,500人/年
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

国指定重要文化財建造物佐々木家住宅（平成4年8月10日指定）を適正に保存管理し、且つ有効活用を図り、町民等の文化的向上に資することを目的とする。

【事業概要】

貴重な重要文化財建造物保存のため、杉皮葺き屋根の葺き替えなど定期的な改修を行う。また、建物の一般公開や定期神楽公演などの活用事業を通して、文化財保護意識の啓発や本町の歴史文化の周知を図る。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

◆佐々木家住宅保存修理事業
○総事業費　：77,044千円
工　事　費：68,035千円
設計管理費：　8,812千円
事　務　費：　197千円
うち令和4年度
○総事業費　：23,544千円
工　事　費：21,263千円
設計管理費：　2,184千円
事　務　費：　97千円

実績額		23,544 千円
財源内訳	国補助	15,304 千円
	県補助	2,747 千円
	起　債	千円
	特　定	千円
	一般財源	5,493 千円

実績値				
	①	74件	④	
	②	5,273人/年	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和3年度から行った保存修理工事は令和4年8月に竣工した。工事に伴い令和4年4月から令和4年9月まで閉館したため入館者数が減少した。活用事業として工事完成記念イベントの開催や、指定文化財建造物の活用に関する新たな方向性を探るため、文化財・観光関係者と食を題材とした活用について意見交換会を行い、今後の継続的実施に向けた課題の洗い出しを行った。

【②.事業の課題】

保存修理事業には多額の経費が必要となる。文化財関係者および観光関係機関と連携し、定期的なイベントやより良い活用方法を模索し、更なる入館者数の増加を目指す。また、活用事業を通して町民に文化財に対する理解を深めてもらう。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

本町で最古の古民家であり、過去の生活を伝えるための歴史資料であるため、定期的な保存修理事業を行い残していく必要がある。また、一般向けの公開や児童生徒への見学会を提供することで、本町の歴史文化への理解を深めるとともに、文化財保護の普及啓発を行う。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

毎年1回の定期神楽公演を行っているが、より集客に結び付く仕掛けを検討する。また、観光事業との連携により、佐々木家住宅を利用する層の拡大を目指す。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	佐々木家住宅管理運営事業	担当	社会教育課 文化振興係	整理番号	社-7

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	千円	千円	千円	千円	押竹取り替え工事 2,000 千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	千円	千円	千円	千円	2,000 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	千円	千円	千円	千円	2,000 千円
目標値 ①	75件	75件	75件	75件	75件
目標値 ②	12,500人	12,500人	12,500人	12,500人	12,500人
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	隠岐郷土館・五箇創生館管理運営事業	担当	五箇支所 地域振興係	整理番号	五-5

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	ひとが輝くまち
基本施策	4.かけがえのない文化芸術を未来へつなぎます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	7	項	2	目	3

指標			令和6年度目標値
	①	文化関連展示施設の入込客数（佐々木家住宅、隠岐郷土館、五箇創生館の合計人数）（KPI）	12,500人/年
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		

【事業目的】

豊かな自然や、先人たちから受け継いできた伝承文化を保存展示し、歴史及び文化を介して、人と自然・人と人との交流の推進を図るとともに、文化及び観光の振興に資することを目的とする。

【事業概要】

施設を改修することにより、入館者にとって快適な施設環境を整える。また、展示内容を更新することにより、施設としての魅力を向上させる。

【施設改修事業】
創生館電気設備改修工事、創生館空調設備改修工事

【展示物更新事業】
シアタールーム放映機器更新業務
映像コンテンツ更新業務
展示ルーム更新リニューアル工事

2.令和　4　年度事業実績（Do）

五箇創生館
・来館者数 2,790人／年
（前年比：1,218人増）
・創生館入館料　805千円
・創生館喫茶売上　1,880千円

隠岐郷土館
・来館者数 2,098人／年
（前年比：705人増）
・郷土館入館料　507千円

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

本施設は、展示及び映像を通じて隠岐の伝承文化を伝える事ができ、観光施設としても重要な位置付けがなされている。

課題である施設整備、映像コンテンツ、デジタル化によるシアター鑑賞等の検討を重ね、令和６年度リニューアルアオープンに向けた取組を行った。

【②.事業の課題】

施設は竣工後30年が経過し、建物・機器設備の老朽化が激しい。特に受電設備及び空調設備の更新が急務となっており、令和5年度及び令和6年度での整備を計画している。

入館者数は回復傾向にあるが、展示及び映像コンテンツについては、旧来のままで内容・画質ともに時代にマッチしておらず、目新しいものが無いため、町民の利用も減少している。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

島内の観光文化関連施設の役割分担を明確化することにより、施設の役割に適した施設改修と展示内容の更新（昔の祭や神事などの映像を募集し、デジタル化によりシアターで鑑賞できるようにする）などを行い、観光客のみならず地元住民が何度でも訪れ、楽しめる施設へと再生させる。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

島内の観光文化関連施設の役割分担を明確化することにより、施設の役割に適した施設改修と展示内容の更新（昔の祭や神事などの映像を募集し、デジタル化によりシアターで鑑賞できるようにする）などを行い、観光客のみならず地元住民が何度でも訪れ、楽しめる施設へと再生させる。

実績額		千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	5,273人/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	隠岐郷土館・五箇創生館管理運営事業	担当	五箇支所 地域振興係	整理番号	五-5

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	創生館電気設備改修工事 22,000 千円 創生館ﾘﾆｭｰｱﾙｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞﾘｰ業務 1,320 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	創生館空調設備改修工事 13,000 千円 シアター映像取材撮影業務（古典相撲） 1,000 千円 アーカイブス業務及び映像コンテンツ更新業務 4,000 千円 展示ルーム更新リニューアル工事 6,000 千円 施設活用プロジェクト 150 千円 からむし2世号展示小屋改修工事 2,750 千円 監視カメラ設置 300 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 アーカイブス業務 2,000 千円 郷土館整備事業 3,000 千円 施設活用プロジェクト 150 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 アーカイブス業務 2,000 千円 千円 施設活用プロジェクト 150 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 アーカイブス業務 2,000 千円 千円 施設活用プロジェクト 150 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	23,320 千円	27,200 千円	5,150 千円	2,150 千円	2,150 千円
財源内訳	国補助　千円 県補助　千円 起　債　22,000 千円 特　定　千円 一般財源　1,320 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　23,000 千円 特　定　千円 一般財源　4,200 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　千円 一般財源　5,150 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　千円 一般財源　2,150 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　千円 一般財源　2,150 千円
目標値	①　12,500人/年　④ ②　⑤ ③　⑥	①　12,500人/年　④ ②　⑤ ③　⑥	①　12,500人/年　④ ②　⑤ ③　⑥	①　12,500人/年　④ ②　⑤ ③　⑥	①　12,500人/年　④ ②　⑤ ③　⑥

Ⅱ.安心して暮らせるまち

基本施策	課名	事業名	頁	備考
1.安心を支える医療体制を確保します	保健福祉課	地域医療教育推進事業	107～	
	五箇支所	五箇診療所医療用機器整備事業	109～	
	五箇支所	五箇歯科診療所医療用機器整備事業	111～	
	都万支所	都万診療所医療用機器整備事業	113～	
	都万支所	都万歯科診療所医療用機器整備事業	115～	
	布施支所	布施診療所医療機器整備事業	117～	
	中出張所	中村診療所・出張所庁舎整備事業	119～	
	中出張所	中村診療所整備事業	121～	
2.元気で長生きできるまちづくりを推進します	町民課	特定健康診査等事業(国保)	123～	
	町民課	後期高齢者健康診査等事業	125～	
	保健福祉課	高齢者福祉対策事業	127～	
	保健福祉課	高齢者福祉施設整備事業	129～	
	保健福祉課	地域包括支援センター運営事業	131～	重複
	保健福祉課	保健活動推進事業	133～	
	保健福祉課	成人保健事業	135～	
	保健福祉課	歯科保健事業	137～	
	保健福祉課	感染症予防事業	139～	
	五箇支所	隠岐温泉GOKA管理運営事業	141～	
3.互いを支え合う福祉環境の充実を図ります	保健福祉課	社会福祉事業	143～	
	保健福祉課	障がい者福祉総務事業	145～	
	保健福祉課	障がい者福祉サービス事業	147～	
	保健福祉課	障がい者地域生活支援事業	149～	
	保健福祉課	生活困窮者自立支援事業	151～	
	保健福祉課	精神保健事業	153～	
	保健福祉課	地域包括支援センター運営事業	155～	(重複)
	総務課	竹島対策事業	157～	
	総務課	交通安全対策事業	159～	
	総務課	消防団活動事業	161～	
	総務課	消防施設維持管理事業	163～	
	総務課	防火水槽整備事業	165～	

基本施策	課名	事業名	頁	備考
4.日常生活の安全を確保します	総務課	消火栓整備事業	167～	
	総務課	防災対策事業	169～	
	地域振興課	消費者対策事業	171～	
	施設管理課	防犯灯管理事務	173～	
	建設課	災害に強く安全安心な道路整備事業	175～	
	建設課	河川管理事業	177～	
	建設課	河川改修事業	179～	
	建設課	港湾・海岸施設長寿命化事業	181～	
	建設課	湾港改修事業	183～	
	建設課	県営河川事業	185～	

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	地域医療教育推進事業	担当	保健福祉課 健康係	整理番号	保-15

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	安心して暮らせるまち
基本施策	1.安心を支える医療体制を確保します
重点施策	
関連計画	隠岐の島町健康増進実施計画
予算区分	一般会計　款 4　項 1　目 1

指標		令和6年度目標値
①	医師数（KPI）	36.6人
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

小学生・中学生の時期に地域医療の現状及び課題を学習し、故郷の将来に果たすべき役割について考えることにより、医師・看護師及び薬剤師等医療に従事したいと思う児童・生徒を育てることを目的とする。

【事業概要】

助産師による講話や、隠岐における医療の実態など、町内各小、中学校が行う地域の医療を学習する活動に対して支援する。
また、高校生が医療従事者に対する理解と関心を持ち、将来の担い手となるよう、PR活動や体験学習について検討する。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

地域医療教育推進事業
小学校7校
中学校4校
700千円

実績額			700 千円
財源内訳	国補助		千円
	県補助		699 千円
	起債		千円
	特定		千円
	一般財源		1 千円

実績値				
	①	33.9人	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

医療機関や医師、助産師、救命救急士等専門職の協力を得て、小学校7校・中学校4校で実施した。各校教材を工夫し、児童生徒の健康や島内の医療の状況について学習の機会を設けた。

【②.事業の課題】

学校によって取組内容や事業に対する理解や考え方に差があるため、事業内容と効果について十分な検証が必要であるとともに、あらためて事業の主旨と目的について、丁寧な説明と対応が必要である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

本事業により、早急な医療従事者不足の解消にはならないが、児童生徒が地域の医療体制や医療職に興味・関心をもち、ふるさとの将来に自身の果たすべき役割について考えることにより、将来における医療従事者への職業選択の一助となる活動について、関係機関との協働により継続して取り組んでいく必要がある。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

本事業の各校における利活用状況について、教育委員会とも連携を図りながら情報共有する機会を設け、効果的な取り組みや好事例の紹介により、各学年に応じた横断的な展開を広げる。また、保護者や地域との連携を目的とし授業公開日・地域参観日とあわせた実施により更なる効果の向上を図る。

医療職を目指す高校生に向けたPR活動については、ハローワーク・隠岐の島町・商工会・雇用対策協議会によるジョブフェアや、島根県看護協会隠岐支部による高校への進学ガイダンス事業（進学・就職に関する情報提供）等の機会を活用しPR活動に努める。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	地域医療教育推進事業	担当	保健福祉課 健康係	整理番号	保-15

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	地域医療教育推進事業 小学校7校　中学校4校	地域医療教育推進事業 小学校7校　中学校4校	地域医療教育推進事業 小学校7校　中学校4校	地域医療教育推進事業 小学校7校　中学校4校	地域医療教育推進事業 小学校7校　中学校4校
	771 千円	771 千円	771 千円	771 千円	771 千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	771 千円	771 千円	771 千円	771 千円	771 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	770 千円	770 千円	770 千円	770 千円	770 千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	1 千円	1 千円	1 千円	1 千円	1 千円
目標値 ①	36.6人	36.6人	36.6人	36.6人	36.6人
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	五箇診療所医療用機器整備事業	担当	五箇支所 五箇診療所	整理番号	五-6

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	安心して暮らせるまち
基本施策	1.安心を支える医療体制を確保します
重点施策	
関連計画	隠岐の島町総合保健福祉計画
予算区分	特別会計　款 2　項 1　目 1

指標		令和6年度目標値
①	医師数（KPI）	36.6人
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

町立診療所において、患者の病状を早期に把握し、適確な治療を行うために不可欠な医療機器を整備することで、町民が安心して健やかに暮らせることを目的とする。

【事業概要】

新たな医療機器の導入、経年劣化等により更新が見込まれる医療機器について、計画に基づき更新する。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

○移動式免疫蛍光分析装置（更新）
　数量：一式
　価格：561千円
○検査ﾃﾞｰﾀ処理支援ｼｽﾃﾑ
　数量：一式
　価格：770千円
○小型尿分析装置（更新）
　数量：一式
　価格：102千円
○ｵｰｼﾞｵﾒｰﾀｰ（聴力検査器）（更新）
　数量：一式
　価格：105千円

実績額		1,538 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	1,538 千円

実績値				
	①	33.9人	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

各医療機器の必要性、使用頻度、状態等を確認しながら、計画的に導入、更新を進めており、適確な診療に繋げている。

【②.事業の課題】

患者層の変化や疾病の傾向に応じた医療機器の整備が必要である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

地区住民へ安心、安全な医療体制を構築するため、医療機器の整備は不可欠であり、今後も継続して計画的な更新及び導入を行う。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

隠岐病院との医療機器共同利用の内容を考慮し、機器の必要性を判断する。
機器が故障し使用不能となると、診療体制全体に影響が出るため、医療機器の点検及び保守を充実する。
更新に急務ではない機器については、先送りする等計画を見直し整備していく。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	五箇診療所医療用機器整備事業	担当	五箇支所 五箇診療所	整理番号	五-6

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	薬剤全自動分割分包装置更新 2,970 千円 HbAIC測定器更新 500 千円	超音波検査器（エコー）更新 8,000 千円 精密体重計 108 千円	レントゲン診断システム更新（一式） 3,300 千円 システム顕微鏡 400 千円 錠剤粉砕器 103 千円 全自動血圧計 145 千円 血液凝固分析器 101 千円 電動可搬型吸引器 48 千円	千円	千円
事業費	3,470 千円	8,108 千円	4,097 千円	千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	1,485 千円	4,000 千円	1,650 千円	千円	千円
財源内訳 起債	1,400 千円	4,000 千円	1,600 千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	585 千円	108 千円	847 千円	千円	千円
目標値 ①～⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	五箇歯科診療所医療用機器整備事業	担当	五箇支所 五箇診療所	整理番号	五-7

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	安心して暮らせるまち
基本施策	1.安心を支える医療体制を確保します
重点施策	
関連計画	隠岐の島町総合保健福祉計画

予算区分	特別会計	款	2	項	1	目	1

指標		令和6年度目標値
①	医師数（KPI）	36.6人
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

町立診療所において、患者の病状を早期に把握し、適確な治療を行うために不可欠な医療機器を整備することで、町民が安心して健やかに暮らせることを目的とする。

【事業概要】

新たな医療機器の導入、経年劣化等により更新が見込まれる医療機器について、計画に基づき更新する。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

新規事業の為実績なし

実績額		千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	33.9人	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

各医療機器の必要性、使用頻度、状態等を確認しながら、計画的に導入、更新を進めており、適確な診療に繋げている。

【②.事業の課題】

患者層の変化や疾病の傾向に応じた医療機器の整備が必要である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

地区住民へ安心、安全な医療体制を構築するため、医療機器の整備は不可欠であり、今後も継続して計画的な更新及び導入を行う。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

機器が故障し使用不能となると、診療体制全体に影響が出るため、医療機器の点検及び保守を充実する。
更新に急務ではない機器については、先送りする等計画を見直し整備していく。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	五箇歯科診療所医療用機器整備事業	担当	五箇支所 五箇診療所	整理番号	五-7

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容			レセプトコンピュータ更新	レントゲン診断装置・システム(一式)	診療台ユニット
(Plan)	千円	千円	3,100 千円	5,766 千円	4,059 千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	千円	千円	3,100 千円	5,766 千円	4,059 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	1,550 千円	2,833 千円	2,029 千円
財源内訳 起債	千円	千円	1,500 千円	2,800 千円	2,000 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	千円	千円	50 千円	133 千円	30 千円
目標値 ①〜⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	都万診療所医療用機器整備事業	担当	都万支所 都万診療所	整理番号	都万-3

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	安心して暮らせるまち
基本施策	1.安心を支える医療体制を確保します
重点施策	
関連計画	隠岐の島町総合保健福祉計画
予算区分	特別会計　款 2　項 1　目 1

指標		令和6年度目標値
①	医師数（KPI）	36.6人
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

町立診療所において、患者の病状を早期に把握し、適確な治療を行うために不可欠な医療機器を整備することで、町民が安心して健やかに暮らせることを目的とする。

【事業概要】

新たな医療機器の導入、経年劣化等により更新が見込まれる医療機器について、計画に基づき更新する。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

○薬剤全自動分割分包装置購入
　数量：1台
　価格：2,420千円
○オンライン資格端末購入
（都万診療所）
　数量：1台
　価格：478千円
○オンライン資格端末購入
（那久出張所）
　数量：1台
　価格：478千円

実績額				3,376 千円
財源内訳	国補助			2,068 千円
	県補助			千円
	起債			1,308 千円
	特定			千円
	一般財源			千円

実績値				
	①	33.9人	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

各医療機器の必要性、使用頻度、状態等を確認しながら、計画的に導入、更新を進めており、適確な診療に繋げている。

【②.事業の課題】

患者層の変化や疾病の傾向に応じた医療機器の整備が必要である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

地区住民へ安心、安全な医療体制を構築するため、医療機器の整備は不可欠であり、今後も継続して計画的な更新及び導入を行う。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

機器が故障した場合、診療体制全体に影響が出るため、点検及び保守を充実する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	都万診療所医療用機器整備事業	担当	都万支所 都万診療所	整理番号	都万-3

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	遠心分離機 300 千円 レントゲン画像診断システム 1,320 千円	自動CRP測定装置 803 千円 複合機更新（都万診療所） 829 千円	千円	千円	千円
事業費	1,620 千円	1,632 千円	千円	千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	660 千円	401 千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	900 千円	400 千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	60 千円	831 千円	千円	千円	千円
目標値 ①～⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	都万歯科診療所医療用機器整備事業	担当	都万支所 都万診療所	整理番号	都万-4

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	安心して暮らせるまち
基本施策	1.安心を支える医療体制を確保します
重点施策	
関連計画	隠岐の島町総合保健福祉計画

予算区分	特別会計	款	2	項	1	目	1

指標		令和6年度目標値
①	医師数（KPI）	36.6人
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

町立診療所において、患者の病状を早期に把握し、適確な治療を行うために不可欠な医療機器を整備することで、町民が安心して健やかに暮らせることを目的とする。

【事業概要】

新たな医療機器の導入、経年劣化等により更新が見込まれる医療機器について、計画に基づき更新する。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

○パノラマX線装置（デジタル）
　数量：1台
　価格：4,180千円
○オンライン資格端末購入
（都万歯科）
　数量：1台
　価格：478千円

実績額		4,658 千円
財源内訳	国補助	3,564 千円
	県補助	千円
	起債	1,094 千円
	特定	千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	33.9人	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

各医療機器の必要性、使用頻度、状態等を確認しながら、計画的に導入、更新を進めており、適確な診療に繋げている。

【②.事業の課題】

患者層の変化や疾病の傾向に応じた医療機器の整備が必要である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

地区住民へ安心、安全な医療体制を構築するため、医療機器の整備は不可欠であり、今後も継続して計画的な更新及び導入を行う。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

機器が故障した場合、診療体制全体に影響が出るため、点検及び保守を充実する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	都万歯科診療所医療用機器整備事業	担当	都万支所 都万診療所	整理番号	都万-4

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	エアースケーラー（2本）		エアースケーラー（2本）	全自動高圧蒸気滅菌器	
	240 千円	千円	240 千円	500 千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	240 千円	千円	240 千円	500 千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	500 千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	240 千円	千円	240 千円	千円	千円
目標値 ①	36.6人	36.6人	36.6人	36.6人	36.6人
目標値 ②③④⑤⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	布施診療所医療用機器整備事業	担当	布施支所 布施診療所	整理番号	布-4

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	安心して暮らせるまち
基本施策	1.安心を支える医療体制を確保します
重点施策	
関連計画	隠岐の島町総合保健福祉計画
予算区分	特別会計　款 2　項 1　目 1

指標		令和6年度目標値
①	医師数（KPI）	36.6人
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

町立診療所において、かかりつけ医の役割として、患者の病状を早期に把握し、的確に治療を行うために不可欠な医療機器を整備することで、町民が安心して健やかに暮らせることを目的とする。

【事業概要】

新たな医療機器の導入及び経年劣化による更新が見込まれる医療機器について、計画に基づき、必要な医療が受けられる環境を整備します。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

レントゲン投影装置　1台
5,368千円

実績額	5,368 千円				
財源内訳	国補助	千円			
	県補助	2,684 千円			
	起債	2,600 千円			
	特定	千円			
	一般財源	84 千円			

実績値				
①	33.9人	④		
②		⑤		
③		⑥		

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

医療機器の必要性、使用頻度、状態等を確認しながら計画的に整備を進めており、的確な診察に繋げている。

【②.事業の課題】

患者層の変化や疾病の傾向に応じた医療機器の整備が必要である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

町民へ安心、安全な医療体制を構築するため、医療機器の整備は不可欠であり、今後も計画的な更新、導入を行う。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

医療機器等故障等が生じた場合、診療に大きく影響が出るため、日々の点検及び保守を充実する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	布施診療所医療用機器整備事業	担当	布施支所 布施診療所	整理番号	布-4

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	自動血球計装置	レントゲン画像システム更新　1式			
	1,320 千円	2,640 千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	1,320 千円	2,640 千円	千円	千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	660 千円	1,320 千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	600 千円	1,300 千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	60 千円	20 千円	千円	千円	千円
目標値 ①	33.9人	33.9人	33.9人	33.9人	33.9人
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	中村診療所・出張所庁舎整備事業	担当	中出張所 地域振興係	整理番号	中-1

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	安心して暮らせるまち
基本施策	1.安心を支える医療体制を確保します
重点施策	中村診療所・出張所庁舎整備事業
関連計画	

予算区分	一般会計	款	2	項	1	目	1

指標		令和6年度目標値
①	医師数（KPI）	36.6人
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

出張所及び歯科診療所を含めた診療所と一体となった複合施設を整備することにより、利用者の利便性の向上、行政サービスの効率化、安心して健やかに暮らせることを目的とする。

【事業概要】

老朽化が顕著な中出張所及び診療所施設について、一体となった複合施設として新築整備する。

また、住民が参画する庁舎等活用検討委員会の実施により、新庁舎の有効活用や、現中出張所・中村診療所・中村歯科診療所及びものづくり学校、中出張所建設候補地残地の跡地についても、活用の方向性を検討する。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

建築設計・敷地造成設計業務の実施。

検討委員会の実施により建築設計に住民要望等を反映。

敷地造成（第1期）工事

実績額		92,276 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	36,800 千円
	特定	55,200 千円
	一般財源	276 千円

実績値				
	①	33.9人	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

建築・敷地造成設計の実施により、主たる工事の発注準備が整った。また、敷地造成工事の一部（土壌改良工事）を実施することができた。

【②.事業の課題】

資材高騰等の影響により事業費が増加傾向にあるため、より一層事業費について精査する必要がある。また、現庁舎等の跡地利用についても、今後の活用等の方向性を検討する必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

老朽化が顕著な中出張所、中村診療所、中村歯科診療所の整備建て替えは急務である。また、現庁舎等の跡地利用について、地元住民も参画する検討委員会で、今後の活用等の方向性を検討する。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

資材高騰等の影響により事業費が増加傾向にあるため、事業費の精査や財源確保に努める。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	中村診療所・出張所庁舎整備事業	担当	中出張所 地域振興係	整理番号	中-1

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	敷地造成（第2期）工事 102,000 千円 事務費 563 千円 工事監理業務　※債務負担 1,550 千円 建築工事費（建築主体・機械・電気） ※債務負担 70,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	敷地造成（第3期）工事 20,000 千円 事務費 1,500 千円 工事監理業務　※債務負担 12,289 千円 建築工事費（建築主体・機械・電気） ※債務負担 704,000 千円 太陽光発電システム工事 32,340 千円 外構（舗装等）工事費 60,000 千円 下水道管接続・電話移転・防犯設備工事 4,000 千円 備品購入費 20,000 千円 引越費 3,000 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	174,113 千円	857,129 千円	千円	千円	千円
財源内訳	国補助　千円 県補助　千円 起　債　69,500 千円 特　定　104,400 千円 一般財源　213 千円	国補助　21,560 千円 県補助　千円 起　債　186,700 千円 特　定　500,400 千円 一般財源　148,469 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　千円 一般財源　千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　千円 一般財源　千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　千円 一般財源　千円
目標値	①　36.6人　④ ②　⑤ ③　⑥	①　36.6人　④ ②　⑤ ③　⑥	①　36.6人　④ ②　⑤ ③　⑥	①　36.6人　④ ②　⑤ ③　⑥	①　36.6人　④ ②　⑤ ③　⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	中村診療所整備事業	担当	中出張所 中村診療所	整理番号	中-3

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	安心して暮らせるまち
基本施策	1.安心を支える医療体制を確保します
重点施策	
関連計画	隠岐の島町総合保健福祉計画

予算区分	特別会計	款	2	項	1	目	1

指標		令和6年度目標値
①	医師数（KPI）	36.6人
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

出張所及び歯科診療所を含めた診療所と一体となった複合施設を整備することにより、利用者の利便性の向上、行政サービスの効率化、安心して健やかに暮らせることを目的とする。

【事業概要】

出張所及び歯科診療所を含めた複合施設の整備に伴い、各種医療機器の購入及び移設を行う。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

R4年度中出張所等複合施設新庁舎整備事業負担金（診療所分）
55,200千円
（内R5繰越 18,400千円）

実績額		55,200 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	55,200 千円
	特定	千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	33.9人	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

新たに整備する診療所内の医療用機器等の配置等を医師及び医療関係者、設計業者と協議・検討し、複合施設の設計に必要な打ち合わせを行うことが出来た。

【②.事業の課題】

資材高騰の影響等により事業費が増加傾向にあるため、より一層事業費について精査する必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

町民へ安心、安全な医療体制を構築するため、老朽化が顕著な中出張所、中村診療所、中村歯科診療所の整備建て替えは急務である。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

令和6年度は、出張所及び歯科診療所を含めた診療所と一体となった複合施設を整備するため、医療機器の移設又は更新の詳細を中出張所及び医師・看護師と協議・検討を行いながら、事業費の精査や財源確保に努める。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	中村診療所整備事業	担当	中出張所 中村診療所	整理番号	中-3

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	複合施設整備負担金【R5診療所分】	複合施設整備負担金【R6診療所分】			
	104,400 千円	500,400 千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	104,400 千円	500,400 千円	千円	千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	1,300 千円	13,700 千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	103,100 千円	486,700 千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	千円	千円	千円	千円	千円
目標値 ①	36.6人	36.6人	36.6人	36.6人	36.6人
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	【国保特別会計】 特定健康診査等事業	担当	町民課 国保年金係	整理番号	町-2

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	安心して暮らせるまち
基本施策	2.元気で長生きできるまちづくりを推進します
重点施策	
関連計画	隠岐の島町健康増進実施計画 隠岐の島町データヘルス計画

予算区分	特別会計	款	4	項	2	目	1

指標		令和6年度目標値
①	国保特定健康審査受診率（KPI）	60%
②	国保特定保健指導終了率（KPI）	60%
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

40～74歳の方を対象に生活習慣病予防のための健康診査及び保健指導を行い、生活習慣病の発症・重症化予防、及び医療費増加の抑制を図るとともに、町民の健康増進を図る。

【事業概要】

特定健診実施にあたっては、対象者の利便性を高めるため、検診車が各地区を巡回する集団健診と、町内医療機関で受診する個別健診を実施している。集団健診では、島根大学医学部の協力を得て、塩分測定や歩行測定などを同時に受診することができ、より魅力のある健診を行っている。

特定健診受診者には結果説明を行い、検査結果に応じて保健師による保健指導を行っている。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

【特定健康診査】
対象者　2,413人
受診者　924人
受診率　38.3%
健康診査委託料　10,551千円

【特定保健指導】
対象者　150人
修了者　13人
終了率　8.7%
（速報値）

【特定健診未受診者対策】
AIを活用した受診勧奨通知（年2回）
4,066千円
島外人間ドック助成金　210千円
40歳未満健康診査　107千円

実績額		16,086 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	16,086 千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	38.30%	④	
	②	8.70%	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

特定健診受診率向上のため、令和３年度より人工知能を活用し、過去の受診状況から未受診者の特性を分析し、未受診者一人一人にあった受診勧奨通知を行っている。その他、医療機関での受診勧奨、人間ドック受診時の助成、事業所健診結果の情報収集など様々な対策を講じている。その結果、令和４年度は過去最高の特定健診受診率となった。

【②.事業の課題】

1人あたりの医療費が年々上昇する中、疾病の早期発見、早期治療につなげ、医療費増加の抑制を図ることができるよう、特定健診受診率の向上が最重要課題となっている。

また、特定健診を受診しない一番の理由が「定期的に通院しているから」であって、改めて特定健診を受ける方が少ない状況である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

現在実施している受診勧奨対策に加え、様々な角度から受診勧奨を行っていく必要がある。

また、令和５年度からの受診勧奨通知については、未受診者の特性に応じた勧奨通知に加えて、健康年齢に着目した通知を送ることで、健康意識の向上を促し受診率の向上を図る。

60歳以下の受診率が低い傾向にあり、ターゲットを絞った対策を講じる。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

未受診者の特性に応じた受診勧奨通知に一定の成果が得られていることから、継続実施していくとともに、令和５年度より健康年齢に着目した受診勧奨を実施し、更なる受診率の向上を図ります。

60歳以下の若年層の受診率が低い傾向にあり、令和3年度から特定健診の対象となる前の35歳～39歳の被保険者に対し、健康診査の全額助成と保健指導を行っている。効果の確認ができるまで、一定の期間を要することから、継続実施していく。

個別健診に比べ集団健診受診者が減少傾向であることから、令和5年度は、集団健診受診者へインセンティブ商品を提供する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	【国保特別会計】 特定健康診査等事業	担当	町民課 国保年金係	整理番号	町-2

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	特健康診査事業 委託料 未受診者対策 受診勧奨通知 島外医療機関人間ドック助成 医療機関検査結果情報提供 40歳未満特定健診 受診券発行 職員の研修 18,766 千円 特定保健指導事業 100 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	特健康診査事業 委託料 未受診者対策 受診勧奨通知 島外医療機関人間ドック助成 医療機関検査結果情報提供 40歳未満特定健診 受診券発行 職員の研修 18,766 千円 特定保健指導事業 100 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	特健康診査事業 委託料 未受診者対策 受診勧奨通知 島外医療機関人間ドック助成 医療機関検査結果情報提供 40歳未満特定健診 受診券発行 職員の研修 18,766 千円 特定保健指導事業 100 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	特健康診査事業 委託料 未受診者対策 受診勧奨通知 島外医療機関人間ドック助成 医療機関検査結果情報提供 40歳未満特定健診 受診券発行 職員の研修 18,766 千円 特定保健指導事業 100 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	特健康診査事業 委託料 未受診者対策 受診勧奨通知 島外医療機関人間ドック助成 医療機関検査結果情報提供 40歳未満特定健診 受診券発行 職員の研修 18,766 千円 特定保健指導事業 100 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	18,866 千円	18,866 千円	18,866 千円	18,866 千円	18,866 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	18,866 千円	18,866 千円	18,866 千円	18,866 千円	18,866 千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	千円	千円	千円	千円	千円
目標値 ①	55%	60%	60%	60%	60%
目標値 ②	55%	60%	60%	60%	60%
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	【後期高齢者特別会計】 後期高齢者健診査等事業	担当	町民課 国保年金係	整理番号	町-3

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	安心して暮らせるまち
基本施策	2.元気で長生きできるまちづくりを推進します
重点施策	
関連計画	隠岐の島町健康増進実施計画 隠岐の島町データヘルス計画

予算区分	特別会計	款	3	項	1	目	1

指標		令和6年度目標値
①	後期高齢者健康診査受診率（KPI）	28%
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

生活習慣病の発症や重症化の予防のための健康診査、口腔機能低下や誤嚥性肺炎等の疾病を予防するための歯科口腔健診を行うことにより、医療費の増加の抑制を図るとともに、町民の健康増進を図る。

【事業概要】

後期高齢者の方を対象に健康診査及び歯科口腔健診（75～84歳対象）を実施している。

健康診査においては、対象者の利便性を高めるため、検診車が各地区を巡回する集団健診と、町内医療機関で受診する個別健診を実施している。集団健診では、島根大学医学部の協力を得て、塩分測定や歩行測定などを同時に受診することができ、より魅力のある健診を行っている。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

【健康診査】

対象者	2,543人
受診者	734人
受診率	28.9%
健康診査委託料	7,207千円

【歯科口腔健診】

対象者	1,536人
受診者	66人
受診率	4.3%

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

健診受診率向上のため、未受診者に対する受診勧奨通知を行っている。

【②.事業の課題】

1人あたりの医療費が年々上昇するなか、疾病の早期発見、早期治療につなげ、医療費増加の抑制を図ることができるよう、後期高齢者健康診査受診率向上が最重要課題となっている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

後期高齢者健康診査受診率の向上をより一層進めていくため、他事業との連携により効果的な受診率の向上を図る。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

後期高齢者になる前の世代の受診率を向上させることで、健康診査受診への意識が高まり、将来的に後期高齢者の受診率向上が見込まれるため、国保特定健診受診率向上のための対策を合わせて講じていく。

後期高齢者の保健事業を介護保険の地域支援事業や国民健康保険の保健事業と一体的に実施していく。

実績額		7,896 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	7,896 千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	28.90%	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	【後期高齢者特別会計】 後期高齢者健診査等事業	担当	町民課 国保年金係	整理番号	町-3

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	健康診査等事業 委託料 受診券発行	健康診査等事業 委託料 受診券発行	健康診査等事業 委託料 受診券発行	健康診査等事業 委託料 受診券発行	健康診査等事業 委託料 受診券発行
	12,741 千円	12,741 千円	12,741 千円	12,741 千円	12,741 千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	12,741 千円	12,741 千円	12,741 千円	12,741 千円	12,741 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	11,473 千円	11,473 千円	11,473 千円	11,473 千円	11,473 千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	1,268 千円	1,268 千円	1,268 千円	1,268 千円	1,268 千円
目標値 ①	28%	28%	28%	28%	28%
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	高齢者福祉対策事業	担当	保健福祉課 高齢者福祉係	整理番号	保-5

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	安心して暮らせるまち
基本施策	2.元気で長生きできるまちづくりを推進します
重点施策	福祉・介護職員処遇改善補助金
関連計画	隠岐の島町総合保健福祉計画
予算区分	一般会計　款 3　項 1　目 3

指標		令和6年度目標値
①	処遇改善を達成した福祉職場の率（KPI）	100%
②	シルバー人材センターの会員登録者数（KPI）	100人
③	男　65歳以上の平均自立期間（KPI）	17.80年（男）
④	女　65歳以上の平均自立期間（KPI）	21.10年（女）
⑤		
⑥		

【事業目的】

高齢者が住み慣れた地域で、元気に安心して生活できるよう、生活支援体制の推進を目的とする。

【事業概要】

○長期的な福祉人材の確保・定着化及び、安定的なサービス供給を図ることを目的とし、「福祉・介護職員処遇改善補助金」を交付する。
○在宅福祉サービス提供体制確保を目的とし、「訪問介護サービス等確保対策補助金」を交付する。
○高齢者の地域におけるさまざまな活動推進の支援を行う。
「シルバー人材センター運営補助金」「老人クラブ連合会補助金」
○高齢者、障がい者の方の社会参加促進を図ることを目的として、非課税世帯で運転免許を保有していない方に「タクシー利用助成券」を交付する。また、高齢ドライバーによる交通事故を抑止し、交通利用の支援を行うことを目的に運転免許の自主返納者への交通利用券の交付を行う。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

福祉・介護職員処遇改善補助金
　申請：12事業所　17,895千円

シルバー人材センター運営補助金
　2,000千円

タクシー利用助成事業
　交付世帯数：298世帯
　助成券利用率：76.7%
　5,170千円

実績額		
		25,065 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	17,800 千円
	一般財源	7,265 千円

実績値				
	①	100%	④	20.8（女）
	②	60人	⑤	
	③	17.14（男）	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

　福祉・介護施設の人材確保に向けた事業を重点事業に掲げ、人材の確保・離職防止の双方の観点から、総合的な人材確保対策の取り組みを行った。
　また、タクシー利用への助成を行うことで、計画的な社会参加や日常生活の利便性向上への支援を行うことができた。

【②.事業の課題】

　在宅福祉のニーズは益々高まるとともに、それらのニーズの多様化や複雑化も進んでいることから、地域に即した取組みへの強化と、地域社会全体で支えあう仕組みづくりが必要となっている。
　これらの地域社会の実現に向けて、介護に従事する方が重要な役割を担っていることを踏まえ、実効性の高い人材確保への取組を進めることが重要となっている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

　在宅福祉サービスの充実と、地域での支え合う活動の推進に向け、今後も継続して事業を実施する。

【④.外部評価】　方向性：　手法・内容の見直し　**令和３年度評価済**

　高齢者が元気に生活していくために本事業の重要性は高いと考えます。シルバー人材センターは元気な高齢者が社会で活躍できる場を提供する役割の一端を担っています。草刈や清掃以外にも派遣事業を充実させ、シルバー人材センターの職種拡大に取組んで下さい。また、自らの能力が発揮できる場であることを周知し、人材確保にも積極的に取組んで下さい。タクシー利用助成事業は現行制度のままでは利用しにくい側面があるのではないでしょうか。利用状況の検証やニーズの把握を行ない、また免許返納制度やバス路線の状況などを踏まえ、制度内容を再検討して頂きたいです。

4.改善・見直し（Action）

（事業継続）
福祉・介護職員処遇改善補助金
　事業進捗状況・事業効果の評価をもって事業の見直しを図り、より効果的で効率的な事業を推進する。

（事業廃止）
介護職員等子育て支援代替職員費補助金
　介護職員等が、出産・育児休業等から復職し、育児の為の短時間勤務制度を活用した際、事業所が代替職員を雇用する場合の、費用の一部を助成する制度。
　人材確保・定着化を目的としていたが、平成31年度要綱制定時から、活用実績がないため、令和4年度で廃止する。

在宅福祉サービス提供体制の確保
住み慣れた地域で、必要なサービスを安心して受けることができる体制確保のため、重点施策を講じるとにより課題の解決を図る。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	高齢者福祉対策事業	担当	保健福祉課 高齢者福祉係	整理番号	保-5

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	福祉・介護処遇改善補助金 18,750 千円 訪問介護サービス等確保事業補助金 1,843 千円 通所介護サービス等確保事業補助金 8,020 千円 シルバー人材センター補助金 2,000 千円 タクシー利用助成事業（利用率85%） 6,483 千円 運転免許自主返納支援事業 1,386 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	福祉・介護処遇改善補助金 18,750 千円 訪問介護サービス等確保事業補助金 1,843 千円 通所介護サービス等確保事業補助金 8,020 千円 シルバー人材センター補助金 1,000 千円 タクシー利用助成事業（利用率85%） 6,483 千円 運転免許自主返納支援事業 1,386 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	福祉・介護処遇改善補助金 18,750 千円 訪問介護サービス等確保事業補助金 1,843 千円 通所介護サービス等確保事業補助金 8,020 千円 シルバー人材センター補助金 1,000 千円 タクシー利用助成事業（利用率85%） 6,483 千円 運転免許自主返納支援事業 1,386 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	福祉・介護処遇改善補助金 18,750 千円 訪問介護サービス等確保事業補助金 1,843 千円 通所介護サービス等確保事業補助金 8,020 千円 シルバー人材センター補助金 1,000 千円 タクシー利用助成事業（利用率85%） 6,483 千円 運転免許自主返納支援事業 1,386 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	福祉・介護処遇改善補助金 18,750 千円 訪問介護サービス等確保事業補助金 1,843 千円 通所介護サービス等確保事業補助金 8,020 千円 シルバー人材センター補助金 1,000 千円 タクシー利用助成事業（利用率85%） 6,483 千円 運転免許自主返納支援事業 1,386 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	38,482 千円	37,482 千円	37,482 千円	37,482 千円	37,482 千円
財源内訳	国補助　千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　18,700 千円 一般財源　19,782 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　18,700 千円 一般財源　18,782 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　18,700 千円 一般財源　18,782 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　18,700 千円 一般財源　18,782 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　18,700 千円 一般財源　18,782 千円
目標値	①　88%　④　21.10（女） ②　100人　⑤ ③　17.80（男）　⑥	①　100%　④　21.10（女） ②　100人　⑤ ③　17.80（男）　⑥	①　100%　④　21.10（女） ②　100人　⑤ ③　17.80（男）　⑥	①　100%　④　21.10（女） ②　100人　⑤ ③　17.80（男）　⑥	①　100%　④　21.10（女） ②　100人　⑤ ③　17.80（男）　⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	高齢者福祉施設整備事業	担当	保健福祉課 高齢者福祉係	整理番号	保-6

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	安心して暮らせるまち
基本施策	2.元気で長生きできるまちづくりを推進します
重点施策	
関連計画	隠岐の島町総合保健福祉計画
予算区分	一般会計　款 3　項 1　目 3

指標		令和6年度目標値
①	男　65歳以上の平均自立期間（KPI）	17.80年(男)
②	女　65歳以上の平均自立期間（KPI）	21.10年(女)
③	男　平均寿命（KPI）	81.58歳(男)
④	女　平均寿命（KPI）	88.29歳(女)
⑤		
⑥		

【事業目的】

施設の維持・安定運営を図り、利用者に適切で安定的なサービスを提供できる環境を整える。

【事業概要】

高齢者福祉施設整備事業

高齢者福祉施設の計画的な改修や修繕を行うとともに、民有施設については、改修修繕費に対して補助金の交付を行う。

福祉・介護事業所車両購入費補助金

車両購入費及び、介護車両への改造費に対して補助金の交付を行う。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

◆高齢者福祉施設整備事業

中村ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ排水管修繕工事
1,978千円

清松園防火戸改修工事
7,845千円

岬町ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰﾎﾞｲﾗｰ設備更新工事(R5繰越)
8,470千円

ふれあい五箇厨房エアコン取替工事
1,925千円

蓬莱苑ボイラー室ポンプ修繕
286千円

中条ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ屋根棟補修
109千円

◆測量・設計・管理・調査委託

清松園防火戸改修工事設計業務
495千円

◆社会福祉施設整備費補助金
25,850千円

◆福祉･介護事業所車両購入補助金
（6台）3,133千円

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

高齢者施設の改修、設備修繕を行うことにより、高齢者の生活基盤の確保と、適切な介護サービスを提供することができた。

【②.事業の課題】

各施設の老朽化が進み、修繕箇所は年々増加傾向にあることに加え、緊急を要する突発的な設備の不具合も多くなっている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

高齢者福祉の総合的な推進において、その中核を担う福祉施設の適切な運営、維持管理は不可欠となっている。

今後、施設の老朽化が進み施設の修繕箇所が増えることが見込まれる為、令和5年度中に「福祉施設長寿命化計画」を策定し、緊急性・優先事項を考慮しながら、計画的に修繕を行う。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　令和４年度評価済

高齢者福祉施設は、地域や社会を支える重要な施設であり、その改修や修繕は必要な事業であると判断します。しかし、施設の老朽化に伴う修繕があまりに多く、多額の費用を要しているため、その必要性を十分に精査した上、計画的に実施して下さい。

各施設の運用については、利用者のニーズに基づき、柔軟で迅速な運用がなされるよう期待します。

4.改善・見直し（Action）

令和５年度に施設の長寿命化計画を策定し、施設の老朽化等に応じた修繕計画を踏まえて、計画的に修繕を行う。

実績額		50,091 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	34,900 千円
	特定	千円
	一般財源	15,191 千円

実績値				
	①	17.14（男）	④	88.20歳（女）
	②	20.80（女）	⑤	
	③	80.70歳（男）	⑥	

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	高齢者福祉施設整備事業	担当	保健福祉課 高齢者福祉係	整理番号	保-6

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	高齢者施設長寿命化計画業務委託 8,825 千円 中条ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ洗面台温水器取付工事 1,749 千円 中村ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ施設外部壁面調査 545 千円 ふれあい五箇浴室修繕工事 2,057 千円 千円 千円 清松園5号館空調設備更新工事 2,107 千円 千円 千円 千円 福祉・介護事業所車両購入費補助金 3,004 千円 社会福祉施設整備費補助金 769 千円	千円 千円 千円 地域福祉ｾﾝﾀｰ外壁改修・屋上防水工事 4,620 千円 なごみ苑屋上防水修繕工事 905 千円 千円 清松園本館パッケージ型消火設備更新 4,983 千円 千円 なごみ苑食器乾燥機更新（物品購入） 616 千円 なごみ苑食器乾燥機（ﾊﾟｽｽﾙｰ）更新（物品購入） 847 千円 福祉・介護事業所車両購入費補助金 3,150 千円 社会福祉施設整備費補助金 （静和園空調設備改修工事） 30,000 千円	千円 中条ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ照明取替工事 10,926 千円 千円 すがの荘公共下水接続工事 2,000 千円 なごみ苑電気設備（PAS）更新工事 935 千円 千円 清松園本館浴室更新工事 5,555 千円 清松園改修調査業務 2,000 千円 清松園冷凍庫更新（物品購入） 1,648 千円 清松園冷蔵庫更新（物品購入） 2,992 千円 福祉・介護事業所車両購入費補助金 3,150 千円 ※令和5年度高齢者施設長寿命化計画策定により、R7年度以降の施設改修内容、優先順位は変動する	千円 中村ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ照明取替工事 2,554 千円 中村ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ公共下水接続工事 1,675 千円 千円 なごみ苑公共下水接続工事 750 千円 なごみ苑ガス給湯器更新 462 千円 千円 清松園改修設計業務 5,000 千円 清松園食器洗浄機更新（物品購入） 1,287 千円 千円 福祉・介護事業所車両購入費補助金 3,150 千円	千円 蓬莱苑照明取替工事 18,171 千円 千円 千円 千円 清松園公共下水接続工事 6,600 千円 千円 千円 千円 福祉・介護事業所車両購入費補助金 3,150 千円 千円
事業費	19,056 千円	45,121 千円	29,206 千円	14,878 千円	27,921 千円
財源内訳	国補助　千円 県補助　千円 起　債　1,000 千円 特　定　3,004 千円 一般財源　15,052 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　35,900 千円 特　定　3,150 千円 一般財源　6,071 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　12,000 千円 特　定　3,150 千円 一般財源　14,056 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　5,800 千円 特　定　3,150 千円 一般財源　5,928 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　24,700 千円 特　定　3,150 千円 一般財源　71 千円
目標値	①　17.80年（男）　④　88.29歳(女) ②　21.10年（女）　⑤ ③　81.58歳(男)　⑥	①　17.80年（男）　④　88.29歳(女) ②　21.10年（女）　⑤ ③　81.58歳(男)　⑥	①　17.80年（男）　④　88.29歳(女) ②　21.10年（女）　⑤ ③　81.58歳(男)　⑥	①　17.80年（男）　④　88.29歳(女) ②　21.10年（女）　⑤ ③　81.58歳(男)　⑥	①　17.80年（男）　④　88.29歳(女) ②　21.10年（女）　⑤ ③　81.58歳(男)　⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	地域包括支援センター運営事業	担当	保健福祉課 地域包括支援係	整理番号	保-7 重複

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	安心して暮らせるまち
基本施策	2.元気で長生きできるまちづくりを推進します
重点施策	
関連計画	隠岐の島町総合保健福祉計画
予算区分	一般会計　款 3　項 1　目 4

指標		令和6年度目標値
①	65歳以上の平均自立期間	男：17.8年　女：21.1年
②	要介護認定率	20%
③	認知症サポーター数	1000人
④	地域見守りネットワーク（協議体）の設置数	1
⑤		
⑥		

【事業目的】

高齢者が元気な状態を保ちながら、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう支援体制を整備する。

【事業概要】

・支援を必要とする高齢者への個別支援
支援を要する高齢者の個別相談に応じ、必要なサービスが受けられるよう調整する。支援の際には医療機関をはじめ、関係機関と連携し支援を行う。
・高齢者が地域で生活を続けることができるための基盤整備
高齢者が元気で長生きできるための介護予防、高齢者の安心につながる地域での支え合い、認知症対策、医療介護に関わる機関の連携強化、高齢者の権利擁護等、地域並びに関係機関と連携しながら取り組む。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

●総合事業
・介護予防・生活支援サービス事業:41,717千円
一般介護予防事業：1,612千円
（はつらつサロン委託：2か所）
（高齢期の備え講座：12回）
●包括的支援事業
・総合相談支援業務：32,251千円
（相談・訪問件数:1,091件）
・権利擁護業務：767千円
（成年後見制度中核機関設置検討委員会開催）
（エンディングノート講座：3回）
・介護予防ケアマネジメント業務：4,861千円
（年：2,537件）
・在宅医療介護連携事業：2,605千円
（リヴィングウィルカード配布）
（多職種連携研修会開催）
・生活支援体制整備事業：13,993千円
（生活支援コーディネーター配置：4名）
・認知症総合支援事業：152千円
（認知症サポーター養成講座：34名）
（認知症初期集中支援チーム）
・地域ケア会議推進事業：37千円
（地域ケア会議：48回）

実績額		106,410 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	106,410 千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	男:17.14年　女:20.80年	④	0
	②	21.70%	⑤	
	③	634	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

個別支援における多職種連携を強化するため入退院連携ツールを作成、また、権利擁護業務においては「成年後見制度利用促進計画」を推進するための中核機関を設置した。地域活動においては、介護予防事業の充実を図るため「地域づくり加速化事業」に取り組み、地域見守りネットワーク構築のための「隠岐の島町高齢者見守りネットワーク事業実施要綱」を制定、事業所への協力依頼を開始した。

【②.事業の課題】

高齢者が地域で住み続けることができるための仕組みづくりに向け、各事業の評価、改善をしながら引き続き取り組む。買い物困難高齢者の問題、介護支援専門員の不足等の課題も生じており、現状把握、課題の整理、対応策の検討に着手する必要あり。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

後期高齢者の増加により、今後も医療と介護を必要とする高齢者は増加することが予測される。高齢者のみ世帯も増加しており、限られた医療介護の資源を効率よく利用するための仕組みづくりに向け、引き続き取り組む。また、医療介護をできるだけ必要としないですむよう、介護予防の取り組みをより一層強化する必要がある。

【④.外部評価】　方向性：　拡大　　令和４年度評価済

高齢者が地域で安心して生活していくための基盤とも言える重要な事業です。関係機関と連携し、地域の課題に合わせて多様な事業展開を進めていると思います。高齢者見守りネットワーク事業など、大いに期待しています。しかし、高齢化が進む中で、さらなる支援内容の充実と、将来を見据えた新しい取組みが必要となるのではないでしょうか。利用者のニーズに合わせた十分なサービスの提供が図れるよう取り組んで下さい。

4.改善・見直し（Action）

・個別支援における多職種連携については、前年度に引き続き「多職種連携研修会」を開催し、連携強化を図る。
・「成年後見制度利用促進計画」に基き、中核機関を核にネットワーク構築に向けた取り組みを開始する。
・介護予防事業については、昨年度の「地域づくり加速化事業」をきっかけにリハ職、保健師OB、スポーツクラブ隠岐と連携した事業に取り組む。
・認知症対策については、認知症予防を強化するため、認知症予防講演会、認知症予防教室に取り組む。認知症サポーター数の増に向けては役場職員を対象とした養成講座を計画している。
・「高齢者見守りネットワーク事業」の推進を図るため協力事業所の拡大に向けて取り組む。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	地域包括支援センター運営事業	担当	保健福祉課 地域包括支援係	整理番号	保-7 重複

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	介護予防・生活支援サービス事業 42,320 千円 一般介護予防事業 2,940 千円 総合相談事業 32,900 千円 権利擁護事業 4,380 千円 介護予防ケアマネジメント業務 5,048 千円 在宅医療介護連携事業 3,757 千円 生活支援体制整備事業 16,996 千円 認知症初期集中支援推進事業 335 千円 認知症地域支援・ケア向上事業 457 千円 地域ケア会議推進事業 94 千円 千円 千円 千円	介護予防・生活支援サービス事業 42,320 千円 一般介護予防事業 2,940 千円 総合相談事業 32,900 千円 権利擁護事業 4,380 千円 介護予防ケアマネジメント業務 5,048 千円 在宅医療介護連携事業 3,757 千円 生活支援体制整備事業 16,996 千円 認知症初期集中支援推進事業 335 千円 認知症地域支援・ケア向上事業 457 千円 地域ケア会議推進事業 94 千円 千円 千円 千円	介護予防・生活支援サービス事業 42,320 千円 一般介護予防事業 2,940 千円 総合相談事業 32,900 千円 権利擁護事業 4,380 千円 介護予防ケアマネジメント業務 5,048 千円 在宅医療介護連携事業 3,757 千円 生活支援体制整備事業 16,996 千円 認知症初期集中支援推進事業 335 千円 認知症地域支援・ケア向上事業 457 千円 地域ケア会議推進事業 94 千円 千円 千円 千円	介護予防・生活支援サービス事業 42,320 千円 一般介護予防事業 2,940 千円 総合相談事業 32,900 千円 権利擁護事業 4,380 千円 介護予防ケアマネジメント業務 5,048 千円 在宅医療介護連携事業 3,757 千円 生活支援体制整備事業 16,996 千円 認知症初期集中支援推進事業 335 千円 認知症地域支援・ケア向上事業 457 千円 地域ケア会議推進事業 94 千円 千円 千円 千円	介護予防・生活支援サービス事業 42,320 千円 一般介護予防事業 2,940 千円 総合相談事業 32,900 千円 権利擁護事業 4,380 千円 介護予防ケアマネジメント業務 5,048 千円 在宅医療介護連携事業 3,757 千円 生活支援体制整備事業 16,996 千円 認知症初期集中支援推進事業 335 千円 認知症地域支援・ケア向上事業 457 千円 地域ケア会議推進事業 94 千円 千円 千円 千円
事業費	109,227 千円	109,227 千円	109,227 千円	109,227 千円	109,227 千円
財源内訳	国補助：千円 県補助：千円 起　債：千円 特　定：109,227 千円 一般財源：千円	国補助：千円 県補助：千円 起　債：千円 特　定：109,227 千円 一般財源：千円	国補助：千円 県補助：千円 起　債：千円 特　定：109,227 千円 一般財源：千円	国補助：千円 県補助：千円 起　債：千円 特　定：109,227 千円 一般財源：千円	国補助：千円 県補助：千円 起　債：千円 特　定：109,227 千円 一般財源：千円
目標値	①：男：17.8年　女：21.1年 ②：21% ③：800人 ④： ⑤： ⑥：	①：男：17.8年　女：21.1年 ②：21% ③：850人 ④： ⑤： ⑥：	①：男：17.8年　女：21.1年 ②：21% ③：900人 ④： ⑤： ⑥：	①：男：17.8年　女：21.1年 ②：20.50% ③：950人 ④： ⑤： ⑥：	①：男：17.8年　女：21.1年 ②：20% ③：1000人 ④： ⑤： ⑥：

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	保健活動推進事業	担当	保健福祉課 健康係	整理番号	保-13

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	安心して暮らせるまち
基本施策	2.元気で長生きできるまちづくりを推進します
重点施策	
関連計画	隠岐の島町健康増進実施計画
予算区分	一般会計　款 4　項 1　目 1

指標		令和6年度目標値
①	65歳以上の平均自立期間（KPI）	男17.80歳女21.10歳
②	平均寿命（KPI）	男81.58歳女88.29歳
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

「健康寿命の延伸」を目標に、関係機関等と連携しながら、課題の共有や事業の実施を通じ、一人ひとりが生きがいを持ち健康に暮らし、住み慣れた地域で自分らしい生活を営めるまちを実現する。

【事業概要】

健康増進実施計画に基づいた事業を実施する。
健康づくりの啓発活動として、いきいき祭の開催や地区の健康福祉祭の機会、地区や関係団体のイベントの機会に健康チエックコーナーや掲示等を設け、あらゆる世代に啓発を行う。また地域での健康教室や健診結果説明会等の機会を通じて健康づくりを推進する。
腎機能障がい者が透析治療を受けるための交通費の助成を行い、負担軽減を図る。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

健康づくり推進事業費
　啓発活動費
　　いきいき祭
　　地区健康福祉祭
　　健康づくり推進協議会開催
　　関係団体と連携した健康づくりＰＲ活動
　　736千円

腎機能障がい者通院費助成事業
　　上半期47名　下半期40名
　　1,305千円

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

健康増進実施計画の中間評価に基づき、5つの重点目標達成に向けて、関係機関・関係団体及び地区組織と協働で取り組んだ。令和４年度はコロナ禍でも感染対策を講じながらイベントや行事等での啓発を実施した。腎機能障がい通院費助成を継続し、住み慣れた地域で継続して治療が行えるよう支援を行った。

【②.事業の課題】

朝食の欠食率や各種検診の受診率の低さ、生活習慣としての運動習慣の定着の低迷がある。関係機関及び関係団体と課題を共有し、事業を実施していくことが必要である。腎機能障がい者が治療を受けるための交通費の助成については、創設から効果の検証がされていないため、現状に合わせた見直しが必要である。また、本土医療機関への通院が必要な特定疾患り患者への助成も含め通院費助成制度の創設も必要である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

健康増進実施計画に基づき啓発活動を行っていく。県と共同で実施している健康寿命延伸プロジェクト事業を活用し「健康づくりプラスワン事業」の推進に取り組んでいく。いきいき祭での啓発については見直し、年間を通した啓発に変更する。通院費助成については、腎機能障がい者だけでなく、本土への定期通院が必要な方への渡航費助成など、経済的負担の軽減に向け制度の見直しを図る。

【④.外部評価】　方向性：　拡大　　令和４年度評価済

健康寿命の延伸は、取組んでいくべき重要なテーマです。特に腎機能障がい者の通院助成事業は、透析患者が増えていく中、患者の負担軽減に繋がっており、継続して取組んで下さい。また、離島というハンディキャップを抱えた本町で、生涯安心して暮らしていく為には、島外の病院の治療が必要となった場合の助成制度が必要不可欠であると考えます。患者のニーズ把握や医療機関からの情報収集を積極的に行い、“どうしたら実現できるか”という観点で検討して下さい。

4.改善・見直し（Action）

健康増進計画中間評価を取り組みの根拠とし、コロナ禍であっても可能な啓発、健康づくりプラスワンの取り組みを模索しながら実施する。

県と協働で実施している健康寿命延伸プロジェクトでのモデル地区活動（五箇　北方地区）による、地区ぐるみの健康づくり活動を実施しながら、他地区にも好事例を波及するように努める。

通院費助成については、腎機能障がい者だけでなく、本土への定期通院が必要な方への渡航費助成など、経済的負担の軽減に向け制度の見直しを図るため、島内医療機関や関係機関から情報を収集し、ニーズの把握を行い、新たな制度を創設する。

実績額		2,041 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起　債	千円
	特　定	千円
	一般財源	2,041 千円

実績値				
	①	男17.14歳女20.80歳	④	
	②	男80.70歳女88.20歳	⑤	
	③		⑥	

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	保健活動推進事業	担当	保健福祉課 健康係	整理番号	保-13

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	健康づくり推進事業 地区健康福祉祭 健康づくり推進協議会 関係団体と連携した健康づくりＰＲ活動 131 千円 腎機能障がい者通院助成事業 1,350 千円	健康づくり推進事業 地区健康福祉祭 健康づくり推進協議会 関係団体と連携した健康づくりＰＲ活動 131 千円 (新)難病・特定疾患通院費助成事業[概算] 4,000 千円	健康づくり推進事業 地区健康福祉祭 健康づくり推進協議会 関係団体と連携した健康づくりＰＲ活動 131 千円 (新)難病・特定疾患通院費助成事業[概算] 4,000 千円	健康づくり推進事業 地区健康福祉祭 健康づくり推進協議会 関係団体と連携した健康づくりＰＲ活動 131 千円 (新)難病・特定疾患通院費助成事業[概算] 4,000 千円	健康づくり推進事業 地区健康福祉祭 健康づくり推進協議会 関係団体と連携した健康づくりＰＲ活動 131 千円 (新)難病・特定疾患通院費助成事業[概算] 4,000 千円
事業費	1,481 千円	4,131 千円	4,131 千円	4,131 千円	4,131 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	1,481 千円	4,131 千円	4,131 千円	4,131 千円	4,131 千円
目標値 ①	男17.80歳女21.10歳	男17.80歳女21.10歳	男17.80歳女21.10歳	男17.80歳女21.10歳	男17.80歳女21.10歳
目標値 ②	男81.58歳女88.29歳	男81.58歳女88.29歳	男81.58歳女88.29歳	男81.58歳女88.29歳	男81.58歳女88.29歳
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	成人保健事業	担当	保健福祉課 健康係	整理番号	保-16

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	安心して暮らせるまち
基本施策	2.元気で長生きできるまちづくりを推進します
重点施策	
関連計画	隠岐の島町健康増進実施計画
予算区分	一般会計　款 4　項 1　目 1

指標		令和6年度目標値
①	平均寿命（KPI）	男81.58歳、女88.29歳
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

生活習慣に関する啓発や生活習慣改善事業、各種健診（検診）事業を通じて、生涯にわたり元気に過ごせるよう、介護予防と一体的に実施し、疾病予防や健康増進に向けた取り組みを推進する。

【事業概要】

早期発見・治療を目的に各種がんの集団・個別検診を実施する。健康増進事業として、健康教室、健康診査・脳検診等の助成事業を行い、啓発実施と健康管理を促す。また、島根大学共同研究事業で塩分や虚弱（※）に関する健康実態の調査・分析を通じ、助言指導を受けながら健康課題に取り組む。保健事業と介護予防の一体的実施事業は、健診結果を基に低栄養防止及び糖尿病重症化予防のための受診勧奨や保健指導を行う。通いの場における生活習慣病の適正管理、虚弱（※）予防等地域の課題に対応した健康教育や健康相談を実施する。※虚弱…加齢と共に心身の働きや機能が低下している状態のこと。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

がん検診
- 胃　285人
- 肺　1,175人
- 大腸　1,015人
- 乳（40歳以上）　288人
- 乳（30歳代 ）　30人
- 子宮　243人
- 胸部CT　134人

集団検診（延べ150会場）
個別検診（隠岐病院委託）
委託料　9,529千円

健康増進事業
健康教室消耗品等　1,548千円
肝炎検診　12人　60千円
被保護者健診　15人　157千円

健康福祉のまちづくり研究事業
島根大学に委託
委託料　1,000千円

脳検診費助成事業
実施件数　116人
委託料　1,459千円

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

がん検診の受診率向上のため、無料クーポンの送付と再勧奨を実施した。
コロナ感染拡大の影響もあり、大腸及び子宮がんで利用率は前年度と比し横ばい（大腸5.0⇒6.0%、子宮18.5⇒19.5%）、乳がんは減少した（34.6⇒30.1%）。島根大学共同研究事業では、１日当たり塩分摂取量が減少傾向であったが今年度は増加した（男9.1⇒9.6g、女性8.9⇒9.2g）。

【②.事業の課題】

働き盛り世代の生活習慣の改善及び生活習慣病予防については、働き盛り世代への効果的な受診行動の促し、啓発、機運づくりのために、事業主や事業所の健康管理担当者への働きかけ、保健所や商工会、建設業協会等の関係機関との連携強化が必要となる。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

健康寿命の延伸に向けて、高齢期になっても心身の健康状態を良好に保つためには、働き盛り世代の健康管理が重要なため、各種健診（検診）受診を促進し、塩分摂取過多、喫煙習慣、多量飲酒等の生活習慣の改善と、生活習慣病の早期発見、早期治療、適正管理の取り組みを、事業所や関係機関とも課題を共有し目線を合わせながら積極的に行う必要がある。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

がん検診で、事業所健診とセットで受けられない検診については、町のがん検診の利用率を高めるために日中勤務の方でも予約しやすいWebを活用した方法も導入していく。事業所健診後の精密検査受診勧奨について、事業所の協力が得られるよう働きかけを行い、併せて結果説明や保健指導、健康教室について、連携を図りながら実施していく。

実績額		13,753 千円
財源内訳	国補助	307 千円
	県補助	702 千円
	起債	10,200 千円
	特定	2,470 千円
	一般財源	74 千円

実績値				
	①	男80.7歳女88.2歳	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	成人保健事業	担当	保健福祉課 健康係	整理番号	保-16

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	がん検診（委託） 12,714 千円 脳検診助成事業 1,880 千円 健康増進事業 健康教室教材費等 肝炎検診 被保護者健診 1,162 千円 健康福祉のまちづくり事業 共同研究事業委託 （委託先：島根大学） 1,010 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	がん検診（委託） 12,714 千円 脳検診助成事業 1,880 千円 健康増進事業 健康教室教材費等 肝炎検診 被保護者健診 1,162 千円 健康福祉のまちづくり事業 共同研究事業委託 （委託先：島根大学） 1,010 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	がん検診（委託） 12,714 千円 脳検診助成事業 1,880 千円 健康増進事業 健康教室教材費等 肝炎検診 被保護者健診 1,162 千円 健康福祉のまちづくり事業 共同研究事業委託 （委託先：島根大学） 1,010 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	がん検診（委託） 12,714 千円 脳検診助成事業 1,880 千円 健康増進事業 健康教室教材費等 肝炎検診 被保護者健診 1,162 千円 健康福祉のまちづくり事業 共同研究事業委託 （委託先：島根大学） 1,010 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	がん検診（委託） 12,714 千円 脳検診助成事業 1,880 千円 健康増進事業 健康教室教材費等 肝炎検診 被保護者健診 1,162 千円 健康福祉のまちづくり事業 共同研究事業委託 （委託先：島根大学） 1,010 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	16,766 千円	16,766 千円	16,766 千円	16,766 千円	16,766 千円
財源内訳	国補助 341 千円 県補助 724 千円 起　債 12,500 千円 特　定 3,172 千円 一般財源 29 千円	国補助 341 千円 県補助 724 千円 起　債 12,500 千円 特　定 3,172 千円 一般財源 29 千円	国補助 341 千円 県補助 724 千円 起　債 12,500 千円 特　定 3,172 千円 一般財源 29 千円	国補助 341 千円 県補助 724 千円 起　債 12,500 千円 特　定 3,172 千円 一般財源 29 千円	国補助 341 千円 県補助 724 千円 起　債 12,500 千円 特　定 3,172 千円 一般財源 29 千円
目標値	①　男81.58歳女88.29歳　④ ②　⑤ ③　⑥	①　男81.58歳女88.29歳　④ ②　⑤ ③　⑥	①　男81.58歳女88.29歳　④ ②　⑤ ③　⑥	①　男81.58歳女88.29歳　④ ②　⑤ ③　⑥	①　男81.58歳女88.29歳　④ ②　⑤ ③　⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	歯科保健事業	担当	保健福祉課 健康係	整理番号	保-17

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	安心して暮らせるまち
基本施策	2.元気で長生きできるまちづくりを推進します
重点施策	
関連計画	隠岐の島町健康増進実施計画
予算区分	一般会計　款 4　項 1　目 1

指標		令和6年度目標値
①	平均寿命（KPI）	男81.58歳女88.29歳
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

生涯に渡って健康に影響を及ぼす歯の健康について、「80歳で自分の歯を20本以上保つ」ことを目標にライフステージに沿った取り組みを行う。

【事業概要】

①保育所・学校歯科保健事業
　保育所歯科教室・年長年中児フッ素塗布事業
　学校歯科教室・フッ化物洗口事業
②青壮年期の歯科保健事業
　事業所歯科健診及び歯科指導
　歯周疾患検診（対象者：40、45、50、55、60、65、70歳）

2.令和　4　年度事業実績（Do）

歯科保健事業
　保育所・学校歯科事業
　　保育所歯科教室　9回
　　年長年中児フッ素塗布事業
　　延べ357名
　　学校歯科教室
　　小学校７校実施
　　フッ化物洗口事業
　　小学校７校実施
　　724千円
　青壮年期の歯科保健事業
　　事業所歯科健診
　　5会場６回
　　255千円
　　歯周疾患検診　55名
　　341千円

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

コロナ感染症蔓延のため、医療機関や関係機関の理解と協力を得て、感染予防対策をとりながら安全に継続して実施できた。乳幼児期及び学童期の齲歯罹患率の低下等、指標は改善傾向にある。保育所の歯科健診後に受診勧奨を行うことで処置歯率の向上が図られた。青壮年期については、歯科に関する意識調査の分析や事業所歯科健診結果を活用し、事業所健診時の歯科指導等の教育及び啓発の機会を継続して設定していく。

【②.事業の課題】

中学校での歯科保健の取り組みについて、フッ化物洗口事業も未実施となっているため実態把握や関係機関と検討を行う必要がある。また働き盛りの方の歯や口の中の健康に関する意識が低い。自身で歯や口の中の健康を守る行動がとれるよう、まずはセルフケアの定着に向けて取り組みを実施する。また、定期受診の機会が確保できるよう環境の整備も必要である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

乳幼児期から学童期の継続した取り組みに加え、中学校のフッ化物洗口事業の導入に向けて取り組む。働き盛り世代に向けては、まずは正しいセルフケア行動の定着に向けての取り組みを強化し、早期受診及び定期受診につながるよう医療機関との連携を図りながら、啓発や健診時の受診勧奨を実施する。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　令和４年度評価済

乳幼児期からの継続した歯の健康を守る取組みは、町民が健康的な生活を維持するために重要な役割を果たしています。口腔に悪影響をもたらす様々な要因に目を向け、歯科指導や検診の機会の充実に努めて下さい。

歯科医院の減少により治療が受けにくくなっている中、町立歯科医院の設立には大変期待しています。開設にあたっては、町民のニーズを踏まえた、利用しやすい診療体制を確立して下さい。

4.改善・見直し（Action）

中学校のフッ化物洗口事業については、導入にむけて実態把握をした上で、可能な学校から実施できるように準備を進める。
事業所（働き盛り世代）に向けた働きかけについて、他の事業と関連づけ、より関心を持てるよう効果的な啓発及び教育の機会を設定していく。
歯周疾患検診については、受診率の低迷が続いているため、受診期間を医療機関の協力を得て調整した。（通知が届いた頃から受診ができるように期間を延長）また、再受診勧奨等の受診率向上対策は、効果的な対象範囲や勧奨時期となるよう見直し、実施していく。

実績額		1,320 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	95 千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	1,225 千円

実績値				
	①	男80.7歳女88.2歳	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	歯科保健事業	担当	保健福祉課 健康係	整理番号	保-17

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	幼児歯科事業 保育所歯科教室10回 419 千円 学校歯科事業 歯科教室7校 294 千円 事業所歯科健診　6回 394 千円 歯周疾患検診　50名 329 千円 千円	幼児歯科事業 保育所歯科教室10回 419 千円 学校歯科事業 歯科教室7校 294 千円 事業所歯科健診　6回 394 千円 歯周疾患検診　50名 329 千円 歯周疾患検診受診率向上対策 50 千円	幼児歯科事業 保育所歯科教室10回 419 千円 学校歯科事業 歯科教室7校 294 千円 事業所歯科健診　6回 394 千円 歯周疾患検診　50名 329 千円 歯周疾患検診受診率向上対策 50 千円	幼児歯科事業 保育所歯科教室10回 419 千円 学校歯科事業 歯科教室7校 294 千円 事業所歯科健診　6回 394 千円 歯周疾患検診　50名 329 千円 歯周疾患検診受診率向上対策 50 千円	幼児歯科事業 保育所歯科教室10回 419 千円 学校歯科事業 歯科教室7校 294 千円 事業所歯科健診　6回 394 千円 歯周疾患検診　50名 329 千円 歯周疾患検診受診率向上対策 50 千円
事業費	1,436 千円	1,486 千円	1,486 千円	1,486 千円	1,486 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	92 千円	92 千円	92 千円	92 千円	92 千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	1,344 千円	1,394 千円	1,394 千円	1,394 千円	1,394 千円
目標値 ①	男81.58歳女88.29歳	男81.58歳女88.29歳	男81.58歳女88.29歳	男81.58歳女88.29歳	男81.58歳女88.29歳
目標値 ②③④⑤⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	感染症予防事業	担当	保健福祉課 子育て世代包括支援係	整理番号	保-19

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	安心して暮らせるまち
基本施策	2.元気で長生きできるまちづくりを推進します
重点施策	
関連計画	隠岐の島町健康増進実施計画
予算区分	一般会計　款 4　項 1　目 1

指標		令和6年度目標値
①	平均寿命（KPI）	男81.58歳女88.29歳
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

予防接種法に基づいた定期予防接種を安全・確実に実施し感染症を予防する。高齢期のインフルエンザや高齢者肺炎球菌の予防接種、風しんの追加的対策事業により感染症蔓延防止を行い、生涯にわたり元気な状態で過ごせるよう疾病予防及び感染症の社会的防疫に取り組む。

【事業概要】

乳幼児期・学童期の定期予防接種を安定した体制で実施する。
高齢期の定期インフルエンザ予防接種、高齢者肺炎球菌予防接種助成事業を継続して実施する。
大人の風疹の追加的対策事業（昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性の風疹抗体検査）及び抗体価が低い方への第5期定期風疹予防接種を、国による実施期間延長に伴い、令和6年度まで無料クーポンを個別に送付し実施する。
感染症の予防に関する啓発事業を実施する。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

定期予防接種（集団）
医師等雇用費　延べ45診
医薬材料費
11,426千円

定期予防接種（個別）
接種業務委託費
11,256千円

予防接種事業（助成事業）
高齢者インフルエンザ
接種者数　2,967名
12,912千円
高齢者肺炎球菌
接種者数　25名
75千円
風疹追加的対策事業
検査実施者数　17名
予防接種者数　9名
300千円

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

乳幼児期・学童期の定期予防接種を計画通り実施し概ね90%以上の高い接種率となっている。日本脳炎は令和3年度にワクチンの供給不足によりできなかったため、令和4年度に２か年分の接種を行った。（延べ691人）また令和4年度から子宮頸がん予防ワクチンの積極的勧奨が再開となり7月から集団接種を中心に実施した。風疹追加的対策の抗体検査率は1.6%にとどまったが、低い抗体価での予防接種実施率は90%だった。高齢者インフルエンザは接種率が向上した。（前年度51.1%⇒56.8%）

【②.事業の課題】

県外医療機関での接種時に生じる保護者の経済的負担、風疹追加的対策の抗体検査実施率の低迷が課題である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

乳幼児期・学童期の定期予防接種の個別通知、未接種者の受診勧奨を継続して行い接種率の維持向上に努め、予防接種法に基づいた予防接種を継続実施する。今後も集団接種を活用して切れ目のない支援に繋げるとともに保護者が受けやすく、かつ安全な実施となるよう接種体制の整備が必要である。今後の風疹の発生及び蔓延を予防し、先天性風疹症候群（※）の発生を予防するために、抗体保有率の低いとされている対象者の抗体検査受診率の向上を図る必要がある。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

保護者の経済的負担の軽減のため、償還額の見直しを行い、接種しやすい体制を整える。子どもの接種については、1～2歳時の同時接種部分の個別接種について隠岐病院と協議をする。
風疹追加的対策については、無料クーポン券の個別通知、医療機関窓口での啓発、事業所健診で同時受診ができるよう事業所の健康管理担当者に取りまとめ等の協力をお願いすること等、働き盛り世代の対象者が受診しやすい環境や体制づくりを実施する。

（※）先天性風疹症候群
風疹ウイルスに対し免疫のない女性が妊娠初期に風疹ウイルスに感染し、ウイルスが胎児に感染することにより、出生児に先天性心疾患、難聴、白内障などが生じる。これらを総称し先天性風疹症候群と呼び、肝脾種、血小板減少、発育障害なども生じることがある。

実績額		35,892 千円
財源内訳	国補助	321 千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	4,406 千円
	一般財源	31,165 千円

実績値				
	①	男81.58歳女88.29歳	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	感染症予防事業	担当	保健福祉課 子育て世代包括支援係	整理番号	保-19

5.年度別計画

	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	定期予防接種（集団接種） 医薬材料費 医師等雇用費　69名 12,609 千円 定期予防接種（個別接種） 接種業務委託費 12,218 千円 予防接種費用助成 高齢者インフルエンザ 3450名　15,670千円 高齢者肺炎球菌 35名　105千円 風疹追加的対策 抗体検査130名 予防接種35名 1,432千円 17,207 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	定期予防接種（集団接種） 医薬材料費 医師等雇用費　69名 12,609 千円 定期予防接種（個別接種） 接種業務委託費 12,218 千円 予防接種費用助成 高齢者インフルエンザ 3450名　15,670千円 高齢者肺炎球菌 35名　105千円 風疹追加的対策 抗体検査130名 予防接種35名 1,432千円 17,207 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	定期予防接種（集団接種） 医薬材料費 医師等雇用費　69名 12,609 千円 定期予防接種（個別接種） 接種業務委託費 12,218 千円 予防接種費用助成 高齢者インフルエンザ 3450名　15,670千円 高齢者肺炎球菌 35名　105千円 風疹追加的対策 抗体検査130名 予防接種35名 1,432千円 17,207 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	定期予防接種（集団接種） 医薬材料費 医師等雇用費　69名 12,609 千円 定期予防接種（個別接種） 接種業務委託費 12,218 千円 予防接種費用助成 高齢者インフルエンザ 3450名　15,670千円 高齢者肺炎球菌 35名　105千円 風疹追加的対策 抗体検査130名 予防接種35名 1,432千円 17,207 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	定期予防接種（集団接種） 医薬材料費 医師等雇用費　69名 12,609 千円 定期予防接種（個別接種） 接種業務委託費 12,218 千円 予防接種費用助成 高齢者インフルエンザ 3450名　15,670千円 高齢者肺炎球菌 35名　105千円 風疹追加的対策 抗体検査130名 予防接種35名 1,432千円 17,207 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	42,034 千円	42,034 千円	42,034 千円	42,034 千円	42,034 千円
財源内訳 国補助	530 千円	530 千円	530 千円	530 千円	530 千円
県補助	千円	千円	千円	千円	千円
起　債	千円	千円	千円	千円	千円
特　定	4,500 千円	4,500 千円	4,500 千円	4,500 千円	4,500 千円
一般財源	37,004 千円	37,004 千円	37,004 千円	37,004 千円	37,004 千円
目標値 ①	男81.58歳女88.29歳	男81.58歳女88.29歳	男81.58歳女88.29歳	男81.58歳女88.29歳	男81.58歳女88.29歳
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	隠岐温泉GOKA管理運営事業	担当	五箇支所 地域振興係	整理番号	五-3

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	安心して暮らせるまち
基本施策	2.元気で長生きできるまちづくりを推進します
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	3	項	1	目	1

指標		令和6年度目標値
①	平均寿命（KPI）	81.58歳(男)88.29歳(女)
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

地域住民の健康増進、福祉の向上に寄与し、住民誰もが健康で安心して暮らせるまちづくりを目的とする。

【事業概要】

各種イベントの企画・実施により利用客増加を目指し、経営の健全化に努める。

〈利用拡大事業〉

「季節の湯」～橙・ゆず風呂～　特別デー「26（フロ）の日」季節の各種イベント開催

「家族風呂」～個室風呂（1家族）利用～

「無料送迎バス」路線数増便

「宿泊者優待チケット」島内宿泊施設との連携

「～島内イベント来場者限定～無料優待入浴券」配布

2.令和　4　年度事業実績（Do）

隠岐温泉GOKA

利用者数　12,064人／年

（対前年度　＋1,688人）

『利用客拡大プロジェクト事業』

イベント費	21千円
会計年度任用職員	218千円
（送迎バス増便）	
燃料費	73千円
広告費	26千円
計	338千円

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

温泉施設は、入浴のみならず地域のコミュニケーション・ふれあいの場となっている。また、イベントの実施により利用者拡大に努めており、家族連れの利用においてもお楽しみいただいている。

温泉施設のあり方について、関係課長により、施設の現状と課題を整理し、今後の施設のあり方と方向性及び存続について、町長へ検討結果を報告した。

【②.事業の課題】

利用拡大に取り組んでいるものの、近年においては、利用者数が伸びず頭打ちとなっている。また、コロナ禍における入島客数の減少に伴い、島外利用者数も伸び悩んでいる。

施設の老朽化に伴い、機械設備・給湯設備の修繕が慢性的に発生する状況に加え、高圧受電設備等主要施設設備の故障によっては、運営が困難となる恐れもある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

「福祉施設」として利用客数に左右されることなく、健康寿命の延伸に寄与する施設であるとともに、「観光施設」として温泉を楽しむ観光客の他に、ウルトラマラソンランナーや避難船員、キャンパー、バイカー等が、銭湯として利用する施設でもある。今後は、アフターコロナにおける観光客をターゲットとした利用拡大にも取り組むとともに、町民の利用実態や意向、財政面の見通し等から総合的に検討する。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

今後の施設のあり方と方向性及び存続について方針を検討した結果、温泉源については、本町唯一のものであると同時に貴重な財産であることを踏まえ、今後は利活用の方策を検討する。

また、温泉施設については、事業を継続するとともに、新規利用者獲得のために新企画を検討する。

島内老人会や区自治会等に対するバス送迎・食事付団体入浴企画などの提案や、ＳＮＳを利用したアフターコロナにおける観光客（キャンパー、バイカー等）に対する情報発信を行い利用者の拡大を図る。

実績額		338 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	338 千円

実績値				
	①	80.7（男）	④	
	②	88.2（女）	⑤	
	③		⑥	

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	隠岐温泉GOKA管理運営事業	担当	五箇支所 地域振興係	整理番号	五-3

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	温泉利用客拡大PJ事業 500 千円 千円 第２泉源調査 9,975 千円 千円	温泉利用客拡大PJ事業 1,000 千円 温泉源利活用基本構想策定 150 千円 第２泉源改修実施設計 3,157 千円 第２泉源整備事業 11,000 千円	温泉利用客拡大PJ事業 1,000 千円 温泉源利活用基本設計業務 2,500 千円	温泉利用客拡大PJ事業 1,000 千円 温泉源利活用整備事業 22,000 千円	温泉利用客拡大PJ事業 1,000 千円 千円
事業費	10,475 千円	15,307 千円	3,500 千円	23,000 千円	1,000 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	10,475 千円	15,307 千円	3,500 千円	23,000 千円	1,000 千円
目標値 ①	81.58歳(男)88.29歳(女)	81.58歳(男)88.29歳(女)	81.58歳(男)88.29歳(女)	81.58歳(男)88.29歳(女)	81.58歳(男)88.29歳(女)
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	社会福祉事業	担当	保健福祉課 地域福祉係	整理番号	保-1

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	安心して暮らせるまち
基本施策	3.互いを支え合う福祉環境の充実を図ります
重点施策	
関連計画	第6期隠岐の島町障がい福祉計画
予算区分	一般会計　款 3　項 1　目 1

指標		令和6年度目標値
①	処遇改善を達成した福祉職場の率（KPI）	100%(16/16団体)
②	民生児童委員の定数に対する充足率	100%
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

民生児童委員協議会の安定した運営により、活発な地域福祉活動を推進する。
社会福祉団体、福祉施設の運営を支援し、地域で必要とされるサービスが提供できる環境を整備する。

【事業概要】

○民生児童委員協議会補助金
　国から委嘱された民生委員、児童委員の地域での運営支援及び活動経費補助等により、活発な委員活動を推進する。
○隠岐の島町社会福祉協議会補助金
　社会福祉協議会へ補助金を交付し、社会福祉の一層の推進を図る。
○福祉施設職員就労支援助成金
　常勤の福祉施設職員として新たに町内の民間福祉施設に就職する新規卒業者、UIターン者に対して就労支援助成金を支給し、福祉職場の人材確保を進める。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

民生児童委員協議会補助金
2,798千円

隠岐の島町社会福祉協議会補助金
人件費分　49,629千円
運営費分　279千円
合計　49,908千円

福祉施設職員就労支援助成金
1年目1件　140千円
2年目1件　240千円
3年目2件　440千円
計4件　820千円

実績額		53,526 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	53,526 千円

実績値				
	①	92%	④	
	②	100%	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

地域住民に最も身近な立場で見守りや相談支援にあたる民生児童委員の活動を支援することにより、地域で生活するすべての人びとが、暮らしやすい地域づくりに結びついている。
令和元年度から福祉施設職員就労支援助成金制度を各事業所と連携してスタートし、令和元年度5名、令和2年度2名、令和3年度1名に続き令和4年度は1名の新たな人材確保に繋げることができた。

【②.事業の課題】

コロナ禍以前と比べると民生児童委員の活動は停滞し、必要としている人に支援を届けることが難しい状況が生じている。さらに令和４年12月には民生児童委員の一斉改選が行われたが、なり手不足が深刻化する中で、活動しやすい環境整備をすすめていくことも重要な課題となっている。
また、福祉施設職員は令和3年度には新たに1名確保できたが、依然として不足している状態である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

地域福祉活動を推進していくためには、地域の事に精通され、行政との架け橋でもある、民生児童委員との連携、協力が欠かせないため、引き続き活動支援に取り組んでいく。
また、福祉施設の人員不足の解消に向けて福祉施設職員就労支援助成金制度を継続して行う。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

福祉施設職員就労支援助成金制度について、各事業所と連携し、学校や島外就労者へ積極的に情報提供を行う等、より一層の働きかけや新たな人員確保の方策について検討する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	社会福祉事業	担当	保健福祉課 地域福祉係	整理番号	保-1

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	民生児童委員協議会補助金 2,908 千円 隠岐の島町社会福祉協議会補助金 51,187 千円 福祉施設職員就労支援助成金 1年目2名 2年目1名 3年目1名 960 千円	民生児童委員協議会補助金 2,908 千円 隠岐の島町社会福祉協議会補助金 51,000 千円 福祉施設職員就労支援助成金 1年目4名 2年目2名 3年目1名 1,680 千円	民生児童委員協議会補助金 2,908 千円 隠岐の島町社会福祉協議会補助金 51,000 千円 福祉施設職員就労支援助成金 1年目4名 2年目4名 3年目2名 2,400 千円	民生児童委員協議会補助金 2,908 千円 隠岐の島町社会福祉協議会補助金 51,000 千円 福祉施設職員就労支援助成金 1年目4名 2年目4名 3年目4名 2,880 千円	民生児童委員協議会補助金 2,908 千円 隠岐の島町社会福祉協議会補助金 51,000 千円 福祉施設職員就労支援助成金 1年目4名 2年目4名 3年目4名 2,880 千円
事業費	55,055 千円	55,588 千円	56,308 千円	56,788 千円	56,788 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	55,055 千円	55,588 千円	56,308 千円	56,788 千円	56,788 千円
目標値 ①	100%	100%	100%	100%	100%
目標値 ②	100%	100%	100%	100%	100%
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	障がい者福祉総務事業	担当	保健福祉課 地域福祉係	整理番号	保-2

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	安心して暮らせるまち
基本施策	3.互いを支え合う福祉環境の充実を図ります
重点施策	
関連計画	第6期隠岐の島町障がい福祉計画
予算区分	一般会計　款 3　項 1　目 2

指標		令和6年度目標値
①	処遇改善を達成した福祉職場の率（KPI）	100%(16/16団体)
②	民生児童委員の定数に対する充足率	100%
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

障がいのある方の更生援護に関し、本人又はその保護者等からの相談に応じ必要な指導、助言を行うとともに、関係機関の業務の円滑な遂行及び町民の援護思想の普及に資する業務を行い、障がいのある方の福祉の増進を図ることを目的とする。

【事業概要】

○障がい支援区分市町村審査会において、障がいのある方が希望しているサービスが適切であるかを審議し、障がい支援区分を決定する。
○地域自立支援協議会において、障がいのある方が地域で適切なサービスを利用することができる体制づくりについて協議を行う。
○療育相談や障がい者相談員の協力を得て、障がいのある方を各機関、施設、サービスへ適切に繋げるため相談の機会を設ける。
○隠岐の島町社会福祉施設整備補助金交付要綱に基づき、施設整備費の1/4以内を補助する。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

障がい支援区分市町村審査会開催
(11回/年)

地域自立支援協議会開催(1回/年)

ハッピーアフタースクール負担金
803千円

療育相談開催費(1回)　50千円

障がい者相談員配置費　49千円

実績額		902 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	902 千円

実績値				
	①	92%	④	
	②	100%	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

障がいのある方が各種福祉サービスを受けるために障がい区分認定調査及び審査を行うことにより、適切な福祉サービスへ繋ぐとともに、地域で自立して生活できるための環境づくりを進めることができた。地域自立支援協議会では、各部会で町内の課題を洗い出し、協議会で課題解決に向け関係機関と協議することができた。

【②.事業の課題】

福祉サービスの利用ニーズが年々増加傾向にある一方で、福祉職員の人材不足からサービスを提供する事業所の減少及び提供できるサービスが減少しており、利用者が適切なサービスを十分に利用できないケースが発生している。地域自立支援協議会では、「地域生活支援拠点等の整備」、「日中一時支援事業」等の現状と課題について協議を行った。次年度以降も継続して協議を行う。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

障がいのある方が引き続き適切なサービスを受けられるよう、相談支援・自立支援体制の充実を図る。
障がい者の高齢・重度化や親亡き後の自立した生活への支援や緊急時の受入れ態勢の整備が喫緊の課題であるため、「地域生活支援拠点等の整備」のひとつとして、社会福祉法人が計画しているグループホーム建設について整備費を補助する。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

引き続き、福祉人材の確保に努めるとともに、より多くの障がいのある方が適切な福祉サービスを受けることができるよう、適正に認定調査を行うと共に障がい支援区分市町村審査会において、丁寧に審議を行う。また、地域自立支援協議会において、各種福祉サービス等の問題点について協議し、関係機関と連携し改善を図る。
障がい者等の地域での暮らしを担保し、自立を希望する方への支援を進めるため、「自立等に関する相談」や、「１人暮らし、グループホームへの入居等の体験の機会及び場の提供」、「緊急時の受け入れ態勢の確保」、「人材の確保・養成・連携等による専門性の確保」、「サービス拠点の整備や地域の体制づくりを行う」などの機能を担う体制が求められている。こうした体制を実現するため、地域生活支援拠点（地域における複数の機関が分担して機能を担う体制を含む）について国のモデル事業や島根県内の市町村の動向を踏まえ、令和6年度末を目途に整備を進める。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	障がい者福祉総務事業	担当	保健福祉課 地域福祉係	整理番号	保-2

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	障がい支援区分市町村審査会開催 千円 地域自立支援委協議会開催 千円 障がい者相談員配置費 49 千円 療育相談開催費 200 千円 ハッピーアフタースクール負担金 708 千円 障がい福祉計画策定（3年毎） 千円 グループホーム建設費(設計分)補助金 1,848 千円	障がい支援区分市町村審査会開催 千円 地域自立支援委協議会開催 千円 障がい者相談員配置費 49 千円 療育相談開催費 200 千円 ハッピーアフタースクール負担金 1,000 千円 グループホーム建設費補助金 39,000 千円	障がい支援区分市町村審査会開催 千円 地域自立支援委協議会開催 千円 障がい者相談員配置費 49 千円 療育相談開催費 200 千円 ハッピーアフタースクール負担金 1,000 千円 総合保健福祉計画策定費（10年毎） 8,000 千円	障がい支援区分市町村審査会開催 千円 地域自立支援委協議会開催 千円 障がい者相談員配置費 49 千円 療育相談開催費 200 千円 ハッピーアフタースクール負担金 1,000 千円 障がい福祉計画策定（3年毎） 千円	障がい支援区分市町村審査会開催 千円 地域自立支援委協議会開催 千円 障がい者相談員配置費 49 千円 療育相談開催費 200 千円 ハッピーアフタースクール負担金 1,000 千円
事業費	2,805 千円	40,249 千円	9,249 千円	1,249 千円	1,249 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	1,800 千円	39,000 千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	1,005 千円	1,249 千円	9,249 千円	1,249 千円	1,249 千円
目標値 ①	100%	100%	100%	100%	100%
目標値 ②	100%	100%	100%	100%	100%
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	障がい者福祉サービス事業	担当	保健福祉課 地域福祉係	整理番号	保-3

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	安心して暮らせるまち
基本施策	3.互いを支え合う福祉環境の充実を図ります
重点施策	
関連計画	第6期隠岐の島町障がい福祉計画
予算区分	一般会計　款 3　項 1　目 2

指標		令和6年度目標値
①	処遇改善を達成した福祉職場の率（KPI）	100%(16/16団体)
②	民生児童委員の定数に対する充足率	100%
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

障がいのある方が、自ら選択した場所で居住し日常生活又は社会生活を安心して送ることができるよう、訓練・介護・相談支援の福祉サービスを総合的に提供する。

【事業概要】

○障がい者福祉施設での就労支援をはじめ、居宅、通所、グループホーム等、様々な形での日常生活・社会生活を送れるよう支援を行う。
また、就学前の集団療育の場を設け、その後の相談やサービスの提供に繋げる「ひまわり教室」などの福祉活動の支援を行う。
○障がい福祉の各種制度の運営に適切に対応するため、障がい福祉システムの保守及び制度改正に対応するための改修を行う。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

ひまわり教室業務委託料
200千円

就労ｱｾｽﾒﾝﾄ業務委託料 80千円

障がい福祉システム保守業務

障がい福祉システム改修業務

実績額		280 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	280 千円

実績値				
①	92%	④		
②	100%	⑤		
③		⑥		

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

障がいのある方の就労や日中の居場所づくり、生活支援を行うことで、地域で安心した暮らしの継続に結び付つけることができた。

【②.事業の課題】

年々増加傾向にある福祉サービスの利用ニーズが、福祉職員の人材不足からサービスを提供する事業所の減少及び提供できるサービスが減少しており、利用者が適切なサービスを十分に利用できないケースが発生している。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

地域で生活するすべての人びとが、暮らしやすい地域づくりにむけて主体的に参加する「地域共生社会」の実現を目指し、各種支援を継続して行う。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　令和４年度評価済

障がいのある方が、自ら選択した場所で居住し、安心して日常生活を送るためには、様々なサポートが必要となります。引き続きサポート事業を展開して頂くと共に、持続可能な事業となるよう、人材確保についても検討をお願いします。
また、就学前の療育については、集団療育に限らず、保護者の相談支援も含め療育支援体制の充実を図るべきと考えます。

4.改善・見直し（Action）

令和元年度から社会福祉事業にて福祉施設職員就労支援助成金制度を設けており、一定の人材確保につながっているものの、障がい福祉サービス提供事業所においては依然人材不足の状況が継続しており、引き続き関係機関と協力しながら人材の確保に努める。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	障がい者福祉サービス事業	担当	保健福祉課 地域福祉係	整理番号	保-3

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	ひまわり教室業務委託料 200 千円 就労アセスメント業務委託料 80 千円	ひまわり教室業務委託料 200 千円 就労アセスメント業務委託料 80 千円	ひまわり教室業務委託料 200 千円 就労アセスメント業務委託料 80 千円 障がい福祉システム改修業務委託料	ひまわり教室業務委託料 200 千円 就労アセスメント業務委託料 80 千円	ひまわり教室業務委託料 200 千円 就労アセスメント業務委託料 80 千円
事業費	280 千円	280 千円	280 千円	280 千円	280 千円
財源内訳	国補助 千円 県補助 千円 起　債 千円 特　定 千円 一般財源 280 千円	国補助 千円 県補助 千円 起　債 千円 特　定 千円 一般財源 280 千円	国補助 千円 県補助 千円 起　債 千円 特　定 千円 一般財源 280 千円	国補助 千円 県補助 千円 起　債 千円 特　定 千円 一般財源 280 千円	国補助 千円 県補助 千円 起　債 千円 特　定 千円 一般財源 280 千円
目標値	① 100%　④ ② 100%　⑤ ③　⑥	① 100%　④ ② 100%　⑤ ③　⑥	① 100%　④ ② 100%　⑤ ③　⑥	① 100%　④ ② 100%　⑤ ③　⑥	① 100%　④ ② 100%　⑤ ③　⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	障がい者地域生活支援事業	担当	保健福祉課 地域福祉係	整理番号	保-4

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	安心して暮らせるまち
基本施策	3.互いを支え合う福祉環境の充実を図ります
重点施策	
関連計画	第6期隠岐の島町障がい福祉計画
予算区分	一般会計　款 3　項 1　目 2

指標		令和6年度目標値
①	処遇改善を達成した福祉職場の率（KPI）	100%(16/16団体)
②	民生児童委員の定数に対する充足率	100%
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

障がいのある方がその有する能力及び適性に応じて自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な形態による事業を効率的かつ効果的に実施し、もって障がいのある方の福祉の増進を図ることを目的とする。

【事業概要】

（相談支援事業）障がいのある方の総合的な相談に応じ、必要な情報の提供や、権利擁護に必要な支援、関係機関との連絡調整等を行う。
（地域活動支援センター事業）障がいのある方の創作的活動又は生産活動の場として社会との交流を促進する。
（生活支援事業）自立した社会生活を営むことができるよう障がいのある方等に日常生活用具の給付、配食サービス、移動支援等を行う。
（社会参加促進事業）障がいのある方の社会参加や交流促進を図るため、隠岐航路の車両運搬費の支援をはじめ、交流機会の提供、自動車改造費用の支援を行う。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

○相談支援事業委託費
　2事業所　7,350千円
○地域活動支援ｾﾝﾀｰ事業委託費
　1事業所　5,000千円
○生活支援事業
　日中一時支援
　　1,121回　5,752千円
　配食サービス
　　4,221件　1,393千円
　移動支援
　　117時間　161千円
○社会参加促進事業費
　車両航送料助成
　　10件　197千円

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

相談支援事業の相談件数は近年、増加傾向にある。相談支援により、障がいのある方が福祉サービス事業所への利用に繋がる等の成果がある。
日中一時支援事業については、地域自立支援協議会で町内の緊急の課題として協議され、関係事業所と協議した結果、令和4年度より受入れ先事業所を1箇所から2箇所に増設することができた。

【②.事業の課題】

年々増加傾向にある福祉サービスの利用ニーズが、福祉職員の人材不足からサービスを提供する事業所の減少及び提供できるサービスが減少しており、利用者が適切なサービスを十分に利用できないケースが発生している。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

障がいのある方が、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援を行う事業であり、今後も継続して事業を実施する必要がある。
受入先のさらなる拡大に向けて、今後も関係事業所と協議していく。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

引き続き、福祉人材の確保に努めるとともに、委託先事業所と各種事業の問題点を協議し、利用者のニーズに合ったサービスの提供に努める。

実績額		19,853 千円
財源内訳	国補助	6,016 千円
	県補助	4,498 千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	9,339 千円

実績値				
	①	92%	④	
	②	100%	⑤	
	③		⑥	

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	障がい者地域生活支援事業	担当	保健福祉課 地域福祉係	整理番号	保-4

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	相談支援事業委託 12,637 千円 地域活動支援センター事業委託 5,000 千円 生活支援事業 日中一時支援 6,000 千円 配食サービス 1,386 千円 移動支援 198 千円 社会参加促進事業 600 千円 その他 意思疎通支援 普及啓発広報活動 知的障がい者職親委託事業 福祉フォーラム 566 千円 千円 千円 千円 千円	相談支援事業委託 12,600 千円 地域活動支援センター事業委託 5,000 千円 生活支援事業 日中一時支援 6,000 千円 配食サービス 1,300 千円 移動支援 200 千円 社会参加促進事業 600 千円 その他 意思疎通支援 普及啓発広報活動 知的障がい者職親委託事業 福祉フォーラム 566 千円 千円 千円 千円 千円	相談支援事業委託 12,600 千円 地域活動支援センター事業委託 5,000 千円 生活支援事業 日中一時支援 6,000 千円 配食サービス 1,300 千円 移動支援 200 千円 社会参加促進事業 600 千円 その他 意思疎通支援 普及啓発広報活動 知的障がい者職親委託事業 福祉フォーラム 566 千円 千円 千円 千円 千円	相談支援事業委託 12,600 千円 地域活動支援センター事業委託 5,000 千円 生活支援事業 日中一時支援 6,000 千円 配食サービス 1,300 千円 移動支援 200 千円 社会参加促進事業 600 千円 その他 意思疎通支援 普及啓発広報活動 知的障がい者職親委託事業 福祉フォーラム 566 千円 千円 千円 千円 千円	相談支援事業委託 12,600 千円 地域活動支援センター事業委託 5,000 千円 生活支援事業 日中一時支援 6,000 千円 配食サービス 1,300 千円 移動支援 200 千円 社会参加促進事業 600 千円 その他 意思疎通支援 普及啓発広報活動 知的障がい者職親委託事業 福祉フォーラム 566 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	26,387 千円	26,266 千円	26,266 千円	26,266 千円	26,266 千円
財源内訳	国補助 4,700 千円 県補助 5,600 千円 起　債 千円 特　定 千円 一般財源 16,087 千円	国補助 4,700 千円 県補助 5,600 千円 起　債 千円 特　定 千円 一般財源 15,966 千円	財内訳源 国補助 4,700 千円 県補助 5,600 千円 起　債 千円 特　定 千円 一般財源 15,966 千円	財源内訳 国補助 4,700 千円 県補助 5,600 千円 起　債 千円 特　定 千円 一般財源 15,966 千円	財源内訳 国補助 4,700 千円 県補助 5,600 千円 起　債 千円 特　定 千円 一般財源 15,966 千円
目標値	① 100%　④ ② 100%　⑤ ③　⑥	① 100%　④ ② 100%　⑤ ③　⑥	① 100%　④ ② 100%　⑤ ③　⑥	① 100%　④ ② 100%　⑤ ③　⑥	① 100%　④ ② 100%　⑤ ③　⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	生活困窮者自立支援事業	担当	保健福祉課 生活支援係	整理番号	保-12

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	安心して暮らせるまち
基本施策	3.互いを支え合う福祉環境の充実を図ります
重点施策	
関連計画	隠岐の島町総合保健福祉計画

予算区分	一般会計	款	3	項	3	目	1

指標		令和6年度目標値
①	自立支援相談新規相談数	36件/年
②	自立支援プラン作成数	18件/年
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

自立相談支援窓口において生活困窮者に対し、その困窮の原因や課題に即した自立のために必要なプランを作成し個別的支援を行う。なお、その実施については適宜、プラン及び実施内容の評価、検証を行い生活保護に至る前での困窮からの早期脱却を図る。また関係機関等との連携強化を図り、潜在的困窮者の発掘にも努める。

【事業概要】

隠岐の島町社会福祉協議会に「隠岐の島町あんしんセンター（自立相談支援窓口）」を設置（継続）し、当該業務を委託する。

（事業の詳細）

相談受付、自立支援プラン作成、相談対応（支援）、
関係機関との調整、支援調整会議開催、
ネットワーク会議開催、当該事業の周知活動、
住居確保給付金受付業務

2.令和　4　年度事業実績（Do）

隠岐の島町生活困窮者自立相談支援事業等業務委託料
　一式　5,190千円

隠岐の島町住居確保給付金
　実績なし

新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金
　2世帯　　780千円

実績額		5,970 千円
財源内訳	国補助	4,993 千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	977 千円

実績値				
	①	8件	④	
	②	7件	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

生活困窮者自立支援法の施行に伴い平成27年度より隠岐の島町社会福祉協議会に委託の上、事業を実施している。以降、支援現場では様々な実践が重ねられ、支援した生活困窮者の多くに自立に向けた変化がみられるなど、着実に効果が現れている。また、令和２年から続くコロナ禍により急増する相談や申請に対応し、新たなニーズに取り組み、生活困窮者の生活の下支えとなった。

【②.事業の課題】

相談者の抱える課題が複雑化・複合化しており、早期に関係機関間で情報共有を行い、支援を行うことが必要。また、制度で支えるのみならず、他分野や他制度、地域住民等と連携して解決することが重要である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

相談者は、複合的な課題を抱えていることが多く、事業の効果的な展開のために、より専門的知識の習得や関係機関との強固なネットワークが重要であり「隠岐の島町あんしんセンター」設置の継続が必要である。また国において制度改正に向けた検討が行われており、任意意事業である家計相談、就労支援事業の必須化、県による広域実施課が議論されている。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

相談支援事業を継続したうえで、家計改善支援事業等、今後必須化が想定される事業も順次導入し、経済的困窮者の課題解決に向けた支援策の充実を図る。また公的機関だけでなく、地域の多様な福祉関係機関と連携し、発見と支援のネットワークづくりに取り組むことで、生活困窮者の早期解決につなげていく。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	生活困窮者自立支援事業	担当	保健福祉課 生活支援係	整理番号	保-12

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	生活困窮者自立相談支援事業等業務委託料 5,190 千円 隠岐の島町住居確保給付金 222 千円 生活困窮者自立支援事業事務費 27 千円	生活困窮者自立相談支援事業等業務委託料 5,190 千円 隠岐の島町住居確保給付金 222 千円 生活困窮者自立支援事業事務費 27 千円	生活困窮者自立相談支援事業等業務委託料 8,000 千円 隠岐の島町住居確保給付金 222 千円 生活困窮者自立支援事業事務費 27 千円	生活困窮者自立相談支援事業等業務委託料 8,000 千円 隠岐の島町住居確保給付金 222 千円 生活困窮者自立支援事業事務費 27 千円	生活困窮者自立相談支援事業等業務委託料 8,000 千円 隠岐の島町住居確保給付金 222 千円 生活困窮者自立支援事業事務費 27 千円
事業費	5,439 千円	5,439 千円	8,249 千円	8,249 千円	8,249 千円
財源内訳 国補助	3,916 千円	3,916 千円	5,416 千円	5,416 千円	5,416 千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	1,523 千円	1,523 千円	2,833 千円	2,833 千円	2,833 千円
目標値 ①	36件/年	36件/年	36件/年	36件/年	36件/年
目標値 ②	16件/年	16件/年	16件/年	16件/年	16件/年
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	精神保健事業	担当	保健福祉課 健康係	整理番号	保-18

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	安心して暮らせるまち
基本施策	3.互いを支え合う福祉環境の充実を図ります
重点施策	
関連計画	隠岐の島町自死対策計画

予算区分	一般会計	款	4	項	1	目	1

指標		令和6年度目標値
①	地域見守りネットワーク設置数（KPI）	1か所
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

町民一人ひとりがつながり支え合うことで、自分らしく生きる喜びを実感できると共に、誰もが自死に追い込まれることのない環境づくりを行い、自死者「０」の町を目指す。その実現に向け官民一体となって「こころの健康づくり」の活動に取り組む。

【事業概要】

「隠岐の島町自死対策計画」に基づき、地域におけるネットワークの構築や、人材育成・睡眠や飲酒の生活習慣の改善・気づきと見守りを促すよう啓発活動に取り組む。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

精神保健事業
- 心の健康づくり講演会　1回　50千円
- 心の健康キャンペーン　中学校　4校で啓発　35千円
- ゲートキーパー養成研修　（中止）
- 自死対策協議会開催　13千円

実績額	98 千円
財源内訳 国補助	千円
県補助	48 千円
起債	千円
特定	千円
一般財源	50 千円

実績値				
①	0か所	④		
②		⑤		
③		⑥		

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

自死対策協議会・庁内連絡会を開催し、自死予防の情報共有と相談支援先の確認をした。ゲートキーパー（※）研修はコロナ蔓延のため中止した。また関係機関とアルコール健康障がい対策連絡会等を通して、健康課題である多量飲酒につながる背景や要因の分析と共有、予防啓発の強化・ゲートキーパー養成に関する検討等を行った。中学生への心の健康づくり啓発活動において、生徒の心の健康に関し学校関係者と情報共有を行った。

【②.事業の課題】

うつや自死の要因となる多量飲酒や不十分な睡眠等の生活習慣の改善を図る取組を進める。
家庭・職場・地域で、心身の不調を抱える方に気づき、早期に適切な対応がとれる人材を増やす。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

心の健康の保持増進については多様な因子が関係しており、中でも多量飲酒や睡眠不足による影響が大きいとされている。本町は、毎日の飲酒習慣者や多量飲酒者の割合が、県内他市町村と比較し高率な状況にあることから、飲酒や睡眠（生活リズム）等を中心に生活習慣の改善に向けた取り組みを進める必要がある。また、心身の不調者の早期対応を促進するために、ゲートキーパー養成研修会を計画的に実施していく。

【④.外部評価】　方向性：　拡大　　令和５年度評価済

今日では、様々な要因や背景による、心疾患や多量飲酒、自死などが社会問題となっています。本事業においては、本町の状況を客観的に見て対策を考える必要があるように感じます。関係機関との連携を効果的に機能させるための仕組みづくりや、悩みを抱える方々の声を聴き、現状を把握する努力が必要ではないでしょうか。

心の健康づくりキャンペーンについては学校の種類や年代で制限せず、子供たちの発達段階に応じて、何度でも啓発活動を行って頂きたいです。また、ゲートキーパー養成研修を実施する際には個人事業所も含めた様々な事業所と幅広く連携し、できるだけ多くの方にゲートキーパーとしての意識を持って頂くことが大切ではないでしょうか。

4.改善・見直し（Action）

コロナ禍で中止してきたゲートキーパー養成研修を事業所等と連携して、計画的に実施する。
コロナ禍の影響も大きいと考えられる心の不調、飲酒、睡眠に関しては、講演会の開催、健康教室や地区イベントでの啓発の機会等を通して地道に実施していく。
高校卒業後は親元を離れる等環境の変化にも対応できるよう、心の健康づくりキャンペーンの対象を中学生から高校生に変更して実施する。

※ゲートキーパーとは
　心理、社会的問題や生活上の問題、健康上の問題を抱えている人等、自死の危険を抱えた人々に気づき、適切に関わる方のことで、特別な資格は必要がありません。
　ゲートキーパーに共通してポイントとなる主な要素は、「気づき」「傾聴」「つなぎ」「見守り」の４つ。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	精神保健事業	担当	保健福祉課 健康係	整理番号	保-18

5.年度別計画

	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	精神保健事業 心の健康づくり講演会　1回 ゲートキーパー養成研修会　2回 心の健康づくりキャンペーン 高等学校　3校 137 千円 自死対策協議会開催費等 21 千円	精神保健事業 心の健康づくり講演会　1回 ゲートキーパー養成研修会　2回 心の健康づくりキャンペーン 高等学校　3校 137 千円 自死対策協議会開催費等 21 千円	精神保健事業 心の健康づくり講演会　1回 ゲートキーパー養成研修会　2回 心の健康づくりキャンペーン 高等学校　3校 137 千円 自死対策協議会開催費等 21 千円	精神保健事業 心の健康づくり講演会　1回 ゲートキーパー養成研修会　2回 心の健康づくりキャンペーン 高等学校　3校 137 千円 自死対策協議会開催費等 21 千円	精神保健事業 心の健康づくり講演会　1回 ゲートキーパー養成研修会　2回 心の健康づくりキャンペーン 高等学校　3校 137 千円 自死対策協議会開催費等 21 千円
事業費	158 千円	158 千円	158 千円	158 千円	158 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	83 千円	83 千円	83 千円	83 千円	83 千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	75 千円	75 千円	75 千円	75 千円	75 千円
目標値 ①	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	地域包括支援センター運営事業	担当	保健福祉課 地域包括支援係	整理番号	保-7 （重複）

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	安心して暮らせるまち
基本施策	3.互いを支え合う福祉環境の充実を図ります
重点施策	
関連計画	隠岐の島町総合保健福祉計画
予算区分	一般会計　款 3　項 1　目 4

指標		令和6年度目標値
①	65歳以上の平均自立期間	男：17.8年　女：21.1年
②	要介護認定率	20%
③	認知症サポーター数	1000人
④	地域見守りネットワーク（協議体）の設置数	1
⑤		
⑥		

【事業目的】

高齢者が元気な状態を保ちながら、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう支援体制を整備する。

【事業概要】

・支援を必要とする高齢者への個別支援
支援を要する高齢者の個別相談に応じ、必要なサービスが受けられるよう調整する。支援の際には医療機関をはじめ、関係機関と連携し支援を行う。
・高齢者が地域で生活を続けることができるための基盤整備
高齢者が元気で長生きできるための介護予防、高齢者の安心につながる地域での支え合い、認知症対策、医療介護に関わる機関の連携強化、高齢者の権利擁護等、地域並びに関係機関と連携しながら取り組む。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

●総合事業
・介護予防・生活支援サービス事業：41,717千円
一般介護予防事業：1,612千円
（はつらつサロン委託：2か所）
（高齢期の備え講座：12回）
●包括的支援事業
・総合相談支援業務：32,251千円
（相談・訪問件数：1,091件）
・権利擁護業務：767千円
（成年後見制度中核機関設置検討委員会開催）
（エンディングノート講座：3回）
・介護予防ケアマネジメント業務：4,861千円
（年：2,537件）
・在宅医療介護連携事業：2,605千円
（リヴィングウィルカード配布）
（多職種連携研修会開催）
・生活支援体制整備事業：13,993千円
（生活支援コーディネーター配置：4名）
・認知症総合支援事業：152千円
（認知症サポーター養成講座：34名）
（認知症初期集中支援チーム）
・地域ケア会議推進事業：37千円
（地域ケア会議：48回）

実績額		106,410 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	106,410 千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	男：17.14年　女：20.80年	④	0
	②	21.70%	⑤	
	③	634	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

個別支援における多職種連携を強化するため入退院連携ツールを作成、また、権利擁護業務においては「成年後見制度利用促進計画」を推進するための中核機関を設置した。地域活動においては、介護予防事業の充実を図るため「地域づくり加速化事業」に取り組み、地域見守りネットワーク構築のための「隠岐の島町高齢者見守りネットワーク事業実施要綱」を制定、事業所への協力依頼を開始した。

【②.事業の課題】

高齢者が地域で住み続けることができるための仕組みづくりに向け、各事業の評価、改善をしながら引き続き取り組む。買い物困難高齢者の問題、介護支援専門員の不足等の課題も生じており、現状把握、課題の整理、対応策の検討に着手する必要あり。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

後期高齢者の増加により、今後も医療と介護を必要とする高齢者は増加することが予測される。高齢者のみ世帯も増加しており、限られた医療介護の資源を効率よく利用するための仕組みづくりに向け、引き続き取り組む。また、医療介護をできるだけ必要としないですむよう、介護予防の取り組みをより一層強化する必要がある。

【④.外部評価】　方向性：　拡大　　令和４年度評価済

高齢者が地域で安心して生活していくための基盤とも言える重要な事業です。関係機関と連携し、地域の課題に合わせて多様な事業展開を進めていると思います。高齢者見守りネットワーク事業など、大いに期待しています。しかし、高齢化が進む中で、さらなる支援内容の充実と、将来を見据えた新しい取組みが必要となるのではないでしょうか。利用者のニーズに合わせた十分なサービスの提供が図れるよう取り組んで下さい。

4.改善・見直し（Action）

・個別支援における多職種連携については、前年度に引き続き「多職種連携研修会」を開催し、連携強化を図る。
・「成年後見制度利用促進計画」に基き、中核機関を核にネットワーク構築に向けた取り組みを開始する。
・介護予防事業については、昨年度の「地域づくり加速化事業」をきっかけにリハ職、保健師OB、スポーツクラブ隠岐と連携した事業に取り組む。
・認知症対策については、認知症予防を強化するため、認知症予防講演会、認知症予防教室に取り組む。認知症サポーター数の増に向けては役場職員を対象とした養成講座を計画している。
・「高齢者見守りネットワーク事業」の推進を図るため協力事業所の拡大に向けて取り組む。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	地域包括支援センター運営事業	担当	保健福祉課 地域包括支援係	整理番号	保-7 （重複）

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	介護予防・生活支援サービス事業 42,320 千円 一般介護予防事業 2,940 千円 総合相談事業 32,900 千円 権利擁護事業 4,380 千円 介護予防ケアマネジメント業務 5,048 千円 在宅医療介護連携事業 3,757 千円 生活支援体制整備事業 16,996 千円 認知症初期集中支援推進事業 335 千円 認知症地域支援・ケア向上事業 457 千円 地域ケア会議推進事業 94 千円 千円 千円 千円	介護予防・生活支援サービス事業 42,320 千円 一般介護予防事業 2,940 千円 総合相談事業 32,900 千円 権利擁護事業 4,380 千円 介護予防ケアマネジメント業務 5,048 千円 在宅医療介護連携事業 3,757 千円 生活支援体制整備事業 16,996 千円 認知症初期集中支援推進事業 335 千円 認知症地域支援・ケア向上事業 457 千円 地域ケア会議推進事業 94 千円 千円 千円 千円	介護予防・生活支援サービス事業 42,320 千円 一般介護予防事業 2,940 千円 総合相談事業 32,900 千円 権利擁護事業 4,380 千円 介護予防ケアマネジメント業務 5,048 千円 在宅医療介護連携事業 3,757 千円 生活支援体制整備事業 16,996 千円 認知症初期集中支援推進事業 335 千円 認知症地域支援・ケア向上事業 457 千円 地域ケア会議推進事業 94 千円 千円 千円 千円	介護予防・生活支援サービス事業 42,320 千円 一般介護予防事業 2,940 千円 総合相談事業 32,900 千円 権利擁護事業 4,380 千円 介護予防ケアマネジメント業務 5,048 千円 在宅医療介護連携事業 3,757 千円 生活支援体制整備事業 16,996 千円 認知症初期集中支援推進事業 335 千円 認知症地域支援・ケア向上事業 457 千円 地域ケア会議推進事業 94 千円 千円 千円 千円	介護予防・生活支援サービス事業 42,320 千円 一般介護予防事業 2,940 千円 総合相談事業 32,900 千円 権利擁護事業 4,380 千円 介護予防ケアマネジメント業務 5,048 千円 在宅医療介護連携事業 3,757 千円 生活支援体制整備事業 16,996 千円 認知症初期集中支援推進事業 335 千円 認知症地域支援・ケア向上事業 457 千円 地域ケア会議推進事業 94 千円 千円 千円 千円
事業費	109,227 千円	109,227 千円	109,227 千円	109,227 千円	109,227 千円
財源内訳	国補助：千円 県補助：千円 起　債：千円 特　定：109,227 千円 一般財源：千円	国補助：千円 県補助：千円 起　債：千円 特　定：109,227 千円 一般財源：千円	国補助：千円 県補助：千円 起　債：千円 特　定：109,227 千円 一般財源：千円	国補助：千円 県補助：千円 起　債：千円 特　定：109,227 千円 一般財源：千円	国補助：千円 県補助：千円 起　債：千円 特　定：109,227 千円 一般財源：千円
目標値	①：男：17.8年　女：21.1年 ②：21% ③：800人 ④： ⑤： ⑥：	①：男：17.8年　女：21.1年 ②：21% ③：850人 ④： ⑤： ⑥：	①：男：17.8年　女：21.1年 ②：21% ③：900人 ④： ⑤： ⑥：	①：男：17.8年　女：21.1年 ②：20.50% ③：950人 ④： ⑤： ⑥：	①：男：17.8年　女：21.1年 ②：20% ③：1000人 ④： ⑤： ⑥：

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	竹島対策事業	担当	総務課 竹島対策室	整理番号	総-3

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	安心して暮らせるまち
基本施策	4.日常生活の安全を確保します
重点施策	認定ガイド講習・竹島商品開発事業補助金
関連計画	

予算区分	一般会計	款	2	項	1	目	1

指標		令和6年度目標値
①	竹島認定ガイド数	15名（累計）
②	竹島資料収集施設入館者数	2,000人/年
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

竹島問題の解決に向け、町民と一体となった事業展開をすることで意識啓発を図ると共に、来島者に対して竹島問題の理解を深めてもらうことを目的とする。

【事業概要】

・竹島問題の啓発活動を実施する。また、啓発活動を行うための人材育成や商品開発を行う。
（認定ガイド講習）講習会、竹島バスツアー
（商品開発）竹島商品開発事業補助金　20万円/件
（啓発）竹島海鮮カレーによるPR活動、ビャクシン活用事業、竹島バスツアー

2.令和　4　年度事業実績（Do）

竹島関連資料調査事業
1,974千円
・調査回数：２回
竹島での漁撈に関する調査
昭和初期の漁具調査
竹島での漁撈関係者聞き取り

竹島要望・啓発活動事業

・竹島海鮮カレー型枠　253千円
・ビャクシン移植事業　174千円
・ビャクシン乾燥事業　143千円
・ビャクシン看板設置　94千円
・竹島問題を考える・バスツアー
参加者24人　58千円

実績額	2,696 千円
財源内訳 国補助	千円
県補助	千円
起債	千円
特定	1,853 千円
一般財源	843 千円

実績値				
①	0名（累計）	④		
②	1,742人	⑤		
③		⑥		

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

隠岐の島町竹島資料収集施設の開設及び町内での調査事業により、多くの町民の方に竹島問題を身近に感じていただいており、意識啓発の一助となっている。

【②.事業の課題】

竹島問題に関心が高い方は高齢の方が多く、また、竹島に関係する方々の高齢化も進んでおり、早急な若年者への啓発が必要である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

竹島問題を風化させない為にも継続した取組が必要である。町として、より多くの情報を発信し、町民参加型の活動を多くすることにより、町民の意識の高揚を図る。
また、国に対しても随時、領有権等の確立に向けた要望を行う。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　令和３年度評価済

竹島問題の解決のため、取り組んでいかなければならない重要な事業です。竹島問題の解決に向け、県との連携は勿論のこと、国へ直接働きかけるなど引き続き要望活動に取り組んで下さい。若い方や来島者に積極的に啓発活動を行なって下さい。また、資料や竹島を知る語り部の方の情報を、書面だけではなく、映像にして残すなど、竹島問題を風化させないようにするべきことも重要と考えます。

4.改善・見直し（Action）

島内の方々の意識啓発に重点を置き、その中でも若年層（小学校から高校まで）に関心をもってもらえるよう、「竹島に渡航する際には星を目印にしていた」ことや、「竹島から持ち帰った岩」と隠岐にある岩がどう関係するのかなど、複合的なアプローチで啓発活動を行っていく。
竹島認定ガイド作成が急務であり、竹島問題の関係者で資料作成を行い、竹島問題を啓発できる人材育成を図る。
併せてバスツアーなどにより「ガイド」となる人材を模索する。
また、竹島に関連した商品開発をすることで、町民のみならず、来島者への啓発活動へつなげる。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	竹島対策事業	担当	総務課 竹島対策室	整理番号	総-3

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
(Plan) 事業内容	竹島関連資料調査事業 調査回数：年6回程度 資料収集整理：年5箱～ 竹島関連書籍買取：年数冊 2,687 千円 竹島要望・啓発活動事業 ・国への要望活動、竹島の日参加 ・認定ガイド講習、竹島問題を考えるバスツアー ・竹島商品開発事業補助金 ・ビャクシンによる土産品事業 ・展示映像委託/展示用品購入 4,103 千円	竹島関連資料調査事業 調査回数：年4回程度 資料収集整理：年3箱～ 竹島関連書籍買取：年数冊 記録映像/パネル製作 3,300 千円 竹島要望・啓発活動事業 ・国への要望活動、竹島の日参加 ・認定ガイド講習、竹島問題を考えるバスツアー ・島根県内・東京での啓発事業 ・根室市との交流事業 5,000 千円	竹島関連資料調査事業 調査回数：年4回程度 資料収集整理：年3箱～ 竹島関連書籍買取：年数冊 記録映像/パネル製作 3,300 千円 竹島要望・啓発活動事業 ・国への要望活動、竹島の日参加 ・認定ガイド講習、竹島問題を考えるバスツアー ・島根県内・東京での啓発事業 ・根室市との交流事業 ・竹島教材DVDの作成 5,500 千円	竹島関連資料調査事業 調査回数：年4回程度 資料収集整理：年3箱～ 竹島関連書籍買取：年数冊 記録映像/パネル製作 3,300 千円 竹島要望・啓発活動事業 ・国への要望活動、竹島の日参加 ・認定ガイド講習、竹島問題を考えるバスツアー ・島根県内・東京での啓発事業 ・根室市との交流事業 5,000 千円	竹島関連資料調査事業 調査回数：年4回程度 資料収集整理：年3箱～ 竹島関連書籍買取：年数冊 2,600 千円 竹島要望・啓発活動事業 ・国への要望活動 ・竹島隠岐集会の開催 6,000 千円
事業費	6,790 千円	8,300 千円	8,800 千円	8,300 千円	8,600 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	6,790 千円	8,300 千円	8,800 千円	8,300 千円	8,600 千円
財源内訳 一般財源	千円	千円	千円	千円	千円
目標値 ①	10名（累計）	15名（累計）	15名（累計）	15名（累計）	15名（累計）
目標値 ②	1,700人/年	2,000人/年	2,000人/年	2,000人/年	2,200人/年
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	交通安全対策事業	担当	総務課 危機管理室	整理番号	総-7

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	安心して暮らせるまち
基本施策	4.日常生活の安全を確保します
重点施策	
関連計画	隠岐の島町地域防災計画 隠岐の島町水防計画
予算区分	一般会計　款 2　項 1　目 1

指標		令和6年度目標値
①	防犯カメラの設置件数（KPI）	35台
②	交通死亡事故の発生件数（KPI）	2件/年
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

町民の交通道徳を高め、交通事故を防止するための啓発活動を行うことで、明るく住み良いまちづくりを推進する。

【事業概要】

隠岐の島町交通安全対策協議会と連携し、街頭啓発等を実施する。
交通安全県民の日（毎月1日）街頭指導・広報車による街宣活動
交通安全町民の日（毎月15日）街頭指導・広報車による街宣活動
交通安全対策協議会
（交通指導員部会・環境対策部会・高齢者部会・生徒児童園児部会）
総会（6月）、交通安全大会（9月）
危険個所の点検及び改善等を行う。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

島後交通安全協会自動車練習場補助金
2,600千円

隠岐自動車練習場施設改修工事設計事業
2,365千円

交通指導員謝礼（6名）
338千円

小中学校・養護学校新入生反射タスキ配布事業
40千円

交通安全大会開催費
（6月：西郷地区）
17千円

交通安全活動補助金
（7月自転車大会参加：島後からの出場はなし）

「隠岐自動車練習場教育センター」
普通免許試験　52人
自動二輪免許　8人
高齢者講習　621人

実績額		5,360 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	5,360 千円

実績値				
	①	33台	④	
	②	1件	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

春・秋の交通安全週間に伴う街頭活動、毎月1日・15日の交通安全日の放送、街頭啓発、交通安全大会の開催などにより交通安全に対する意識向上が図られている。

【②.事業の課題】

国道、県道、主要道の事故数が全体の4割を占めており、また高齢者の事故も増加している。
隠岐自動車練習場は昭和48年から運営しているが、利用者の減少が続いている。しかし、島内で高齢者講習が行えるなど、島民にとって貴重な施設であるが、その老朽化が著しい。
早期の改修が必要であるが、運営母体の「島後交通安全協会」の単独での施設改修は困難である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

70歳以上のドライバーに対し、免許を更新する前に「高齢者講習」を受講することが義務づけられており、自動車教習所の存続により島民の負担軽減を図る。

【④.外部評価】　方向性：　拡大　**令和５年度評価済**

本町においては、自家用車が唯一の移動手段となっている高齢者が多く、隠岐自動車教習所の改修は必要であると考えます。一方で、高齢者の交通事故の増加や、疾病・障がいのある方の運転の可否の判断が難しい現状を踏まえ、公共交通機関の充実や相談窓口の設置、車の安全装置の普及など、具体的な事故防止の施策を実施して下さい。啓発活動については、交通安全の意識醸成に繋がっており評価できます。地域住民や事業所等と連携し、より効果的な活動を継続して頂きたいです。
また、防犯カメラの普及に関するニーズ調査を早期に実施し、更なる安全対策に繋げて下さい。

4.改善・見直し（Action）

交通事故防止に向けた継続的な街頭活動、危険個所の点検及び改善等により、交通事故の防止を図る。
自動車教習所の改修工事に向けた設計を進める。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	交通安全対策事業	担当	総務課 危機管理室	整理番号	総-7

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度　（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	島後交通安全協会自動車練習場補助金 2,600 千円	島後交通安全協会自動車練習場補助金 2,600 千円	島後交通安全協会自動車練習場補助金 2,600 千円	島後交通安全協会自動車練習場補助金 2,600 千円	島後交通安全協会自動車練習場補助金 2,600 千円
	隠岐自動車練習場外構整備測量調査設計 4,675 千円	隠岐自動車練習場敷地造成工事 28,167 千円	隠岐自動車練習場研修棟建設工事 81,400 千円	千円	千円
	隠岐自動車練習場車庫棟解体設計 2,519 千円	隠岐自動車練習場建築工事監理 3,000 千円	隠岐自動車練習場旧研修棟解体工事 4,500 千円	千円	千円
	隠岐自動車練習場解体設計監理 1,500 千円	隠岐自動車練習場車庫棟解体工事 2,500 千円	隠岐自動車練習場駐車場整備 3,000 千円	千円	千円
	隠岐自動車練習場仮事務所電気工事 858 千円	千円	千円	千円	千円
	交通安全大会開催費 144 千円	交通安全大会開催費 144 千円	交通安全大会開催費 144 千円	交通安全大会開催費 144 千円	交通安全大会開催費 144 千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	12,296 千円	36,411 千円	91,644 千円	2,744 千円	2,744 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
県補助	千円	千円	千円	千円	千円
起　債	千円	33,600 千円	88,900 千円	千円	千円
特　定	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	12,296 千円	2,811 千円	2,744 千円	2,744 千円	2,744 千円
目標値 ①	33台	35台	37台	39台	41台
②	2件/年	2件/年	2件/年	2件/年	2件/年
③					
④					
⑤					
⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	消防団活動事業	担当	総務課 危機管理室	整理番号	総-8

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	安心して暮らせるまち
基本施策	4.日常生活の安全を確保します
重点施策	
関連計画	隠岐の島町地域防災計画 隠岐の島町水防計画
予算区分	一般会計　款 9　項 1　目 2

指標		令和6年度目標値
①	消防団員の充足率（KPI）	100%
②	火災の発生件数	5件未満
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

消防団員の組織力向上を図ることで、住民が安心して暮らせるまちづくりを推進する。

【事業概要】

消防団員の装備品（防火衣など）を整備するとともに、訓練として消防夏季訓練や出初式を行う。

住民への意識啓発として春・秋・年末の火災予防運動巡回を行う。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

消防団員装備品整備費（半長靴）
1,382千円
夏季訓練・操法大会費（隔年）
中止
消防団出初式開催費
中止
島根県消防大会参加費（隔年）
中止

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

消防本部より遠い地域や山林火災等の水利の少ない箇所での初期消火活動ができている。

【②.事業の課題】

少子・高齢化の影響により新規消防団員が減少し、団員数が定員を満たしていない。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

消防団の装備品（防火衣・半長靴など）を整備し、消防団が活動しやすい環境を作る。また、現消防団員を通じ、新たな団員の加入を推進する。県消防操法大会参加と町消防操法大会を隔年で行っていたが、令和5年度からは小型ポンプの県操法大会が4年ごとの開催になったため、県の操法大会の前年に町操法大会を実施する。（県操法大会：令和6年度・10年度、町操法大会：令和5年度・9年度）

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

地域での団員の掘り起こしの為に広報等で周知する。また、幹部、班長の計画的な世代交代を促す。

消防団員の報酬等の基準に伴い、令和5年1月1日から今まで班に振り込んでいた年報酬、出動手当を団員の個人口座に振り込むこととした。これにより団員が直接年報酬等を受け取ることができるようになり、処遇改善に繋がった。

実績額		1,382 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	24 千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	1,358 千円

実績値				
	①	93.80%	④	
	②	4件	⑤	
	③		⑥	

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	消防団活動事業	担当	総務課 危機管理室	整理番号	総-8

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	消防団員装備品整備費 1,954 千円 消防団出初式開催費 98 千円 消防団ラッパ隊補助金 60 千円 消防団夏季訓練、操法大会費 15 千円	消防団員装備品整備費 2,012 千円 消防団出初式開催費 98 千円 消防団ラッパ隊補助金 60 千円 消防団夏季訓練、操法大会費 15 千円 島根県消防大会参加費 740 千円 県操法大会練習用資機材 557 千円	消防団員装備品整備費 2,012 千円 消防団出初式開催費 98 千円 消防団ラッパ隊補助金 60 千円 消防団夏季訓練、操法大会費 15 千円	消防団員装備品整備費 2,012 千円 消防団出初式開催費 98 千円 消防団ラッパ隊補助金 60 千円 消防団夏季訓練、操法大会費 15 千円	消防団員装備品整備費 2,012 千円 消防団出初式開催費 98 千円 消防団ラッパ隊補助金 60 千円 消防団夏季訓練、操法大会費 15 千円
事業費	2,127 千円	3,482 千円	2,185 千円	2,185 千円	2,185 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	2,127 千円	3,482 千円	2,185 千円	2,185 千円	2,185 千円
目標値 ①	95%	100%	100%	100%	100%
目標値 ②	5件未満	5件未満	5件未満	5件未満	5件未満
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	消防施設維持管理事業	担当	総務課 危機管理室	整理番号	総-9

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	安心して暮らせるまち
基本施策	4.日常生活の安全を確保します
重点施策	
関連計画	隠岐の島町地域防災計画 隠岐の島町水防計画

予算区分	一般会計	款	9	項	1	目	3

指標		令和6年度目標値
①	火災の発生件数	5件未満
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

初期消火に対応するため消防車両を整備し、町民の生命及び財産を守り、安心で安全な生活を送ることができるまちづくりを推進する。

【事業概要】

消防各班に消防車両を整備する。
20年以上経過した古い車両から随時更新する。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

実績なし

実績額		千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	4件	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

消防車両は、12分団・48台配置されており、消防本部より遠い地域における初期消火活動にいち早く対応できている。

【②.事業の課題】

現状では20年を経過した車両が全体の47%もあり、定期的な更新が必要である。また、オートマ限定免許所持者が増加傾向にある。
20年経過車両台数：23台(内、25年経過車両台数：12台)

【③.事業の必要性・今後の方向性】

今後も消防車両は地域における初期消火活動として重要な役割を担っており、継続して整備する。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

車両台帳を基に定期的な更新を行い、効率的な配置となるよう今後も検討していく。また、オートマ限定免許所持者が増加傾向にあるので、今後の整備はオートマ車にする。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	消防施設維持管理事業	担当	総務課 危機管理室	整理番号	総-9

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	消防車両整備事業（軽積載車2台）			消防車両整備事業（軽積載車2台）	
	17,129 千円	千円	千円	17,129 千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	17,129 千円	千円	千円	17,129 千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	17,100 千円	千円	千円	17,100 千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	29 千円	千円	千円	29 千円	千円
目標値 ①	5件未満	5件未満	5件未満	5件未満	5件未満
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	防火水槽整備事業	担当	総務課 危機管理室	整理番号	総-10

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	安心して暮らせるまち
基本施策	4.日常生活の安全を確保します
重点施策	
関連計画	隠岐の島町地域防災計画

予算区分	一般会計	款	9	項	1	目	3

指標		令和6年度目標値
①	火災の発生件数	5件未満
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

消火に伴う水利として、豊富な水量を蓄える防火水槽を整備することで、町民の生命及び財産を守り、安心で安全な生活を送ることができるまちづくりを推進する。

【事業概要】

防火水槽を設置する。
- 測量設計
- 設置工事
- 用地買収
- 登記費用

2.令和　4　年度事業実績（Do）

実績なし

実績額		千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	4件	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

防火水槽の整備により、水利の確保は進んでいる。

【②.事業の課題】

現在の防火水槽は、40㎥が主流であるが、町内には12㎥の容量の少ない溜め池の防火水槽が残っている。溜め池は蓋がないため、周辺住民から虫が湧くと苦情が来ている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

水利が不足している地域に設置していく。蓋の無い溜め池型から蓋付きの型に変更していく。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

適所に水利を確保するように防火水槽の整備を計画的に行う。

また、溜め池の防火水槽については、蓋をするか蓋つきの貯水槽型に変更する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	防火水槽整備事業	担当	総務課 危機管理室	整理番号	総-10

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	千円	千円	防火水槽整備事業（1基）布施 16,000 千円	千円	防火水槽整備事業（1基）中村 16,000 千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	千円	千円	16,000 千円	千円	16,000 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	16,000 千円	千円	16,000 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	千円	千円	千円	千円	千円
目標値 ①	5件未満	5件未満	5件未満	5件未満	5件未満
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	消火栓整備事業	担当	総務課 危機管理室	整理番号	総-11

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	安心して暮らせるまち
基本施策	4.日常生活の安全を確保します
重点施策	
関連計画	隠岐の島町地域防災計画
予算区分	一般会計　款 9　項 1　目 3

指標		令和6年度目標値
①	火災の発生件数	5件未満
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

地域における初期消火、住宅密集地における水利を確保することで、町民の生命及び財産を守り、安心で安全な生活を送ることができるまちづくりを推進する。

【事業概要】

消火栓設置基準（防火対象物から40m以下）に則り、消火栓を設置する。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

消火栓整備事業（13基）
- 卯敷（7基）　8,467千円
- 城北町（1基）　484千円
- 元屋（2基）　2,168千円
- 西田（1基）　554千円
- 栄町（1基）　1,199千円
- 中里（1基）　253千円

消火栓備品整備事業
（消火栓ボックス5セット）
545千円

実績額		13,671 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	13,100 千円
	特定	千円
	一般財源	571 千円

実績値				
	①	4件	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

消火栓設置に伴い、住民の方々の安心安全が図られた。また、放水訓練により防災意識の向上が図られた。

【②.事業の課題】

老朽化した消火栓が多く、修繕更新が必要となっている。定期的に設備点検は行っているが、特に問題がなかった設備も修繕の必要が生じている。
既存施設の設置場所が私有地となっている箇所がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

初期消火を行う際には必要な設備であり、被害を最小限に食い止めるためにも今後も継続的な整備・修繕が必要である。
私有地に設置してある既存施設を公有地に変更していく。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

老朽化した消火栓を計画的に修繕更新する。また、消火栓設備の必要数を再検討し、必要な場所に新たな消火栓を設置する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	消火栓整備事業	担当	総務課 危機管理室	整理番号	総-11

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度　（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	消火栓整備事業(10基)布施地区 9,900 千円 消火栓整備事業(5基)その他地区 4,950 千円 消火栓備品整備事業 545 千円	消火栓整備事業(5基)布施地区 4,950 千円 消火栓整備事業(5基)その他地区 4,000 千円 消火栓備品整備事業 1,090 千円	消火栓整備事業(10基)五箇地区 9,000 千円 千円 消火栓備品整備事業 1,090 千円	消火栓整備事業(10基)五箇地区 9,000 千円 千円 消火栓備品整備事業 1,090 千円 ch	消火栓整備事業(10基)都万地区 9,000 千円 千円 消火栓備品整備事業 1,090 千円
事業費	15,395 千円	10,040 千円	10,090 千円	10,090 千円	10,090 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	15,300 千円	10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	95 千円	40 千円	90 千円	90 千円	90 千円
目標値 ①	5件未満	5件未満	5件未満	5件未満	5件未満
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	防災対策事業	担当	総務課 危機管理室	整理番号	総-12

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	安心して暮らせるまち
基本施策	4.日常生活の安全を確保します
重点施策	
関連計画	隠岐の島町地域防災計画

予算区分	一般会計	款	9	項	1	目	4

指標		令和6年度目標値
①	自主防災組織率	30%
②	防災訓練の実施数	10件
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

災害の防止及び被害の軽減等諸施策に関する事項を総合的に定め、防災活動の効果的な実施を図ることで、町民の生命、身体及び財産を守り、安心で安全なまちづくりを推進する。

【事業概要】

近年は、全国各地において大規模な災害が発生しており、本町においても、隠岐の島町地域防災計画に基づき、災害時に対応できるよう備蓄等の整備を行う。

また、災害発生時の対応を迅速かつ確実に遂行するために各種計画やマニュアルの作成、災害時の応援協定などの締結を行う。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

隠岐の島町地域防災計画等改訂事業
4,554千円

災害用備蓄品
- ・アルファー米　330食
- ・スープ類　1200食
- ・クラッカー　193食
- ・おかゆ　230食
- ・粉ミルク　7缶
- ・飲料水　760本
- ・段ボールベッド　15個
- ・間仕切り　15個

794千円

防災頭巾制作材料代

227千円

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

計画に基づく物資購入により備蓄品（食料・資機材）が確保されつつある。

平成29年度より町内の小学校に配布を始めた防災頭巾が令和４年度分をもって６年目となり全学年に行き届いた。

【②.事業の課題】

個別避難計画や人的・物的資源の支援を受け入れることを目的とした計画などの各種計画の作成が未完了であるため、計画的に作成を進める。

備蓄品の保管場所が不足しているため、廃校の体育館やその他遊休施設を利用した保管場所の確保を行う。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

離島という地理的条件を考え、備蓄品の確保は必須であるため、継続的な購入を行う。

頻発、激甚化する災害に対し、自助・共助の意識を町民の皆様に強く持っていただくための出前講座（訓練込み）の計画及び実施を継続的に行い、自主防災組織未設立の地区においては加入に向けて助言を行う。また、有事の際の対応をより迅速かつ確実にするために各種計画の作成を進める。

【④.外部評価】　方向性：　拡大　　令和３年度評価済

町民の生命、身体、及び財産を守り安心安全なまちづくりを推進するために必要な事業です。

講演会などで知識を得ることも大切ですが、災害発生時に備えておくべき情報の周知が遅れていることからも町民の災害時の意識は低いと感じます。災害意識を高め、かつ、災害時に備えるため、学校、地域、関係機関との組織的で広域的な防災訓練の実施、また学校、地域などで実施する個別の防災訓練への支援をするべきと考えます。

4.改善・見直し（Action）

自主防災組織を設立したあとの手続きが長年曖昧なものとなっていたので、「隠岐の島町自主防災組織認定要綱」を策定し、新規の設立や組織改編など組織状況の明確化を図った。

今後も引き続き、自主防災組織率の向上を目的とした講座や訓練の実施を計画していく。

個別避難計画をはじめ、各種計画やそれらに付随するマニュアル等の作成が未完了であるものがあるため、作成を進める。

実績額		5,575 千円
財源内訳	国補助	2,277 千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	3,298 千円

実績値				
	①	24.60%	④	
	②	5件	⑤	
	③		⑥	

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	防災対策事業	担当	総務課 危機管理室	整理番号	総-12

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容	隠岐の島町ハザードマップ等作成業務				
	2,420 千円	千円	千円	千円	千円
	宝くじ助成事業補助金（地域防災組織育成事業　防災用品購入）		宝くじ助成事業補助金（地域防災組織育成事業　防災用品購入）		宝くじ助成事業補助金（地域防災組織育成事業　防災用品購入）
	2,000 千円	千円	2,000 千円	千円	2,000 千円
	防災出前講座				
	1,353 千円	千円	千円	千円	千円
	災害用備蓄品【非常食＋感染症対策品】	災害用備蓄品【非常食】	災害用備蓄品【非常食】	災害用備蓄品【非常食】	災害用備蓄品【非常食】
	1,256 千円	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円
(Plan)		災害用備蓄品【間仕切り等】		災害用備蓄品【間仕切り等】	
	千円	418 千円	千円	418 千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	7,029 千円	1,418 千円	3,000 千円	1,418 千円	3,000 千円
財源内訳 国補助	1,886 千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	2,000 千円	千円	2,000 千円	千円	2,000 千円
財源内訳 一般財源	3,143 千円	1,418 千円	1,000 千円	1,418 千円	1,000 千円
目標値 ①	27%	30%	32%	34%	36%
目標値 ②	7件	10件	10件	10件	10件
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	消費者対策事業	担当	地域振興課 政策企画係	整理番号	地-4

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	安心して暮らせるまち
基本施策	
重点施策	
関連計画	第5期島根県消費者基本計画
予算区分	一般会計　款 2　項 1　目 4

指標		令和6年度目標値
①	広報誌等による啓発回数	6回/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

複雑・多様化する消費者被害等から町民を守るため、啓発活動を通して、町民一人一人の問題意識を高める。

【事業概要】

啓発活動を実施する。
　町内イベントにおける啓発グッズの配布
　広報誌等(広報、お知らせ便、HP)による啓発
消費者教育を実施する。
　町内の児童・生徒を対象に消費者教育を実施

2.令和　4　年度事業実績（Do）

啓発グッズ作成　30千円

成年年齢引き下げに伴う
生徒への消費者教育講座
　隠岐高校

広報誌等による啓発　1回
　広報誌による注意喚起

ネットワーク会議による啓発　2回

町内イベントにおける
啓発グッズの配布　1回
（会場：西郷地区）

相談件数
　隠岐の島町：2件
　島根県：30件
　（町民から県への相談件数）

実績額		30 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	30 千円

実績値				
	①	3回	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

消費者トラブル未然防止のため町内イベントにて啓発グッズを配布すると共に、令和4年度に消費者安全確保地域協議会を設置し、町内関係機関との被害状況等の情報共有及び各組織における被害防止の注意喚起を促した。また県事業による隠岐高校生への消費者教育講座を実施したが、町内相談件数及び県相談件数は前年に比べ増加しており、更なる啓発活動及び相談窓口の周知徹底が必要である。

【②.事業の課題】

依然として高齢者を中心とした架空請求や通信販売による消費者相談が多い。また近年、年代を問わないインターネットをめぐる消費者トラブルが増加しており、また令和4年度施行の成年年齢引き下げ（18歳）により、今後、若年層の被害増加が懸念されている。インターネットの正しい利用方法の周知も必要となっている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

消費者トラブルが複雑かつ多様化する中、引き続き現状にあった啓発活動、相談窓口の周知徹底、消費者教育の機会の提供が必要である。また専門の相談員がいないことから、島根県消費者センターや警察署、弁護士等の関係機関と連携した相談対応も必要である。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　**令和５年度評価済**

　消費者被害の中でも、特殊詐欺被害の手口は年々多様化しており、子供から高齢者まで、身近に落とし穴があるということを広く啓発していく必要があると考えます。学校における消費者教育の推進及び地域のショッピングセンターや商店、ATM等、様々な場所での積極的な啓発活動により、消費者とその家族に対する効果的な注意喚起に繋がるのではないでしょうか。
　また、安心安全な消費行動の一つとして、島内で購入できるものは、地元の商店や企業での購入を推奨するべきと考えます。

4.改善・見直し（Action）

・相談件数が増加傾向であることから、これまで以上に積極的な啓発活動活動を行う。
・広報誌や町ホームページへの掲載記事の充実を図る。
・消費者教育の機会を設ける。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	消費者対策事業	担当	地域振興課 政策企画係	整理番号	地-4

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	啓発活動 ・啓発用品購入 　イベント配布、窓口設置 ・広報等による啓発 　広報(年1回)お知らせ便(年3回) 　HP（随時） ・消費者教育の機会の提供	啓発活動 ・啓発用品購入 　イベント配布、窓口設置 ・広報等による啓発 　広報(年1回)お知らせ便(年3回) 　HP（随時） ・消費者教育の機会の提供	啓発活動 ・啓発用品購入 　イベント配布、窓口設置 ・広報等による啓発 　広報(年1回)お知らせ便(年3回) 　HP（随時） ・消費者教育の機会の提供	啓発活動 ・啓発用品購入 　イベント配布、窓口設置 ・広報等による啓発 　広報(年1回)お知らせ便(年3回) 　HP（随時） ・消費者教育の機会の提供	啓発活動 ・啓発用品購入 　イベント配布、窓口設置 ・広報等による啓発 　広報(年1回)お知らせ便(年3回) 　HP（随時） ・消費者教育の機会の提供
	30 千円	30 千円	30 千円	30 千円	30 千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	30 千円	30 千円	30 千円	30 千円	30 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	30 千円	30 千円	30 千円	30 千円	30 千円
目標値 ①	6回/年	6回/年	6回/年	7回/年	7回/年
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	防犯灯管理事務	担当	施設管理課 施設管理係	整理番号	施-3

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	安心して暮らせるまち
基本施策	4.日常生活の安全を確保します
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	2	項	1	目	3

指標		令和6年度目標値
①	交通事故の発生件数（KPI）	2件/年
②	道路照明・防犯灯LED化	186基（累計）
③	通学路等防犯灯新設	37基（累計）
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

道路照明灯及び防犯灯の更新及び新設を順次行うことで、夜間の事件・事故防止及び防犯灯の長寿命化と維持管理の削減を図る。

【事業概要】

道路照明灯LED化更新事業

令和5年度以降は概ね蛍光灯のLED化に移行。

令和5年度　30基　　令和6年度　30基　　令和7年度　30基

令和8年度　30基　　令和9年度　30基

通学路等防犯灯新設事業

要望があった箇所へ順次防犯灯を設置する。

令和5年度　5基　　令和6年度　5基　　令和7年度　5基

令和8年度　5基　　令和9年度　5基

2.令和　4　年度事業実績（Do）

道路照明灯LED化更新

LED灯　26基

5,929千円

防犯灯新設

6基（大久、八田、中村外）

446千円

実績額		
		6,375 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	6,375 千円

実績値				
	①	1件/年	④	
	②	107基	⑤	
	③	16基	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

道路照明の水銀灯26基をLED灯に更新し、防犯灯6基のLED灯を新設したことで、経費の削減及び長寿命化が図られた。引き続き、LED灯への更新及び新設を進め、維持管理費の削減及び夜間の事件・事故防止の目標達成に向け進めていく。

【②.事業の課題】

本町で管理している防犯灯において、水銀灯についてはほぼ更新が終了し、残るは蛍光灯による防犯灯が多数ある。計画的かつ速やかにLED灯へ更新することで維持管理費の削減に繋がるが、地域事情や、灯具の状況などを考慮し、どの地域・範囲から更新していくかが課題である。また、通学路等の防犯灯が不足しており、設置の要望が多い。設置基準に従って速やかに防犯灯を設置する必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

夜間の事件・事故を防止するため、防犯灯を設置していくことは必要である。また、蛍光灯をLED灯にすることで、長寿命化と維持管理費の削減を図ることができる。

【④.外部評価】　方向性：　**令和４年度評価済**

夜間における事故及び犯罪被害の未然防止のために、必要な事業です。防犯灯の設置にあたっては、地域からの要望のみならず、通学路など真に必要性の高い場所を精査し、行って下さい。

また、町民の見守りのため、防犯カメラの普及や、地域自治会及び関係機関とのさらなる連携も必要と考えます。

4.改善・見直し（Action）

令和4年度に道路照明灯のうち、水銀灯のLED化が概ね完了したことから、令和5年度より蛍光灯のLED化を進めなければならない。灯具の腐食状況や、交換が必要と思われる状況を鑑みて30基/年の更新を計画し、事業費の平準化及び維持管理費の削減を行っていく。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	防犯灯管理事務	担当	施設管理課 施設管理係	整理番号	施-3

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	道路照明灯LED化更新工事　30基 2,000 千円 通学路等防犯灯新設工事　5基 500 千円	道路照明灯LED化更新工事　30基 2,000 千円 通学路等防犯灯新設工事　5基 500 千円	道路照明灯LED化更新工事　30基 2,000 千円 通学路等防犯灯新設工事　5基 500 千円	道路照明灯LED化更新工事　30基 2,000 千円 通学路等防犯灯新設工事　5基 500 千円	道路照明灯LED化更新工事　30基 2,000 千円 通学路等防犯灯新設工事　5基 500 千円
事業費	2,500 千円	2,500 千円	2,500 千円	2,500 千円	2,500 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	2,500 千円	2,500 千円	2,500 千円	2,500 千円	2,500 千円
目標値 ①	0件/年	0件/年	0件/年	0件/年	0件/年
目標値 ②	156	186基	216基	246基	276基
目標値 ③	32基	37基	42基	47基	52基
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	災害に強く安全安心な道路整備事業	担当	建設課 土木係	整理番号	建-3

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	安心して暮らせるまち
基本施策	4.日常生活の安全を確保します
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	8	項	2	目	2

指標		令和6年度目標値
①	災害危険個所の整備率（KPI）	62%
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

地震や頻発する風水害・土砂災害に対する防災対策をし、道路利用者にとって、安全安心な道づくりを目指す。

【事業概要】

災害防除事業
・測量設計業務、用地及び補償費
・法面対策工事〔油井4号線L=70m、那久11号線L=50m、
野田線(犬来)L=1450m、吉田名田線L=50m、
布施港湾線L=40m、西郷125号線(中町)L=110m、
中村漁港線L=200m〕
・冠水対策工事〔中条152号線(原田)L=208m〕
・排水路対策工事〔山田36号線L=22m〕
・電線地中化工事〔大社分院通り(西郷300号線)ほか3路線 L=303mm〕

2.令和　4　年度事業実績（Do）

油井4号線災害防除事業
・災害防除付帯工事
8,965千円
・電柱支障移転
652千円
那久11号災害防除事業
・詳細設計業務
1,254千円
・災害防除工事
3,971千円

実績額		
	実績額	14,842 千円
財源内訳	国補助	8,872 千円
	県補助	千円
	起債	5,700 千円
	特定	千円
	一般財源	270 千円

実績値				
	①	23.53%	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

本事業により、自然災害に対する安全・安心の確保ができるとともに、生活の質を高める社会基盤の再構築につながっている。

【②.事業の課題】

風化浸食による落石、河川増水時の冠水などが発生し、住民生活に支障をきたしている路線がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

電線類を地中化することにより、災害時に電柱の倒壊による道路閉塞を防ぐとともに電線類の被害を軽減し、電気や電話などのライフラインの安定供給を確保する。今後も、自然災害による防災機能の向上を図る。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

令和3年8月発生の豪雨災害の影響により、各事業の年度間調整を行った。また、令和5年度より、電柱地中化事業の推進を図る。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	災害に強く安全安心な道路整備事業	担当	建設課 土木係	整理番号	建-3

5.年度別計画　令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度　（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
那久11号線災害防除事業(那久) 法面対策工事　L=50m 25,700 千円	千円	油井4号災害防除事業（蔵田） 道路護岸(消波)　L=15m 30,000 千円	油井4号災害防除事業（蔵田） 道路護岸(消波)　L=14m 30,000 千円	千円
中条152号線冠水対策事業(原田) 冠水対策工事　L=120m 40,700 千円	中条152号線冠水対策事業(原田) 冠水対策工事　L=88m 26,950 千円	千円	千円	千円
大社分院通り他電線地中化事業(中町) 測量調査設計(西郷300号線ほか3路線) 21,600 千円	大社分院通り他電線地中化事業(中町) 詳細設計 67,950 千円	大社分院通り他電線地中化事業(中町) 西郷300号線道路改良工事　L=60m 50,000 千円	大社分院通り他電線地中化事業(中町) 西郷128号線外電線地中化工事　L=138m 100,000 千円	大社分院通り他電線地中化事業(中町) 西郷142号線外電線地中化工事　L=105m 100,000 千円
野田線災害防除事業 用地及び補償 4,100 千円	野田線災害防除事業 用地及び補償 4,100 千円	野田線災害防除事業 道路改良工事　L=100m 25,000 千円	野田線災害防除事業 道路改良工事　L=150m 30,000 千円	野田線災害防除事業 道路改良工事　L=180m 50,000 千円
千円	千円	山田36号線災害防除事業(山田) 排水路対策工事　L=22m 60,000 千円	千円	千円
千円	千円	千円	吉田名田線災害防除事業 測量設計　L=50m 7,000 千円	吉田名田線災害防除事業 法面対策工事　L=50m 45,000 千円
千円	千円	千円	千円	新）布施港湾線災害防除事業 測量設計　L=40m 7,000 千円
千円	千円	千円	千円	新）西郷125号線災害防除事業 測量設計　L=110m 8,000 千円
千円	千円	千円	千円	千円

(Plan)

事業費		92,100 千円		事業費		99,000 千円		事業費		165,000 千円		事業費		167,000 千円		事業費		210,000 千円	
財源内訳	国補助	61,180 千円		財源内訳	国補助	67,100 千円		財源内訳	国補助	115,500 千円		財源内訳	国補助	116,900 千円		財源内訳	国補助	147,000 千円	
	県補助	千円			県補助	千円			県補助	千円			県補助	千円			県補助	千円	
	起　債	28,600 千円			起　債	30,900 千円			起　債	46,800 千円			起　債	48,900 千円			起　債	61,200 千円	
	特　定	千円			特　定	千円			特　定	千円			特　定	千円			特　定	千円	
	一般財源	2,320 千円			一般財源	1,000 千円			一般財源	2,700 千円			一般財源	1,200 千円			一般財源	1,800 千円	
目標値	①	58%	④	目標値	①	62%	④	目標値	①		④	目標値	①		④	目標値	①		④
	②		⑤		②		⑤		②		⑤		②		⑤		②		⑤
	③		⑥		③		⑥		③		⑥		③		⑥		③		⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	河川管理事業	担当	建設課 土木係	整理番号	建-7

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	安心して暮らせるまち
基本施策	4.日常生活の安全を確保します
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	8	項	3	目	1

指標		令和6年度目標値
①	災害危険個所の整備率（KPI）	62%
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

町及び県管理の堤防等の除草、町管理河川における堆積土砂の撤去を行い、河川の氾濫を未然に防ぐことを目的とする。

【事業概要】

河川浄化対策事業
・河川浄化工事（八尾川、久見川、重栖川、中村川）
・河川堤防敷等除草業務（春日川、卯敷川、飯美川、元屋川、銚子川、都万川、八尾川下流）

河川浚渫事業
・河川堆積土砂撤去工事
・測量設計業務

2.令和　4　年度事業実績（Do）

河川浄化対策事業
・河川浄化工事（除草、伐木等）
　八尾川（A=52,600㎡）
　重栖川（A=34,500㎡）
　久見川（A=14,800㎡）
　11,198千円

・河川堤防敷等除草業務
　春日川ほか6河川
　1,602千円

実績額		12,800 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	6,397 千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	6,403 千円

実績値				
	①	23.53%	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

河川堤防の除草業務の実施により、堤体の健全度の確認･保全ができ、周辺環境への配慮も行うことができた。

【②.事業の課題】

経年による土砂の堆積の影響により、豪雨時に河川が氾濫する恐れがある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

今後も、適切な維持管理を行っていく。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

河川浄化事業により河川の適切な管理を行なうとともに、洪水被害を未然に防ぐため、令和5年度に池田川の浚渫工事（堆積土砂の撤去）を行い、令和6年度には久見川、今津川の浚渫工事を実施する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	河川管理事業	担当	建設課 土木係	整理番号	建-7

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	河川浄化対策事業（11河川） 14,291 千円 河川浚渫事業（池田川）V=300㎥ 5,500 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	河川浄化対策事業（10河川） 13,720 千円 千円 河川浚渫事業（末治川）V=700㎥ 8,500 千円 千円 千円 河川浚渫事業（井奥谷川）V=100㎥ 1,500 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	河川浄化対策事業（10河川） 13,000 千円 千円 千円 河川浚渫事業（久見川）V=240㎥ 4,000 千円 河川浚渫事業（今津川）V=330㎥ 5,500 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	河川浄化対策事業（10河川） 13,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	河川浄化対策事業（10河川） 13,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	19,791 千円	23,720 千円	22,500 千円	13,000 千円	13,000 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	6,878 千円	6,860 千円	6,500 千円	6,500 千円	6,500 千円
財源内訳 起債	5,500 千円	10,000 千円	9,500 千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	7,413 千円	6,860 千円	6,500 千円	6,500 千円	6,500 千円
目標値 ①	58%	62%			
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	河川改修事業	担当	建設課 土木係	整理番号	建-8

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	安心して暮らせるまち
	4.日常生活の安全を確保します
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	8	項	3	目	2

指標		令和6年度目標値
①	災害危険個所の整備率（KPI）	62%
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

町管理河川において、自然護岸で洗堀されている区間を改修することや、現況の排水断面を改良することにより、増水時の河川の氾濫を未然に防止する。

【事業概要】

・測量設計業務
・河川改修事業（護岸工：名田川）
・河川改修事業（護岸擁壁工：権現谷川）
・河川改修事業（排水路工：井の奥川、有木堤谷･東谷川、
　代下後谷川）

2.令和　4　年度事業実績（Do）

令和4年度実績なし

実績額		千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	23.53%	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和6年度より実施予定である。

【②.事業の課題】

河川の一部で護岸がない所や、現況の排水断面が小さいため、氾濫の発生する恐れがある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

近年全国で河川の氾濫が見られており、未然に防止するために必要な事業である。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

護岸工及び河川断面の改良を行ない、増水時の決壊及び越流を防ぎ氾濫を防止する。
事業開始年度を1年先送りし、有木東谷河川の排水路整備を新に追加した。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	河川改修事業	担当	建設課 土木係	整理番号	建-8

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	新)井の奥川河川改修事業(都万) 排水路工　L=58m（測量設計） 10,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	井の奥川河川改修事業(都万) 排水路工　L=58m 19,000 千円 新)有木堤谷川河川改修事業(有木) 排水路工　L=240m（測量設計） 8,000 千円 新)代下後谷川河川改修事業(代) 排水路工　L=200m（測量設計） 6,000 千円 新)権現谷河川改修事業(都万) 護岸擁壁工　L=30m（測量設計） 3,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 有木堤谷川河川改修事業(有木) 排水路工　L=120m 20,000 千円 代下後谷川河川改修事業(代) 排水路工　L=100m 18,000 千円 権現谷河川改修事業(都万) 護岸擁壁工　L=30m 8,000 千円 新)名田川河川改修事業(西町) 護岸工　L=30m（測量設計） 2,500 千円 新)有木東谷河川改修事業(有木) 排水路工　L=130m（測量設計） 3,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	千円	千円	10,000 千円	36,000 千円	51,500 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	千円	千円	10,000 千円	36,000 千円	51,500 千円
目標値 ①	58%	62%			
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	港湾・海岸施設長寿命化事業	担当	建設課 土木係	整理番号	建-9

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	安心して暮らせるまち
基本施策	4.日常生活の安全を確保します
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	8	項	4	目	2

指標		令和6年度目標値
①	該当項目なし	
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

港湾・海岸施設について点検を行い、修繕が必要とされる施設について、計画的に修繕を実施し、施設の長寿命化とコスト縮減を図る。

【事業概要】

・港湾･海岸施設点検診断、計画策定業務
・港湾施設,海岸施設修繕工事
・港湾・海岸施設定期点検診断業務（5年毎）
　港湾施設（ 10港）：西村港、飯美港、卯敷港、釜港、汐浜港、
　　小津久港、大津久港、長尾田港、代港、伊後港
　海岸施設(7海岸)：西村港海岸、飯美港海岸、卯敷港海岸
　　汐浜港海岸(塩浜地区)、大津久港海岸、
　　長尾田港海岸、代港海岸

2.令和　4　年度事業実績（Do）

令和4年度実績なし

実績額		千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	千円

実績値				
	①		④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和4年度までに海岸施設長寿命化事業により施設の点検診断を行い、計画的に修繕計画を策定することができた。汐浜港海岸護岸(補修)対策事業については、令和5年度から護岸補修工事に着手し、翌6年度に法面対策工事を実施する。

【②.事業の課題】

汐浜港の遊歩道護岸は風浪による洗堀、法面の風化浸食により修繕が必要である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

今後も、老朽化が問題視されているインフラ施設の長寿命化を行い、住民の安全を確保する。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

令和5年度より、港湾施設の点検診断を行い、施設の長寿命化とコストの縮減を目指す。汐浜港海岸護岸(補修)対策事業において、完成年度を１年先送りし、令和6年度完成を目指す。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	港湾・海岸施設長寿命化事業	担当	建設課 土木係	整理番号	建-9

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	汐浜港海岸護岸(補修)対策事業 （護岸 L=15m、法面保護 A=950㎡） 39,400 千円 港湾施設定期点検診断業務　2港湾 （西村港、卯敷港） 17,300 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	汐浜港海岸護岸(補修)対策事業 （護岸 L=15m、法面保護 A=950㎡） 39,500 千円 港湾施設定期点検診断業務　2港湾 15,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 港湾施設定期点検診断業務　3港湾 21,000 千円 海岸施設定期点検診断業務　2海岸 8,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 港湾施設定期点検診断業務　3港湾 21,000 千円 海岸施設定期点検診断業務　2海岸 8,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 海岸施設定期点検診断業務　3海岸 12,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	56,700 千円	54,500 千円	29,000 千円	29,000 千円	12,000 千円
財源内訳 国補助	19,250 千円	13,750 千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	20,100 千円	25,700 千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	17,350 千円	15,050 千円	29,000 千円	29,000 千円	12,000 千円
目標値 ①〜⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	港湾改修事業	担当	建設課 土木係	整理番号	建-10

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	安心して暮らせるまち
基本施策	4.日常生活の安全を確保します
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	8	項	4	目	2

指標		令和6年度目標値
①	該当項目なし	
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

小津久港及び西村港は、防波堤を改良し、静穏度を向上させることにより漁船の安全航行を実現し、安定した漁業活動を目指す。
卯敷港は、護岸を改良し、老朽化対策を行うことにより越波被害の回数を減少し、安定した漁業活動を目指す。

【事業概要】

・測量設計業務
・防波堤改良工事（小津港 L=100m、西村港 L=60m）
・護岸改修工事　（卯敷港 L=40m）
・船揚場整備工事（卯敷港 L=30m）

2.令和　4　年度事業実績（Do）

新規事業のため実績なし

実績額		千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	千円

実績値				
	①		④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和5年度より測量設計業務を行い、令和9年度完成を目指す。

【②.事業の課題】

地方創生港整備推進交付金事業（漁港及び港湾の連携かつ、本土との連携事業を実施）を活用しているため、概ね5年間で事業完了をしなければならない。
※事業主体(施設)･･･島根県（七類港、西郷港、重栖港、別府港、来居港）、松江市（諸喰港）、海士町（須賀港、諏訪港）、西ノ島町（美田港）、隠岐の島町（小津久港、卯敷港、西村港、油井漁港）

【③.事業の必要性・今後の方向性】

台風等の波浪により再三被災し、漁業活動にも支障をきたしているため、必要な事業である。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

地方創生推進交付金事業である港整備交付金を活用し、令和5年度より港湾施設の改良工事を進める。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	港湾改修事業	担当	建設課 土木係	整理番号	建-10

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	卯敷港護岸改良事業　測量設計 16,500 千円 卯敷港船揚場改良事業　測量設計 20,000 千円 西村港防波堤改良事業　測量設計 18,500 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	卯敷港護岸改良事業　L=40m 23,390 千円 卯敷港船揚場改良事業　L=30m 44,110 千円 西村港防波堤改良事業　L=60m 37,150 千円 小津久港防波堤改良事業　L=100m 37,150 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 西村港防波堤改良事業　L=60m 50,000 千円 小津久港防波堤改良事業　L=100m 50,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 西村港防波堤改良事業　L=60m 60,000 千円 小津久港防波堤改良事業　L=100m 60,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 西村港防波堤改良事業　L=60m 60,000 千円 小津久港防波堤改良事業　L=100m 60,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	55,000 千円	141,800 千円	100,000 千円	120,000 千円	120,000 千円
財源内訳 国補助	33,800 千円	88,000 千円	80,000 千円	96,000 千円	96,000 千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	21,200 千円	53,800 千円	20,000 千円	24,000 千円	24,000 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	千円	千円	千円	千円	千円
目標値 ①	④	① ④	① ④	① ④	① ④
目標値 ②	⑤	② ⑤	② ⑤	② ⑤	② ⑤
目標値 ③	⑥	③ ⑥	③ ⑥	③ ⑥	③ ⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	県営河川事業	担当	建設課 管理住宅係	整理番号	建-12

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	安心して暮らせるまち
基本施策	4.日常生活の安全を確保します
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	8	項	3	目	2

指標		令和6年度目標値
①	災害危険個所の整備率（KPI）	62%
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

島根県が実施する急傾斜地崩壊対策事業の町負担を支出することで、安全で安心な暮らしを確保する。

【事業概要】

島根県が実施する急傾斜地崩壊対策事業の町負担を支出する。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

負担金：
急傾斜地崩壊対策事業負担金（2件）

実績額		27,670 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	26,500 千円
	特定	千円
	一般財源	1,170 千円

実績値				
	①	23.53%	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

島根県と協力して計画的に事業を進めている。
近年、防災意識の向上により地区からの急傾斜対策の要望が増加している。

【②.事業の課題】

近年、豪雨災害が頻発しするなか、急傾斜地対策工事が行われていない箇所があり対応を急ぐ必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

町民の生命と財産を守り、安全で安心な暮らしを確保するため必要である。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

島根県と調整を図りながら、緊急性の高い急傾斜から対策工事を実施していく。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	県営河川事業	担当	建設課 管理住宅係	整理番号	建-12

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	急傾斜事業負担金（7地区）	急傾斜事業負担金	急傾斜事業負担金	急傾斜事業負担金	急傾斜事業負担金
	22,050 千円	40,000 千円	40,000 千円	40,000 千円	40,000 千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	22,050 千円	40,000 千円	40,000 千円	40,000 千円	40,000 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	19,600 千円	40,000 千円	40,000 千円	40,000 千円	40,000 千円
財源内訳 特定	381 千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	2,069 千円	千円	千円	千円	千円
目標値 ①	58%	62%			
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

Ⅲ.住みやすさを実感できるまち

基本施策	課名	事業名	頁	備考
1.快適な住環境を整えます	総務課	光ファイバー通信施設管理運営事業	189～	
	税務課	地籍調査事業	191～	
	建設課	残土処理場管理運営事業	193～	
	建設課	危険家屋対策事業	195～	
	建設課	町営住宅改修・整備事業	197～	
	建設課	民間住宅災害対策促進事業	199～	
	都市計画課	都市公園再編事業	201～	
	上下水道課	中村地区水産飲雑用水整備事業	203～	
	上下水道課	下水道接続促進事業	205～	
	上下水道課	一般管理事務（下水道）	207～	
	上下水道課	上水道施設更新事業	209～	
	上下水道課	汚水処理施設整備事業	211～	
	上下水道課	雨水処理施設整備事業	213～	
	上下水道課	中村漁港漁業集落排水整備事業	215～	
	上下水道課	漁業集落排水施設整備事業	217～	
	上下水道課	五箇特定環境保全公共下水道事業	219～	
	上下水道課	農業集落排水施設整備事業	221～	
	上下水道課	個別排水処理施設整備事業	223～	
	環境課	愁霊苑管理運営事業	225～	
	環境課	し尿処理事務	227～	
	環境課	ペット用火葬施設整備事業	229～	
	環境課	隠岐島油槽所運営事業	231～	
2.地域コミュニティのつながりと活力を育みます	地域振興課	地域コミュニティ推進事業	233～	
	地域振興課	船原集会所整備事業	235～	
	地域振興課	蛸木集会所整備事業	237～	
	中出張所	中地域振興事業	239～	

基本施策	課名	事業名	頁	備考
3.島内をスムーズに移動できる交通環境を整えます	地域振興課	生活バス路線対策事業	241～	
	建設課	道路維持管理事業	243～	
	建設課	通学路安全対策整備事業	245～	
	建設課	地域密着道路整備事業	247～	
	建設課	道路構造物維持管理推進事業	249～	
	建設課	町単道路改良事業	251～	
4.移住・定住しやすい環境を整えます	地域振興課	UIターン促進住宅管理事業	255～	
	地域振興課	空家活用事業	257～	
	地域振興課	UIターン支援事業	259～	
	地域振興課	島で結婚推進事業	261～	
	地域振興課	定住奨学金貸与事業	263～	
	地域振興課	関係人口創出事業	265～	
	五箇支所	五箇地域振興事業	267～	
	都万支所	都万地域振興事業	269～	
	布施支所	布施地域振興事業	271～	

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	光ファイバー通信施設管理運営事業	担当	総務課 広報広聴係	整理番号	総-13

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	1.快適な住環境を整えます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	2	項	1	目	7

指標		令和6年度目標値
①	光回線接続率（KPI）	45%
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

光インターネットサービスの利用環境を整備し、情報通信サービスの利用を可能とすることにより、地域間の情報格差の是正と地域の活性化を図る。

【事業概要】

隠岐の島町が有する光ファイバー施設設備を、ＮＴＴ西日本島根支店へ貸付し、NTT西日本が光回線接続サービスを提供する。
（1）高速インターネット接続
（2）ＮＴＴ西日本と提携する民間通信事業者の光接続サービスの提供

2.令和　4　年度事業実績（Do）

光ケーブル引込件数182件

実績額		千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	45.90%	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

隠岐の島町が有する光ファイバー網により、町内のどこの集落でも高速インターネットサービスを利用できる環境を整備済みである。スマートフォン、タブレット等の情報通信端末の普及により、光接続サービスは生活に欠かせないものとなっている。令和４年度の光ケーブル引込件数は年間182件で、町内の光回線接続率は45.9%に達している。

【②.事業の課題】

近年の大雨による災害や電力会社の電柱の老朽化による建て替えに伴い、光ファイバー網の維持管理に関する町の費用負担額が増加してきている。今後、設備機器の老朽化による更新も必要となり、更なる費用負担の発生が考えられる。また、多様に進化する通信技術への対応も必要となっていく可能性がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

光回線接続サービスは住民の暮らし及び事業活動等にかかせない重要な情報通信サービスである。利用者の接続時の費用軽減、手続き等事務の簡素化、また維持管理に係る町の費用負担額の削減が期待できるため、光ファイバー施設設備をＮＴＴ西日本島根支店（民間通信事業者）へ譲渡に向けた協議を進める。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

町の費用負担額の削減と施設の維持及び通信サービスの安定供給を図る事を目的に、令和６年４月にNTT西日本へ施設設備を譲渡する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	光ファイバー通信施設管理運営事業	担当	総務課 広報広聴係	整理番号	総-13

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	光ケーブル引込件数120件	光ﾌｧｲﾊﾞ通信施設及び付帯施設設備譲渡負担金			
	千円	179,400 千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	千円	179,400 千円	千円	千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	千円	179,400 千円	千円	千円	千円
目標値 ①	46%				
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	地籍調査事業	担当	税務課 固定資産係	整理番号	税-1

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	1.快適な住環境を整えます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	2	項	6	目	1

指標		令和6年度目標値
①	地籍調査面積（R2からR11で換算面積24.76㎢）	換算面積12.38㎢
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

国土調査法に基づき、土地の境界（以下「筆界」という）、面積を調査し、登記することにより、地権者の財産保護及び公共事業の円滑な実施に資する。

【事業概要】

国土交通省が定める第7次国土調査事業十箇年計画（令和2～11年）に基づき事業を実施する。

・地籍測量（基準点・筆界杭の設置及び座標値を観測する）
・一筆地調査（地権者の立会により、筆界を確認する）
・地籍測定（座標値から位置、形状、面積を測定する）
・閲覧（地権者に、調査結果の最終確認を行う）
・認証請求（調査結果について県及び国の承認を受ける）
・登記（登記所にて、登記簿を修正する）

2.令和　4　年度事業実績（Do）

業務委託料
・上西②地区　換算面積0.93㎢
　測量・一筆地調査
　1.28㎢　228筆（調査前）
　25,850千円
・代④地区　換算面積0.25㎢
　地籍測定、地籍図原図
　地籍簿案作成
　1.07㎢　109筆（調査前）
　1,848千円
・大久②地区　換算面積0.02㎢
　地籍簿案作成
　0.22㎢　132筆（調査前）
　605千円

・地図データ変換
　上西①、西村③伊後③
　660千円

現地調査費
・地籍調査推進委員報償費
　上西②　1,471千円
・筆界用杭等　371千円

広域事業推進費
・国土調査協会費　45千円

事務費　1,352千円

実績額		32,202 千円
財源内訳	国補助	15,772 千円
	県補助	7,886 千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	8,544 千円

実績値				
	①	1.20㎢	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和4年度末の進捗率は57.1%となった。宅地周辺はほぼ終了し、残りは山林が大部分である。
地籍調査により境界や面積を確定することで、土地に関するトラブルの防止、災害復旧時の現地復元の円滑化、まちづくりプランや林業等への活用、固定資産税の公平課税に有用である。
（調査対象面積：242.62㎢、R2～R4 換算面積累計値 3.39㎢）

【②.事業の課題】

近年の調査では、地権者の大多数が土地の境界を把握していないのが現状である。また、未調査の山林は急峻な地形が多く、土地所有者の高齢化、不在地主の増加、森林の管理不足等により、現地での立会いや測量作業が困難になってきている。国の予算配分方針等により、防災対策等と連携していない調査は予算が付かず、十箇年計画の目標値を達成することが難しい状況である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

地籍調査事業は国土調査法に基づく事業であり、国の第7次国土調査事業十箇年計画（令和2～11）に沿って調査率向上を目指して今後も実施する。測量技術の発展に伴い、高精度な空中写真、航空レーザ測量データ等のリモートセンシングデータを活用した新手法（以下「航測法」という。）が活用できるようになったため、航測法による安全かつ効率的な実施を目指す。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

・国土地理院により令和3年度にGNSS固定点が設置され、電子基準点のみを与点とする地籍図根三角測量と一部工程の省略が可能となった為、この手法を採用し、事業の効率化・事務費の軽減を図る。
※GNSS固定点とは、測量の基礎となる点（装置）のことである。衛生の電波を定期的に受信、観測データを国土地理院に送信している。このデータが公開されており活用することで、既設の三角点へ登ることなく、測量を行うことができる。

・山間部の調査方法に、航測法を導入する。
※航測法とは、航空機やUAV（ﾄﾞﾛｰﾝ）を用いて、航空写真撮影やレーザー測量を行い、成果図面上に、現地精通者の意見等を参考に、土地の境界案を作成。集会所等において説明を行い地権者の同意を得ることで、現地に行くことなく筆界の座標値、地図を作成する手法です。航測法を実施することで、経費の削減や調査期間の短縮が図られ、効率的で安全に地籍調査を実施することが可能となります。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	地籍調査事業	担当	税務課 固定資産係	整理番号	税-1

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	第7次国土調査事業 上西②地区 ・地籍測定業務 ・地籍簿作成 3,303 千円 加茂④地区 ・測量業務 ・一筆地調査工程 39,075 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 加茂④地区 ・地籍測定業務 ・地籍簿作成 2,387 千円 中村②・元屋①地区 ・測量業務 ・一筆地調査工程 46,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	第7次国土調査事業 効率的手法導入推進基本調査 航測法（リモートセンシングデータを活用） 上西、都万、油井、那久地区　約14㎢ （国負担により実施） 千円 千円 中村②・元屋①地区 ・地籍測定業務 ・地籍簿作成 3,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	第7次国土調査事業 効率的手法導入推進基本調査の後続調査 航測法（リモートセンシングデータを活用） 上西地区　4㎢ 一筆地調査工程 47,000 千円 上西地区の一部　1㎢ ・地籍測定業務 ・地籍簿作成 3,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	第7次国土調査事業 効率的手法導入推進基本調査の後続調査 航測法（リモートセンシングデータを活用） 都万、那久地区　4㎢ ・一筆地調査工程 47,000 千円 上西地区の一部　4㎢ ・地籍測定業務 ・地籍簿作成 13,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	42,378 千円	48,387 千円	3,000 千円	50,000 千円	60,000 千円
財源内訳 国補助	19,711 千円	24,192 千円	1,500 千円	25,000 千円	30,000 千円
財源内訳 県補助	9,855 千円	12,096 千円	750 千円	12,500 千円	15,000 千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	12,812 千円	12,099 千円	750 千円	12,500 千円	15,000 千円
目標値 ①	換算面積9.90㎢	換算面積12.38㎢	換算面積14.86㎢	換算面積17.33㎢	換算面積19.81㎢
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	残土処分場維持管理事業	担当	建設課 管理住宅係	整理番号	建-11

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	1.快適な住環境を整えます
重点施策	
関連計画	隠岐の島町まちづくりゾーニング計画

予算区分	一般会計	款	8	項	1	目	1

指標		令和6年度目標値
①	該当項目なし	
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

残土処分場を適正かつ円滑に管理することで、公共工事（町・県）で発生した残土の処分を適正に行うことを目的とする。

【事業概要】

残土処分場を適正かつ円滑に管理する。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

業務委託費
15,125千円

実績額	15,125 千円
財源内訳 国補助	千円
県補助	千円
起債	千円
特定	15,125 千円
一般財源	千円

実績値				
①		④		
②		⑤		
③		⑥		

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

残土を計画的に管理できている。

【②.事業の課題】

災害残土が大量に搬入されていることから、計画的な管理が必要。
また、当初計画していた残土処理搬入口が異なることから、県道に濁水が流入し町民より苦情があることから、県道への濁水阻止、道路交通上の安全性を確保する。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

残土を計画的に管理し、県道への濁水阻止、道路交通上の安全性を確保するため改良工事等をおこなう。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

当初計画通りに残土処理搬入口が利用できるよう場内施設の改良工事を行う。
県道への濁水の原因となる残土の撤去のため、場内改良を行う。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	残土処分場維持管理事業	担当	建設課 管理住宅係	整理番号	建-11

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	場内整備委託（飯田残土処分場） 24,667 千円 場内改修設計 2,997 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	場内整備委託（飯田残土処分場） 20,000 千円 場内改修工事 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	場内整備委託（飯田残土処分場） 15,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	場内整備委託（飯田残土処分場） 15,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	場内整備委託（飯田残土処分場） 15,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	27,664 千円	20,000 千円	15,000 千円	15,000 千円	15,000 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	27,664 千円	20,000 千円	15,000 千円	15,000 千円	15,000 千円
財源内訳 一般財源	千円	千円	千円	千円	千円
目標値 ①～⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	危険家屋対策事業	担当	建設課 管理住宅係	整理番号	建-13

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	1.快適な住環境を整えます
重点施策	
関連計画	隠岐の島町住生活基本計画 第2次隠岐の島町空家等対策計画
予算区分	一般会計　款 8　項 5　目 1

指標		令和6年度目標値
①	危険空家の撤去数（KPI）	15件/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

人口、世帯数の減少等により町内において老朽化した危険空家が発生し近隣への倒壊・飛散等の危険性がある。このような危険空家の除却に対し助成をすることで、良好な住環境を形成する。

【事業概要】

国土交通省の基準に基づき、個人からの申請を審査し、対象となる危険空家1戸当たり150万円を上限に解体費の80%を助成する。

所有者不明の危険空家については、隠岐の島町空家対策協議会に諮り、特定空家に指定され略式代執行の措置をとる。

また、調査の結果、所有者が確知された場合でも、町からの指導・助言に従わない場合は、隠岐の島町空家対策協議会に諮り、特定空家に指定され、行政代執行の措置をとる。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

危険空家判定調査数	41件
危険空家認定数	18件
補助申請数	11件
除却数	11件

実績額		15,858 千円
財源内訳	国補助	7,929 千円
	県補助	3,171 千円
	起債	4,700 千円
	特定	千円
	一般財源	58 千円

実績値				
①	11件/年	④		
②		⑤		
③		⑥		

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

老朽化した危険空家を除却することで、近隣への倒壊・飛散等の危険性がなくなる。

【②.事業の課題】

適切な管理がなされていない空家が増えており、今後、空家となる可能性のある住宅が多数存在する。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

空家が長期間放置されないよう、空家の有効活用方法として「空家バンク」への登録を他課と連携し予防対策を講じる。危険空家については、除却費補助金の申請を希望する件数が増加していることから、助成の継続と補助件数の拡大をする必要がある。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　令和５年度評価済

危険空家に対する施策、また特定空家の解消に向けた手順等は、良いスキームが確立されており評価できます。町内には危険と思われる空家が数多く見られ、特に通学路沿いの老朽化した建物は子供たちの安全を脅かすものであり、早急な対応を望みます。

また、空家になりそうな住宅の把握を庁内の様々な部署と連携して行い、所有者及び管理者に対し制度の周知を徹底するなど、空家化の未然防止に努めてください。

4.改善・見直し（Action）

空家所有者に対し、危険空家とならないよう空家の適切な管理、または有効活用について指導・助言を行う。特定空家については、町民の生命と財産を守るため行政代執行を視野に入れた対応を行う。そのため空家特措法の改正に向けた町の対応フローを整理する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	危険家屋対策事業	担当	建設課 管理住宅係	整理番号	建-13

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	危険空家除却補助金（10件） 15,000 千円 行政代執行・略式代執行費用 8,525 千円	危険空家除却補助金（10件） 15,000 千円 行政代執行・略式代執行費用 60,000 千円	危険空家除却補助金（10件） 15,000 千円 行政代執行・略式代執行費用 千円	危険空家除却補助金（10件） 15,000 千円 行政代執行・略式代執行費用 千円	危険空家除却補助金（10件） 15,000 千円 行政代執行・略式代執行費用 千円
事業費	23,525 千円	75,000 千円	15,000 千円	15,000 千円	15,000 千円
財源内訳 国補助	11,130 千円	37,500 千円	7,500 千円	7,500 千円	7,500 千円
財源内訳 県補助	3,000 千円	3,000 千円	3,000 千円	3,000 千円	3,000 千円
財源内訳 起債	4,500 千円	4,500 千円	4,500 千円	4,500 千円	4,500 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	4,895 千円	30,000 千円	千円	千円	千円
目標値 ①	10件/年	15件/年	15件/年	15件/年	15件/年
目標値 ②③④⑤⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	町営住宅改修・整備事業	担当	建設課 管理住宅係	整理番号	建-14

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	1.快適な住環境を整えます
重点施策	
関連計画	隠岐の島町営住宅長寿命化計画

予算区分	一般会計	款	8	項	5	目	1

指標		令和6年度目標値
①	町営住宅改修戸数	67戸（累計）
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

老朽化した町営住宅において外壁劣化等による温熱環境の悪化、内部においては床の段差及び設備の劣化により、現在求められている住環境に支障をきたしているため、改修及び整備工事を実施する。実施することにより長寿命化によるコスト削減を図ることを目的とする。

【事業概要】

町営住宅を267戸管理しており、現在まで順次改修工事を実施してきた。
令和3年度～令和6年度までに67戸の改修工事を予定している。
改修内容：長寿命化改修、アスベスト除去

2.令和　4　年度事業実績（Do）

田部谷団地＜改修戸数：1戸＞
仁万団地＜改修戸数：1戸＞
　段差解消
　高断熱化
宮城ヶ丘団地＜改修戸数：3戸＞
　アスベスト除去
住生活基本計画策定更新業務

実績額		53,389 千円
財源内訳	国補助	10,000 千円
	県補助	千円
	起債	17,700 千円
	特定	千円
	一般財源	25,689 千円

実績値				
	①	13戸	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

長寿命化計画に基づき計画通り進めている。

【②.事業の課題】

建築年度が古い建物については、改修及び建て替えを行う必要があるが、募集をかけても応募がない住宅がある。また、改修工事により、入居者の仮移転、本移転が必要なため入居者との調整が必要である。現在使用している住宅システムが令和6年度末で更新されなくなることから、令和7年度新住宅管理システム稼働に向けて準備を進める必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

町営住宅は住宅に困窮する低所得者等に対するセーフティーネットとしての役割を果たすとともに、居住性の向上及び高齢者に対応した住環境づくりを推進し、安心安全の住居環境を確保する。また、町営住宅としての役割に対して、必要性の無くなった住宅の用途を廃止しUIターン者等の住宅として活用できるよう他課と連携して検討する。新住宅管理システムを令和6年度に導入し、問題なく稼働するのか検証する。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　令和５年度評価済

本町の住宅事情は、移住や結婚等により新たな住まいを求める際に選択肢がなく、希望する住宅に住むことができない方が多いと感じます。そのような中、住宅に困窮する方のセーフティーネットである町営住宅は、町民にとって必要な施設であり、バリアフリー化や居住性を高めることを目的とした町営住宅の改修及び整備については、計画的に実施して下さい。
また、募集をかけても応募がない住宅については、UIターン者向け住宅や、移住体験・インターンシップ等の一時滞在施設など、様々な用途に活用することをご検討頂きたいです。

4.改善・見直し（Action）

入居者との調整を行いながら、引き続き長寿命化計画に基づき、老朽化した住宅の順次改修工事を実施する。改修工事では間に合わない住宅に関しては建て替えを検討する。また、町営住宅として必要がなくなった住宅は他課と協議し利活用を行う。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	町営住宅改修・整備事業	担当	建設課 管理住宅係	整理番号	建-14

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	田部谷団地改修戸数：3戸 46,779 千円 仁万団地改修戸数：3戸 45,204 千円 宮城ヶ丘団地Ａ棟ｱｽﾍﾞｽﾄ除去工事（3戸） 21,775 千円 宮城ヶ丘団地駐車場舗装工事 4,120 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	田部谷団地改修戸数：1戸 16,830 千円 仁万団地改修戸数：2戸 31,218 千円 宮城ヶ丘団地　ｱｽﾍﾞｽﾄ除去工事（2戸） 16,280 千円 千円 住宅管理システム導入 15,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	田部谷団地改修戸数：1戸 16,830 千円 仁万団地改修戸数：2戸 31,218 千円 宮城ヶ丘団地　ｱｽﾍﾞｽﾄ除去工事（3戸） 24,160 千円 千円 千円 西見団地建替事業（非現地造成設計） 8,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	田部谷団地改修戸数：1戸 16,830 千円 仁万団地改修戸数：2戸 31,218 千円 宮城ヶ丘団地　ｱｽﾍﾞｽﾄ除去工事（3戸） 24,160 千円 千円 千円 西見団地建替事業（非現地造成工事） 35,000 千円 朝日が丘団地改修設計 2,500 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 仁万団地改修戸数：2戸 31,218 千円 宮城ヶ丘団地　ｱｽﾍﾞｽﾄ除去工事（3戸） 24,160 千円 千円 千円 西見団地建替事業（非現地建築設計） 3,000 千円 朝日が丘団地改修戸数：2戸 35,860 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	117,878 千円	79,328 千円	80,208 千円	109,708 千円	94,238 千円
財源内訳	国補助　48,350 千円 県補助　千円 起　債　65,400 千円 特　定　4,120 千円 一般財源　8 千円	国補助　25,630 千円 県補助　千円 起　債　38,600 千円 特　定　千円 一般財源　15,098 千円	国補助　33,559 千円 県補助　千円 起　債　46,600 千円 特　定　千円 一般財源　49 千円	国補助　48,309 千円 県補助　千円 起　債　61,300 千円 特　定　千円 一般財源　99 千円	国補助　37,620 千円 県補助　千円 起　債　56,600 千円 特　定　千円 一般財源　18 千円
目標値	①　22戸　④ ②　⑤ ③　⑥	①　29戸　④ ②　⑤ ③　⑥	①　34戸　④ ②　⑤ ③　⑥	①　39戸　④ ②　⑤ ③　⑥	①　46戸　④ ②　⑤ ③　⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	民間住宅災害対策促進事業	担当	建設課 管理住宅係	整理番号	建-15

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	1.快適な住環境を整えます
重点施策	
関連計画	島根県及び隠岐の島町耐震改修促進計画
予算区分	一般会計　款 8　項 5　目 1

指標		令和6年度目標値
①	木造住宅耐震診断件数	5件/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

耐震構造基準（S56以前建築）に満たない建築物に耐震化促進の助成を行う。また、土砂災害特別警戒区域内の住宅においても、住宅補強支援の助成を行うことにより、今後起こりうる災害等に対して建物被害及びこれに起因する人命や財産の被害を未然に防止するとともに、防災意識の向上を図り、安全で安心なまちづくりに寄与する。

【事業概要】

耐震基準に満たない住宅は、被災時に居住者や近隣住民に対し人的被害を及ぼす恐れがあり、避難路等の障害となる可能性もある。
（木造住宅耐震化促進事業）
診断:上限10万円（事業費の1/1）計画:上限30万円（事業費の2/3）
改修:上限90万円（事業費の23%未満）除却:上限50万円（事業費の1/3）
（土砂災害特別警戒区域内住宅補強支援事業）
設計:上限10万円（事業費の23%未満）工事:上限110万円（事業費の23%未満）除却:上限50万円（事業費の23%未満）

2.令和　4　年度事業実績（Do）

（木造住宅耐震化促進事業）
・耐震診断　3件
・耐震計画　0件
・耐震改修　0件
・除　　却　3件

（土砂災害特別警戒区域内住宅補強支援事業）
・補強設計　0件
・補強工事　0件
・除　　却　0件

実績額		
	実績額	1,799 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	393 千円
	起債	1,400 千円
	特定	千円
	一般財源	6 千円

実績値				
	①	3件	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

木造住宅耐震化促進事業は、前年度耐震診断数2件に対し、今年度は同一申請者が診断～耐震設計～耐震改修と実施し、また地域振興課の改修事業補助金を利用し、耐震改修工事は完了した。
土砂災害特別警戒区域内住宅補強支援事業の申請件数は0件であった。

【②.事業の課題】

現在、旧耐震基準住宅（S56年以前建築）に居住する住民への耐震化促進や土砂災害特別警戒区域内に建つ住宅の所有者への住宅補強支援については、制度の周知啓発が不十分である。
ただし、個別の周知については、税務課で抽出した結果、対象住宅が約4700戸あり、混乱を招く恐れもあるので今後、周知方法について協議が必要。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

耐震基準に満たない住宅は、被災時に居住者や近隣住民に対し人的被害を及ぼす恐れがあり、当事業の助成を行うことにより、今後起こりうる災害等に対して建物被害及びこれに起因する人命や財産の被害を未然に防止するとともに、防災意識の向上を図る。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　令和３年度外部評価

災害時の備えとして必要な事業であるが、制度の周知不足であると感じます。町HP及びお知らせ便での周知はもちろんですが、耐震構造基準に満たない建築物の所有者、土砂災害特別警戒区域内の住宅の所有者への個別の周知活動も行なうなど、周知徹底を図って下さい。

4.改善・見直し（Action）

啓発等により、現在の住環境の危険性を認識することで住民の防災意識を高めるとともに、支援制度の周知を徹底し、事業の推進を図る。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	民間住宅災害対策促進事業	担当	建設課 管理住宅係	整理番号	建-15

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	木造住宅耐震化改修補助金 4,700 千円 要安全（沿道）建築物耐震診断（1件のみ） 5,266 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	木造住宅耐震化改修補助金 4,700 千円 要安全（沿道）建築物補強設計補助金（1件のみ） 5,266 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	木造住宅耐震化改修補助金 4,700 千円 要安全（沿道）建築物改修補助金（1件のみ） 47,258 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	木造住宅耐震化改修補助金 4,700 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	木造住宅耐震化改修補助金 4,700 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	9,966 千円	9,966 千円	51,958 千円	4,700 千円	4,700 千円
財源内訳 国補助	4,813 千円	4,813 千円	25,082 千円	2,180 千円	2,180 千円
財源内訳 県補助	2,421 千円	1,982 千円	10,647 千円	1,105 千円	1,105 千円
財源内訳 起債	2,700 千円	3,100 千円	16,200 千円	1,400 千円	1,400 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	32 千円	71 千円	29 千円	15 千円	15 千円
目標値 ①	10件	10件	10件	10件	10件
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	都市公園再編事業	担当	都市計画課 都市整備係	整理番号	都計-2

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	1.快適な住環境を整えます
重点施策	
関連計画	隠岐の島町緑の基本計画、隠岐の島町運動公園長寿命化計画、隠岐の島町公園整備基本計画

予算区分	一般会計	款	8	項	6	目	2

指標		令和6年度目標値
①	公園の遊具やトイレの再整備（KPI）	3か所
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

本町の市街地部分（旧町内）には遊具が設置された公園は、どの施設も小規模で一定人数以上の利用ができない状況である。そのため、安全に安心して遊べて、健康づくりが行えるような公園を整備することで、生活にやすらぎやうるおいを与え、生きがいのあるまちづくりを推進する。

【事業概要】

市街地部分（旧西郷町内）の公園を再整備する。
・寺の前公園整備事業
　安全に安心して子供たちとふれあう公園とするための改修整備
　　園路等公園施設改修
・運動公園整備事業
　運動公園周辺エリアー帯を健康づくり拠点として改修整備
　　遊歩道改修・転落防止柵改修

2.令和　4　年度事業実績（Do）

運動公園スケボーパーク再編工事
運動公園ロータリー改修(2期)工事
運動公園総合体育館照明改修工事
運動公園進入路灯改修工事
寺の前公園階段改修(1期)工事
都市公園長寿命化計画策定業務
196,167千円

実績額		196,167 千円
財源内訳	国補助	86,900 千円
	県補助	千円
	起債	103,217 千円
	特定	千円
	一般財源	6,050 千円

実績値				
	①	2ヶ所	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和4年度ではスケボーパーク改修及びロータリー改修、長寿命化計画策定及び見直しを実施した。令和5年度は総合グランド外周遊歩道及び転落防止柵の改修を行う。また令和4年度に見直しした長寿命計画に基づき、総合体育館一般照明LED化の詳細設計を行う。

【②.事業の課題】

長寿命化計画をもとに計画的な更新を行う必要がある。
一部施設更新の必要性について検討が必要である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

令和5年度に長寿命化計画に沿った改修の実施及び運動公園の機能充実に向けた再編を実施していく。
また一部施設更新の必要性について検討する。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

令和5年度では遊歩道改修工事等を行い、安全に安心して町民がふれあえる公園として再整備する。
また、長寿命化に伴い計画的な施設更新を実施する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	都市公園再編事業	担当	都市計画課 都市整備係	整理番号	都計-2

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	運動公園体育館一般照明改修詳細設計業務 6,000 千円 運動公園遊歩道改修工事 10,000 千円 運動公園道路照明改修工事 8,000 千円 運動公園転落防止柵改修工事 19,500 千円 寺の前公園転落防止柵改修工事 9,500 千円 寺の前公園階段改修（2期）工事 13,000 千円 港町公園下水道接続工事 1,250 千円 千円 事務費 2,900 千円 千円 千円 千円	運動公園一般照明LED化工事 40,000 千円 運動公園監視棟新設工事 30,000 千円 運動公園管理棟改修詳細設計業務 5,000 千円 千円 寺の前公園転落防止柵改修(2期)工事 5,000 千円 寺の前公園施設改修工事 5,000 千円 千円 千円 運動公園環境整備業務（樹木伐採） 1,000 千円 事務費 2,500 千円 千円 千円 千円	運動公園総合体育館可動席改修工事 55,000 千円 千円 運動公園管理棟改修工事 12,700 千円 運動公園体育館空調等改修詳細設計業務 5,000 千円 千円 千円 千円 運動公園環境整備業務（樹木伐採） 1,000 千円 事務費 3,100 千円 千円 千円 千円	運動公園総合体育館改修(その１)工事 4,200 千円 千円 運動公園体育館衛生設備等改修詳細設計業務 5,000 千円 運動公園総合体育館空調設備改修工事 8,000 千円 千円 千円 千円 運動公園環境整備業務（樹木伐採） 1,000 千円 事務費 1,000 千円 千円 千円 千円	運動公園総合体育館改修(その２)工事 29,000 千円 千円 運動公園総合体育館衛生設備改修工事 4,000 千円 運動公園体育館外壁等補修詳細設計業務 10,300 千円 寺の前公園トイレ改修工事 2,700 千円 千円 千円 千円 運動公園環境整備業務（樹木伐採） 1,000 千円 事務費 2,100 千円 千円 千円 千円
事業費	70,150 千円	88,500 千円	76,800 千円	19,200 千円	49,100 千円
財源内訳	国補助 30,000 千円 県補助 千円 起　債 38,900 千円 特　定 千円 一般財源 1,250 千円	国補助 42,500 千円 県補助 千円 起　債 43,000 千円 特　定 千円 一般財源 3,000 千円	国補助 36,350 千円 県補助 千円 起　債 39,400 千円 特　定 千円 一般財源 1,050 千円	国補助 8,600 千円 県補助 千円 起　債 9,600 千円 特　定 千円 一般財源 1,000 千円	国補助 23,000 千円 県補助 千円 起　債 26,100 千円 特　定 千円 一般財源 千円
目標値	① 3ヶ所　④ ②　⑤ ③　⑥	① 3ヶ所　④ ②　⑤ ③　⑥	① 3ヶ所　④ ②　⑤ ③　⑥	① 3ヶ所　④ ②　⑤ ③　⑥	① 3ヶ所　④ ②　⑤ ③　⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	中村地区水産飲雑用水整備事業	担当	上下水道課 上水道施設係	整理番号	上下-1

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	1.快適な住環境を整えます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	6	項	3	目	3

指標		令和6年度目標値
①	水産飲雑用水施設整備	27.90%
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

隠岐の島町の上水道事業は昭和30年代から供用を開始した。中村地区においても水道施設は整備されており水道水の供給がなされている。当地区において漁業集落排水施設（下水道施設）の整備が行われることとなり、これに合わせて老朽化した既存の水道施設を水産飲雑用水事業により更新し、安全で安心な水道水を安定的に供給を行っていく。

【事業概要】

漁業集落環境整備事業
　水産飲雑用水施設（462,900千円）
　・配水管路　　整備延長=6,940m
　・送水管路　　整備延長=2,560m
　・導水管路　　整備延長=280m
　・中村浄水場改良　1式
　・配水池整備　　1池
　・ポンプ施設整備　1式

2.令和　4　年度事業実績（Do）

※令和5年度より事業開始
（令和４年度以前は農林水産課にて事業を実施）

中村地区集落環境整備事業
　中村地区水産飲雑用水
　　管路布設(第1期)工事 L=200m
　　4,990千円
　　管路布設(第2期)工事 L=354m
　　10,197千円
　　管路布設工事積算業務　1式
　　6,413千円
　　送水ポンプ場設計業務　1式
　　14,278千円
　事務費
　　240千円

【令和5年度へ繰越】
　中村地区水産飲雑用水
　　管路布設(第1期)工事 L=200m
　　9,440千円

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

農林水産課において令和4年度までに水産飲雑用水の測量調査設計、管路布設工事を実施してきた。令和5年度以降は農林水産課より事業を引き継ぎ、上下水道課において事業実施していく。

【②.事業の課題】

当該事業は下水道の管路布設（漁業集落排水施設）に合わせて配水管路の布設を行わなければならず、事業間において工事の施工個所、事業進捗の調整に苦慮している。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

中村地区においては水道施設の整備は完了しているが、老朽化した施設の更新を計画的に行い、安全で安心な水道水を安定的に供給していかなければならない。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

水産飲雑用水施設は、将来的には上水道会計において維持管理していくことから、資産を明確化にするため漁業集落環境整備事業から水産飲雑用水のみ別事業とした。

これにより、公営企業として適切な資産管理ができることとなる。

実績額		36,118 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	16,500 千円
	起債	19,600 千円
	特定	千円
	一般財源	18 千円

実績値				
	①	205t/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	中村地区水産飲雑用水整備事業	担当	上下水道課 上水道施設係	整理番号	上下-1

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	管路詳細設計 15,000 千円 管路布設工事 24,000 千円 千円 千円 千円 千円 積算業務 5,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	配水池詳細設計 12,000 千円 管路布設工事 46,500 千円 ポンプ場建設工事 20,000 千円 用地及び補償費（配水池） 500 千円 千円 千円 積算業務 6,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 管路布設工事 38,300 千円 ポンプ場電気設備工事 40,000 千円 千円 中村浄水場改良工事 15,000 千円 千円 積算業務 6,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 管路布設工事 13,600 千円 千円 千円 千円 配水池建設工事 45,000 千円 積算業務 6,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 管路布設工事 36,000 千円 千円 千円 千円 千円 積算業務 4,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	44,000 千円	85,000 千円	99,300 千円	64,600 千円	40,000 千円
財源内訳 国補助	22,000 千円	42,500 千円	49,650 千円	32,300 千円	20,000 千円
県補助	千円	千円	千円	千円	千円
起　債	22,000 千円	42,500 千円	49,600 千円	32,300 千円	20,000 千円
特　定	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	千円	千円	50 千円	千円	千円
目標値 ①	9.50%	27.90%	49.30%	63.30%	71.90%
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	下水道接続促進事業	担当	上下水道課 業務係	整理番号	上下-2

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	1.快適な住環境を整えます
重点施策	
関連計画	隠岐の島町下水道基本構想
予算区分	一般会計　款 8　項 7　目 1

指標		令和6年度目標値
①	下水道普及率（KPI）	80.0%
②	西郷処理区下水道普及率	75.6%
③	五箇処理区下水道普及率	74.3%
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

各処理区において生活雑排水が未処理のまま排出され、水質汚濁の進行が危惧される状況であることや住民の生活環境の改善を行うことを目的とし、下水道接続の促進を図るための補助を行う。

【事業概要】

供用後3年以内の接続により、接続工事費補助金として、30万円の補助を行う。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

令和5年度より事業開始

実績額		千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	75.6%	④	
	②	71.6%	⑤	
	③	59.8%	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

西郷処理区の下水道普及率は、令和4年度末で71.6%となっている。
五箇処理区の下水道普及率は、令和4年度末で59.8%となっている。

【②.事業の課題】

西郷処理区の下水道接続率は、40.0%、五箇処理区の下水道接続率は、29.7%と低い状況にあり、今後、企業会計化による経営の安定化を図るためにも、供用後早期の接続を促進したい。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

受益者分担金の減免や改造資金利子補給などの支援策を行ってきたが、効果が見られなかったことから、新たな支援策として接続の促進を進めていく必要がある。

下水道整備がR13年度完了を目指しており、今後10年で接続を促進していく必要があることからも、供用後早期に各世帯の接続を図りたい。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	下水道接続促進事業	担当	上下水道課 業務係	整理番号	上下-2

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	下水道接続補助金 30,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	下水道接続補助金 20,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	下水道接続補助金 20,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	下水道接続補助金 20,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	下水道接続補助金 20,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	30,000 千円	20,000 千円	20,000 千円	20,000 千円	20,000 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	30,000 千円	20,000 千円	20,000 千円	20,000 千円	20,000 千円
目標値 ①	74.7%	77.8%	81.7%	83.8%	87.7%
目標値 ②	69.2%	72.2%	77.1%	79.1%	83.4%
目標値 ③	58.9%	66.3%	74.3%	79.2%	90.2%
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	【下水道特別会計】 一般管理事務	担当	上下水道課 業務係	整理番号	上下-3

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	1.快適な住環境を整えます
重点施策	
関連計画	隠岐の島町下水道基本構想

予算区分	特別会計	款	1	項	1	目	1

指標		令和6年度目標値
①	下水道普及率（KPI）	80%
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

現在下水道事業は、特別会計として運営しているが、平成31年1月　総務大臣通知等により、人口3万人未満の下水道・集落排水・浄化槽事業についても令和5年度末までに公営企業会計への移行を要請されており、将来にわたって持続可能な経営を確保すると共に、「経営の見える化」による経営基盤の強化を図れる企業会計を導入するものである。

【事業概要】

公営企業会計移行のための、資産情報の整理や企業会計移行への支援業務を委託すると共に、会計システムの導入を行うものである。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

令和4年度は建設改良費等の資料から固定資産のデータ作成に掛かり、固定資産管理図の作成を行っている。

また、移行に向けての条例・規定の改正に向けての状況整理についても行った。

さらに今年度から企業会計導入後の会計システムについて、上水道企業会計で運用しているシステムの導入に向けて、昨今の機械機器の納入の遅れを考慮し前倒しでの契約を行った。

実績額		4,362 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	4,200 千円
	特定	千円
	一般財源	162 千円

実績値				
	①	75.60%	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和2年度より事業に着手し、債務負担により契約している。

【②.事業の課題】

総務大臣通知により、令和5年度末迄に公営企業会計への移行が要請されている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

将来にわたって下水道事業の持続可能な経営を確保すると共に、「経営の見える化」による経営基盤の強化を図れる企業会計を早期に導入する必要がある。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

令和5年度末までに公営企業会計へ移行できるよう事業を進める。

施設更新計画策定についても並行して進めるように現在検討している。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	【下水道特別会計】 一般管理事務	担当	上下水道課 業務係	整理番号	上下-3

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	企業会計移行・導入支援業務 ・企業会計移行				
	29,238 千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	29,238 千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	29,200 千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	38 千円	千円	千円	千円	千円
目標値 ①	78%				
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	上水道施設更新事業	担当	上下水道課 上水道施設係	整理番号	上下-4

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	
重点施策	
関連計画	

予算区分	特別会計	款	2	項	1	目	1

指標		令和6年度目標値
①	管路更新・耐震延長	5700m
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

隠岐の島町の上水道事業は昭和30年代から供用を開始した。
水道施設の老朽化は全国的に問題になってきている。
将来にわたり安全で安心な水道水を安定的に供給するため長期的な視野にたった、施設の計画的な更新改良（耐震化を含む）を行っていく。

【事業概要】

将来にわたり安全で安心な水道水を安定的に供給するため、以下の建設改良を行う。
1．老朽化した施設の更新
2．施設の耐震化
3．施設の統廃合

2.令和　4　年度事業実績（Do）

・上里浄水場膜更新
　ｾﾗﾐｯｸ膜ﾓｼﾞｭｰﾙ制作・据付
　膜ろ過ﾕﾆｯﾄ 1系列分（180本）
　44,770千円

・上里浄水場導水管更新
　導水管路布設　L=1400m
　48,450千円

実績額		93,220 千円
財源内訳	国補助	16,150 千円
	県補助	千円
	起債	60,870 千円
	特定	千円
	一般財源	16,200 千円

実績値				
	①	5400m	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

昨年度は老朽化した上里浄水場に整備されているろ過機のｾﾗﾐｯｸ製の膜を180本更新、並びに上里浄水場の老朽化した導水管の更新（管路布設L=1400m）を実施した。本年度は布施浄水場の電気・機械設備を主とした施設の更新を図る為の測量並びに詳細設計を実施する。

【②.事業の課題】

老朽化施設の全体像の把握ができておらず、長期的な計画が策定されていない。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

上水道については町内全域において施設の整備は完了している。今後も老朽化した施設の更新を計画的に行い、安全で安心な水道水を安定的に供給していかなければならない。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

老朽化した施設の状態を把握し、緊急性や重要性を加味したうえで優先順位を設け、計画的に更新していく。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	上水道施設更新事業	担当	上下水道課 上水道施設係	整理番号	上下-4

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	設備改修・更新工事（単独） 41,200 千円 設備改修・更新工事（補助率1/2） 60,000 千円 千円 管路更新・耐震工事（単独） 3,000 千円 管路更新・耐震工事（補助率1/3） 千円 管路支障移転工事（単独） 31,000 千円 施設台帳電子化（補助率1/3） 25,000 千円 水道基本計画策定 22,000 千円 システムカスタマイズ 51,379 千円 千円 千円 千円	設備改修・更新工事（単独） 40,000 千円 設備改修・更新工事（ 補助率1/2） 60,000 千円 千円 管路更新・耐震工事（単独） 5,000 千円 管路更新・耐震工事（補助率1/3） 千円 管路支障移転工事（単独） 45,000 千円 施設台帳電子化（補助率1/3） 20,000 千円 千円 千円 千円 千円	設備改修・更新工事（単独） 40,000 千円 設備改修・更新工事（補助率1/2） 60,000 千円 千円 管路更新・耐震工事（単独） 5,000 千円 管路更新・耐震工事（補助率1/3） 50,000 千円 管路支障移転工事（単独） 20,000 千円 千円 千円 千円 施設統合実施設計（補助率1/2） 50,000 千円 千円 千円 千円	設備改修・更新工事（単独） 40,000 千円 設備改修・更新工事（補助率1/2） 60,000 千円 千円 管路更新・耐震工事（単独） 5,000 千円 管路更新・耐震工事（補助率1/3） 50,000 千円 管路支障移転工事（単独） 20,000 千円 千円 千円 千円 施設統合工事（補助率1/2） 80,000 千円 千円 千円 千円	設備改修・更新工事（単独） 40,000 千円 設備改修・更新工事（補助率1/2） 60,000 千円 千円 管路更新・耐震工事（単独） 5,000 千円 管路更新・耐震工事（補助率1/3） 50,000 千円 管路支障移転工事（単独） 20,000 千円 千円 千円 千円 施設統合工事（補助率1/2） 80,000 千円 千円 千円 千円
事業費	233,579 千円	170,000 千円	225,000 千円	255,000 千円	255,000 千円
財源内訳	国補助　38,333 千円 県補助　千円 起　債　93,000 千円 特　定　8,300 千円 一般財源　93,946 千円	国補助　36,666 千円 県補助　千円 起　債　91,600 千円 特　定　6,600 千円 一般財源　35,134 千円	国補助　71,666 千円 県補助　千円 起　債　104,100 千円 特　定　16,600 千円 一般財源　32,634 千円	国補助　86,666 千円 県補助　千円 起　債　119,100 千円 特　定　16,600 千円 一般財源　32,634 千円	国補助　86,666 千円 県補助　千円 起　債　119,100 千円 特　定　16,600 千円 一般財源　32,634 千円
目標値	①　5500ｍ　④ ②　⑤ ③　⑥	①　5700ｍ　④ ②　⑤ ③　⑥	①　6900ｍ　④ ②　⑤ ③　⑥	①　8400ｍ　④ ②　⑤ ③　⑥	①　9900ｍ　④ ②　⑤ ③　⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	【下水道特別会計】 西郷公共下水道事業（汚水）	担当	上下水道課 下水道施設係	整理番号	上下-5

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	1.快適な住環境を整えます
重点施策	
関連計画	隠岐の島町下水道基本構想

予算区分	特別会計	款	2	項	1	目	1

指標		令和6年度目標値
①	下水道普及率（KPI）	80.0%
②	西郷処理区下水道普及率	75.6%
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

町の玄関口である西郷湾内に生活雑排水が未処理のまま排出され、水質汚濁の進行が危惧される状況であることから、水質汚濁を防止するとともに、トイレの水洗化等による住民の生活環境の改善を行うことを目的としている。

【事業概要】

西郷地区の下水道を整備する。
処理人口　7,490人
処理面積　A=253ha

2.令和　4　年度事業実績（Do）

委託料
　ストックマネジメント計画策定業務ほか　一式
　72,369千円
工事請負費
　下水道管路工事　L=3.0km
　306,086千円
補償費
　上水道移転補償費　一式
　9,409千円
事務費
　12,868千円

実績額		400,732 千円
財源内訳	国補助	172,650 千円
	県補助	千円
	起債	218,000 千円
	特定	千円
	一般財源	10,082 千円

実績値				
	①	75.6%	④	
	②	71.6%	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

西郷処理区の下水道普及率は、令和4年度末で71.6%となっている。

【②.事業の課題】

令和4年度末の西郷処理区の下水道普及率は全国平均の92.6%（汚水処理人口普及率、R3末）と比較し、71.6%といまだ低く、国が目指す令和８年度下水道事業概成に向け整備を進めているが、R2・3年度発生の豪雨災害の対応等に伴い、困難な状況である。
また、西郷処理区の下水道接続率は、40.0%と低い状況にある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

下水道整備により、生活雑排水の河川や海域への流出を防ぎ水質汚濁を防止するとともに、トイレの水洗化による住民の生活環境の改善も見込まれるため、本事業は今後も継続して進めていく必要がある。令和13年度の事業完了を目指す。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　令和４年度評価済

水質汚濁の防止や、住民の快適な生活環境を確保するために必要な事業です。計画的に整備を進めて下さい。
接続率の向上に向けた取組については、個別住宅はもとより、飲食店や宿泊施設等各事業所の接続を積極的に推進していくべきと考えます。環境問題と関連付けて啓発を行うなど、更なる接続率の向上に向けた取り組みを求めます。

4.改善・見直し（Action）

事業の早期完了を目指すため、残事業量の精査を行い、今後の事業計画に反映させる。
また、下水道接続率向上のため、各戸訪問やパンフレット配布を行っているが、さらなる啓発活動を推進する。
令和5年度より、接続補助金制度を実施している。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	【下水道特別会計】 西郷公共下水道事業（汚水）	担当	上下水道課 下水道施設係	整理番号	上下-5

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	下水道管路布設工事　L=3.9km 東町ポンプ場建設工事（債務負担） 512,100 千円 設備台帳システム導入 14,000 千円 下水道管路詳細設計業務 54,000 千円 上水道移転補償費 10,164 千円 事務費 13,046 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	下水道管路布設工事　L4.2km 東町ポンプ場建設工事（債務負担） 508,000 千円 改修・更新工事(通報装置改修含む) 西郷JC監視装置改修工事（債務負担） 54,000 千円 下水道管路詳細設計業務 70,000 千円 上水道移転補償費 15,000 千円 事務費 17,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	下水道管路布設工事　L=3.6km 389,000 千円 改修・更新工事(通報装置改修含む) 西郷JC監視装置改修工事（債務負担） 75,000 千円 下水道管路詳細設計業務 79,000 千円 上水道移転補償費 15,000 千円 事務費 17,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	下水道管路布設工事　L=3.6km 396,000 千円 改修・更新工事 74,000 千円 下水道管路詳細設計業務 72,000 千円 上水道移転補償費 15,000 千円 事務費 17,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	下水道管路布設工事　L=4.1km 458,000 千円 改修・更新工事 59,000 千円 下水道管路詳細設計業務 千円 上水道移転補償費 15,000 千円 事務費 17,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	603,310 千円	664,000 千円	575,000 千円	574,000 千円	549,000 千円
財源内訳 国補助	260,200 千円	290,000 千円	247,000 千円	238,000 千円	225,000 千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	342,100 千円	373,000 千円	327,000 千円	335,000 千円	323,000 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	1,010 千円	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円
目標値 ①	77.8%	81.9%	83.9%	87.8%	91.2%
目標値 ②	72.7%	77.1%	79.1%	83.4%	87.4%
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	【下水道特別会計】 西郷公共下水道事業（雨水）	担当	上下水道課 下水道施設係	整理番号	上下-6

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	1.快適な住環境を整えます
重点施策	
関連計画	隠岐の島町下水道基本構想

予算区分	特別会計	款	2	項	1	目	1

指標		令和6年度目標値
①	下水道普及率（KPI）	80.0%
②	雨水排水路整備	L=0.38km
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

町中での雨水による浸水の危険がある港町地区において、雨水排水路等の整備を行い、快適な住環境を整えると共に安心で安全な暮らしを守ることを目的としている。

【事業概要】

港町地区において、雨水排水路等の整備を行う。
整備面積　15ha
雨水排水路　L=0.4km
雨水ポンプ場　1箇所

2.令和　4　年度事業実績（Do）

実績なし

実績額		千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	75.6%	④	
	②	0.06km	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

本事業は、平成25年度より事業着手し、平成30年度には港町第1雨水ポンプ場が供用を開始し、令和元年度にはポンプ場に流入する雨水排水路（約60m）について整備を行った。
今後は、雨水排水路の整備を行っていく。

【②.事業の課題】

港町地区は道路幅員が狭く、汚水管路布設と並行して雨水排水路の整備を行っていく必要がある事から、事業完了に時間を要し、浸水対策効果を早期に発現することができない。
また、既存水路についても老朽化が進んでいることから、既存水路の改修も必要である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

港町地区は地理的要因により雨水による浸水の危険性が高く、本事業による排水路の整備が求められている。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

機能不足の雨水排水路等を下水道事業において整備を進めると共に、既存排水路については建設課と連携して改修を行うことで、港町地区での雨水排水路整備を進め、早期に快適な住環境を整える。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	【下水道特別会計】 西郷公共下水道事業（雨水）	担当	上下水道課 下水道施設係	整理番号	上下-6

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度　（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	雨水排水路整備工事　L=60m		雨水排水路整備工事　L=20m		雨水排水路整備工事　L=110m
	5,000 千円	千円	2,000 千円	千円	7,000 千円
	事務費		事務費		事務費
	205 千円	千円	105 千円	千円	205 千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	5,205 千円	千円	2,105 千円	千円	7,205 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
県補助	千円	千円	千円	千円	千円
起債	5,200 千円	千円	2,100 千円	千円	7,200 千円
特定	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	5 千円	千円	5 千円	千円	5 千円
目標値 ①	77.8%	81.9%	83.9%	87.8%	91.2%
②	0.12km	0.12km	0.14km	0.14km	0.25km
③					
④					
⑤					
⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	【下水道特別会計】 中村漁港漁業集落排水施設整備事業	担当	上下水道課 下水道施設係	整理番号	上下-7

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	1.快適な住環境を整えます
重点施策	
関連計画	隠岐の島町下水道基本構想

予算区分	特別会計	款	2	項	1	目	2

指標		令和6年度目標値
①	下水道普及率（KPI）	80.0%
②	中村処理区下水道普及率	39.2%
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

中村処理区は生活雑排水が未処理のまま河川や海域に排出されており、水質汚濁の進行が危惧される状況であることから、水質汚濁を防止するとともに、トイレの水洗化等による住民の生活環境の改善を行うことを目的としている。

【事業概要】

中村処理区の下水道を整備する。
処理人口　625人
管路施設　L=13km
中継ポンプ　14基
終末処理施設　1棟

2.令和　4　年度事業実績（Do）

委託料
積算工事監理委託業務　一式
4,300千円
工事請負費
下水道管路工事　L=0.9km
中村浄化センター建設工事
一式　158,059千円

土地購入費
中村浄化センター用地費一式
182千円

補償費
中村浄化センター補償費一式
65千円
事務費
8,435千円

実績額		171,041 千円
財源内訳	国補助	79,605 千円
	県補助	千円
	起債	91,400 千円
	特定	千円
	一般財源	36 千円

実績値				
	①	75.6%	④	
	②	4.0%	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

中村処理区の下水道整備事業は、令和元年度末までに、中村地区・下元屋地区の管路詳細設計を行った。令和4～5年度で中村浄化センター建設工事を実施し、令和6年度より、順次供用開始の予定である。

【②.事業の課題】

令和4年度末の隠岐の島町の下水道普及率は全国平均の92.6%（汚水処理人口普及率、R3末）と比較し、75.6%と、低い状況にあることから、最終の集合処理区となる本処理区の早期の整備が必要である。
また、西郷処理区同様に下水道接続率の低下が懸念される。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

下水道整備により、生活雑排水の河川や海域への流出を防ぎ水質汚濁を防止するとともに、トイレの水洗化による住民の生活環境の改善も見込まれるため、本事業は今後も継続して進めていく必要がある。令和13年度の事業完了を目指す。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

事業の早期完了を目指すため、残事業量の精査を行い、今後の事業計画に反映させる。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	【下水道特別会計】 中村漁港漁業集落排水施設整備事業	担当	上下水道課 下水道施設係	整理番号	上下-7

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	下水道管路布設工事　L=1.0km マンホールポンプ 終末処理場建設工事（債務負担） 612,350 千円 積算工事監理委託業務 30,700 千円 事務費 12,450 千円	下水道管路布設工事　L=1.5km マンホールポンプ 147,000 千円 積算工事監理委託業務 12,000 千円 事務費 6,010 千円	下水道管路布設工事　L=1.2km マンホールポンプ 147,000 千円 積算工事監理委託業務 12,000 千円 事務費 6,010 千円	下水道管路布設工事　L=1.5km マンホールポンプ 147,000 千円 積算工事監理委託業務 12,000 千円 事務費 6,010 千円	下水道管路布設工事　L=1.3km マンホールポンプ 147,000 千円 積算工事監理委託業務 12,000 千円 事務費 6,010 千円
事業費	655,500 千円	165,010 千円	165,010 千円	165,010 千円	165,010 千円
財源内訳 国補助	309,479 千円	70,000 千円	65,500 千円	65,500 千円	65,500 千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	346,000 千円	95,000 千円	99,500 千円	99,500 千円	99,500 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	21 千円	10 千円	10 千円	10 千円	10 千円
目標値 ①	77.8%	81.9%	83.9%	87.8%	91.2%
目標値 ②	12.6%	33.6%	42.0%	54.6%	71.5%
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	【下水道特別会計】 漁業集落排水施設整備事業	担当	上下水道課 下水道施設係	整理番号	上下-8

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	1.快適な住環境を整えます
重点施策	
関連計画	

予算区分	特別会計	款	2	項	1	目	2

指標		令和6年度目標値
①	下水道普及率（KPI）	80.0%
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

各漁業集落排水施設の機能保全計画をもとに、効率的な修繕・改修工事を行うことで施設の長寿命化を図り、施設の機能を維持することで、地域の環境保全と住民サービスの質を確保する。

【事業概要】

各漁業集落排水施設の機能保全計画をもとに、効率的な修繕・改修工事を行う。
機能保全計画策定業務（津戸、油井、箕浦、大久）
漁業集落排水施設改修工事
（久見、布施、蛸木、今津、岸浜、加茂、犬来、那久、津戸、油井、箕浦、大久）

2.令和　4　年度事業実績（Do）

実績なし

実績額		千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	75.6%	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和2年度に策定した機能保全計画に基づき、令和6年度より改修工事に着手する予定である。

【②.事業の課題】

近い将来、機械設備の標準耐用年数15年を越える施設があり、今後施設の修繕・更新費がかかることが予想される。各漁集の機能保全計画を精査し、緊急度による改修工事の順位付けを行う必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

隠岐の島町の漁業集落排水施設はいずれも老朽化が進んでおり、計画的な改修工事が望まれることから、機能保全計画による計画的、効率的な改修工事が必要となっている。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

機能保全計画をもとに、効率的な修繕・改修工事を行うことで施設の長寿命化を図る。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	【下水道特別会計】 漁業集落排水施設整備事業	担当	上下水道課 下水道施設係	整理番号	上下-8

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	千円	通報装置改修工事 15,000 千円 設備台帳システム導入 15,000 千円 事務費 1,710 千円	通報装置改修工事 50,000 千円 漁集機能保全詳細設計業務 （布施・蛸木・那久・加茂） 35,000 千円 事務費 1,810 千円	漁集機能保全工事 97,000 千円 千円 事務費 3,010 千円	漁集機能保全工事 97,000 千円 千円 3,010 千円
事業費	千円	31,710 千円	86,810 千円	100,010 千円	100,010 千円
財源内訳 国補助	千円	12,500 千円	42,500 千円	47,500 千円	47,500 千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	19,200 千円	44,300 千円	52,500 千円	52,500 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	千円	10 千円	10 千円	10 千円	10 千円
目標値 ①	77.8%	81.9%	83.9%	87.8%	91.2%
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	【下水道特別会計】 五箇特定環境保全公共下水道事業	担当	上下水道課 下水道施設係	整理番号	上下-9

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	1.快適な住環境を整えます
重点施策	
関連計画	隠岐の島町下水道基本構想

予算区分	特別会計	款	2	項	1	目	3

指標		令和6年度目標値
①	下水道普及率（KPI）	80.0%
②	五箇処理区下水道普及率	74.3%
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

五箇処理区は生活雑排水が未処理のまま河川や海域に排出されており、水質汚濁の進行が危惧される状況であることから、水質汚濁を防止するとともに、トイレの水洗化等による住民の生活環境の改善を行うことを目的としている。

【事業概要】

五箇処理区の下水道を整備する。
処理人口　940人
処理面積　A=54ha

既設の特定環境保全公共下水道施設の計画的に修繕・改修する。
・ストックマネジメント※注計画策定業務
・特環公共下水道施設改修工事

2.令和　4　年度事業実績（Do）

委託料
　ストックマネジメント計画策定業務ほか　一式
　26,719千円
工事請負費
　下水道管路工事　L=0.8km
　75,214千円
補償費
　上水道移転補償費　一式
　3,330千円
事務費
　3,285千円

実績額		
		108,548 千円
財源内訳	国補助	41,830 千円
	県補助	千円
	起債	61,200 千円
	特定	千円
	一般財源	5,518 千円

実績値				
	①	75.6%	④	
	②	59.8%	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

五箇処理区の下水道普及率は令和4年度末で59.8%となっている。

【②.事業の課題】

令和4年度末の五箇処理区の下水道普及率は全国平均の92.6%（汚水処理人口普及率、R3末）と比較し、59.8%といまだ低く、国が目指す令和8年度下水道事業概成に向け整備を進めているが、令和2・3年度発生の豪雨災害の対応等に伴い、困難な状況である。
また、西郷処理区同様に下水道接続率の延びが低くなることが懸念される。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

下水道整備により、生活雑排水の河川や海域への流出を防ぎ水質汚濁を防止するとともに、トイレの水洗化による住民の生活環境の改善も見込まれるため、本事業は今後も継続して進めていく必要がある。令和10年度の事業完了を目指す。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

事業の早期完了を目指すため、残事業量の精査を行い、今後の事業計画に反映させる。
また、下水道接続率向上のため、各戸訪問やパンフレット配布を行っているが、さらなる啓発活動を推進する。
令和5年度より、接続補助金制度を実施している。

※注:ストックマネジメントとは
持続可能な下水道事業の実現を目的に、膨大な施設の状況を客観的に把握、評価し、長期的な施設の状態を予測しながら下水道施設を計画的かつ効率的に管理すること。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	【下水道特別会計】 五箇特定環境保全公共下水道事業	担当	上下水道課 下水道施設係	整理番号	上下-9

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度　（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	下水道管路布設工事　L=1.8km 138,900 千円 千円 積算工事監理委託業務 設備台帳システム導入 18,000 千円 上水道移転補償費 5,000 千円 事務費 3,520 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	下水道管路布設工事　L=2.0km 186,000 千円 改修・更新工事(通報装置改修含む) 74,000 千円 積算工事監理委託業務 20,000 千円 上水道移転補償費 7,000 千円 事務費 7,010 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	下水道管路布設工事　L=2.0km 186,000 千円 改修・更新工事(通報装置改修含む) 81,000 千円 積算工事監理委託業務 20,000 千円 上水道移転補償費 7,000 千円 事務費 7,010 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	下水道管路布設工事　L=2.0km 186,000 千円 改修・更新工事 84,000 千円 積算工事監理委託業務 20,000 千円 上水道移転補償費 7,000 千円 事務費 7,010 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	下水道管路布設工事　L=2.0km 186,000 千円 改修・更新工事 88,000 千円 積算工事監理委託業務 20,000 千円 上水道移転補償費 7,000 千円 事務費 7,010 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	165,420 千円	294,010 千円	301,010 千円	304,010 千円	308,010 千円
財源内訳	国補助　69,700 千円 県補助　千円 起　債　95,700 千円 特　定　千円 一般財源　20 千円	国補助　124,000 千円 県補助　千円 起　債　170,000 千円 特　定　千円 一般財源　10 千円	国補助　127,000 千円 県補助　千円 起　債　174,000 千円 特　定　千円 一般財源　10 千円	国補助　129,000 千円 県補助　千円 起　債　175,000 千円 特　定　千円 一般財源　10 千円	国補助　131,000 千円 県補助　千円 起　債　177,000 千円 特　定　千円 一般財源　10 千円
目標値	①　77.8%　④ ②　62.6%　⑤ ③　⑥	①　81.9%　④ ②　71.8%　⑤ ③　⑥	①　83.9%　④ ②　79.2%　⑤ ③　⑥	①　87.8%　④ ②　90.2%　⑤ ③　⑥	①　91.2%　④ ②　95.7%　⑤ ③　⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	【下水道特別会計】 農業集落排水施設整備事業	担当	上下水道課 下水道施設係	整理番号	上下-10

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	1.快適な住環境を整えます
重点施策	
関連計画	隠岐の島町下水道基本構想

予算区分	特別会計	款	2	項	1	目	5

指標		令和6年度目標値
①	下水道普及率（KPI）	80.0%
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

本事業は、平成26年度に作成した機能強化計画に基づき、農業集落排水施を計画的に修繕・改修することで、施設の機能を維持すると共に長寿命化を図ることで、地域の環境保全と住民サービスの質を確保することを目的としている。

【事業概要】

農業集落排水施設を修繕・改修する。
管路布設替え　L=200m

2.令和　4　年度事業実績（Do）

工事請負費
　下水道管路工事　L=0.05km
　　2,401千円

実績額		2,401 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	2,400 千円
	特定	千円
	一般財源	1 千円

実績値				
	①	75.6%	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和４年度に管路工事L=0.05kmを実施した。

【②.事業の課題】

機能強化計画を精査し、緊急度による改修工事の順位付けの再点検を行う必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

計画的に修繕・改修を行う予定であるが、農業集落排水のサービスを確保するために、管路施設の早急な改修が必要である。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

今後とも、機能強化計画を基に、定期的な施設点検を行う必要がある。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	【下水道特別会計】 農業集落排水施設整備事業	担当	上下水道課 下水道施設係	整理番号	上下-10

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	千円	調査計画策定 4,000 千円	計画書作成 1,000 千円	管路詳細設計業務 6,000 千円	管路工事 25,000 千円
	千円	事務費 105 千円	設備台帳システム導入 5,000 千円	事務費 105 千円	事務費 1,010 千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	事務費 105 千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	千円	4,105 千円	6,105 千円	6,105 千円	26,010 千円
財源内訳 国補助	千円	3,000 千円	500 千円	3,000 千円	12,000 千円
県補助	千円	千円	千円	千円	千円
起　債	千円	1,100 千円	5,600 千円	3,100 千円	14,000 千円
特　定	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	千円	5 千円	5 千円	5 千円	10 千円
目標値 ①	77.8%	81.9%	83.9%	87.8%	91.2%
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	【下水道特別会計】 個別排水処理施設整備事業	担当	上下水道課 下水道施設係	整理番号	上下-11

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	1.快適な住環境を整えます
重点施策	
関連計画	隠岐の島町下水道基本構想

予算区分	特別会計	款	2	項	1	目	4

指標		令和6年度目標値
①	下水道普及率（KPI）	80.0%
②	浄化槽設置工事	208基
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

下水道の集合処理が地理的・経済的に不利な地区において、生活雑排水が未処理のまま河川や海域に排出されており、水質汚濁の進行が危惧される状況であることから、町が個別に浄化槽を設置することで、水質汚濁を防止するとともに、トイレの水洗化による住民の生活環境の改善を行うことを目的としている。

【事業概要】

年間、5基前後の合併浄化槽設置する。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

工事請負費
　浄化槽設置工事　1基（5・7人槽）
　1,430千円
事務費
　70千円

実績額		1,500 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	1,500 千円
	特定	千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	75.6%	④	
	②	191基	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和4年度末までに、町全体で191基の浄化槽を設置している。

【②.事業の課題】

個人からの申請を受けてから浄化槽設置工事を行うため、計画的な事業執行が困難である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

浄化槽整備により、生活雑排水の河川や海域への流出を防ぎ水質汚濁を防止するとともに、トイレの水洗化による住民の生活環境の改善も見込まれるため、本事業は今後も継続して進めていく必要がある。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

本事業は、集合処理が地理的・経済的に不利な地域について、町が個別に浄化槽を設置する事業であるが、個人からの申請を受けてから浄化槽設置工事を行うため、町民に向けての更なる情報提供を行う。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	【下水道特別会計】 個別排水処理施設整備事業	担当	上下水道課 下水道施設係	整理番号	上下-11

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	浄化槽設置工事（5基） 7,500 千円 事務費 105 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	浄化槽設置工事（5基） 7,500 千円 事務費 105 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	浄化槽設置工事（5基） 7,500 千円 事務費 105 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	浄化槽設置工事（5基） 7,500 千円 事務費 105 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	浄化槽設計工事（5基） 7,500 千円 事務費 105 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	7,605 千円	7,605 千円	7,605 千円	7,605 千円	7,605 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	7,600 千円	7,600 千円	7,600 千円	7,600 千円	7,600 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	5 千円	5 千円	5 千円	5 千円	5 千円
目標値 ①	74.7%	77.8%	81.7%	83.8%	87.7%
目標値 ②	196基	201基	206基	211基	216基
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	愁霊園管理運営事業	担当	環境課 生活環境係	整理番号	環-2

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	1.快適な住環境を整えます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	4	項	2	目	1

指標		令和6年度目標値
①	該当項目なし	
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

墓地、埋葬等に関する法律に基づく火葬施設として、斎場の運営及び施設の維持管理を行う。

【事業概要】

愁霊苑の適正な維持管理を行う。
改修内容は、建屋（火葬炉棟及び待合棟）屋根改修の他、制御盤・制御機器のリレー取替、電動台車及び残灰処理装置の部品交換等、設備機器の点検及び部品の交換を行う。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

○愁霊園管理運営事業
設備機器更新工事等なし

実績額	千円
財源内訳 国補助	千円
県補助	千円
起債	千円
特定	千円
一般財源	千円

実績値				
	①		④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

毎年、年次点検を行い修繕等を計画的に実施しているので安定的に火葬業務を行うことが出来ている。

【②.事業の課題】

機器設備の定期的な整備を継続して実施することが必要である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

火葬業務を安定的に行うために、今後も継続して事業を実施する。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

定期的な整備を行うことで、適正な施設の維持管理を行う。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	愁霊園管理運営事業	担当	環境課 生活環境係	整理番号	環-2

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	火葬炉設備機器更新 ・プロテクトリレーフレームアイ ・電動台車2台バッテリー交換 ・残灰処理装置機器更新 ・残灰配管エルホ部交換 1,350 千円 雨漏り修繕工事 9,251 千円	火葬炉設備機器更新工事 ・主燃炉耐火物更新1基 ・再燃炉耐火物更新1基 ・火葬炉台車1台 ・燃焼機器及び配管更新 ・機器予備品 12,880 千円	火葬炉設備機器更新工事 ・主燃炉耐火物更新2基 ・再燃炉耐火物更新2基 ・火葬炉台車2台 ・制御盤、各制御機器更新 13,160 千円	火葬炉設備機器更新工事 ・主燃炉耐火物更新1基 ・再燃炉耐火物更新1基 ・残灰処理装置機器更新 1,380 千円	火葬炉設備機器更新工事 ・主燃炉耐火物更新2基 ・再燃炉耐火物更新2基 ・電動台車2台バッテリー交換 2,360 千円
事業費	10,601 千円	12,880 千円	13,160 千円	1,380 千円	2,360 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	10,500 千円	12,800 千円	13,100 千円	1,300 千円	2,300 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	101 千円	80 千円	60 千円	80 千円	60 千円
目標値 ①～⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	し尿処理事業	担当	環境課 生活環境係	整理番号	環-9

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	1.快適な住環境を整えます
重点施策	
関連計画	第二次隠岐の島町一般廃棄物（生活排水）処理基本計画
予算区分	一般会計　款 4　項 3　目 2

指標		令和6年度目標値
①	該当項目なし	
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

町内のし尿処理を適正に行う事により、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的とする。

【事業概要】

町内のし尿を下水道処理施設で共同処理する。旧クリーンセンター施設解体スケジュールの検討及び解体完了までの維持管理を行う。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

○クリーンセンター管理運営事業

1）クリーンセンター解体設計業務
12,540千円

2）クリーンセンター施設槽内水抜き移送業務
29,700千円

2）クリーンセンター施設浚渫業務
28,490千円

実績額		70,730 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	70,730 千円

実績値				
	①		④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

島後クリーンセンターの施設閉鎖に伴い、周辺環境へ影響を及ぼさないよう、施設槽内の残留物を適正に処理した他、施設解体に向け設計を行い事業スケジュールを検討した。また、し尿及び浄化槽汚泥を適正に処理した。

【②.事業の課題】

島後クリーンセンターの放流管撤去工事及び施設解体工事について、多額の事業費を要する。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

島後クリーンセンターの放流管撤去工事及び施設解体工事について、多額の事業費を要することから、町全体の事業計画と調整を図り、具体的なスケジュールを検討する。また、施設解体までの間は、周辺に影響がないよう管理する。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

令和4年度に施設解体に向け設計を行っており、事業費の算定は終了している。事業費が多額となったため、町全体の事業計画と調整を図り、具体的なスケジュールの検討を行なう。また、施設解体までの期間、台風等災害による施設の破損が生じた場合、周辺環境に影響を与える危険建築物となる可能性があるため、適切な管理を行う事で、安全を確保する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	し尿処理事業	担当	環境課 生活環境係	整理番号	環-9

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	千円	千円	クリーンセンター放流管撤去工事 管撤去　L=350m 10,000 千円	千円	クリーンセンター解体工事 A=984㎡（概算） 468,000 千円 クリーンセンター解体工事 施工監理業務（概算） 5,000 千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	千円	千円	10,000 千円	千円	473,000 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	千円	千円	10,000 千円	千円	473,000 千円
目標値 ①〜⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	ペット用火葬施設整備事業	担当	環境課 生活環境係	整理番号	環-10

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	1.快適な住環境を整えます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	4	項	2	目	1

指標		令和6年度目標値
①	該当項目なし	
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

動物愛護の観点から、家族同様に飼っていたペットが亡くなった際に手厚く葬るため、ペットの遺体の火葬を、周辺環境に配慮し、適正かつ安心に行うことを目的とする。

【事業概要】

ペット用火葬施設の設置について、関係者と協議し支援策などの調査研究を進める。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

新規事業のため実績なし

実績額		千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	千円

実績値				
	①		④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

新規事業

【②.事業の課題】

全国的に、ペット用火葬炉を公設公営で行っている事例は少ないのが現状となっている。また、民設民営で行うとしても、事業の採算性及び人材不足から運営事業者の選定に課題がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

ペット用火葬施設の設置は、関係者と連携し、民設民営により行えるよう検討を進める。また、中長期的な事業のイニシャル・ランニングコストを精査した上で、必要であれば補助制度を創設するなど財政的な支援を行っていく。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

・ペット火葬炉の設置について、意欲のある民間事業者と連携を図りながら、具体的な事業の運営・施設整備方針を決定していく。
・資金調達に向けた事業者によるクラウドファンディングを実施するなど働きかけも検討する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	ペット用火葬施設整備事業	担当	環境課 生活環境係	整理番号	環-10

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	千円	火葬施設設備工事補助金 10,000 千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	千円	10,000 千円	千円	千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
県補助	千円	千円	千円	千円	千円
起債	千円	千円	千円	千円	千円
特定	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	千円	10,000 千円	千円	千円	千円
目標値 ①		④	① ④	① ④	① ④
②		⑤	② ⑤	② ⑤	② ⑤
③		⑥	③ ⑥	③ ⑥	③ ⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	隠岐島油槽所運営事業	担当	環境課 エネルギー対策室	整理番号	環-11

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち						
基本施策	1.快適な住環境を整えます						
重点施策							
関連計画							
予算区分	一般会計	款	2	項	1	目	4

指標		令和6年度目標値
	① 該当項目なし	
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

【事業目的】

隠岐島油槽所施設を適切に運営し、石油製品の安定供給を行う。

【事業概要】

安定した石油製品の供給を行うため、隠岐島油槽所構内において不具合の生じた設備について、メンテナンス計画を基に改修する。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

・タンク開放工事に関する協議
職員旅費：139千円

実績額		139 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	139 千円
	一般財源	千円

実績値				
	①		④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

平成20年6月に混油事故が発生したため、町が既存施設を購入し、整備を行い、平成21年12月から運営を行っている。令和2年度の改修工事により、石油製品を安全に受け入れ、安定的に出荷・配送できる体制が確保された。現在の油槽所タンクは5基（ガソリン2、灯油1，軽油1，A重油1）である。

【②.事業の課題】

隠岐島油槽所は設置から13年を迎え、各設備において経年劣化等による不具合が生じてきている。
令和5年度からタンク開放工事を実施予定のため、工事の実施計画及び体制について、効率的かつ安全に実施できるように事業を進める必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

メンテナンス計画に基づき改修を実施する。石油元売りとの取り交わしにより油槽所開設より15年以内にタンク開放工事を行わなければならないため、令和5年度から令和7年度にかけて実施予定である。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

令和5年度から実施予定の開放工事に向けて効率的かつ安全に実施できるよう関係各所と協議を行う。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	隠岐島油槽所運営事業	担当	環境課 エネルギー対策室	整理番号	環-11

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	タンク開放工事（1基） 102,889 千円 改修計画策定・施工設計監理補助業務 20,188 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	タンク開放工事（2基） 162,910 千円 施工設計監理補助業務 10,456 千円 水銀灯LED化工事 1,144 千円 油槽所鉄部塗装工事 987 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	タンク開放工事（2基） 139,040 千円 施工設計監理補助業務 10,456 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	UPS用バッテリー交換 500 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	123,077 千円	175,497 千円	149,496 千円	500 千円	千円
財源内訳 国補助	61,538 千円	86,683 千円	74,748 千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	61,500 千円	86,600 千円	74,700 千円	千円	千円
財源内訳 特定	39 千円	2,214 千円	48 千円	500 千円	千円
財源内訳 一般財源	千円	千円	千円	千円	千円
目標値 ①〜⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	地域コミュニティ推進事業	担当	地域振興課 政策企画係	整理番号	地-5

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	2.地域コミュニティのつながりと活力を育みます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	2	項	1	目	4

指標		令和6年度目標値
①	地域提案型事業の応募件数	25件（累計）
②	「小さな拠点づくり」に取り組む地区数（KPI）	3地区
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

地域の区、自治会、町内会などの自治組織や地域団体等が行う集落維持及び地域活性化のために行う事業を支援することにより、地域の活性化を促進する。

【事業概要】

自治会等へ集落維持及びコミュニティ活動、分館活動活性化のための各種補助金を交付するとともに、集会所整備への支援を行う。
（地区活動への補助）集落地域活性化事業補助金、宝くじ助成事業
（集会所整備）コミュニティ施設等整備費補助金
地区集会施設整備事業
（まちづくりに取り組む団体への補助）まちづくり支援事業

2.令和　4　年度事業実績（Do）

集落地域活性化事業補助金
申請団体：92地区　29,688千円
（内容）環境整備活動、交流会
防災学習会、備品整備等
宝くじ助成事業助成金
実施数：2団体 5,000千円
（内容）テント他イベント用品
地区集会施設整備事業
実施数：2地区 2,411千円
（内容）集会所の改修
コミュニティ施設等整備費補助金
実施数：5地区 2,116千円
（内容）集会所の修繕
まちづくり支援事業補助金
新規応募件数 4件
新規採択件数 1件 965千円
継続事業件数 3件 491千円
大久交流センター屋根・外壁改修
1,324千円

【その他】
地域担当職員要請地区：5地区
協働のまちづくり支援事業実施数：1件
大久交流センター定期利用：5団体

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

集落地域活性化補助金の改定（ｺﾐｭﾆﾃｨ補助金と分館補助金の一本化）については、特段の問題等もなくR4年度を終えた。本事業の実施により、各地域、グループ等の実情に合わせた地域の維持及び活性化に繋がり、地域の連帯感の醸成が図られた。グループ等が自主的かつ主体的に取り組む、まちづくり支援事業の応募件数累計は13件であり、目標到達には至っていない。

【②.事業の課題】

高齢化、人口減少等により各地域においては、役員等のなり手不足が顕著となっており、また地区によっては、環境整備事業等の今後の地区活動の継続が危ぶまれる地区等がある。地域担当職員制度については、依然として要請数が少ない状況である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

本事業は、各地域、集落の維持及び活性化を支える必要な事業である。引き続き、地域の実状にあった各種制度運用を目指し、効果検証を行っていく。また、地域と行政との協働のまちづくりのため、改めて地域担当職員制度について、役場職員及び区・自治会等に周知を図り、その効果的な利用促進を図る。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　**令和３年度評価済**

地域と行政との連携の重要性がわかる事業であり、今後も継続する必要があります。特に集落地域活性化事業は地区にとって必要性は高いものと判断します。

地域担当職員制度は、制度内容と地区が考える担当職員の役割とが釣り合っていないのではないでしょうか。要請実績が少ないことからも、制度の必要性を含めて制度内容を見直すべきことが必要と感じます。

4.改善・見直し（Action）

・地域担当職員制度については、各区、自治会等に対し、地域振興課及び地域担当職員より積極的な声掛けを行う。
・まちづくり支援事業については、施行後5年を経過していることから、これまでの応募、実績状況等を踏まえた効果検証を行ない、事業の見直しを行う。

実績額		41,995 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	34,300 千円
	特定	5,803 千円
	一般財源	1,892 千円

実績値				
	①	13地区（累計）	④	
	②	1地区	⑤	
	③		⑥	

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	地域コミュニティ推進事業	担当	地域振興課 政策企画係	整理番号	地-5

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	集落地域活性化事業補助金 95地区対象 35,220 千円 宝くじ助成事業助成金 蔵見集落 1,300 千円 コミュニティ施設等整備費補助金 3/4補助 港町集会所　321千円 西村集会所　1,375千円 那久路集会所　206千円 津戸集会所　1,427千円 朝日ヶ丘集会所　220千円 3,549 千円 地区集会施設整備事業 上八尾集会所下水道接続工事 1,518 千円 まちづくり支援事業補助金 9/10補助　新規2件　継続2件 補助制度の効果検証 3,400 千円 その他 小さな拠点の活用検討 協働のまちづくり支援事業 千円 千円	集落地域活性化事業補助金 95地区対象 35,220 千円 宝くじ助成事業助成金 南方自治会 1,400 千円 コミュニティ施設等整備費補助金 3/4補助 朝日ヶ丘集会所　371千円 釜集会所　650千円 雨木集会所　247千円 歌木集会所　762千円 災害時緊急補助1件 750千円 2,780 千円 地区集会施設整備事業 有木集会所下水道接続工事他改修 11,812 千円 まちづくり支援事業補助金 9/10補助　新規2件　継続2件 補助制度の見直し 3,400 千円 その他 小さな拠点の活用検討 協働のまちづくり支援事業 千円 千円	集落地域活性化事業補助金 95地区対象 35,220 千円 宝くじ助成事業助成金 1件 2,500 千円 コミュニティ施設等整備費補助金 3/4補助 5地区　3,250千円 災害時緊急補助1件 750千円 4,000 千円 地区集会施設整備事業 1地区 2,500 千円 まちづくり支援事業補助金 9/10補助　継続1件 200 千円 その他 小さな拠点の活用検討 協働のまちづくり支援事業 千円 千円	集落地域活性化事業補助金 95地区対象 35,220 千円 宝くじ助成事業助成金 1件 2,500 千円 コミュニティ施設等整備費補助金 3/4補助 5地区　3,250千円 災害時緊急補助1件 750千円 4,000 千円 地区集会施設整備事業 1地区 2,500 千円 千円 その他 小さな拠点の活用検討 協働のまちづくり支援事業 千円 千円	集落地域活性化事業補助金 95地区対象 35,220 千円 宝くじ助成事業助成金 1件 2,500 千円 コミュニティ施設等整備費補助金 3/4補助 5地区　3,250千円 災害時緊急補助1件 750千円 4,000 千円 地区集会施設整備事業 3か年平均：1地区 2,500 千円 千円 その他 小さな拠点の活用検討 協働のまちづくり支援事業 千円 千円
事業費	44,987 千円	54,612 千円	44,420 千円	44,220 千円	44,220 千円
財源内訳	国補助　千円 県補助　千円 起　債　43,200 千円 特　定　1,679 千円 一般財源　108 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　50,200 千円 特　定　4,352 千円 一般財源　60 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　41,200 千円 特　定　3,125 千円 一般財源　95 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　41,000 千円 特　定　3,125 千円 一般財源　95 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　41,000 千円 特　定　3,125 千円 一般財源　95 千円
目標値	①　14件　④ ②　1地区　⑤ ③　⑥	①　19件　④ ②　2地区　⑤ ③　⑥	①　25件　④ ②　3地区　⑤ ③　⑥	①　27件　④ ②　3地区　⑤ ③　⑥	①　30件　④ ②　3地区　⑤ ③　⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	船原集会所整備事業	担当	地域振興課 政策企画係	整理番号	地-7

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	2.地域コミュニティのつながりと活力を育みます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	2	項	1	目	4

指標		令和6年度目標値
①	地域提案型事業の応募件数（KPI）	25件（累計）
②	「小さな拠点づくり」に取り組む地区数（KPI）	3地区
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

地域の区・自治会等の自治組織が行うコミュニティ活動の拠点施設を整備することで、コミュニティ及び分館活動等の促進を図り、当該地域の維持、活性化を図る。

【事業概要】

船原集会所　建設工事　木造平屋建　91.3㎡
用地購入　184㎡
設計・工事監理業務委託
移転補償等

2.令和　4　年度事業実績（Do）

船原集会所整備事業

建設工事費	36,685千円
用地購入費	3,489千円
設計監理業務委託費	2,651千円
電柱、消火栓等移転費	1,081千円
下水道接続工事費	209千円
その他事務費	171千円

実績額		44,286 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	44,200 千円
	特定	千円
	一般財源	86 千円

実績値				
	①	13地区（累計）	④	
	②	1地区	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

栄町2区町内会は、令和2年度に当時の集会所を喪失してから、コミュニティ及び分館活動を、地域から離れた隠岐島文化会館を利用するなどして行っていたが、集会所整備により、町内会での活動が可能となり、更なるコミュニティ活動等の促進に繋がった。

【②.事業の課題】

特になし。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

栄町2区町内会におけるコミュニティ及び分館活動の拠点施設が整ったことから、今後は必要に応じた各種コミュニティ制度の支援を継続して行い、地域の維持、活性化を図る。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

特になし。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	船原集会所整備事業	担当	地域振興課 政策企画係	整理番号	地-7

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
県補助	千円	千円	千円	千円	千円
起　債	千円	千円	千円	千円	千円
特　定	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	千円	千円	千円	千円	千円
目標値 ①	④	① ④	① ④	① ④	① ④
②	⑤	② ⑤	② ⑤	② ⑤	② ⑤
③	⑥	③ ⑥	③ ⑥	③ ⑥	③ ⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	蛸木集会所整備事業	担当	地域振興課 政策企画係	整理番号	地-8

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	2.地域コミュニティのつながりと活力を育みます
重点施策	
関連計画	
予算区分	一般会計　款 2　項 1　目 4

指標		令和6年度目標値
①	地域提案型事業の応募件数（KPI）	25件（累計）
②	「小さな拠点づくり」に取り組む地区数（KPI）	3地区
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

地域の区・自治会等の自治組織が行うコミュニティ活動の拠点施設を整備することで、コミュニティ及び分館活動等の促進を図り、当該地域の維持、活性化を図る。

【事業概要】

蛸木集会所　建設工事
　　設計・工事監理業務委託

2.令和　4　年度事業実績（Do）

※令和6、7年度事業実施予定

実績額		千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	千円

実績値				
	①		④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

※令和6年度に工事設計を行い、令和7年度に建設工事を実施する予定であり、現時点での成果等はない。

【②.事業の課題】

※令和6年度に工事設計を行い、令和7年度に建設工事を実施する予定であり、現時点での事業の課題等はない。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

現在の蛸木集会所は昭和48年の建築で、築52年を経過している。老朽化が著しく、近年、一部に雨漏りが生じている。地区としては数年前より新集会所の建設を望んでおり、令和5年度に建設に係る要望書の提出あり。令和6、7年度での建設が必要となっている。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

※令和6年度に工事設計を行い、令和7年度に建設工事を実施する予定であり、現時点での事業の改善・見直し等はない。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	蛸木集会所整備事業	担当	地域振興課 政策企画係	整理番号	地-8

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	蛸木集会所整備事業 木造平屋建　167㎡ 工事設計業務委託費　2,904千円 2,904 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	蛸木集会所整備事業 木造平屋建　167㎡ 建設工事費　78,100千円 工事監理業務委託費　935千円 事務費　100千円 79,135 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	千円	事業費 2,904 千円	事業費 79,135 千円	事業費 千円	事業費 千円
財源内訳 国補助	千円	国補助 千円	国補助 千円	国補助 千円	国補助 千円
県補助	千円	県補助 千円	県補助 千円	県補助 千円	県補助 千円
起　債	千円	起　債 2,900 千円	起　債 75,300 千円	起　債 千円	起　債 千円
特　定	千円	特　定 千円	特　定 3,800 千円	特　定 千円	特　定 千円
一般財源	千円	一般財源 4 千円	一般財源 35 千円	一般財源 千円	一般財源 千円
目標値 ①	④	① ④	① ④	① ④	① ④
②	⑤	② ⑤	② ⑤	② ⑤	② ⑤
③	⑥	③ ⑥	③ ⑥	③ ⑥	③ ⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	中地域振興事業	担当	中出張所 地域振興係	整理番号	中-2

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	2.地域コミュニティのつながりと活力を育みます
重点施策	地域振興事業補助金
関連計画	

予算区分	一般会計	款	2	項	1	目	1

指標		令和6年度目標値
①	地域提案型事業の応募件数	25件
②	「小さな拠点づくり」に取り組む地区数(KPI)	3件
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

地域振興事業補助金を活用し、地域課題や行政課題を自ら解決しようとする公益的な事業について団体と町が協働で実施することにより、町民主体のまちづくりを推進することを目的とする。また、中地区の課題解決等に資するその他事業についても随時実施を検討し、住みやすい地域づくりを目指す。

【事業概要】

・住民提案型協働事業
　隠岐の島ものづくり学校等を拠点として地域課題や行政課題を自ら解決しようとする公益的な事業の提案を募集し、採択した事業について団体と町が協働で実施する。事業費に対し、最大15万円を町が負担する。
　事業費　@150千円×7件≒1,000千円（最大）
・その他事業
　中村地域の地域振興に資する事業について随時検討実施する。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

●住民提案型協働事業
　採択事業数：5事業　400千円
　（内容）親子手作り体験教室、さき織を通じたふれあい交流事業、ものづくり学校を活用したしま猫保護事業、ものづくりそろばん教室など
●地域振興事業
中村海水浴場トイレの床及び壁のペンキ塗装による観光施設の環境改善を実施
　事業費：222千円

実績額		622 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	622 千円

実績値				
	①	13件（累計）	④	
	②	1地区	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

住民提案型協働事業については5件を採択実施し、施設の利用促進や地域課題を解決する担い手の育成にもつながっている。

【②.事業の課題】

　中地区では、活用の余地が残る地域資源が多数存在しているが、地域活性化に活かしきれていない。また、高齢化率が53%を超える状況のなかでも、地域に活力を与える取り組みを企画実施する担い手の育成も課題となっている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

　官民の連携などによる地域活性化や担い手の育成を進めるにあたり本事業は必要である。今後も、町HP・広報誌等を使った事業のPRを行うとともに、SNS等の活用による情報発信方法や公民館事業との連携を検討するなど、本事業を通じ住みよい地域づくりを進めていく。

【④.外部評価】　方向性：　手法・内容の見直し　**令和５年度評価済**

　官民の連携により、担い手の育成やまちづくりに寄与しようとする取組は評価できます。しかし「若者の定住を促し、地域を継続させるための重要な施策」とするには不十分と感じます。北小学校の統廃合問題をはじめ、若者の定住策について、地域と行政の話し合いが十分にできていないのではないでしょうか。持続可能な地域づくりに何が必要か、地域住民の声を聴き、庁内の連携をもって取り組む必要があります。また、情報発信が不十分であり、特に中地域以外に住む町民には事業の内容が分かりにくいと感じます。地域おこし協力隊の活動も含め、SNSなど様々な手法で広く情報発信を行い、多くの町民の理解を得ることが、地域に人を呼び込むことに繋がるのではないでしょうか。

4.改善・見直し（Action）

住民提案型協働事業については、過去2か年の実施状況や成果を精査し、事業の改善に努めるとともに、今後の事業継続等を判断する。その他事業については、地域課題の吸い上げによる、効果的な事業実施に努める。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	中地域振興事業	担当	中出張所 地域振興係	整理番号	中-2

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	地域振興事業補助金	地域振興事業補助金	地域振興事業補助金	地域振興事業補助金	地域振興事業補助金
	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円	千円
財源内訳 一般財源	千円	千円	千円	千円	1,000 千円
目標値 ①	18件（累計）	22件（累計）	26件（累計）	30件（累計）	34件（累計）
目標値 ②	1地区	1地区	1地区	1地区	1地区
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	生活バス路線対策事業	担当	地域振興課 定住推進係	整理番号	地-15

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	3.島内をスムーズに移動できる交通環境を整えます
重点施策	地域公共交通計画推進事業
関連計画	隠岐の島町　地域公共交通計画
予算区分	一般会計　款 2　項 1　目 9

指標		令和6年度目標値
①	地域公共交通の利用者数（KPI）	91,000人/年
②	町中心部を運行する路線バス1便当たりの利用者数	2.0人/便以上
③	バス・タクシーの運転手数	44人
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

路線バス、町営バス及びデマンドタクシーの運行経費を支援することで、移動困難者に対しての公共交通サービスの確保を図る。

【事業概要】

地域住民の日常生活を支える交通手段として路線バス、町営バス及びデマンドタクシーを運行し、移動困難者の交通手段を確保する。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

廃止路線代替バス運行費補助金
65,426千円

町営バス・デマンドタクシー
運行委託　14,641千円
町営バス利用者数
2,733人
デマンドタクシー利用者数
1,334人

地域公共交通計画推進業務委託料
3,844千円

路線バス購入費　22,464千円
※納入期限延長のため、令和5年度に繰越

隠岐の島町公共交通事業者に対する燃料費高騰緊急対先事業
665千円

高齢者運転免許自主返納支援事業
834千円
支援対象者数　67人

実績額		107,874 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	13,583 千円
	起債	21,200 千円
	特定	408 千円
	一般財源	72,683 千円

実績値				
	①	66,507人/年	④	
	②	2.0人/便以上	⑤	
	③	43人	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

路線バス等の運行経費を支援することで、移動困難者に対しての公共交通サービスを確保することができた。令和2年度に策定した「隠岐の島町地域公共交通計画」に基づき、五箇地区において令和4年11月から町営バスデマンド化の実証実験を開始した。また、令和5年度より高齢者運転免許自主返納支援事業は、高齢者福祉対策事業のタクシー利用助成事業と統合し、保健福祉課所管となった。

【②.事業の課題】

公共交通機関でカバーしきれていない集落が存在し、利用者のニーズに応じた路線バスの運行経路及びダイヤとなっていない。また、路線バスの行先や運賃が分かりにくく町民及び来島者にとって利用しにくい。役場新庁舎に接続するバス路線が少ない。バス及びタクシー運転手の高齢化に伴い運転手数が減少傾向となっていることも、公共交通の維持の観点から対策が必要となる。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

本事業は、公共交通サービスを維持していくために必要である。より良い公共交通サービスとなるよう、「隠岐の島町地域公共交通計画」に沿ってサービスを見直す必要がある。一方、公共交通サービスを支える人員（運転手）不足が深刻な問題となっているため、事業者の人員確保に対する支援を検討する。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　令和４年度評価済

公共交通サービスの提供は、移動困難者にとって重要なものでありますが、高齢化が進む中、多くの課題を抱えた事業でもあります。町民のニーズを把握し、乗客を増やすための事業展開を図るべきではないでしょうか。また、運営費のコスト削減、観光業等の他分野と連携した仕組みづくりの検討が必要と考えます。関係部署と連携し、持続可能な事業運営を推進して下さい。

4.改善・見直し（Action）

五箇地区の公共交通体系の実証実験を踏まえ、令和5年下半期より本格運用する。また、利用者のニーズに合わせた路線バスの運行経路及びダイヤの見直しを以下①～②のとおり令和5年度に計画し、令和6年度に実施する。

①役場新庁舎に接続するバス路線が少ないため、運行路線やダイヤ見直しに合わせ役場に接続するバスの増便を検討する。

②誰にでもわかりやすく利用しやすい路線バス運行ダイヤとなるよう、時刻表や路線図等を掲載したパンフレットの作成及びバス行先表示の変更を行う。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	生活バス路線対策事業	担当	地域振興課 定住推進係	整理番号	地-15

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	廃止路線代替バス運行費補助金 65,426 千円 町営バス・デマンドタクシー 運行委託料 15,348 千円 地域公共交通計画推進事業委託料 ・町中心部を運行するバス路線の再編 ・町民や来島者に対する情報提供の強化	廃止路線代替バス運行費補助金 65,000 千円 町営バス・デマンドタクシー 運行委託料 14,400 千円 地域公共交通計画推進事業委託料 ・人員確保（運転手）に対する支援 ・観光需要に対応した新たな移動手段の導入 ・航路ダイヤや高校生の登下校との接続改善	廃止路線代替バス運行費補助金 65,000 千円 町営バス・デマンドタクシー 運行委託料 14,400 千円 地域公共交通計画推進事業委託料 （概算）	廃止路線代替バス運行費補助金 65,000 千円 町営バス・デマンドタクシー 運行委託料 14,400 千円 地域公共交通計画推進事業委託料 （概算）	廃止路線代替バス運行費補助金 65,000 千円 町営バス・デマンドタクシー 運行委託料 14,400 千円 地域公共交通計画推進事業委託料 ・第2次地域公共交通計画策定業務
	2,992 千円	4,300 千円	4,300 千円	4,300 千円	6,825 千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	83,766 千円	83,700 千円	83,700 千円	83,700 千円	86,225 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	14,118 千円	14,910 千円	14,910 千円	14,910 千円	16,593 千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	1,412 千円	1,400 千円	1,400 千円	1,400 千円	1,400 千円
財源内訳 一般財源	68,236 千円	67,390 千円	67,390 千円	67,390 千円	68,232 千円
目標値 ①	90,800人/年	91,000人/年	91,000人/年	91,000人/年	91,000人/年
目標値 ②	2.0人/便	2.0人/便	2.0人/便	2.0人/便	2.0人/便
目標値 ③	44人	44人	44人	44人	44人
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	道路維持管理事業	担当	建設課 土木係	整理番号	建-1

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	3.島内をスムーズに移動できる交通環境を整えます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	8	項	2	目	1

指標		令和6年度目標値
①	補修を要する舗装延長の補修率（KPI）	30%
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

町が管理する道路施設の維持･修繕工事等を実施し、施設更新費用の軽減を図るとともに、安全対策工事等を施工することにより、安全安心な道路網の整備を図る。

【事業概要】

・道路維持修繕工事
道路側溝・安全施設（ガードレール・カーブミラー等）の修繕、小規模な舗装修繕等
・道路通行支障木伐採業務
通学路・観光道路・その他町道（幹線道路等）で車両通行時に支障となる立木、枝葉等の伐採撤去（22路線　L=13.6km）

2.令和　4　年度事業実績（Do）

道路維持修繕工事	3 箇所
那久18号線	758 千円
磯78号線	693 千円
宮の前西町線他	473 千円

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

経年劣化により町内いたるところで、道路構造物の損傷が見られる。小規模な補修及び安全施設整備工事について本事業で対応しており、安全安心な道路網の整備を行っている。また、令和5年度より道路上に張り出し又は交通に支障を及ぼすおそれのある立竹木等の伐採を行う。

【②.事業の課題】

修繕が必要な道路箇所等が年々増加傾向である。また、道路に張り出した枝や暴風等により道路上に倒木のおそれがある立竹木等が重要路線に多数あり、道路利用者の通行の安全を害している。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

道路の安全性を維持確保するため、必要な事業である。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

緊急性が高い箇所から順次修繕していく。

実績額		1,924 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	1,924 千円

実績値				
	①	9.57%	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	道路維持管理事業	担当	建設課 土木係	整理番号	建-1

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	道路維持管理工事費 道路維持修繕工事　6件 3,000 千円 新）道路通行支障木伐採業務 通学路　6路線　L=2.4km 4,400 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	道路維持管理工事費 道路維持修繕工事　9件 7,400 千円 道路通行支障木伐採業務 観光道路　L=6.2km その他町道　L=10.8km 30,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	道路維持管理工事費 道路維持修繕工事　10件 3,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	道路維持管理工事費 道路維持修繕工事　10件 3,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	道路維持管理工事費 道路維持修繕工事　10件 3,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	7,400 千円	37,400 千円	3,000 千円	3,000 千円	3,000 千円
財源内訳	国補助　千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　千円 一般財源　7,400 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　千円 一般財源　37,400 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　千円 一般財源　3,000 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　千円 一般財源　3,000 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　千円 一般財源　3,000 千円
目標値	①　22%　④ ②　⑤ ③　⑥	①　30%　④ ②　⑤ ③　⑥	①　④ ②　⑤ ③　⑥	①　④ ②　⑤ ③　⑥	①　④ ②　⑤ ③　⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	通学路安全対策整備事業	担当	建設課 土木係	整理番号	建-2

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	3.島内をスムーズに移動できる交通環境を整えます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	8	項	2	目	2

指標		令和6年度目標値
①	補修を要する舗装延長の補修率（KPI）	30%
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

「隠岐の島町通学路交通安全プログラム」における合同点検結果に基づき、通学路の要対策箇所について整備し、安心・安全な通学路の整備を行う。

【事業概要】

・現道拡幅、歩道設置工事
〔中町中条線、西郷88号線、西郷3号線、宮の前西町線(下西工区)〕
・側溝修繕、カラー舗装工事
〔宮の前西町線(西町工区)、西郷143号線外(港町工区)、中町神米線外(東町工区)〕
・現道拡幅工事
〔磯236号線(下西工区)〕
・測量調査設計業務〔全路線〕
・用地及び補償費〔全路線〕

2.令和　4　年度事業実績（Do）

中町中条線道路改良事業
（城北町工区）
・道路改良工事　L=20m
・測量調査設計業務
・用地及び補償費
236,008千円

西郷88号線道路改良事業
（西町工区）
・用地及び補償費
50,245千円

実績額		286,253 千円
財源内訳	国補助	172,113 千円
	県補助	千円
	起債	93,400 千円
	特定	千円
	一般財源	20,740 千円

実績値				
	①	9.57%	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

本事業により、小、中学生の交通事故を防ぐため、道路の拡幅、歩道の整備、側溝の修繕等を行い、子どもが安心して通学できる環境整備を継続的に行っている。西郷88号線道路改良事業においては、拡幅工事に向けて、用地取得を進めることができた。

【②.事業の課題】

一部の道路で、用地交渉が難航しているところがある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

通学路の安全を確保するうえで必要な事業であり、今後も歩道の整備、道路の拡幅を行なう。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　**令和５年度評価済**

子供たちが安心して通学できる環境づくりを目指し、国の交付金を活用して実施されている大変重要な事業と認識しています。要対策箇所は定期的に見直しを行い、先を見据えた事業計画により道路整備を進めて下さい。特に交通事故や交通違反が起こりやすい場所については、警察署と連携して防止対策を講じるなど、誰もが安心して通行できる道路整備に取り組んで下さい。また、学校を通じて保護者に危険個所を周知することも重要ではないでしょうか。通学路に関わらず、用地交渉の難航等により改修が進んでいない要整備箇所については、早急に解決策を見出し、事業の推進に努めて下さい。

4.改善・見直し（Action）

通学路の整備について、各事業毎に早期完成を目指すため、発生する問題点を早急に解決する。
各事業の進捗状況を踏まえ、年度間調整を行った。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	通学路安全対策整備事業	担当	建設課 土木係	整理番号	建-2

5.年度別計画　令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度　（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan) 中町中条線道路改良事業 道路改良　L=20m 73,800 千円 西郷88号線道路改良事業 用地及び補償費 34,900 千円 西郷3号線道路改良事業 用地及び補償費 10,000 千円 宮の前西町線道路改良事業(下西工区) 道路改良　L=150m 50,100 千円 千円 千円 千円 千円 千円	中町中条線道路改良事業 道路改良工事　L=40m 103,500 千円 西郷88号線道路改良事業 道路改良工事　L=80m 53,000 千円 千円 宮の前西町線道路改良事業(下西工区) 道路改良　L=80m 30,100 千円 千円 千円 千円 千円 千円	中町中条線道路改良事業 道路改良（舗装）工事　L=140m 65,000 千円 西郷88号線道路改良事業 道路改良工事　L=180m 70,000 千円 西郷3号線道路改良事業 道路改良工事　L=210m 50,000 千円 宮の前西町線道路改良事業(下西工区) 道路改良　L=150m 25,000 千円 宮の前西町線道路改良事業(西町工区) 道路改良　L=50m、用地補償費 20,000 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 西郷3号線道路改良事業 道路改良工事　L=180m 50,000 千円 宮の前西町線道路改良事業(下西工区) 道路改良　L=200m 50,000 千円 宮の前西町線道路改良事業(西町工区) 道路改良　L=100m 40,000 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 宮の前西町線道路改良事業(下西工区) 道路改良　L=200m 50,000 千円 宮の前西町線道路改良事業(西町工区) 道路改良　L=100m 40,000 千円 新）西郷143号線外道路改良事業(港町工区)　測量調査設計業務　L=850m 8,000 千円 新）磯236号線(下西工区)道路改良事業 測量調査設計業務　L=300m 8,000 千円 千円 千円 千円
事業費　168,800 千円	事業費　186,600 千円	事業費　230,000 千円	事業費　140,000 千円	事業費　106,000 千円
財源内訳 国補助　104,300 千円 県補助　千円 起債　60,500 千円 特定　千円 一般財源　4,000 千円	財源内訳 国補助　121,240 千円 県補助　千円 起債　62,100 千円 特定　千円 一般財源　3,260 千円	財源内訳 国補助　161,000 千円 県補助　千円 起債　69,000 千円 特定　千円 一般財源　千円	財源内訳 国補助　98,000 千円 県補助　千円 起債　42,000 千円 特定　千円 一般財源　千円	財源内訳 国補助　74,200 千円 県補助　千円 起債　31,800 千円 特定　千円 一般財源　千円
目標値 ①　22%　④ ②　⑤ ③　⑥	目標値 ①　30%　④ ②　⑤ ③　⑥	目標値 ①　④ ②　⑤ ③　⑥	目標値 ①　④ ②　⑤ ③　⑥	目標値 ①　④ ②　⑤ ③　⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	地域密着道路整備事業	担当	建設課 土木係	整理番号	建-4

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	3.島内をスムーズに移動できる交通環境を整えます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	8	項	2	目	2

指標		令和6年度目標値
①	補修を要する舗装延長の補修率（KPI）	30%
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

地域の生活に密着した町道を整備することによって、公共施設と主要路線へのアクセスや通勤・通学の通行環境の向上、地域間の交流の円滑化を図り、生活の利便性の向上を図る。

【事業概要】

地域密着道路整備事業
・測量調査設計業務
・道路改良工事
〔那久41号線L=730m、代14号線L=1500m、西田箕浦線L=820m〕
・用地及び補償費

2.令和　4　年度事業実績（Do）

令和4年度実績なし

実績額		千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	9.57%	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

那久41号線道路改良事業において、県道西郷都万郡線改良事業（バイパス）の工事進捗に併せ現地着手の開始年度の調整を行い、令和4年度までに用地の先行取得を行っている。

【②.事業の課題】

地区から主要道路までの路線で、見通しの悪い路線や道路幅が狭く車両の通行性が悪い路線があるので、早急に現地着手する必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

今後も、地域に密着した路線の整備を進める。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

過年度において、島内施工業者数に限りがあることから災害復旧事業を優先し、本事業では道路用地の先行取得に努めた。令和5年度においても、令和3年発生の災害復旧工事が多数あることから令和6年度より事業の再開を行うこととした。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	地域密着道路整備事業	担当	建設課 土木係	整理番号	建-4

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	千円	千円	那久41号道路改良事業（用地及び補償） 5,000 千円 代14号線道路改良事業　L=500ｍ 20,000 千円	那久41号道路改良事業　L=200m 30,000 千円 代14号線道路改良事業　L=500ｍ 20,000 千円	那久41号道路改良事業　L=200ｍ 30,000 千円 代14号線道路改良事業　L=500ｍ 20,000 千円 新）西田箕浦線道路改良事業　L=200m 30,000 千円
事業費	千円	千円	25,000 千円	50,000 千円	80,000 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	17,500 千円	35,000 千円	56,000 千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	7,500 千円	15,000 千円	24,000 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	千円	千円	千円	千円	千円
目標値 ①	22%	30%			
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	道路構造物維持管理推進事業	担当	建設課 土木係	整理番号	建-5

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	3.島内をスムーズに移動できる交通環境を整えます
重点施策	西郷145号線愛の橋架替事業
関連計画	

予算区分	一般会計	款	8	項	2	目	2

指標		令和6年度目標値
①	長寿命化計画に基づく橋梁の維持補修件数（KPI）	22橋
②	長寿命化計画に基づくトンネルの維持補修件数（KPI）	7本
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

町道における橋梁及びトンネルについて点検を行い、修繕が必要とされる施設について、計画的に修繕を実施し、施設の長寿命化とコスト縮減を図る。

【事業概要】

橋梁点検、トンネル点検事業
・橋梁、トンネル点検診断業務（5年毎に実施）
橋梁架替事業
・西郷145号線愛の橋架替事業（橋梁延長L=47.0m）
橋梁長寿命化事業
・修繕設計業務、修繕工事
トンネル長寿命化事業
・修繕設計業務、修繕工事

2.令和　4　年度事業実績（Do）

橋梁点検事業
・橋梁点検診断　25橋
5,957 千円
トンネル点検事業
・トンネル点検診断　4本
11,186 千円
西郷145号線愛の橋架替事業
・詳細設計業務　1式
・船舶調査業務　1式
118,902 千円
橋梁長寿命化事業
・橋梁修繕工事　1橋
10,670 千円
トンネル長寿命化事業
・トンネル修繕設計　1本
6,160 千円

実績額		152,875 千円
財源内訳	国補助	99,967 千円
	県補助	千円
	起債	49,800 千円
	特定	千円
	一般財源	3,108 千円

実績値				
	①	10橋	④	
	②	4本	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

橋梁及びトンネル点検の結果、修繕等が新たに必要となった施設があり、長寿命化計画に反映できた。愛の橋架替事業においては、河川管理者と協議を行いながら詳細設計を進めている。

【②.事業の課題】

高さのある橋梁、トンネルは特殊車両による点検が必要なため、外注しなければならず、財政的負担が大きい。愛の橋掛替事業においては、橋梁架替工事に伴い支障となる河川内に係船している船舶の移転先について、早急に対応する必要がある。また、工事の施行にあたり事前に工損調査（工事の施行に起因する地盤変動により生じた物件等の損害等を調査するもの。）を行う必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

今後も、老朽化が問題視されているインフラ施設の長寿命化を行い、住民の安全を確保する。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

引き続き橋梁及びトンネル点検を実施し、その結果により、修繕計画を適宜見直し施設の長寿命化とコスト縮減を図る。また、愛の橋掛替事業においては、令和4年度より詳細設計を行っており、令和11年度完成を目指す。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	道路構造物維持管理推進事業	担当	建設課 土木係	整理番号	建-5

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	橋梁点検事業 橋梁点検診断　64橋 10,500 千円 トンネル点検事業 トンネル点検診断　4本 12,500 千円 西郷145号線愛の橋架替事業 測量設計、工損調査、係留施設調査 51,100 千円 橋梁長寿命化事業 修繕設計 7橋、修繕工事 3橋 46,000 千円 トンネル長寿命化事業 修繕設計 3本、修繕工事 1本 38,200 千円 千円 千円 千円 千円 千円	橋梁点検事業 橋梁点検診断　79橋 9,500 千円 トンネル点検事業 トンネル点検診断　3本 9,000 千円 西郷145号線愛の橋架替事業 仮係留施設詳細設計 18,700 千円 橋梁長寿命化事業 （修繕設計2橋,修繕工事5橋） 42,100 千円 トンネル長寿命化事業 修繕設計　2本,修繕工事　1本 23,900 千円 千円 千円 千円 千円 千円	橋梁点検事業 橋梁点検診断　119橋 14,000 千円 トンネル点検事業 トンネル点検診断　2本 6,000 千円 西郷145号線愛の橋架替事業 仮係留施設整備（係船用仮桟橋） 80,000 千円 橋梁長寿命化事業 修繕工事　3橋 12,000 千円 トンネル長寿命化事業 修繕設計　2本,修繕工事　1本 22,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円	橋梁点検事業 橋梁点検診断　59橋 7,000 千円 トンネル点検事業 トンネル点検診断　3本 9,000 千円 西郷145号線愛の橋架替事業 仮桟橋(作業架台）、旧橋撤去工 350,000 千円 橋梁長寿命化事業 修繕工事　2橋 18,000 千円 トンネル長寿命化事業 修繕工事 2本 20,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円	橋梁点検事業 橋梁点検診断　47橋 6,000 千円 トンネル点検事業 トンネル点検診断　4本 12,000 千円 西郷145号線愛の橋架替事業 右岸側（基礎杭、橋台工、橋脚工） 350,000 千円 橋梁長寿命化事業 修繕工事　4橋 10,000 千円 トンネル長寿命化事業 修繕工事　２本 28,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	158,300 千円	103,200 千円	134,000 千円	404,000 千円	406,000 千円
財源内訳 国補助	101,500 千円	66,850 千円	93,800 千円	282,800 千円	284,200 千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	49,200 千円	30,400 千円	34,200 千円	116,400 千円	116,400 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	7,600 千円	5,950 千円	6,000 千円	4,800 千円	5,400 千円
目標値 ①	19橋	22橋			
目標値 ②	6本	7本			
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	町単道路改良事業	担当	建設課 土木係	整理番号	建-6

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	3.島内をスムーズに移動できる交通環境を整えます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	8	項	2	目	2

指標		令和6年度目標値
①	補修を要する舗装延長の補修率（KPI）	30%
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

既存の道路の整備（拡幅工事・法面工事・側溝整備・舗装・避難路整備工事等）や修繕を行い、道路の利便性や安全性の向上を図る。

【事業概要】

町単道路改良事業
- 測量設計業務
- 道路改良工事
- 災害防除工事
- 道路舗装工事
- 道路側溝改修工事
- 避難路整備工事
- 用地及び補償費

2.令和　4　年度事業実績（Do）

町単改良事業　　5事業

- 中条199号線道路改良事業
  （道路改良工事、測量調査等）
  78,026 千円
- 都万169号線道路改良事業
  （冠水対策工事）
  6,677 千円
- 蛸木1号線道路改良事業
  （用地及び補償費）
  5,755 千円
- 西郷238号線道路改良事業
  （測量設計業務）
  2,662 千円
- 飯田地区緊急避難路道路整備事業
  （用地及び補償費）
  1,296 千円

実績額		94,416 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	88,900 千円
	特定	千円
	一般財源	5,516 千円

実績値				
	①	9.57%	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和4年度は事業実施に必要とされる測量設計・用地の先行取得を優先的に行い、次年度の現地着手に向けて成果を上げることができた。また、都万169号線においては、冠水対策工事を完了し、道路の利便性や安全性の向上が図れた。

【②.事業の課題】

修繕等が必要な道路が年々増加している。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

今後も、町道における各種問題を解消していく。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

各路線の緊急性を考慮して、優先順位をつけて順次整備工事を実施していく。また、令和3年8月発生の豪雨災害の影響により、令和4年度においても各事業の年度間調整を行った。また、蛸木1号道路改良事業、飯田地区緊急避難路整備事業においては、完成年度を1年先送りし、令和6年度完成を目指す。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	町単道路改良事業	担当	建設課 土木係	整理番号	建-6

5.年度別計画　令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
中条199号線道路改良事業 道路改良L=340m、排水路L=100m	中条199号線道路改良事業 道路改良L=425m、道路舗装L=490m 排水路L=70m			
127,600 千円	100,000 千円	千円	千円	千円
蛸木1号線道路改良事業 工損調査業務、用地補償	蛸木1号線道路改良事業 道路改良工事　L=60m	蛸木1号線道路改良事業 道路改良工事　L=90m		
10,200 千円	30,700 千円	40,000 千円	千円	千円
飯田地区緊急避難路道路整備事業 道路改良　L=80m	飯田地区緊急避難路道路整備事業 道路改良　L=100m	飯田地区緊急避難路道路整備事業 道路改良　L=193m		
32,200 千円	28,400 千円	35,000 千円	千円	千円
久見1号道路改良事業（測量設計）	久見1号道路改良事業　L=30m			
3,300 千円	8,900 千円	千円	千円	千円
(Plan) 西郷238号線道路改良事業　L=50m				
13,700 千円	千円	千円	千円	千円
	新）東郷219号線排水路改良事業　L=8m	東郷219号線排水路改良事業　L=8m		
千円	2,700 千円	15,000 千円	千円	千円
	新）西郷18号線災害防除事業（L=90m）	西郷18号線災害防除事業　L=45m	西郷18号線災害防除事業　L=45m	
千円	3,300 千円	20,000 千円	20,000 千円	千円
	新）西郷125号線法面整備事業（測量設計）	西郷125号線法面整備事業 L=50m		
千円	4,400 千円	25,000 千円	千円	千円
		新）中条163号線外側溝改修事業 L=94m	新）中条163号線報国橋高欄改修事業	
千円	千円	5,000 千円	2,000 千円	千円
		新）中条173号線防護柵整備事業L=100m		
千円	千円	3,000 千円	千円	千円
		東郷山林線ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ設置事業 L=76m		
千円	千円	12,000 千円	千円	千円
		中町神米線災害防除事業（トンネル北）	中町神米線災害防除事業 A=400㎡	中町神米線災害防除事業（トンネル南）
千円	千円	20,000 千円	20,000 千円	3,000 千円
		北方37号線道路改良（舗装）事業 L=230m		
千円	千円	35,000 千円	千円	千円
			下西西田線道路改良事業（L=550m）	下西西田線道路改良事業　L=200m
千円	千円	千円	15,000 千円	30,000 千円
			新）中条264号線外災害防除事業（測量設計）	中条264号線外災害防除事業　L=30m
千円	千円	千円	3,000 千円	12,000 千円

事業名	町単道路改良事業	担当	建設課 土木係	整理番号	建-6

				新)都万2号線災害防除事業(測量設計)	都万2号線災害防除事業　L=22m
千円	千円	千円	3,500 千円		7,000 千円
				新)磯242号線防護柵設置事業 L=100m	
千円	千円	千円	2,500 千円		千円
	岬空港線舗装修繕事業　L=150m	岬空港線舗装修繕事業　L=150m	岬空港線舗装修繕事業　L=300m	岬空港線舗装修繕事業　L=300m	
千円	10,100 千円	10,000 千円	20,000 千円		20,000 千円
	東郷88号線道路側溝改修事業 L=200m				
千円	22,200 千円	千円	千円		千円
	新）西郷265号線道路擁壁改良事業　L=40m	西郷265号線道路擁壁改良事業　L=40m	新)都万168号線舗装事業 L=75m		
千円	1,700 千円	10,000 千円	3,000 千円		千円
			新)東郷193号線防護柵設置事業 L=30m		
千円	千円	千円	2,000 千円		千円
			新)吉田名田線舗装修繕事業　L=120m	新)吉田名田線道路側溝整備事業 L=130m	
千円	千円	千円	3,000 千円		7,000 千円
			新)南方36号線道路整備事業（測量設計）	南方36号線道路整備事業 L=220m	
千円	千円	千円	3,000 千円		21,000 千円
			新)東郷地区緊急避難道路整備事業(測量設計)	東郷地区緊急避難道路整備事業L=110m	
千円	千円	千円	6,000 千円		40,000 千円
			新)西町上八尾地区緊急避難路整備事業(測量設計)	西町上八尾地区緊急避難路整備事業 L=180m	
千円	千円	千円	15,000 千円		35,000 千円
				新)都万188号線外舗装事業　L=1,190m	
千円	千円	千円	千円		8,000 千円
				新)中条168号線道路改良事業(測量設計)	
千円	千円	千円	千円		5,000 千円
				新)東郷205号線道路改良事業(測量設計)	
千円	千円	千円	千円		5,000 千円
				新)中条98号線道路拡幅事業　L=40m	
千円	千円	千円	千円		3,000 千円
				新)苗代田1号線交差点改良事業L=20m	
千円	千円	千円	千円		4,000 千円
				新)布施港湾線道路側溝修繕事業L=93m	
千円	千円	千円	千円		4,000 千円
				新)井原31号線防護柵設置事業(測量設計)	
千円	千円	千円	千円		2,000 千円

事業名	町単道路改良事業	担当	建設課 土木係	整理番号	建-6

	千円	千円	千円	千円	新)西郷276号線側溝改修事業　L=50ｍ 2,000 千円
	千円	千円	千円	千円	新)中条194号線舗装修繕事業 L=300m 7,500 千円
	千円	千円	千円	千円	新)西郷270号線道路改良事業 L=250m 1,800 千円
	千円	千円	千円	千円	新)代16号線法面災害防除事業(測量設計) 5,000 千円
	千円	千円	新) 緊急避難道路事業(防災) 2地区 5,000 千円	緊急避難道路事業(防災)測量設計 10,000 千円	緊急避難道路事業(防災)工事 30,000 千円
	千円	千円	千円	千円	緊急避難道路事業(防災)測量設計 10,000 千円
事業費	187,000 千円	212,400 千円	235,000 千円	128,000 千円	262,300 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	186,100 千円	198,700 千円	85,000 千円	35,000 千円	50,000 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	900 千円	13,700 千円	150,000 千円	93,000 千円	212,300 千円
目標値 ①	22%	30%			
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	UIターン促進住宅管理事業	担当	地域振興課 定住推進係	整理番号	地-9

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	4.移住・定住しやすい環境を整えます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	2	項	1	目	4

指標		令和6年度目標値
①	UIターン者数（KPI）	250人/年
②	人口の社会増減累計数（KPI）	150人
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

UIターン者及び若者のための住宅の確保及び管理を行うことで、定住人口の促進・拡大を図る。

【事業概要】

当課所管のUIターン者及び若者のための住宅の管理を行う。
町内事業者による若者定住集合住宅の整備を推進する。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

若者定住集合住宅整備事業補助金
3棟（6戸）　　20,000千円

実績額		20,000 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	10,000 千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	10,000 千円

実績値				
	①	223人／年	④	
	②	▲65人	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

当課所管のUIターン者及び若者のための住宅は、UIターン促進住宅5戸、空家改修住宅4戸、令和4年度から供用開始した八田集合住宅（旧県教職員住宅）18戸である。UIターン促進住宅は7戸であったが、令和5年5月末をもって、UIターン促進住宅2戸（布施住宅3号・4号）を老朽化により用途廃止した。若者定住集合住宅整備補助金を利用し、令和3年度に2者が2棟10部屋を、令和4年度に1者が3棟6部屋を新築した。

【②.事業の課題】

町内の若者とUIターン者の住宅需要は高く依然として供給不足の状況である。また、当課所管の住宅は築年数がかなり経過している建物が多く、廃止や契約期間の短縮を検討しなければならない。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

住宅不足によりUIターン希望者を逃さないため、安定的な住宅供給を行う必要がある。令和5年度までは若者定住集合住宅整備事業補助金の活用により、町内事業者による住宅建築（新築）を補助してきたが、今後は、島内に683戸は存在する空家を活用するための取組みへシフトする必要がある。

【④.外部評価】　方向性：　拡大　　**令和３年度評価済（定住対策事業）**

島内人口を増やすことに直結する本事業は、持続可能なまちづくりを推進するうえで、町の最重要事業の一つであると考えます。官民が連携して人口問題に取り組むなど、新たな仕組みづくりの検討も必要であると感じます。UIターン者だけでなく、若者が転出しないようにするためにも、住みやすい環境が整うように取り組んで頂きたいです。特に、賃貸住宅は不足しているため、空き家対策と関連させるなど住宅確保については引き続き取り組む必要があります。また、制度内容や手続きが移住定住者の弊害とならないようにして下さい。島で結婚推進事業は「出会いの場」を提供するために、時代に合った手法で取り組んでいく必要があると感じます。

4.改善・見直し（Action）

若者定住集合住宅整備事業による新築住宅整備を令和5年度までとし、UIターン者及び若者のための定住住宅の供給体制については、空家を活用する方向での見直しを行う。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	UIターン促進住宅管理事業	担当	地域振興課 定住推進係	整理番号	地-9

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	若者定住集合住宅整備事業補助金 20,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	20,000 千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	10,000 千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	10,000 千円	千円	千円	千円	千円
目標値 ①	240人/年	250人/年	250人/年	250人/年	250人/年
目標値 ②	120人	150人	150人	150人	150人
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	空家活用事業	担当	地域振興課 定住推進係	整理番号	地-10

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	4.移住・定住しやすい環境を整えます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	2	項	1	目	4

指標		令和6年度目標値
①	空家バンク登録数	50件/年
②	空地バンク登録数	15件/年
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

周辺環境や社会への影響が懸念される空家が近年地方で問題となっており、島内にも683戸ほどの空家があるとされる。空家・空地バンクに登録していただくことで、住宅を必要とする方への情報提供が可能となり、住宅供給が期待される。安心・安全な住環境づくり及び、空家の有効活用による住宅不足の解消を目的とする。

【事業概要】

空家・空地バンクの運用により、中古不動産の流通促進及び有効活用を図る。
バンクに登録する空家所有者に対しハウスクリーニング等の補助を行い利用を促進する。
バンクに登録した空家を賃貸物件とする場合において、改修補助等を行い住宅供給を推進する。
地域活性化に資する空家住宅改修に対し、補助金を交付する。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

空家・空地バンク登録調査手数料
　48件　　370千円
補助金
　空家再生事業補助金
　　3件　　8,000千円
　空家改修（耐震タイプ）
　　1件　　1,500千円
　空家改修（水洗トイレタイプ）
　　2件　　2,492千円
　空家クリーニング事業補助金
　　23件　　2,910千円

実績額		15,272 千円
財源内訳	国補助	4,750 千円
	県補助	3,299 千円
	起債	5,500 千円
	特定	千円
	一般財源	1,723 千円

実績値				
	①	46件／年	④	
	②	15件／年	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和4年度における空家・空地バンク登録数については、空家46件、空地15件であった。空家再生事業補助金3件、空家改修事業補助金3件、クリーニング補助金23件の利用があった。

【②.事業の課題】

令和4年度末までの空家・空地バンク登録物件延べ193件のうち約60%の物件が成約しているが、築年数が古い売買物件は成約に至らないまま残り続け、活用されず老朽化してきている。賃貸物件より売買物件の登録が多く賃貸物件を求める需要の高さに対して、供給に乖離がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

空家所有者は空家の利活用を課題としておりその一助となっている。空家バンク登録による改修補助やクリーニング補助の利用で、賃貸・売買物件の状態が良好となり、成約が進むものと考える。また、隠岐の島町ホームページに空家情報を都度更新することで最新の情報を提供するとともに、SDGsにも貢献することを強調した情報発信を行っており、空家活用の推進に寄与しているものと考える。

【④.外部評価】　方向性：　拡大　　令和３年度評価済（定住対策事業）

島内人口を増やすことに直結する本事業は、持続可能なまちづくりを推進するうえで、町の最重要事業の一つであると考えます。官民が連携して人口問題に取り組むなど、新たな仕組みづくりの検討も必要であると感じます。UIターン者だけでなく、若者が転出しないようにするためにも、住みやすい環境が整うように取り組んで頂きたいです。特に、賃貸住宅は不足しているため、空き家対策と関連させるなど住宅確保については引き続き取り組む必要があります。また、制度内容や手続きが移住定住者の弊害とならないようにして下さい。島で結婚推進事業は「出会いの場」を提供するために、時代に合った手法で取り組んでいく必要があると感じます。

4.改善・見直し（Action）

令和5年度をもって新築住宅の整備補助を終了し、空家等の活用を主軸とした体制に移行する。空家活用に係る補助制度の見直し・拡充のほか、空家・空地バンクの周知及び登録促進、日々の相談対応などを通じ、定住の基盤づくりを推進する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	空家活用事業	担当	地域振興課 定住推進係	整理番号	地-10

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	空家・空地バンク登録調査手数料 385 千円 空家再生事業補助金 10,000 千円 空家改修事業補助金（耐震タイプ） 1,500 千円 空家改修事業補助金（水洗タイプ） 3,000 千円 空家クリーニング事業補助金 2,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	空家・空地バンク登録調査手数料 500 千円 空家再生事業補助金 15,000 千円 空家改修事業補助金（耐震タイプ） 3,000 千円 空家改修事業補助金（水洗タイプ） 4,500 千円 空家クリーニング事業補助金 2,500 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	空家・空地バンク登録調査手数料 500 千円 空家再生事業補助金 15,000 千円 空家改修事業補助金（耐震タイプ） 3,000 千円 空家改修事業補助金（水洗タイプ） 4,500 千円 空家クリーニング事業補助金 2,500 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	空家・空地バンク登録調査手数料 500 千円 空家再生事業補助金 15,000 千円 空家改修事業補助金（耐震タイプ） 3,000 千円 空家改修事業補助金（水洗タイプ） 4,500 千円 空家クリーニング事業補助金 2,500 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	空家・空地バンク登録調査手数料 500 千円 空家再生事業補助金 15,000 千円 空家改修事業補助金（耐震タイプ） 3,000 千円 空家改修事業補助金（水洗タイプ） 4,500 千円 空家クリーニング事業補助金 2,500 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	16,885 千円	25,500 千円	25,500 千円	25,500 千円	25,500 千円
財源内訳	国補助 5,750 千円 県補助 2,692 千円 起　債 7,200 千円 特　定 千円 一般財源 1,243 千円	国補助 9,000 千円 県補助 4,500 千円 起　債 11,700 千円 特　定 千円 一般財源 300 千円	国補助 9,000 千円 県補助 4,500 千円 起　債 11,700 千円 特　定 千円 一般財源 300 千円	国補助 9,000 千円 県補助 4,500 千円 起　債 11,700 千円 特　定 千円 一般財源 300 千円	国補助 9,000 千円 県補助 4,500 千円 起　債 11,700 千円 特　定 千円 一般財源 300 千円
目標値	① 50件／年　④ ② 15件／年　⑤ ③　⑥	① 50件／年　④ ② 15件／年　⑤ ③　⑥	① 50件／年　④ ② 15件／年　⑤ ③　⑥	① 50件／年　④ ② 15件／年　⑤ ③　⑥	① 50件／年　④ ② 15件／年　⑤ ③　⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	UIターン支援事業	担当	地域振興課 定住推進係	整理番号	地-11

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	4.移住・定住しやすい環境を整えます
重点施策	
関連計画	
予算区分	一般会計　款 2　項 1　目 4

指標		令和6年度目標値
①	UIターン者数（KPI）	250人/年
②	人口の社会増減累計数（KPI）	150人
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

移住・定住者の増加を図り、将来に渡っての人口減少を抑制し町の活性化を図る。

【事業概要】

移住・定住に役立つ情報の発信や相談窓口の設置、田舎暮らし体験事業を通じて移住・定住を促進する。
UIターン者のためのふるさと定住奨励金、賃貸住宅の家賃補助、自宅改修費用、光ファイバー引き込み工事分担金補助により、移住初期費用等の負担軽減を図る。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

UIターン者推進補助事業
　ふるさと定住奨励金
　　72件　4,450千円
　家賃補助事業　17件　2,461千円
　自宅改修事業　5件　2,497千円

島留学生家賃支援事業
　　6件　1,331千円

定住推進体験事業補助事業
　　1件　200千円

委託料
　移住定住ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　1,489千円
　移住相談窓口　827千円

地域おこし協力隊事業
　サポート業務　550千円
　旅費　68千円

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和4年度のUIターン者数は223人と前年より10人減となったが、県内町村では引き続きトップクラスの実績となった。今年度も都市部での対面による移住相談はできなかったが、Webによる開催となり、延べ24名の参加があった。また、役場での対面・Webによる移住相談は延べ52名、相談窓口委託先には延べ28名の相談があった。定住推進体験事業補助金を1団体が利用し、延べ93名の参加があった。

【②.事業の課題】

移住希望者の相談内容としては住宅と就業・就労についてが多い。住宅についてはUIターン促進住宅管理事業、空家活用事業で引き続き供給できるよう努める必要がある。就労・就業について、特に第一次産業に興味を持つ方が多いが、ニーズに即した受け入れ態勢が不十分で、移住につながりにくい点が課題である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

隠岐の島町の将来に渡っての人口減少を抑制する観点から、今まで以上に移住促進とその後の定着率向上を図る。移住希望者の様々なニーズに対応できるよう、関係機関との連携・情報共有が必要である。

【④.外部評価】　方向性：　拡大　**令和３年度評価済（定住対策事業）**

島内人口を増やすことに直結する本事業は、持続可能なまちづくりを推進するうえで、町の最重要事業の一つであると考えます。官民が連携して人口問題に取り組むなど、新たな仕組みづくりの検討も必要であると感じます。UIターン者だけでなく、若者が転出しないようにするためにも、住みやすい環境が整うように取り組んで頂きたいです。特に、賃貸住宅は不足しているため、空き家対策と関連させるなど住宅確保については引き続き取り組む必要があります。また、制度内容や手続きが移住定住者の弊害とならないようにして下さい。島で結婚推進事業は「出会いの場」を提供するために、時代に合った手法で取り組んでいく必要があると感じます。

4.改善・見直し（Action）

移住定住相談窓口の業務委託を行い総合的な対応をワンストップで行う。また、移住後のフォローも行う。
移住定住に特化したホームページを作成しスムーズかつ効果的な情報発信を行う。
UIターン促進補助事業の見直し・拡充を行い、実態に即した支援を目指す。

実績額		
		13,873 千円
財源内訳	国補助	1,157 千円
	県補助	2,000 千円
	起債	8,900 千円
	特定	千円
	一般財源	1,816 千円

実績値				
	①	223人／年	④	
	②	▲65人	⑤	
	③		⑥	

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	UIターン支援事業	担当	地域振興課 定住推進係	整理番号	地-11

5.年度別計画

	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	ふるさと定住奨励金 5,500 千円 家賃補助事業 3,883 千円 自宅改修事業 4,750 千円 わくわく移住奨励金 1,600 千円 島留学生家賃補助事業 1,920 千円 地域おこし協力隊企業支援金 5,000 千円 委託料（移住HP作成業務） 238 千円 委託料（移住相談窓口業務） 1,489 千円 定住推進体験事業 200 千円 千円 千円 千円	ふるさと定住奨励金 5,500 千円 家賃補助事業 3,883 千円 自宅改修事業 4,750 千円 わくわく移住奨励金 1,600 千円 島留学生家賃補助事業 1,920 千円 地域おこし協力隊企業支援金 1,000 千円 委託料（移住HP作成業務） 238 千円 委託料（移住相談窓口業務） 1,489 千円 定住推進体験事業 200 千円 千円 千円 千円	ふるさと定住奨励金 5,500 千円 家賃補助事業 3,883 千円 自宅改修事業 4,750 千円 わくわく移住奨励金 1,600 千円 島留学生家賃補助事業 1,920 千円 地域おこし協力隊企業支援金 1,000 千円 委託料（移住HP作成業務） 238 千円 委託料（移住相談窓口業務） 1,489 千円 定住推進体験事業 200 千円 千円 千円 千円	ふるさと定住奨励金 5,500 千円 家賃補助事業 3,883 千円 自宅改修事業 4,750 千円 わくわく移住奨励金 1,600 千円 島留学生家賃補助事業 1,920 千円 地域おこし協力隊企業支援金 4,000 千円 委託料（移住HP作成業務） 238 千円 委託料（移住相談窓口業務） 1,489 千円 定住推進体験事業 200 千円 千円 千円 千円	ふるさと定住奨励金 5,500 千円 家賃補助事業 3,883 千円 自宅改修事業 4,750 千円 わくわく移住奨励金 1,600 千円 島留学生家賃補助事業 1,920 千円 地域おこし協力隊企業支援金 3,000 千円 委託料（移住HP作成業務） 238 千円 委託料（移住相談窓口業務） 1,489 千円 定住推進体験事業 200 千円 千円 千円 千円
事業費	24,580 千円	20,580 千円	20,580 千円	23,580 千円	22,580 千円
財源内訳	国補助 863 千円 県補助 3,160 千円 起　債 15,200 千円 特　定 千円 一般財源 5,357 千円	国補助 863 千円 県補助 3,160 千円 起　債 14,600 千円 特　定 千円 一般財源 1,957 千円	国補助 863 千円 県補助 3,160 千円 起　債 14,600 千円 特　定 千円 一般財源 1,957 千円	国補助 863 千円 県補助 3,160 千円 起　債 14,600 千円 特　定 千円 一般財源 4,957 千円	国補助 863 千円 県補助 3,160 千円 起　債 14,600 千円 特　定 千円 一般財源 3,957 千円
目標値	① 240人／年　④ ② 120人　⑤ ③　⑥	① 250人／年　④ ② 150人　⑤ ③　⑥	① 250人／年　④ ② 150人　⑤ ③　⑥	① 250人／年　④ ② 150人　⑤ ③　⑥	① 250人／年　④ ② 150人　⑤ ③　⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	島で結婚推進事業	担当	地域振興課 定住推進係	整理番号	地-12

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	4.移住・定住しやすい環境を整えます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	2	項	1	目	4

指標		令和6年度目標値
①	出会いの場の創出	4回/年
②	結婚組数	30組/年
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

若者の定住促進及び結婚を望む者の出会いの場を創出し地域の活性化を図る。

【事業概要】

本町での婚活イベント等の開催などで、結婚を望む独身男女の出会いの場を創出する。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

島で結婚推進事業補助金
実績なし

実績額		千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	0回／年	④	
	②	35組／年	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

しまね縁結びサポートセンターのマッチングシステム「しまコ」を令和3年11月から本庁舎内に設置したが、利用者数は0人であった。島で結婚推進事業補助金はコロナ禍の影響か事業実施には至らなかった。

【②.事業の課題】

令和3年度で結婚祝い金事業を廃止したことに伴い、新たな結婚支援策を講じる必要がある。
マッチングシステム「しまコ」について幅広く知られていないため、周知方法を工夫する必要がある。また、しまね縁結びサポートセンターとの連携や情報共有が必要と考える。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

しまね縁結びサポートセンターと協働しながら結婚を望む男女の架け橋となる取組みが必要である。また、結婚後は本町に定住・移住する仕掛けをつくり、人口減少の抑制を図る。

【④.外部評価】　方向性：　拡大　　令和３年度評価済（定住対策事業）

島内人口を増やすことに直結する本事業は、持続可能なまちづくりを推進するうえで、町の最重要事業の一つであると考えます。官民が連携して人口問題に取り組むなど、新たな仕組みづくりの検討も必要であると感じます。UIターン者だけでなく、若者が転出しないようにするためにも、住みやすい環境が整うように取り組んで頂きたいです。特に、賃貸住宅は不足しているため、空き家対策と関連させるなど住宅確保については引き続き取り組む必要があります。また、制度内容や手続きが移住定住者の弊害とならないようにして下さい。島で結婚推進事業は「出会いの場」を提供するために、時代に合った手法で取り組んでいく必要があると感じます。

4.改善・見直し（Action）

マッチングシステム「しまコ」の会員を増やすためホームページや広報等により周知を図る。
しまね縁結びサポートセンター及び縁結びボランティア「はぴこ」との連携を図り出会いの場の創出に取り組む。令和6年度に向けて、新たな結婚支援対策を検討する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	島で結婚推進事業	担当	地域振興課 定住推進係	整理番号	地-12

5.年度別計画

	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	島で結婚推進事業補助金 400 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	島で結婚推進事業補助金 400 千円 婚活イベント 600 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	島で結婚推進事業補助金 400 千円 婚活イベント 600 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	島で結婚推進事業補助金 400 千円 婚活イベント 600 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	島で結婚推進事業補助金 400 千円 婚活イベント 600 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	400 千円	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	400 千円	600 千円	600 千円	600 千円	600 千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	千円	400 千円	400 千円	400 千円	400 千円
目標値 ①	2回／年	5回／年	5回／年	5回／年	5回／年
目標値 ②	30組	30組	30組	30組	30組
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	定住奨学資金貸与事業	担当	地域振興課 定住推進係	整理番号	地-13

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	4.移住・定住しやすい環境を整えます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	2	項	1	目	4

指標		令和6年度目標値
①	UIターン者数（KPI）	250人/年
②	人口の社会増減累計数（KPI）	150人
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

向上心を有する者の修学の便を図ることにより、地域に定住を志向する者の育成と人材確保を促進する。

【事業概要】

奨学資金の貸与及び償還金の債権回収事務

2.令和　4　年度事業実績（Do）

定住奨学資金貸付金
1件　　600千円

実績額		600 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	600 千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	223人／年	④	
	②	▲65人	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

平成30年度より新規奨学資金貸与は終了した。貸与者も令和4年度末で終了となる。
令和4年度に返還すべき奨学金（現年分）の徴収率は96.8%であった。

【②.事業の課題】

定住奨学資金返還について、公平な返還となるように未納者・滞納者への対応が必要となる。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

Uターン効果が少ないため、新たな奨学資金の貸与は行わない。定住奨学資金の貸与は令和4年度末で終了するが、返還終了の令和21年度まで管理する必要がある。未納・滞納額が膨らまないうちに、早めの対処に取り組む。

【④.外部評価】　方向性：　拡大　　令和３年度評価済（定住対策事業）

島内人口を増やすことに直結する本事業は、持続可能なまちづくりを推進するうえで、町の最重要事業の一つであると考えます。官民が連携して人口問題に取り組むなど、新たな仕組みづくりの検討も必要であると感じます。UIターン者だけでなく、若者が転出しないようにするためにも、住みやすい環境が整うように取り組んで頂きたいです。特に、賃貸住宅は不足しているため、空き家対策と関連させるなど住宅確保については引き続き取り組む必要があります。また、制度内容や手続きが移住定住者の弊害とならないようにして下さい。島で結婚推進事業は「出会いの場」を提供するために、時代に合った手法で取り組んでいく必要があると感じます。

4.改善・見直し（Action）

未納者・滞納者に対する連絡を頻繁に行い公平な返還となるように徴収に取り組む。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	定住奨学資金貸与事業	担当	地域振興課 定住推進係	整理番号	地-13

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	令和5年度以降貸付事業実施なし				
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	千円	千円	千円	千円	千円
目標値 ①～⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	関係人口創出事業	担当	地域振興課 定住推進係	整理番号	地-14

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	4.移住・定住しやすい環境を整えます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	2	項	1	目	4

指標		令和6年度目標値
①	関係人口カード発行累計	1,000枚
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

地域課題に多様な形態で関わる「関係人口」を創出し、隠岐の島町出身者や「関係人口」の関わりしろを発信することで、移住・定住へつなげる。

【事業概要】

隠岐の島町の情報発信や各種イベントで、隠岐の島町ファンやサポーターを獲得する。
隠岐の島町の課題に様々な形態で関われる仕組みをつくる。
一度は隠岐の島町を出た出身者や大学生等に対し統一の媒体による情報発信を行い、隠岐の島町とのつながりを再構築・維持する。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

地域おこし協力隊活動費
報酬等含む　　2,966千円

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

関係人口の裾野は広く、地域課題の整理やその解決のため関係人口をどのように繋ぐのかという方法が見出せないことから、関係人口の実例を踏まえ職員全体で学習会を行った。令和2年度に作成した関係人口ロゴマークを用い、関係人口となって頂いた方へ配布する「つながり会員カード」を、令和4年度末に卒業する町内の高校生にも配付した。

【②.事業の課題】

関係人口に何を求めるのかが課題と考える。関係人口が関われるような活動は町内に点在しているが、情報発信を実施主体各々が行っているため、情報を求めている個人につながりにくい。関係人口の創出・拡大に取り組むにあたっては、役場のみならず町民、事業者への周知及び情報提供が必要と考える。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

農林水産、観光業、商工業、環境、地域課題、地域イベント、ふるさと納税など様々な場面において関係人口との「関わりしろ」がある。隠岐の島町に思いのある方、得意分野での知識を有した方を取り込み課題解決に向けた手法の一つとして取り組んでいく。

関係人口創出・拡大のために、つながり創出プロジェクトを実施。令和６年度より体制づくりのためのモデル事業として、町HP上にある「つながりどころ」を活用し情報発信を行う。令和７年度以降は新たにポータルサイトを作成し、本運用とする。

【④.外部評価】　方向性：　拡大　　令和３年度評価済（定住対策事業）

島内人口を増やすことに直結する本事業は、持続可能なまちづくりを推進するうえで、町の最重要事業の一つであると考えます。官民が連携して人口問題に取り組むなど、新たな仕組みづくりの検討も必要であると感じます。UIターン者だけでなく、若者が転出しないようにするためにも、住みやすい環境が整うように取り組んで頂きたいです。特に、賃貸住宅は不足しているため、空き家対策と関連させるなど住宅確保については引き続き取り組む必要があります。また、制度内容や手続きが移住定住者の弊害とならないようにして下さい。島で結婚推進事業は「出会いの場」を提供するために、時代に合った手法で取り組んでいく必要があると感じます。

4.改善・見直し（Action）

隠岐の島町と関係を持ちたいと考える方々に向け、SNSやホームページで呼びかけを行う。
ふるさと島根定住財団が運営する「しまっち！」に隠岐の島町と関わるプログラムを掲載する。また、ウルトラマラソンなど隠岐を代表するイベント等でブースを設置し、つながり会員の申込みの機会を積極的に設ける。
隠岐の島町出身者や大学生を対象につながり創出プロジェクトを実施し、隠岐での活動について統一の媒体による情報発信及び企画調整を行う。

実績額		2,966 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	2,966 千円

実績値				
	①	191枚	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	関係人口創出事業	担当	地域振興課 定住推進係	整理番号	地-14

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	関係人口コーディネーター （地域おこし協力隊）活動費 3,444 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	関係人口コーディネーター （地域おこし協力隊）活動費 4,000 千円 つながり創出コーディネーター （地域おこし協力隊）活動費 4,000 千円 新）つながり創出事業（モデル事業） ・印刷製本費（チラシ）　200千円 ・PR活動、視察旅費　160千円 ・参加者交通費補助10千円×20名 200千円 ・活動受け入れ先　3件 560 千円 既存HP等を活用した情報発受 千円 千円 千円 千円 千円 千円	関係人口コーディネーター （地域おこし協力隊）活動費 4,000 千円 つながり創出コーディネーター （地域おこし協力隊）活動費 4,000 千円 新）つながり創出事業（本格運用） ・印刷製本費（チラシ）　400千円 ・PR活動、視察旅費　160千円 ・参加者交通費補助10千円×40名 400千円 ・活動受け入れ先　6件 960 千円 つながりポータルサイト作成 ※サイトの仕様等検討中により費用未定 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 つながり創出コーディネーター （地域おこし協力隊）活動費 4,000 千円 新）つながり創出事業 ・印刷製本費（チラシ）　400千円 ・PR活動、視察旅費　160千円 ・参加者交通費補助10千円×40名 400千円 ・活動受け入れ先　6件 960 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	3,444 千円	8,560 千円	8,960 千円	4,960 千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
県補助	千円	千円	千円	千円	千円
起　債	千円	千円	千円	千円	千円
特　定	千円	448 千円	768 千円	768 千円	千円
一般財源	3,444 千円	8,112 千円	8,192 千円	4,192 千円	千円
目標値 ①	1,000枚	1,250枚	1,500枚	1,750枚	2,000枚
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	五箇地域振興事業	担当	五箇支所 地域振興係	整理番号	五-2

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	4.移住・定住しやすい環境を整えます
重点施策	地域振興事業補助金
関連計画	

予算区分	一般会計	款	2	項	1	目	4

指標		令和6年度目標値
①	UIターン者数（KPI）	250人/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

五箇地区の自主的な行事・イベントを支援することにより地域コミュニティの活性化を図り、交流人口・関係人口の拡大を目指し、将来的な移住定住につなげることを目的とする。

【事業概要】

五箇地域における集落運営に関する課題解決と、地域活性化に向けた活動への支援を行うため「集落支援員」を配置し、地域の現状と課題をきめ細かに把握するとともに、課題解決に向けた企画立案と活動支援を行う。

地区自治会をはじめ、地域の活性化に取組む団体やイベント等への支援を行うことにより、地域の活力を高める。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

・花いっぱい植栽事業　114千円
・しゃくなげ祭り補助金　0千円
【新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止】
・どんと祭り補助金　0千円
【新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止】

地域振興事業補助金
・隠岐温泉GOKA第２泉源
既存資料調査検討業務　484千円
・五箇創生館ﾘﾆｭｰｱﾙ作成業務
165千円
・地域振興イベント用品購入
244千円
・地域振興イベント開催費
106千円

実績額		1,113 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	1,113 千円

実績値				
	①	223人/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度に引続き「どんと祭り」をはじめ「しゃくなげ祭り」各種イベントが中止となったものの、11月には五箇地区において活動する団体との連携により「フリーガーデンイベント」を開催した。島内の子供からお年寄りまで多数来場していただき好評を得ることとなり地域活性化につながる取組みが行われた。

【②.事業の課題】

五箇地域の「自然・花・植物」は、地域振興における資源となり得る可能性を秘めているものの、十分な効果を発揮できていない。いずれの花園も関係者の高齢化等により維持存続が困難な状況にある。

また、個人所有であるため、取扱いも難しい面がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

地域コミュニティのつながりと活力を高めるために本事業は必要である。今後は、UIターンの推進に取組むとともに、地域活動を支える各種団体との連携や、世代・性別・立場を超えた話し合いの場を設け、五箇地域における集落間で支えあう体制と「花の里づくり」をテーマとした組織づくり及び人材の育成を目指す。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

人口減少、高齢化による衰退が予想される地域の課題解決のため、令和4年度から「集落支援員」を配置し、各地区・自治会はもとより、地域の活性化に取組む団体と連携し、地域振興補助金を活用した地域活性化を図るとともに、五箇地域「花の里づくり」を通じて新たな組織を立ち上げ、携わる人材の育成を支援し地域振興に繋げる。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	五箇地域振興事業	担当	五箇支所 地域振興係	整理番号	五-2

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	五箇花の里づくり協議会委託料 800 千円 どんと祭り補助金 90 千円 地域振興事業補助金 1,000 千円 ◆五箇地域集落課題対策事業 （集落支援員） ・住民との集落点検 ・まちづくりワークショップ開催 ・地区自治会、地域団体への支援活動 2,800 千円 ◆五箇地区文化･民俗･伝承施設活用事業 （地域おこし協力隊） ・町有施設再生企画、イベント事業 ・地元団体、生産者との産直市運営事業 ・地域情報発信活動 2,800 千円 千円 千円 千円 千円	五箇花の里づくり協議会委託料 1,000 千円 どんと祭り補助金 90 千円 地域振興事業補助金 1,000 千円 ◆五箇地域集落課題対策事業 （集落支援員） ・住民との集落点検 ・まちづくりワークショップ開催 ・地区自治会、地域団体への支援活動 4,000 千円 ◆五箇地区文化･民俗･伝承施設活用事業 （地域おこし協力隊） ・町有施設再生企画、イベント事業 ・地元団体、生産者との産直市運営事業 ・地域情報発信活動 4,000 千円 千円 千円 千円 千円	五箇花の里づくり協議会委託料 1,000 千円 どんと祭り補助金 90 千円 地域振興事業補助金 1,000 千円 ◆五箇地区文化･民俗･伝承施設活用事業 （地域おこし協力隊） ・町有施設再生企画、イベント事業 ・地元団体、生産者との産直市運営事業 ・地域情報発信活動 4,000 千円 千円 千円 千円 千円	五箇花の里づくり協議会委託料 1,000 千円 どんと祭り補助金 90 千円 温泉源利活用整備事業 1,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円	五箇花の里づくり協議会委託料 1,000 千円 どんと祭り補助金 90 千円 地域振興事業補助金 1,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	7,490 千円	10,090 千円	6,090 千円	2,090 千円	2,090 千円
財源内訳	国補助　千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　1,000 千円 一般財源　6,490 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　1,000 千円 一般財源　9,090 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　1,000 千円 一般財源　5,090 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　1,000 千円 一般財源　1,090 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　1,000 千円 一般財源　1,090 千円
目標値	①　240人/年　④ ②　⑤ ③　⑥	①　250人/年　④ ②　⑤ ③　⑥	①　250人/年　④ ②　⑤ ③　⑥	①　250人/年　④ ②　⑤ ③　⑥	①　250人/年　④ ②　⑤ ③　⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	都万支所地域振興事業	担当	都万支所 地域振興係	整理番号	都万-1

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	4.移住・定住しやすい環境を整えます
重点施策	地域振興事業補助金
関連計画	

予算区分	一般会計	款	2	項	1	目	4

指標		令和6年度目標値
①	UIターン者数（KPI）	250人/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

都万地域の魅力の情報発信、地域活性のイベント等を支援し、交流人口及び関係人口を増やすことで移住定住につなげることを目的とする。

【事業概要】

地域おこし協力隊により、若者層をターゲットとした都万地域の魅力を発信し、交流人口の拡大を図る。

交流人口の拡大、地域の活性化を図るため、都万の自然を生かしたイベントに対し補助金を交付するとともに、実施に対し人的支援を行う。

・つつじ祭り　5月上旬開催（場所：亀の原水鳥公園）

・海幸まつり　10月中旬開催（場所：ハーバー凪周辺）

2.令和　4　年度事業実績（Do）

海幸まつり補助金

200千円

地域振興事業補助金

198千円

実績額	398 千円
財源内訳 国補助	千円
財源内訳 県補助	千円
財源内訳 起債	千円
財源内訳 特定	198 千円
財源内訳 一般財源	200 千円

実績値				
①	232人/年	④		
②		⑤		
③		⑥		

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

都万地区滞在交流型観光推進委員会により、都万地区に特化した新たな体験メニューを作成した。体験者数も年々増加し、参加者からは高評価を得ている。

つつじ祭りや海幸まつりについては、天候や日程に左右されるが、地元住民や観光客に都万のイベントとして浸透しており、来場者は年々増加している。

【②.事業の課題】

都万地区には島内唯一のダイビング施設があるが、現在のスタッフ以外にインストラクターがおらず、近い将来、運営が成り立たなくなり、貴重な観光アクティビティが失われてしまう。

地域資源を活用した観光メニュー体験サポートやイベントの企画などが不足している。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

本事業は、将来的なを移住定住につなげるために必要な事業であり、今後も地域の魅力向上につながるような情報発信、イベントを実施する。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

島内唯一のダイビング施設「隠岐の国ダイビング」のインストラクター後継者を育成することで持続的な運営を図り、また育成にあたり地域おこし協力隊の活用を検討する。

更にオフシーズンには漁業に従事していただき、漁業の担い手不足解消も図る。

観光メニューの情報発信やサポート、イベント企画など地域活性化を行う協力隊も募集する

地域振興事業補助金については、高齢化及び少子化により、地区の振興及び維持が困難な状況になっていくことが見込まれることから、その対策を行うための補助金である。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	都万支所地域振興事業	担当	都万支所 地域振興係	整理番号	都万-1

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	千円 亀の原つつじ祭り補助金 50 千円 海幸まつり補助金 200 千円 地域振興事業補助金 1,000 千円	地域おこし協力隊事業（2名） 観光ダイビング及び漁業の業務継承 ・ダイビング職場での勉強・訓練 ・漁業の実地体験 ・ダイビング関連資格の取得 都万地域コーディネーター ・都万地域活性化のためのサポート 6,524 千円 亀の原つつじ祭り補助金 50 千円 海幸まつり補助金 200 千円 地域振興事業補助金 1,000 千円	地域おこし協力隊事業（2名） 観光ダイビング及び漁業の業務継承 ・ダイビング職場での勉強・訓練 ・漁業の実地体験 ・ダイビング関連資格の取得 都万地域コーディネーター ・都万地域活性化のためのサポート 6,524 千円 亀の原つつじ祭り補助金 50 千円 海幸まつり補助金 200 千円 地域振興事業補助金 1,000 千円	地域おこし協力隊事業（2名） 観光ダイビング及び漁業の業務継承 ・ダイビング職場での勉強・訓練 ・漁業の実地体験 ・ダイビング関連資格の取得 都万地域コーディネーター ・都万地域活性化のためのサポート 6,524 千円 亀の原つつじ祭り補助金 50 千円 海幸まつり補助金 200 千円 地域振興事業補助金 1,000 千円	千円 亀の原つつじ祭り補助金 50 千円 海幸まつり補助金 200 千円 地域振興事業補助金 1,000 千円
事業費	1,250 千円	7,774 千円	7,774 千円	7,774 千円	1,250 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円
財源内訳 一般財源	250 千円	6,774 千円	6,774 千円	6,774 千円	250 千円
目標値 ①	230人/年	230人/年	230人/年	230人/年	230人/年
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	布施地域振興事業	担当	布施支所 地域振興係	整理番号	布-1

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	4.移住・定住しやすい環境を整えます
重点施策	地域振興事業補助金
関連計画	

予算区分	一般会計	款	2	項	1	目	4

指標		令和6年度目標値
①	UIターン者数（KPI）	250人/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

地域活性化に資する事業を実施することにより交流人口及び関係人口の拡大を図り、地域への将来的な移住･定住につなげる。

【事業概要】

◆地域内観光施設や遊休施設を活用した事業を企画･実施し、交流人口及び関係人口の拡大を図る。
・浄土ヶ浦園地及び浄土ヶ浦休憩所等の管理･運営
・国民保養センター＆ホテルサンライズ布施の活用
◆やる気のある団体や個人が主体となって行う事業への支援を行い、地域に活力を育む。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

【令和４年度実績】
地域おこし協力隊の活動内容
・布施暮らし体験ツアー
【141千円】
・地域おこし協力隊関係セミナー等
【411千円】
・サイクリング企画及びフリーマーケット
【48千円】
・ポロシャツ作成
【113千円】

地域活動補助金
・イルミネーション、遊具等購入
【207千円】
・生産活動拠点施設整備費
【200千円】
・春日の浦秋のふるさと体験事業
【85千円】
・浄土ケ浦まつり開催補助金
【155千円】

実績額		1,360 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	90 千円
	一般財源	1,270 千円

実績値				
	①	242人/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

3年ぶりに浄土ヶ浦まつりを開催し、布施地域以外からも多くの方にご来場頂いた。布施暮らし体験ツアーでは、2,3年後はIターンしたいという意思表示もあった。遊休施設活用事業では、保養センターでフリーマーケットやサイクリング等イベントを開催し、参加者及び出店者から高い評価を頂いた。また、浄土ヶ浦休憩所では夏季限定でお食事処を営業し、地元を含む多くの町民の方や島外からの観光客にご来店いただき活性化を図ることができた。

【②.事業の課題】

イベント等事業を実施し交流人口・関係人口の拡大を図るも、現時点では確かな移住･定住につながっているとまでは言えず、また、地域資源を生かした事業の企画や情報発信が不十分であると考える。また、保養センターや周辺施設が有効に活用されておらず、交流人口・関係人口の拡大を図るうえで、より良い事業にするための余地が残されている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

地域に活力を生むために、また将来的な移住・定住につなげるために有効な事業である。引き続き、地域資源を活用したより良い事業の企画と実行、及び、地域の魅力向上につながるよう情報発信の充実強化を図らなければならない。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

◆遊休施設を含む地域資源を活用したより良い振興事業を企画し、継続して事業を実施することにより、交流人口及び関係人口の拡大を図り、将来の移住・定住につなげる。
◆事業実施に際しターゲットに対しての十分な広報活動と、参加者の満足度の向上、実施後の報告にも工夫を凝らし、魅力ある地域と感じてもらえるような情報発信を行う。
◆地域振興事業補助金については、地域との連携を密にし、地域を支える団体や個人に対し支援することにより地域の魅力や活力向上につなげる。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	布施地域振興事業	担当	布施支所 地域振興係	整理番号	布-1

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容	地域おこし協力隊 ◆浄土ケ浦園地活用・地域資源の発掘と活用 ・浄土ケ浦休憩所等の運営、利用促進及び情報発信 ・布施暮らしの魅力発掘と情報発信 ◆国民保養センター及び周辺施設利用・地域資源の活用 ・未利用施設を活用した、場所づくりの企画運営 ・隣接して運営している「ジオリゾートシンフォニー」と情報共有を図り、一体となった地域振興 3,648 千円 地域振興事業補助金 1,000 千円 千円 千円 千円 千円	地域おこし協力隊 ◆浄土ケ浦園地活用・地域資源の発掘と活用 ・浄土ケ浦休憩所等の運営、利用促進及び情報発信 ・布施暮らしの魅力発掘と情報発信 ◆国民保養センター及び周辺施設利用・地域資源の活用 ・未利用施設を活用した、場所づくりの企画運営 ・隣接して運営している「ジオリゾートシンフォニー」と情報共有を図り、一体となった地域振興 4,000 千円 地域振興事業補助金 1,000 千円 集落支援員 ◆遊休施設活用事業と地域をつなぎ、独立する実施団体の設立と地域全体の活力向上に資する ・実施団体等の設立と育成 ・活気ある地域変革への方策の検討と実行 4,450 千円 千円 千円 千円	地域おこし協力隊 ◆浄土ケ浦園地活用・地域資源の発掘と活用 ・浄土ケ浦休憩所等の運営、利用促進及び情報発信 ・布施暮らしの魅力発掘と情報発信 ◆国民保養センター及び周辺施設利用・地域資源の活用 ・未利用施設を活用した、場所づくりの企画運営 ・隣接して運営している「ジオリゾートシンフォニー」と情報共有を図り、一体となった地域振興 4,000 千円 地域振興事業補助金 1,000 千円 集落支援員 ◆遊休施設活用事業と地域をつなぎ、独立する実施団体の設立と地域全体の活力向上に資する ・実施団体等の設立と育成 ・活気ある地域変革への方策の検討と実行 4,450 千円 千円 千円 千円	千円 地域振興事業補助金 1,000 千円 集落支援員 ◆遊休施設活用事業と地域をつなぎ、独立する実施団体の設立と地域全体の活力向上に資する ・実施団体等の設立と育成 ・活気ある地域変革への方策の検討と実行 4,450 千円 千円 千円 千円	千円 地域振興事業補助金 1,000 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	4,648 千円	9,450 千円	9,450 千円	5,450 千円	1,000 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円
財源内訳 一般財源	3,648 千円	8,450 千円	8,450 千円	4,450 千円	千円
目標値 ①～⑥					

Ⅳ.活力を生み出すまち

基本施策	課名	事業名	頁	備考
1.既存産業の活性化と承継を進めます	商工観光課	産業人材育成事業	275～	
	商工観光課	商工業振興事業	277～	重複
	商工観光課	商工業振興事業振興センター整備事業	279～	
	農林水産課	水産業振興事業	281～	
	農林水産課	離島漁業再生支援事業	283～	
	農林水産課	特産品流通推進事業	285～	
	農林水産課	農業総務事務	287～	
	農林水産課	農業経営対策推進事業	289～	
	農林水産課	農業活性化事業	291～	
	農林水産課	中山間地域等直接支払事業	293～	
	農林水産課	畜産業振興事業	295～	
	農林水産課	公共牧野整備事業	297～	
	農林水産課	林業振興事業	299～	
	農林水産課	林業成長産業化地域創出モデル事業	301～	
	農林水産課	多面的機能支払事業	303～	
	農林水産課	国庫土地改良事業	305～	
	農林水産課	町単土地改良事業	307～	
	農林水産課	県営土地改良事業	309～	
	農林水産課	土地改良施設維持管理適正化事業	311～	
	農林水産課	農道橋梁長寿命化対策事業	313～	
	農林水産課	農業水路等長寿命化・防災減災事業	315～	
	農林水産課	町単林道事業	317～	
	農林水産課	県営林道事業	319～	
	農林水産課	林業専用道開設事業	321～	
	農林水産課	林道橋梁長寿命化対策事業	323～	
	農林水産課	林道改良事業	325～	
	農林水産課	漁港・海岸施設長寿命化事業	327～	
	農林水産課	中村地区集落環境整備事業	329～	
	農林水産課	漁港施設機能強化事業	331～	
	農林水産課	港再整備交付金事業	333～	
	布施支所	町有林管理事業	335～	

基本施策	課名	事業名	頁	備考
2.島の特性を活かした新たな産業を育成します	商工観光課	企業誘致事業	337～	
	環境課	再生可能エネルギー事業	339～	（重複）
3.ひとの往来を促す離島交通の充実を図ります	地域振興課	海上交通維持対策事業	341～	
	商工観光課	航空機利用促進対策事業	343～	
4.ひとを惹きつける観光地づくりを進めます	商工観光課	観光総務事務	345～	
	商工観光課	観光振興事業	347～	
	商工観光課	都市交流推進事業	351～	
	商工観光課	国際交流推進事業	353～	
	商工観光課	ジオパーク推進事業	353～	
	商工観光課	観光施設管理運営事業	355～	
	商工観光課	観光宿泊施設整備事業	359～	
	都市計画課	都市再生整備事業	361～	
	五箇支所	五箇地区観光施設管理運営事業	365～	
	都万支所	都万地区観光施設管理運営事業	367～	
	布施支所	布施地区観光施設管理運営事業	369～	
5.島内流通の活性化を進めます	商工観光課	商工業振興事業	371～	（重複）
	総務学校教育課	学校給食センター管理運営事業	373～	（重複）
	総務学校教育課	学校給食調理事業	375～	（重複）

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	産業人材育成事業	担当	商工観光課 商工労働係	整理番号	商観-3

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	隠岐の島町中小企業・小規模企業振興計画
予算区分	一般会計　款 5　項 1　目 1

指標		令和6年度目標値
①	雇用対策協議会会員数(KPI)	70事業所
②	若年者・UIターン者の雇用者数(5年間の累計値)	60人
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

本町の事業所においては慢性的な人材不足の問題を抱えており、有効求人倍率も高い水準で推移している状況となっている。このため、町内の高校の新卒者の若年者の雇用、UIターン者の雇用対策に産官学民が連携し、産業人材の育成、確保に取り組み、本町における安定した雇用創出を図ることを目的とする。

【事業概要】

町内の産官学民が連携して設立した隠岐の島町雇用対策協議会を中心として、町内事業所を対象とした各種人材育成研修、UIターン者を含む若年者等の雇用に対する補助金制度を制定し、町内での安定した雇用の創出、産業人材の確保・育成を図る。
また、「地域人口の急減に対処するための特定地域づくり事業の推進に関する法律」（令和2年6月施行）に基づく、事業協同組合を設立し、地域づくり人材の確保、地域社会の維持及び地域経済の活性化に取り組む。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

新規学卒者・若年者等の町内就職を促進する事業補助金
14,897千円
・令和2年度年度採用者
11事業所12名
（月額5万円・3年間）
・令和3年度～4年度採用者
18事業所28名
（月額3万円・3年間）

特定地域づくり事業
事業協同組合設立支援金
（令和3年度繰越）　2,500千円
事業協同組合設立支援補助金
1,000千円
事業協同組合運営費補助金
101千円
隠岐の島町雇用対策協議会補助金
200千円
・会員数：59事業所
民間事業所：45事業所
教育機関：4事業所
関係機関・団体：10事業所
・新卒・若年者研修支援及び人材育成等研修事業(3回)
・ジョブフェア(1回)
・町内企業合同就職相談会(1回)

(一社)離島百貨店負担金
240千円

実績額		18,938 千円
財源内訳	国補助	50 千円
	県補助	1,000 千円
	起債	15,000 千円
	特定	千円
	一般財源	2,888 千円

実績値				
	①	55事業所	④	
	②	48人	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

特定地域づくり事業については、令和4年3月に隠岐の島町地域人材づくり協同組合が設立された。令和４年度については、派遣事業実施に係る許認可等に係る事務手続きを行い、令和5年4月からの派遣事業を開始し、4名のマルチワーカーの雇用を計画している。

【②.事業の課題】

慢性的な人材不足の状況を改善するためにも、即効性のある短期的な取り組みを進めるとともに、アフターコロナ、人口減少等の社会情勢に応じた中長期的な雇用施策の再検討が必要となっている。
また、人材確保に併せて、労働者向けの賃貸住宅等の不足が大きな課題となっている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

特定地域づくり事業については、短期的な人材確保にもつながる重要な事業であるため、引き続き町内事業所の組合員の拡大を図り、UIターン者及び地域おこし協力隊からの移行も含めたマルチワーカーの確保に取り組む。
また、労働者向け住宅の確保については、既存町有施設の有効活用のほか、町内事業所との連携を図った対策の検討を行う。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　令和４年度評価済

産業振興において、人づくりは必須であり、未来を語るには、最重要課題であると認識しています。事業所が人材不足で苦慮する状況において、令和4年度から実施される「特定地域づくり事業」は大きな鍵を握っています。町内事業所等との連携を密にし、雇用の確保、労働環境整備、ひいては島の経済的発展に繋がることを期待しています。

4.改善・見直し（Action）

令和3年度から実施している「町内事業所の新たな雇用を支援する事業補助金」（月額3万円、1事業所あたり2名以内、対象被雇用者の年齢40歳未満）については、令和5年度採用者分の申請をもって終了となる。
本制度については令和5年度中に効果検証を行い、長期的な産業人材の育成、確保、働く女性の労働環境整備等につながる新たな制度の創設に向けた検討を進める。
また、労働者向け住宅の確保については、公営住宅等の既存ストックの有効活用について関係部局と対策の協議、検討を行う。
併せて、労働者向けのシェアハウス等の整備に取り組む意欲のある町内事業所との連携を図るための支援制度の創設にも取り組む。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	産業人材育成事業	担当	商工観光課 商工労働係	整理番号	商観-3

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	隠岐の島町雇用対策協議会補助金 10/10補助 1,100 千円 町内事業所の新たな雇用を支援する事業補助金 月額：30千円 R3採用者分 11名 R4採用者分 14名 R5採用者分 15名 14,400 千円 特定地域づくり事業推進交付金 事業協同組合補助金 運営費補助金　9,240千円 事業費:18,480千円×1/2 ・派遣職員人件費4名 ・事務局運営費 9,240 千円 千円 千円 千円	隠岐の島町雇用対策協議会補助金 10/10補助 1,100 千円 町内事業所の新たな雇用を支援する事業補助金 月額：30千円 R4採用者分 14名 R5採用者分 15名 10,440 千円 特定地域づくり事業推進交付金 事業協同組合補助金 運営費補助金　15,000千円 事業費:30,000千円×1/2 ・派遣職員人件費6名 ・事務局運営費 15,000 千円 新）労働者向け賃貸住宅整備支援事業補助金（離島広域活性化事業） 6,000千円×2戸 補助対象事業費：10,000千円 補助率：2/3以内(国1/3・町1/3) 補助上限額：6,000千円 12,000 千円 千円 千円	隠岐の島町雇用対策協議会補助金 10/10補助 1,100 千円 町内事業所の新たな雇用を支援する事業補助金 月額：30千円 R5採用者分 15名 ※事業期間終了 5,400 千円 特定地域づくり事業推進交付金 事業協同組合補助金 運営費補助金　19,000千円 事業費:38,000千円×1/2 ・派遣職員人件費8名 ・事務局運営費 19,000 千円 労働者向け賃貸住宅整備支援事業補助金（離島広域活性化事業） 6,000千円×2戸 補助対象事業費：10,000千円 補助率：2/3以内(国1/3・町1/3) 補助上限額：6,000千円 12,000 千円 千円 千円	隠岐の島町雇用対策協議会補助金 10/10補助 1,100 千円 千円 特定地域づくり事業推進交付金 事業協同組合補助金 運営費補助金　23,000千円 事業費:46,000千円×1/2 ・派遣職員人件費10名 ・事務局運営費 23,000 千円 労働者向け賃貸住宅整備支援事業補助金（離島広域活性化事業） 6,000千円×2戸 補助対象事業費：10,000千円 補助率：2/3以内(国1/3・町1/3) 補助上限額：6,000千円 12,000 千円 千円 千円	隠岐の島町雇用対策協議会補助金 10/10補助 1,100 千円 千円 特定地域づくり事業推進交付金 事業協同組合補助金 運営費補助金　27,000千円 事業費:52,000千円×1/2 ・派遣職員人件費12名 ・事務局運営費 27,000 千円 千円 千円 千円
事業費	24,740 千円	38,540 千円	37,500 千円	36,100 千円	28,100 千円
財源内訳	国補助　千円 県補助　4,620 千円 起　債　15,500 千円 特　定　千円 一般財源　4,620 千円	国補助　6,000 千円 県補助　7,500 千円 起　債　11,500 千円 特　定　千円 一般財源　13,540 千円	国補助　6,000 千円 県補助　9,500 千円 起　債　6,500 千円 特　定　千円 一般財源　15,500 千円	国補助　6,000 千円 県補助　11,500 千円 起　債　1,100 千円 特　定　千円 一般財源　17,500 千円	国補助　千円 県補助　13,500 千円 起　債　1,100 千円 特　定　千円 一般財源　13,500 千円
目標値	①　66事業所　④ ②　48人　⑤ ③　⑥	①　70事業所　④ ②　60人　⑤ ③　⑥	①　70事業所　④ ②　60人　⑤ ③　⑥	①　70事業所　④ ②　60人　⑤ ③　⑥	①　70事業所　④ ②　60人　⑤ ③　⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	商工業振興事業	担当	商工観光課 商工労働係	整理番号	商観-4 重複

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	隠岐の島町中小企業・小規模企業振興計画
予算区分	一般会計　款 7　項 1　目 2

指標		令和6年度目標値
①	島内開業事業者数(KPI)	60件
②	島内における廃業件数(KPI)	7件
③	雇用対策協議会会員数(KPI)	70事業所
④	出産後職場復帰奨励金活用事業所件数(KPI)	25件/年
⑤	島内小売業の販売額(KPI)	13,304百万円/年
⑥		

【事業目的】

本町の商工業は人口減少や経済、社会情勢等の変化に伴い、商店の閉店に伴うにぎわいの喪失や利便性の低下、後継者や人材不足等の様々な課題を抱えている。この課題を解決するため、隠岐の島町商工会と連携を図り、課題解決に向けた各種補助金の創設など、町内の中小企業、小規模事業者への支援を行う。

【事業概要】

本町の商工業の活性化及び地域商業機能の維持に向けた取り組みを支援する。具体的な内容は下記のとおり。
①商工会への支援：隠岐の島町商工会補助金、消費喚起支援事業補助金（運営費や地域振興推進員の配置等に係る事業費の補助）
②商工事業者への支援：雇用機会拡充事業補助金、地域商業等支援事業費補助金、店舗等改善事業費補助金、移動販売継続支援事業補助金等による支援。
③島根県中小企業制度融資：「小規模企業特別資金」及び「小規模企業育成資金」の原資を預託し制度融資の活用を図る。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

○隠岐の島町商工会補助金
　運営費補助金　7,924千円
　地域振興推進員人件費
　2,515千円
○雇用機会拡充事業補助金
　1件　6,163千円
○特定経営基盤維持事業補助金
　3件　3,558千円
○地域商業等支援事業費補助金
　4件　2,561千円
○店舗等改善事業費補助金
　2件　450千円
○移動販売継続支援事業費補助金
　2件　1,200千円
○地域経済循環創造事業補助金
　1件　20,985千円
○島根県中小企業制度融資
　（預託金）　10,000千円

実績額		55,356 千円
財源内訳	国補助	15,738 千円
	県補助	9,380 千円
	起債	千円
	特定	15,247 千円
	一般財源	14,991 千円

実績値				
①	50件	④	11件/年
②	15件	⑤	10,719百万円/年
③	55事業所	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

隠岐の島町商工会に地域振興推進員を配置し事業者との情報共有や調査等を随時行った他、商工会による経営安定に向けた支援により、商工事業者の事業継続や創業、事業拡大を支援し、地域商工業の活性化につながる施策を講じた。また、前年度に引き続きコロナ禍における事業継続、雇用維持にかかる本町独自の事業者支援を行ったほか、物価高騰対策として地域内の消費喚起と家計支援策として、全町民を対象とした地域応援商品の発行も実施し町内経済の回復を図った。

【②.事業の課題】

後継者不在による事業承継の問題や人材不足の状況は深刻化しており、喫緊の課題となっている。また、エネルギー価格・原材料費の高騰による商工業者、地域経済への影響も懸念される。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

地域経済を維持し、地域商工業の活性化と振興を図るためにも、体制の基盤となる商工会への支援を継続する。また、高齢化、後継者不在による事業承継の問題や人材不足について必要な施策の検討を行い、対応する国・県の支援制度も有効に活用する。エネルギー価格・原材料費の高騰の影響について、随時現状把握に努め地域商工業の経営の安定化・町内経済の活性化に資する支援策に取り組む必要がある。

【④.外部評価】　方向性：　拡大　　令和３年度評価済

事業承継の問題、人材不足、更に新型コロナウィルス感染症の影響により事業継続が危ぶまれる中で、島内事業者にとって重要な施策です。地域商工業の維持、そして活性化が図られるように、事業者の状況等を把握の上、関係機関と連携して現状に即した支援に取組んで頂きたいです。特に、新型コロナウィルス感染症の影響を受けた事業者への支援に取組みつつ、アフターコロナを見据えた中長期的な事業者の支援策を講じることが重要ではないでしょうか。

4.改善・見直し（Action）

・商工会への支援
　地域振興推進員の配置についてはコロナ禍の状況も正常化しつつあることから、令和4年度をもって終了した。
　運営費の支援については継続して実施する。
・商工事業者への支援
　エネルギー価格・原材料費の高騰の影響を随時把握し、地域商工業の活性化のみではなく事業継続を図る施策も検討する。
　既存事業者のアフターコロナを見据えた店舗等の魅力化向上、新事業展開等へのニーズが高まっていることを踏まえ新たに店舗等魅力化向上支援事業費補助金を制定する。
・商業機能の維持
　小売店の地元購買率の向上、地域内の経済循環を促すための具体的施策の検討も進める。
・事業承継の対応
　隠岐の島町商工会、隠岐の島町事業承継推進協議会と連携し、第三者承継等も含めた事業承継支援等を検討する。
・中長期的な戦略として、令和5年度において隠岐の島町中小企業・小規模企業振興計画の第2次計画の策定に商工会と連携して取り組む。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	商工業振興事業	担当	商工観光課 商工労働係	整理番号	商観-4 重複

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	隠岐の島町商工会補助金 運営費補助金 8,588 千円 雇用機会拡充事業補助金 事業拡大　1件　12,000千円 創業　1件　4,500千円 16,500 千円 地域商業等支援事業費補助金 小売店等開業支援事業　1,500千円 買い物不便対策事業　1,000千円 2,500 千円 (新)店舗等魅力化向上支援事業費補助金 4件 2,000 千円 移動販売継続支援事業費補助金 車検・整備費　300千円 燃料費　600千円 運営支援費　3,600千円 4,500 千円 島根県中小企業制度融資（預託金） 10,000 千円 (新)創業者向け融資保証料補助金 5件 400 千円 千円	隠岐の島町商工会補助金 運営費補助金 8,588 千円 雇用機会拡充事業補助金 事業拡大　1件　12,000千円 創業　1件　4,500千円 ※助成額は事業者決定後に算出 千円 地域商業等支援事業費補助金 小売店等開業支援事業　2,000千円 買い物不便対策事業　1,000千円 3,000 千円 店舗等魅力化向上支援事業費補助金 6件 3,000 千円 移動販売継続支援事業費補助金 車検・整備費　300千円 燃料費　600千円 運営支援費　3,600千円 ※内容変更の可能性あり 4,500 千円 島根県中小企業制度融資（預託金） 10,000 千円 創業者向け融資保証料補助金　5件 400 千円 千円	隠岐の島町商工会補助金 運営費補助金 8,588 千円 雇用機会拡充事業補助金 事業拡大　1件　12,000千円 創業　1件　4,500千円 ※助成額は事業者決定後に算出 千円 地域商業等支援事業費補助金 小売店等開業支援事業　2,000千円 買い物不便対策事業　1,000千円 3,000 千円 店舗等魅力化向上支援事業費補助金 6件 3,000 千円 移動販売継続支援事業費補助金 車検・整備費　300千円 燃料費　600千円 運営支援費　3,600千円 ※内容変更の可能性あり 4,500 千円 島根県中小企業制度融資（預託金） 10,000 千円 創業者向け融資保証料補助金　5件 400 千円 千円	隠岐の島町商工会補助金 運営費補助金 8,588 千円 雇用機会拡充事業補助金 事業拡大　1件　12,000千円 創業　1件　4,500千円 ※助成額は事業者決定後に算出 千円 地域商業等支援事業費補助金 小売店等開業支援事業　2,000千円 買い物不便対策事業　1,000千円 3,000 千円 店舗等魅力化向上支援事業費補助金 6件 3,000 千円 移動販売継続支援事業費補助金 車検・整備費　300千円 燃料費　600千円 運営支援費　3,600千円 ※内容変更の可能性あり 4,500 千円 島根県中小企業制度融資（預託金） 10,000 千円 創業者向け融資保証料補助金　5件 400 千円 千円	隠岐の島町商工会補助金 運営費補助金 8,588 千円 雇用機会拡充事業補助金 事業拡大　1件　12,000千円 創業　1件　4,500千円 ※助成額は事業者決定後に算出 千円 地域商業等支援事業費補助金 小売店等開業支援事業　2,000千円 買い物不便対策事業　1,000千円 3,000 千円 店舗等魅力化向上支援事業費補助金 6件 3,000 千円 移動販売継続支援事業費補助金 車検・整備費　300千円 燃料費　600千円 運営支援費　3,600千円 ※内容変更の可能性あり 4,500 千円 島根県中小企業制度融資（預託金） 10,000 千円 創業者向け融資保証料補助金　5件 400 千円 千円
事業費	44,488 千円	29,488 千円	29,488 千円	29,488 千円	29,488 千円
財源内訳	国補助　千円 県補助　15,000 千円 起債　千円 特定　12,750 千円 一般財源　16,738 千円	国補助　千円 県補助　1,500 千円 起債　千円 特定　10,000 千円 一般財源　17,988 千円	国補助　千円 県補助　1,500 千円 起債　千円 特定　10,000 千円 一般財源　17,988 千円	国補助　千円 県補助　1,500 千円 起債　千円 特定　10,000 千円 一般財源　17,988 千円	国補助　千円 県補助　1,500 千円 起債　千円 特定　10,000 千円 一般財源　17,988 千円
目標値	①　48件　④　25件/年 ②　9件　⑤　13,304百万円/年 ③　66事業所　⑥	①　60件　④　25件/年 ②　7件　⑤　13,304百万円/年 ③　70事業所　⑥	①　60件　④　25件/年 ②　7件　⑤　13,304百万円/年 ③　70事業所　⑥	①　60件　④　25件/年 ②　7件　⑤　13,304百万円/年 ③　70事業所　⑥	①　60件　④　25件/年 ②　7件　⑤　13,304百万円/年 ③　70事業所　⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	商工業振興センター整備事業	担当	商工観光課 商工労働係	整理番号	商観-5

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	隠岐の島町中小企業・小規模企業振興計画
予算区分	一般会計　款 7　項 1　目 2

指標		令和6年度目標値
①	島内開業事業者数(KPI)	60件
②	島内における廃業件数(KPI)	7件
③	雇用対策協議会会員数(KPI)	70事業所
④	出産後職場復帰奨励金活用事業所件数(KPI)	25件/年
⑤	島内小売業の販売額(KPI)	13,304百万円/年
⑥		

【事業目的】

「隠岐の島町ふれあいセンター」を地域経済の振興を図るための拠点施設（「商工業振興センター」）として整備する。本町の商工業者の中心を担っている中小企業・小規模企業の活性化の根幹を担う隠岐の島町商工会等の事務所として活用することにより、地域経済の活性化を図る。

【事業概要】

「隠岐の島町ふれあいセンター」を「商工業振興センター」として整備する。
①令和4年4月～　施設改修工事に係る調査設計業務を実施
②令和5年7月～　施設改修工事を実施。
　　改修工事完了後に施設利用開始

2.令和　4　年度事業実績（Do）

隠岐の島町商工業振興センター
　改修工事実施設計業務　　3,594千円
　給水管布設工事　　1,636千円

実績額		5,230 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	5,200 千円
	特定	千円
	一般財源	30 千円

実績値				
①	50件	④	11件/年
②	15件/年	⑤	10,719百万円/年
③	55事業所	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和4年度において、改修工事に係る調査設計業務を行い、令和５年７月から改修工事を実施する計画となっている。施設整備後の管理運営方法については、令和４年度において隠岐の島町商工会と施設整備に係る基本的事項について確認している。

【②.事業の課題】

施設整備にあたっては、老朽箇所等の調査を十分に行い改修工事を実施する必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

隠岐の島町商工会の現事務所は建設から50年以上が経過し、老朽化が著しい状態となっている。また、駐車場が狭く部会、会議、研修等の活動が十分に対応できない状況となっている。隠岐の島町ふれあいセンターは、建物の耐震性については問題なく、老朽箇所の改修工事を行うことで継続して有効活用することが可能である。このため、地域経済の活性化を図る拠点施設としての整備を行う。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

令和5年中に利用団体と詳細な維持管理方法について協議を行い、適切な施設運営を図る。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	商工業振興センター整備事業	担当	商工観光課 商工労働係	整理番号	商観-5

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	商工業振興センター改修工事 改修工事費　86,356千円 工事管理費　1,254千円 事務費　1,000千円				
	88,610 千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	88,610 千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	58,600 千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	30,000 千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	10 千円	千円	千円	千円	千円
目標値 ①	48件	60件			
目標値 ②	9件	7件			
目標値 ③	66事業所	70事業所			
目標値 ④	25件/年	25件/年			
目標値 ⑤	13,304百万円/年	13,304百万円/年			
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	水産業振興事業	担当	農林水産課 水産振興室	整理番号	農-1

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	FRP漁船廃棄処分輸送費支援事業
関連計画	隠岐の島町水産業振興計画

予算区分	一般会計	款	6	項	3	目	2

指標		令和6年度目標値
①	種苗放流魚の漁獲高（KPI）	570t/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

近年の漁獲量の減少、漁業就労者の高齢化・後継者不足など、本町における水産業の様々な課題の解決に向け、漁場環境の改善、漁業就業者の確保等を図る。

【事業概要】

漁場環境の改善、漁業就業者の確保に向けた取り組みを実施する。
◇マダイ放流事業　　放流尾数　25万尾/年
◇水産業振興補助金
　・FRP漁船廃船処理支援事業（1/2 助成）
　・廃棄漁網輸送費支援事業（1/2 助成）
◇沿岸漁業スタートアップ事業補助金（2/3 補助）
◇自営漁業者自立給付金（10万円/月 給付）

2.令和　4　年度事業実績（Do）

◇西郷お魚センター
　高圧気中開閉器等取替工事
　1,205千円

◇隠岐の島町特産物処理加工施設
　備品購入
　ｶﾞｽ式ｽﾁｰﾑｺﾝﾍﾞｸｼｮﾝ
　1,100千円

◇マダイ放流事業負担金
　マダイ稚魚放流　25万尾
　1,917千円

◇水産業振興事業補助金
　FRP漁船解体輸送費支援　20件
　2,941千円
　廃棄漁網輸送費支援　1件
　40千円

◇沿岸漁業ｽﾀｰﾄｱｯﾌﾟ事業補助金
　1件
　2,000千円

◇自営漁業者自立給付金　2件
　2,300千円

実績額		11,503 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	2,150 千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	9,353 千円

実績値				
	①	205t/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

FRP漁船の廃船処理を支援することにより、廃船処理を躊躇していた漁業者も徐々に活用してきている状況であり、助成件数も増加傾向にある。
また、新規沿岸自営漁業者への支援を行うことで、令和4年度においては2名の沿岸自営漁業就業者の確保に繋がった。

【②.事業の課題】

廃棄が必要な数多くのFRP漁船が、依然として町内の漁港・港湾・河川等に放置されており、景観を損なうだけではなく、他の漁業者や近隣住民とのトラブルが発生するなど社会問題となっている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

マダイ稚魚等の放流を継続して行うことにより、沿岸漁業資源の維持・回復を図る。
引き続きFRP漁船の廃船処理を支援し、町内の景観保全、漁港・港湾・河川等の適正な管理を行う。
新たに沿岸自営漁業者を目指す方を支援し、高齢化・後継者不足といった問題解決を図る。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

FRP製品は島内での処分が困難であることから、島内での解体費・本土への移送経費について助成するFRP漁船廃船処理支援事業を引き続き実施する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	水産業振興事業	担当	農林水産課 水産振興室	整理番号	農-1

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	マダイ放流事業負担金 （社団法人 島根県水産振興協会） 2,462 千円 水産業振興補助金 ・FRP漁船廃船処分輸送費支援 ・廃棄漁網輸送費支援 ・隠岐のいわがき生産振興支援 2,450 千円 沿岸漁業スタートアップ事業補助金 ・中古漁船、漁具取得費支援（3件） 6,000 千円 自営漁業者自立給付金 ・漁業定着支援給付金（4件） 4,800 千円 水産業競争力強化漁船導入促進事業 補助金（まき網運搬船 300ｔ） 20,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円	マダイ放流事業負担金 （社団法人 島根県水産振興協会） 2,462 千円 水産業振興補助金 ・FRP漁船廃船処分輸送費支援 ・廃棄漁網輸送費支援 ・隠岐のいわがき生産振興支援 2,450 千円 沿岸漁業スタートアップ事業補助金 ・中古漁船、漁具取得費支援（3件） 6,000 千円 自営漁業者自立給付金 ・漁業定着支援給付金（8件） 9,600 千円 水産業競争力強化漁船導入促進事業 補助金（バイ籠本船 19ｔ） 20,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円	マダイ放流事業負担金 （社団法人 島根県水産振興協会） 2,462 千円 水産業振興補助金 ・FRP漁船廃船処分輸送費支援 ・廃棄漁網輸送費支援 ・隠岐のいわがき生産振興支援 2,450 千円 沿岸漁業スタートアップ事業補助金 ・中古漁船、漁具取得費支援（3件） 6,000 千円 自営漁業者自立給付金 ・漁業定着支援給付金（12件） 14,400 千円 水産業競争力強化漁船導入促進事業 補助金（バイ籠本船 19ｔ） 20,000 千円 水産業競争力強化漁船導入促進事業 補助金（まき網本船 19ｔ） 20,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円	マダイ放流事業負担金 （社団法人 島根県水産振興協会） 2,462 千円 水産業振興補助金 ・FRP漁船廃船処分輸送費支援 ・廃棄漁網輸送費支援 ・隠岐のいわがき生産振興支援 2,450 千円 沿岸漁業スタートアップ事業補助金 ・中古漁船、漁具取得費支援（3件） 6,000 千円 自営漁業者自立給付金 ・漁業定着支援給付金（16件） 19,200 千円 水産業競争力強化漁船導入促進事業 補助金（バイ籠本船 19ｔ） 20,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円	マダイ放流事業負担金 （社団法人 島根県水産振興協会） 2,462 千円 水産業振興補助金 ・FRP漁船廃船処分輸送費支援 ・廃棄漁網輸送費支援 ・隠岐のいわがき生産振興支援 2,450 千円 沿岸漁業スタートアップ事業補助金 ・中古漁船、漁具取得費支援（3件） 6,000 千円 自営漁業者自立給付金 ・漁業定着支援給付金（18件） 21,600 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	35,712 千円	40,512 千円	65,312 千円	50,112 千円	32,512 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	15,400 千円	17,800 千円	29,200 千円	21,600 千円	12,800 千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	20,312 千円	22,712 千円	36,112 千円	28,512 千円	19,712 千円
目標値 ①	549t/年	570t/年	570t/年	570t/年	570t/年
目標値 ②③④⑤⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	離島漁業再生支援事業	担当	農林水産課 水産振興室	整理番号	農-2

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	隠岐の島町水産業振興計画

予算区分	一般会計	款	6	項	3	目	2

指標		令和6年度目標値
①	種苗放流魚の漁獲高（KPI）	570t/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

近年、漁業生産量の減少、漁業従事者の高齢化・後継者不足等により年々町内漁業者は厳しい状況下にあるため、地域資源である漁場の生産力の向上を図りつつ、地域の創意工夫により離島の特性を最大限に活用し、離島漁業の再生を図る。

【事業概要】

隠岐の島町漁業集落へ離島漁業再生支援交付金を交付する。
　対象世帯数：720世帯（7地区）　令和5年度（第4期　4年目／5年）
◇種苗放流（アワビ・キジハタ・カサゴ・クエ　他）
◇漁場改善・管理（磯焼け対策、藻場除去、海岸清掃）
◇産卵・育成場整備（漁礁設置、築いそ）
◇漁場監視（違反漁業調査）
◇新たな魚種・漁法への取組み（視察研修、漁具導入）
◇加工場建設、加工品開発（水産加工場整備、施設改修）

2.令和　4　年度事業実績（Do）

◇会議費、報酬、備品購入
8,030千円

◇種苗放流
24,152千円

◇漁場管理、漁礁設置、築いそ
30,877千円

◇産品ブランド化、魚食普及事業
15,891千円

◇流通体制改善、新漁法取り組み
22,030千円

◇加工場整備、加工品開発
5,357千円

◇その他
2,255千円

◇事務費
2,395千円

実績額		110,987 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	84,671 千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	26,316 千円

実績値				
	①	205t/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

漁獲量が減少している中、漁礁設置・養殖場整備等、漁場の生産力の向上に向けた取り組みを実施し、地域漁業の活性化を図るとともに、年々減少する漁業就業者数の維持・後継者育成に向けた取り組みを実施した。また、各漁業集落施設の改修・整備を継続して行ったことにより、漁業者の就業環境の改善、利便性の向上が得られている。

【②.事業の課題】

隠岐諸島は、四方を日本海に囲まれた素晴らしい漁場環境を有する一方で、漁獲物の島外への輸出・販売、漁業資材の輸入などの点において、離島という不利な条件下に置かれ、様々な課題を抱えている。また、漁業者の高齢化が顕著であり、後継者の育成も大きな課題となっている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

漁業の基盤となる漁場の保全や、島内各集落での話し合いを通じて集落機能の再編を実施し、漁場の合理的な利用や新技術・漁法の導入、産地間競争に打ち勝っていくための環境を整えるとともに、漁場環境の保全活動を継続的に実施する。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　令和４年度評価済

漁業は隠岐の島町において基幹産業の一つであり、漁業が盛んであることが、町の活気の支えとなります。漁獲量の減少や後継者不足など、困難な問題に直面しながらも、様々な支援を実施していることも理解します。今後は、更なる持続可能な漁業を目指し、漁家の所得向上や、担い手の確保に取組んで下さい。また、実施にあたっては、関係機関や漁家との連携のもと、より実践的な取組みに期待します。

4.改善・見直し（Action）

安定した漁獲量の確保、漁場の生産力向上につながるよう、引き続き各漁業集落を支援する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	離島漁業再生支援事業	担当	農林水産課 水産振興室	整理番号	農-2

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	離島漁業再生支援交付金 （第4期　4年目/5年） 108,800 千円 事務費 2,404 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	離島漁業再生支援交付金 （第4期　5年目/5年） 108,800 千円 事務費 2,404 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	離島漁業再生支援交付金 （第5期　1年目/5年） 108,800 千円 事務費 2,404 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	離島漁業再生支援交付金 （第5期　2年目/5年） 108,800 千円 事務費 2,404 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	離島漁業再生支援交付金 （第5期　3年目/5年） 108,800 千円 事務費 2,404 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	111,204 千円	111,204 千円	111,204 千円	111,204 千円	111,204 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	84,785 千円	84,785 千円	84,785 千円	84,785 千円	84,785 千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	26,419 千円	26,419 千円	26,419 千円	26,419 千円	26,419 千円
目標値 ①	549t/年	570t/年	570t/年	570t/年	570t/年
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	特産品流通推進事業	担当	農林水産課 水産振興室	整理番号	農-3

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	隠岐の島町水産業振興計画
予算区分	一般会計　款 7　項 1　目 2

指標		令和6年度目標値
①	原木製品材の島外出荷量（KPI）	20,000㎥/年
②	米の出荷量（KPI）	476t/年
③	種苗放流魚の漁獲高（KPI）	570t/年
④	戦略産品（飲料）の島外出荷量	90,000ℓ/年
⑤		
⑥		

【事業目的】

離島という不利な立地条件の下、町産品の本土への出荷を支援し、島内事業者の創業・事業拡大を支援することにより生産者の所得向上、産品のブランド化、販路開拓・拡大を目指す。

【事業概要】

町内産品の島外流通、ブランド化を支援する。

◇戦略産品海上輸送費支援事業

隠岐-本土間の産品の海上輸送費を、8/10を上限とし助成する。

対象品目：木材・バイオ材(燃料用木材）・鮮魚・飲料等

◇雇用機会拡充事業

町内における雇用増に寄与する民間事業者に対し、創業・事業拡大に要する資金を補助することにより雇用機会の拡充を図る。

補助率：7.5/10（消費税は対象外）

2.令和　4　年度事業実績（Do）

◇海上輸送費支援事業

67,411千円

実績額		67,411 千円
財源内訳	国補助	50,558 千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	16,853 千円

実績値				
	①	19,702㎥/年	④	54,792ℓ/年
	②	350t/年	⑤	
	③	205t/年	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

戦略産品海上輸送費支援事業の実施により、本土への産品出荷を継続して行うことで、生産者の所得向上に寄与している。

コロナウイルス感染症の影響により実施できていなかった、特産品の販路開拓・拡大のため商談会への参加やサンプル品の発送について、状況を見ながら再開していくこととしている。

【②.事業の課題】

本町の特産品・生産品は、その品質が良いにも関わらず島外での認知度が低い。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

本土への産品出荷の継続及び、民間事業者等の雇用を伴う起業・事業拡大は、地域社会維持推進のためには必要不可欠である。国県の補助事業を活用した本事業を行うことで、事業者等の所得向上につながり、また、雇用の場を広く設けることが可能となる。

町にはブランド産品になり得る特産品が多くあるため、町産品のブランド化を見据えた事業実施に努め、引き続き島外へ向けたPRに尽力する。

【④.外部評価】　方向性：　手法・内容の見直し　令和４年度評価済

農林水産物の価格が低迷する中で、町産品の販路拡大や生産者の所得向上につながることが期待できる事業です。しかし、町のブランド品が確立されていない中で、町の施策としてどのように町のブランド品を生み出していくのかを具体的に示されていません。町のブランド品を確立し、かつ、町民誰もが町のブランド品がわかるように、ブランド戦略を立てて効果的な販路拡大に取り組んで頂きたいです。

4.改善・見直し（Action）

県外で実施される産品商談会・各種フェアへ参加するなど、産品のＰＲを積極的に展開していく。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	特産品流通推進事業	担当	農林水産課 水産振興室	整理番号	農-3

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	戦略産品海上輸送費支援事業 （木材・バイオ材・鮮魚・飲料等） 72,859 千円 雇用機会拡充事業補助金 （事業拡大:1件） 12,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	戦略産品海上輸送費支援事業 （木材・バイオ材・鮮魚・飲料等） 72,859 千円 雇用機会拡充事業補助金 事業拡大　1件　12,000千円 創業　1件　4,500千円 ※補助額は事業者決定後に算出 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	戦略産品海上輸送費支援事業 （木材・バイオ材・鮮魚・飲料等） 72,859 千円 雇用機会拡充事業補助金 事業拡大　1件　12,000千円 創業　1件　4,500千円 ※補助額は事業者決定後に算出 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	戦略産品海上輸送費支援事業 （木材・バイオ材・鮮魚・飲料等） 72,859 千円 雇用機会拡充事業補助金 事業拡大　1件　12,000千円 創業　1件　4,500千円 ※補助額は事業者決定後に算出 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	戦略産品海上輸送費支援事業 （木材・バイオ材・鮮魚・飲料等） 72,859 千円 雇用機会拡充事業補助金 事業拡大　1件　12,000千円 創業　1件　4,500千円 ※補助額は事業者決定後に算出 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	84,859 千円	72,859 千円	72,859 千円	72,859 千円	72,859 千円
財源内訳	国補助　54,644 千円 県補助　10,000 千円 起　債　千円 特　定　13,200 千円 一般財源　7,015 千円	国補助　54,644 千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　11,200 千円 一般財源　7,015 千円	国補助　54,644 千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　11,200 千円 一般財源　7,015 千円	国補助　54,644 千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　11,200 千円 一般財源　7,015 千円	国補助　54,644 千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　11,200 千円 一般財源　7,015 千円
目標値	①　19,000㎥/年　④　90,000ℓ/年 ②　476ｔ/年　⑤ ③　549ｔ/年　⑥	①　20,000㎥/年　④　90,000ℓ/年 ②　476ｔ/年　⑤ ③　570t/年　⑥	①　20,000㎥/年　④　90,000ℓ/年 ②　476ｔ/年　⑤ ③　570t/年　⑥	①　20,000㎥/年　④　90,000ℓ/年 ②　476ｔ/年　⑤ ③　570t/年　⑥	①　20,000㎥/年　④　90,000ℓ/年 ②　476ｔ/年　⑤ ③　570t/年　⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	農業総務事務	担当	農林水産課 農林振興係	整理番号	農-4

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	隠岐の島町有害鳥獣防止計画

予算区分	一般会計	款	6	項	1	目	2

指標		令和6年度目標値
①	米の出荷量（KPI）	476ｔ/年
②	子牛の出荷頭数（KPI）	400頭/年
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

有害鳥獣駆除により農作物・家畜等被害を防ぎ、農林水産業の活性化を図る。

【事業概要】

隠岐島猟友会と有害鳥獣駆除業務契約を実施し、被害防止に努める。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

有害鳥獣駆除業務委託料
1,410千円
・有害許可捕獲数　204羽

実績額		1,410 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	1,410 千円

実績値				
	①	350ｔ/年	④	
	②	359頭/年	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

農林水産関係の被害は、農業に関するものでは水稲や収穫前の野菜等に、畜産業においては繁殖牛に対して顕著に見られる。加害鳥獣としてはスズメ・カラス・カモ類・サギ類が主である。
これまでも捕獲対策を実施してきたが被害が増加しており、生息状況については、全体的にその数が増加傾向にある。

【②.事業の課題】

猟友会員のうち捕獲班として有害鳥獣捕獲に従事する者の高齢化が進んでおり、将来を見据えた育成が必要である。
これまで、銃器による捕獲を主体に行ってきたが、捕獲檻増設による効率的な捕獲対策についても検討が必要である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

鳥獣被害の防止のため、有害鳥獣捕獲班員の確保、保護機材の導入検討、及び、射撃場の修繕や鳥獣被害防止のための講習会等の実施を検討する。
また、本計画の対象鳥獣以外の鳥獣についても、被害が発生した場合は、速やかに捕獲や被害防止対策等を実施することとする。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

狩猟免許試験実施の広報など担い手の確保策について検討する。
実施隊の編成や対象鳥獣捕獲員については、今後の被害の推移等を勘案し、その設置を検討していく。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	農業総務事務	担当	農林水産課 農林振興係	整理番号	農-4

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	有害鳥獣駆除業務委託料	有害鳥獣駆除業務委託料	有害鳥獣駆除業務委託料	有害鳥獣駆除業務委託料	有害鳥獣駆除業務委託料
	1,568 千円	1,568 千円	1,568 千円	1,568 千円	1,568 千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	1,568 千円	1,568 千円	1,568 千円	1,568 千円	1,568 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	1,568 千円	1,568 千円	1,568 千円	1,568 千円	1,568 千円
目標値 ①	476ｔ/年	476ｔ/年	476ｔ/年	476ｔ/年	476ｔ/年
目標値 ②	400頭/年	400頭/年	400頭/年	400頭/年	400頭/年
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	農業経営対策推進事業	担当	農林水産課 農林振興係	整理番号	農-5

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	6	項	1	目	3

指標		令和6年度目標値
①	意欲ある担い手への農地集積率（KPI）	67%
②	米の出荷量（KPI）	476ｔ/年
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

担い手への農地の集積・集約化による水田のフル活用を図り、需要に応じた生産の促進と、水田農業の所得向上等により、新規就農者の確保及び農業経営の安定を図る。

農業振興地域整備計画の見直しを行うことにより、荒廃農地の発生予防と水田の有効利用を図る。

【事業概要】

担い手への農地の集積・集約化による、農業経営の合理化を進めると共に、新たな担い手の確保・経営の早期確立を図る為、経営資金を交付する。

また、新たな高収益作物の導入に向け、調査研究を行う。

農業振興地域整備計画策定に向け、基礎調査及び策定業務を行う。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

農地利用集積円滑化団体支援事業
29,882千円

機構集積協力金事業
2.4 ha　415千円
（機構集積）担い手集積支援金
1.9 ha　388千円

農業次世代人材投資事業
1人　112千円

環境保全型農業推進事業
14.12ha　847千円

県単農地有効利用支援整備事業
平地区 1,540千円

農業公社作業機械更新事業
トラクター1台　3,689千円

特色ある農産物研究事業
228千円

実績額		37,101 千円
財源内訳	国補助	112 千円
	県補助	1,996 千円
	起債	33,400 千円
	特定	千円
	一般財源	1,593 千円

実績値				
	①	56.70%	④	
	②	350t/年	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和4年度の農地集積は島根県37.3%、全国平均59.5%である中で、本町では56.7%(令和3年度54.4%)と着実に担い手（大規模農家）への農地集積が進んでおり、生産の効率化や省力化が図られてきている。新規就農者の確保では、長期の産業体験2名、就農相談ツアーで4名が来島し、就農相談により1名が園芸での就農を目指して、農業法人研修と農大への入学に向けて取り組む予定である。

【②.事業の課題】

耕作条件が悪いことで農地の集積が難しい地域もあり、農地の荒廃化が危惧される。担い手が農地を引き受けるが、農地の分散により作業効率が低下したり、引受可能な農地にも限界がある。また、担い手の高齢化により、後継者を確保する必要があるが、研修受入農家や農業の現状とのミスマッチにより、定着が進まない状況である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

効率的な農業経営を進めていくためには、担い手への農地の集積集約化を加速させる必要がある。また、食料の安定供給を図るためにも、利用農地を維持することは重要であり、関係機関と連携して、荒廃農地の発生予防等に取り組んでいく。併せて、農地の受け手となる新たな担い手の確保していく。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　令和３年度評価済

島の農業を維持するために農家への支援は必要であると判断します。農地の集積による農業経営の合理化を進め、また新規就農者の確保に引き続き取組んで下さい。

隠岐という地域特性にあった国や県の補助事業がなかなかない状況ではあるが、引き続き担い手への農地集積・集約化、農家の所得向上に繋がるように取組んで下さい。

4.改善・見直し（Action）

令和5～6年度にかけて、農地一筆ごとの目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する「地域計画」を定める。21の地域ごとで話合い、農地が適切に、かつ、利用されやすくなるように担い手への農地の集積集約化を図る。

産業体験、就農相談ツアー等により島内外から幅広く人材を募集していく。関係機関と連携したサポート体制により、新規就農希望者の就農前からの細やかなフォローアップを行なっていく。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	農業経営対策推進事業	担当	農林水産課 農林振興係	整理番号	農-5

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	農地利用集積円滑化団体支援事業 29,294 千円 機構集積協力金事業 地域集積 6.8 ha 担い手集積 7.5 ha 3,654 千円 農業次世代人材投資事業 1名 112 千円 環境保全型農業直接支払交付金　17ha 1,064 千円 県単農地有効利用支援整備事業 2,000 千円 五箇ライスセンター 機械更新事業　ミニ油圧ショベル 3,740 千円 WCS用稲収穫機一式(JA1/2負担) 専用コンバイン、ラップマシン 11,072 千円 農業振興地域整備計画策定事業 6,544 千円 千円 千円 千円 千円	農地利用集積円滑化団体支援事業 30,745 千円 機構集積協力金事業 地域集積 6.0 ha 担い手集積 7.0ha 3,080 千円 農業次世代人材投資事業 1名 1,500 千円 環境保全型農業直接支払交付金　30ha 1,800 千円 県単農地有効利用支援整備事業 2,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円	農地利用集積円滑化団体支援事業 28,945 千円 機構集積協力金事業 地域集積 6.0 ha 担い手集積 7.0ha 3,080 千円 農業次世代人材投資事業 1名 1,500 千円 環境保全型農業直接支払交付金　30ha 1,800 千円 県単農地有効利用支援整備事業 2,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円	農地利用集積円滑化団体支援事業 28,945 千円 機構集積協力金事業 地域集積 6.0 ha 担い手集積 7.0ha 3,080 千円 農業次世代人材投資事業 1名 1,500 千円 環境保全型農業直接支払交付金　30ha 1,800 千円 県単農地有効利用支援整備事業 2,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円	農地利用集積円滑化団体支援事業 28,945 千円 機構集積協力金事業 地域集積 6.0 ha 担い手集積 7.0ha 3,080 千円 農業次世代人材投資事業 1名 1,500 千円 環境保全型農業直接支払交付金　30a 1,800 千円 県単農地有効利用支援整備事業 2,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	57,480 千円	39,125 千円	37,325 千円	37,325 千円	37,325 千円
財源内訳	国補助　千円 県補助　5,564 千円 起　債　43,900 千円 特　定　千円 一般財源　8,016 千円	国補助　千円 県補助　7,042 千円 起　債　30,700 千円 特　定　千円 一般財源　1,383 千円	国補助　千円 県補助　6,930 千円 起　債　28,900 千円 特　定　千円 一般財源　1,495 千円	国補助　千円 県補助　6,930 千円 起　債　28,900 千円 特　定　千円 一般財源　1,495 千円	国補助　千円 県補助　6,930 千円 起　債　28,900 千円 特　定　千円 一般財源　1,495 千円
目標値	①　65%　④ ②　476ｔ/年　⑤ ③　⑥	①　67%　④ ②　476ｔ/年　⑤ ③　⑥	①　67%　④ ②　476ｔ/年　⑤ ③　⑥	①　67%　④ ②　476ｔ/年　⑤ ③　⑥	①　67%　④ ②　476ｔ/年　⑤ ③　⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	農業活性化事業	担当	農林水産課 農林振興係	整理番号	農-6

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	6	項	1	目	3

指標		令和6年度目標値
①	意欲ある担い手への農地集積率（KPI）	67%
②	米の出荷量（KPI）	476ｔ/年
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

水田のフル活用と需要に応じた生産の促進により、水田農業の所得向上等を図り、中心経営体の経営安定化及び新規就農者の確保により、持続可能な農業を展開する。

【事業概要】

担い手の施設整備を支援し、経営の強化・安定を図ると共に、特色ある米作りにより他の産地との差別化と、高収益作物の導入による所得の向上を図る。
・認定農業者の機械・施設整備
・農業用施設・機械等更新整備

2.令和　4　年度事業実績（Do）

農地乾田化推進事業
6名：1716m　　482千円

農業活性化対策支援事業
認定農業者機械等整備事業
認定農業者1名
園芸用加温機2台
598千円

産地創生事業
認定農業者用施設
・ハウス3棟
・集出荷場1棟
・低温貯蔵庫2台
園芸おためし施設
・ミニリースハウス1棟
・園芸用機械等一式
16,915千円

実績額		17,995 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	14,498 千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	3,497 千円

実績値				
	①	56.70%	④	
	②	350t/年	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和4年産米は、高温等による気象条件により収量・品質低下を招き、出荷量は前年値419t/年から16.5%ほど低下し、350t/年であった。
施設園芸に取組む担い手にハウス関連機械・施設を整備することができた。園芸作物の島内での流通拡大を目指し、安定した生産、収量確保に向けて栽培技術の向上に取り組んでいる。

【②.事業の課題】

農業用資材の高騰、エネルギー価格の高騰など生産コストが上昇していながら、米価への価格転嫁が進まず、担い手の農業経営は厳しさを増している。通常の生産コストの低減では経営の安定化が難しくなってきている。園芸作物の島内需要はありながらも担い手不足や高齢化により、供給量が追いついていない状況である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

安定した収量確保のための栽培技術の向上や作業の省力化、需要に応じた生産に向けて、先進技術・コスト削減技術の導入により生産コストの低減を図ることが必要である。また、農業制度を有効活用しながら中心経営体の経営の安定化が図られるように支援していく必要がある。併せて、限られた農地で高収益が得られる園芸の推進と担い手を確保することも必要である。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　令和４年度評価済

昨今の原油、肥料、資材の高騰に加え、需要の減少による更なる米価の下落が懸念される中、農家への支援は重要であると考えます。農業は隠岐の島町にとって基幹産業の一つであり、食糧需給に寄与することは当然のことながら、「国土の保全」や「田んぼのダム機能」など多面的な機能を有しています。町の活性化のためにも、関係機関や農家との連携のもと、持続可能な農業経営を実現できるよう継続して取り組んで下さい。

4.改善・見直し（Action）

米の生産コストの低減、作業の省力化を図るため、ドローン直播による実証実験を令和5～7年度の3年間で実施する。

中心経営体である認定農業者の農業経営改善計画の策定支援、各種補助・融資等の相談に応じ、経営改善に向けた支援を行なっていく。

園芸作物の新たな担い手確保のため、野菜講座による人材の掘り起しや就農パッケージによる募集を行なっていく。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	農業活性化事業	担当	農林水産課 農林振興係	整理番号	農-6

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	農地乾田化推進事業　L＝2,200ｍ 660 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	農地乾田化推進事業　L＝2,200ｍ 660 千円 農業活性化対策支援事業 ※事業採択後計上 （ハウス、機械整備） 千円 (新)都万農産品流通拠点施設 設備更新事業 農機具倉庫シャッター 2棟 2,000 千円 (新)久見特産品加工施設空調設備更新事業 950 千円 (新) 五箇ライスセンター空調設備更新事業 550 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	農地乾田化推進事業　L＝2,200ｍ 660 千円 農業活性化対策支援事業 ※事業採択後計上 （ハウス、機械整備） 千円 (新)五箇ライスセンター機械更新事業 2tダンプトラック(籾運搬等用) 4,300 千円 (新)五箇ライスセンター設備更新事業 施設外壁修繕 1,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	農地乾田化推進事業　L＝2,200ｍ 660 千円 農業活性化対策支援事業 ※事業採択後計上 （ハウス、機械整備） 千円 (新)五箇ライスセンター設備更新事業 施設外灯 500 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	農地乾田化推進事業　L＝2,200ｍ 660 千円 農業活性化対策支援事業 ※事業採択後計上 （ハウス、機械整備） 千円 (新)五箇ライスセンター設備更新事業 育苗ハウス（1/5棟） 5,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	660 千円	4,160 千円	5,960 千円	1,160 千円	5,660 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
県補助	千円	千円	千円	千円	千円
起　債	千円	2,000 千円	5,300 千円	500 千円	5,000 千円
特　定	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	660 千円	2,160 千円	660 千円	660 千円	660 千円
目標値 ①	65%	67%	67%	67%	67%
②	476ｔ/年	476ｔ/年	476ｔ/年	476ｔ/年	476ｔ/年
③					
④					
⑤					
⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	中山間地域等直接支払事業（第5期対策）	担当	農林水産課 農林振興係	整理番号	農-7

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	
予算区分	一般会計　款 6　項 1　目 3

指標		令和6年度目標値
①	意欲ある担い手への農地集積率	67%
②	米の出荷量	476t/年
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

農業就業人口の減少と、高齢化が著しい中山間地域において、農地の荒廃を防ぎ、農用地の持つ多面的機能を発揮させる必要がある。
また、食料自給力向上の観点からも、農地の維持が必要不可欠である。

【事業概要】

5年間継続して耕作放棄地の発生防止などの活動を行う場合、定額により交付金を支給する。
（田急）21,000円又は16,800円
（田緩）8,000円又は6,400円
（畑急）11,500円又は9,200円
（草地急）1,000円
（草地緩）300円

2.令和　4　年度事業実績（Do）

中山間地域等直接支払事業
集落単位の協定※数：48
農業者個別の協定数：4

総額：44,918,343円
国費：22,459,154円
県費：11,229,563円
町費：11,229,626円

※協定：農地の保全活動を行う農業者の団体

星登り、上三里、渡ゼ、アッソンの４協定で広域化を行い、新たに上三里協定となったので交付金の広域化加算を交付されている。

実績額		44,918 千円
財源内訳	国補助	22,459 千円
	県補助	11,229 千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	11,230 千円

実績値				
	①	56.70%	④	
	②	350t/年	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

本事業で農地保全活動を行う各協定が活動資金を確保することができ、各農業者が共同で農地の保全活動を行うため、荒廃農地の発生防止のために一定の役割を果たしている。また一部協定では保全する農地の規模拡大が行われた。

【②.事業の課題】

農業者の高齢化や後継者不足によって、保全する農地の規模を縮小したり、解散せざるを得ない協定が出てきている。その為、農地の荒廃化が危惧される地域も一部ではあるが見受けられる。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

更なる農地保全の規模縮小や、農地の荒廃化を防ぐために本事業による各協定、各農業者への支援は続けていく必要がある。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

農業者の高齢化や後継者不足によって、農地の荒廃化が危惧される。その為、集落協定同士による連携加算等の措置等を利用した支援が必要である。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	中山間地域等直接支払事業（第5期対策）	担当	農林水産課 農林振興係	整理番号	農-7

5.年度別計画

	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	中山間地域等直接支払事業 第5期対策　4年目	中山間地域等直接支払事業 第5期対策　5年目	中山間地域等直接支払事業 第6期対策　1年目	中山間地域等直接支払事業 第6期対策　2年目	中山間地域等直接支払事業 第6期対策　3年目
	44,918 千円	44,918 千円	43,767 千円	43,767 千円	43,767 千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	44,918 千円	44,918 千円	43,767 千円	43,767 千円	43,767 千円
財源内訳 国補助	22,459 千円	22,459 千円	21,883 千円	21,883 千円	21,883 千円
財源内訳 県補助	11,229 千円	11,229 千円	10,941 千円	10,941 千円	10,941 千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	11,230 千円	11,229 千円	10,943 千円	10,943 千円	10,943 千円
目標値 ①	59%	62%	65%	67%	67%
目標値 ②	476t/年	476t/年	476t/年	476t/年	476t/年
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	畜産業振興事業	担当	農林水産課 農林振興係	整理番号	農-8

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	隠岐牛産地強化プロジェクト行動計画 隠岐の島町肉用牛近代化計画
予算区分	一般会計　款 6　項 1　目 4

指標		令和6年度目標値
①	子牛の出荷頭数（KPI）	400頭/年
②	繁殖雌牛頭数	700頭
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

隠岐牛産地拡大プロジェクト行動計画および肉用牛生産近代化計画に基づき、隠岐牛生産基盤の整備を図り、本町の肉用牛の増頭と改良に資することにより畜産経営を拡大して地域農業の活性化を図る。

【事業概要】

繁殖雌牛の増頭・保留や公共牧野の機能回復を推進し、繁殖基盤の強化を図るとともに、新たな担い手の育成、畜産農家への各種支援などを行う。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

公共牧野再整備事業
　シバ播種実証実験
　　1,958千円
油井公共牧野施設撤去
　　990千円
繁殖雌牛導入事業（47頭）
　　導入　16頭
　　自家保留　31頭
　　7,100千円
肉用牛等肥育促進事業（11頭）
　　1,713千円
肉用牛輸送費補助事業（36頭）
　　2,520千円
繁殖雌牛更新対策事業（16頭）
　　増頭　15頭
　　更新　1頭
　　2,350千円
優良基礎雌牛導入事業（1頭）
　　100千円
授精事業費補助事業
　　2,254千円
産地創生事業
　受精卵移植（39個）
　空き牛舎改修（1棟）
　隠岐産素牛東京枝肉研究会(3名)
　　3,870千円

実績額		
財源内訳	国補助	千円
	県補助	5,765 千円
	起債	千円
	特定	100 千円
	一般財源	16,990 千円

実績値				
	①	359/頭	④	
	②	550頭	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

隠岐牛産地強化プロジェクトおよび肉用牛生産近代化計画に則って繁殖雌牛の増頭や牧野再整備、畜産農家への各種補助などに取り組んでおり、目標達成（繁殖雌牛頭数700頭・子牛出荷頭数400頭/年）に向かって繁殖牛の増頭および放牧面積の拡大による繁殖基盤の強化を図っている。

【②.事業の課題】

順調に繁殖雌牛頭数および子牛出荷額を増加させてきた一方で、畜産農家の高齢化が進んでいる。近い将来での離農による農家戸数減が想定されており、今後産地としての規模をいかに維持・拡大していくかが課題である。またウクライナ情勢や円安の影響もあって飼料価格が高騰し、隠岐市場の子牛販売価格は過去５年間で最低価格となり畜産経営にも大きな打撃となったことも課題である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

繁殖雌牛の増頭・牧野整備を中心に繁殖基盤の強化を図り、また新たな担い手も確保していくことで本町の主要産業として今後さらに発展していけるよう畜産業振興を推進していく必要がある。

【④.外部評価】　方向性：　拡大　　令和５年度評価済

　畜産業についても、他の産業と同じく、担い手不足や物価高騰、そして子牛価格の下落に悩まされていると認識をしています。
　担い手の確保支援は当然のごとく行わなければならないことと考えますが、それと同時に、現在畜産業を営んでいる方々が事業を継続できるよう、今の悩みや不安などしっかりと声を聴くことが重要であると考えます。また、外部の変化に影響されにくい島ならではの畜産環境や、AIを活用したスマート畜産の検討も必要と考えます。

4.改善・見直し（Action）

産地としての規模を維持・拡大していくためには、新たな担い手の確保および中核的農家の規模拡大が必須であり、特に新規就農者確保についてJAや和牛改良組合、隠岐支庁などの関係機関と連携しながら進めていく。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	畜産業振興事業	担当	農林水産課 農林振興係	整理番号	農-8

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	公共牧野再整備事業 シバ播種実証実験 2,000 千円 繁殖雌牛導入事業（45頭） 8,250 千円 肉用牛肥育促進事業 2,000 千円 肉用牛輸送費補助事業（25頭） 1,750 千円 受精事業費補助事業 2,254 千円 繁殖雌牛更新対策事業（16頭） 2,400 千円 産地創生事業 受精卵移植（40個） 放牧管理システム導入補助 隠岐産素牛東京枝肉研究会 畜産ヘルパー制度導入補助 4,488 千円 千円 千円 千円	公共牧野再整備事業 シバ播種実証実験 2,000 千円 繁殖雌牛導入事業（45頭） 8,250 千円 肉用牛肥育促進事業 2,000 千円 肉用牛輸送費補助事業（25頭） 1,750 千円 受精事業費補助事業 2,254 千円 繁殖雌牛更新対策事業（20頭） 3,000 千円 産地創生事業 受精卵移植（40個） 雑灌木除去機械導入補助 隠岐産素牛東京枝肉研究会 畜産ヘルパー制度導入補助 2,393 千円 繁殖雌牛貸付事業（5頭） 3,500 千円 千円 千円	公共牧野再整備事業 シバ播種実証実験 2,000 千円 繁殖雌牛導入事業（45頭） 8,250 千円 肉用牛肥育促進事業 2,000 千円 肉用牛輸送費補助事業（25頭） 1,750 千円 受精事業費補助事業 2,254 千円 繁殖雌牛更新対策事業（20頭） 3,000 千円 千円 繁殖雌牛貸付事業（5頭） 3,500 千円 千円 千円	公共牧野再整備事業 シバ播種実証実験 2,000 千円 繁殖雌牛導入事業（45頭） 8,250 千円 肉用牛肥育促進事業 2,000 千円 肉用牛輸送費補助事業（25頭） 1,750 千円 受精事業費補助事業 2,254 千円 繁殖雌牛更新対策事業（20頭） 3,000 千円 千円 繁殖雌牛貸付事業（5頭） 3,500 千円 (新)死亡家畜一時保管施設 設備更新事業 冷凍コンテナ(三相200V 5.5kw) 6,600 千円 千円 千円	公共牧野再整備事業 シバ播種実証実験 2,000 千円 繁殖雌牛導入事業（45頭） 8,250 千円 肉用牛肥育促進事業 2,000 千円 肉用牛輸送費補助事業（25頭） 1,750 千円 受精事業費補助事業 2,254 千円 繁殖雌牛更新対策事業（20頭） 3,000 千円 千円 繁殖雌牛貸付事業（5頭） 3,500 千円 千円 千円
事業費	23,142 千円	25,147 千円	22,754 千円	29,354 千円	22,754 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	6,319 千円	5,200 千円	3,000 千円	3,000 千円	3,000 千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	6,600 千円	千円
財源内訳 特定	100 千円	550 千円	1,000 千円	1,350 千円	1,800 千円
財源内訳 一般財源	16,723 千円	19,397 千円	18,754 千円	18,404 千円	17,954 千円
目標値 ①	400頭/年	400頭/年	400頭/年	400頭/年	400頭/年
目標値 ②	700頭	700頭	700頭	700頭	700頭
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	公共牧野整備事業	担当	農林水産課 農林振興係	整理番号	農-9

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	
予算区分	一般会計　款 6　項 1　目 4

指標		令和6年度目標値
①	子牛の出荷頭数（KPI）	400頭/年
②	繁殖雌牛頭数	700頭
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

近年の繁殖雌牛増頭に加え、牧野の老朽化・荒廃も進んでおり、放牧面積が不足している。このため、新たな牧野の造成及び既存牧野の再整備をすることにより、放牧面積の拡大、牧養力の向上を図る。

【事業概要】

新規牧野の整備とともに、既存牧野の再整備も併せて実施する。
平成30年度～令和5年度までの6年間で、新規牧野1箇所（11ha）および既存牧野5箇所（44ha）を整備する。
また、令和6年度以降においても既存牧野の再整備を実施し、継続して放牧面積の拡大、牧養力の向上を図る。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

草地畜産基盤整備事業
西村牧野測量試験
（牛舎・堆肥舎）
町負担金　　1,426千円

実績額	1,426 千円				
財源内訳	国補助	千円			
	県補助	千円			
	起債	1,400 千円			
	特定	千円			
	一般財源	26 千円			
実績値	①	359頭/年	④		
	②	550頭	⑤		
	③		⑥		

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

隠岐牛産地強化プロジェクトおよび肉用牛生産近代化計画に則って牧野整備に取り組んでいるが、令3年度に起きた豪雨災害の復旧工事等により、本来3年度及び4年度中に行う予定であった牧野整備、個人草地改良等が整備が遅れ、令和5年度に繰越しとなった。

【②.事業の課題】

近年牧野の新規整備を進めた結果、放牧面積および繁殖雌牛・子牛出荷頭数は右肩上がりに増加してきた。一方で、整備から年数の経った既存牧野においては、老朽化・荒廃が進み、牧養力の低下が課題となっている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

放牧を主体とする本町の飼養体系には牧野整備が不可欠であり、今後の増頭に備え、本事業を活用しながら新規整備および既存牧野の再整備も併せて実施していく。公共牧野整備は効率的で低コストな畜産経営を推進するために不可欠な事業である。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

新規牧野整備と併せて既存牧野の再整備も進めていく方針である。老朽化・荒廃の進んだ既存牧野を再整備することで、より効率的に放牧面積の拡大・牧養力の向上を図ることができ、費用対効果も大きいと考える。
令和5年度までは国庫事業を活用し整備を行う計画となっているが、事業主体が町でないことや様々な事業上の制限がかかることから、思うような整備ができていないのが現状である。令和6年度以降の国庫事業完了後においては、JAや牧野管理組合と連携しながら改めて整備計画を作成し、より効果的で放牧農家から必要とされる整備を町単事業にて実施する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	公共牧野整備事業	担当	農林水産課 農林振興係	整理番号	農-9

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	草地畜産基盤整備事業 西村牧野整備事業 町負担金 21,150 千円 五箇牧野整備事業 町負担金 37,162 千円 個人草地整備事業 町負担金 876 千円	千円	千円	千円	千円

	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業費	59,188 千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	58,200 千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	876 千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	112 千円	千円	千円	千円	千円
目標値 ①	400頭/年	400頭/年	400頭/年	400頭/年	400頭/年
目標値 ②	700頭	700頭	700頭	700頭	700頭
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	林業振興事業	担当	農林水産課 農林振興係	整理番号	農-10

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	ペレット原木搬出補助金
関連計画	隠岐の島町森林整備計画
予算区分	一般会計　款 6　項 2　目 2

指標		令和6年度目標値
①	原木製材品の島外出荷量（KPI）	20,000㎥/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

木材、製材の島外への出荷拡大や森林資源の多面的利用を推進し、林業の振興と森林の適正管理を推進する。

【事業概要】

林業経営の低コスト化のための施設整備や、各種補助事業を実施する。また、木材の利用を促進するための制度を創設する。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

林地台帳保守点検業務
　1式　　605千円
ふるさとの森再生事業
　2.17ha　923千円
緑の担い手協調助成金
　1社　　480千円
間伐材搬出助成補助金
　1,129㎥　2,145千円
育林支援事業
　下刈79ha　植栽27ha
　3,701千円
町産材木造住宅づくり支援補助金
　29件　　15,480千円
椎茸生産拡大事業補助金
　8名　　289千円
林内路網整備事業
　5,219m　5,219千円
災害被害森林復旧対策事業補助金
　449m　312千円
特定経営基盤維持事業
　1件　　1,500千円
隠岐の島町林業振興センター修繕
　715千円
隠岐島木材業製材業協同組合木材乾燥施設更新工事
　1式　　79,866千円

実績額		111,740 千円
財源内訳	国補助	15,312 千円
	県補助	千円
	起債	78,580 千円
	特定	923 千円
	一般財源	16,925 千円

実績値				
	①	19,702㎥/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

下刈りへの支援、間伐材の搬出助成などにより林業経営の低コスト化につながり、島内の木材生産や、素材生産量の増加につながった。また、木造住宅助成事業により島内での町産木材の利用417㎥の活用や、350㎡の高品質製材品の利用が図られ林業振興につながった。島外出荷については、海上輸送費の支援などにより約19,702㎥の出荷につながった。

【②.事業の課題】

林業従事者の育成や担い手不足の解消、林業施業地の確保、製材施設の老朽化が進んでいる。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

林業は島内の産業活性化を図るうえで重要な役割であり、今後も低コスト造林を図るための各種補助事業や、林業従事者の育成、担い手確保により事業継承をしていく必要がある。また、森林資源を有効に活用する為、製材製品の品質向上を図る取り組みへの支援、島外への出荷・販路の拡大を支援していくことが必要であるとともに、原木の集積場（土場）の有効利用も必要となっている。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　令和５年度評価済

　林業についても、他の産業と同じく担い手不足や物価高騰、そして原木価格の低迷に悩まされていると認識をしています。機械化等の生産性の向上による担い手不足への対応や、低コスト化のための施設整備は、必要不可欠な事業であると考えます。
　また、新たな林業振興策であるペレット発電事業や、更なる里山保全のため、森林環境譲与税を活用した取組にも期待します。あわせて、生業としてだけでなく、私たちの生活と深くかかわる森林の多面的機能の重要性を再認識し、町民が森林の価値に目を向けるための啓発が必要ではないでしょうか。

4.改善・見直し（Action）

森林整備等に必要な財源確保の目的で創設された森林環境譲与税は、令和6年度に向けて段階的に引き上げられていく。全国的に新たな取り組み・支援策等に活用が進んでおり、本町においてもこれまでの取組に加えて、更なる森林整備等に関する取組を推進していくこととしたい。

　ウッドヒル隠岐の製材機械機器の更新に向けた支援策を今後検討していく。

　令和6年度よりペレット発電事業が始まり、多量の原木が必要となるため、原木搬出のための支援制度を検討する。

　森林経営管理制度の活用に向けて、協議会の開催や意向調査等の準備を行う。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	林業振興事業	担当	農林水産課 農林振興係	整理番号	農-10

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	林地台帳保守点検業務１式 605 千円 ふるさとの森再生事業　2.17ha 532 千円 緑の担い手協調助成金 720 千円 間伐材搬出助成補助金　1,877㎥ 1,500 千円 育林支援事業補助金　100ha 3,873 千円 町産材木造住宅づくり支援補助金　29件 14,400 千円 椎茸生産拡大事業補助金 373 千円 林内路網整備事業　3,000ｍ 3,000 千円 ペレット原木搬出補助金 1,224 千円 千円 千円 千円	林地台帳保守点検業務１式 200 千円 ふるさとの森再生事業　2.18ha 532 千円 緑の担い手協調助成金 720 千円 間伐材搬出助成補助金　1,877㎥ 1,500 千円 育林支援事業補助金　100ha 3,873 千円 町産材木造住宅づくり支援補助金　29件 14,400 千円 椎茸生産拡大事業補助金 373 千円 林内路網整備事業　6,000ｍ 6,000 千円 ペレット原木搬出補助金 4,889 千円 林業・木材産業成長産業化促進対策 事業費補助金　林業機械1機 2,750 千円 （新）林業総合センター設備更新事業 下水道接続 500 千円 千円	林地台帳保守点検業務１式 200 千円 ふるさとの森再生事業　2.19ha 532 千円 緑の担い手協調助成金 720 千円 間伐材搬出助成補助金　1,877㎥ 1,500 千円 育林支援事業補助金　100ha 3,873 千円 町産材木造住宅づくり支援補助金　29件 14,400 千円 椎茸生産拡大事業補助金 373 千円 林内路網整備事業　6,000ｍ 6,000 千円 ペレット原木搬出補助金 4,889 千円 林業・木材産業成長産業化促進対策 事業費補助金　林業機械2機 9,800 千円 （新）林業総合センター設備更新事業 照明器具更新（ＬＥＤ省電力化） 3,215 千円 （新）製材機械更新事業費補助金 54,198 千円 千円	林地台帳保守点検業務１式 200 千円 千円 緑の担い手協調助成金 720 千円 間伐材搬出助成補助金　1,877㎥ 1,500 千円 育林支援事業補助金　100ha 3,873 千円 町産材木造住宅づくり支援補助金　29件 14,400 千円 椎茸生産拡大事業補助金 373 千円 林内路網整備事業　6,000ｍ 6,000 千円 ペレット原木搬出補助金 4,889 千円 林業・木材産業成長産業化促進対策 事業費補助金　林業機械1機 4,500 千円 千円 千円	林地台帳保守点検業務１式 200 千円 千円 緑の担い手協調助成金 720 千円 間伐材搬出助成補助金　1,877㎥ 1,500 千円 育林支援事業補助金　100ha 3,873 千円 町産材木造住宅づくり支援補助金　29件 14,400 千円 椎茸生産拡大事業補助金 373 千円 林内路網整備事業　6,000ｍ 6,000 千円 ペレット原木搬出補助金 4,889 千円 林業・木材産業成長産業化促進対策 事業費補助金　林業機械1機 7,563 千円 千円 千円
事業費	26,227 千円	35,737 千円	99,700 千円	36,455 千円	39,518 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	14,400 千円	14,400 千円	68,500 千円	14,400 千円	14,400 千円
財源内訳 特定	532 千円	532 千円	532 千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	11,295 千円	20,805 千円	30,668 千円	22,055 千円	25,118 千円
目標値 ①	19,000㎥/年	20,000㎥/年	20,000㎥/年	20,000㎥/年	20,000㎥/年
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	林業成長産業化地域創出モデル事業	担当	農林水産課 農林振興係	整理番号	農-13

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	6	項	1	目	3

指標		令和6年度目標値
①	原木製材品の島外出荷量(KPI)	20,000㎥/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

衰退する隠岐の林業を活性化し成長産業へ転換するために、検証実験等を重ねて林業事業の拡大を考え実施する。

【事業概要】

現在、原木・製材品の搬出方法等を見直すことで、コスト削減につなげ、さらなる原木生産、島外出荷量の増加を推進する。
新商品開発、効率的な林地残材集荷システム構築等について、林業をはじめとした各事業者と協力し実証実験などを通した検証を行う。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

委託費　　6,850千円

主な内容
○低コスト再造林対策
・効率的なコンテナ苗生産
400千円

○隠岐島産材のブランド化
・森林認証定期審査手数料
701千円
・新商品開発委託費
1,774千円

○新規就業者の確保
・労働力確保募集サイト開設
2,815千円
・林業PR動画作成委託費
1,160千円

実績額		6,850 千円
財源内訳	国補助	6,850 千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	19,702㎥/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

事業最終年のため新たな事業は行わず、評価まとめを行った。継続的なコンテナ苗生産や、新商品開発は行った。コンテナ苗生産は生産の拡大を図るため、昨年同様春苗出荷後の空キャビティ活用による苗木増産に向けた実証実験を実施。
新規就農者確保を推進するため、各事業体のHP作成費用を負担した。

【②.事業の課題】

事業最終年のため、5年間の評価まとめを行った。先進的な取組みを実施し、コンテナ苗生産のような今後も続けていくことにより苗木増産に効果を発揮する取組は評価できたものの、ドローンによる森林分析・樹種判別など、実践できる取組としてまだまだ時間のかかるものもあった。森林認証については認証材の需要が不透明で継続更新する必要性が感じられないと判断した。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

5年間のモデル事業期間は終了したため、実証を行った取り組みのうち、コンテナ苗生産や新商品開発は継続する必要がある。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

モデル事業の実施年度が終了したため、今後は実施した取組のうち、必要性があるものは林業振興において継続していく。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	林業成長産業化地域創出モデル事業	担当	農林水産課 農林振興係	整理番号	農-13

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
県補助	千円	千円	千円	千円	千円
起債	千円	千円	千円	千円	千円
特定	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	千円	千円	千円	千円	千円
目標値 ①	19,000㎥/年	20,000㎥/年	20,000㎥/年	20,000㎥/年	20,000㎥/年
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	多面的機能支払事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-14

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	6	項	1	目	5

指標		令和6年度目標値
①	米の出荷量（KPI）	476t/年
②	多面的機能支払交付金取組活動組織数	20組織（累計）
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

町内の各集落で農地守り隊等を組織して、その構成員による共同活動を通じ、地域に存する農地・農業用水等の資源や農村環境の良好な保全と質的向上を図ることを目的とする。

【事業概要】

対象地域の単位ごとに活動組織を設立し、対象施設（田・畑・草地）ごとの面積に応じて交付金を交付する。（原則5年間継続事業）
〔負担区分：国50%　県：25%　町：25%、推進事務費：国100%（定額）〕
①農地維持支払（農地維持活動：農地の草刈、水路の泥上げ等）
　田：3,000 円/10a　畑：2,000 円/10a　草地：250 円/10a
②-1資源向上支払（共同活動：農家以外の人が参加）
　田：1,500～円/10a　畑：900円～円/10a　草地：150～円/10a
②-2資源向上支払（長寿命化：施設の補修、更新）
　田：4,400 円/10a　畑：2,000 円/10a　草地：400 円/10a

2.令和　4　年度事業実績（Do）

多面的機能支払交付金
農地維持活動　16組織
8,671千円

資源向上（共同活動）　9組織
3,309千円

資源向上（長寿命化）12組織
8,656千円

事務費　47千円

実績額		20,683 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	15,477 千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	5,206 千円

実績値				
	①	350t/年	④	
	②	16組織	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

多面的機能支払交付金事業は平成26年度から14組織（取組面積293ha)からスタートし、令和3年度までに16組織（取組面積307ha）が事業に取組んでいる。

【②.事業の課題】

各組織とも構成員の高齢化が進み後継者不足により、事業継続が危惧されているところである。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

この事業は各地域の組織により農地保全活動を行い、集落の担い手不足を組織でカバーするとともに、地域の農地・農業用水等の資源や農村環境の良好な保全を行うため、今後とも事業継続が必要である。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

既存の活動組織との連携を図りながら、活動組織の維持・新組織の設立が行えるように本事業を取り組んでいく。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	多面的機能支払事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-14

5.年度別計画

	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度　（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	農地維持活動　16組織 9,039 千円 資源向上活動（共同活動）　9組織 3,493 千円 資源向上活動（長寿命化）　12組織 10,566 千円 事務費 73 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	農地維持活動　20組織 10,200 千円 資源向上活動（共同活動）　13組織 4,000 千円 資源向上活動（長寿命化）　16組織 12,100 千円 事務費 100 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	農地維持活動　20組織 10,200 千円 資源向上活動（共同活動）　13組織 4,000 千円 資源向上活動（長寿命化）　16組織 12,100 千円 事務費 100 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	農地維持活動　20組織 10,200 千円 資源向上活動（共同活動）　13組織 4,000 千円 資源向上活動（長寿命化）　16組織 12,100 千円 事務費 100 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	農地維持活動　20組織 10,200 千円 資源向上活動（共同活動）　13組織 4,000 千円 資源向上活動（長寿命化）　16組織 12,100 千円 事務費 100 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	23,171 千円	26,400 千円	26,400 千円	26,400 千円	26,400 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	17,323 千円	19,725 千円	19,725 千円	19,725 千円	19,725 千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	5,848 千円	6,675 千円	6,675 千円	6,675 千円	6,675 千円
目標値 ①	476t/年	476t/年	476t/年	476t/年	476t/年
目標値 ②	20組織	20組織	20組織	20組織	20組織
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	国庫土地改良事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-15

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	6	項	1	目	5

指標		令和6年度目標値
①	米の出荷量（KPI）	476t/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

町が事業主体となり、農作業道の舗装及び修繕、農業用施設（水路等）の整備を行うことで、地域農業における草刈りや路面の修繕、水路等の維持管理が軽減され、農業経営の安定化、地域農業の振興と活性化を図ることを目的とする。

【事業概要】

農業基盤整備促進事業
・皆市地区農道舗装事業　L=700ｍ
農地耕作条件改善事業
・八尾川以南地区農道舗装事業　L=1,810m
・南方地区農道舗装事業　L=2,430ｍ
・新田(中村)地区農作業道改良事業　L=600m
・下田地区排水路改修事業　N=1箇所
・飯田地区排水路改修事業　L=200m

2.令和　4　年度事業実績（Do）

農地耕作条件改善事業
　新田地区農道改良工事　L=200m
（R5へ繰越）
　13,000千円
事務費
　493千円

実績額	13,493 千円
財源内訳 国補助	千円
県補助	7,000 千円
起債	6,400 千円
特定	千円
一般財源	93 千円

実績値				
①	350t/年	④		
②		⑤		
③		⑥		

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和4年度は中村新田地区の農道舗装工事を発注したが、災害復旧事業を優先させた結果、令和5年度に繰越となった。

【②.事業の課題】

農地耕作条件改善事業による農業施設整備は、受益地の農地集積・集約の向上が事業採択要件の一つであり、今以上に集積・集約が望めない地区は事業採択が困難である。また、用水路等の改良・更新には受益者負担（事業費の7.5%～10%程度）を伴う場合がある。〔※農地集積・集約とは、地域の中心となる農業経営体（認定農業者等）に農地利用を集中させることである。〕

【③.事業の必要性・今後の方向性】

受益者負担については、一定の要件を満たせば県単農地集積事業の「集落農地集積促進事業」、「水田園芸拠点産地形成促進事業」、「担い手不在集落解消促進事業」において促進費（協力金として受益者へ交付する。）の活用が可能であるので農家の自己負担が軽減され、農業経営の安定化や農業振興の活性化を図れる。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

農地集積・集約が推進するように農林振興係の事業と連携して、取り組んでいく。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	国庫土地改良事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-15

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	新田地区農道改良工事　L=400m	千円	千円	千円	千円
	6,600 千円	下田地区排水路改修測量設計業務 1式	下田地区排水路改修工事 1箇所	千円	千円
	千円	5,500 千円	10,000 千円	飯田地区排水路改修工事　L=200m	
	千円	千円	飯田地区排水路改修測量設計業務 1式	16,000 千円	千円
	事務費	事務費	5,000 千円	事務費	
	120 千円	150 千円	事務費	550 千円	千円
	千円	千円	550 千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	6,720 千円	5,650 千円	15,550 千円	16,550 千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
県補助	4,200 千円	3,500 千円	10,500 千円	11,200 千円	千円
起　債	2,500 千円	2,100 千円	5,000 千円	5,300 千円	千円
特　定	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	20 千円	50 千円	50 千円	50 千円	千円
目標値 ①	476t/年	476t/年	476t/年		
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	町単土地改良事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-16

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	6	項	1	目	5

指標		令和6年度目標値
①	米の出荷量（KPI）	476t/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

町内の農業用施設・水利施設において、地元要望を踏まえ老朽化した比較的小規模な施設の補修・更新等の整備を実施する。また、大雨等により被災を受けた農業用施設の簡易な復旧工事等も行い営農活動の維持を図ることを目的とする。

【事業概要】

土地改良用排水路維持補修事業
・既設排水路の土砂撤去及び、水路等の補修・更新を行う。
農業施設維持管理事業
・農道の維持補修、農村公園の維持管理のための補修・更新を行う。
農業団地整備事業
・遊休農地の再整備を行い、農外企業の参入、新規就農者の育成、認定農業者への貸付等を行い荒廃した農地を有効利用する。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

町単土地改良事業
小路地区畦畔復旧工事　1式
715千円
田部谷地区用水路修繕工事　1式
770千円
元屋地区用水路修繕工事　1式
572千円
近石地区用水路修繕工事　1式
517千円

実績額		2,574 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	2,574 千円

実績値				
	①	350t/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

老朽化した農業用施設の補修・改修等を行うことにより、農業経営者の維持管理に係る負担軽減を図り、農地の減少を防ぎ地域農業の活性化に繋がった。
農業団地整備事業は平成30年度に今津一本松地区において土地状況調査及び生産者との協議を行った。

【②.事業の課題】

農林水産業を取り巻く情勢は、担い手不足、農林水産物価格の低迷など様々な課題に直面している。
また、町内の農業用施設の老朽化が進んでおり、その修繕・更新を行うにあたり緊急性や地域性を考慮したうえで計画的に行う必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

小規模な農業用施設の修繕・更新は、営農活動の維持を図るうえで重要であり、今後も継続して行う必要がある。
農業団地整備事業において、企業参入による新規雇用者の確保、新規就農の促進、認定農業者等への高収益作物転換支援を必要性がある。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　令和４年度評価済

本事業は、持続可能な農業経営の推進に必要な事業であると考えます。施設の老朽化や、担い手不足など、課題も多々ありますが、地区や関係団体と協議を重ね、確実な整備の実施を願います。また、近年頻発する豪雨災害等による農地の被災は、経営に影響を及ぼすため、迅速な対応に尽力して下さい。

4.改善・見直し（Action）

町内には老朽化した農業用施設が多数あり、その修繕・更新については現地調査や地区との協議により緊急性や地域性を考慮し行っていく。
農業団地整備事業は事業の実施体制や団地整備後の利用者を検討しておく必要があるため、事業展開を再検討する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	町単土地改良事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-16

5.年度別計画　令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan) 五箇地区農道舗装工事 3,000 千円 東郷農村公園公衆トイレ廃止工事 200 千円 南北地区公衆トイレ下水道接続工事 400 千円 農業施設維持補修工事（町内全域） 600 千円	千円 千円 千円 農業施設維持補修工事（町内全域） 3,000 千円	千円 千円 千円 農業施設維持補修工事（町内全域） 3,000 千円	千円 千円 千円 農業施設維持補修工事（町内全域） 3,000 千円	千円 千円 千円 農業施設維持補修工事（町内全域） 3,000 千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
事業費　4,200 千円	事業費　3,000 千円	事業費　3,000 千円	事業費　3,000 千円	事業費　3,000 千円
財源内訳　国補助　千円	財源内訳　国補助　千円	財内訳源　国補助　千円	財源内訳　国補助　千円	財源内訳　国補助　千円
県補助　千円	県補助　千円	県補助　千円	県補助　千円	県補助　千円
起　債　千円	起　債　千円	起　債　千円	起　債　千円	起　債　千円
特　定　千円	特　定　千円	特　定　千円	特　定　千円	特　定　千円
一般財源　4,200 千円	一般財源　3,000 千円	一般財源　3,000 千円	一般財源　3,000 千円	一般財源　3,000 千円
目標値　①　476t/年　④ ②　⑤ ③　⑥	目標値　①　476t/年　④ ②　⑤ ③　⑥	目標値　①　476t/年　④ ②　⑤ ③　⑥	目標値　①　476t/年　④ ②　⑤ ③　⑥	目標値　①　476t/年　④ ②　⑤ ③　⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	県営土地改良事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-17

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	6	項	1	目	5

指標		令和6年度目標値
①	米の出荷量（KPI）	476t/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

農業を支援するため、水田で必要な農業用水を確保すためのため池、営農条件を改善するための水田、畑の整備、農産物などを運搬するための農業用道路の整備、農村の環境整備などを県営による農業農村整備事業を行い、農業経営の安定化、地域農業の振興と活性化を図ることを目的とする。

【事業概要】

県営土地改良事業【負担金】（島根県が施行する事業である。）
・農村地域防災減災事業（ため池）〔島後〕【町負担率：6%】
　ため池改修　2箇所（田部谷･常集平）
・農村地域防災減災事業（ため池整備）【町負担率：6%】
　ため池整備　6箇所（金剛寺･北向･床山･石坂･岳野・亀の原・湊）
・水利施設保全高度化事業（簡易整備型）【町負担率：17.5%】
　都万排水樋門更新（電動化）　1箇所
・地域防災機能増進事業【町負担率：11%】
　屋那大橋耐震補強･補修　1式

2.令和　4　年度事業実績（Do）

県営土地改良事業【負担金】
・県営農村地域防災減災事業
　常集平ため池改修（飯田）
　　1,800千円×6%=　108千円
　金剛寺ため池改修（久見）
　　50,000千円×6%=3,000千円
　床山ため池改修（山田）
　　30,000千円×6%=1,800千円
　北向ため池改修（加茂）
　　41,000千円×6%=2,460千円

実績額		7,368 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	6,600 千円
	特定	千円
	一般財源	768 千円

実績値				
	①	350t/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

常集平ため池改修においては、令和4年度をもって事業完了した。金剛寺ため池改修について令和3年度より事業着手し、令和7年度に完了予定。また、令和4年度には床山ため池・北向ため池が事業着手した。

【②.事業の課題】

令和5年度は、3箇所のため池整備を予定しているが、工事期間中（2～3年程度）は、ため池に貯水できないため、耕作期間中の水利の確保が課題となる。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

ため池の改修事業には多大な事業費を要することから、本事業を県営で行うことは町財政にとって有利であるとともに、これらの農業用施設の整備を行うことにより営農活動の振興と活性化を図れることから、今後も引続き必要な事業である。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

工事期間中も耕作に影響が出ないように、島根県との協議を重ね工事時期を考慮して行なう。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	県営土地改良事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-17

5.年度別計画　令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
農村地域防災減災事業（ため池）〔金剛寺〕負担金 15,000 千円	農村地域防災減災事業（ため池）〔金剛寺〕負担金 4,200 千円	農村地域防災減災事業（ため池）〔金剛寺〕負担金 6,720 千円	千円	千円
農村地域防災減災事業（ため池）〔床山〕負担金 3,600 千円	農村地域防災減災事業（ため池）〔床山〕負担金 3,000 千円	農村地域防災減災事業（ため池）〔床山〕負担金 5,400 千円	千円	千円
農村地域防災減災事業（ため池）〔北向〕負担金 300 千円	農村地域防災減災事業（ため池）〔北向〕負担金 60 千円	農村地域防災減災事業（ため池）〔北向〕負担金 60 千円	農村地域防災減災事業（ため池）〔北向〕 6,000 千円	農村地域防災減災事業（ため池）〔北向〕 12,000 千円
農業農村整備事業等調査〔岳野〕負担金 1,000 千円	農村地域防災減災事業（ため池）〔岳野〕負担金 2,280 千円	農村地域防災減災事業（ため池）〔岳野〕負担金 6,420 千円	農村地域防災減災事業（ため池）〔岳野〕 5,580 千円	農村地域防災減災事業（ため池）〔岳野〕 5,520 千円
千円	千円	農業農村整備事業等調査〔石坂〕負担金 1,000 千円	農村地域防災減災事業（ため池）〔石坂〕 2,400 千円	農村地域防災減災事業（ため池）〔石坂〕 5,400 千円
千円	調査計画事業〔屋那大橋〕負担金 5,000 千円	千円	ふるさと農道整備事業〔屋那大橋〕負担金 11,250 千円	ふるさと農道整備事業〔屋那大橋〕負担金 11,250 千円
千円	千円	千円	農業農村整備事業等調査〔亀原〕負担金 1,000 千円	農村地域防災減災事業（ため池）〔亀原〕 2,400 千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円

(Plan)

事業費	19,900 千円	14,540 千円	19,600 千円	26,230 千円	36,570 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
県補助	千円	千円	千円	千円	千円
起債	17,000 千円	8,500 千円	16,700 千円	22,700 千円	32,900 千円
特定	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	2,900 千円	6,040 千円	2,900 千円	3,530 千円	3,670 千円
目標値 ①	476t/年	① 476t/年	① 476t/年	① 476t/年	① 476t/年
②		②	②	②	②
③		③	③	③	③
④		④	④	④	④
⑤		⑤	⑤	⑤	⑤
⑥		⑥	⑥	⑥	⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	土地改良施設維持管理適正化事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-18

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	6	項	1	目	5

指標		令和6年度目標値
①	米の出荷量（KPI）	476t/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

土地改良施設の整備補修は、本来土地改良区等の施設の管理者自らが行うべきものだが、農村地域の都市化・混住化の進展等社会的経済的諸条件の変化に伴い、土地改良施設の公共公益的機能が益々増大している。公的助成措置を講ずることにより、土地改良区等施設管理者の負担減を図るとともに、施設の機能の保持と耐用年数の確保を目的とする。

【事業概要】

土地改良区等による土地改良施設整備補修のための土地改良施設維持管理適正化資金を利用して土地改良施設の定期的な整備補修を行うものである。

○既設揚水機場のポンプのオーバーホール
- 五箇南北右岸揚水機　7,500千円
- 五箇南北左岸揚水機　6,500千円
- 都万下田揚水機　7,500千円
- 都万森里揚水機　7,500千円

2.令和　4　年度事業実績（Do）

土地改良施設維持管理適正化事業
下田地区揚水機場整備工事
7,546千円

実績額	7,546 千円
財源内訳 国補助	千円
県補助	千円
起債	千円
特定	7,500 千円
一般財源	46 千円

実績値				
①	350t/年	④		
②		⑤		
③		⑥		

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和4年度は都万の下田地区揚水機オーバーホールを行った。
今後も、引き続き五箇地区、都万地区の老朽化した揚水機のオーバーホールを行っていく予定。

【②.事業の課題】

揚水機等のオーバーホールは10年毎を目安に行ってきたところだが、老朽化により修理する箇所も増えている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

各施設とも供用開始から20年以上経過しており、今後は計画的に更新する必要がある。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

土地改良施設維持管理適正化資金を利用して計画的に整備補修を行い、施設の機能を保持していく。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	土地改良施設維持管理適正化事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-18

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度　（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	五箇南北左岸揚水機ｵｰﾊﾞｰﾎｰﾙ　1箇所			都万森里揚水機ｵｰﾊﾞｰﾎｰﾙ　1箇所	
	6,500 千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	7,500 千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	6,500 千円	千円	千円	7,500 千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	6,000 千円	千円	千円	7,000 千円	千円
財源内訳 一般財源	500 千円	千円	千円	500 千円	千円
目標値 ①	476t/年	476t/年	476t/年	476t/年	476t/年
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	農道橋梁長寿命化対策事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-19

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	6	項	1	目	5

指標		令和6年度目標値
①	米の出荷量（KPI）	476t/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

町内の農道橋について点検を実施し、施設の老朽化状況、耐震化の必要の有無などを把握し長寿命化を図ることにより、農業の持続的な発展を図ることを目的とする。

【事業概要】

農道橋橋梁長寿命化対策事業

農道橋梁点検・機能診断	30橋
農道橋梁長寿命化対策工事設計業務	点検結果により随時
農道橋梁長寿命化対策工事	点検結果により随時

2.令和　4　年度事業実績（Do）

令和5年度より事業開始のため、実績なし

実績額		千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	350t/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和元年度・2年度に町が行った21橋と県が行った9橋について、前回調査から概ね5年経過した橋梁について、定期点検を実施する。

【②.事業の課題】

橋梁点検は概ね5年に1回行うこととなっているが、開始時期に偏りがあるため、各年度の事業量の平準化を図る必要がある。

また、橋梁点検で健全度Ⅲ判定以下の橋梁については、老朽化状況・緊急度・橋の重要性を踏まえ、補修時期・補修工法を決定する必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

今後は、点検結果を踏まえ橋梁の長寿命化の観点から、補修等の整備計画（個別施設計画）を策定し、その計画に基づき修繕・更新を行い、コストの平準化を図る。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	農道橋梁長寿命化対策事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-19

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度　（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	農道橋梁点検業務（補助）　4橋 月ノ下橋 南北橋 西田橋 真杉橋 2,000 千円 農道橋梁点検業務（単独）　1橋 加治屋橋 750 千円	農道橋梁点検業務（補助）　2橋 屋那大橋 大谷橋 2,500 千円 農道橋梁点検業務（単独）　8橋 栗原橋他 4,000 千円	千円 農道橋梁点検業務（単独）　12橋 杉淵橋他 6,000 千円	千円	農道橋梁点検業務（補助）　2橋 西郷大橋 西郷大橋取付2号橋 2,500 千円
事業費	2,750 千円	6,500 千円	6,000 千円	千円	2,500 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	2,000 千円	2,500 千円	千円	千円	2,500 千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	750 千円	4,000 千円	6,000 千円	千円	千円
目標値 ①	476t/年	476t/年	476t/年	476t/年	476t/年
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-20

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	6	項	1	目	5

指標		令和6年度目標値
①	米の出荷量（KPI）	476t/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

ため池の防災安全度の向上を図るために行う管理施設等の整備や、農業水利施設のきめ細やかな長寿命化対策（防災減災対策）を行うことにより、農地や農業用施設を健全な状態に保ち、農業の持続的な発展を図ることを目的とする。

【事業概要】

農業水路等長寿命化･防災減災事業〔非公共事業〕
・ため池防災環境整備（地域防災上のﾘｽｸ除去）〔補助率：国100%〕
　ため池廃止（愛宕山・中の奥・小浦・灘・小丸ため池）　5池
・ため池防災環境整備（緊急的な防災対策）〔補助率：国100%〕
　ため池補修（西の山ため池）　1池
・防災減災対策（ため池整備）〔国60%・県28%・町12%〕
　ため池整備（損畑ため池・代ため池）　2池
・長寿命化対策（水利施設整備）〔国55%・県15%・町30%〕
　水利施設整備（都万地区・飯田地区）　L=450m

2.令和　4　年度事業実績（Do）

ため池防災環境整備
【令和5年度へ繰越】
西の山ため池改修工事　1式
5,830千円
都万地区用水路改修工事　40m
650千円

実績額		6,480 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	5,090 千円
	起債	千円
	特定	60 千円
	一般財源	1,330 千円

実績値				
	①	350t/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和2年度までに、愛宕山・中の奥・小浦・小丸の４ため池について完了した。
令和4年度は、西の山ため池及び都万地区用水路の改修工事を行う予定であったが、災害復旧事業を優先させた結果、令和5年度へ繰越となった。
今後も引き続き事業を進めていく予定である。

【②.事業の課題】

ため池補修工事及び水利施設整備において、施設の使用が不要となる秋以降の着手となり、工期設定に制約があるため早期の発注が求められる。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

町内のため池や用水路などの農業用施設は老朽化が進んでおり、今後計画的に更新を進めていく必要がある。
また、防災上の観点からも、老朽化したため池への対策が必要となってくるため必要な事業である。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

島根県が実施する農村地域防災減災事業と重複するため池もあることから、県と綿密な協議を進め、事業を実施する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-20

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	損畑ため池改修工事　1式 5,500 千円 都万地区用水路改修工事　170m 3,300 千円 千円 千円 千円 事務費 120 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 灌ため池廃止工事　1式 5,500 千円 千円 千円 事務費 100 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 代ため池浚渫測量設計業務　1式 7,000 千円 農業用水利施設機能保全計画更新業務 4箇所 20,000 千円 事務費 800 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 代ため池浚渫工事　1式 8,000 千円 農業用水利施設機能保全計画更新業務 5箇所 25,000 千円 事務費 800 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	8,920 千円	5,600 千円	27,800 千円	33,800 千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	6,500 千円	5,000 千円	24,900 千円	30,600 千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	300 千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	2,120 千円	600 千円	2,900 千円	3,200 千円	千円
目標値 ①	476t/年	476t/年	476t/年	476t/年	476t/年
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	町単林道事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-21

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	6	項	2	目	3

指標		令和6年度目標値
①	原木製材品の島外出荷量（KPI）	20,000㎥/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

隠岐の島町の林道は、島根県平均と比較しても高い整備率であり、現在までに町内で80路線を有している。
本事業ではそれら各路線の維持管理を行い安全施設等を設置し、利用者の利便性の向上を図るとともに、安全性の確保を目的とする。

【事業概要】

隠岐の島町の管理する林道において、主に維持管理に関する工事等を行う事業である。
・林道保全〔舗装修繕･更新〕事業
・林道交通安全施設設置事業
・林道維持管理補修事業
・林道側溝清掃事業
・林道除草業務委託

2.令和　4　年度事業実績（Do）

町単林道事業
林道中谷線道路補修工事
770千円
林道上ケ床線交通安全施設工事
330千円
林道都万目線側溝清掃工事
253千円
林道一の坂大時線他伐採工事
627千円
林道除草業務（9路線）
2,960千円
事務費
1,741千円

実績額		6,681 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	6,681 千円

実績値				
	①	19,702㎥/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】
令和4年度は4路線について維持補修及び交通安全施設設置の工事を行い、利用頻度の高い9路線について業務委託により除草を行った。

【②.事業の課題】
管理する路線数が多いため、維持管理工事を行う路線の優先順位付けに配慮が必要である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】
引き続き林道を維持管理するために、必要な事業である。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

利用頻度の高い路線から優先して維持管理業務を行う。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	町単林道事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-21

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	林道維持管理工事〔町内全域〕 1,000 千円 林道側溝清掃工事〔町内全域〕 500 千円 林道交通安全施設設置工事〔町内全域〕 500 千円 林道南谷線除草業務 1,040 千円 林道除草業務〔町内全域〕 546 千円 林道施設管理委託業務〔他区団体〕 1,414 千円 千円 事務費 1,326 千円 千円 千円 千円 千円 千円	林道維持管理工事〔町内全域〕 1,000 千円 林道側溝清掃工事〔町内全域〕 500 千円 林道交通安全施設設置工事〔町内全域〕 500 千円 林道南谷線除草業務 1,000 千円 林道除草業務〔町内全域〕 800 千円 林道施設管理委託業務〔他区団体〕 1,200 千円 林道後岳線改良測量設計業務　1式 13,000 千円 事務費 1,200 千円 千円 千円 千円 千円 千円	林道維持管理工事〔町内全域〕 1,000 千円 林道側溝清掃工事〔町内全域〕 500 千円 林道交通安全施設設置工事〔町内全域〕 500 千円 林道南谷線除草業務 1,000 千円 林道除草業務〔町内全域〕 800 千円 林道施設管理委託業務〔他区団体〕 1,200 千円 林道後岳線改良工事　L=120m 40,000 千円 事務費 1,200 千円 千円 千円 千円 千円 千円	林道維持管理工事〔町内全域〕 1,000 千円 林道側溝清掃工事〔町内全域〕 500 千円 林道交通安全施設設置工事〔町内全域〕 500 千円 林道南谷線除草業務 1,000 千円 林道除草業務〔町内全域〕 800 千円 林道施設管理委託業務〔他区団体〕 1,200 千円 千円 事務費 1,200 千円 千円 千円 千円 千円 千円	林道維持管理工事〔町内全域〕 1,000 千円 林道側溝清掃工事〔町内全域〕 500 千円 林道交通安全施設設置工事〔町内全域〕 500 千円 林道南谷線除草業務 1,000 千円 林道除草業務〔町内全域〕 800 千円 林道施設管理委託業務〔他区団体〕 1,200 千円 千円 事務費 1,200 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	6,326 千円	19,200 千円	46,200 千円	6,200 千円	6,200 千円
財源内訳	国補助　千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　千円 一般財源　6,326 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　13,000 千円 特　定　千円 一般財源　6,200 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　40,000 千円 特　定　千円 一般財源　6,200 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　千円 一般財源　6,200 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　千円 一般財源　6,200 千円
目標値	①　20,000㎥/年　④ ②　⑤ ③　⑥	①　20,000㎥/年　④ ②　⑤ ③　⑥	①　20,000㎥/年　④ ②　⑤ ③　⑥	①　20,000㎥/年　④ ②　⑤ ③　⑥	①　20,000㎥/年　④ ②　⑤ ③　⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	県営林道事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-22

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	6	項	2	目	3

指標		令和6年度目標値
①	原木製材品の島外出荷量（KPI）	20,000㎥/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

林道上ヶ床線は、林道南谷線と林道一の坂大時線を結ぶ林道であり、森林整備を計画的に推進することにより、森林の有する多面的機能の維持・増進を図り、以て森林環境の保全をするもので、森林整備の基盤となり生活環境の改善にも資する骨格的な林道の整備を行うことを目的とする。

【事業概要】

県営林道開設事業（農山漁村地域整備交付金）
路　線　名　：上ヶ床線（森林管理道2級）
事　業　期　間：平成6年～令和16年
全体計画延長：L=11,800m
全体事業費　：3,173,600千円（※令和5年度まで）
※島根県が施行する事業である。
【※町負担額は事業費の10%】

2.令和　4　年度事業実績（Do）

県営林道上ケ床線開設事業
【負担金】
80,000千円×10%負担=8,000千円
R4開設延長　L=130m

実績額		8,000 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起　債	8,000 千円
	特　定	千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	19,702㎥/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

平成6年度から令和3年度までに、全体11,800ｍのうち6,020ｍ、令和4年度に130ｍの開設工事を行ない、残り約5,650ｍ区間も順次開設工事を行う予定である。

【②.事業の課題】

事業開始から概ね30年経過したが、開設延長は約半分の状態である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

上ケ床線のように延長が長い林道の開設は多大な事業費を必要とし、それを県営事業で行うことは町財政にとっても有利であることから、今後も引続き必要な事業である。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

今後も継続して全線開通を目指し実施する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	県営林道事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-22

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	県営林道上ケ床線開設事業負担金	県営林道上ケ床線開設事業負担金	県営林道上ケ床線開設事業負担金	県営林道上ケ床線開設事業負担金	県営林道上ケ床線開設事業負担金
	9,500 千円	10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	9,500 千円	10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	9,500 千円	10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	千円	千円	千円	千円	千円
目標値 ①	20,000㎥/年	20,000㎥/年	20,000㎥/年	20,000㎥/年	20,000㎥/年
目標値 ②③④⑤⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	林業専用道開設事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-23

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	6	項	2	目	3

指標		令和6年度目標値
①	原木製材品の島外出荷量（KPI）	20,000㎥/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

木材輸送路確保を目的とする林業専用道を開設し、森林施業に際し開設を予定する森林作業道と併せた路網構築を行うことにより、林業機械の稼働環境を整え木材生産性の向上を目指すことを目的とする。

【事業概要】

林業専用道開設事業

【布施地内】

事業期間：平成29年度～令和16年度（総事業費：496,000千円）

林道北谷岩山線　開設延長L=3,100m（道路幅=3.5m）

2.令和　4　年度事業実績（Do）

林業専用道開設事業

【令和3年度より繰越】

北谷岩山線開設4期工事

L=197m

27,485千円

実績額		27,485 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	14,861 千円
	起債	12,600 千円
	特定	千円
	一般財源	24 千円

実績値				
	①	19,702㎥/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

平成30年度より工事に着手し令和4年度までに約811m開設が完了した。今後も引き続き事業を進め令和16年度には全線開通予定である。

【②.事業の課題】

島内土木業者の高齢化に伴う人材不足と、県内の交付金の割当ての減少により年間に進められる事業量が限られてきており、事業の長期化が懸念される。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

林業振興を図っていくためにも、今後も引続き必要な事業である。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

国に対し決定前着手等の制度を利用し、早期の工事発注を行い、早期の事業完了を目指す。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	林業専用道開設事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-23

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	北谷岩山線開設5期工事　L=200m	北谷岩山線開設6期工事　L=200m	北谷岩山線開設7期工事　L=200m	北谷岩山線開設8期工事　L=200m	北谷岩山線開設9期工事　L=200m
	30,500 千円	31,000 千円	31,000 千円	31,000 千円	31,000 千円
	事務費	事務費	事務費	事務費	事務費
	848 千円	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	31,348 千円	32,000 千円	32,000 千円	32,000 千円	32,000 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	16,500 千円	16,500 千円	16,500 千円	16,500 千円	16,500 千円
財源内訳 起債	14,800 千円	15,500 千円	15,500 千円	15,500 千円	15,500 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	48 千円	千円	千円	千円	千円
目標値 ①	20,000㎥/年	20,000㎥/年	20,000㎥/年	20,000㎥/年	20,000㎥/年
目標値 ②③④⑤⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	林道橋梁長寿命化対策事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-24

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	6	項	2	目	3

指標		令和6年度目標値
①	原木製材品の島外出荷量（KPI）	20,000㎥/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

町内の林道施設内橋梁は約60橋あり、全体的な老朽化が進んでいるところである。今後の対策として橋梁施設の点検や補修を行っていく必要があり、林道施設の長寿命化を図りつつ、更新コストの平準化及び縮減を目指すことを目的とする。

【事業概要】

林道橋梁長寿命化対策事業
　林道橋梁点検・機能診断　62橋
　林道橋梁補修　10橋

2.令和　4　年度事業実績（Do）

林道橋梁長寿命化対策事業
　林道北谷線（五箇地区）1号橋
　橋梁補修工事
　5,503千円
　事務費
　144千円

実績額		5,647 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	2,500 千円
	起債	3,100 千円
	特定	千円
	一般財源	47 千円

実績値				
	①	19,702㎥/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

平成30年度から令和2年度にかけて橋梁点検を行った62橋について、前回調査から概ね5年経過した橋梁について、定期点検を実施する。
また、前回の点検で健全度Ⅲ判定以下であった10橋について随時、橋梁補修工事を行う。

【②.事業の課題】

橋梁点検は概ね5年に1回行うこととなっているが、開始時期に偏りがあるため、各年度の事業量の平準化を図る必要がある。
また、橋梁点検で健全度Ⅲ判定以下の橋梁については、老朽化状況・緊急度・橋の重要性を踏まえ、補修時期・補修工法を決定する必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

今後は、点検結果を踏まえ橋梁の長寿命化の観点から、補修等の整備計画（個別施設計画）を策定し、その計画に基づき修繕・更新を行い、コストの平準化を図る。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

点検結果により、老朽化状況・緊急度・橋の重要性を踏まえ、補修時期・補修工法を決定し、事業を実施していく。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	林道橋梁長寿命化対策事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-24

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度　（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	林道橋梁点検業務　13橋 9,100 千円 千円 千円 事務費 379 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	林道橋梁点検業務　13橋 9,100 千円 林道橋梁補修実施設計業務　3橋 12,000 千円 千円 事務費 500 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	林道橋梁点検業務　13橋 9,100 千円 林道橋梁補修実施設計業務　3橋 30,000 千円 林道橋梁補修工事　3橋 35,000 千円 事務費 1,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	林道橋梁点検業務　13橋 9,100 千円 林道橋梁補修実施設計業務　3橋 21,000 千円 林道橋梁補修工事　3橋 46,000 千円 事務費 1,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	林道橋梁点検業務　1橋 700 千円 千円 林道橋梁補修工事　3橋 25,000 千円 事務費 500 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	9,479 千円	21,600 千円	75,100 千円	77,100 千円	26,200 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	7,800 千円	10,550 千円	37,050 千円	38,050 千円	12,850 千円
財源内訳 起債	千円	6,000 千円	32,500 千円	33,500 千円	12,500 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	1,679 千円	5,050 千円	5,550 千円	5,550 千円	850 千円
目標値 ①	20,000㎥/年	20,000㎥/年	20,000㎥/年	20,000㎥/年	20,000㎥/年
目標値 ②③④⑤⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	林道改良事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-25

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	
予算区分	一般会計　款 6　項 2　目 3

指標		令和6年度目標値
①	原木製材品の島外出荷量（KPI）	20,000㎥/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

林道の機能向上のために未舗装道路を舗装し、また林道法面で崩壊の危険性のある個所に対し法面対策等の改良を行い、利用対象となる地域内の人家、または公共施設に対する環境改善、及び林業従事者の就業環境の改善を図ることを目的とする。

【事業概要】

林道改良事業（農山漁村地域整備交付金）
・林道南谷線法面改良事業〔負担区分：国50%　県5%　町45%〕
　林道南谷線（布施地内）　法面改良面積=1,000㎡
・林道寺山線舗装改良事業〔負担区分：国1/3　県5%　町62%〕
　林道寺山線（都万地内）　舗装延長=3,100m（道路幅員=4.0m）

2.令和　4　年度事業実績（Do）

林道改良事業
　林道寺山線舗装工事　L=389m
　10,480千円
　事務費
　296千円

実績額		10,776 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	3,910 千円
	起債	6,800 千円
	特定	千円
	一般財源	66 千円

実績値				
	①	19,702㎥/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和4年度より事業着手し、林道寺山線の舗装を389m実施した。令和5年度以降も引き続き寺山線の舗装を行う予定だが、令和6年度は林道南谷線の法面改良を実施する予定である。

【②.事業の課題】

林道の機能向上のために未舗装の林道を舗装し、また林道法面で崩壊の危険性がある個所に対し法面対策等の改良を行なう必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

林道路線内では法面からの落石が多く、崩壊の危険性のある箇所については安全対策工事を行う必要がある。また未舗装の林道を舗装することにより公共施設の環境改善、維持管理の低減にも繋がる。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

令和4年度より林道寺山線の舗装改良工事を実施しており、令和11年度に事業完了予定。
また、林道南谷線の法面改良工事は令和6年度に実施予定である。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	林道改良事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-25

5.年度別計画

	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	林道寺山線舗装工事　L=500m 14,500 千円 千円 千円 事務費 414 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 林道南谷線法面改良測量設計業務　1式 5,200 千円 林道南谷線法面改良工事　A=1,000㎡ 46,000 千円 事務費 800 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	林道寺山線舗装工事　L=500m 14,500 千円 千円 千円 事務費 400 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	林道寺山線舗装工事　L=500m 14,500 千円 千円 千円 事務費 400 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	林道寺山線舗装工事　L=500m 14,500 千円 千円 千円 事務費 400 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	14,914 千円	52,000 千円	14,900 千円	14,900 千円	14,900 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	5,300 千円	27,500 千円	5,300 千円	5,300 千円	5,300 千円
財源内訳 起債	9,600 千円	24,000 千円	9,600 千円	9,600 千円	9,600 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	14 千円	500 千円	千円	千円	千円
目標値 ①	20,000㎥/年	20,000㎥/年	20,000㎥/年	20,000㎥/年	20,000㎥/年
目標値 ②③④⑤⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	漁港・海岸施設長寿命化事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-26

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	6	項	3	目	3

指標		令和6年度目標値
①	種苗放流魚の漁獲高（KPI）	570t/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

漁港及び漁港海岸施設の点検・機能診断調査を行い、機能保全計画（漁港施設）及び、長寿命化計画（海岸施設）の策定を行いその結果を踏まえ、既存施設の更新コストの平準化・縮減を図ることを目的とする。

【事業概要】

漁港施設機能増進事業〔漁港〕
・機能増進基本計画の策定　2漁港
（都万・久見）
・保全工事の実施
海岸堤防等老朽化対策事業〔海岸〕
・海岸長寿命化計画の策定　7海岸
（大久・箕浦・都万・那久・油井・久見・布施）
・老朽化対策工事の実施

2.令和　4　年度事業実績（Do）

漁港・海岸施設長寿命化事業
　海岸堤防等老朽化対策事業
　　那久漁港海岸
　　川口突堤改良工事　L=9.5m
　　32,890千円
　　那久漁港海岸
　　川口突堤改良工事積算業務
　　1,210千円

実績額		34,100 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	18,700 千円
	起債	15,400 千円
	特定	千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	205t/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

漁港施設については平成28年度までに全9漁港において機能保全計画の策定を終え、その計画に基づき、令和2年度から令和3年度にかけて油井漁港の保全工事を行った。海岸施設については令和元年度までに油井･都万･大久海岸の長寿命化計画の策定を終え、令和4年度は那久漁港の川口突堤改良工事を行い、令和5年度に完了予定である。

【②.事業の課題】

漁港施設及び海岸施設とも整備後の老朽化により、対策工事を必要とする施設が増加している。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

今後も、漁港機能保全計画及び、海岸長寿命化計画に基づき工事を実施する。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

計画に基づき事業を実施していく。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	漁港・海岸施設長寿命化事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-26

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容	海岸堤防等老朽化対策事業 那久漁港海岸川口突堤対策工事　1式 52,000 千円 那久漁港海岸施設付帯工事　1式 5,000 千円 千円 千円	千円 千円 漁港施設機能増進事業 久見漁港泊地浚渫工事　1式 50,000 千円 千円	千円 千円 千円 漁港施設機能増進事業 都万漁港泊地浚渫工事　1式 50,000 千円	千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円
(Plan)	事務費 1,111 千円	事務費 950 千円	事務費 950 千円	千円	千円
	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	58,111 千円	50,950 千円	50,950 千円	千円	千円
財源内訳 国補助	26,840 千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	40,000 千円	40,000 千円	千円	千円
財源内訳 起債	31,200 千円	10,900 千円	10,900 千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	71 千円	50 千円	50 千円	千円	千円
目標値 ①	570t/年	570t/年	570t/年	570t/年	570t/年
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	中村地区集落環境整備事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-27

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	6	項	3	目	3

指標			令和6年度目標値
	①	種苗放流魚の漁獲高（KPI）	570t/年
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		

【事業目的】

中村地区は、背後の急峻な山と海に挟まれた漁村集落で、集落内道路の幅員狭小、消防水利等の不足、家屋背後の急傾斜対策が未実施等の問題から、防災機能が脆弱である。これらの問題を解消し、安全で快適な漁村環境の形成を図ることを目的とする。

【事業概要】

漁業集落環境整備事業（農山漁村地域整備交付金）
- 漁業集落排水施設（事業費：40,000千円）
  - ・雨水排水路整備　整備延長=70m
- 漁業集落道（事業費：128,000千円）
  - ・西村地区集落道整備　整備延長=440m
  - ・中村地区集落道整備　整備延長=510m
- 防災安全施設（25,570千円）
  - ・防犯灯　5基
  - ・防火水槽　2基
  - ・消火栓　10基

2.令和　4　年度事業実績（Do）

中村地区集落環境整備事業
- 中村地区水産飲雑用水
  - 管路布設(第1期)工事 L=200m　4,990千円
  - 管路布設(第2期)工事 L=354m　10,197千円
  - 管路布設工事積算業務　1式　6,413千円
  - 送水ポンプ場設計業務　1式　14,278千円
- 事務費　240千円

【令和5年度へ繰越】
- 中村地区水産飲雑用水
  - 管路布設(第1期)工事 L=200m　9,440千円
- 中村地区集落道整備
  - 土地購入費　5,000千円
  - 補償金　1,000千円
- 事務費　2,000千円

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和4年度は集落道整備事業において土地購入及び補償、水産飲雑用水事業においては管路布設工事及び送水ポンプ場の設計業務を実施したが、管路布設工事の一部と、集落道改良に伴う土地購入費・補償金・登記手数料を令和5年度へ繰越した。

また、令和5年度より水産飲雑用水事業を上下水道課所管とした。

【②.事業の課題】

当該事業は上下水道課（水産飲雑用水・漁業集落排水施設〔汚水〕）と共同に行っている事業なので、工事施工に伴い、単年度毎に多額の事業費が必要とされるが、交付金事業のため、国費が要望通り配分されていない状態が継続している。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

中村及び西村地区の集落環境を早急に改善するため、事業を推進していく必要がある。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

十分な事業費が配分されるように、国・県に要望をしていく。

実績額		36,118 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	16,500 千円
	起債	19,600 千円
	特定	千円
	一般財源	18 千円

実績値				
	①	205t/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	中村地区集落環境整備事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-27

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	中村地区集落道改良工事　L=200m 27,600 千円 防火水槽設置工事　1基 14,500 千円 西村地区集落道補償調査業務　1式 6,600 千円 中村地区雨水排水路 仮設工設計業務　1式 1,500 千円 千円 千円 土地購入費 1,200 千円 補償金 200 千円 事務費 800 千円 千円 千円 千円	千円 防火水槽設置工事　1基 10,000 千円 西村地区集落道改良工事　L=220m 28,500 千円 中村地区雨水排水路改良工事　L=70m 20,000 千円 防犯灯設置工事　2基 1,600 千円 千円 土地購入費 2,000 千円 補償金 600 千円 事務費 1,500 千円 千円 千円 千円	千円 西村地区集落道改良工事　L=220m 23,500 千円 千円 防犯灯設置工事　3基 2,400 千円 消火栓設置工事　4基 4,800 千円 土地購入費 1,500 千円 補償金 500 千円 事務費 800 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 消火栓設置工事　2基 2,400 千円 千円 千円 事務費 50 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 消火栓設置工事　2基 2,400 千円 千円 千円 事務費 50 千円 千円 千円 千円
事業費	52,400 千円	64,200 千円	33,500 千円	2,450 千円	2,450 千円
財源内訳	国補助　千円 県補助　23,350 千円 起　債　29,000 千円 特　定　千円 一般財源　50 千円	国補助　千円 県補助　31,350 千円 起　債　32,800 千円 特　定　千円 一般財源　50 千円	国補助　千円 県補助　16,350 千円 起　債　17,100 千円 特　定　千円 一般財源　50 千円	国補助　千円 県補助　1,200 千円 起　債　1,200 千円 特　定　千円 一般財源　50 千円	国補助　千円 県補助　1,200 千円 起　債　1,200 千円 特　定　千円 一般財源　50 千円
目標値	①　570t/年　④ ②　⑤ ③　⑥	①　570t/年　④ ②　⑤ ③　⑥	①　570t/年　④ ②　⑤ ③　⑥	①　570t/年　④ ②　⑤ ③　⑥	①　570t/年　④ ②　⑤ ③　⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	漁港施設機能強化事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-28

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	6	項	3	目	3

指標		令和6年度目標値
①	種苗放流魚の漁獲高（KPI）	570t/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

町が管理する漁港施設等の維持修繕、簡易な補修、漁港施設用地の舗装等を行い、漁業従事者への就労環境の安全・安心、水産業の再生・漁村の活性化を図ることを目的とする。

【事業概要】

・漁港施設用地の未舗装分の舗装
・航路安全のための航路標識灯の設置
・その他漁港施設の維持管理工事

2.令和　4　年度事業実績（Do）

漁港施設機能強化事業
　都万漁港突堤施設修繕工事
　　防舷材撤去取替　10基
　　照明柱撤去取替　1本
　　4,310千円

実績額		4,310 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	4,000 千円
	特定	千円
	一般財源	310 千円

実績値				
	①	205t/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和4年度は都万漁港の防舷材の取替えと照明柱の取替えを行った。このことにより漁業者や第三者に対し安全対策を講じることができた。

【②.事業の課題】

施設の老朽化等により、年々維持管理に掛かる費用が増加傾向にある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

漁港施設用地の舗装について、令和3年度をもって全ての漁港において整備済みとなった。今後も地元要望等も踏まえ漁港の維持管理に必要な事業である。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

地元要望等を踏まえながら、計画的に実施していく。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	漁港施設機能強化事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-28

5.年度別計画　令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
蛸木漁村公園トイレ改修工事　1箇所				
2,486 千円	千円	千円	千円	千円
千円	久見漁港標識灯設置工事　2基 10,000 千円	千円	千円	千円
千円	布施漁村公園改修工事（遊具等） 3,000 千円	千円	千円	千円
千円	千円	大久漁港標識灯設置工事　1基 5,000 千円	千円	千円
千円	千円	千円	犬来漁港標識灯設置工事　1基 5,000 千円	千円
千円	千円	千円	千円	箇浦漁港標識灯設置工事　1基 5,000 千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円

事業費	2,486 千円			事業費	13,000 千円			事業費	5,000 千円			事業費	5,000 千円			事業費	5,000 千円		
財源内訳	国補助	千円		財源内訳	国補助	千円		財源内訳	国補助	千円		財源内訳	国補助	千円		財源内訳	国補助	千円	
	県補助	千円			県補助	千円			県補助	千円			県補助	千円			県補助	千円	
	起　債	2,400 千円			起　債	10,000 千円			起　債	5,000 千円			起　債	5,000 千円			起　債	5,000 千円	
	特　定	千円			特　定	千円			特　定	千円			特　定	千円			特　定	千円	
	一般財源	86 千円			一般財源	3,000 千円			一般財源	千円			一般財源	千円			一般財源	千円	
目標値	①	570t/年	④	目標値	①	570t/年	④	目標値	①	570t/年	④	目標値	①	570t/年	④	目標値	①	570t/年	④
	②		⑤		②		⑤		②		⑤		②		⑤		②		⑤
	③		⑥		③		⑥		③		⑥		③		⑥		③		⑥

(Plan)

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	港整備交付金事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-29

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	6	項	3	目	3

指標		令和6年度目標値
①	種苗放流魚の漁獲高（KPI）	570t/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

既存の防波堤・護岸等を嵩上（改良）することにより、波浪時の越波による船舶及び漁具の損失を防ぐとともに、荒天時の港内静穏性、船揚げ作業の改善、就労環境及び港内の安全性向上を目指すことを目的とする。

【事業概要】

港整備交付金事業〔事業期間：令和3年度～令和7年度〕
・油井漁港（蔵田地区）〔事業費：670,000千円〕
　蔵田防波堤（延伸）　整備延長=30ｍ
　蔵田防砂堤（新設）　整備延長=90ｍ
・油井漁港（油井地区）〔事業費：225,000千円〕
　油井沖防波堤（嵩上）　整備延長=60ｍ
・布施漁港（布施地区）〔事業費：210,000千円〕
　布施防波堤（改良）　整備延長=20m

2.令和　4　年度事業実績（Do）

港整備交付金事業
　油井漁港
　沖防波堤測量設計業務　1式
　　20,039千円
　事務費
　　5,978千円
【令和5年度へ繰越】
　油井漁港（蔵田地区）
　ケーソン製作工事　L=30m
　　147,400千円
油井漁港（蔵田地区）
　ケーソン製作工事積算業務　1式
　　2,035千円

実績額		26,017 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	16,031 千円
	起債	9,900 千円
	特定	千円
	一般財源	86 千円

実績値				
	①	205t/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

本事業は漁港と港湾との連携について協議を行い、令和2年度に地域再生計画を策定し、事業採択を受けた。
令和4年度は油井漁港（油井地区）の沖防波堤測量設計業務及び油井漁港（蔵田地区）ケーソン製作工事を実施したが、蔵田地区の工事については災害復旧事業を優先した結果、令和5年度に繰越した。

【②.事業の課題】

港整備交付金事業は、港湾施設及び漁港施設を一体的に整備し、生活環境の向上及び水産振興を図る目的であるので、漁港と港湾かつ本土と離島との連携が必要な事業であることから、他の自治体や国・県との綿密な協議が必要である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

外郭施設を嵩上することにより、風浪時による越波を防ぎ静穏性を確保することで、漁労活動における負担軽減と安全性が向上し、集落の振興が図れるので事業実施は必要である。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

工事実施にあたり、海上作業が主であることから、天候に配慮した発注に努め、適正な工期により年度内完了を目指す。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	港整備交付金事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-29

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	油井漁港（蔵田地区） ケーソン据付工事　L=30m 216,500 千円 千円 事務費 3,779 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	油井漁港（蔵田地区） 漁港施設整備工事　L=30m 198,000 千円 千円 （新）布施漁港漁港施設改良工事 測量設計業務　1式 13,500 千円 事務費 4,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 油井漁港（油井地区） 漁港施設整備工事　L=60m 262,000 千円 千円 千円 事務費 4,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	油井漁港（蔵田地区） 防砂堤新設工事　L=90m 230,000 千円 千円 千円 千円 事務費 4,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 （新）布施漁港 漁港施設改良工事　L=20m 230,000 千円 千円 事務費 4,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	220,279 千円	215,500 千円	266,000 千円	234,000 千円	234,000 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	168,000 千円	169,200 千円	209,600 千円	184,000 千円	184,000 千円
財源内訳 起債	52,200 千円	46,200 千円	56,300 千円	49,900 千円	49,900 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	79 千円	100 千円	100 千円	100 千円	100 千円
目標値 ①	570t/年	570t/年	570t/年	570t/年	570t/年
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	町有林管理事業	担当	布施支所 地域振興係	整理番号	布-2

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	7	項	2	目	3

指標			令和6年度目標値
	①	原木製材品の島外出荷量（KPI）	20,000㎥/年
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		

【事業目的】

町有林の維持管理を行うとともに、未利用資源の活用による循環型産業の育成、新たな雇用の創出、循環する地域経済の推進を図る。

【事業概要】

町有林を対象に1団地10haから15haの人工林を選定し、5年毎に全体の約1/3に当たる面積を伐採し、翌年度から伐採跡地への植栽と植栽後5年間の下刈を実施する

・1団地の事業完了は事業開始から15年後となる。

・平成28年度から事業実施しており、現在5団地の更新伐事業を行っている。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

【令和４年度実績】

町有林管理事業　3,800千円

・下刈：0.22ha

・作業道修繕工事：1,000m

・境界確認、面積確認等

町有林収穫事業

・更新伐：14.27ha
12,634千円

・植栽：4.34ha
6,939千円

・下刈：16.77ha
5,170千円

・作業道開設：500m
1,000千円

実績額		29,543 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	13,910 千円
	起債	千円
	特定	5,750 千円
	一般財源	9,883 千円

実績値				
	①	19,702㎥/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

１回目の箇所は、平成28年度から令和2年度に実施し、合計24.8ha伐採、6,748㎥搬出実績となっている。２回目の箇所は、令和3年度から実施し、令和3年度4.44ha伐採、1,103㎥搬出、令和4年度4.52ha伐採、1,150㎥搬出実績であった。なお、継続しての下刈業務及び伐採後の植栽を行うことにより、循環型産業の育成、雇用の創出、及び経済の循環に繋がっている。

【②.事業の課題】

計画的に施業を実施しているが、木材価格は持ち直してはいるもののコロナ禍以前よりも僅かだが低い水準で推移している。また、原木の出荷先からの受け入れ制限も受けている状況であることから、運営には補助金を活用しても、依然として採算性が厳しい状況が続いている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

多くの町有林は伐期齢を迎えており、また、大径木の販路拡大も依然厳しい状況が続いていることから、今後も継続して事業を行い循環型産業の育成、及び地域経済の循環を図らなければならない。

なお、現在までの施業地選定は比較的立地条件のよい林道沿い等であり、高性能林業機械を使っての施業であったが、今後は架線を用いて急勾配・深山での施業、新たな事業の導入も計画したい。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

木材価格は持ち直してはいるもののコロナ禍以前よりも僅かだが低い水準で推移しており、依然として運営は厳しい状況にあるが、循環型産業の育成、新たな雇用の創出、地域経済の循環を図って行くためには、販路の開拓、新たな価値の創造等、今までと違った目線で資源の活用を推進していかなければならない。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	町有林管理事業	担当	布施支所 地域振興係	整理番号	布-2

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	町有林管理事業 3,800 千円 更新伐事業（4.63ha伐採） 12,921 千円 再造林（新植）事業（4.52ha） 7,980 千円 再造林（下刈）事業（16.67ha） 6,885 千円 間伐事業（1ha保育間伐） 550 千円 森林作業道開設事業（500ｍ） 1,000 千円	町有林管理事業 3,800 千円 更新伐事業（3.49ha伐採） 9,935 千円 再造林（新植）事業（4.63ha） 8,452 千円 再造林（下刈）事業（21.24ha） 6,333 千円 間伐事業（2.04ha保育間伐） 1,446 千円 森林作業道開設事業（500ｍ） 1,000 千円	町有林管理事業 3,800 千円 更新伐事業（3.48ha伐採） 9,815 千円 再造林（新植）事業（3.49ha） 6,371 千円 再造林（下刈）事業（20.89ha） 6,228 千円 千円 森林作業道開設事業（500ｍ） 1,000 千円	町有林管理事業 3,800 千円 更新伐事業（4.20ha伐採） 12,522 千円 再造林（新植）事業（3.48ha） 6,353 千円 再造林（下刈）事業（20.46ha） 6,100 千円 千円 森林作業道開設事業（500ｍ） 1,000 千円	町有林管理事業 3,800 千円 更新伐事業（5.31ha伐採） 13,091 千円 再造林（新植）事業（4.20ha） 7,660 千円 再造林（下刈）事業（20.32ha） 6,058 千円 千円 森林作業道開設事業（500ｍ） 1,000 千円
事業費	33,136 千円	30,966 千円	27,214 千円	29,775 千円	31,609 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	17,984 千円	17,289 千円	14,119 千円	15,570 千円	16,975 千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	5,650 千円	6,425 千円	6,450 千円	6,600 千円	6,400 千円
財源内訳 一般財源	9,502 千円	7,252 千円	6,645 千円	7,605 千円	8,234 千円
目標値 ①	20,000㎡/年	20,000㎡/年	20,000㎡/年	20,000㎡/年	20,000㎡/年
目標値 ②③④⑤⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	企業誘致事業	担当	商工観光課 商工労働係	整理番号	商観-1

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	2.島の特性を活かした新たな産業を育成します
重点施策	
関連計画	隠岐の島町中小企業・小規模企業振興計画

予算区分	一般会計	款	2	項	1	目	4

指標		令和6年度目標値
①	島外からの企業誘致数(KPI)	3社
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

本町においては、町内の高校卒業後、約9割の若者が進学や就職のため島外へ転出している状況となっている。就職先としても島外が多く、若者が好む仕事の選択肢が少ないことが転出の要因の1つと考えられている。このため、”増やしたい離さない生産年齢人口”をテーマに掲げ、若者にとって魅力のある多様な雇用の場を創出することを目的として、ソフト産業（IT企業等）等の企業誘致に取り組み、産業振興と雇用の創出に取り組む。

【事業概要】

本町の地域課題の解決(人材確保、事業所のDX化の推進及びサポート、業務効率化等)につながる取組を実施している誘致候補企業の掘り起こしを行うほか、世界ジオパークに認定された隠岐の島町の豊かな自然環境と、本土から独立した離島の社会環境を活かしたPR、セールス活動を行い誘致につなげる。
誘致企業に対しては、県、町の助成金制度(投資助成・家賃助成・雇用助成等)による支援を行う。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

地方創生テレワーク交付金事業
民間事業者所有施設
職住一体型コワーキング施設
整備事業費補助金（1施設）
（令和3年度繰越事業）
70,200千円

実績額		70,200 千円
財源内訳	国補助	35,100 千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	35,100 千円

実績値				
	①	0社	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

本町には島外IT企業の誘致によるテレワーク※注①ステーションとITシステム開発拠点が開設されており、雇用の創出に貢献しているだけでなく、高校生を中心としたIT人材育成にも取り組んでいる。令和3年度～4年度においては、地方創生テレワーク交付金を活用して、民間事業所による職住一体型のコワーキングスペース※注②が整備され、令和5年度から本格的に運営が開始されている。

【②.事業の課題】

現在、本町には誘致企業が利用できる町所有の貸しオフィス施設は2施設のみとなっている。企業の誘致を促進するためにも誘致企業のニーズに応じたサテライトオフィスの整備、確保が必要となっている。また、事業担当課だけでは、企業誘致に係る専門的知識、ノウハウが不足しているため、事業を推進するための体制整備も課題となっている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

多様な雇用の場を創出するだけでなく、IT技術等を活用して、本町が直面している地域課題の解決(人材確保、事業所のDX化の推進及びサポート、業務効率化等)につながる企業の誘致活動に取り組む必要がある。「地域課題＝住民ニーズ」、「誘致企業＝課題解決の強みを持つ企業の誘致」として捉え、住民ニーズと誘致企業のマッチングを図りながら取り組む。また、西郷港周辺の開発事業等の関連事業との整合性、連携を図りながら効果的な誘致につながるように取り組みを進める。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　令和５年度評価済

若者にとって、魅力のある多様な雇用の場を創出するためには、必要な事業であると考えます。誘致にあたっては、地域経済への影響を十分に見極めるなど、町内事業者と調整の上進めていただきたいと思います。また、西郷港周辺地区整備など庁内各部署が推進する施策との連携を図り、一過性でなく効果的な企業誘致に繋げて頂きたいです。一方で、町内の全業種で人手不足の状況にあります。企業誘致が更なる人手不足に拍車をかけないよう慎重に進めることも必要であると考えます。

4.改善・見直し（Action）

専門的知識、ノウハウを有するサポートコンサルタント企業等との連携を図り、町内事業所との意見交換、企業のニーズ調査を行ったうえで、地域課題の解決につながる企業の誘致活動に取り組む。（可能な限り町内既存事業者と競合しない事業者へのアプローチを行う。）
貸しオフィス物件については、空き家バンク制度と連携し、引き続き物件情報の収集を行う。
また、国の地方創生推進交付金事業等を活用したサテライトオフィス施設の整備についても検討を進める。
整備にあたっては、誘致企業と協働で設計等を行い、企業のニーズに合わせた施設の整備方法を検討する。併せて、木質ペレット等の再生可能エネルギーも活用し、サステナブルサテライトオフィスとしての整備を検討する。（町の遊休施設の活用も検討。）

※注①「テレワーク」とは
情報通信技術を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方
※注②「コワーキングスペース」とは
作業スペースや会議室、打ち合わせスペースなどを個人や複数の会社で共用し、それぞれ独立して作業を行う場所

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	企業誘致事業	担当	商工観光課 商工労働係	整理番号	商観-1

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	企業立地奨励助成金 投資助成（上限30,000千円） 家賃助成（上限20,000千円） 雇用助成（上限10,000千円） ※助成額は誘致企業決定後に算出	企業立地奨励助成金 投資助成（上限30,000千円） 家賃助成（上限20,000千円） 雇用助成（上限10,000千円） ※助成額は誘致企業決定後に算出	企業立地奨励助成金 投資助成（上限30,000千円） 家賃助成（上限20,000千円） 雇用助成（上限10,000千円） ※助成額は誘致企業決定後に算出	企業立地奨励助成金 投資助成（上限30,000千円） 家賃助成（上限20,000千円） 雇用助成（上限10,000千円） ※助成額は誘致企業決定後に算出	企業立地奨励助成金 投資助成（上限30,000千円） 家賃助成（上限20,000千円） 雇用助成（上限10,000千円） ※助成額は誘致企業決定後に算出
	千円	千円	千円	千円	千円
			新）企業誘致促進事業 誘致推進活動業務委託費 【業務内容】 ・既存調査結果からの誘致企業の抽出作業 ・地元企業意見調整 ・ブランディング策定（訴求付加価値の創出） ・地域プロジェクトマネージャー人材発掘	企業誘致促進事業 誘致推進活動業務委託費 【業務内容】 ・プロモーション費（PR動画、特設HP開設等） ・誘致対象企業訪問、Web説明会 ・お試し勤務ツアー	企業誘致促進事業 誘致推進活動業務委託費 【業務内容】 ・誘致対象企業訪問、Web説明会 ・お試し勤務ツアー
	千円	千円	6,000 千円	5,000 千円	4,000 千円
					サステナブルサテライトオフィス実施設計業務 既存遊休施設を改修 ※事業費は令和8年度に算定
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	千円	千円	6,000 千円	5,000 千円	4,000 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	3,000 千円	2,500 千円	2,000 千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	千円	千円	3,000 千円	2,500 千円	2,000 千円
目標値 ①	2社	3社	4社	4社	4社
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	再生可能エネルギー事業	担当	環境課 エネルギー対策室	整理番号	環-12 （重複）

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	2.島の特性を活かした新たな産業を育成します
重点施策	再生可能エネルギー事業
関連計画	隠岐の島町地球温暖化対策実行計画 バイオマス産業都市構想、緑のコンビナート構想
予算区分	一般会計　款 2　項 1　目 4

指標		令和6年度目標値
①	木質ペレットの製造量（KPI）	1,800t/年
②	再生可能エネルギー発電量（KPI）	4,500kw/年
③	地域資源を活かした産業創出（KPI）	3件
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

2050カーボンニュートラルに向け、町民・行政・事業者が一体となって、地球環境に強い危機感を持ち、カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを全町的に推進する。

【事業概要】

・住宅用太陽光発電パネル設置、木質ペレット熱利用設備（ペレットストーブ）設置へ助成し、再生可能エネルギーの普及を図る。
・旧空港跡地に設置した大型太陽光発電施設の設置に伴う支援を行う。
・木質ペレット発電事業者に対し、補助金による支援を行う。
・民間企業と連携した公共施設への太陽光発電設備の導入及び電気自動車の購入等、脱炭素移行に伴う支援を行う。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

○計画策定
・隠岐の島町地球温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）
　区域施策編：8,426千円
　事務事業編：3,338千円

○補助金
・住宅用太陽光発電システム
　0件
・木質ペレット熱利用設備整備
　1件：400千円

実績額		12,164 千円
財源内訳	国補助	6,319 千円
	県補助	200 千円
	起債	千円
	特定	3,338 千円
	一般財源	2,307 千円

実績値				
	①	150ｔ/年	④	
	②	3,340kw/年	⑤	
	③	0件/年	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

再生可能エネルギーの助成事業の状況は、住宅用太陽光発電施設設置は71世帯、340kw、木質ペレット熱利用設備導入の実績は13世帯、9ｔである。
その他民間事業者により旧空港跡地大型太陽光発電（3,000kw）が稼働中、南谷・油井の小水力発電が稼働予定（300kw）、木質ペレット発電（150kw）、大峰山風力発電1機（1,990kw）を新設予定である。

【②.事業の課題】

住宅用太陽光発電による買取制度（FIT）の買上げ金額が近年低下したことから、設備投資費が10年程度で回収できない状況となり、近年、導入申請実績がない状態である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

国では「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロを目指す」としており、本町でも令和5年度に脱炭素社会へ向けた取組を定めた地球温暖化対策実行計画を策定し、「隠岐の島町ゼロカーボンシティ宣言」を表明した。今後は、策定計画を基に再生可能エネルギーの地産地消、自給自足を推進する。令和6～10年度を脱炭素移行の集中期間とし、重点対策加速化交付金を活用した各種事業を行う。

【④.外部評価】　方向性：　手法・内容の見直し　**令和3年度評価済**

世界規模で環境問題が深刻化する中で、木質ペレットによる再生可能エネルギーの取組は理解できます。しかし、木質ペレットの民間導入実績9世帯、公共施設への設置も容易ではないなど、木質ペレットの普及が進まない状況では町民の理解は得られなくなってしまうと感じます。現在の事業内容で「木質ペレットの製造量」の目標は実現可能なのか、早急に事業内容を改善すべき必要があると考えます。

4.改善・見直し（Action）

令和4年度に再生可能エネルギー導入促進のため、補助金交付額の改定を行った。また、県内の自治体で補助金導入が増えている蓄電池設置補助金を新たに追加した。
今後の再生可能エネルギーに関する取組については、令和4年度に策定した隠岐の島町地球温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）を基に行う。

○補助金改定内容
住宅用太陽光発電システム等設備事業補助金
・太陽光発電システム
　改定前：1kwあたり1万円（上限4kw 4万円）
　改定後：1kwあたり3万円（上限4kw 12万円）
・蓄電池設備(新)
　設置費用（上限7万円）

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	再生可能エネルギー事業	担当	環境課 エネルギー対策室	整理番号	環-12 （重複）

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	住宅用太陽光発電システム等補助金 190 千円 木質ペレット熱利用設備整備補助金 400 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	住宅用太陽光発電システム等補助金 （太陽光発電 3件、蓄電池 3件） 570 千円 木質ペレット熱利用設備整備補助金 （3件） 1,200 千円 木質ペレット発電事業補助金 30,000 千円 重点対策加速化事業補助金（蓄電池） 7,000 千円 重点対策加速化事業補助金（EV車） 13,690 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	住宅用太陽光発電システム等補助金 （太陽光発電 3件、蓄電池 3件） 570 千円 木質ペレット熱利用設備整備補助金 （3件） 1,200 千円 木質ペレット発電事業補助金 29,800 千円 重点対策加速化事業補助金（蓄電池） 14,000 千円 重点対策加速化事業補助金（EV車） 16,920 千円 重点対策加速化事業補助金（ボイラー） 5,000 千円 重点対策加速化事業補助金 （EV急速充電） 6,000 千円 千円 千円 千円 千円	住宅用太陽光発電システム等補助金 （太陽光発電 3件、蓄電池 3件） 570 千円 木質ペレット熱利用設備整備補助金 （3件） 1,200 千円 木質ペレット発電事業補助金 24,000 千円 重点対策加速化事業補助金（蓄電池） 7,000 千円 重点対策加速化事業補助金（EV車） 20,150 千円 重点対策加速化事業補助金 （EV急速充電） 3,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円	住宅用太陽光発電システム等補助金 （太陽光発電 3件、蓄電池 3件） 570 千円 木質ペレット熱利用設備整備補助金 （3件） 1,200 千円 木質ペレット発電事業補助金 23,000 千円 重点対策加速化事業補助金（蓄電池） 7,000 千円 重点対策加速化事業補助金（EV車） 23,380 千円 重点対策加速化事業補助金（ボイラー） 95,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	590 千円	52,460 千円	73,490 千円	55,920 千円	150,150 千円
財源内訳	国補助　千円 県補助　350 千円 起　債　千円 特　定　千円 一般財源　240 千円	国補助　11,006 千円 県補助　780 千円 起　債　千円 特　定　千円 一般財源　40,674 千円	国補助　22,085 千円 県補助　780 千円 起　債　千円 特　定　千円 一般財源　50,625 千円	国補助　14,916 千円 県補助　780 千円 起　債　千円 特　定　千円 一般財源　40,224 千円	国補助　79,079 千円 県補助　780 千円 起　債　千円 特　定　千円 一般財源　70,291 千円
目標値	①　300t/年　④ ②　5,340kw/年　⑤ ③　0件/年　⑥	①　1,230t/年　④ ②　5,800kw/年　⑤ ③　1件/年　⑥	①　1,800t/年　④ ②　5,810kw/年　⑤ ③　1件/年　⑥	①　1,800t/年　④ ②　5,820kw/年　⑤ ③　1件/年　⑥	①　1,800t/年　④ ②　5,830kw/年　⑤ ③　1件/年　⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	海上交通維持対策事業	担当	地域振興課 定住推進係	整理番号	地-16

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	3.ひとの往来を促す離島交通の充実を図ります
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	2	項	1	目	9

指標		令和6年度目標値
①	隠岐航路の利用客数（西郷港の利用客数）（KPI）	300,000人/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

生活交通である航路運賃の低廉化により、離島と本土の格差を是正し、町民の経済的負担の低減を図ることを目的とする。

【事業概要】

町民を対象に、航路旅客運賃助成を行う。
・高速船及びフェリーの運賃をJR運賃並みに助成

2.令和　4　年度事業実績（Do）

航路旅客運賃助成事業助成金
209,253千円
利用者数　102,683人

実績額		209,253 千円
財源内訳	国補助	115,089 千円
	県補助	47,082 千円
	起債	千円
	特定	47,082 千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	216,965人/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

旅客運賃助成事業を実施することで、町民の経済的負担の軽減を図ることができた。新型コロナウイルス感染症の影響がほぼなくなりつつあり、運賃助成対象の延利用客数は、約13,000人増加し、102,683人となった。

【②.事業の課題】

現在は、町民及び準住民（住民に準ずる者：離島留学生の家族等）に対して運賃低廉化事業が適用されているが、本土からの来島者や物資輸送、車両航送料金等について低廉化がなされていない。また、船内がバリアフリー化されていないことなど、障がい者を含む高齢者等の乗客ニーズに対応できていない。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

利便性向上に向けた取り組みを進めていくと共に、制度拡充に向けて国への働きかけを行う。また、令和8年度竣工予定の「フェリーしらしま」の後継船建造費の負担金が、令和6～8年度に計画されている。

【④.外部評価】　方向性：　拡大　　令和５年度評価済

離島で暮らす私たちにとって、非常に重要な事業であると認識しています。
また、今後定住人口や交流人口を増加させるためには、利便性の高いダイヤの検討や、船内のバリアフリー化、レインボーJETでの患者輸送など、検討すべき点が数多くあると認識しています。あわせて、本土との格差是正を図るため、我々だけでは解決できない物資輸送費の低廉化や、町民以外の運賃低廉化については、実績等を整理し、引き続き国や関係機関に対し、強固な働きかけをお願いします。

4.改善・見直し（Action）

利便性の高い航路ダイヤの見直し等サービス向上に向け関係機関との連携強化を図る。
運賃低廉化事業の制度拡充に向けて国や関係機関に対する要望活動を引き続き行う。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	海上交通維持対策事業	担当	地域振興課 定住推進係	整理番号	地-16

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	航路旅客運賃助成事業助成金	航路旅客運賃助成事業助成金	航路旅客運賃助成事業助成金	航路旅客運賃助成事業助成金	航路旅客運賃助成事業助成金
	180,000 千円	230,000 千円	230,000 千円	230,000 千円	230,000 千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	180,000 千円	230,000 千円	230,000 千円	230,000 千円	230,000 千円
財源内訳 国補助	99,000 千円	126,500 千円	126,500 千円	126,500 千円	126,500 千円
財源内訳 県補助	40,500 千円	51,750 千円	51,750 千円	51,750 千円	51,750 千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	40,500 千円	51,750 千円	51,750 千円	51,750 千円	51,750 千円
財源内訳 一般財源	千円	千円	千円	千円	千円
目標値 ①	294,000人/年	300,000人/年	300,000人/年	300,000人/年	300,000人/年
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	航空機利用促進対策事業	担当	商工観光課 観光交流係	整理番号	商観-2

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	3.ひとの往来を促す離島交通の充実を図ります
重点施策	
関連計画	第２次隠岐の島町観光振興計画

予算区分	一般会計	款	2	項	1	目	9

指標		令和6年度目標値
①	隠岐世界ジオパーク空港の乗降者数（KPI）	66,000人/年
②	隠岐世界ジオパーク空港の年間チャーター便数（KPI）	50便/年
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

隠岐島民の生活路線としての航空路の利便性の向上に努め、隠岐空港の利用者拡大を図るとともに、多種多様な観光資源を活用した集客対策に取り組み、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ観光需要の早期回復を目指す。

【事業概要】

・出雲・大阪便は島民の利便性を考慮した取組みを行い、更には令和3年度より有人国境離島地域社会維持交付金を活用した夏季便、チャーター便、冬季便等の観光利用者の需要拡大に取組む。
・【隠岐⇔出雲】隠岐航空路旅客運賃助成事業については、有人国境離島法による運賃助成金を行う。
・地域おこし企業人連携事業及び交流促進基盤整備事業については、都市圏民間企業からの社員派遣による協力連携のもと、地域の観光資源を活かした戦略を考案、実践し、新たな交流人口拡大に繋がる観光商品構築に取組む。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

◎隠岐空港利用促進協議会事業
・出雲・大阪便利用促進事業
39,627千円
乗降者数：出雲便 22,359人/年
大阪便32,383人/年
・隠岐空港夏季大型便運航推進事業
6,896千円
・FDAチャーター便支援事業
29,952千円
便数：36便/年1,759人

◎隠岐航空路旅客運賃助成事業
50,029千円
（隠岐⇔出雲）
島民利用者：12,672人

◎地域おこし企業人連携事業
5,600千円
ABCstyleから2名の職員派遣

◎交流促進基盤整備事業
9,997千円
・台湾向けﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝＰＶ・ＰＲ
・離島ﾎﾟｰﾀﾙｻｲﾄ・ｺﾝﾃﾝﾂ作成、掲載

実績額		142,101 千円
財源内訳	国補助	4,998 千円
	県補助	87,909 千円
	起債	6,400 千円
	特定	31,477 千円
	一般財源	11,317 千円

実績値				
	①	54,742人/年	④	
	②	36便/年	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

平成30年5月から隠岐～大阪間が通年ジェット化となり、利便性・快適性の向上が図られている。隠岐～出雲間においては有人国境離島法による運賃助成金、令和元年7月より最新機材(48人乗り)に替わり、利用者の増加に繋がり安定した搭乗率を維持している。また、FDAチャーター便就航によって、隠岐の知名度も徐々に上がり、全国から観光客が来島している。R4年度はコロナ感染拡大防止による行動制限もなくキャッシュバックキャンペーンなどに取り組んだことにより過去最高の搭乗率となった月もあった。

【②.事業の課題】

これまで夏季大型便に特化した事業展開をしてきたが、隠岐～大阪間が通年ジェット化となったことや隠岐～出雲間が生活路線としての需要が増加してきていることもあり、通年で航空機利用の利便性の向上及びビジネスや観光による交流人口を増やし利用促進を図るとともに、隠岐の島町の観光、産業、文化など地域経済の活性化へとつなげていくことを目指し取組む。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

今後も運賃の低廉化を継続し、交通利便性の向上による町民の本土への移動に係る経済的な負担軽減を図っていく。また、隠岐～大阪間だけではなく、隠岐～羽田間の乗継（出雲・大阪）支援の強化など羽田首都圏からの集客促進を図り、安定した利用者の確保に努めるとともに、令和5年度は夏季大型便に替わる夏季複便化運航や生活路線として需要が増加している出雲便の復便化に向けた要望活動を行う。隠岐航空路線の回復後の需要増加に的確に対応し、隠岐航空路線の維持を図っていく。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　令和３年度評価済

離島割引により町民の経済的負担が軽減され、町民生活の安定と向上が図られています。今後も継続して運賃の低廉化に取り組み、島民だけでなく、来島者にとっても利用しやすい環境を整えて下さい。

新型コロナウィルス感染症の影響を大きく受けながらも、集客対策を図って取り組んでいることは評価できます。現在の就航の維持は勿論だが、チャーター便、夏季ジェットの利便性の向上にも努め、今後も引き続き観光振興に繋がるように取り組んで下さい。

4.改善・見直し（Action）

令和3年度より有人国境離島地域社会維持交付金を財源に充てており、隠岐空港利用の誘客促進強化を図っていく。

令和5年度は夏季大型便に替わる夏季複便化運航等に向けた要望活動を実施し、航空会社、旅行会社、島内観光関係者との情報共有を密に誘客対策に取り組む。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	航空機利用促進対策事業	担当	商工観光課 観光交流係	整理番号	商観-2

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	〔航空路運賃低廉化〕 航空路旅客運賃助成事業(隠岐⇔出雲) 40,000 千円 出雲・大阪便利用促進事業 集客数IN2,300人・OUT470人 41,530 千円 チャーター便支援事業 集客数IN 1,300人・OUT80人 24,940 千円 隠岐空港夏季大型便運航推進事業 集客数IN 600人・OUT350人 10,920 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	〔航空路運賃低廉化〕 航空路旅客運賃助成事業(隠岐⇔出雲) 50,000 千円 出雲・大阪便利用促進事業 （夏季複便運航推進費を含む） 集客数IN3,000人・OUT500人 IN対策　46,400千円 OUT対策　13,900千円 60,300 千円 チャーター便支援事業 集客数IN 2,000人・OUT100人 IN対策　39,600千円 OUT対策　4,000千円 43,600 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	〔航空路運賃低廉化〕 航空路旅客運賃助成事業(隠岐⇔出雲) 50,000 千円 出雲・大阪便利用促進事業 （夏季複便運航推進費を含む） 集客数IN3,000人・OUT500人 IN対策　46,400千円 OUT対策　13,900千円 60,300 千円 チャーター便支援事業 集客数IN 2,000人・OUT100人 IN対策　39,600千円 OUT対策　4,000千円 43,600 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	〔航空路運賃低廉化〕 航空路旅客運賃助成事業(隠岐⇔出雲) 50,000 千円 出雲・大阪便利用促進事業 （夏季複便運航推進費を含む） 集客数IN3,000人・OUT500人 IN対策　46,400千円 OUT対策　13,900千円 60,300 千円 チャーター便支援事業 集客数IN 2,000人・OUT100人 IN対策　39,600千円 OUT対策　4,000千円 43,600 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	〔航空路運賃低廉化〕 航空路旅客運賃助成事業(隠岐⇔出雲) 50,000 千円 出雲・大阪便利用促進事業 （夏季複便運航推進費を含む） 集客数IN3,000人・OUT500人 IN対策　46,400千円 OUT対策　13,900千円 60,300 千円 チャーター便支援事業 集客数IN 2,000人・OUT100人 IN対策　39,600千円 OUT対策　4,000千円 43,600 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	117,390 千円	153,900 千円	153,900 千円	153,900 千円	153,900 千円
財源内訳	国補助　千円 県補助　84,079 千円 起　債　8,900 千円 特　定　24,411 千円 一般財源　千円	国補助　千円 県補助　105,400 千円 起　債　17,900 千円 特　定　30,600 千円 一般財源　千円	国補助　千円 県補助　105,400 千円 起　債　17,900 千円 特　定　30,600 千円 一般財源　千円	国補助　千円 県補助　105,400 千円 起　債　17,900 千円 特　定　30,600 千円 一般財源　千円	国補助　千円 県補助　105,400 千円 起　債　17,900 千円 特　定　30,600 千円 一般財源　千円
目標値	①　63,000人/年　④ ②　45便/年　⑤ ③　⑥	①　66,000人/年　④ ②　50便/年　⑤ ③　⑥	①　67,000人/年　④ ②　55便/年　⑤ ③　⑥	①　68,000人/年　④ ②　60便/年　⑤ ③　⑥	①　69,000人/年　④ ②　65便/年　⑤ ③　⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	観光総務事務	担当	商工観光課 観光振興係	整理番号	商観-6

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	4.ひとを惹きつける観光地づくりを進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	7	項	2	目	1

指標		令和6年度目標値
①	隠岐推定入島客数(隠岐観光協会調べ)(KPI)	154,300人/年
②	隠岐の島町延宿泊数(島根県観光動態調査)(KPI)	81,700泊/年
③	隠岐の島町外国人延宿泊数(島根県観光動態調査)(KPI)	3,300人泊/年
④	隠岐観光消費額(隠岐観光協会調べ)(KPI)	2,010百万円/年
⑤		
⑥		

【事業目的】

本町の観光資源が持つ可能性と魅力を活用し、観光産業の持続・発展を目指す。また、観光関係組織と連携して戦略的に施策を計画・実行し、本町の観光振興を図ることを目的とする。

【事業概要】

(一社)隠岐の島町観光協会の組織強化と、観光客を呼び込む新たな観光の仕組みづくり、観光資源を活用した様々な着地型旅行商品の企画・開発、外国人の受け入れ環境の充実を目指し、補助金を交付する。また、(一社)隠岐ジオパーク推進機構(旧隠岐観光協会)が企画する誘客事業に補助金を交付し、本町を含む隠岐圏域への誘客を促し、地域及び経済が持続的に発展していく島を目指し取り組みを行う。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

隠岐の島町観光協会運営費補助金
（人件費9名分・事務費）
40,203千円

地域活性化企業人連携事業負担金
JTB人材を町観光協会へ派遣
(1/3年目)
4,200千円

隠岐ジオパーク推進機構補助金
[滞在型観光促進事業]
・企画乗船券造成事業
21,422千円
・ジオガイド活用事業
2,855千円
・電子クーポン発行事業
15,434千円

[春季版おき得乗船券]
・春季版おき得乗船券発行事業
1,055千円

実績額		85,169 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	30,776 千円
	起債	10,400 千円
	特定	千円
	一般財源	43,993 千円

実績値				
	①	95,931人/年	④	2,398百万円/年
	②	57,593泊/年	⑤	
	③	42人/年	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

隠岐ジオパーク推進機構においては、隠岐全体の観光振興施策として企画乗船券造成事業、ジオガイド活用事業、電子クーポン発行事業などに取り組んだ。隠岐の島町観光協会においては、観光牛突き、遊覧船受付事業などの取組みを展開した。各事業とも新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、来島客数などは徐々に回復傾向にあり、自主財源の確保も見据えることができた。

【②.事業の課題】

「隠岐諸島における今後の観光振興の中長期ビジョン」において、隠岐4町村間での連携不足が指摘されている。隠岐の島町観光協会は、観光宣伝・情報共有などのブラッシュアップや、観光諸団体・事業者との連携による地域経済・文化の振興・発展・向上が求められている。
また、観光需要が回復しつつある中で、インバウンドを含めた誘客促進事業の展開が求められる。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

隠岐全体では、ジオパークを基盤とした観光地域づくりを目指し、地域住民がその価値を理解、継承し、経済的にも豊かな隠岐諸島の実現に向けて取り組む必要がある。隠岐の島町観光協会は、各関係団体との連携に努め、魅力ある観光地としての仕組みづくりを促進し、さらなる自主財源確保を目指す必要がある。また、インバウンドの誘客や観光需要の喚起に取り組んでいく。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　令和３年度評価済

新型コロナウィルス感染症の影響が大きい中で、隠岐の島町観光協会や隠岐観光協会と連携して観光客の誘致を図ることは重要です。隠岐の島町観光協会や隠岐観光協会の自主事業への支援、自主財源確保を目指すように引き続き働きかける必要があります。
また、観光関連事業者への新型コロナウィルス感染症の影響を把握し、将来に向けた観光施策に取組んで下さい。

4.改善・見直し（Action）

隠岐4島の観光を統括する、(一社)隠岐ジオパーク推進機構を中心に各団体・事業者が連携しながら、隠岐全体の観光地づくり、誘客を図っていく。
隠岐の島町観光協会については、町の観光総合相談窓口としての機能を果たすとともに、魅力的な観光コンテンツが提供できるよう事業展開を促す。
今後、新型コロナウイルス感染症の影響は、ほぼなくなってくると思われるので、上記関係機関とともに、早急な誘客促進・観光客の受入体制確保、また、インバウンド対策に取り組んでいく。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	観光総務事務	担当	商工観光課 観光振興係	整理番号	商観-6

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	隠岐の島町観光協会運営費補助金 （人件費9人分・事務費） 44,237 千円 地域活性化企業人連携事業負担金 JTB人材を町観光協会へ派遣 (2/3年目) 5,600 千円 隠岐ジオパーク推進機構補助金 〔滞在型観光促進事業〕 ・企画乗船券造成事業 30,808千円 ・ジオガイド活用事業 2,856千円 ・ジオパーク周遊コンテンツ開発事業 2,856千円 36,520 千円 隠岐ジオパーク推進機構補助金 (春季版おき得乗船券) 1,143 千円 千円 千円 千円 千円	隠岐の島町観光協会運営費補助金 （人件費9人分・事務費） 44,996 千円 地域活性化企業人連携事業負担金 JTB人材を町観光協会へ派遣 (3/3年目) 5,600 千円 隠岐ジオパーク推進機構補助金 〔滞在型観光促進事業〕 42,000 千円 隠岐ジオパーク推進機構補助金 (春季版おき得乗船券) 1,143 千円 千円 千円 千円 千円	隠岐の島町観光協会運営費補助金 （人件費9人分・事務費） 45,553 千円 千円 隠岐ジオパーク推進機構補助金 〔滞在型観光促進事業〕 42,000 千円 隠岐ジオパーク推進機構補助金 (春季版おき得乗船券) 1,143 千円 千円 千円 千円 千円	隠岐の島町観光協会運営費補助金 （人件費9人分・事務費） 46,847 千円 千円 隠岐ジオパーク推進機構補助金 〔滞在型観光促進事業〕 42,000 千円 隠岐ジオパーク推進機構補助金 (春季版おき得乗船券) 1,143 千円 千円 千円 千円 千円	隠岐の島町観光協会運営費補助金 （人件費9人分・事務費） 47,480 千円 千円 隠岐ジオパーク推進機構補助金 〔滞在型観光促進事業〕 42,000 千円 隠岐ジオパーク推進機構補助金 (春季版おき得乗船券) 1,143 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	87,500 千円	93,739 千円	88,696 千円	89,990 千円	90,623 千円
財源内訳	国補助　千円 県補助　31,666 千円 起　債　44,200 千円 特　定　9,199 千円 一般財源　2,435 千円	国補助　千円 県補助　32,550 千円 起　債　44,900 千円 特　定　9,450 千円 一般財源　6,839 千円	国補助　千円 県補助　32,550 千円 起　債　45,500 千円 特　定　9,450 千円 一般財源　1,196 千円	国補助　千円 県補助　32,550 千円 起　債　46,800 千円 特　定　9,450 千円 一般財源　1,190 千円	国補助　千円 県補助　32,550 千円 起　債　47,400 千円 特　定　9,450 千円 一般財源　1,223 千円
目標値	①　148,119人/年　④　1,760百万円/年 ②　73,405泊/年　⑤ ③　2,475人泊/年　⑥	①　154,300人/年　④　2,010百万円/年 ②　81,700泊/年　⑤ ③　3,300人泊/年　⑥	①　157,100人/年　④　2,050百万円/年 ②　83,300泊/年　⑤ ③　3,300人泊/年　⑥	①　160,000人/年　④　2,090百万円/年 ②　84,000泊/年　⑤ ③　3,300人泊/年　⑥	①　160,000人/年　④　2,090百万円/年 ②　84,000泊/年　⑤ ③　3,300人泊/年　⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	観光振興事業	担当	商工観光課 観光振興係	整理番号	商観-7

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	4.ひとを惹きつける観光地づくりを進めます
重点施策	
関連計画	第2次隠岐の島町観光振興計画
予算区分	一般会計　款 7　項 2　目 2

指標		令和6年度目標値
①	隠岐推定入島客数(隠岐観光協会調べ)(KPI)	154,300人/年
②	隠岐の島町延宿泊数(島根県観光動態調査)(KPI)	81,700泊/年
③	隠岐の島町外国人延宿泊数(島根県観光動態調査)(KPI)	3,300人泊/年
④	隠岐観光消費額(隠岐観光協会調べ)(KPI)	2,010百万円/年
⑤		
⑥		

【事業目的】

観光客を惹きつけ満足いただくための観光メニューを充実するとともに、観光事業を行う団体や事業者への支援を行い、町全体の観光振興を目指す。

【事業概要】

観光メニューの充実を図るため、事業者等への支援を行い、観光客の満足度向上と観光消費額の増加を目指す。また、宿泊事業者の創業や事業拡大、事業承継のための補助制度を設け、観光客受け入れのためのキャパシティの確保を目指す。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

観光牛突き事業
町観光協会補助金：10,741千円

ウルトラマラソン事業
実行委員会補助金：8,200千円

島まつり事業
実行委員会補助金：2,252千円

アクティビティ振興事業
広告宣伝費：660千円

ジオバス運行事業
運行事業委託料：4,000千円

地域おこし協力隊活用事業
ｼﾞｵﾂｱｰﾃﾞｽｸｶﾞｲﾄﾞ：3,635千円

雇用拡充事業補助金：2事業者
補助総額：20,520千円

宿泊施設立地等促進事業費補助金
補助金(1業者)：30,000千円

中小企業制度融資支援事業
補助金(1業者)：96千円

全国闘牛サミット事業：273千円

実績額		80,377 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	18,343 千円
	起債	10,700 千円
	特定	5,194 千円
	一般財源	46,140 千円

実績値				
	①	95,931人/年	④	2,398百万円/年
	②	57,593泊/年	⑤	
	③	42人/年	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

新型コロナウイルス感染症の影響により、開催見送りとなる観光イベントはあったものの、隠岐の島ウルトラマラソンが3年ぶりに開催され、来島客数・観光客数は徐々に増えつつある状況になった。
一方で、宿泊施設の整備面においては、雇用拡充補助金や宿泊施設立地等促進事業費補助金を活用し、アフターコロナを見据えて、宿泊キャパシティの確保に向けた取り組みが行われた。

【②.事業の課題】

来島者が増加している状況で、今後どのような需要があるのかを見極める必要がある。隠岐の島の豊かな自然、環境を活かしたアウトドアアクティビティの充実や、インバウンド（訪日外国人旅行客）に対する案内など、受け入れ体制の整備が必要である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

既存事業については現状にあったスタイルで行うことを検討するとともに、ニーズにそぐわない事業は廃止する。アウトドアアクティビティについては、町全体をフィールドとしてとらえ、メニューの充実を図る必要がある。また、行政だけでなく、民間を主体とした観光メニューの開発や、観光人材の育成に力を入れ、官民一体となった観光地域づくりが行われるよう事業を進める必要がある。

【④.外部評価】　方向性：　手法・内容の見直し　　令和４年度評価済

新型コロナウイルス感染症の影響により、観光客のニーズや嗜好が大きく変化したことは理解します。だからこそ先を見据え、今後どのような需要があるのかをしっかり見極めて下さい。アウトドアツーリズムの需要が高まる中、離島の魅力や、隠岐世界ジオパークについてさらに発信していくべきではないでしょうか。また、民間が主体となった観光メニューの開発や、観光人材の育成が重要となるのではないかと考えます。官民一体となった観光地域づくりが行われ、島が活性化することを期待します。

4.改善・見直し（Action）

観光地として魅力的なメニューの提供や、本町の特徴を活かしたアウトドアアクティビティの充実に向けた取り組みを推進し、観光客の増加・満足度向上を目指す。

悪天候時の対策として、隠岐ジオゲートウエイ、隠岐ポートプラザ2階などの施設を活用した観光メニューの造成を検討していく。
ウルトラマラソンや島まつりなどの定着している既存イベント事業については、より効果を上げるために何が必要かを検討し事業展開を図る。隠岐の島町合併20周年という節目も見据えながら事業計画を作成し、体制を確立していく。

また、宿泊事業者向けの補助制度を効果的に活用し、創業、事業拡大、事業継承を促進し、宿泊キャパシティの確保を図る。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	観光振興事業	担当	商工観光課 観光振興係	整理番号	商観-7

5.年度別計画　令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
観光牛突き事業 支援・開催補助：6,103千円 突き牛導入補助：5,220千円 11,323 千円	観光牛突き事業 支援・開催補助：6,103千円 突き牛導入補助：5,220千円 11,323 千円	観光牛突き事業 支援・開催補助：6,103千円 突き牛導入補助：5,220千円 11,323 千円	観光牛突き事業 支援・開催補助：6,103千円 突き牛導入補助：5,220千円 11,323 千円	観光牛突き事業 支援・開催補助：6,103千円 突き牛導入補助：5,220千円 11,323 千円
ウルトラマラソン事業 8,200 千円	ウルトラマラソン事業 7,100 千円	ウルトラマラソン事業 6,000 千円	ウルトラマラソン事業 6,000 千円	ウルトラマラソン事業 6,000 千円
島まつり事業 4,815 千円	島まつり事業 5,000 千円	島まつり事業 5,000 千円	島まつり事業 5,000 千円	島まつり事業 5,000 千円
アクティビティ振興事業 広告宣伝委託料：880千円 イベント参加費：411千円 事務費　　：139千円 ガイド育成事業：600千円 2,030 千円	アクティビティ振興事業 広告宣伝年会費：220千円 イベント参加費：600千円 事務費　　：140千円 ガイド育成事業：1,040千円 ツアー造成事業：1,000千円 3,000 千円	アクティビティ振興事業 広告宣伝年会費：220千円 イベント参加費：600千円 事務費　　：140千円 ガイド育成事業：1,040千円 ツアー造成事業：1,000千円 3,000 千円	アクティビティ振興事業 広告宣伝年会費：220千円 イベント参加費：600千円 事務費　　：140千円 ガイド育成事業：1,040千円 ツアー造成事業：1,000千円 3,000 千円	アクティビティ振興事業 広告宣伝年会費：220千円 イベント参加費：600千円 事務費　　：140千円 ガイド育成事業：1,040千円 ツアー造成事業：1,000千円 3,000 千円
(Plan) ジオパス運行事業(県補助有1/3年目) 4,100 千円	ジオパス運行事業(県補助有2/3年目) 4,100 千円	ジオパス運行事業(県補助有3/3年目) 4,100 千円	ジオパス運行事業 4,100 千円	ジオパス運行事業 4,100 千円
地域おこし協力隊活用事業 ｼﾞｵﾂｱｰﾃﾞｽｸ活動費(3/3年目) 3,919 千円	地域おこし協力隊活用事業(1/3年目) ※活動費は配置確定後に算出 千円	地域おこし協力隊活用事業(2/3年目) ※活動費は配置確定後に算出 千円	地域おこし協力隊活用事業(3/3年目) ※活動費は配置確定後に算出 千円	千円
国際交流員活用事業 5,264 千円	国際交流員活用事業 5,300 千円	国際交流員活用事業 5,300 千円	国際交流員活用事業 5,300 千円	国際交流員活用事業 5,300 千円
雇用機会拡充事業補助金 継続(5/5年目)1件：　9,000千円 継続(2/5年目)1件：　9,000千円 新規(1/1年目)1件：12,000千円 30,000 千円	雇用機会拡充事業補助金 継続(3/5年目)1件：　9,000千円 新規（※助成額は事業者決定後に算出） 9,000 千円	雇用機会拡充事業補助金 継続(4/5年目)1件：　9,000千円 9,000 千円	雇用機会拡充事業補助金 継続(5/5年目)1件：　9,000千円 9,000 千円	千円
地域一体型高付加価値化事業 1件：60,000千円 60,000 千円	地域一体型高付加価値化事業 1件：30,000千円 30,000 千円	千円	千円	千円
宿泊立地等促進事業費補助金 1件：4,000千円 4,000 千円	宿泊立地等促進事業費補助金 ※助成額は事業者決定後に算出 千円	宿泊立地等促進事業費補助金 ※助成額は事業者決定後に算出 千円	宿泊立地等促進事業費補助金 ※助成額は事業者決定後に算出 千円	宿泊立地等促進事業費補助金 ※助成額は事業者決定後に算出 千円
千円	観光メニュー造成事業 （寄付金活用事業） 5,000 千円	千円	千円	千円

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	観光振興事業	担当	商工観光課 観光振興係	整理番号	商観-7

（その他） 輝けイレブン参加費　：　622千円 全国闘牛サミット事業：1,257千円 1,879 千円 千円						（その他） 全国闘牛サミット事業：1,260千円 1,260 千円 分散型ホテル事業（1/5年目） ※助成額は事業者決定後に算出 千円						（その他） 全国闘牛サミット事業：1,260千円 1,260 千円 分散型ホテル事業（2/5年目） ※助成額は事業者決定後に算出 千円						（その他） 全国闘牛サミット事業：1,260千円 1,260 千円 分散型ホテル事業（3/5年目） ※助成額は事業者決定後に算出 千円						（その他） 全国闘牛サミット事業：1,260千円 1,260 千円 分散型ホテル事業（4/5年目） ※助成額は事業者決定後に算出 千円					
事業費		135,530 千円				事業費		81,083 千円				事業費		44,983 千円				事業費		44,983 千円				事業費		35,983 千円			
財源内訳	国補助	千円				財源内訳	国補助	千円				財内訳源	国補助	千円				財源内訳	国補助	千円				財源内訳	国補助	千円			
	県補助	58,404 千円					県補助	11,656 千円					県補助	11,656 千円					県補助	9,825 千円					県補助	2,325 千円			
	起　債	11,300 千円					起　債	11,300 千円					起　債	11,300 千円					起　債	11,300 千円					起　債	11,300 千円			
	特　定	9,059 千円					特　定	6,500 千円					特　定	1,500 千円					特　定	1,500 千円					特　定	千円			
	一般財源	56,767 千円					一般財源	51,627 千円					一般財源	20,527 千円					一般財源	22,358 千円					一般財源	22,358 千円			
目標値	①	148,119人/年	④	1,760百万円/年		目標値	①	154,300人/年	④	2,010百万円/年		目標値	①	157,100人/年	④	2,050百万円/年		目標値	①	160,000人/年	④	2,090百万円/年		目標値	①	160,000人/年	④	2,090百万円/年	
	②	73,405泊/年	⑤				②	81,700泊/年	⑤				②	83,300泊/年	⑤				②	84,000泊/年	⑤				②	84,000泊/年	⑤		
	③	2,475人泊/年	⑥				③	3,300人泊/年	⑥				③	3,300人泊/年	⑥				③	3,300人泊/年	⑥				③	3,300人泊/年	⑥		

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	観光振興事業	担当	商工観光課 観光振興係	整理番号	商観-7

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	都市交流推進事業	担当	商工観光課 観光交流係	整理番号	商観-8

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	4.ひとを惹きつける観光地づくりを進めます
重点施策	
関連計画	第2次隠岐の島町観光振興計画
予算区分	一般会計　款 7　項 2　目 2

指標		令和6年度目標値
①	隠岐推定入島客数(隠岐観光協会調べ)(KPI)	154,300人/年
②	隠岐の島町延宿泊数(島根県観光動態調査)(KPI)	81,700泊/年
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

交流都市が開催している事業に参加、支援をすることで交流人口の拡大を目指す。また、豊中市学童交流事業の一環として行っている、学童交流軟式野球大会（ござんせCUP）・隠岐の島町選抜チームの豊中市訪問を通じて参加選手、選手保護者及びスタッフ相互間の交友を深める。

【事業概要】

・交流都市へのＰＲ活動参加及びまつり実行委員会への補助金の支出を行う。
・島外から多数の学童野球チームを招聘し相互間の交友、見分を深めるため学童交流軟式野球大会（ござんせCUP）の開催運営、経費への補助を行う。
・本町の学童軟式野球選抜チームが豊中市を訪問し相互交流を通して人材育成や交流人口の拡大を図るためコーチ派遣旅費等に補助を行う。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

新型コロナウイルス感染症の影響により、学童交流軟式野球大会（ござんせCUP）が中止となった。
豊中市と隠岐の島町選抜チームの親善野球大会が3月に4年ぶりに開催された。大会を通じて参加選手、選手保護者及びスタッフ相互間の交流する関係づくりができる機会を設けることで住民レベルの交流に繋がった。

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

交流都市のイベントに参加することで、隠岐の知名度の向上に繋がっている。また、学童交流軟式野球大会の開催に伴い、島外から9チームを招き、選手及び保護者、約250名が来島することにより交流人口拡大のために一定の役割を果たしている。長年に渡り交流を続けてきたことにより現在2名が隠岐高等学校に島留学している。R4年度には豊中市において隠岐神楽公演を実施し、子供から大人まで約24名が参加するなど文化交流も実施した。R5年度には豊中市から児童の環境学習ツアーが企画されており、幅広い年齢層での交流に繋がってきている。

【②.事業の課題】

コロナ過で住民同士の交流が3年間できなかったこともあり、交流再開への住民への周知が難しかった。自治体双方での受け入れ体制（行政のみならず住民同士）が整わなければ事業が継続することが難しくなるため、まずは、再開された学童交流軟式野球大会での住民同士の交流を維持すること及び都市間交流についての住民への周知が課題となっている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

本事業は交流人口・関係人口の拡大のため必要な事業であり、長年、関西・関東圏域での交流を深めており幅広い年齢層での交流に繋がっている。今後は、社会情勢や交流人口拡大に繋がる新たな都市について精査する必要がある。また、多種目・幅広い年齢層・性別でのスポーツ又は文化交流を検討するとともに、交流が希薄にならないようイベントでのPR活動を行い交流人口・関係人口の拡大につなげる。

【④.外部評価】　方向性：　手法・内容の見直し　**令和５年度評価済**

自治体間において交流を行うことは、「交流人口・関係人口の拡大」や「地域産品の販路拡大」など、大きな効果が期待できます。現在の野球に特化した交流のみではなく、他分野にわたる交流が必要であると考えます。
本事業は、隠岐の島町と他の地域との「つながり」を広げ、継続させるための事業であるべきではないでしょうか。事業内容を精査し、総合振興計画の将来像に掲げた「つながらぁや、つながぁや」の実現に資する取組を期待します。

4.改善・見直し（Action）

当事業は、学童野球に特化した内容となっているが、学童・中学・大人と長年に渡り住民同士が交流を継続してきたことがきっかけとなり、他の分野（文化・教育）にも広がりつつあるため、今後は、長期にわたり継続できる多種目の交流について自治体双方で検討していく。
都市間交流について、R5年7月発行の広報に掲載を予定している。

実績額		2,940 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	2,940 千円

実績値				
	①	95,931人/年	④	
	②	57,593泊/年	⑤	
	③		⑥	

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	都市交流推進事業	担当	商工観光課 観光交流係	整理番号	商観-8

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容	交流都市へのPR活動事業 400 千円	交流都市へのPR活動事業 400 千円	交流都市へのPR活動事業 400 千円	交流都市へのPR活動事業 400 千円	交流都市へのPR活動事業 400 千円
	世田谷まつり参加旅費 480 千円	世田谷まつり参加旅費 480 千円	世田谷まつり参加旅費 480 千円	世田谷まつり参加旅費 480 千円	世田谷まつり参加旅費 480 千円
	豊中まつり参加旅費 400 千円	豊中まつり参加旅費 400 千円	豊中まつり参加旅費 400 千円	豊中まつり参加旅費 400 千円	豊中まつり参加旅費 400 千円
	学童軟式野球交流事業 1,500 千円	学童軟式野球交流事業 1,500 千円	学童軟式野球交流事業 1,500 千円	学童軟式野球交流事業 1,500 千円	学童軟式野球交流事業 1,500 千円
(Plan)	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	2,780 千円	2,780 千円	2,780 千円	2,780 千円	2,780 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
県補助	千円	千円	千円	千円	千円
起　債	千円	千円	千円	千円	千円
特　定	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	2,780 千円	2,780 千円	2,780 千円	2,780 千円	2,780 千円
目標値 ①	148,119人/年	154,300人/年	157,100人/年	160,000人/年	160,000人/年
②	73,405泊/年	81,700泊/年	83,300泊/年	84,000泊/年	84,000泊/年
③					
④					
⑤					
⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	国際交流推進事業	担当	商工観光課 観光交流係	整理番号	商観-9

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	4.ひとを惹きつける観光地づくりを進めます
重点施策	
関連計画	第2次隠岐の島町観光振興計画
予算区分	一般会計　款 7　項 2　目 2

指標		令和6年度目標値
①	隠岐の島町外国人延泊数（KPI）	3,300人泊/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

ポーランド共和国クロトシン市との相撲交流を通じて、隠岐諸島を欧州に広くPRするとともに、隠岐ユネスコ世界ジオパークを活用し、海外からの交流人口拡大を図る。また、ポーランド共和国出身の国際交流員を任用し本町で勤務を行うことで、クロトシン市との交流活動推進を図る。

【事業概要】

・国際交流推進事業業務委託
　クロトシン市との受入・訪問相互交流及び、未来像についての内容協議、会議を実施する。

・国際交流員(CIR)活用事業
　ポーランドと本町の文化・教育・習慣などの情報を双方へ紹介し、異文化に対する興味関心を高めるとともに、友好都市との通訳業務を行う。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

国際交流推進事業業務委託は新型コロナウイルス感染症の影響により事業が中止となった。

国際交流員(CIR)任用事業（人件費）
・クロトシン市との連絡・協議の翻訳
・双方の文化・教育・習慣などの情報発進
4,814千円

実績額		4,814 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	4,814 千円

実績値				
	①	42人/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

平成28年6月25日に友好都市提携を締結したクロトシン市とは、市制600周年記念式典に本町からも参加する等、相撲を基軸としながら交流を深めてきた。コロナウィルスの影響で対面での交流が延期、中止となっていたが、小学校・中学校にて文通・オンライン等で教育、文化の交流を実施している。また、クロトシン市において、ウクライナ避難者を受け入れ人道支援が行われており、友好都市を支援する活動として町内で募金活動を行った。集まった募金については、クロトシン市にて生活用品や医療品などウクライナ避難者への人道支援に活用していただいた。R5年5月にはクロトシン市から経済団が来島し経済交流・文通交流学校への訪問を実施。

【②.事業の課題】

相撲が「縁」で始まった交流が8年目を迎え、コロナ過でありながら、ビデオレターや文通による交流により徐々に芸術・文化・教育面での交流が広がりつつあるが、中長期にわたる国際交流のあり方について目的・意義・メリットを明確にし、広く町民へ共有できるよう進めていく必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

海外からの観光客の誘致や海外における本町の知名度向上のためにも必要な事業である。今後、しっかりとした中長期的な未来像を構築したうえで事業展開を進めていくため、クロトシン市と協議する。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

国を行き交うだけでなく、協力連携によりお互いの利益・メリット・効果に繋がるような事業展開していく。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	国際交流推進事業	担当	商工観光課 観光交流係	整理番号	商観-9

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	国際交流推進事業 ・クロトシン市代表団受入(経済交流) ・町代表団訪問(日本フェスティバル及び土俵完成式典) 3,000 千円 国際交流員（CIR）任用事業 ・現)交流員7月まで任用 ・新)交流員8月から任用 5,600 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	国際交流推進事業 ・クロトシン市代表団受入(相撲交流) 1,500 千円 国際交流員（CIR）任用事業 5,300 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	国際交流推進事業 ・クロトシン市代表団受入(相撲交流) ・町代表団視察訪問(経済交流) 3,000 千円 国際交流員（CIR）任用事業 5,300 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	国際交流推進事業 ・クロトシン市代表団受入(相撲交流) 1,500 千円 国際交流員（CIR）任用事業 5,300 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	国際交流推進事業 ・クロトシン市代表団受入(相撲交流) ・町代表団視察訪問(経済交流) 3,000 千円 国際交流員（CIR）任用事業 5,300 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	8,600 千円	6,800 千円	8,300 千円	6,800 千円	8,300 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	8,600 千円	6,800 千円	8,300 千円	6,800 千円	8,300 千円
目標値 ①	1,650人泊/年	2,475人泊/年	3,300人泊/年	3,300人泊/年	3,300人泊/年
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	観光施設管理運営事業	担当	商工観光課 観光振興係	整理番号	商観-10

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	4.ひとを惹きつける観光地づくりを進めます
重点施策	中村キャンプ場管理棟更新工事
関連計画	第2次隠岐の島町観光振興計画
予算区分	一般会計　款 7　項 2　目 3

指標		令和6年度目標値
①	隠岐推定入島客数(隠岐観光協会調べ)(KPI)	154,300人/年
②	隠岐の島町延宿泊数(島根県観光動態調査)(KPI)	81,700泊/年
③	隠岐の島町外国人延宿泊数(島根県観光動態調査)(KPI)	3,300人泊/年
④	隠岐観光消費額(隠岐観光協会調べ)(KPI)	2,010百万円/年
⑤		
⑥		

【事業目的】

観光施設の維持管理をするとともに、安心・安全・快適な観光施設を提供するため、老朽化した施設の計画的な補修・修繕等を行い、観光客が「また来たい」と思われる観光地づくりを進める。

【事業概要】

下記の観光施設について、適正な維持管理、補修、修繕等を行う。

【施設名】

・五箇テニスコート
・中村海水浴場・塩浜海水浴場・中村キャンプ場・立木キャンプ場
・海洋スポーツセンター・隠岐モーモードーム・大久地区公衆トイレ
・玉若酢公衆トイレ・国分寺公衆トイレ・池田共同牛舎・西郷共同牛舎
・五箇地区共同牛舎・都万地区共同牛舎・あいらんどパーク園地
・国民保養センター・レストランうみさち・スカイブリッジ・壇鏡の滝
・ジオパーク中核拠点施設・かっぱ遊覧船桟橋

2.令和　4　年度事業実績（Do）

テニスコート施設維持管理
　五箇テニスコート
　　人工芝・倒木撤去・修繕工事
　　1,629 千円
海水浴場施設維持管理事業
　海水浴場開設前工事(塩浜 中村)
　シャワー給湯配管替工事(塩浜)
　管理棟改築工事設計業務(中村)
　　7,444 千円
モーモードーム施設維持管理事業
　長寿命化計画策定業務
　　2,882 千円
海洋スポーツセンター
　　施設維持管理事業
　ﾊﾞｰｽﾊｳｽ浄化槽設備修繕工事
　　377 千円
ローソク島遊覧船待合所
　　施設維持管理事業
　アンカー・防舷材他設置工事
　　3,294 千円
レストランうみさち
　　施設維持管理事業
　エアコン更新　　605 千円
かっぱ遊覧船桟橋
　　施設管理運営事業
　改修工事設計業務　　499 千円
漁体育館施設維持管理事業
　屋根・破風板修繕工事
　　990 千円

実績額		17,720 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	7,100 千円
	特定	千円
	一般財源	10,620 千円

実績値				
	①	95,931人/年	④	2,398百万円/年
	②	57,593泊/年	⑤	
	③	42人/年	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

経年劣化した施設の改修及び修繕工事を実施し、安心・安全・快適な観光施設を提供することができた。

【②.事業の課題】

老朽化した観光施設が多く、改修・修繕が追いついていない。計画的な施設の改修、修繕を行う必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

観光施設の適正な維持管理のために必要な事業であり、今後は長寿命化計画を策定し、効率的に事業を実施することにより、安心・安全・快適な観光施設を提供する。また、「隠岐の島町アウトドアツーリズム基本構想」に基づき計画的に整備を行う事で、観光客や利用客に対する満足度の向上と交流人口の拡大につなげる。その中でも重要な施策として「拠点施設の整備」があり、３つの拠点施設①ジオゲートウェイ、②海洋スポーツセンター、③国民保養センターの機能強化と連携を進めていく必要がある。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

施設の現状（構造的な状況や利用状況）を基に優先順位をつけ、優先する観光施設を重点的に改修する。また、必要に応じて施設維持のために細かな部分の補修・修繕や施設用具の更新を行い、観光客や利用客のサービス・利便性の向上を図る。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	観光施設管理運営事業	担当	商工観光課 観光振興係	整理番号	商観-10

5.年度別計画　令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
海水浴場施設維持管理事業 海水浴場開設整備工事 3,971 千円	海水浴場施設維持管理事業 海水浴場開設整備工事 塩浜海水浴場階段改修・時計設置工事 7,500 千円	海水浴場施設維持管理事業 海水浴場開設整備工事 中村海水浴場飛び込み台改修工事 8,000 千円	海水浴場施設維持管理事業 海水浴場開設整備工事 4,000 千円	海水浴場施設維持管理事業 海水浴場開設整備工事 4,000 千円
モーモードーム施設維持管理事業 排水ポンプ施設設計業務 3,608 千円	千円	モーモードーム施設維持管理事業 排水ポンプ他敷設工事・工事監理業務 下水道接続工事 施設改修工事・駐車場排水溝改修工事 20,000 千円	モーモードーム施設維持管理事業 施設改修工事 駐車場舗装改修工事 30,000 千円	千円
キャンプ場施設維持管理事業 中村キャンプ場 管理棟・トイレ・シャワー棟更新工事・工事監理業務・分筆業務 86,484 千円	キャンプ場施設維持管理事業 中村キャンプ場（債務負担） 管理棟・トイレ・シャワー棟更新工事・工事監理業務 管理棟備品購入事業 キャンプ場施設維持管理事業 立木キャンプ場 炊事棟水道設備修繕工事 41,495 千円	千円	千円	千円
海洋スポーツセンター施設維持管理 植栽整備 400 千円	海洋スポーツセンター施設維持管理 植栽整備 3,000 千円	海洋スポーツセンター施設維持管理 植栽整備 1,500 千円	千円	千円
(Plan) ローソク島遊覧船待合所施設維持管理 トイレ増築工事設計業務 上下水道接続設計業務 2,221 千円	ローソク島遊覧船待合所施設維持管理 トイレ増築工事監理業務 トイレ増築工事 下水道接続・電気配線・外構工事 30,000 千円	千円	千円	千円
牛舎施設維持管理事業 下水道接続工事（西郷共同牛舎） 418 千円	千円	千円	千円	千円
かっぱ遊覧船桟橋維持管理事業 かっぱ遊覧船桟橋改修工事 （令和4年度繰越事業） 11,000 千円	千円	千円	千円	千円
千円	公衆トイレ施設維持管理事業 国分寺公衆トイレ下水道接続工事 600 千円	千円	千円	千円
千円	ビジターセンター施設管理運営事業 （レストラン凪） 電灯盤容量増設工事 970 千円	千円	千円	千円

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	観光施設管理運営事業	担当	商工観光課 観光振興係	整理番号	商観-10

事業費		108,102 千円				事業費		83,565 千円				事業費		29,500 千円				事業費		34,000 千円				事業費		4,000 千円	
財源内訳	国補助	千円				財源内訳	国補助	千円				財内訳源	国補助	千円				財源内訳	国補助	千円				財源内訳	国補助	千円	
	県補助	千円					県補助	千円					県補助	千円					県補助	千円					県補助	千円	
	起　債	102,300 千円					起　債	69,800 千円					起　債	24,000 千円					起　債	30,000 千円					起　債	千円	
	特　定	千円					特　定	千円					特　定	千円					特　定	千円					特　定	千円	
	一般財源	5,802 千円					一般財源	13,765 千円					一般財源	5,500 千円					一般財源	4,000 千円					一般財源	4,000 千円	
目標値	①	148,119人/年	④	1,760百万円/年		目標値	①	154,300人/年	④	2,010百万円/年		目標値	①	157,100人/年	④	2,050百万円/年		目標値	①	160,000人/年	④	2,090百万円/年		目標値	①	160,000人/年	④	2,090百万円/年
	②	73,405泊/年	⑤				②	81,700泊/年	⑤				②	83,300泊/年	⑤				②	84,000泊/年	⑤				②	84,000泊/年	⑤	
	③	2,475人泊/年	⑥				③	3,300人泊/年	⑥				③	3,300人泊/年	⑥				③	3,300人泊/年	⑥				③	3,300人泊/年	⑥	

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	観光施設管理運営事業	担当	商工観光課 観光振興係	整理番号	商観-10

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	観光宿泊施設整備事業	担当	商工観光課 観光振興係	整理番号	商観-11

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	4.ひとを惹きつける観光地づくりを進めます
重点施策	
関連計画	第2次隠岐の島町観光振興計画

予算区分	一般会計	款	7	項	2	目	3

指標		令和6年度目標値
①	隠岐推定入島客数(隠岐観光協会調べ)(KPI)	154,300人/年
②	隠岐の島町延宿泊数(島根県観光動態調査)(KPI)	81,700泊/年
③	隠岐の島町外国人延宿泊数(島根県観光動態調査)(KPI)	3,300人泊/年
④	隠岐観光消費額(隠岐観光協会調べ)(KPI)	2,010百万円/年
⑤		
⑥		

【事業目的】

町有宿泊施設の維持管理をするとともに、安心・安全・快適な宿泊施設を提供するため、老朽化した町有宿泊施設の計画的な補修・修繕を行い、観光客が「また訪れたい」と思われる観光地づくりを進める。

【事業概要】

町有宿泊施設（隠岐ポートプラザ、あいらんどパークホテル、羽衣荘、ホテル海音里、ホテルサンライズ布施、ホテルMIYABI、各ログハウス）は築20年以上を経過しており、施設の改修・修繕を行い、ニーズに対応した快適な宿泊環境を提供する。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

隠岐ポートプラザ改修事業
　衛生設備改修工事、
　2階改修詳細設計業務他：
　　107,250千円

ホテル海音里改修事業
　排煙窓・屋根瓦修繕、他：
　　1,480千円

羽衣荘改修事業
　看板設置工事、
　高圧受変電設備更新工事、他：
　　27,108千円

ホテルMIYABI改修事業
　雨漏箇所改修工事、他：
　　1,023千円

ロッジおくつど改修事業
　長寿命化計画策定、
　浄化槽配管改修、他：
　　2,706千円

ログハウス改修事業
　津戸ログハウス１棟改修：
　　18,262千円
　福浦ログハウス雨漏対策他：
　　943千円

実績額		158,772 千円
財源内訳	国補助	8,500 千円
	県補助	千円
	起債	140,800 千円
	特定	千円
	一般財源	9,472 千円

実績値				
	①	95,931人/年	④	2,398百万円/年
	②	57,593泊/年	⑤	
	③	42人/年	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

観光宿泊施設は、施設の経年劣化により改修及び修繕工事を事後対応で進めていたが、各施設の長寿命化計画を策定し、今後計画的に改修を行う準備をした。令和４年度にはロッジおくつどの長寿命化計画を作成した。また、その他施設については長寿命化計画で優先度の高い箇所の改修・修繕工事を実施し、安心・安全・快適な観光宿泊施設とする事ができた。今後も計画的な整備に努めていきたい。

【②.事業の課題】

ほとんどの施設が築後20年以上を経過しており、現在の観光客のニーズに沿った設備が整っていない施設もあり、計画的に整備を進める必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

観光客に快適な宿泊環境を提供するためには必要な事業である。現在の観光客（外国人観光客も含む）のニーズに沿った整備を行い、観光客の満足度とリピート率を向上させ、交流人口の拡大を図っていく。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　令和５年度評価済

まちの重要な産業である観光産業を守るため、しっかりと取り組んでいただきたいと考えます。町が所有する宿泊施設は老朽化している施設が多いことから、計画的な整備に努めてください。

整備するだけではなく、時には既成概念を払拭し、施設の『廃止』や『譲渡』、『島外のプレイヤーの発掘』、『外部有識者による経営指導』なども検討してはいかがでしょうか。あわせて、各施設の指定管理者に対し管理運営状況の評価を実施し、指定管理制度の効果的な運用を図る必要があると考えます。また、観光産業発展のためには、観光協会等との役割分担も検討する必要があるのではないでしょうか。

4.改善・見直し（Action）

「公共施設等総合管理計画」における「個別施設計画」を策定し、効果的、効率的に活用運営していく。
令和4年度は、1施設の長寿命化計画を策定した。長寿命化計画を基に施設の改修計画を見直し、計画的な改修を行う。
また、施設の状況や現代のニーズ、インバウンド対策を含め検討し、場合によっては大規模改修を行い、宿泊客の満足度向上と宿泊キャパシティの確保を図る。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	観光宿泊施設整備事業	担当	商工観光課 観光振興係	整理番号	商観-11

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	千円 ホテル海音里改修事業 ・看板改修工事 ・給湯設備改修工事 3,941 千円 羽衣荘改修事業 ・ボイラー更新 ・空調改修工事 2,500 千円 ロッジおくつど改修事業 ・キュービクル更新 ・厨房機器更新 20,000 千円 千円 千円 千円	隠岐ポートプラザ改修事業 ・２階改修工事 ・工事監理業務 ・厨房機器更新 ・消防設備改修 ・空調設備改修 113,704 千円 ホテル海音里改修事業 ・大規模改修基本設計業務 3,000 千円 羽衣荘改修事業 ・大浴場水漏れ調査・改修 1,000 千円 ロッジおくつど改修事業 ・空調設備改修 ・消防設備改修 5,000 千円 ログハウス(津戸)改修事業 ・空調設備 1,000 千円 ログハウス(福浦)改修事業 ・消防設備更新、建築老朽箇所改修、浄化槽修繕 2,800 千円 千円	隠岐ポートプラザ改修事業 80,000 千円 ホテル海音里改修事業 ・大規模改修詳細設計業務 10,000 千円 羽衣荘改修事業 ・大規模改修設計 8,000 千円 千円 千円 千円 千円	千円 ホテル海音里改修事業 ・大規模改修工事（屋根・外壁・配管他）＋休業補償 100,000 千円 羽衣荘改修事業 ・大規模改修工事（屋根・外壁・配管他）＋休業補償 100,000 千円 千円 千円 千円	千円 ホテル海音里改修事業 ・大規模改修工事（その他） 70,000 千円 羽衣荘改修事業 ・設備改修工事、備品購入 70,000 千円 ロッジおくつど改修事業 ・設備改修設計 5,000 千円 千円 千円 千円
事業費	26,441 千円	126,504 千円	98,000 千円	200,000 千円	145,000 千円
財源内訳	国補助 千円 県補助 千円 起　債 26,400 千円 特　定 千円 一般財源 41 千円	国補助 51,500 千円 県補助 千円 起　債 75,000 千円 特　定 千円 一般財源 4 千円	国補助 40,000 千円 県補助 千円 起　債 58,000 千円 特　定 千円 一般財源 千円	国補助 千円 県補助 千円 起　債 200,000 千円 特　定 千円 一般財源 千円	国補助 千円 県補助 千円 起　債 145,000 千円 特　定 千円 一般財源 千円
目標値	① 148,119人/年　④ 1,760百万円/年 ② 73,405泊/年　⑤ ③ 2,475人泊/年　⑥	① 154,300人/年　④ 2,010百万円/年 ② 81,700泊/年　⑤ ③ 3,300人泊/年　⑥	① 157,100人/年　④ 2,050百万円/年 ② 83,300泊/年　⑤ ③ 3,300人泊/年　⑥	① 160,000人/年　④ 2,090百万円/年 ② 84,000泊/年　⑤ ③ 3,300人泊/年　⑥	① 160,000人/年　④ 2,090百万円/年 ② 84,000泊/年　⑤ ③ 3,300人泊/年　⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	都市再生整備事業	担当	都市計画課 都市整備係	整理番号	都計-1

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	4.ひとを惹きつける観光地づくりを進めます
重点施策	都市再生整備事業
関連計画	都市再生整備計画（西郷地区）
予算区分	一般会計　款 8　項 6　目 1

指標		令和6年度目標値
①	都市再生整備計画事業の整備率（KPI）	35%
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

都市計画区域や区域内建築制限については、区域設定後35年が経過し、社会構造の変化や社会基盤整備に伴い本町の都市構造に変化が生じている。そのため、都市計画区域の検討、将来の都市構造を定める立地適正計画の策定、西郷港玄関口の再生計画などを進め、持続可能な秩序のあるまちづくりを行う。

【事業概要】

西郷港周辺地区を軸ににぎわいと安心を備えたまちの再整備を行う。

・西郷港周辺地区整備
・避難路、歩車共存道路整備
・住宅等修景支援
・まちづくり交流支援
・デジタルを活用したまちづくり

2.令和　4　年度事業実績（Do）

西郷港周辺地区整備基本計画策定業務
西郷港周辺まちづくり支援業務
西郷港周辺地区物件調査業務
平地区市街地水道施設設計業務
36,450千円

実績額		36,450 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	36,450 千円

実績値				
	①	0%	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和4年度では、都市再生整備計画（西郷地区）を策定し、都市構造再編集中支援事業の採択をうけた。
また都市再生整備基本計画策定に着手した。
令和5年度は都市再生整備計画を策定し、住民との対話をつづけながら各個別基本設計を行う。

【②.事業の課題】

西郷港玄関口まちづくり計画の核となるターミナルエリア整備については、計画の方針を基に具体的な整備事業の計画を策定するが、ターミナルエリア整備は誰もが必要な事業と認められるものの、エリア内に居住若しくは商業活動を行っている住民の方の合意を得ることが不可欠である。このプロジェクトの必要性を十分に説明し意見交換を行いながら合意形成を図ることが重点課題である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

住民や来訪者にとってまちの玄関口に求められる機能整備を早急に行うことが本町全体の活力を生む事にもつながる。また、玄関口のまちづくり理念である次世代につながるまちをつくることが、人口減少対策として大きな役割を担うこととなる。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

令和5年度は、都市構造再編集中支援事業の初年度であり、各種基本設計、デザインコード、既存建物の改修工事を実施する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	都市再生整備事業	担当	都市計画課 都市整備係	整理番号	都計-1

5.年度別計画　令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
地域創造支援事業 デザインコード作成業務 既存住宅改修工事　1棟 33,000 千円	地域創造支援事業 住宅等修景支援業務　10棟 36,500 千円	地域創造支援事業 住宅等修景支援業務　6棟 26,000 千円	千円	千円
事業活用調査事業 各種まちづくり計画改訂調査 10,000 千円	事業活用調査事業 各種まちづくり計画改訂調査 10,000 千円	千円	まちづくり活動推進事業 事業効果分析業務 10,000 千円	まちづくり活動推進事業 事業効果分析業務 15,000 千円
事業内容 まちづくり活動推進事業 社会実験、交通計画検討 ワークショップ、情報発信 デザイン会議開催運営 52,000 千円	まちづくり活動推進事業 社会実験、交通計画策定 ワークショップ、情報発信 デザイン会議開催運営 42,000 千円	まちづくり活動推進事業 社会実験 ワークショップ、情報発信 デザイン会議開催運営 54,000 千円	まちづくり活動推進事業 まちづくり組織設立準備 情報発信 デザイン会議開催運営 40,000 千円	まちづくり活動推進事業 まちづくり組織設立準備 情報発信 デザイン会議開催運営 35,000 千円
基幹事業（地域生活基盤施設） 中町ポケットパーク　詳細設計業務 用地取得　1件・建物補償　1件 46,814 千円	基幹事業（地域生活基盤施設） 中町ポケットパーク　整備工事 移転補償　1件 11,541 千円	基幹事業（地域生活基盤施設） 西町防災広場　詳細設計業務 3,000 千円	基幹事業（地域生活基盤施設） 西町防災広場　整備工事 27,000 千円	千円
(Plan) 基幹事業（高質空間形成施設） うみまち通り　基本設計業務 用地調査　8件・用地取得、建物補償　1件 38,292 千円	基幹事業（高質空間形成施設） うみまち通り　基本設計業務 台地アクセス遊歩道　測量業務 歩車共存道路　測量業務 中町交通広場　詳細設計業務 用地取得　5件・建物補償　5件 202,264 千円	基幹事業（高質空間形成施設） うみまち通り　実施設計業務 台地アクセス遊歩道　整備工事 歩車共存道路　整備工事 中町交通広場　整備工事 用地取得　2件・建物補償　3件 204,128 千円	基幹事業（高質空間形成施設） うみまち通り　整備工事 台地アクセス遊歩道　整備工事 歩車共存道路　整備工事 369,000 千円	基幹事業（高質空間形成施設） うみまち通り　整備工事 台地アクセス遊歩道　整備工事 歩車共存道路　整備工事 480,000 千円
基幹事業（高次都市施設） 集会所・マルシェ　基本設計業務 新築集合型(小)　基本設計業務 用地調査　5件 64,203 千円	基幹事業（高次都市施設） 集会所・マルシェ　基本設計業務 新築集合型(小)　基本設計業務 用地取得、建物補償　1件 115,793 千円	基幹事業（高次都市施設） 集会所・マルシェ　実施設計業務 新築集合型(小)　実施設計業務 用地取得　6件・建物補償　3件 330,685 千円	基幹事業（高次都市施設） 集会所・マルシェ　建築工事 新築集合型(小)　建築工事 574,500 千円	基幹事業（高次都市施設） 集会所・マルシェ　建築工事 新築集合型(小)　建築工事 574,500 千円
民間活力導入可能性調査 PPP/PFI導入検討 5,600 千円	民間活力導入可能性調査 PPP/PFI導入検討 3,500 千円	民間活力導入可能性調査 PPP/PFI導入検討 2,100 千円	千円	千円
デジタル田園都市国家構想事業 小中学校まちづくり授業支援業務 2,496 千円	デジタル田園都市国家構想事業 小中学校まちづくり授業支援業務 2,500 千円	デジタル田園都市国家構想事業 小中学校まちづくり授業支援業務 2,500 千円	デジタル田園都市国家構想事業 小中学校まちづくり授業支援業務 2,500 千円	デジタル田園都市国家構想事業 小中学校まちづくり授業支援業務 2,500 千円
離島活性化交付金事業 西郷港周辺地区仮想空間導入業務 6,000 千円	離島活性化交付金事業 西郷港周辺地区仮想空間導入業務 6,000 千円	離島活性化交付金事業 西郷港周辺地区仮想空間導入業務 6,000 千円	千円	千円

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	都市再生整備事業	担当	都市計画課 都市整備係	整理番号	都計-1

先導的官民連携支援事業 官民連携事業手法調査・検討 10,000 千円 平新市街地水道整備工事費 2,100 千円 千円 千円 事務費 11,200 千円	先導的官民連携支援事業 官民連携授業手法調査・検討 20,000 千円 平新市街地水道整備工事費 9,500 千円 都市空間情報デジタル基盤構築支援事業（PLATEAU） 都市空間３Dモデル活用調査業務 10,000 千円 千円 事務費 15,000 千円	先導的官民連携支援事業 官民連携授業手法調査・検討 20,000 千円 千円 都市空間情報デジタル基盤構築支援事業（PLATEAU） 都市空間３Dモデルシステム構築業務 20,000 千円 千円 事務費 11,000 千円	千円 千円 都市空間情報デジタル基盤構築支援事業（PLATEAU） 都市空間３Dモデル実装業務 20,000 千円 千円 事務費 40,000 千円	千円 千円 千円 千円 事務費 21,000 千円
事業費 281,705 千円	事業費 484,598 千円	事業費 679,413 千円	事業費 1,083,000 千円	事業費 1,128,000 千円
財源内訳 国補助 132,582 千円 県補助 千円 起　債 139,100 千円 特　定 千円 一般財源 10,023 千円	財源内訳 国補助 189,933 千円 県補助 26,479 千円 起　債 172,200 千円 特　定 千円 一般財源 95,986 千円	財内訳源 国補助 225,751 千円 県補助 59,853 千円 起　債 205,700 千円 特　定 千円 一般財源 188,109 千円	財源内訳 国補助 447,132 千円 県補助 16,509 千円 起　債 495,000 千円 特　定 千円 一般財源 124,359 千円	財源内訳 国補助 304,968 千円 県補助 139,700 千円 起　債 333,800 千円 特　定 千円 一般財源 349,532 千円
目標値 ① 11%　④ ②　⑤ ③　⑥	目標値 ① 35%　④ ②　⑤ ③　⑥	目標値 ① 55%　④ ②　⑤ ③　⑥	目標値 ① 93%　④ ②　⑤ ③　⑥	目標値 ① 100%　④ ②　⑤ ③　⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	都市再生整備事業	担当	都市計画課 都市整備係	整理番号	都計-1

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	五箇地区観光施設管理運営事業	担当	五箇支所 地域振興係	整理番号	五-4

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	4.ひとを惹きつける観光地づくりを進めます
重点施策	
関連計画	第2次隠岐の島町観光振興計画
予算区分	一般会計　款 7　項 2　目 3

指標		令和6年度目標値
①	隠岐推定入島客数（隠岐観光協会調べ）（KPI）	154,300人/年
②	隠岐の島町延宿泊数（島根県観光動態調査）（KPI）	81,700泊/年
③	隠岐の島町外国人延宿泊数（島根県観光動態調査）（KPI）	3,300人泊/年
④	隠岐観光消費額（隠岐観光協会調べ）（KPI）	2,010百万円/年
⑤		
⑥		

【事業目的】

五箇地区観光施設の維持管理、及び時代のニーズに合った観光施設となるよう修繕などを行い、観光客が「また来たい」と思われる観光地づくりを進めます。

【事業概要】

観光施設の維持管理や補修、修繕を行う。

【施設改修事業】

隠岐しゃくなげ園公衆ﾄｲﾚ改修事業

【維持管理運営事業】

尾白鼻園地・尾白ﾛｰｿｸ島展望台、吉浦野営場、福浦海水浴場、水若酢神社公衆ﾄｲﾚ、久見ﾛｰｿｸ島展望台遊歩道ﾄｲﾚ

2.令和　4　年度事業実績（Do）

実績なし

実績額		千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	95,931人/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

本事業において、施設の維持管理が適正になされている。

【②.事業の課題】

既存施設の老朽化が著しいため、関係機関と連携して計画的な改修・修繕が必要となっている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

適正な施設維持管理のためには、必要な事業であり各施設の計画的な改修・修繕を実施することにより利用者のニーズにマッチした、安全で安心して利用できる施設となるよう整備を行う必要がある。

地域振興事業における「花の里づくり」の活動展開により「花園」の観光資源としての利活用を視野に入れ公衆トイレ等の施設改修も併せて検討していく。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

観光施設について、その必要性を検証するとともに、利用客が求める、時代のニーズにマッチした施設への更新が実施できるよう、関係機関や団体との協議検討をすすめ、計画的な施設改修整備を目指す。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	五箇地区観光施設管理運営事業	担当	五箇支所 地域振興係	整理番号	五-4

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	千円	千円	隠岐しゃくなげ園公衆トイレ改修事業 （改修及び下水道接続工事） 5,000 千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円 温泉源利活用整備事業	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	千円	千円	5,000 千円	千円	#VALUE! 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	2,500 千円	千円	千円
県補助	千円	千円	千円	千円	千円
起債	千円	千円	千円	千円	千円
特定	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	千円	千円	2,500 千円	千円	#VALUE! 千円
目標値 ①	148,119人/年	154,300人/年	157,100人/年	160,000人/年	
②	73,405泊/年	81,700泊/年	83,300泊/年	84,000泊/年	
③	2,475人泊/年	3,300人泊/年	3,300人泊/年	3,300人泊/年	
④	1,760百万円/年	2,010百万円/年	2,050百万円/年	2,090百万円/年	
⑤					
⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	都万地区観光施設管理運営事業	担当	都万支所 地域振興係	整理番号	都万-2

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	4.ひとを惹きつける観光地づくりを進めます
重点施策	
関連計画	第2次隠岐の島町観光振興計画
予算区分	一般会計　款 7　項 2　目 3

指標		令和6年度目標値
①	隠岐推定入島客数（隠岐観光協会調べ）（KPI）	154,300人/年
②	隠岐の島町延宿泊数（島根県観光動態調査）（KPI）	81,700泊/年
③	隠岐の島町外国人延宿泊数（島根県観光動態調査）（KPI）	3,300人泊/年
④	隠岐観光消費額（隠岐観光協会調べ）（KPI）	2,010百万円/年
⑤		
⑥		

【事業目的】

都万地区観光施設の維持管理、及び時代のニーズに合った観光施設となるよう修繕などを行い、観光客が「また来たい」と思われる観光地づくりを進める。

【事業概要】

観光施設の維持管理や補修、修繕を行う。

【施設名】

亀の原水鳥公園・塩の浜海岸
那久岬園地・油井の池園地・津戸園地・探勝歩道
ダイビングハウス彩・産直問屋しおさい・闘牛公園
油井の池公衆トイレ・壇鏡の滝公衆トイレ
蛸木緑地広場公衆トイレ・那久漁港環境施設公衆トイレ
那久岬公衆トイレ・屋那公衆トイレ
遊漁センター駐車場公衆トイレ

2.令和　4　年度事業実績（Do）

探勝歩道整備事業
　修景伐採　200㎡
　階段新設・修繕　226段
5,940千円

産直問屋しおさい改修工事
2,111千円

亀の原水鳥公園遊具整備
589千円

実績額				8,640 千円	
財源内訳	国補助			千円	
	県補助			2,970 千円	
	起債			70 千円	
	特定			千円	
	一般財源			5,600 千円	
実績値	①	71,611人/年	④	1,333百万円/年	
	②	41,104人/年	⑤		
	③	16人/年	⑥		

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

本事業により、観光施設が清潔に保たれ、そこで行われるイベントでは、年々多くの来場客がある。亀の原水鳥公園で行われる『つつじ祭り』では、来場客が年々増加傾向にあり、令和元年度には300名もの来場客があった。また、隠岐の島町で唯一ダイビングが利用できる施設では、令和元年度に225名の利用者がいた。

【②.事業の課題】

都万地区観光施設のほとんどが、昭和や平成初期に整備されたもので、老朽化してきている。
また、維持管理（草刈り・トイレ清掃など）のほとんどを地区の方が行っているが、高齢化も進み受託が困難な地区も出てきている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

都万地区観光施設の適正な維持管理として必要な事業であるが、各施設の利用頻度などを調査し、観光客が必要としている施設を整備、修繕をしていく必要がある。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

老朽化している施設のうち、観光客が必要としている施設を優先的に修繕していく。
合併後埋もれていた観光施設の活用を再検討し、必要なものは修繕、整備していく。
　施設管理については、各施設の実情に合わせ、管理費など見直しを行う。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	都万地区観光施設管理運営事業	担当	都万支所 地域振興係	整理番号	都万-2

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	産直問屋しおさいエアコン改修工事 ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ4機（体験室・交流ｽﾍﾟｰｽ） ﾙｰﾑｴｱｺﾝ2機（事務室・ｽﾀｯﾌﾙｰﾑ） 5,148 千円	千円	千円	千円	千円
	千円	佐山駐車場砕石整備工事 828 千円	千円	千円	千円
	千円	亀の原水鳥公園遊具設置工事 1,708 千円	千円	千円	千円
	千円	千円	奥津戸桟橋撤去工事 5,904 千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	5,148 千円	2,536 千円	5,904 千円	千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	5,100 千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	48 千円	2,536 千円	5,904 千円	千円	千円
目標値 ①	141,938人/年	141,938人/年	141,938人/年	141,938人/年	141,938人/年
目標値 ②	65,113泊/年	65,113泊/年	65,113泊/年	65,113泊/年	65,113泊/年
目標値 ③	2,120泊/年	2,120泊/年	2,120泊/年	2,120泊/年	2,120泊/年
目標値 ④	2,902百万円/年	2,902百万円/年	2,902百万円/年	2,902百万円/年	2,902百万円/年
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	布施地区観光施設管理運営事業	担当	布施支所 地域振興係	整理番号	布-3

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	4.ひとを惹きつける観光地づくりを進めます
重点施策	
関連計画	第2次隠岐の島町観光振興計画
予算区分	一般会計　款 7　項 2　目 3

指標		令和6年度目標値
①	隠岐推定入島客数（隠岐観光協会調べ）（KPI）	154,300　人/年
②	隠岐の島町延宿泊者数（島根県観光動態調査）（KPI）	81,700　泊/年
③	隠岐の島町外国人延宿泊者数（島根県観光動態調査）（KPI）	3,300　人泊/年
④	隠岐観光消費額（隠岐観光協会調べ）（KPI）	2,010百万円/年
⑤		
⑥		

【事業目的】

観光施設の維持管理を徹底し、施設利用者の満足度向上に繋げ「また訪れたい」と思われる観光地づくりを進める。

【事業概要】

来場者に安心・安全・快適な空間を提供するため、観光関連施設の自然公園内の遊歩道の管理、施設･設備の計画的な修繕を行う。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

レストハウス「ポーレスト」
・空調更新工事
1,925千円
・冷蔵ショーケース更新
319千円
浄土ケ浦休憩所
・修繕工事
799千円
・シャワー用給湯器修繕工事
160千円

実績額		3,203 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	1,900 千円
	特定	千円
	一般財源	1,303 千円

実績値				
①	95,931人/年	④	2,398百万円/年
②	57,593泊/年	⑤	
③	42人/年	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

浄土ヶ浦休憩所の災害復旧工事･シャワー用給湯器の修繕、地域唯一の飲食店であり管理指定施設「ポーレスト」の空調設備更新を行ったことで快適に施設を利用していただけるようになり、来場される方の満足度とリピート率の向上を図ることで利用者の増加に繋がっている。

【②.事業の課題】

管内観光施設の老朽化により、補修･修繕が必要な状態となっている。また、施設の整備からかなりの年月が経過していることから、観光施設全体が現在の求められるニーズに沿ってるとは言えない。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

観光施設の補修･修繕の実施は、安心･安全･快適な空間を提供するうえで必要な事業である。現在のニーズにあった施設全体の再整備及び改良工事が必要である。

また、「隠岐の島町アウトドアツーリズム基本構想」に基づき計画的に整備を行う事で、観光客や利用客に対する満足度の向上と交流人口の拡大につなげる。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

利用者に対し、安心･安全･快適な空間の提供と、現代のニーズに則した施設となるよう引き続き関係機関との協議を密にし、町全体の観光戦略に沿った管内観光施設の管理運営、及び計画的な整備を行うことにより、サービスと利便性の向上を図る。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	布施地区観光施設管理運営事業	担当	布施支所 地域振興係	整理番号	布-3

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	浄土ヶ浦遊歩道整備検討	浄土ヶ浦遊歩道整備検討	浄土ヶ浦遊歩道整備測量設計	浄土ヶ浦遊歩道整備	浄土ヶ浦遊歩道整備
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	千円	千円	千円	千円	千円
目標値 ①～⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	商工業振興事業	担当	商工観光課 商工労働係	整理番号	商観-4（重複）

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	5.島内流通の活性化を進めます
重点施策	
関連計画	隠岐の島町中小企業・小規模企業振興計画
予算区分	一般会計　款 7　項 1　目 2

指標		令和6年度目標値
①	島内開業事業者数(KPI)	60件
②	島内における廃業件数(KPI)	7件
③	雇用対策協議会会員数(KPI)	70事業所
④	出産後職場復帰奨励金活用事業所件数(KPI)	25件/年
⑤	島内小売業の販売額(KPI)	13,304百万円/年
⑥		

【事業目的】

本町の商工業は人口減少や経済、社会情勢等の変化に伴い、商店の閉店に伴うにぎわいの喪失や利便性の低下、後継者や人材不足等の様々な課題を抱えている。この課題を解決するため、隠岐の島町商工会と連携を図り、課題解決に向けた各種補助金の創設など、町内の中小企業、小規模事業者への支援を行う。

【事業概要】

本町の商工業の活性化及び地域商業機能の維持に向けた取り組みを支援する。具体的な内容は下記のとおり。
①商工会への支援：隠岐の島町商工会補助金、消費喚起支援事業補助金（運営費や地域振興推進員の配置等に係る事業費の補助）
②商工事業者への支援：雇用機会拡充事業補助金、地域商業等支援事業費補助金、店舗等改善事業費補助金、移動販売継続支援事業補助金等による支援。
③島根県中小企業制度融資：「小規模企業特別資金」及び「小規模企業育成資金」の原資を預託し制度融資の活用を図る。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

○隠岐の島町商工会補助金
　運営費補助金　7,924千円
　地域振興推進員人件費　2,515千円
○雇用機会拡充事業補助金
　1件　6,163千円
○特定経営基盤維持事業補助金
　3件　3,558千円
○地域商業等支援事業費補助金
　4件　2,561千円
○店舗等改善事業費補助金
　2件　450千円
○移動販売継続支援事業費補助金
　2件　1,200千円
○地域経済循環創造事業補助金
　1件　20,985千円
○島根県中小企業制度融資
　（預託金）　10,000千円

実績額		55,356 千円
財源内訳	国補助	15,738 千円
	県補助	9,380 千円
	起債	千円
	特定	15,247 千円
	一般財源	14,991 千円

実績値				
	①	50件	④	11件/年
	②	15件	⑤	10,719百万円/年
	③	55事業所	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

隠岐の島町商工会に地域振興推進員を配置し事業者との情報共有や調査等を随時行った他、商工会による経営安定に向けた支援により、商工事業者の事業継続や創業、事業拡大を支援し、地域商工業の活性化につながる施策を講じた。また、前年度に引き続きコロナ禍における事業継続、雇用維持にかかる本町独自の事業者支援を行ったほか、物価高騰対策として地域内の消費喚起と家計支援策として、全町民を対象とした地域応援商品の発行も実施し町内経済の回復を図った。

【②.事業の課題】

後継者不在による事業承継の問題や人材不足の状況は深刻化しており、喫緊の課題となっている。また、エネルギー価格・原材料費の高騰による商工業者、地域経済への影響も懸念される。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

地域経済を維持し、地域商工業の活性化と振興を図るためにも、体制の基盤となる商工会への支援を継続する。また、高齢化、後継者不在による事業承継の問題や人材不足について必要な施策の検討を行い、対応する国・県の支援制度も有効に活用する。エネルギー価格・原材料費の高騰の影響について、随時現状把握に努め地域商工業の経営の安定化・町内経済の活性化に資する支援策に取り組む必要がある。

【④.外部評価】　方向性：　拡大　　令和３年度評価済

事業承継の問題、人材不足、更に新型コロナウィルス感染症の影響により事業継続が危ぶまれる中で、島内事業者にとって重要な施策です。地域商工業の維持、そして活性化が図られるように、事業者の状況等を把握の上、関係機関と連携して現状に即した支援に取組んで頂きたいです。特に、新型コロナウィルス感染症の影響を受けた事業者への支援に取組みつつ、アフターコロナを見据えた中長期的な事業者の支援策を講じることが重要ではないでしょうか。

4.改善・見直し（Action）

・商工会への支援
　地域振興推進員の配置についてはコロナ禍の状況も正常化しつつあることから、令和4年度をもって終了した。
　運営費の支援については継続して実施する。
・商工事業者への支援
　エネルギー価格・原材料費の高騰の影響を随時把握し、地域商工業の活性化のみではなく事業継続を図る施策も検討する。
　既存事業者のアフターコロナを見据えた店舗等の魅力化向上、新事業展開等へのニーズが高まっていることを踏まえ新たに店舗等魅力化向上支援事業費補助金を制定する。
・商業機能の維持
　小売店の地元購買率の向上、地域内の経済循環を促すための具体的施策の検討も進める。
・事業承継の対応
　隠岐の島町商工会、隠岐の島町事業承継推進協議会と連携し、第三者承継等も含めた事業承継支援等を検討する。
・中長期的な戦略として、令和5年度において隠岐の島町中小企業・小規模企業振興計画の第2次計画の策定に商工会と連携して取り組む。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	商工業振興事業	担当	商工観光課 商工労働係	整理番号	商観-4（重複）

5.年度別計画

	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	隠岐の島町商工会補助金 運営費補助金 8,588 千円 雇用機会拡充事業補助金 事業拡大　1件　12,000千円 創業　1件　4,500千円 16,500 千円 地域商業等支援事業費補助金 小売店等開業支援事業　1,500千円 買い物不便対策事業　1,000千円 2,500 千円 (新)店舗等魅力化向上支援事業費 補助金　4件 2,000 千円 移動販売継続支援事業費補助金 車検・整備費　300千円 燃料費　600千円 運営支援費　3,600千円 4,500 千円 島根県中小企業制度融資（預託金） 10,000 千円 (新)創業者向け融資保証料補助金 5件 400 千円 千円	隠岐の島町商工会補助金 運営費補助金 8,588 千円 雇用機会拡充事業補助金 事業拡大　1件　12,000千円 創業　1件　4,500千円 ※助成額は事業者決定後に算出 千円 地域商業等支援事業費補助金 小売店等開業支援事業　2,000千円 買い物不便対策事業　1,000千円 3,000 千円 店舗等魅力化向上支援事業費補助金 6件 3,000 千円 移動販売継続支援事業費補助金 車検・整備費　300千円 燃料費　600千円 運営支援費　3,600千円 ※内容変更の可能性あり 4,500 千円 島根県中小企業制度融資（預託金） 10,000 千円 創業者向け融資保証料補助金　5件 400 千円 千円	隠岐の島町商工会補助金 運営費補助金 8,588 千円 雇用機会拡充事業補助金 事業拡大　1件　12,000千円 創業　1件　4,500千円 ※助成額は事業者決定後に算出 千円 地域商業等支援事業費補助金 小売店等開業支援事業　2,000千円 買い物不便対策事業　1,000千円 3,000 千円 店舗等魅力化向上支援事業費補助金 6件 3,000 千円 移動販売継続支援事業費補助金 車検・整備費　300千円 燃料費　600千円 運営支援費　3,600千円 ※内容変更の可能性あり 4,500 千円 島根県中小企業制度融資（預託金） 10,000 千円 創業者向け融資保証料補助金　5件 400 千円 千円	隠岐の島町商工会補助金 運営費補助金 8,588 千円 雇用機会拡充事業補助金 事業拡大　1件　12,000千円 創業　1件　4,500千円 ※助成額は事業者決定後に算出 千円 地域商業等支援事業費補助金 小売店等開業支援事業　2,000千円 買い物不便対策事業　1,000千円 3,000 千円 店舗等魅力化向上支援事業費補助金 6件 3,000 千円 移動販売継続支援事業費補助金 車検・整備費　300千円 燃料費　600千円 運営支援費　3,600千円 ※内容変更の可能性あり 4,500 千円 島根県中小企業制度融資（預託金） 10,000 千円 創業者向け融資保証料補助金　5件 400 千円 千円	隠岐の島町商工会補助金 運営費補助金 8,588 千円 雇用機会拡充事業補助金 事業拡大　1件　12,000千円 創業　1件　4,500千円 ※助成額は事業者決定後に算出 千円 地域商業等支援事業費補助金 小売店等開業支援事業　2,000千円 買い物不便対策事業　1,000千円 3,000 千円 店舗等魅力化向上支援事業費補助金 6件 3,000 千円 移動販売継続支援事業費補助金 車検・整備費　300千円 燃料費　600千円 運営支援費　3,600千円 ※内容変更の可能性あり 4,500 千円 島根県中小企業制度融資（預託金） 10,000 千円 創業者向け融資保証料補助金　5件 400 千円 千円
事業費	44,488 千円	29,488 千円	29,488 千円	29,488 千円	29,488 千円
財源内訳	国補助　千円 県補助　15,000 千円 起　債　千円 特　定　12,750 千円 一般財源　16,738 千円	国補助　千円 県補助　1,500 千円 起　債　千円 特　定　10,000 千円 一般財源　17,988 千円	国補助　千円 県補助　1,500 千円 起　債　千円 特　定　10,000 千円 一般財源　17,988 千円	国補助　千円 県補助　1,500 千円 起　債　千円 特　定　10,000 千円 一般財源　17,988 千円	国補助　千円 県補助　1,500 千円 起　債　千円 特　定　10,000 千円 一般財源　17,988 千円
目標値	①　48件　④　25件/年 ②　9件　⑤　13,304百万円/年 ③　66事業所　⑥	①　60件　④　25件/年 ②　7件　⑤　13,304百万円/年 ③　70事業所　⑥	①　60件　④　25件/年 ②　7件　⑤　13,304百万円/年 ③　70事業所　⑥	①　60件　④　25件/年 ②　7件　⑤　13,304百万円/年 ③　70事業所　⑥	①　60件　④　25件/年 ②　7件　⑤　13,304百万円/年 ③　70事業所　⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	学校給食センター管理運営事業	担当	総務学校教育課 給食センター	整理番号	総学-20 （重複）

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	5.島内流通の活性化を進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	10	項	5	目	3

指標		令和6年度目標値
①	ふるさと給食の実施数（KPI）	2回/年
②	学校給食における地産地消率（KPI）	20%（米以外）
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

安定した学校給食提供をおこなうため、衛生面を最大限に考慮した施設管理運営を目指す。
また子供たちに安全安心な給食を提供するため、施設環境整備及び食の安全確保に努める。

【事業概要】

厨房機器、配送車の計画的な更新をおこなう。その他のものについては現況を確認し、適宜更新していく。

1. 厨房機器等更新‥冷凍冷蔵庫、食器食缶消毒保管庫、炊飯システム蒸気回転釜、食器類等
2. 配送車更新･･･西郷小、有木小、南中行き１台
中条小、北小行き１台

2.令和　4　年度事業実績（Do）

厨房機器更新
食器洗浄機1台（更新）
4,928千円
ﾌｰﾄﾞｽﾗｲｻｰ1台（更新）
1,980千円
汁用椀（更新）
1,359千円

実績額		8,267 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	6,900 千円
	特定	千円
	一般財源	1,367 千円

実績値				
	①	1回/月	④	
	②	20%	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

機器を適宜更新することで、故障のリスクが減るとともに作業の効率が良くなっている。
また、異物混入のリスクも同時に減り、より安全安心な給食提供ができている。

【②.事業の課題】

現施設になってから既に20年あまりが経過し、施設・機器等の修繕が多くなってきている。
更新を適宜行なっているが、平成11年当初からの機器が多く残っているため、故障のリスクが高くなってきている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

機器等の状況を確認しながら、適切な更新を行なっていく。現場の関係者と充分に検討を重ねながら機器等を選定していく。
機器更新までは機器のメンテナンスに重点を置き、点検作業を十分に行う。
備品台帳を再度精査し、現状把握に努める。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

予防保全の実施に取り組み、突発故障の発生を低減させていく。
引き続き備品台帳、帳簿類等の整備を行っていく。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	学校給食センター管理運営事業	担当	総務学校教育課 給食センター	整理番号	総学-20（重複）

5.年度別計画

	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	千円 厨房機器等更新 食器消毒保管庫　2,101千円 蓄冷材凍結庫　1,157千円	設備等修繕 搬入口床補修工事 2,024 千円 厨房機器等更新 ﾌﾟﾚﾊﾌﾞ冷蔵庫用冷蔵ﾕﾆｯﾄ　909千円 冷凍庫　1,682千円 食器消毒保管庫　1,815千円 ご飯用皿　1,073千円	設備等修繕 トイレ洋式化工事 2,365 千円 厨房機器等更新 食器消毒保管庫　1,815千円 おかず･果物用皿　1,759千円 配送車　10,314千円	千円 厨房機器等更新 電解水生成装置　1,406千円 食器消毒保管庫　1,815千円 縦型冷凍庫　1,711千円 蒸気回転釜　3,476千円 配膳トレイ　1,287千円	千円 厨房機器等更新 食器消毒保管庫　1,815千円 自動反転ほぐし器　8,421千円 配送車　6,000千円
	3,258 千円	5,479 千円	13,888 千円	9,695 千円	16,236 千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	3,258 千円	7,503 千円	16,253 千円	9,695 千円	16,236 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	3,200 千円	6,300 千円	14,400 千円	8,300 千円	16,200 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	58 千円	1,203 千円	1,853 千円	1,395 千円	36 千円
目標値 ①	1回/月	2回/月	2回/月	2回/月	2回/月
目標値 ②	22%	22%	22%	22%	22%
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	学校給食調理事業	担当	総務学校教育課 給食センター	整理番号	総学-21（重複）

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	5.島内流通の活性化を進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	10	項	5	目	3

指標		令和6年度目標値
①	ふるさと給食の実施数（KPI）	2回/年
②	学校給食における地産地消率（KPI）	20%（米以外）
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

成長期にある児童・生徒に栄養バランスのとれた給食を提供する。
子供たちの健康増進と体力の向上を図りながら健全な心身を育むために美味しく魅力ある給食を提供する。

【事業概要】

地元食材の活用を推進するとともに給食の質を落とすことなく、継続して提供していく。
子育て支援強化の一環として給食費の公費負担を継続し、保護者負担軽減を図っていく。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

食材費購入実績

主食	7,093千円
副食	56,951千円
牛乳	11,928千円
計	75,972千円

給食提供数

小学校	143,858食
中学校	68,949食
養護学校他	7,564食
計	220,371食

牛乳提供数

小学校	142,956個
中学校	68,949個
養護学校他	7,564個
計	

1日当たり給食提供数

小学校7校	741食
中学校4校	355食
養護学校1校	21食
その他	17食
計	1,134食

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和2年度から町の公費を投入することで食材費が高騰する中にあっても、給食献立を充実させることができ、質を落とすことなく例年通りの給食が提供できている。また、同時に給食費の保護者負担を軽減し、子育て支援策の一端を担っている。

【②.事業の課題】

食材費全般の価格高騰を見据えた際、給食の質を維持するためにメニューを工夫する必要がある。これまで以上に価格高騰が続く場合は、負担割合を検討する必要がある。また、給食で地場産物を取り入れるために、安定した食材量を確保していくことが課題となる。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

子育て支援に資するため、給食費の公費負担を継続していく。
野菜、魚介類等、様々な地元産食材を積極的に活用するため、関係機関との連携を密にし、安定した食材確保に努めていく。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

引き続き新たな生産者（食材提供者）獲得のため、関係機関と連携し情報を得ていく。
また同時に安定した食材量を確保するよう必要食材量を提示するとともに、年間を通した供給体制の確立に向けて協力していく。

実績額		75,972 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	46,145 千円
	一般財源	29,827 千円

実績値				
	①	1回/月	④	
	②	20%	⑤	
	③		⑥	

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	学校給食調理事業	担当	総務学校教育課 給食センター	整理番号	総学-21（重複）

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	賄材料費 81,362 千円 年間234千食提供 地産地消率（地元産野菜）22% 年間21,000kg中 4,620kg使用	賄材料費 81,862 千円 年間234千食提供 地産地消率（地元産野菜）22% 年間21,000kg中 4,620kg使用	賄材料費 82,362 千円 年間234千食提供 地産地消率（地元産野菜）22% 年間21,000kg中 4,620kg使用	賄材料費 82,862 千円 年間234千食提供 地産地消率（地元産野菜）22% 年間21,000kg中 4,620kg使用	賄材料費 83,362 千円 年間234千食提供 地産地消率（地元産野菜）22% 年間21,000kg中 4,620kg使用
事業費	81,362 千円	81,862 千円	82,362 千円	82,862 千円	83,362 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	63,879 千円	63,879 千円	63,879 千円	63,879 千円	63,879 千円
財源内訳 一般財源	17,483 千円	17,983 千円	18,483 千円	18,983 千円	19,483 千円
目標値 ①	1回/月	2回/月	2回/月	2回/月	2回/月
目標値 ②	22%	22%	22%	22%	22%
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

Ⅴ.自然と共に生きるまち

基本施策	課名	事業名	頁	備考
1.資源が循環する島をつくります	環境課	ごみ処理事務	379～	重複
	環境課	清掃センター管理運営事業	381～	
	環境課	リサイクルセンター管理運営事業	383～	
	環境課	ごみ収集運搬事業	385～	
	環境課	一般廃棄物処理施設整備事業	387～	
	環境課	再生可能エネルギー事業	389～	重複
	環境課	木質ペレット製造施設管理運営事業	391～	
2.島の美しい自然環境を保全します	農林水産課	森林病害虫等防除事業	393～	
	農林水産課	松くい虫危険木処理事業	395～	
	環境課	環境保全対策事業	397～	
	環境課	自然環境保全事業	399～	
	環境課	ごみ処理事務	401～	（重複）

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	ごみ処理事務	担当	環境課 生活環境係	整理番号	環-4 重複

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	自然と共に生きるまち
基本施策	1.資源が循環する島をつくります
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	4	項	3	目	1

指標		令和6年度目標値
①	一人あたりのごみの排出量（KPI）	1,028g/人日
②	リサイクル率（廃棄物量に占める再資源化廃棄物の割合）（KPI）	6.5%
③	環境教育・学習会の開催回数（KPI）	10回/年
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

島根県内においても本町のごみ排出量は極めて多く、リサイクル率が低いという現状を改善するため、ごみの減量化・再資源化に寄与する取組みの推進を図る。また、大規模災害等による災害廃棄物の適正処理に努める。

【事業概要】

廃棄物減量等推進審議会の開催、一般廃棄物処理実施計画の策定、ごみの分け方出し方ガイドブック・分別収集カレンダーの配布など、ごみの排出抑制及び再資源化促進に向けた取組、啓発活動等を行う。また、災害発生時の適確な廃棄物処理に向けた計画策定等も併せて実施する。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

【拠点回収設備整備事業】

○旧西郷町内（2基設置）

・業務委託料　2,684千円

【自動車リサイクル法離島支援事業】

・補助金額　6,836千円

・海上輸送予定台数　525台

・海上輸送実績台数　494台

実績額		9,520 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	6,836 千円
	一般財源	2,684 千円

実績値				
	①	1,085g/人日	④	
	②	6.2%	⑤	
	③	11回/年	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

ごみの排出抑制・再資源化推進を目的として、指定袋導入や自己搬入料金の改定などの制度改正を行うため、制度改正に関する住民説明会の実施、ごみの分け方出し方ガイドブックの作成及び全戸配布、古紙回収に係る拠点回収設備整備等を実施している。環境学習の面では、施設見学や個別学習会を実施した。海上輸送費補助金事業では、自動車リサイクル要綱改正により円滑に事務を行うことができた。

【②.事業の課題】

本町は島根県内においてもごみ排出量が多く、リサイクル率が低い現状にあり、特に古紙が可燃ごみとして排出される場合が多い。また、近年頻発する大規模災害による廃棄物について、仮置場選定・設営、周知方法など迅速かつ円滑な対応ができるよう実施計画を策定する必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

本町のごみ排出量削減、再資源化の推進するため、広報誌等を活用した啓発活動や令和5年度以降の制度改正に沿った分別収集の徹底などを行っていく。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　令和５年度評価済

今回の指定ごみ袋制への移行を契機に、ごみ問題への関心や意識の高まりが、すべての町民に定着されるよう努めていただきたいと思います。

また、これまで以上に啓発活動を行い、廃棄物削減、リサイクル率の向上に向けた、個々の意識づけをする必要があります。本年度から実施した拠点回収施設の設置や、ごみの分け方、出し方のガイドブックは効果を上げています。来年度以降に実施予定の生ごみ処理機導入補助金の効果にも期待しています。

4.改善・見直し（Action）

隠岐の島町ごみ減量化アクションプラン（令和3年3月策定）に基づき、ごみ減量化の推進に取り組む。また、制度改正後のごみ排出量、リサイクル率に応じた一般廃棄物処理実施計画の見直しも行う。

大規模災害等への備えとして、災害廃棄物処理計画（令和2年策定）を策定しているが、より迅速かつ円滑な対応が可能となるよう災害廃棄物処理実行計画の策定等、事前準備を進めていく。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	ごみ処理事務	担当	環境課 生活環境係	整理番号	環-4 重複

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	拠点回収設備整備　1箇所 1,584 千円 使用済自動車等海上輸送費補助金 7,294 千円 千円	拠点回収設備整備　1箇所 1,584 千円 使用済自動車等海上輸送費補助金 7,294 千円 （新）生ごみ処理機導入補助金 1,180 千円	千円 使用済自動車等海上輸送費補助金 7,294 千円 生ごみ処理機導入補助金 1,952 千円	千円 使用済自動車等海上輸送費補助金 7,294 千円 生ごみ処理機導入補助金 2,694 千円	千円 使用済自動車等海上輸送費補助金 7,294 千円 生ごみ処理機導入補助金 2,874 千円
事業費	8,878 千円	10,058 千円	9,246 千円	9,988 千円	10,168 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	7,294 千円	7,294 千円	7,294 千円	7,294 千円	7,294 千円
財源内訳 一般財源	1,584 千円	2,764 千円	1,952 千円	2,694 千円	2,874 千円
目標値 ①	1,028g/人日	1,028g/人日	1,028g/人日	1,028g/人日	1,028g/人日
目標値 ②	6.5%	6.5%	6.5%	6.5%	6.5%
目標値 ③	11回/年	11回/年	11回/年	11回/年	11回/年
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	清掃センター管理運営事業	担当	環境課 生活環境係	整理番号	環-5

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	自然と共に生きるまち
基本施策	1.資源が循環する島をつくります
重点施策	
関連計画	第二次隠岐の島町一般廃棄物（ごみ）処理基本計画

予算区分	一般会計	款	4	項	3	目	2

指標		令和6年度目標値
①	一人あたりのごみの排出量（KPI）	1,028g/人日
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

町内で発生した可燃ごみをダイオキシン類等を関係法令に基づく維持管理基準を遵守しながら、適正な管理運営を行う。

【事業概要】

長期間にわたり、施設の運転管理・用役調達管理・維持補修等の施設運営業務を民間事業者に包括的に委託することにより、メーカー独自の技術やノウハウにより、業務の効率化やコスト削減を図る。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

○清掃センター管理運営事業

1）機器改修工事
4,719千円

2）定期整備工事
23,067千円

3）島後清掃センター空気圧縮機取替工事
816千円

4）島後清掃センター地下ダクト改修工事
1,507千円

5）可燃ごみ島外搬出事業（その１）積込業務
6,490千円

6）可燃ごみ島外搬出事業（その２）運搬業務
18,621千円

7）可燃ごみ島外搬出事業（その３）焼却業務
30,388千円

8）可燃ごみ島外搬出事業（その４）可燃ごみ分別
4,740千円

5）可燃ごみ島外搬出事業（その５）厨芥系廃棄物運搬
1,188千円

実績額		91,536 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	4,700 千円
	特定	千円
	一般財源	86,836 千円

実績値				
	①	1,085ｇ/人日	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

設備機器を計画的に整備していくことにより可燃ごみの適正処理を行った。

【②.事業の課題】

令和5年度から実施される長期包括運営委託において、従来の運営方針に沿った指針が必要である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

令和5年度からは、ごみ処理施設に専門的な知識を有する民間事業者に長期的、包括的に業務を移行する。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

長期包括運営委託の実施に際し、業務・受入・維持・安全などについてマニュアルを作成することで安全・安心な施設運営を行う。また、受託者と定期的に調整・協議を行い、住民サービスの向上を図る。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	清掃センター管理運営事業	担当	環境課 生活環境係	整理番号	環-5

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	千円	千円	千円	千円	千円
目標値 ①～⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	リサイクルセンター管理運営事業	担当	環境課 生活環境係	整理番号	環-6

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	自然と共に生きるまち
基本施策	1.資源が循環する島をつくります
重点施策	
関連計画	第二次隠岐の島町一般廃棄物（ごみ）処理基本計画

予算区分	一般会計	款	4	項	3	目	2

指標			令和6年度目標値
	①	リサイクル率（廃棄物量に占める再資源化廃棄物の割合）（KPI）	6.50%
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		

【事業目的】

町内で発生した不燃ごみ・資源ごみをリサイクルセンターで適正に処理することで、ごみの減量化・再資源化を図る。
また、最終処分場からの浸出水及び汚水を放流水排水基準を遵守するため、浸出液処理施設で適正処理し、環境保全及び公害防止に努める。

【事業概要】

リサイクルセンターの各設備を計画的に整備することで、不燃ごみおよび資源ごみの適正処理を行う。
浸出液処理施設の各設備を計画的に整備し、浸出水及び汚水の適正処理を行う。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

○リサイクルセンター管理
1）定期整備工事（選別設備、磁選設備）
5,006千円
2）機器更新工事（破砕設備、計量設備等更新）
49,500千円

○浸出液処理施設管理
1）浸出液処理施設定期整備工事（機械設備補修等）
1,113千円
2）浸出液処理施設機器更新工事（ポンプ設備、沈殿処理・高度処理設備更新）
5,006千円

実績額		60,625 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	54,200 千円
	特定	千円
	一般財源	6,425 千円

実績値				
	①	6.20%	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

老朽化した設備を計画的に整備していくことで不燃ごみ、資源ごみの適正処理、また最終処分場からの浸出水及び汚水について安全かつ衛生的に処理を行った。

【②.事業の課題】

老朽化した機器の整備を計画的かつ効率的に実施することが必要である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

引き続き不燃ごみ・資源ごみの適正処理、また最終処分場からの浸出水及び汚水を安全かつ衛生的に処理するため、計画的に定期整備・機器更新を実施する。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

各プラントメーカーと老朽化した機器の状況把握、優先順位を明確にし計画的に定期整備・機器更新を行う。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	リサイクルセンター管理運営事業	担当	環境課 生活環境係	整理番号	環-6

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	リサイクルセンター定期整備工事 （受入供給設備、搬送設備等補修） 8,039 千円 リサイクルセンター機器更新工事 （受入供給設備、破砕設備、再生設備、集塵設備等機器更新） 50,924 千円 浸出液処理施設定期整備工事 （電気計装設備補修） 1,100 千円 浸出液処理施設機器更新工事 （前処理設備、高度処理設備、生物処理設備等機器更新） 4,268 千円 最終処分場ガス管接続工事（No.3） 1,500 千円 リサイクルセンター２階休憩室 エアコン取替工事 1,625 千円 リサイクルセンタートイレ洋式化工事 （概算　N=2基） 2,000 千円 千円	リサイクルセンター定期整備工事 （搬送設備、選別設備、集塵設備補修） 11,028 千円 リサイクルセンター機器更新工事 （破砕設備、選別整備、再生設備、集塵設備等機器更新） 59,130 千円 浸出液処理施設定期整備工事 （電気計装設備補修） 1,100 千円 浸出液処理施設機器更新工事 （前処理設備、凝集沈殿処理設備、高度処理設備等機器更新） 4,070 千円 千円 千円 （新）リサイクルセンタートイレ洋式化工事（概算　N=3基） 3,000 千円 千円	リサイクルセンター定期整備工事 （破砕設備等補修） 12,623 千円 リサイクルセンター機器更新工事 （受入供給設備、選別設備、再生設備等機器更新） 56,472 千円 浸出液処理施設定期整備工事 （電気計装設備補修） 1,100 千円 浸出液処理施設機器更新工事 （前処理設備、凝集沈殿処理設備、高度処理設備等機器更新） 3,808 千円 千円 千円 千円 千円	リサイクルセンター定期整備工事 （選別設備、集塵設備補修） 8,902 千円 リサイクルセンター機器更新工事 （受入供給設備、破砕設備、搬送設備、選別設備、再生設備等機器更新） 58,732 千円 浸出液処理施設定期整備工事 （電気計装設備補修） 1,100 千円 浸出液処理施設機器更新工事 （前処理設備、凝集沈殿処理設備、高度処理設備等機器更新） 3,806 千円 千円 千円 千円 千円	リサイクルセンター定期整備工事 （選別設備、その他機器） 6,909 千円 リサイクルセンター機器更新工事 （受入供給設備、破砕設備、選別設備、再生設備、集塵設備等機器更新） 50,095 千円 浸出液処理施設定期整備工事 （電気計装設備補修） 1,100 千円 浸出液処理施設機器更新工事 3,806 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	69,456 千円	78,328 千円	74,003 千円	72,540 千円	61,910 千円
財源内訳	国補助　千円 県補助　千円 起　債　57,100 千円 特　定　千円 一般財源　12,356 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　66,100 千円 特　定　千円 一般財源　12,228 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　60,200 千円 特　定　千円 一般財源　13,803 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　62,500 千円 特　定　千円 一般財源　10,040 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　53,800 千円 特　定　千円 一般財源　8,110 千円
目標値	①　6.50%　④ ②　⑤ ③　⑥	①　6.50%　④ ②　⑤ ③　⑥	①　6.50%　④ ②　⑤ ③　⑥	①　6.60%　④ ②　⑤ ③　⑥	①　④ ②　⑤ ③　⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	ごみ収集運搬事業	担当	環境課 生活環境係	整理番号	環-7

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	自然と共に生きるまち
基本施策	1.資源が循環する島をつくります
重点施策	
関連計画	第二次隠岐の島町一般廃棄物（ごみ）処理基本計画
予算区分	一般会計　款 4　項 3　目 2

指標		令和6年度目標値
①	一人あたりのごみの排出量（KPI）	1,028g/人日
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

隠岐の島町内の家庭から排出される一般廃棄物を収集し、清掃センター及びリサイクルセンターへ適正に運搬する。

【事業概要】

可燃ごみの収集運搬については直営で実施していたが、第２次総合振興計画の基本施策により業務委託など民間活力を導入することが求められており、一般廃棄物収集運搬業務についても民間に移行し、住民サービスの向上を図る。また、収集業務に支障のないよう、経年劣化・不具合が生じる収集運搬車を計画的に更新する。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

○古紙搬出及び保管業務委託
2,692千円
○古紙収集業務委託
3,300千円
○粗大ごみ収集業務委託
1,980千円
○不燃ごみ・資源ごみ収集運搬業務委託
13,200千円

実績額	21,172 千円				
財源内訳	国補助	千円			
	県補助	千円			
	起債	千円			
	特定	千円			
	一般財源	21,172 千円			
実績値	①	1,085ｇ/人日	④		
	②		⑤		
	③		⑥		

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

ごみ収集日程表をもとに、可燃・不燃・資源・粗大ごみの効率的な収集業務を行った。

【②.事業の課題】

リサイクルセンター可燃物運搬車、清掃センター軽ダンプに腐食などの経年劣化が見られ更新を検討する必要がある。また、現在のダンプでは車幅が大きく路地に入りにくいため、古紙収集車購入を検討する。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

令和5年度からは、従来直営で行っていた可燃ごみの収集運搬を含め、一般廃棄物の収集運搬業務は民間事業者へ委託されることとなった。また、収集業務に使用する車輌についても管理を委託するため、経年劣化等の状況等について把握・報告を受けることにより、更新計画を作成していく。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

受託者と定期的に調整・協議し、分別収集の効率化及び住民サービスの向上を図るとともに、経年劣化・不具合が生じる収集運搬車を計画的に更新することで、安全・安心なごみ収集運搬業務を実施する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	ごみ収集運搬事業	担当	環境課 生活環境係	整理番号	環-7

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)		古紙収集車購入費（3ｔ）	リサイクルセンター可燃物運搬車購入費（4ｔ）	清掃センター軽ダンプ購入費	
	千円	6,433 千円	11,272 千円	1,550 千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	千円	6,433 千円	11,272 千円	1,550 千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	6,400 千円	11,200 千円	1,500 千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	千円	33 千円	72 千円	50 千円	千円
目標値 ①	1,028ｇ/人日	1,028ｇ/人日	1,028ｇ/人日	1,028ｇ/人日	1,028ｇ/人日
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	一般廃棄物処理施設整備事業	担当	環境課 生活環境係	整理番号	環-8

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	自然と共に生きるまち
基本施策	1.資源が循環する島をつくります
重点施策	
関連計画	第二次隠岐の島町一般廃棄物（ごみ）処理基本計画

予算区分	一般会計	款	4	項	3	目	2

指標		令和6年度目標値
①	一人あたりのごみの排出量（KPI）	1,028g/人日
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

本町が運営管理する一般廃棄物処理施設について町民の生活環境の保全及び循環型社会形成を図るための施設整備方針を定め、一般廃棄物の適正処理を推進する。

【事業概要】

次期最終処分場の整備に向けて施設整備方針を策定する。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

1）島後清掃ｾﾝﾀｰ基幹的設備改良工事
1,887,600千円

2）島後清掃ｾﾝﾀｰ基幹的設備改良工事設計施工監理業務
45,901千円

3）島後清掃ｾﾝﾀｰごみｸﾚｰﾝ機器改修工事
2,640千円

4）島後清掃ｾﾝﾀｰ1号炉ｶﾞｽ減温用熱交換機煙管改修工事
8,910千円

5）島後清掃ｾﾝﾀｰ地下壁面改修工事
5,280千円

実績額		1,950,331 千円
財源内訳	国補助	616,869 千円
	県補助	千円
	起債	1,333,400 千円
	特定	千円
	一般財源	62 千円

実績値				
	①	1,085ｇ/人日	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

清掃センターの基幹的設備改良工事により施設の機能を回復し、安定的な焼却炉を行うことで施設の延命化及び二酸化炭素排出量の削減を図った。

【②.事業の課題】

既存の最終処分場について、平成14年3月の竣工から21年が経過しており、直近の平均埋め立て量から算定すれば、今後約7年程度で飽和状態に達すると予測されている。この要因は、海岸漂着ごみや大規模災害の発生に伴う廃棄物の増加等に起因すると考えられる。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

次期最終処分場適地選定業務を実施するにあたり、設定された条件により適切な施設規模・事業スケジュール及び概算事業費の算定を行う。また、地形条件や周辺環境など基本的な項目を整理し、最適な建設用地を選定する。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　令和４年度評価済

一般廃棄物の適正な処理のための施設整備であり、必要な事業です。今後も事業スキームをしっかり検討し、実施して下さい。

廃棄物の処理については、予算的にも現実的な方向性で計画が進められていると考えます。また、新しい試みによるごみの減量化にも期待します。しかしその一方で、ごみ処理料金の値上げによる不法投棄の発生が懸念されますが、町民の理解が得られ、行動変容を促すような仕組みづくりが求められるのではないでしょうか。

4.改善・見直し（Action）

既設最終処分場に搬入される廃棄物の分別を徹底し、可能な限り可燃物の焼却処理を行うことで埋め立て量の縮減を図る。また、次期最終処分場適地選定業務により決定される適切な施設規模・建設用地・概算事業費を基に、既設最終処分場の残余容量を考慮した事業スケジュールを検討し、安全・安心な廃棄物処理施設の整備を実施する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	一般廃棄物処理施設整備事業	担当	環境課 生活環境係	整理番号	環-8

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	次期最終処分場適地選定業務	次期最終処分場適地選定業務	次期最終処分場基本計画及び基本設計業務	次期最終処分場実施設計業務	次期最終処分場実施設計業務
	4,400 千円	1,100 千円	96,000 千円	100,000 千円	24,000 千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	4,400 千円	1,100 千円	96,000 千円	100,000 千円	24,000 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	30,933 千円	33,333 千円	8,000 千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	65,000 千円	66,600 千円	16,000 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	4,400 千円	1,100 千円	67 千円	67 千円	千円
目標値 ①	1,028ｇ/人日	1,028ｇ/人日	1,028ｇ/人日	1,028ｇ/人日	1,028ｇ/人日
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	再生可能エネルギー事業	担当	環境課 エネルギー対策室	整理番号	環-12 重複

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	自然と共に生きるまち
基本施策	1.資源が循環する島をつくります
重点施策	再生可能エネルギー事業
関連計画	隠岐の島町地球温暖化対策実行計画 バイオマス産業都市構想、緑のコンビナート構想
予算区分	一般会計　款 2　項 1　目 4

指標		令和6年度目標値
①	木質ペレットの製造量（KPI）	1,800t/年
②	再生可能エネルギー発電量（KPI）	4,500kw/年
③	地域資源を活かした産業創出（KPI）	3件
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

2050カーボンニュートラルに向け、町民・行政・事業者が一体となって、地球環境に強い危機感を持ち、カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを全町的に推進する。

【事業概要】

・住宅用太陽光発電パネル設置、木質ペレット熱利用設備（ペレットストーブ）設置へ助成し、再生可能エネルギーの普及を図る。
・旧空港跡地に設置した大型太陽光発電施設の設置に伴う支援を行う。
・木質ペレット発電事業者に対し、補助金による支援を行う。
・民間企業と連携した公共施設への太陽光発電設備の導入及び電気自動車の購入等、脱炭素移行に伴う支援を行う。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

○計画策定
・隠岐の島町地球温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）
　区域施策編：8,426千円
　事務事業編：3,338千円

○補助金
・住宅用太陽光発電システム
　0件
・木質ペレット熱利用設備整備
　1件：400千円

実績額		12,164 千円
財源内訳	国補助	6,319 千円
	県補助	200 千円
	起債	千円
	特定	3,338 千円
	一般財源	2,307 千円

実績値				
	①	150ｔ/年	④	
	②	3,340kw/年	⑤	
	③	0件/年	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

再生可能エネルギーの助成事業の状況は、住宅用太陽光発電施設設置は71世帯、340kw、木質ペレット熱利用設備導入の実績は13世帯、9ｔである。
その他民間事業者により旧空港跡地大型太陽光発電（3,000kw）が稼働中、南谷・油井の小水力発電が稼働予定（300kw）、木質ペレット発電（150kw）、大峰山風力発電1機（1,990kw）を新設予定である。

【②.事業の課題】

住宅用太陽光発電による買取制度（FIT）の買上げ金額が近年低下したことから、設備投資費が10年程度で回収できない状況となり、近年、導入申請実績がない状態である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

国では「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロを目指す」としており、本町でも令和5年度に脱炭素社会へ向けた取組を定めた地球温暖化対策実行計画を策定し、「隠岐の島町ゼロカーボンシティ宣言」を表明した。今後は、策定計画を基に再生可能エネルギーの地産地消、自給自足を推進する。令和6～10年度を脱炭素移行の集中期間とし、重点対策加速化交付金を活用した各種事業を行う。

【④.外部評価】　方向性：　手法・内容の見直し　**令和3年度評価済**

世界規模で環境問題が深刻化する中で、木質ペレットによる再生可能エネルギーの取組は理解できます。しかし、木質ペレットの民間導入実績9世帯、公共施設への設置も容易ではないなど、木質ペレットの普及が進まない状況では町民の理解は得られなくなってしまうと感じます。現在の事業内容で「木質ペレットの製造量」の目標は実現可能なのか、早急に事業内容を改善すべき必要があると考えます。

4.改善・見直し（Action）

令和5年度より再生可能エネルギー導入促進のため、補助金交付額の改定を行った。また、県内の自治体で補助金導入が増えている蓄電池設置補助金を新たに追加した。
今後の再生可能エネルギーに関する取組については、令和5年度に策定した隠岐の島町地球温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）を基に行う。

○補助金改定内容
住宅用太陽光発電システム等設備事業補助金
・太陽光発電システム
　改定前：1kwあたり1万円（上限4kw 4万円）
　改定後：1kwあたり3万円（上限4kw 12万円）
・蓄電池設備(新)
　設置費用（上限7万円）

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	再生可能エネルギー事業	担当	環境課 エネルギー対策室	整理番号	環-12 重複

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	住宅用太陽光発電システム等補助金 190 千円 木質ペレット熱利用設備整備補助金 400 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	住宅用太陽光発電システム等補助金 （太陽光発電 3件、蓄電池 3件） 570 千円 木質ペレット熱利用設備整備補助金 （3件） 1,200 千円 木質ペレット発電事業補助金 30,000 千円 重点対策加速化事業補助金（蓄電池） 7,000 千円 重点対策加速化事業補助金（EV車） 13,690 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	住宅用太陽光発電システム等補助金 （太陽光発電 3件、蓄電池 3件） 570 千円 木質ペレット熱利用設備整備補助金 （3件） 1,200 千円 木質ペレット発電事業補助金 29,800 千円 重点対策加速化事業補助金（蓄電池） 14,000 千円 重点対策加速化事業補助金（EV車） 16,920 千円 重点対策加速化事業補助金（ボイラー） 5,000 千円 重点対策加速化事業補助金 （EV急速充電） 6,000 千円 千円 千円 千円 千円	住宅用太陽光発電システム等補助金 （太陽光発電 3件、蓄電池 3件） 570 千円 木質ペレット熱利用設備整備補助金 （3件） 1,200 千円 木質ペレット発電事業補助金 24,000 千円 重点対策加速化事業補助金（蓄電池） 7,000 千円 重点対策加速化事業補助金（EV車） 20,150 千円 重点対策加速化事業補助金 （EV急速充電） 3,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円	住宅用太陽光発電システム等補助金 （太陽光発電 3件、蓄電池 3件） 570 千円 木質ペレット熱利用設備整備補助金 （3件） 1,200 千円 木質ペレット発電事業補助金 23,000 千円 重点対策加速化事業補助金（蓄電池） 7,000 千円 重点対策加速化事業補助金（EV車） 23,380 千円 重点対策加速化事業補助金（ボイラー） 95,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	590 千円	52,460 千円	73,490 千円	55,920 千円	150,150 千円
財源内訳	国補助：千円 県補助：350 千円 起　債：千円 特　定：千円 一般財源：240 千円	国補助：11,006 千円 県補助：780 千円 起　債：千円 特　定：千円 一般財源：40,674 千円	国補助：22,085 千円 県補助：780 千円 起　債：千円 特　定：千円 一般財源：50,625 千円	国補助：14,916 千円 県補助：780 千円 起　債：千円 特　定：千円 一般財源：40,224 千円	国補助：79,079 千円 県補助：780 千円 起　債：千円 特　定：千円 一般財源：70,291 千円
目標値	①：300t/年 ②：5,340kw/年 ③：0件/年 ④： ⑤： ⑥：	①：1,230t/年 ②：5,800kw/年 ③：1件/年 ④： ⑤： ⑥：	①：1,800t/年 ②：5,810kw/年 ③：1件/年 ④： ⑤： ⑥：	①：1,800t/年 ②：5,820kw/年 ③：1件/年 ④： ⑤： ⑥：	①：1,800t/年 ②：5,830kw/年 ③：1件/年 ④： ⑤： ⑥：

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	木質ペレット製造施設管理運営事業	担当	環境課 エネルギー対策室	整理番号	環-13

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	自然と共に生きるまち
基本施策	1.資源が循環する島をつくります
重点施策	
関連計画	隠岐の島町森林整備計画 バイオマス産業都市構想・緑のコンビナート構想

予算区分	一般会計	款	2	項	1	目	4

指標		令和6年度目標値
①	木質ペレットの製造量（KPI）	1,800t/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

隠岐の島町バイオマス産業都市構想に基づき木質ペレットを製造し、将来、自主運営できるよう当面の間、製造販売等、管理運営を行う。
木質バイオマス1,800t/年を生産して循環型社会の振興による、地域活性化を図ることを目的とする。

【事業概要】

木質バイオマス利用推進センター（木質ペレット製造施設）の管理運営（木質ペレットの製造、販売、配送、施設管理）を行う。
施設建設当初は、少量であった木質ペレットの需要にあわせて、必要最小限で整備を行った。木質ペレット発電事業により木質ペレットの需要が増大することが見込まれ、随時生産の拡大に対応できるよう、必要備品等を整備する。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

○ストーブ設置実績
　1件
○施設設備機器更新
　342千円
・ロータリーバルブ
・スライドバンパー
・制御盤バッテリー
・リングダイ研磨

実績額		342 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	342 千円

実績値				
	①	150ｔ/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

本町内ですでに整備されている木質ペレットボイラー、ストーブへの供給するために、製造、販売、販売管理、配送及び施設の管理運営を行っている。
良質な木質ペレットを需要に応じて適正量を効率的に製造している。

【②.事業の課題】

バイオマス産業都市構想の目標である木質バイオマス1,800t/年に向けて、民間事業者による木質ペレット発電事業を実施する予定としており、増産に伴う施設整備が必要である。
また、稼働時間に伴い設備部品の交換が必要であるため、目標値の製造を効率的に行うためには常時予備品が必要である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

木質ペレット発電事業で使用する木質ペレットは、林地残材などの未利用材を原材料とするため、林業事業体の収益増加、里山保全が促進されるとともに防災減災が図られる為、木質ペレット発電事業開始に向け、最大1,800t/年を製造販売できるよう施設整備を行う。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

当初は公共施設や民間施設等に木質ペレットボイラーの導入を計画していたが、設備導入費用が想定していたものより高額であることから整備事業が進んでいない状況であった。
木質ペレット発電事業により、1,230t/年の需要が見込まれることから、木質ペレット発電事業開始に向けて施設整備を行う。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	木質ペレット製造施設管理運営事業	担当	環境課 エネルギー対策室	整理番号	環-13

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	トラックスケール設置詳細設計業務 15,000 千円 トラックスケール設置工事 3,500 千円 ユニック車 15,000 千円 バックホー 5,714 千円 グラップル 3,300 千円 木材切断機 5,200 千円 研修棟下水道接続工事・加入分担金 2,500 千円 ペレット保管用パレット 1,200 千円 設備機器更新 1,947 千円 千円 千円 千円	設備機器更新 6,471 千円 設備機器予備品 2,214 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	設備機器更新 12,624 千円 設備機器予備品 2,214 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	設備機器更新 6,972 千円 設備機器予備品 2,214 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	設備機器更新 5,455 千円 設備機器予備品 2,214 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	53,361 千円	8,685 千円	14,838 千円	9,186 千円	7,669 千円
財源内訳	国補助　千円 県補助　千円 起　債　42,000 千円 特　定　千円 一般財源　11,361 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　6,400 千円 特　定　千円 一般財源　2,285 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　12,600 千円 特　定　千円 一般財源　2,238 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　6,900 千円 特　定　千円 一般財源　2,286 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　5,400 千円 特　定　千円 一般財源　2,269 千円
目標値	①　300ｔ/年　④ ②　⑤ ③　⑥	①　1,230t/年　④ ②　⑤ ③　⑥	①　1,800t/年　④ ②　⑤ ③　⑥	①　1,800t/年　④ ②　⑤ ③　⑥	①　1,800ｔ/年　④ ②　⑤ ③　⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	森林病害虫等防除事業	担当	農林水産課 農林振興係	整理番号	農-11

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	自然と共に生きるまち
基本施策	2.島の美しい自然環境を保全します
重点施策	
関連計画	隠岐の島町森林整備計画

予算区分	一般会計	款	6	項	2	目	2

指標		令和6年度目標値
①	被害木の減少	1,000本
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

松くい虫被害のまん延防止の為の防除事業を実施する事で、松林が有する公益的機能の維持を図るとともに、重要な観光資源でもある松林の保護を図る。

【事業概要】

観光資源でもある３地区（浄土ケ浦・白島海岸付近・ローソク岩付近）の松林において空中散布、住民の生活環境に直結する防風林においては樹幹注入、被害木となってしまったものについては伐倒駆除を実施し、区域の松林保全を図る。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

空中散布59.92ha
4,675千円
安全確認調査30個
684千円
自然環境調査1式
102千円
空中散布付帯業務1式
535千円
衛生伐　675㎥
14,707千円
樹幹注入　114本
1,034千円
危険木調査　3個所
297千円

実績額		22,058 千円
財源内訳	国補助	15,028 千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	7,030 千円

実績値				
	①	1,146本	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

松くい虫被害状況は、本事業を実施した箇所と未実施の箇所とを比較すれば、被害発生状況は明らかに異なることが確認されている。防除事業を実施したことで、風光明媚な景観による観光資源と、防風林としての機能等、松林の持つ公益的機能の維持を図ることができた。

【②.事業の課題】

空中散布や地上散布は農薬を散布する為、国や県の散布マニュアルより基準を強めて実施し、住民の安全確保につなげる必要がある。今年度は地上散布を実施しなかったが、箇所によっては地上散布による対策しか行っていないところもあるため、松林の保安のためにも薬剤散布や樹幹注入等の対策が今後必要になると考えられる。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

実施区域において、引き続き防除、駆除事業をセットで実施することで松林の保全を図ることができる。未対策区域については、必要に応じて対策を講じることを検討する。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　令和３年度評価済

松林が有する防風林という公益的機能と観光資源としての役割、国立公園の指定を受けていることも踏まえると、本事業の必要性はあると判断します。住民の安全を確保しつつ、環境保全、景観の維持に引き続き取り組んで下さい。

4.改善・見直し（Action）

樹幹注入は6年に一度計画的に実施しているが、松枯れによる対象木の消滅や、樹木のナンバープレート破損により、対象木の照合が困難な状況があるため、対象木の再計測調査を実施する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	森林病害虫等防除事業	担当	農林水産課 農林振興係	整理番号	農-11

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	空中散布　59.92ha　4,942 千円 安全確認調査　30検体　684 千円 自然環境調査　1式　120 千円 空中散布付帯業務　1式　556 千円 衛生伐　600㎥　8,744 千円 樹幹注入　97本　2,090 千円 危険木調査　3個所　297 千円	空中散布　59.92ha　4,942 千円 安全確認調査　30検体　684 千円 自然環境調査　1式　120 千円 空中散布付帯業務　1式　556 千円 衛生伐　600㎥　8,744 千円 樹幹注入　0本　千円 危険木調査　3個所　297 千円	空中散布　59.92ha　4,942 千円 安全確認調査　30検体　684 千円 自然環境調査　1式　120 千円 空中散布付帯業務　1式　556 千円 衛生伐　600㎥　8,744 千円 樹幹注入　129本　2,187 千円 危険木調査　3個所　297 千円	空中散布　59.92ha　4,942 千円 安全確認調査　30検体　684 千円 自然環境調査　1式　120 千円 空中散布付帯業務　1式　556 千円 衛生伐　600㎥　8,744 千円 樹幹注入　138本　2,962 千円 危険木調査　3個所　297 千円	空中散布　59.92ha　4,942 千円 安全確認調査　30検体　684 千円 自然環境調査　1式　120 千円 空中散布付帯業務　1式　556 千円 衛生伐　600㎥　8,744 千円 樹幹注入　134本　2,954 千円 危険木調査　3個所　297 千円
事業費	17,433 千円	15,343 千円	17,530 千円	18,305 千円	18,297 千円
財源内訳 国補助	10,818 千円	10,124 千円	11,682 千円	12,234 千円	12,228 千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	524 千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	6,091 千円	5,219 千円	5,848 千円	6,071 千円	6,069 千円
目標値 ①	1,000本	1,000本	1,000本	1,000本	1,000本
目標値 ②③④⑤⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	松くい虫危険木処理事業	担当	農林水産課 農林振興係	整理番号	農-12

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	自然と共に生きるまち
基本施策	2.島の美しい自然環境を保全します
重点施策	
関連計画	隠岐の島町森林整備計画
予算区分	一般会計　款 6　項 2　目 2

指標		令和6年度目標値
①	危険木処理本数	200本/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

松くい虫被害による危険木は年々増加し、危険木倒壊による各施設への被害や住民生活に大きな影響を及ぼしている危険木を伐倒処理することにより、住民の安全確保に努める。

【事業概要】

住民の安全を脅かす松くい虫による枯松などの危険木について、伐倒処理を行う。民有林については受益者分担金（事業費の1/4）を徴収する。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

危険木処理委託料 4,493千円
処理本数 55本

実績額				4,493 千円
財源内訳	国補助			千円
	県補助			千円
	起債			千円
	特定			千円
	一般財源			4,493 千円

実績値				
	①	55本/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

民家等へ危険を及ぼす松くい虫被害などによる危険木を伐倒処理し、住民の安全確保につなげた。

【②.事業の課題】

高齢世帯の方が所有する土地の危険木伐採相談や、松くい虫被害木以外の危険木伐採についての相談も多くなってきている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

住民の安全確保につなげるため、対象とする樹種や、個人負担率の見直しが必要である。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

松くい虫危険木処理の受益者の分担率の見直しを検討する。
併せて、松くい虫被害木以外の危険木の樹種や、個人負担率の見直し検討を行う。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	松くい虫危険木処理事業	担当	農林水産課 農林振興係	整理番号	農-12

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	危険木処理業務委託料	危険木処理業務委託料	危険木処理業務委託料	危険木処理業務委託料	危険木処理業務委託料
	4,500 千円	4,500 千円	4,500 千円	4,500 千円	4,500 千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	4,500 千円	4,500 千円	4,500 千円	4,500 千円	4,500 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	200 千円	200 千円	200 千円	200 千円	200 千円
財源内訳 一般財源	4,300 千円	4,300 千円	4,300 千円	4,300 千円	4,300 千円
目標値 ①	200本/年	200本/年	200本/年	200本/年	200本/年
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	環境保全対策事業	担当	環境課 生活環境係	整理番号	環-1

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	自然と共に生きるまち
基本施策	2.島の美しい自然環境を保全します
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	4	項	2	目	1

指標		令和6年度目標値
①	環境教育・学習会の開催回数（KPI）	10回/年
②	環境保全ボランティア活動の実施回数（KPI）	30回/年
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

隠岐の島町の豊かな自然環境を保全する。

【事業概要】

・地区住民やボランティア団体等で回収が困難な海岸を中心に、海岸漂着ごみの回収・処分を計画的に行う。
・不法投棄の状況把握及び防止を目的として、環境モニターが各地域のパトロールを行う。
・各地域ごとに清掃作業を行い、集めた草や汚泥等を隠岐の島町内事業所の協力により運搬を行う（春の一斉清掃）。
・町内で発見された不法投棄物の回収・撤去を行う。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

【海岸漂着物対策】
○海岸漂着ごみ回収処分業務
久見地内及び蔵田周辺地内
処分量：94.67㎥
・業務委託費　18,433千円
○海岸漂着ごみ収集運搬業務
五箇、中村、布施地区
処分量：289.53㎥
・業務委託費　2,551千円
○その他海岸漂着ごみ収集
運搬業務委託（布施、塩の浜）
5,997千円
【環境モニター】
○環境モニター謝金
207,200円
・環境モニターパトロール回数
21回
【一斉清掃】
○春の一斉清掃作業業務等
808千円
【不法投棄撤去事業】
○道路沿い空き缶回収等業務委託料
122千円
○不法投棄回収処分業務
321千円

実績額		28,439 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	24,282 千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	4,157 千円

実績値				
	①	11回/年	④	
	②	21回/年	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

海岸漂着ごみは、沿岸の地区住民・ボランティア団体等と協働でごみの回収、処分に取り組んでおり、人が行けない海岸については、業務委託により回収、処分を行っている。また、各地区の景観・環境保全を維持していく上で、環境モニター事業により現状を把握し、それを基に不法投棄物の撤去、刈草の運搬については町内事業所と委託契約を交わして実施し、各地区の負担軽減につながっている。

【②.事業の課題】

地域の高齢化や人口減少により回収が困難な海岸において、漂着ごみが堆積・放置されている箇所がある。また、不法投棄の多い林道や特定の場所が存在するため本回収事業も重要ではあるが、同時に防止対策にも注力しなければ、不法投棄の減少が見込めない。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

海岸漂着ごみについては本町の大きな問題となっており、今後も回収・処分を継続して実施し、不法投棄についてもモニターと情報共有しながら重点的にパトロールを行うとともに、更なる防止対策や啓発活動を行う必要がある。

【④.外部評価】　方向性：　拡大　　令和５年度評価済

地区の住民による海岸漂着ごみの回収作業は限界に近付いているように感じます。海岸漂着ゴミの問題は、世界規模の問題であることから、国や県との連携が必要であると考えます。
また、不法投棄や海岸漂着ごみについての現状が町民にしっかり伝わるような広報活動を、積極的に行うことで、町民が環境問題を「我が事」として考え、一人一人の行動様式を変えていくとに繋がると考えます。さらに、海岸清掃を啓発を兼ねたイベントとし、町内外の人々と協働して課題解決に取り組むことも必要ではないでしょうか。

4.改善・見直し（Action）

各地域の海岸漂着ごみの回収について、高齢化による人手不足などの実態は把握しており、ごみの運搬処分費や重機借上料を補助制度を活用しながら軽減できるところは対処している。通常の清掃活動で対応仕切れない海岸ごみや海藻類が漂着した場合には、漁港･港湾の管理機関等と協議し柔軟な対応を検討する。

不法投棄は環境汚染につながり、町民の健康や暮らしに影響を及ぼす恐れがあることを我が事として考えて頂けるよう、積極的に環境ニュースを発行するなど周知啓発に努める。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	環境保全対策事業	担当	環境課 生活環境係	整理番号	環-1

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和　7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	海岸漂着ごみ回収処分業務：各海岸 25,700 千円 海岸漂着ごみ収集運搬業務：各海岸 1,700 千円 漂流物運搬処分事業 400 千円 その他（船舶、重機、車両借上料他） 630 千円 環境モニター謝金 208 千円 道路沿い空缶回収委託料 122 千円 不法投棄回収業務委託料 300 千円 春の一斉清掃時収集運搬及び作業業務委託 660 千円 千円 千円 千円 千円	海岸漂着ごみ回収処分業務：各海岸 25,700 千円 海岸漂着ごみ収集運搬業務：各海岸 11,001 千円 漂流物運搬処分事業 400 千円 その他（船舶、重機、車両借上料他） 630 千円 環境モニター謝金 208 千円 道路沿い空缶回収委託料 122 千円 不法投棄回収業務委託料 300 千円 春の一斉清掃時収集運搬及び作業業務委託 660 千円 千円 千円 千円 千円	海岸漂着ごみ回収処分業務：各海岸 25,700 千円 海岸漂着ごみ収集運搬業務：各海岸 11,001 千円 漂流物運搬処分事業 400 千円 その他（船舶、重機、車両借上料他） 630 千円 環境モニター謝金 208 千円 道路沿い空缶回収委託料 122 千円 不法投棄回収業務委託料 300 千円 春の一斉清掃時収集運搬及び作業業務委託 660 千円 千円 千円 千円 千円	海岸漂着ごみ回収処分業務：各海岸 25,700 千円 海岸漂着ごみ収集運搬業務：各海岸 11,001 千円 漂流物運搬処分事業 400 千円 その他（船舶、重機、車両借上料他） 630 千円 環境モニター謝金 208 千円 道路沿い空缶回収委託料 122 千円 不法投棄回収業務委託料 300 千円 春の一斉清掃時収集運搬及び作業業務委託 660 千円 千円 千円 千円 千円	海岸漂着ごみ回収処分業務：各海岸 25,700 千円 海岸漂着ごみ収集運搬業務：各海岸 11,001 千円 漂流物運搬処分事業 400 千円 その他（船舶、重機、車両借上料他） 630 千円 環境モニター謝金 208 千円 道路沿い空缶回収委託料 122 千円 不法投棄回収業務委託料 300 千円 春の一斉清掃時収集運搬及び作業業務委託 660 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	29,720 千円	39,021 千円	39,021 千円	39,021 千円	39,021 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	25,627 千円	33,997 千円	33,997 千円	33,997 千円	33,997 千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	4,093 千円	5,024 千円	5,024 千円	5,024 千円	5,024 千円
目標値 ①	11回/年	11回/年	11回/年	11回/年	11回/年
目標値 ②	30回/年	30回/年	30回/年	30回/年	30回/年
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	自然環境保全事業	担当	環境課 生活環境係	整理番号	環-3

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	自然と共に生きるまち
基本施策	2.島の美しい自然環境を保全します
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	4	項	2	目	2

指標		令和6年度目標値
①	環境教育・学習会の開催回数（KPI）	10回/年
②	環境保全ボランティア活動の実施回数（KPI）	30回/年
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

自然公園内における施設整備及び修繕を行い、併せて特定外来生物の駆除等による自然保護活動に努めることで、大山隠岐国立公園及びユネスコ世界ジオパークに認定された町の豊かな自然環境の保全を図る。

【事業概要】

自然公園内において、環境保全・景観維持のため、適切な公園施設の管理を行うとともにトイレ改修、遊歩道及び付帯施設の修繕、歩道の危険木・不用木の除去を実施する。また、特定外来生物の駆除等の自然保護活動も併せて実施する。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

【自然公園清掃活動等補助金】
○大満寺登山道整備補助金
　42千円

【自然公園施設等整備事業】
○大満寺登山道倒木処理業務
　・業務委託費　66千円
○白島崎園地遊歩道除草業務
　・業務委託料　272千円

【特定外来生物駆除事業】
○オオキンケイギク駆除業務
　委託料　58千円（8袋30kg）

実績額		438 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	438 千円

実績値				
	①	11回/年	④	
	②	21回/年	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

自然環境整備計画に基づき、町内老朽化施設の修繕を実施し、その他国立公園区域内における施設等については、島根県（自然環境課）と協議・検討のうえ、老朽箇所及び歩道内における危険木等の除去を実施した。特定外来生物の駆除については、啓発及び駆除活動を実施している。

【②.事業の課題】

国立公園区域内の自然公園施設において、老朽化または災害の影響により修繕等が必要となっている。
※自然公園施設：自然公園内に整備された施設（トイレ、遊歩道、東屋等）
特定外来生物（主にオオキンケイギク等）については、依然として町内各地への分布がみられるため、効果的な駆除の方策が必要となっている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

大山隠岐国立公園及びユネスコ世界ジオパークに認定された町内の景勝地等は、観光資源としても重要であるため、町内関係各所及び島根県と協議・検討を重ね、自然公園施設の計画的な修繕及び再整備を行っていく。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

随時、自然公園内の状況把握を行い、優先順位も含め、国立公園区域内にある既存施設の計画的な修繕・再整備を関係各所及び島根県と実施する。併せて、自然保護に対する効果的な方策も検討していく。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	自然環境保全事業	担当	環境課 生活環境係	整理番号	環-3

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	自然公園清掃活動費補助金 42 千円 自然公園施設等整備事業 885 千円 特定外来生物駆除事業 50 千円	自然公園清掃活動費補助金 42 千円 自然公園施設等整備事業 885 千円 特定外来生物駆除事業 50 千円	自然公園清掃活動費補助金 42 千円 自然公園施設等整備事業 885 千円 特定外来生物駆除事業 50 千円	自然公園清掃活動費補助金 42 千円 自然公園施設等整備事業 885 千円 特定外来生物駆除事業 50 千円	自然公園清掃活動費補助金 42 千円 自然公園施設等整備事業 885 千円 特定外来生物駆除事業 50 千円
事業費	977 千円	977 千円	977 千円	977 千円	977 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	977 千円	977 千円	977 千円	977 千円	977 千円
目標値 ①	11回/年	11回/年	11回/年	11回/年	11回/年
目標値 ②	30回/年	30回/年	30回/年	30回/年	30回/年
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	ごみ処理事務	担当	環境課 生活環境係	整理番号	環-4 （重複）

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	自然と共に生きるまち
基本施策	2.島の美しい自然環境を保全します
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	4	項	3	目	1

指標		令和6年度目標値
①	一人あたりのごみの排出量（KPI）	1,028g/人日
②	リサイクル率（廃棄物量に占める再資源化廃棄物の割合）（KPI）	6.5%
③	環境教育・学習会の開催回数（KPI）	10回/年
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

島根県内においても本町のごみ排出量は極めて多く、リサイクル率が低いという現状を改善するため、ごみの減量化・再資源化に寄与する取組みの推進を図る。また、大規模災害等による災害廃棄物の適正処理に努める。

【事業概要】

廃棄物減量等推進審議会の開催、一般廃棄物処理実施計画の策定、ごみの分け方出し方ガイドブック・分別収集カレンダーの配布など、ごみの排出抑制及び再資源化促進に向けた取組、啓発活動等を行う。また、災害発生時の適確な廃棄物処理に向けた計画策定等も併せて実施する。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

【拠点回収設備整備事業】

○旧西郷町内（2基設置）

・業務委託料　2,684千円

【自動車リサイクル法離島支援事業】

・補助金額　6,836千円

・海上輸送予定台数　525台

・海上輸送実績台数　494台

実績額		9,520 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	6,836 千円
	一般財源	2,684 千円

実績値				
①	1,085g/人日	④	
②	6.2%	⑤	
③	11回/年	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

ごみの排出抑制・再資源化推進を目的として、指定袋導入や自己搬入料金の改定などの制度改正を行うため、制度改正に関する住民説明会の実施、ごみの分け方出し方ガイドブックの作成及び全戸配布、古紙回収に係る拠点回収設備整備等を実施している。環境学習の面では、施設見学や個別学習会を実施した。海上輸送費補助金事業では、自動車リサイクル要綱改正により円滑に事務を行うことができた。

【②.事業の課題】

本町は島根県内においてもごみ排出量が多く、リサイクル率が低い現状にあり、特に古紙が可燃ごみとして排出される場合が多い。また、近年頻発する大規模災害による廃棄物について、仮置場選定・設営、周知方法など迅速かつ円滑な対応ができるよう実施計画を策定する必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

本町のごみ排出量削減、再資源化の推進するため、広報誌等を活用した啓発活動や令和5年度以降の制度改正に沿った分別収集の徹底などを行っていく。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　令和５年度評価済

今回の指定ごみ袋制への移行を契機に、ごみ問題への関心や意識の高まりが、すべての町民に定着されるよう努めていただきたいと思います。

また、これまで以上に啓発活動を行い、廃棄物削減、リサイクル率の向上に向けた、個々の意識づけをする必要があります。本年度から実施した拠点回収施設の設置や、ごみの分け方、出し方のガイドブックは効果を上げています。来年度以降に実施予定の生ごみ処理機導入補助金の効果にも期待しています。

4.改善・見直し（Action）

隠岐の島町ごみ減量化アクションプラン（令和3年3月策定）に基づき、ごみ減量化の推進に取り組む。また、制度改正後のごみ排出量、リサイクル率に応じた一般廃棄物処理実施計画の見直しも行う。

大規模災害等への備えとして、災害廃棄物処理計画（令和2年策定）を策定しているが、より迅速かつ円滑な対応が可能となるよう災害廃棄物処理実行計画の策定等、事前準備を進めていく。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	ごみ処理事務	担当	環境課 生活環境係	整理番号	環-4 （重複）

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	拠点回収設備整備　1箇所 1,584 千円 使用済自動車等海上輸送費補助金 7,294 千円 千円	拠点回収設備整備　1箇所 1,584 千円 使用済自動車等海上輸送費補助金 7,294 千円 （新）生ごみ処理機導入補助金 1,180 千円	千円 使用済自動車等海上輸送費補助金 7,294 千円 生ごみ処理機導入補助金 1,952 千円	千円 使用済自動車等海上輸送費補助金 7,294 千円 生ごみ処理機導入補助金 2,694 千円	千円 使用済自動車等海上輸送費補助金 7,294 千円 生ごみ処理機導入補助金 2,874 千円
事業費	8,878 千円	10,058 千円	9,246 千円	9,988 千円	10,168 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	7,294 千円	7,294 千円	7,294 千円	7,294 千円	7,294 千円
財源内訳 一般財源	1,584 千円	2,764 千円	1,952 千円	2,694 千円	2,874 千円
目標値 ①	1,028g/人日	1,028g/人日	1,028g/人日	1,028g/人日	1,028g/人日
目標値 ②	6.5%	6.5%	6.5%	6.5%	6.5%
目標値 ③	11回/年	11回/年	11回/年	11回/年	11回/年
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

Ⅵ. 共に創るまち

基本施策	課名	事業名	頁	備考
1.協働によるまちづくりを推進します	総務課	一般行政諸事業	405～	
	総務課	広報広聴活動事業	407～	
	地域振興課	企画調整事務	409～	
2.時代にあった行政サービスを提供します	総務課	職員研修事務	411～	
	総務課	情報処理事務	413～	
	五箇支所	五箇支所一般管理事務	415～	
3.財政の健全化に向けた取り組みを進めます	地域振興課	ふるさと納税事業	417～	
	施設管理課	公用車管理事務	419～	
	施設管理課	財産管理事務	421～	
	税務課	町税等の徴収率（KPI）	425～	
	財政課	財政指標（KPI）	423～	

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	一般行政諸事業	担当	総務課 行政係	整理番号	総-1

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	共に創るまち
基本施策	1.協働によるまちづくりを推進します
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	2	項	1	目	1

指標		令和6年度目標値
	① 該当項目なし	
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

【事業目的】

町に関わる祝賀行事を開催することにより、慶事を町内外に広くアピールし、協働によるまちづくりの推進を図るとともに町内の活性化を図る。

【事業概要】

町に関わる祝賀行事を行う。
〔祝賀行事〕
　令和6年度　合併20周年記念行事
　令和6年度　祝賀行事（隠岐古典相撲）

2.令和　4　年度事業実績（Do）

実績額		千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	千円

実績値				
	①		④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

新庁舎完成祝賀行事（竣工式）及び内覧会は、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じて開催することができ、町民の皆様とともに竣工を祝うことが出来た。令和4年度に開催する予定であった新庁舎完成祝賀行事（隠岐古典相撲）は、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を断念した。

【②.事業の課題】

新庁舎完成祝賀行事（隠岐古典相撲）については、開催時期、冠について隠岐古典相撲大巾会と確認した。また、令和5年度中に合併後の状況を検証し、合併20周年行事の内容を検討する必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

新庁舎完成祝賀行事としての隠岐古典相撲は、コロナウイルス感染症拡大防止のため延期を余儀なくされた。今回、合併20周年記念事業として実施する予定。平成24年以来10年ぶりの開催であり、多くの町民が期待しているとともに、町外へのアピール度も大きい。また、合併20周年記念行事は、町が目指す将来像の実現に向けて、これまでの状況を振り返るため、節目の年の行事として必要である。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

隠岐古典相撲については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和4年度の開催を見送り、合併20周年記念事業と冠をそろえて開催する方針を隠岐古典相撲大巾会と確認した。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	一般行政諸事業	担当	総務課 行政係	整理番号	総-1

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	千円	合併20周年記念事業（式典・その他） 10,000 千円 古典相撲（合併20周年） 10,000 千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	千円	20,000 千円	千円	千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
県補助	千円	千円	千円	千円	千円
起債	千円	千円	千円	千円	千円
特定	千円	7,991 千円	千円	千円	千円
一般財源	千円	12,009 千円	千円	千円	千円
目標値 ①		①	①	①	①
②		②	②	②	②
③		③	③	③	③
④		④	④	④	④
⑤		⑤	⑤	⑤	⑤
⑥		⑥	⑥	⑥	⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	広報広聴活動事業	担当	総務課 広報広聴係	整理番号	総-5

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	共に創るまち
基本施策	1.協働によるまちづくりを推進します
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	2	項	1	目	7

指標		令和6年度目標値
①	広報誌発行数	12回
②	お知らせ便発行数	24回
③	まちづくりの計画策定への町民参加率（KPI）	100%
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

隠岐の島町まちづくり基本条例の基本理念として掲げた、「情報の共有」「町民の自主的参加」「相互理解」を尊重したまちづくりを進める。町民に対し、町政に関する情報や必要な情報を分かりやすく的確に提供する。また、町民の意見を聴く取組を行うことを通して、町政に対する理解を深め、町政への積極的な参加を促進する。

【事業概要】

・広報誌を全世帯に毎月配布する。（年間78,000部／月6,500部）
・町勢要覧を作成する。（4年に1度発行、次回令和6年度）
・出前町長室（地区・団体の要請により開催）
・町長への手紙（随時受付、メール、手紙等による町政への提言）

2.令和　4　年度事業実績（Do）

・広報誌発行
年間12回、月6,800部発行
2,603千円

・お知らせ便発行
年間21回、月2回程度嘱託員配布に併せて発行

・出前町長室　3回

・町長への手紙　9件
（総務課でとりまとめ、回答したものに限る）

・ホームページ更新

実績額		2,603 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	424 千円
	一般財源	2,179 千円

実績値				
	①	12回	④	
	②	21回	⑤	
	③	75%	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

広報誌、お知らせ便、町内放送でできる限り迅速に町の情報をお知らせしている。「広報隠岐の島」の掲載記事については、内容の見直しを行い、人の顔が見える記事を心掛けている。乳幼児の写真を掲載するコーナーへは多数の申込を頂き変わらず好評を得ている。

【②.事業の課題】

広報誌製作において、掲載記事の年次計画を作成し、町が掲げる重要施策等を町民に対して、的確に届ける必要がある。また、出前町長室の要請が年間数件であるため、一層の周知を図る必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

「お知らせ便」、「広報隠岐の島」は町政に関する情報を紙媒体で全世帯に提供できる有効な手段であるため、今後も継続し、町民に満足して頂ける誌面作りをしていく必要がある。また、出前町長室及び町長への手紙は周知を図り、町民の意見を聴く機会を増やしていくため、今後も継続していく。まちづくりの計画策定に関する審議会等の公募委員の選任の状況について定期的に調査を実施する。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　**令和３年度評価済**

お知らせ便、広報をいつも楽しみにしている町民の方も多いと思います。町民の皆様に喜んで頂ける広報誌になるように引き続き取り組んで下さい。
町民が欲しい情報、町が町民に働きかけたい情報がたくさんある中で、必要な情報が必要な時に入手できる環境であることは重要です。情報の入手方法は、年代や環境によって紙媒体、電子媒体の両方のニーズがあるため、広報媒体は何が適切なのか考えながら取り組んで下さい。

4.改善・見直し（Action）

・広報誌作成にあたり、テーマを決めて、取材を行う。特に町民との協働のまちづくりを一層推進するために、町民の活動が見える記事をメインとした広報誌作成に取り組む。また、記事がマンネリ化することのないよう、新たなコーナーを考える。

・出前町長室及び町長への手紙は、誰もが利用できるよう広報誌、お知らせ便へ定期的に掲載し、より一層の周知に取り組む。

・適切な広報媒体について、デジタル化の推進を見据え、国等の動向を注視しながら、引き続き検討していく。特に、新型コロナワクチン接種予約のために導入したLINEアカウントを今後どう活用していくか考え、適切に運用していく。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	広報広聴活動事業	担当	総務課 広報広聴係	整理番号	総-5

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	広報隠岐の島製作費 2,945 千円 千円 その他 ・出前町長室の開催 ・町長への手紙 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	広報隠岐の島製作費 2,945 千円 町勢要覧製作費 1,000 千円 その他 ・出前町長室の開催 ・町長への手紙 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	広報隠岐の島製作費 2,945 千円 千円 その他 ・出前町長室の開催 ・町長への手紙 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	広報隠岐の島製作費 2,945 千円 千円 その他 ・出前町長室の開催 ・町長への手紙 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	広報隠岐の島製作費 2,945 千円 千円 その他 ・出前町長室の開催 ・町長への手紙 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	2,945 千円	3,945 千円	2,945 千円	2,945 千円	2,945 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	583 千円	583 千円	583 千円	583 千円	583 千円
財源内訳 一般財源	2,362 千円	3,362 千円	2,362 千円	2,362 千円	2,362 千円
目標値 ①	12回	12回	12回	12回	12回
目標値 ②	24回	24回	24回	24回	24回
目標値 ③	100%	100%	100%	100%	100%
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	企画調整事務	担当	地域振興課 政策企画係	整理番号	地-1

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	共に創るまち
基本施策	1.協働によるまちづくりを推進します
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	2	項	1	目	4

指標		令和6年度目標値
①	NPO団体数（KPI）	5団体
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

まちの将来像を町民と共有しながら、地方創生、離島振興の推進及び持続可能なまちづくりを目指す。またその取組については、町民、企業、団体、行政等が互いの立場と役割を理解し、認め合いながら行う、協働によるまちづくりを推進する。

【事業概要】

総合振興計画の進行管理
　・事業実施計画（総合振興計画の具体的な取組・事業）の策定
　・審議会による外部評価
離島交流事業
　・離島野球、アイランダー
景観計画等各種計画策定
SDGsの推進
遊休施設の利活用調査

2.令和　4　年度事業実績（Do）

総合振興計画推進費
　審議会開催費
　187千円
離島交流事業
　全国離島交流中学生野球大会
　2,706千円
　アイランダー2022
　325千円
遊休施設利活用調査
　2,495千円
SDGs推進事業
　役場職員研修（係長）48名参加
　町内団体等研修　2団体
　広報紙による啓発

実績額	5,713 千円
財源内訳 国補助	1,247 千円
県補助	千円
起債	千円
特定	640 千円
一般財源	3,826 千円

実績値				
①	4団体	④		
②		⑤		
③		⑥		

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

遊休施設利活用調査により、2施設において地域活性化に繋がる有効活用の方向性が決まった。SDGｓの推進については、役場職員（係長）及び町内2団体への研修会実施、また広報紙による町内中学校の取組紹介により、町民の意識の醸成に繋がった。

【②.事業の課題】

SDGｓの推進については、広報紙により広く町民の皆様に取組事例の募集をするも、令和4年度実績は1件のみであった。引き続き役場職員をはじめ町民の皆様の意識の醸成が必要である。令和2年度策定の第2次総合振興計画（前期基本計画）は、令和6年度に見直しの時期を迎える。事業の達成度、社会情勢の変化、本町の現状等の把握、検証が必要となっている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

今後も引き続き持続可能なまちづくりのための施策に取り組んで行く。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

・広報紙に掲載する地域のSDGｓに係わる取組事例について、募集だけでなく情報収集する。
・第2次総合振興計画（前期基本計画）の見直しに係る事業達成度、社会情勢の変化等の把握、検証を行う。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	企画調整事務	担当	地域振興課 政策企画係	整理番号	地-1

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	総合振興計画推進費 審議会開催費　300千円 前期基本計画の検証 300 千円 SDGs推進事業 千円 離島交流事業 離島野球大会参加費　3,986千円 アイランダー2023　380千円 4,366 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	総合振興計画推進費 審議会開催費　300千円 前期基本計画の検証 後期基本計画の策定　5,500千円 5,800 千円 SDGs推進事業 千円 離島交流事業 離島野球大会参加費　3,500千円 アイランダー2024　450千円 3,950 千円 景観計画基礎調査 3,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	総合振興計画推進費 審議会開催費 300 千円 SDGs推進事業 千円 離島交流事業 離島野球大会参加費　3,500千円 アイランダー2025　450千円 3,950 千円 景観計画策定 3,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	総合振興計画推進費 審議会開催費 300 千円 SDGs推進事業 千円 離島交流事業 離島野球大会参加費　3,500千円 アイランダー2026　450千円 3,950 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	総合振興計画推進費 審議会開催費 300 千円 SDGs推進事業 千円 離島交流事業 離島野球大会参加費　3,500千円 アイランダー2027　450千円 3,950 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	4,666 千円	12,750 千円	7,250 千円	4,250 千円	4,250 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	1,500 千円	1,500 千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	640 千円	600 千円	600 千円	600 千円	600 千円
財源内訳 一般財源	4,026 千円	10,650 千円	5,150 千円	3,650 千円	3,650 千円
目標値 ①	4団体	5団体	5団体	5団体	5団体
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	職員研修事務	担当	総務課 職員係	整理番号	総-4

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	共に創るまち
基本施策	2.時代にあった行政サービスを提供します
重点施策	
関連計画	隠岐の島町職員人材育成基本方針
予算区分	一般会計　款 2　項 1　目 1

指標		令和6年度目標値
①	年間2回以上の職員研修受講率（KPI）	100%
②	人事評価における目標達成職員の割合（KPI）	100%
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

様々な研修機会を確保し、新たな行政課題に果敢に挑戦できる創造性豊かな職員の育成に努める。

【事業概要】

職員の企画力・コミュニケーション能力を高めるための研修・講演会を開催する。

・内部での研修
　新規採用職員研修、公務員倫理研修等
・外部での研修
　島根県自治研修所研修、島根県市町村総合事務組合研修、
　市町村アカデミー研修、国際文化アカデミー研修等
・職員研修補助金・・・自己研鑽のための研修費用助成

2.令和　4　年度事業実績（Do）

新規採用職員研修　12名
人権同和問題研修　288名
自治研修所研修　33名
島根県市町村総合事務組合研修　4名
市町村アカデミー　1名
国際文化研究所　2名
その他の機関開催研修　17名

実績額		4,598 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	1,824 千円
	一般財源	2,774 千円

実績値				
①	61.60%	④		
②	98.00%	⑤		
③		⑥		

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

実務的な研修は職場の専門的な知見も得られることから積極的に参加する職員があった。
地域おこしに関する地域課題研修は各職場からの代表者レベルが集まって行われた。
研修においてはいずれの場合も職場内で研修から得た内容を情報共有ができ、学習成果が実務に活かされている。

【②.事業の課題】

限られた研修機関からの研修プログラムを繰り返し提供していてマンネリ化している。必要な研修内容を調査し、実施する方策を検討する必要がある。
島外研修のほとんどが宿泊を伴う研修であり、業務の兼ね合いで研修日程のとおり参加することが困難な場合がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

実務研修のニーズをふまえた研修を行い、行政課題を解決に導く研修を行うことから、職員の研鑽、資質向上につながるものにする。
あわせて多様な住民の求めに応えることのできる職員を育成する取組に繋がるものとする。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　令和４年度評価済

職員研修は、町民に信頼される職員の育成のため必要な事業です。引き続き職員の資質向上に努めて下さい。若手だけでなく、中堅以上の職員の基礎的な研修も必要ではないでしょうか。また、業務上の知識や技能だけでなく、「役場全体の業務の仕組み」「町の地域の特色」「他の行政団体の最新事例」等を学ぶことで職員としての幅が広がると思います。併せて、複数名で受講することによる実践に向けての意識の高まりや、研修後の報告会の開催によるプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力の向上に期待します。

4.改善・見直し（Action）

外部からの講師を招いて研修を行い、従来より機会を増やす。
また、職員が職務に対し使命感を持って取り組み、達成できることを目的とした研修を行う。
職員研修補助金制度については職員が活用がはかれる働きかけを行う。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	職員研修事務	担当	総務課 職員係	整理番号	総-4

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	独自研修講師謝金 300 千円 研修旅費 4,094 千円 自治研修所運営費 1,817 千円 職員研修補助金 150 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	独自研修講師謝金 300 千円 研修旅費 3,750 千円 自治研修所運営費 1,800 千円 職員研修補助金 150 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	独自研修講師謝金 300 千円 研修旅費 3,750 千円 自治研修所運営費 1,800 千円 職員研修補助金 150 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	独自研修講師謝金 300 千円 研修旅費 3,750 千円 自治研修所運営費 1,800 千円 職員研修補助金 150 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	独自研修講師謝金 300 千円 研修旅費 3,750 千円 自治研修所運営費 1,800 千円 職員研修補助金 150 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	6,361 千円	6,000 千円	6,000 千円	6,000 千円	6,000 千円
財源内訳	国補助　千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　2,317 千円 一般財源　4,044 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　2,000 千円 一般財源　4,000 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　2,000 千円 一般財源　4,000 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　2,000 千円 一般財源　4,000 千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　2,000 千円 一般財源　4,000 千円
目標値	①　100%　④ ②　100%　⑤ ③　⑥	①　100%　④ ②　100%　⑤ ③　⑥	①　100%　④ ②　100%　⑤ ③　⑥	①　100%　④ ②　100%　⑤ ③　⑥	①　100%　④ ②　100%　⑤ ③　⑥

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	情報処理事務	担当	総務課 情報システム係	整理番号	総-6

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	共に創るまち
基本施策	2.時代にあった行政サービスを提供します
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	2	項	1	目	7

指標		令和6年度目標値
①	情報通信技術を導入した業務数（KPI）	9件
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

情報化及びオンライン化の推進に取り組み、行政サービスの利便性と事務の効率化を高めることを目的とする。本町が事務処理に運用する基幹系システム（住民記録、税、社会保障ほか）について、社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）に基づく情報連携に対応すると共に、安定的な運用を図ることにより円滑な事務処理に努める。

【事業概要】

（１）自治体DXを推進し、業務効率化や行政サービスの改善を進めながら、町民の利便性向上を目指す。
（２）基幹系システム（住民記録、税・社会保障他）のR7年度に予定される標準化・共通化への移行に向け準備を進める。
（３）情報ネットワークシステムの情報通信機器、事務用パソコンの更新を行う。
（４）デジタル化へ対応できる職員の育成を図る。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

事務用パソコン更新費
39台　　3,820千円

実績額		3,820 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	3,820 千円

実績値				
	①	8件	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

情報処理システム等を安定的に運用することで、事務処理の効率化と円滑な執行が確保された。また、社会保障・税番号制度に基づく情報連携に対応したシステムの運用により、住民サービスの利便性向上に繋がっている。

【②.事業の課題】

自治体DXの推進は、システム（機器）の導入は手段の一つに過ぎず、住民サービスや業務フロー自体を見直し変革していくことが目的であり、実現に向けそれぞれの部署で主体的に進めていく必要がある。これについて職員間の理解が進んでおらず推進体制も不十分であることから、今後DX推進本部会を中心に推進を図る。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

今後も情報通信技術の積極的な活用を図り、各種手続のオンライン化等を含め一層の利便性の向上を図る。また、令和7年度までに現在の基幹システムを国が進める全国共通の標準システムへ移行する必要があるため、各業務内容の見直しを含め準備を進めていく。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　令和５年度評価済

町民の利便性の向上や、業務の効率化を図るためには、ICT化やDX化を推進することは必要であると考えます。それには、デジタル対応に優れた人材を育成していくことが不可欠です。
人材育成については、より多くの効果が得られるよう、どの程度のスキル習得を目指すのかなど、目標を明確にして取り組んでください。また、現時点でも提供できる行政サービスのデジタル化(公共料金のキャッシュレス決済化など)を人材育成と並行し検討すべきではないでしょうか。あわせて、町民との繋がりを大切にし、誰一人取り残さないデジタル化の推進を要望します。

4.改善・見直し（Action）

自治体DX実現に向け、DX推進本部会による４つのワーキンググループで実務的協議を行い以下のスケジュールにより情報処理事業を進める。
なお、基幹システム標準化の移行経費については、R4年9月に漸く基本方針が定まりシステム開発・仕様書等も改修を続けている状況であり、経費算出は業者から提示された概算値である。精査段階に無く適時情報を収集し見直しを図る。
（令和5年度）
・町民の利便性向上のため、町業務のデジタル化・オンライン化を推進する
・研修等の実施により、職員の情報スキル・情報を正しく安全に活用する知識の向上を図る。
・国の電子申請システム（ぴったりサービス）と連携し、電子受付サービスを拡充する
（令和7年度）
・現在の基幹システムを国が進める全国共通の標準システムへ移行する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	情報処理事務	担当	総務課 情報システム係	整理番号	総-6

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	事務用パソコン購入費（30台） 4,874 千円 基幹システム標準化移行概要設計 19,899 千円 基幹業務の水道料金集合廃止対応改修 5,610 千円 出先ルーター機器更新 5,967 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 DX推進 ｼｽﾃﾑ標準化ﾜｰｷﾝｸﾞｸﾞﾙｰﾌﾟ 組織設置・ｼｽﾃﾑ適合と乖離度分析 千円 千円	事務用パソコン購入費（30台） 4,874 千円 基幹システム標準化移行詳細設計 33,110 千円 千円 千円 検証環境用サーバー機器設定 11,000 千円 庁舎内無線ＬＡＮ対応 3,021 千円 議会・監査・執行部用iPad更新（50台） 7,000 千円 メールサーバー更新費用 3,300 千円 千円 千円 DX推進 ｼｽﾃﾑ標準化ﾜｰｷﾝｸﾞｸﾞﾙｰﾌﾟ ｼｽﾃﾑ移行環境設計・環境構築 千円 千円	事務用パソコン購入費（30台） 4,874 千円 基幹システム標準化移行（20業務） 198,000 千円 基幹システム標準化移行（20業務以外） 44,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 標準システム接続ネットワーク追加等 27,500 千円 運用端末更新、運用ツール 27,500 千円 DX推進 ｼｽﾃﾑ標準化ﾜｰｷﾝｸﾞｸﾞﾙｰﾌﾟ ｼｽﾃﾑ移行環境テスト・ｼｽﾃﾑ移行 千円 千円	事務用パソコン購入費（30台） 4,874 千円 基幹システム標準化行後の整理、調整 55,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	事務用パソコン購入費（30台） 4,874 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	36,350 千円	62,305 千円	301,874 千円	59,874 千円	4,874 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	38,000 千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	5,000 千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	36,350 千円	57,305 千円	263,874 千円	59,874 千円	4,874 千円
目標値 ①	8件	9件	9件	10件	10件
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	五箇支所一般管理事務	担当	五箇支所 地域振興係	整理番号	五-1

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	共に創るまち
基本施策	2.時代にあった行政サービスを提供します
重点施策	
関連計画	隠岐の島町公共施設総合管理計画

予算区分	一般会計	款	2	項	1	目	1

指標		令和6年度目標値
	① 該当項目なし	
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

【事業目的】

五箇地区の行政、防災、観光の拠点を整備することで、地域活力の向上、利便性の向上及び職員の執務の効率化を図る。

【事業概要】

五箇支所庁舎移転について基本方針を打ち出し、建設検討委員会において地区住民の意見を踏まえ検討を行うとともに、基本構想を策定のうえ建設事業を実施する。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

実績なし

実績額		千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	千円

実績値				
	①		④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

平成29年7月に五箇区長会より「五箇支所の改築についての要望書」が提出され、平成30年12月には、「役場等現庁舎調査研究委員会」において、生涯学習センター敷地に移転することが望ましいと判断された。

【②.事業の課題】

五箇支所庁舎は、建設後50年以上が経過し、老朽化等により課題が生じている。耐震性も不足しており、地域の防災拠点としての機能に不安がある。移転先として、生涯学習センター敷地内が候補とされていたが、令和3年豪雨災害時には、避難所となった同施設の背後法面が出水による崩落があり、行政拠点施設である支所の移転先立地条件において自然災害リスクは、避けなければならない。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

五箇生涯学習センター敷地に移転することが望ましいとされていたものの、移転先候補地の見直しが必要であり、庁舎移転に係る基本方針の策定にあたり、住民の意思を取り入れるため、区長会をはじめ地域の団体とのさらなる協議が必要である。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

中出張所・中村診療所及び歯科診療所複合施設建設以降を目途として、五箇支所庁舎移転建設事業を実施する。

また、五箇支所、生涯学習センター（五箇公民館）及び農村環境改善センターなど地区内の公共施設の機能と役割について見直し、既存施設の有効活用も含め検討する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	五箇支所一般管理事務	担当	五箇支所 地域振興係	整理番号	五-1

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	建設検討委員会準備会	建設検討委員会準備会	基本構想策定（建設検討委員会）	基本設計業務（概算）	実施設計業務
	千円	千円	150 千円	2,500 千円	10,000 千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	千円	千円	150 千円	2,500 千円	10,000 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	千円	千円	150 千円	2,500 千円	10,000 千円
目標値 ①～⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	ふるさと納税事業	担当	地域振興課 政策企画係	整理番号	地-6

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	共に創るまち
基本施策	3.財政の健全化に向けた取り組みを進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	2	項	1	目	4

指標		令和6年度目標値
①	ふるさと納税額（KPI）	50,000千円
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

ふるさと納税を活用して、自主財源の確保を図る。また、特産品のPR、販路拡大を促進することで地域経済の活性化を図り、地元企業の新たな雇用機会の創出を図る。

【事業概要】

寄附の受付から返礼品の管理などを行う。また、ふるさと納税制度を活用して、町のPR（情報発信）を行う。

【事業内容】

受付業務、返礼品管理業務、寄附情報管理、ポータルサイト管理等
- 寄附額の5割以内の経費で本事業を実施
- 返礼品代は寄附額の3割以内で実施
- 企業版ふるさと納税の実施
- ガバメントクラウドファンディングの実施

2.令和　4　年度事業実績（Do）

ふるさと納税推進事業
- 業務委託費　15,375千円
- サイト利用料　2,270千円
- 決済手数料　313千円
- 広告料　88千円

○そのほかの業務
- ｶﾞﾊﾞﾒﾝﾄｸﾗｳﾄﾞﾌｧﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ
- ﾜﾝｽﾄｯﾌﾟ申請
- 寄附金受領書発行

○ふるさと納税実績
- 寄附金額　51,301千円
- 寄附件数　1,182件
- 返礼品数　137品

【ふるさと納税活用事業】

寄附金を使用した事業
- 図書館図書購入　2,000千円
- 学校机・椅子購入　6,020千円
- 総合百科事典更新　1,056千円
- 福祉車両購入補助　3,133千円
- 竹島資料収集施設管理運営　1,264千円

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

海士町との共通返礼品の造成、ウルトラマラソンランナー・お盆帰省客へのアプローチ、令和3年度寄附者へのダイレクトメッセージ、ガバメントクラウドファンディング等を実施することで、令和4年度の寄附額は前年比116%となった。また、これまでの寄附金を活用し、竹島返還PR・要望活動、福祉介護施設の車両導入、中学校児童用机・椅子購入、図書・資料購入等ができた。

【②.事業の課題】

現状の寄付獲得手法では、これ以上の寄附の増加が望めなくなっている。新たな手法の開拓が必要である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

自主財源を確保する手段として有益であることからより積極的に寄附の獲得に取り組んでいく。また、新規寄附者獲得に向けたPR方法の充実、企業版ふるさと納税等のふるさと納税制度の拡充をする必要がある。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　令和４年度評価済

ガバメントクラウドファンディングを活用するなど、試行錯誤しながら事業の推進を図っている点は評価できます。しかしながら、アプローチ次第では更に伸びる可能性がある事業です。他自治体の成功例を参考にしつつ、更なる情報発信や、民間企業との連携など、次に繋がる事業展開を検討するべきと考えます。引き続き、試行錯誤を繰り返しながら「自主財源の確保」と「地域経済の活性化」に取組んで下さい。

4.改善・見直し（Action）

返礼品の拡充及び寄附受付サイトにおける返礼品紹介記事等の改善を図ることで、新規寄附者及び更なる寄附の獲得を図る。
また、寄附獲得戦略として、※企業版ふるさと納税及び※ガバメントクラウドファンディング、SNSを活用したPR等を実施し、より一層の寄附の獲得を図りつつ、広くPRを行うことで、更なるPR促進を図る。
また、ふるさと納税での継続的な本町への支援を呼びかけつつ、ふるさと納税をきっかけとした関係人口の創出を目指す。寄附受領証明書に関係人口や移住定住情報を同封するなど、寄附者との継続的な繋がりを構築していく。

※「企業版ふるさと納税」とは、企業が地方公共団体の地方創生の取り組みに対して寄附を行った場合に法人関係税を税額控除する仕組みのこと。
※「ガバメントクラウドファンディング」とは、自治体がふるさと納税の寄附金の「使い道」をより具体的にプロジェクト化し、そのプロジェクトに共感した方から寄附を募る仕組みのこと。

実績額		18,046 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	18,046 千円

実績値				
	①	51,301千円	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	ふるさと納税事業	担当	地域振興課 政策企画係	整理番号	地-6

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	ふるさと納税推進事業業務委託 受付業務 返礼品業務 寄附情報、サイトの管理 PR事業（DMの発送、HPの設置） ふるさと納税サイト利用料 ・ふるさとチョイス(5%) ・楽天(9%) ・さとふる(12%) ・JAL(8%) 24,863 千円 決済手数料 ・クレジットカード ・マルチペイメント 550 千円 その他 ガバメントクラウドファンディング 寄附金受領書発行 ワンストップ申請 企業版ふるさと納税 泉佐野市ふるさと逸品協定 パンフレット作成 200 千円 千円 千円	ふるさと納税推進事業業務委託 受付業務 返礼品業務 寄附情報、サイトの管理 PR事業（DMの発送、HPの設置） ふるさと納税サイト利用料 ・ふるさとチョイス(5%) ・楽天(9%) ・さとふる(12%) ・JAL(8%) 32,735 千円 決済手数料 ・クレジットカード ・マルチペイメント 743 千円 その他 ガバメントクラウドファンディング 寄附金受領書発行 ワンストップ申請 企業版ふるさと納税 泉佐野市ふるさと逸品協定 パンフレット作成 200 千円 千円 千円	ふるさと納税推進事業業務委託 受付業務 返礼品業務 寄附情報、サイトの管理 PR事業（DMの発送、HPの設置） ふるさと納税サイト利用料 ・ふるさとチョイス(5%) ・楽天(9%) ・さとふる(12%) ・JAL(8%) 32,735 千円 決済手数料 ・クレジットカード ・マルチペイメント 743 千円 その他 ガバメントクラウドファンディング 寄附金受領書発行 ワンストップ申請 企業版ふるさと納税 泉佐野市ふるさと逸品協定 パンフレット作成 200 千円 千円 千円	ふるさと納税推進事業業務委託 受付業務 返礼品業務 寄附情報、サイトの管理 PR事業（DMの発送、HPの設置） ふるさと納税サイト利用料 ・ふるさとチョイス(5%) ・楽天(9%) ・さとふる(12%) ・JAL(8%) 32,735 千円 決済手数料 ・クレジットカード ・マルチペイメント 743 千円 その他 ガバメントクラウドファンディング 寄附金受領書発行 ワンストップ申請 企業版ふるさと納税 泉佐野市ふるさと逸品協定 パンフレット作成 200 千円 千円 千円	ふるさと納税推進事業業務委託 受付業務 返礼品業務 寄附情報、サイトの管理 PR事業（DMの発送、HPの設置） ふるさと納税サイト利用料 ・ふるさとチョイス(5%) ・楽天(9%) ・さとふる(12%) ・JAL(8%) 32,735 千円 決済手数料 ・クレジットカード ・マルチペイメント 743 千円 その他 ガバメントクラウドファンディング 寄附金受領書発行 ワンストップ申請 企業版ふるさと納税 泉佐野市ふるさと逸品協定 パンフレット作成 200 千円 千円 千円
事業費	25,613 千円	33,678 千円	33,678 千円	33,678 千円	33,678 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	25,613 千円	33,678 千円	33,678 千円	33,678 千円	33,678 千円
目標値 ①	62,000千円	80,000千円	80,000千円	80,000千円	80,000千円
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	公用車管理事務	担当	施設管理課 施設管理係	整理番号	施-1

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	共に創るまち
基本施策	3.財政の健全化に向けた取り組みを進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	2	項	1	目	3

指標		令和6年度目標値
①	維持管理費（公用車台数）の削減	4台廃車
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

本町の公用車の最適保有台数を確保しながら、購入後15年以上使用している車両を計画的に更新又は廃車を行い、維持管理費の削減及び経年劣化による事故防止に務める。

【事業概要】

公用車更新事業

本町の地球温暖化対策実行計画に基づき公用車を更新する。

令和6年度　四輪貨物車（事務用車　電気自動車箱バン）　2台更新
令和7年度　四輪貨物車（事務用車　電気自動車箱バン）　2台更新
令和8年度　四輪貨物車（事務用車　電気自動車箱バン）　2台更新
令和9年度　四輪貨物車（事務用車　電気自動車箱バン）　2台更新

2.令和　4　年度事業実績（Do）

公用車購入

軽トラック　1台　966千円

実績額		966 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	966 千円

実績値				
①	1台	④		
②		⑤		
③		⑥		

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

本年度においては軽トラックを購入した。引き続き経年劣化による故障、事故の危険性を防ぐこと、また併せて最適保有台数を検証していくなど、目標達成に向けた更新を進めていく。

【②.事業の課題】

車両の稼働時間及び用途に応じて台数を調整しながら、最適保有台数を決める必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

最適保有台数の確保及び経年劣化による事故防止に努めることで、維持管理費の削減につなげる。軽貨物車については、地球温暖化対策実行計画に沿った購入計画をする考えである。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

公用車の最適保有台数により、保有台数を定め、購入年数が古い車両を順次更新する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	公用車管理事務	担当	施設管理課 施設管理係	整理番号	施-1

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	千円	公用車更新(電気自動車箱バン) 2台 6,000 千円	公用車更新(電気自動車箱バン) 2台 6,000 千円	公用車更新(電気自動車箱バン) 2台 6,000 千円	公用車更新(電気自動車箱バン) 2台 6,000 千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	千円	6,000 千円	6,000 千円	6,000 千円	6,000 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
県補助	千円	千円	千円	千円	千円
起　債	千円	5,400 千円	5,400 千円	5,400 千円	5,400 千円
特　定	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	千円	600 千円	600 千円	600 千円	600 千円
目標値 ①	3台	4台			
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	財産管理事務	担当	施設管理課 施設管理係	整理番号	施-2

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	共に創るまち
基本施策	3.財政の健全化に向けた取り組みを進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	2	項	1	目	3

指標		令和6年度目標値
①	公共施設の集約化、譲渡、売却、廃止等の数（KPI）	5施設
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

公共施設数の適正化を図り、不要となった建物及び老朽化による危険な建物を計画的に取り壊し、維持管理費の削減に努める。照明器具をLED灯に更新し、維持管理費の軽減及び施設の利用促進を図る。

【事業概要】

普通財産解体事業

公共施設数の適正化を図る。

令和8年度　旧給食ｾﾝﾀｰ解体工事設計業務
令和8年度　旧隠岐の島町役場解体工事設計業務
令和9年度　旧給食センター解体工事
令和9年度　旧中条体育館解体工事設計業務

旧小学校体育館

維持管理の軽減及び施設の利用促進を図る。

令和7年度　旧那久小学校体育館照明器具更新工事

2.令和　4　年度事業実績（Do）

旧CTU施設改修事業
　旧CTU施設建築改修工事
　　4,598千円
　旧CTU施設電気設備改修工事
　　2,401千円

実績額		6,999 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	6,999 千円

実績値				
	①	2施設	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

本年度は旧CTU施設の改修を実施し、町有財産の有効活用を図った。また、他の普通財産についても、老朽化が進んだ危険な建物については、周辺施設や歩行者の安全確保を図るため解体事業を行うなど、年次計画を策定し公共施設数の適正化に向け取り組んでいる。

【②.事業の課題】

普通財産施設のうち老朽化が進み危険な状態となっている建物がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

普通財産解体事業については、老朽化が進み危険な状態となった建物等を計画的に取り壊すことで、落下物等による事故の未然防止につなげる。また、跡地利用については、十分検討しながら最適な利用方法を考える必要がある。
旧学校体育館照明器具更新事業については、維持管理の削減及び施設利用促進につなげる。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

老朽化が進んだ建物について、現況の把握を行い計画的に危険な建物等を解体する。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	財産管理事務	担当	施設管理課 施設管理係	整理番号	施-2

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	千円	千円	旧那久小学校体育館照明器具更新工事 7,700 千円	千円	千円
	千円	千円	千円	役場旧庁舎解体工事設計業務 10,000 千円	千円
	千円	千円	千円	旧給食センター解体工事設計業務 2,500 千円	旧給食センター解体工事 30,000 千円
	千円	千円	千円	千円	旧中条体育館解体工事設計業務 3,000 千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	千円	千円	7,700 千円	12,500 千円	33,000 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
県補助	千円	千円	千円	千円	千円
起　債	千円	千円	千円	千円	千円
特　定	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	千円	千円	7,700 千円	12,500 千円	33,000 千円
目標値 ①	3施設	5施設			
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	町税等の徴収率（KPI）	担当	税務課 納税推進係	整理番号	税-2

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	共に創るまち
基本施策	3.財政の健全化に向けた取り組みを進めます
重点施策	
関連計画	
予算区分	款　項　目

指標		令和6年度目標値
①	町税等の徴収率（KPI）	99%以上
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

債権管理と滞納整理に関する知識や技術の向上を図るとともに、町の債権の適正な管理を行い、収入未済債権に対する取組みを推進することにより、自主財源の確保と公正・公平な住民負担の実現を目的とする。

【事業概要】

隠岐の島町税等徴収対策本部と各債権担当課が連携し、収入未済額縮減に向けた取り組みを行う。
・徴収対策本部会の開催［税（国保含む）・後期高齢者医療保険料・保育料・上下水道料・公営住宅料・学校給食費］
・債権管理担当課とのﾋｱﾘﾝｸﾞの実施（取組状況確認と指導及び支援）
・滞納整理に関する研修の実施
　初任徴税吏員研修・私債権、非強制徴収債権研修
※KPIは徴収対策本部の取組対象税料金（現年度分）の徴収率としている。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

専門研修　7回
徴収対策会議　松江市　1回
徴収対策本部会　3回

滞納処分　3件　383千円

島根県と連携
徴収担当職員相互併任
　東部県民センター　7名
　納税推進係　2名

債権管理ヒアリング
　税債権　2回
　税外債権　3回

納付金時間外窓口
　開設日数24日（利用率100%）
　利用者122人　納付額4,014千円

実績額		千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	99.31%	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

徴収対策本部に設置している班体制を、地区担当体制からそれぞれ担当（課税）する税料について責任を持って徴収する徴収班体制に変更したことにより、現年度分・滞納繰越分共に徴収率が向上している。また、税外債権については、債権管理状況のヒアリングや「隠岐の島町債権管理条例」に基づいた債権管理審査会をR2年度から実施し、債権管理の適正化を図っている。

【②.事業の課題】

非強制徴収債権（特に私債権）については、関係法令が複雑で専門知識を要するため、適正な管理がなされていない債権があったが、要綱の整備・事務の見直し・専門研修会（地方自治研修機構・庁内研修）への参加等、積極的に改善に向け取り組んでいるところである。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

町税等の公正・公平な住民負担を実現するためにも、町の債権を適正に管理し確実に回収する必要がある。債権は町の貴重な財産であることを認識し、債権の発生から消滅までの一連の業務を行えるよう、全庁的な取組を推進する。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

・新たな滞納額の発生を防ぐため、滞納税料の分割納付については、現年度分の確実な納付を前提とすることを徹底する。

・ｱｶﾃﾞﾐｰ研修受講職員による、税外債権に関する研修会を実施（R3から）。
　今後、全庁統一した取り組みを行うよう全職員を対象とした研修会とする。

・充分な調査を行ったうえ、必要に応じた緩和措置（地方税法15条）を適用しながら、適切な債権管理を行う。

・自治研修所や市町村総合事務組合、市町村アカデミー等が実施する専門研修には、担当者の積極的な参加を促す。

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	町税等の徴収率（KPI）	担当	税務課 納税推進係	整理番号	税-2

5.年度別計画　令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
専門研修の受講・開催 133 千円	専門研修の受講・開催 133 千円	専門研修の受講・開催 133 千円	専門研修の受講・開催 133 千円	専門研修の受講・開催 133 千円
徴収対策会議 55 千円	徴収対策会議 55 千円	徴収対策会議 55 千円	徴収対策会議 55 千円	徴収対策会議 55 千円
調査・処分費用 72 千円	調査・処分費用 72 千円	調査・処分費用 72 千円	調査・処分費用 72 千円	調査・処分費用 72 千円
町・県徴収担当税務職員相互併任 0 千円	町・県徴収担当税務職員相互併任 0 千円	町・県徴収担当税務職員相互併任 0 千円	町・県徴収担当税務職員相互併任 0 千円	町・県徴収担当税務職員相互併任 0 千円
特例滞納整理 0 千円	特例滞納整理 0 千円	特例滞納整理 0 千円	特例滞納整理 0 千円	特例滞納整理 0 千円
債権管理ヒアリング 0 千円	債権管理ヒアリング 0 千円	債権管理ヒアリング 0 千円	債権管理ヒアリング 0 千円	債権管理ヒアリング 0 千円
納付金時間外窓口 0 千円	納付金時間外窓口 0 千円	納付金時間外窓口 0 千円	納付金時間外窓口 0 千円	納付金時間外窓口 0 千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
事業費 260 千円	事業費 260 千円	事業費 260 千円	事業費 260 千円	事業費 260 千円
財源内訳 国補助 千円	財源内訳 国補助 千円	財源内訳 国補助 千円	財源内訳 国補助 千円	財源内訳 国補助 千円
県補助 千円	県補助 千円	県補助 千円	県補助 千円	県補助 千円
起　債 千円	起　債 千円	起　債 千円	起　債 千円	起　債 千円
特　定 千円	特　定 千円	特　定 千円	特　定 千円	特　定 千円
一般財源 260 千円	一般財源 260 千円	一般財源 260 千円	一般財源 260 千円	一般財源 260 千円
目標値 ① 99.00% ④	目標値 ① 99.00% ④	目標値 ① 99.00% ④	目標値 ① 99.00% ④	目標値 ① 99.00% ④
② ⑤	② ⑤	② ⑤	② ⑤	② ⑤
③ ⑥	③ ⑥	③ ⑥	③ ⑥	③ ⑥

事業内容 (Plan)

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	財政指標（KPI）	担当	財政課 財政係	整理番号	財-1

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	共に創るまち
基本施策	3.財政の健全化に向けた取り組みを進めます
重点施策	
関連計画	
予算区分	款　項　目

指標		令和6年度目標値
①	経常収支比率(KPI)	90%以下
②	健全化判断比率/実質公債費比率(KPI)	15%以下
③	健全化判断比率/将来負担比率(KPI)	150%以下
④	地方債残高(KPI)	250億円以下
⑤	積立金現在高(KPI)	30億円以上
⑥		

【事業目的】

まちが目指す将来像を町民と共有しながら、選択と集中による効果的な財政投入を進めるとともに、積極的な歳入確保を通じて健全な財政運営を実現する。

【事業概要】

○経常収支比率…町の財政構造の弾力性を表しており、経常的な経費に経常的な収入がどの程度充当されているかを比率で示したもの。
○実質公債費比率…町の財政規模に対する公債費の割合。
○将来負担比率…町の財政規模に対するが将来負担すべき実質的な負債の割合。
○地方債現在高/積立金現在高…普通会計における長期借入金の残高と基金の残高。

2.令和　4　年度事業実績（Do）

経常収支比率　88.7%
（2.6%増加）
実質公債費比率　11.5%
（1.1%増加）
将来負担比率　139.1%
（14.7%増加）
地方債残高　292.2億円
（8.7億円増加）
積立金現在高　50.6億円
（0.1億円減少）
※値は速報値

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

将来推計（中期財政計画）に基づいて、毎年予算編成方針及び執行方針を定め、堅実な財政運営に努めたことで積立金残高は前年度同額を確保できた。しかし、清掃センター改修事業や災害復旧事業のため地方債の借入れが償還を上回る状況は続いており、地方債残高が増加する要因となった。

【②.事業の課題】

継続する大規模事業や地方創生を推進するための重点施策の取り組みが、財政指標を上昇させる見込みである。西郷港周辺まちづくり事業など、新たな事業実施のため、地方債残高の減少は難しい状況にあるが、財政指標の上昇を抑制するため、補助制度などの積極的な活用による財源確保のほか、地方債の繰り上げ償還も検討する必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

本計画に掲げられたまちづくり重点プロジェクトを推進するためには、健全な財政運営に配慮した歳出抑制と、地域経済の回復や将来を見据えた地域課題解決に視点をおいた財政出動、それぞれのバランスを取ることが必要である。今後も中期財政計画を基に計画的な財政運営を推進していく。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

バランスの取れた財政運営（持続可能な財政運営）を確立するため、補助制度などの積極的な活用による新たな財源確保をはじめ、基金の活用、業務委託など民間活力の導入も推進する。

将来負担を抑制するため、地方債の繰り上げ償還を実施する。

計画に沿った重点施策を実施するにあたり、コスト意識や事業効果を考えて予算化することにより、財政指標の改善に繋げていく。

実績額		千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	88.70%	④	292.2億円
	②	11.50%	⑤	50.6億円
	③	139.10%	⑥	

令和　5　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	財政指標（KPI）	担当	財政課 財政係	整理番号	財-1

5.年度別計画	令和　5　年度　（現年度）	令和　6　年度　（翌年度）	令和 7　年度（翌々年度）	令和　8　年度	令和　9　年度
事業内容 (Plan)	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳	国補助　千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　千円 一般財源　千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　千円 一般財源　千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　千円 一般財源　千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　千円 一般財源　千円	国補助　千円 県補助　千円 起　債　千円 特　定　千円 一般財源　千円
目標値	①　90.00%　④　250.0億円 ②　15.00%　⑤　30.0億円 ③　150.00%　⑥	①　90.00%　④　250.0億円 ②　15.00%　⑤　30.0億円 ③　150.00%　⑥	①　90%　④　250.0億円 ②　15%　⑤　30.0億円 ③　150%　⑥	①　90%　④　250.0億円 ②　15%　⑤　30.0億円 ③　150%　⑥	①　90%　④　250.0億円 ②　15%　⑤　30.0億円 ③　150%　⑥